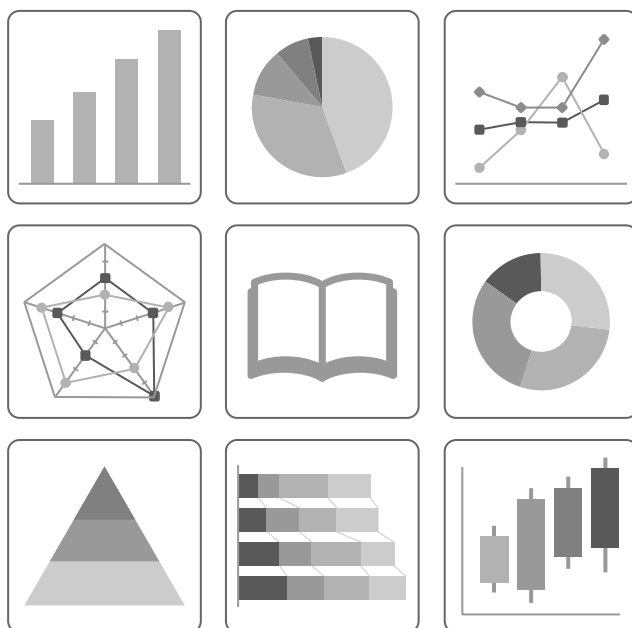


可児市 市民アンケート調査 調査結果報告書



令和4年9月

可 児 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	全世代	2
(1)	回答者属性	2
(2)	可児市への居住理由について	13
(3)	施策の重要度と満足度について	28
(4)	可児市のイメージについて	94
(5)	余暇の過ごし方について	119
(6)	子育て環境について	125
(7)	運動の推進について	130
(8)	教育や学習に関する施策について	135
2	若年層	139
(1)	回答者属性	139
(2)	可児市への居住理由について	148
(3)	施策の重要度と満足度について	161
(4)	可児市のイメージについて	212
(5)	余暇の過ごし方について	233
(6)	子育て環境について	240
(7)	運動の推進について	246
(8)	教育や学習に関する施策について	250
III	調査票	255

I 調査の概要

1 調査の目的

令和2年10月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和4年5月20日から令和4年6月6日

4 調査方法

- ・郵送による配布
- ・郵送及びWEBによる回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
①16歳以上の市民	2,000 通	891 通	44.6%
②①以外の16歳～39歳までの市民	1,000 通	271 通	27.1%

※本文中の若年層は、①のうちの16歳～39歳（126通）と②を合算して分析しています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

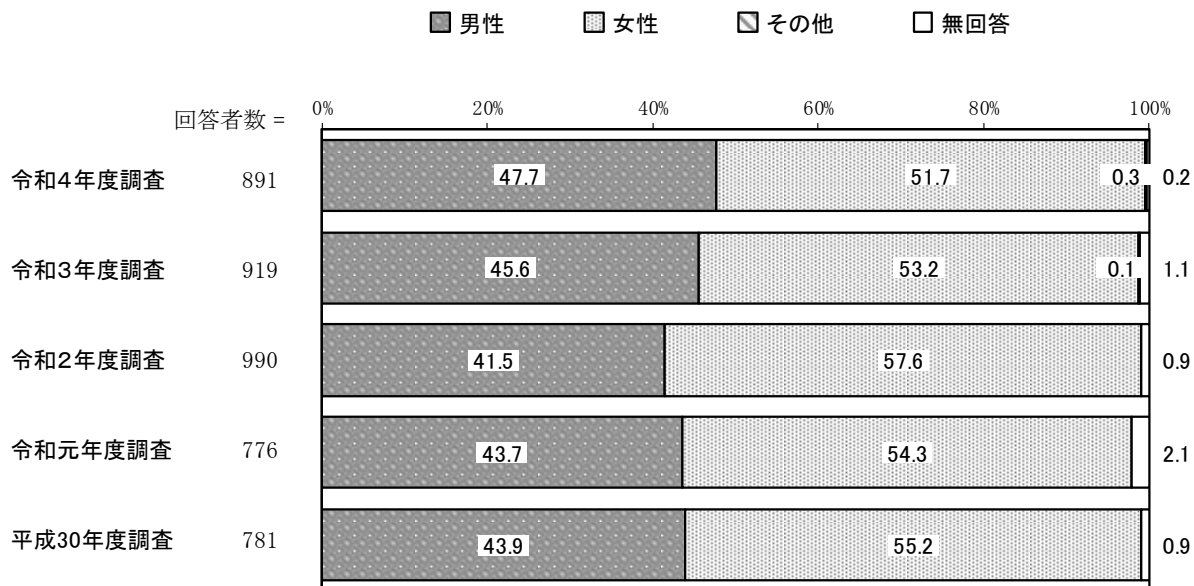
Ⅱ 調査結果

1 全世代

(1) 回答者属性

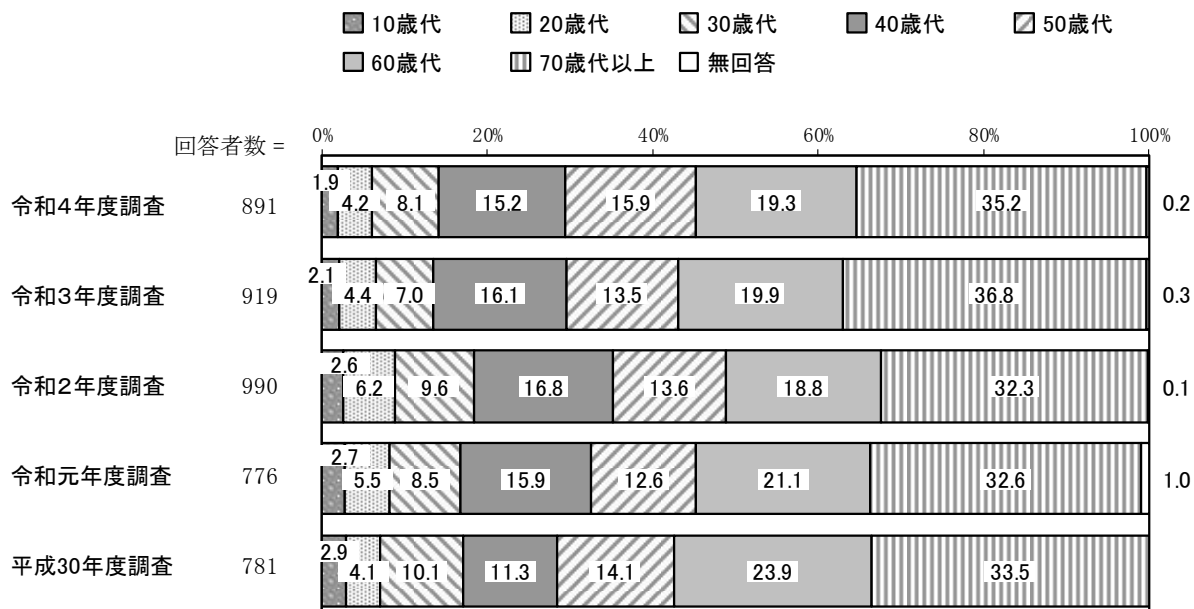
問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が47.7%、「女性」の割合が51.7%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

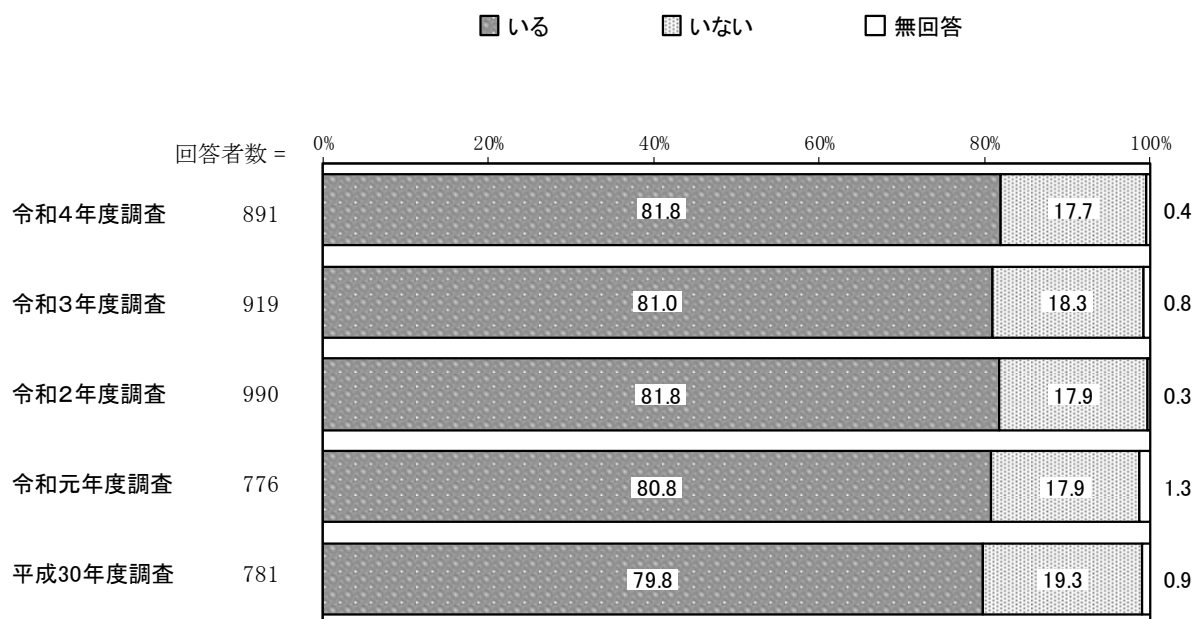
「70歳代以上」の割合が35.2%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が19.3%、「50歳代」の割合が15.9%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 あなたには、子どもはいますか。（いる場合は子どもの世代も選択して下さい。）

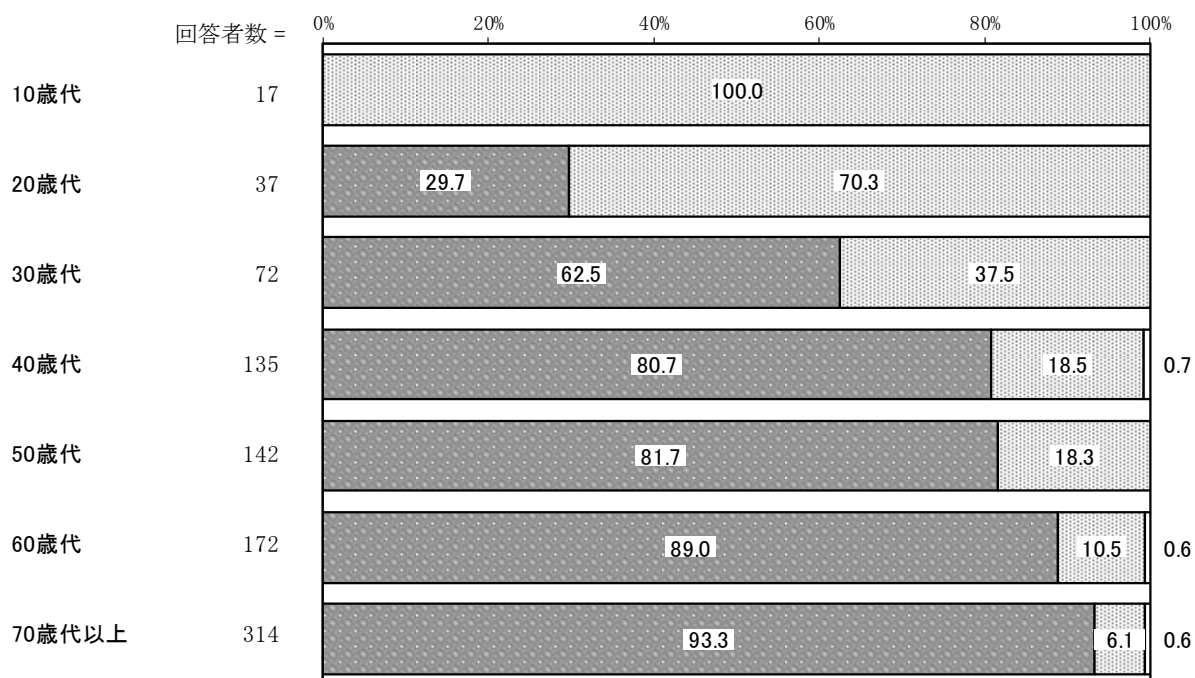
「いる」の割合が81.8%、「いない」の割合が17.7%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

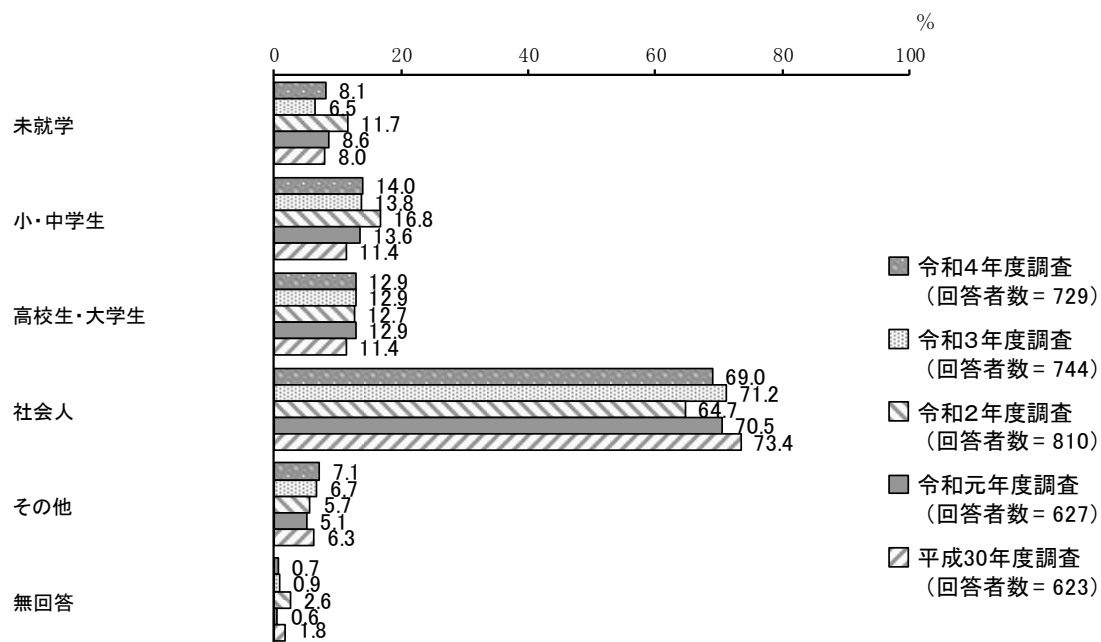
年代別でみると、年代が上がるにつれ「いる」の割合が高くなっており、70歳代以上で9割を超えています。



子どもの世代

「社会人」の割合が69.0%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が14.0%、「高校生・大学生」の割合が12.9%となっています。

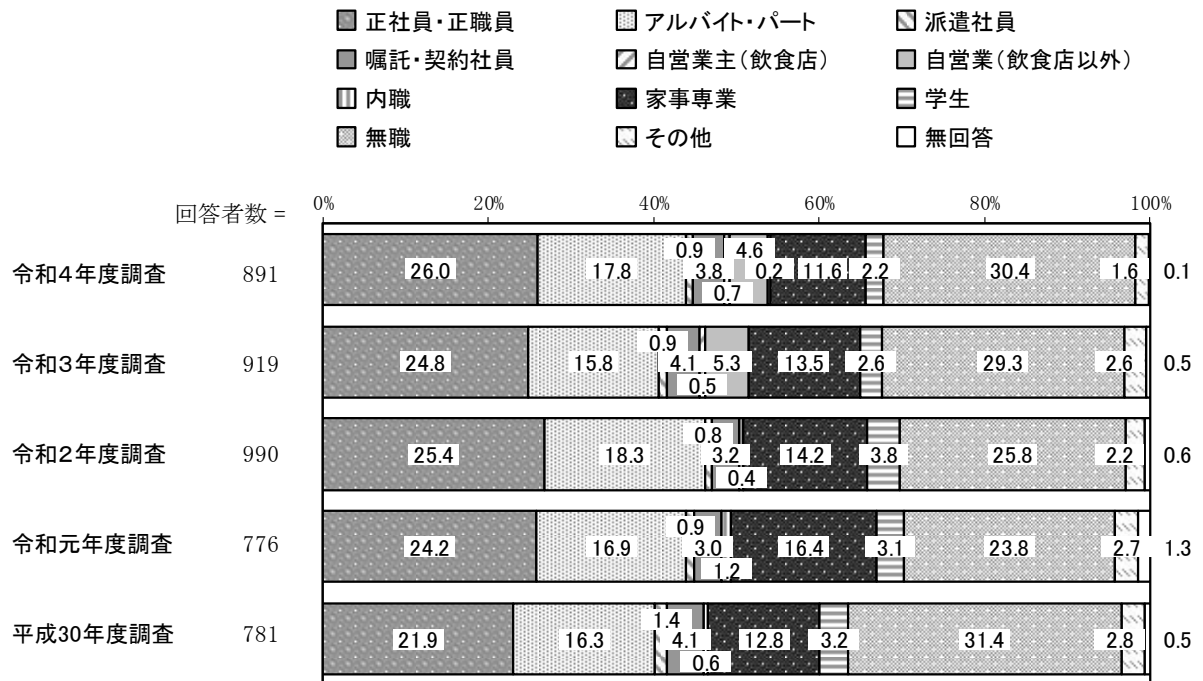
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「無職」の割合が30.4%と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が26.0%、「アルバイト・パート」の割合が17.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降、「家事専業」の割合が減少する傾向、「無職」の割合が増加する傾向がみられます。

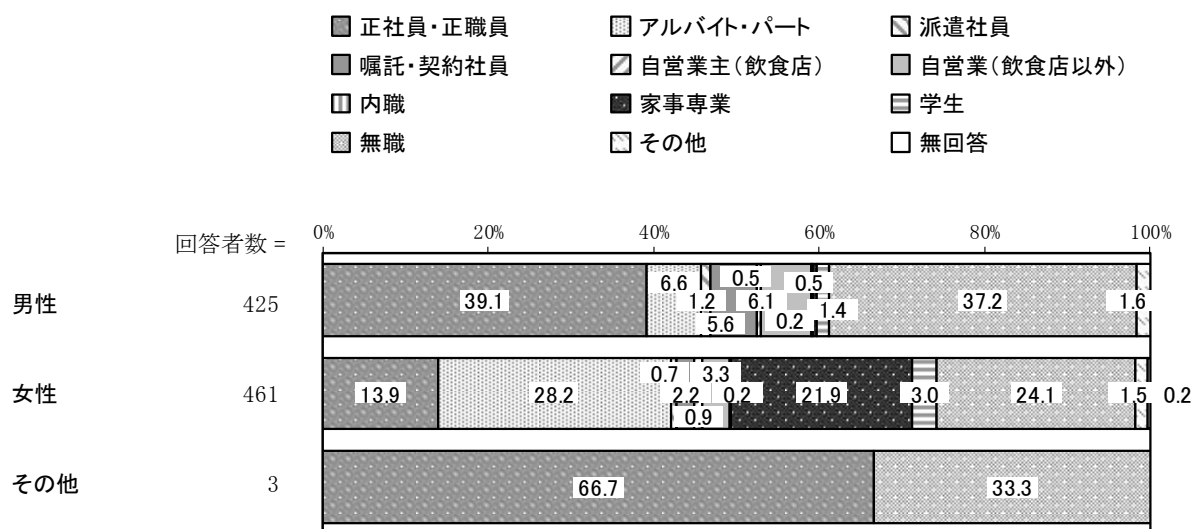


※令和3年度調査では、「内職」の選択肢がありませんでした。

※令和2年度調査以前は「自営業主・家族従業員」の選択肢があり、「自営業主(飲食店)」「自営業(飲食店以外)」の選択肢がありませんでした。

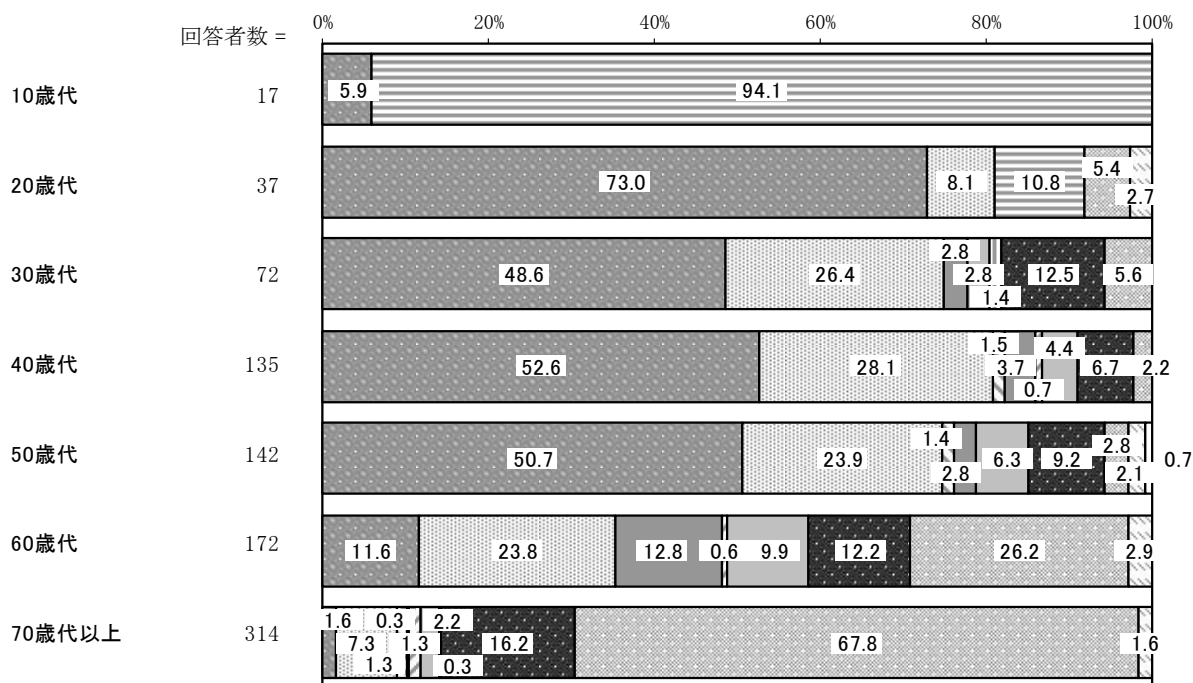
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



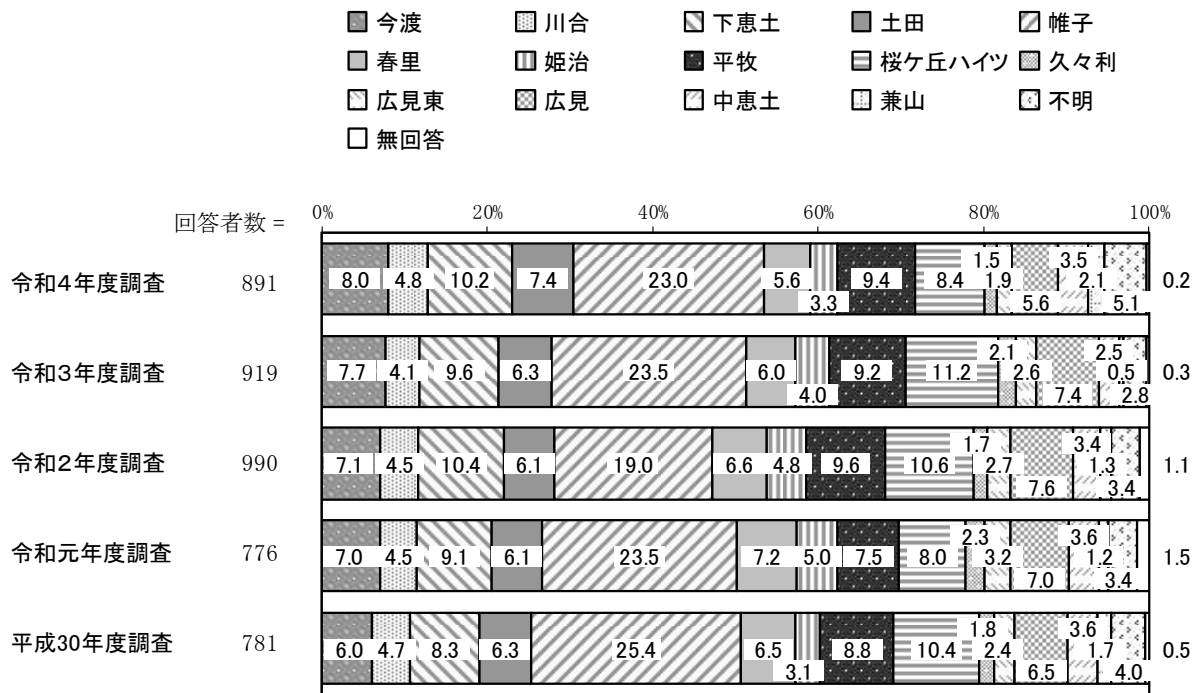
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、7割を超えています。また、10歳代で「学生」の割合が高く、9割半ばとなっています。



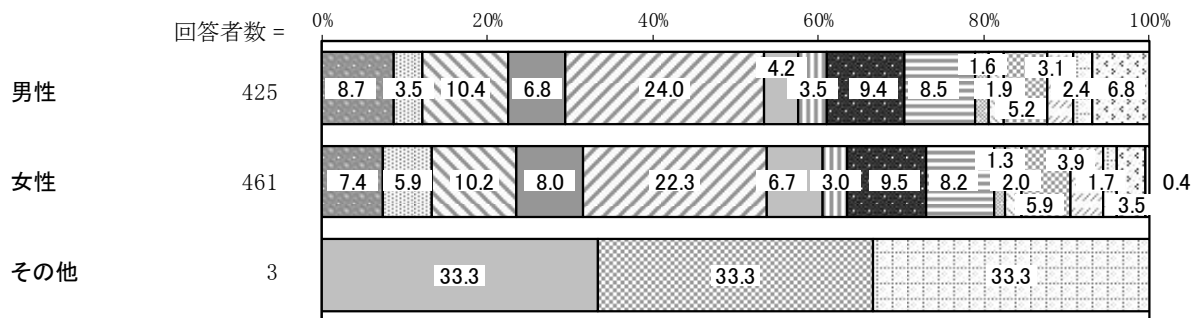
問5 あなたは、どちらにお住まいですか。（自治連合会単位）（○は1つだけ）

「帷子」の割合が23.0%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が10.2%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



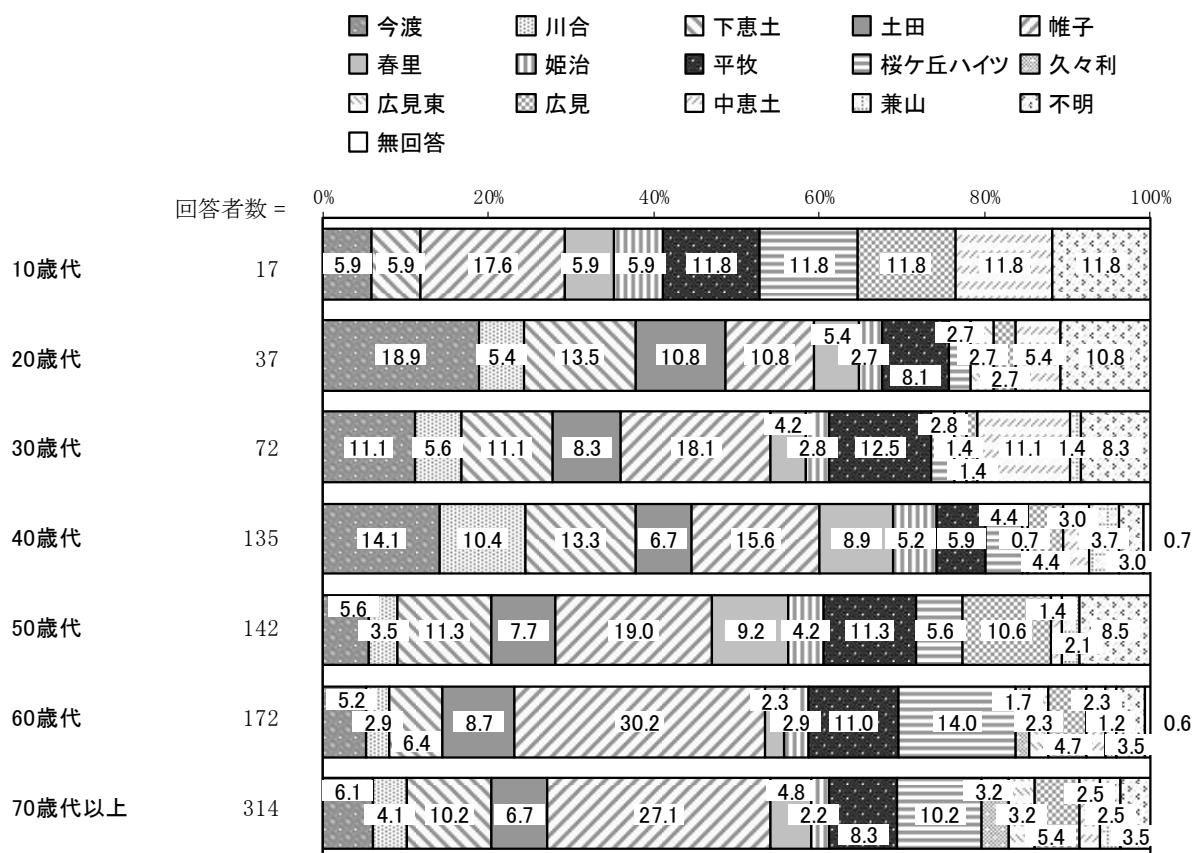
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



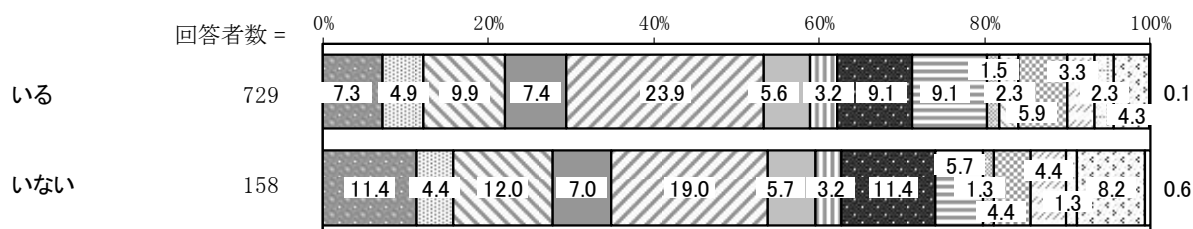
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「今渡」の割合が高く、2 割近くとなっています。
また、60 歳代で「帷子」の割合が高く、約 3 割となっています。



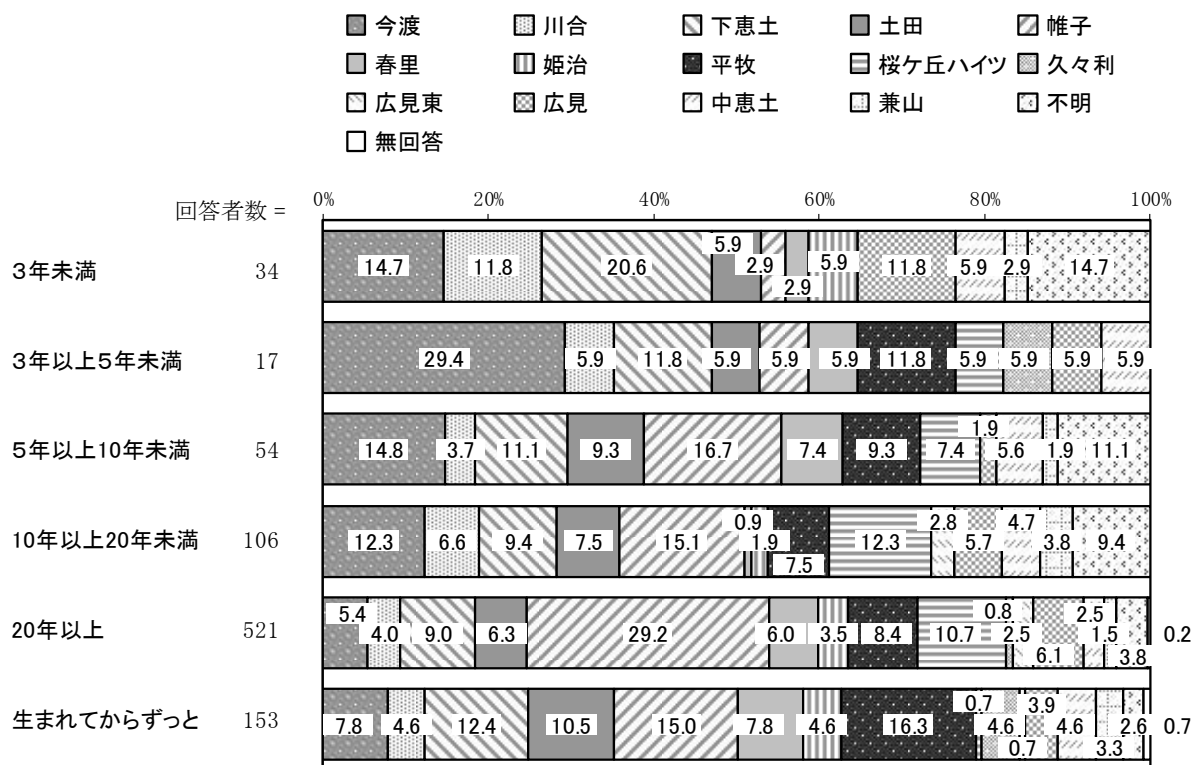
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



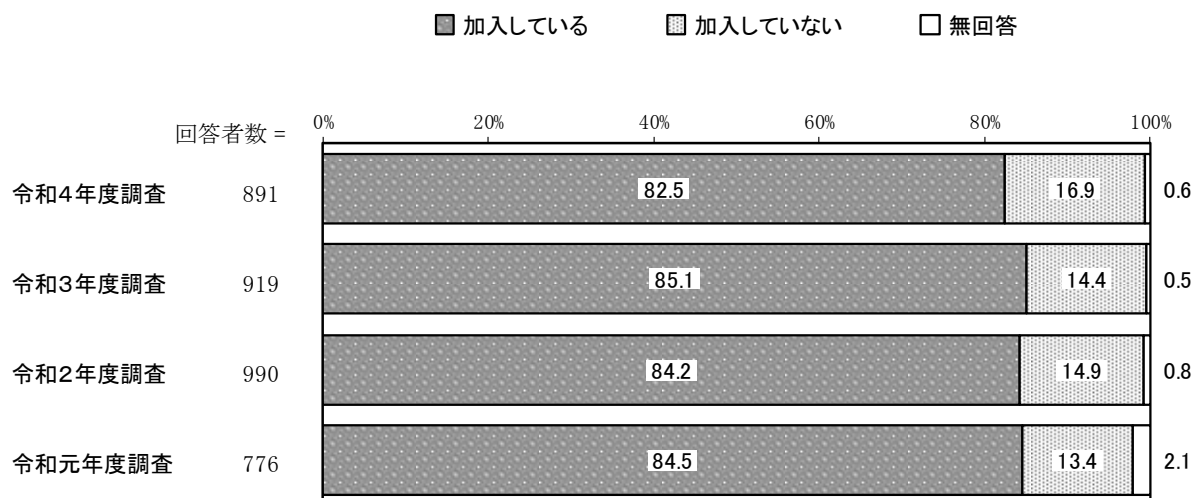
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「今渡」の割合が高く、約3割となっています。また、20年以上で「帷子」の割合が高く、約3割となっています。



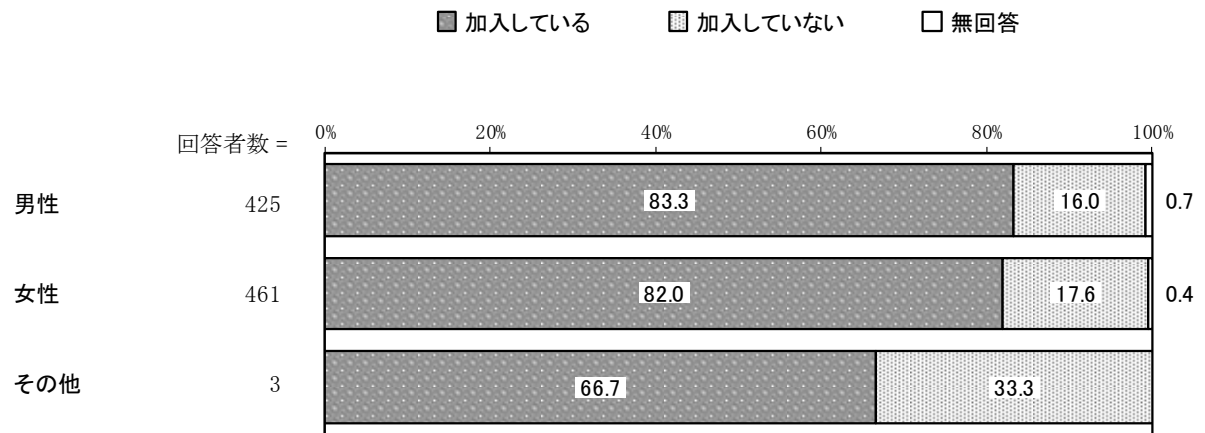
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

「加入している」の割合が82.5%、「加入していない」の割合が16.9%となっています。令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



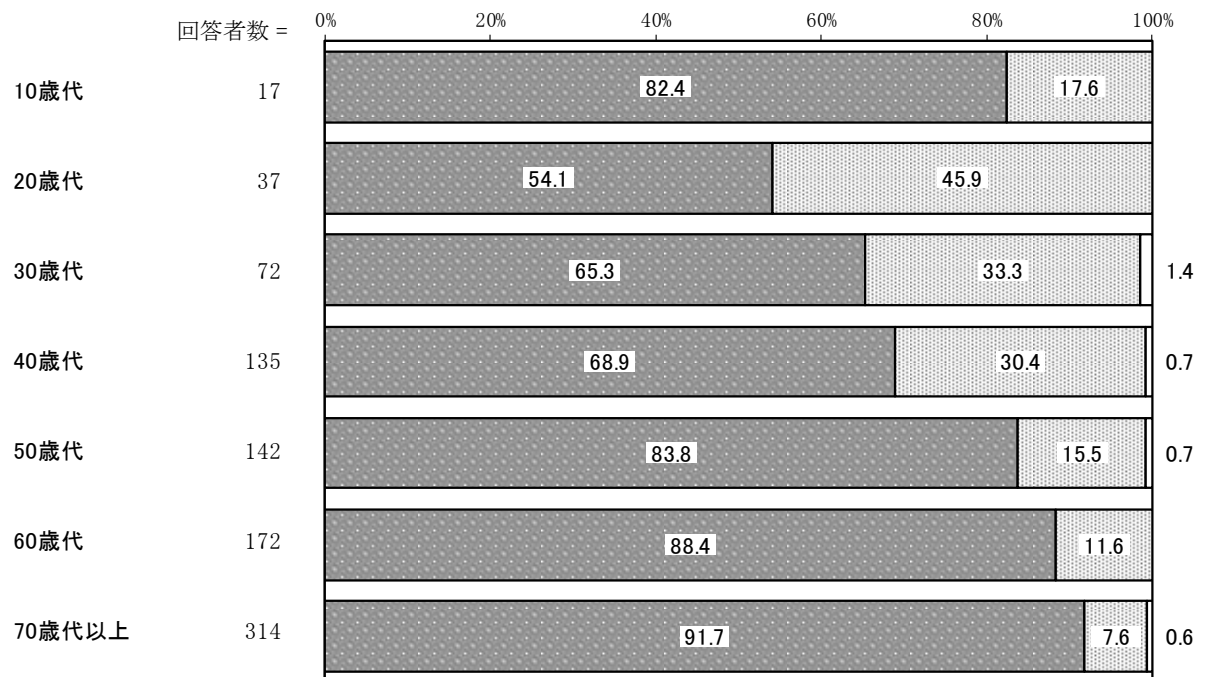
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



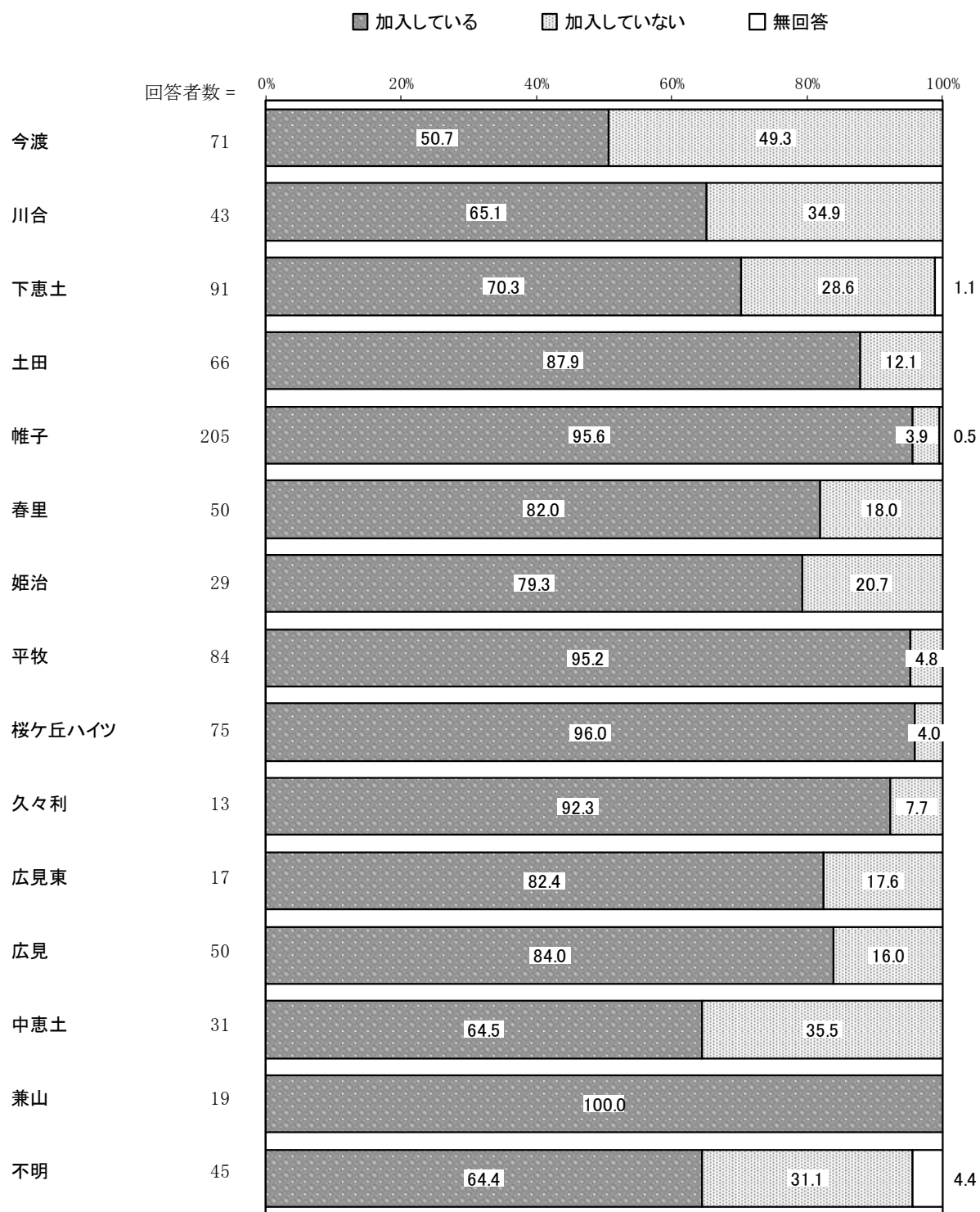
【年代別】

年代別でみると、20歳代から年代が高くなるにつれ、「加入している」の割合が高く、70歳代以上で9割を超えています。



【居住地区別】

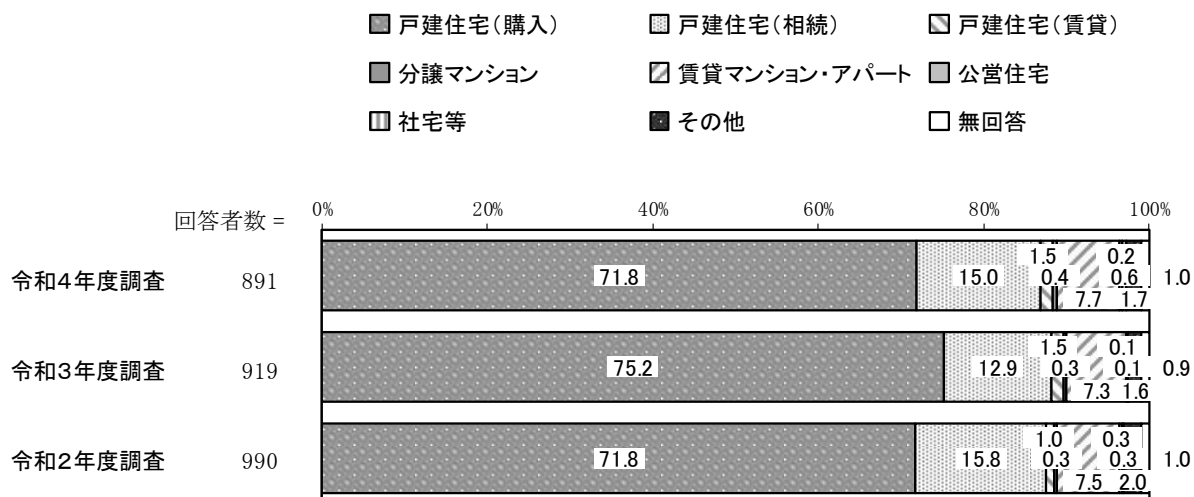
居住地区別でみると、他に比べ、兼山で「加入している」の割合が高く、10割となっています。また、今渡で「加入していない」の割合が高く、約5割となっています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「戸建住宅（購入）」の割合が71.8%と最も高く、次いで「戸建住宅（相続）」の割合が15.0%となっています。

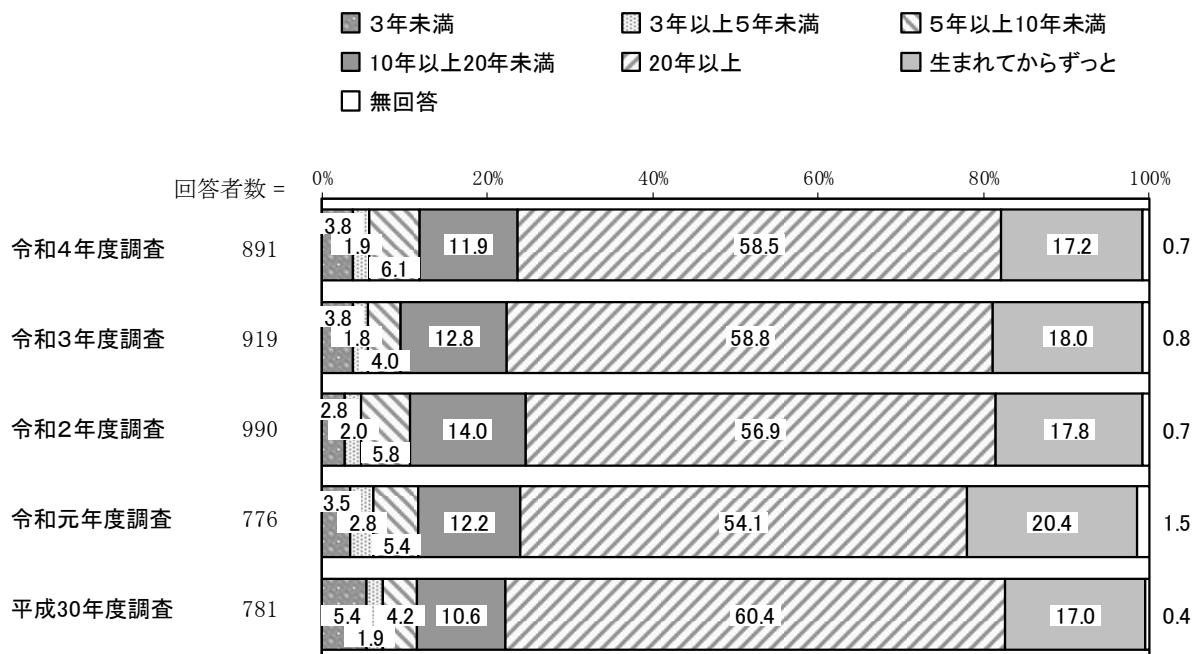
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(〇は1つだけ)

「20年以上」の割合が58.5%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が17.2%、「10年以上20年未満」の割合が11.9%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降「生まれてからずっと」の割合が減少する傾向がみられます。



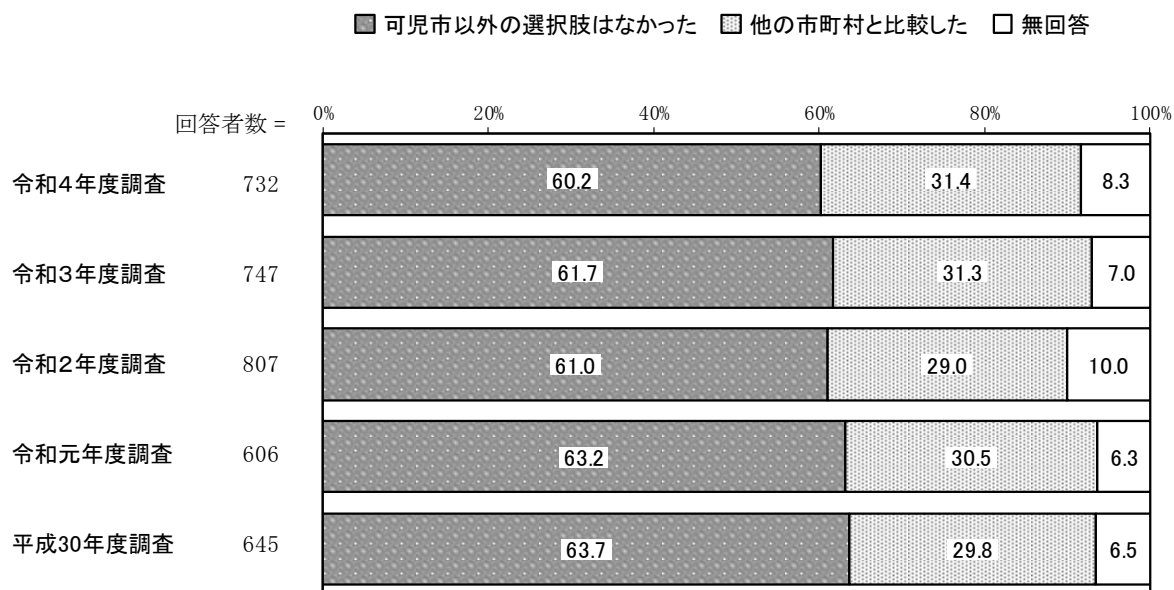
（２）可児市への居住理由について

【問８で１～５を選択された方に伺います】

問９ どのように可児市を転居先に選ばれましたか。（○は１つだけ）

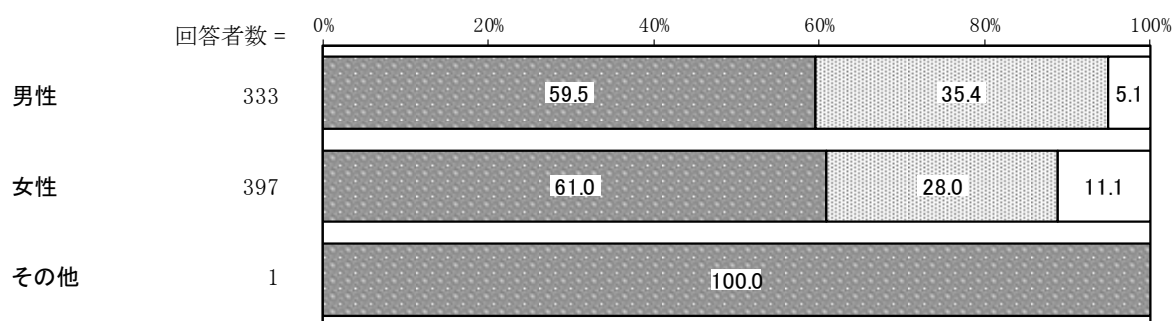
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が 60.2%、「他の市町村と比較した」の割合が 31.4% となっています。

令和３年度以前の調査と比較すると、「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が減少する傾向がみられます。



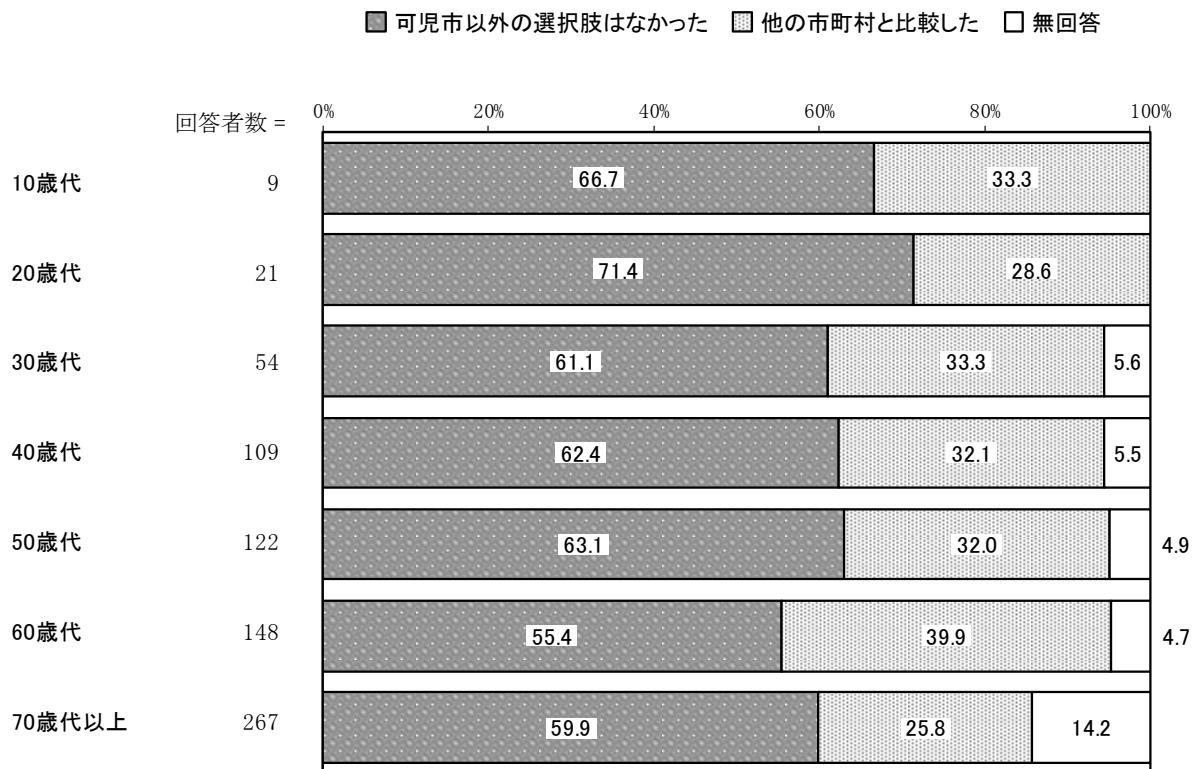
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「他の市町村と比較した」の割合が高く、３割半ばとなっています。



【年代別】

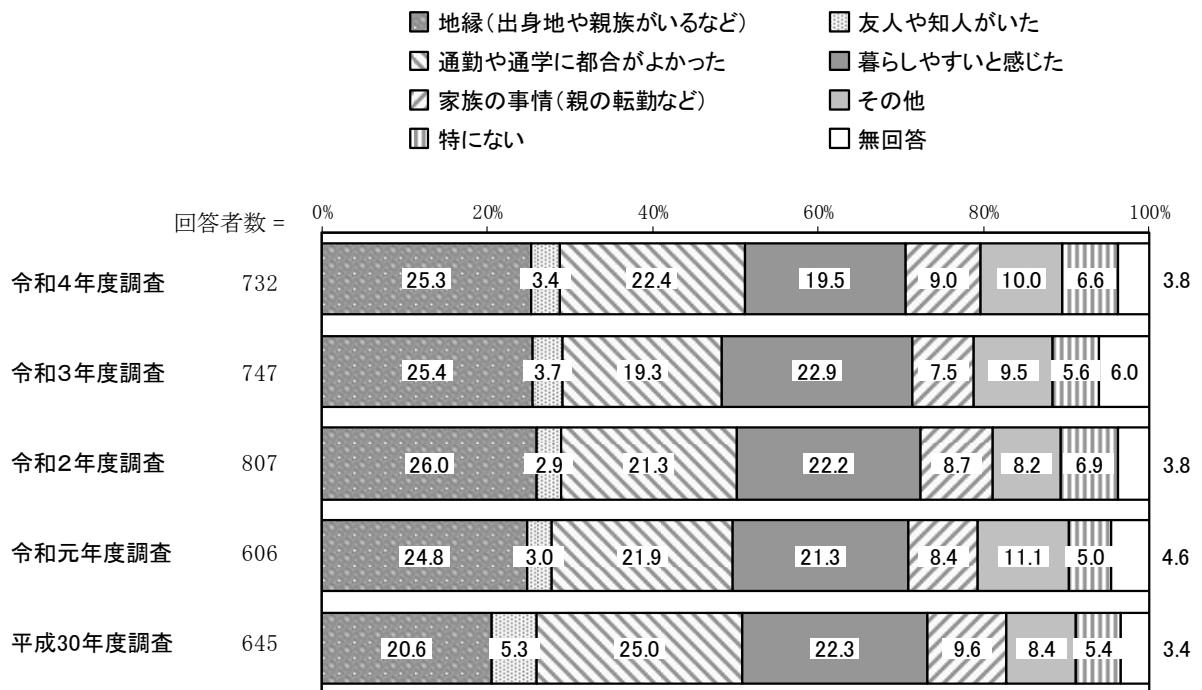
年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、約4割となっています。



問 10 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

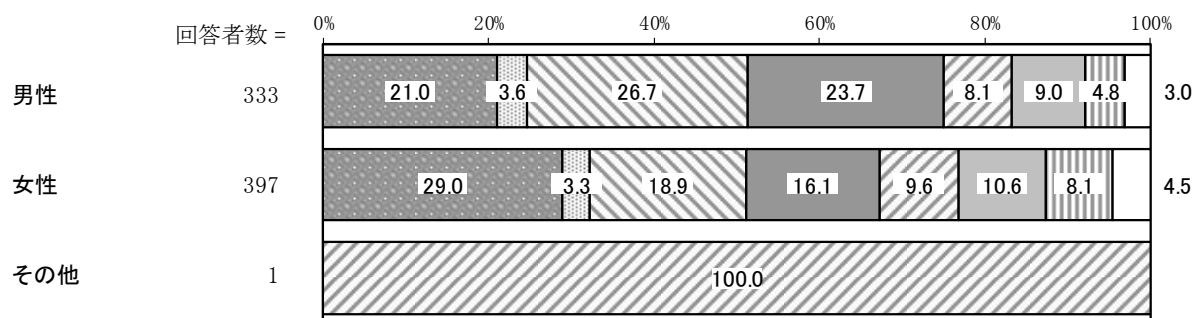
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 22.4%、「暮らしやすいと感じた」の割合が 19.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



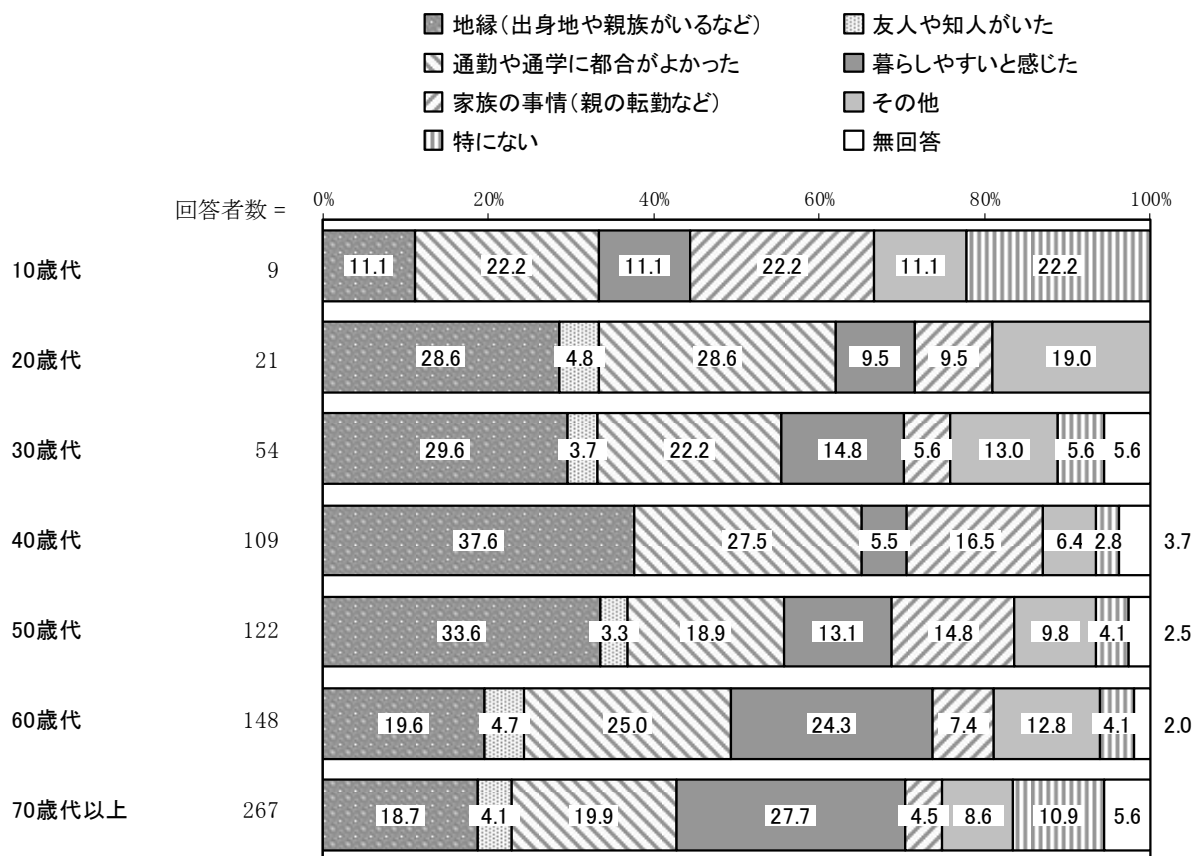
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、約3割となっています。一方、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合が良かった」「暮らしやすいと感じた」の割合が高くなっています。



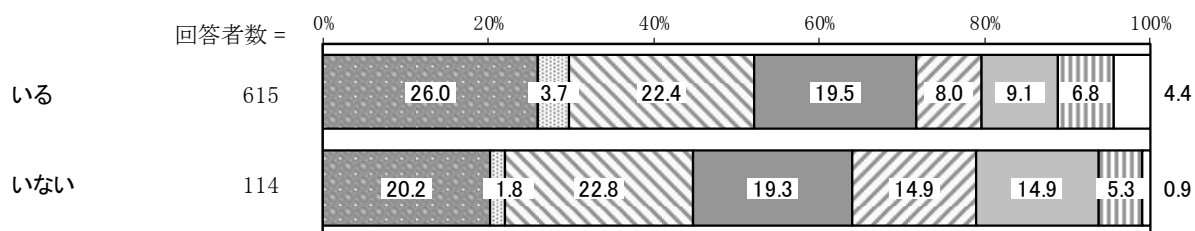
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「家族の事情（親の転勤など）」「特にない」の割合が高く、2 割を超えています。



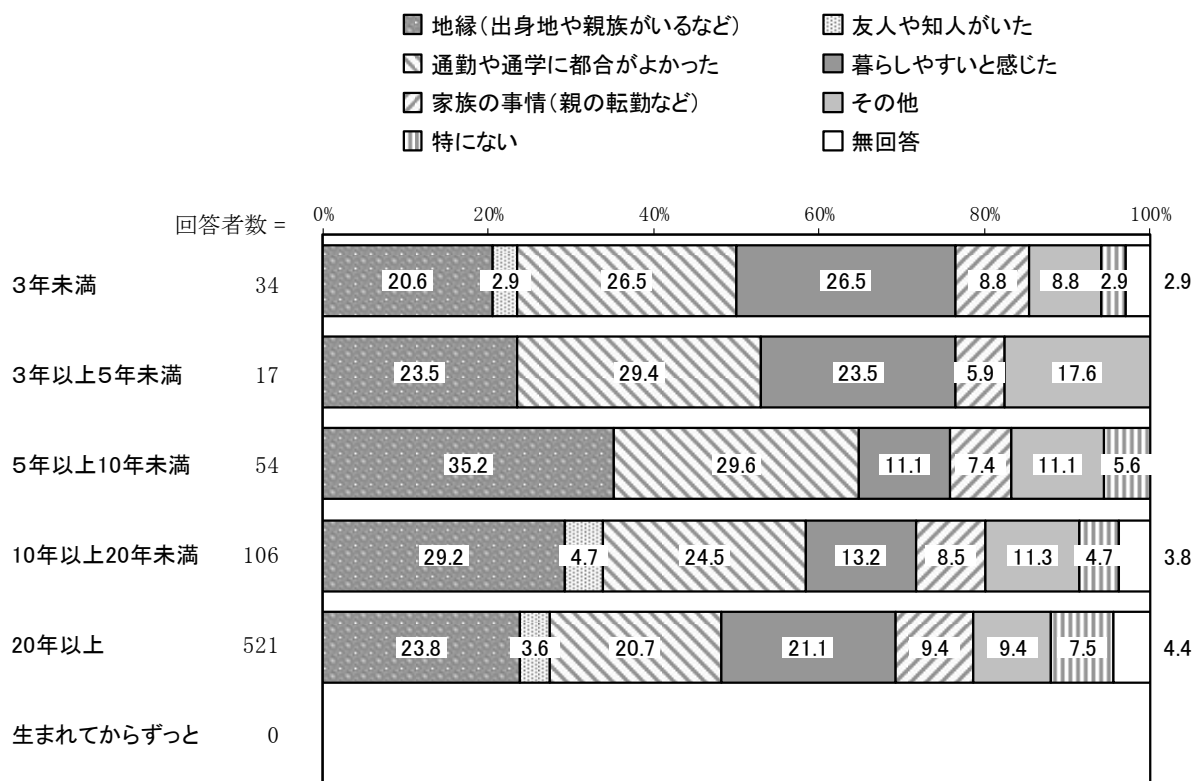
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、2 割半ばとなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」「その他」の割合が高く、1 割半ばとなっています。



【居住年数別】

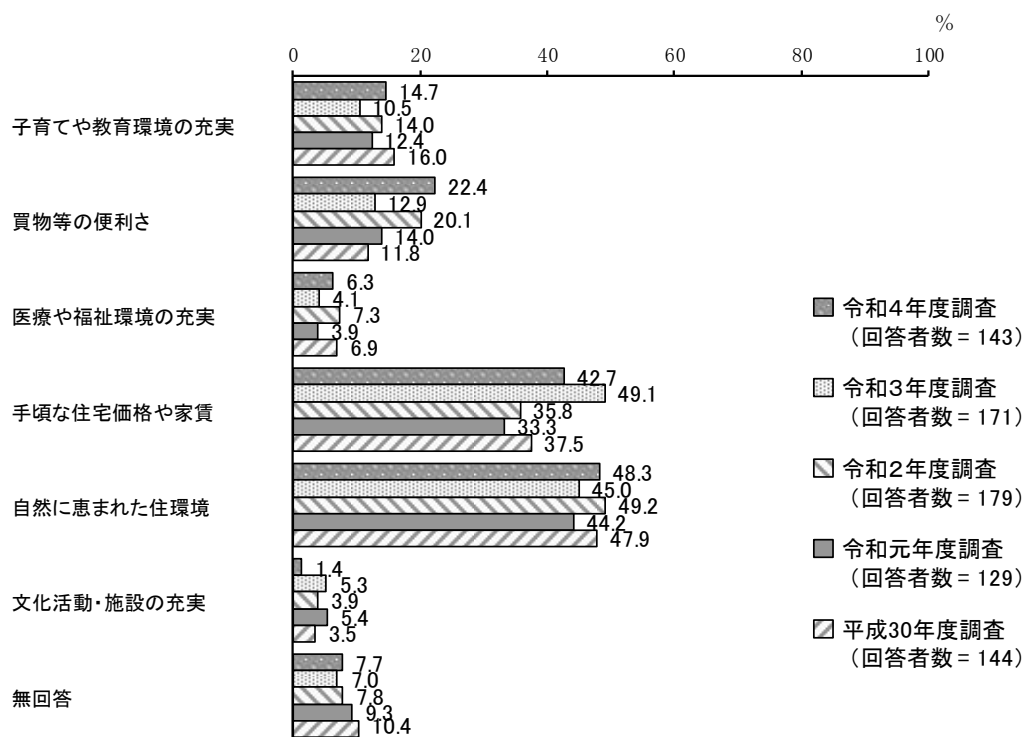
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、3年以上5年未満で「その他」の割合が高く、2割近くとなっています。



暮らしやすいと感じた理由

「自然に恵まれた住環境」の割合が48.3%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が42.7%、「買物等の便利さ」の割合が22.4%となっています。

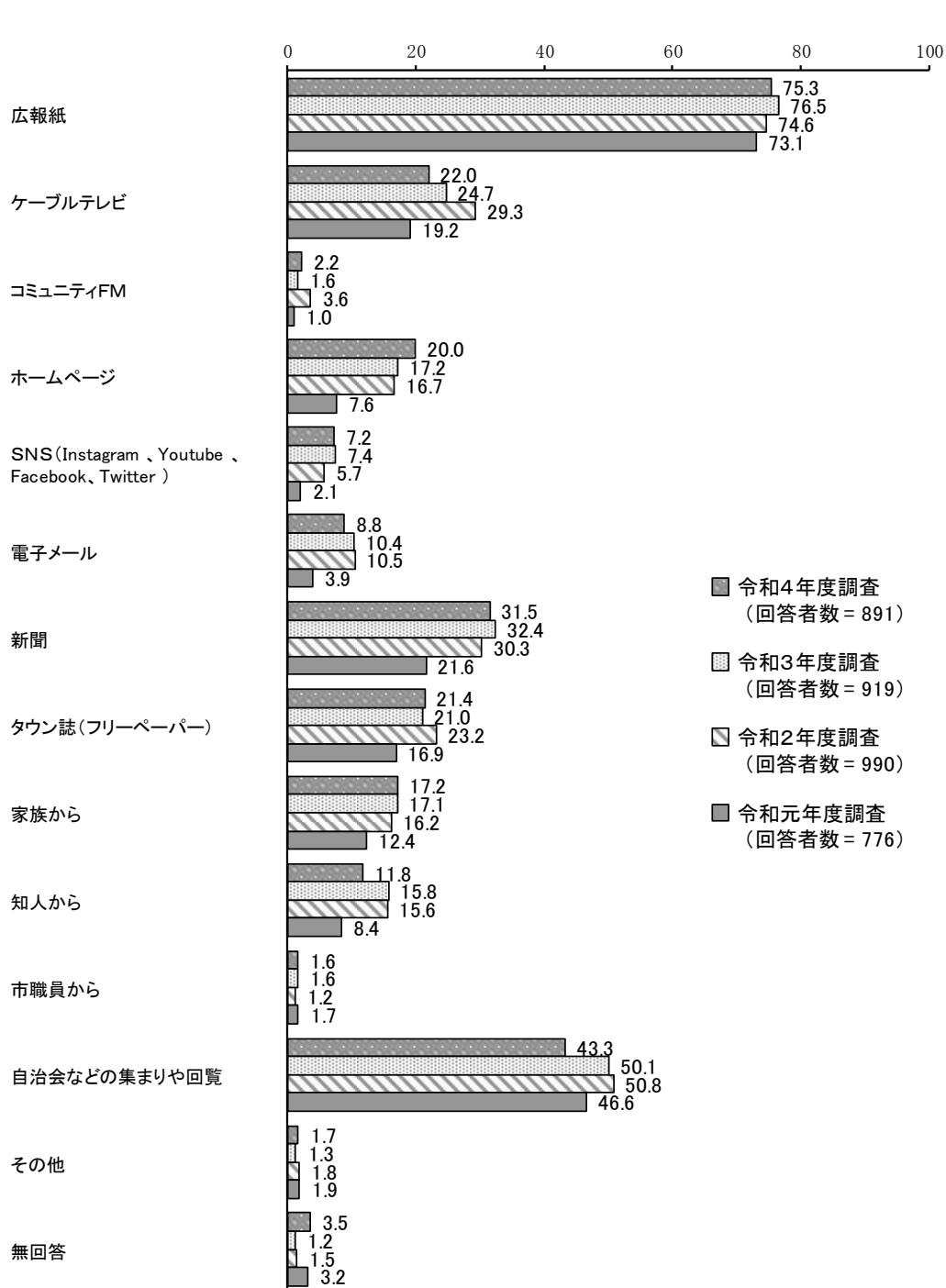
令和3年度以前の調査と比較すると、「買物等の便利さ」の割合が増加し、「手頃な住宅価格や家賃」の割合が減少しています。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が75.3%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が43.3%、「新聞」の割合が31.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「ホームページ」の割合が増加する傾向がみられます。また、「自治会などの集まりや回覧」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter)」「タウン誌 (フリーペーパー)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter)	電子メール	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	425	75.8	22.8	2.4	19.5	4.5	7.1	31.5	18.6	15.8	9.4	1.6	42.4	2.4	4.5
女性	461	75.1	21.3	2.2	20.4	9.8	10.4	31.9	24.3	18.7	14.1	1.5	44.5	1.1	2.6
その他	3	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—

【年代別】

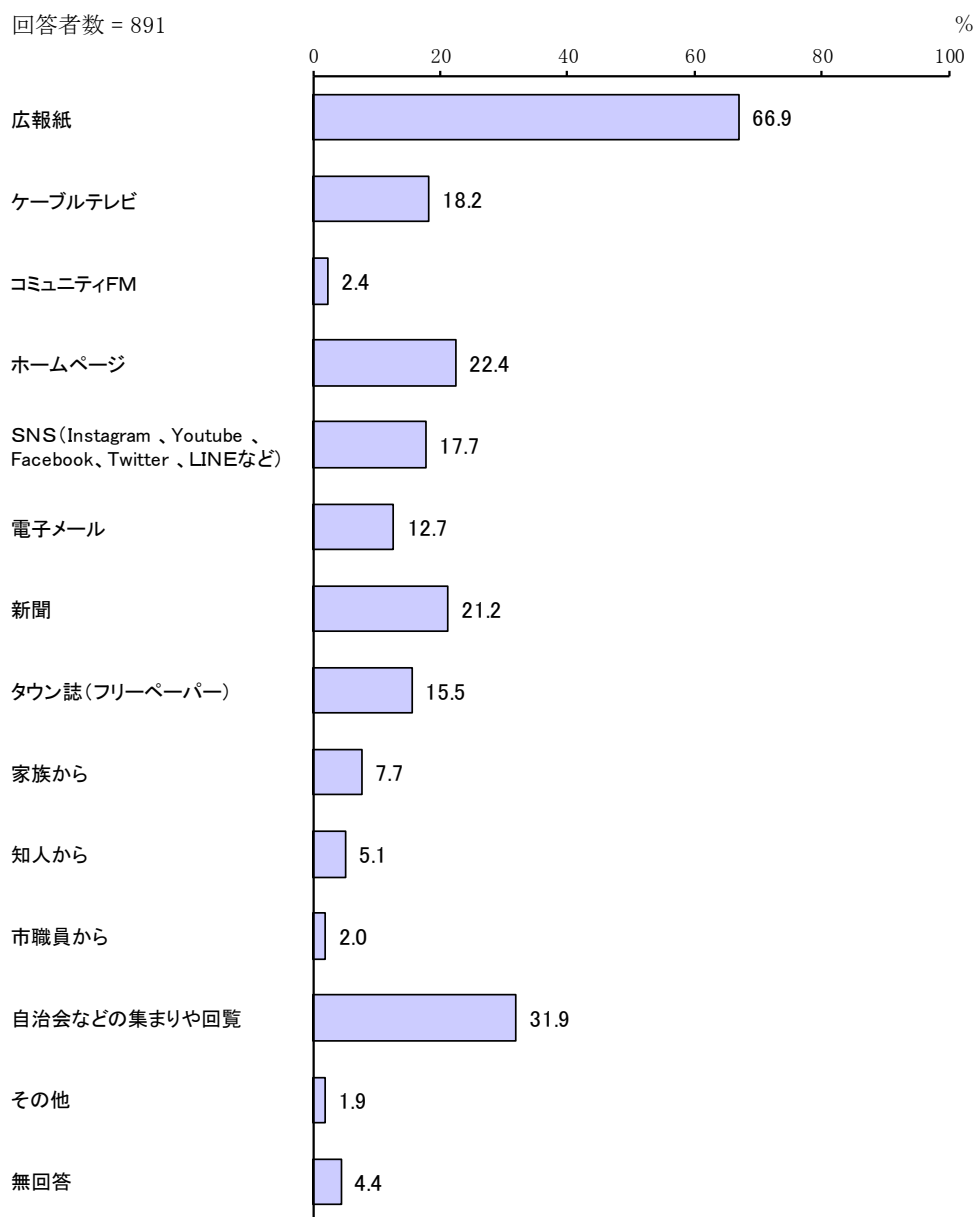
年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「知人から」の割合が高く、約 3 割となっています。また、年代が下がるにつれ「家族から」の割合高く、10 歳代で 6 割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter)	電子メール	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10 歳代	17	41.2	17.6	—	23.5	11.8	—	17.6	11.8	58.8	5.9	—	11.8	—	5.9
20 歳代	37	48.6	13.5	2.7	18.9	24.3	5.4	10.8	27.0	56.8	29.7	—	10.8	—	2.7
30 歳代	72	59.7	15.3	1.4	23.6	29.2	18.1	8.3	22.2	27.8	9.7	1.4	26.4	2.8	1.4
40 歳代	135	68.9	17.0	1.5	31.1	13.3	14.8	20.0	36.3	20.0	18.5	3.0	27.4	4.4	1.5
50 歳代	142	77.5	18.3	3.5	27.5	3.5	14.1	28.9	23.2	18.3	10.6	2.8	40.1	1.4	1.4
60 歳代	172	86.6	19.8	2.9	22.1	3.5	7.6	31.4	22.7	8.1	6.4	2.3	54.1	0.6	1.7
70 歳代以上	314	79.3	29.6	1.9	9.9	1.0	3.2	46.5	13.1	11.1	11.1	0.3	55.1	1.3	6.7

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。（回答複数可）

「広報紙」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が 31.9%、「ホームページ」の割合が 22.4%となっています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）」「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	425	68.9	20.2	2.6	23.1	15.1	12.2	22.6	12.5	6.1	4.7	3.1	34.4	2.8	4.0
女性	461	65.3	16.3	2.2	21.7	20.4	13.0	20.2	18.4	9.3	5.4	1.1	29.9	1.1	4.8
その他	3	—	33.3	—	66.7	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

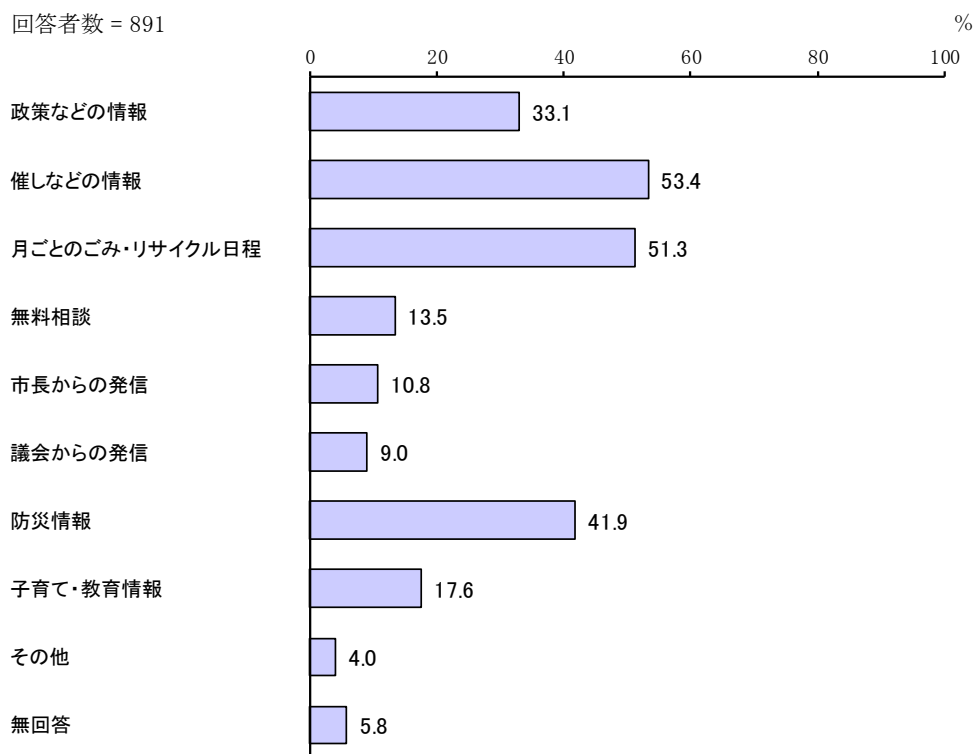
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「広報紙」「ケーブルテレビ」「自治会などの集まりや回覧」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10 歳代	17	23.5	5.9	—	17.6	35.3	—	11.8	11.8	35.3	—	—	17.6	5.9	—
20 歳代	37	35.1	8.1	2.7	32.4	51.4	13.5	8.1	18.9	24.3	13.5	—	5.4	8.1	2.7
30 歳代	72	48.6	16.7	—	26.4	48.6	19.4	4.2	18.1	12.5	6.9	4.2	11.1	—	1.4
40 歳代	135	54.8	13.3	2.2	31.9	33.3	17.8	14.8	23.7	9.6	5.9	—	14.8	3.7	2.2
50 歳代	142	59.9	16.9	3.5	26.1	19.7	24.6	14.1	18.3	4.9	2.1	0.7	25.4	2.8	2.1
60 歳代	172	83.1	17.4	2.9	29.1	8.7	11.0	22.7	14.0	2.9	1.7	4.1	39.5	1.2	2.3
70 歳代以上	314	76.8	23.6	2.2	11.1	3.2	5.1	32.5	10.5	6.4	6.7	2.2	46.5	0.6	8.6

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。（回答複数可）

「催しなどの情報」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「月ごとのごみ・リサイクル日程」の割合が 51.3%、「防災情報」の割合が 41.9%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」「議会からの発信」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「催しなどの情報」「月ごとのごみ・リサイクル日程」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
男性	425	41.2	49.4	47.3	11.8	11.8	12.9	41.6	16.2	4.2	5.9
女性	461	25.6	57.7	55.3	15.2	9.8	5.4	42.3	19.1	3.7	5.9
その他	3	—	—	33.3	—	—	—	33.3	—	33.3	—

【年代別】

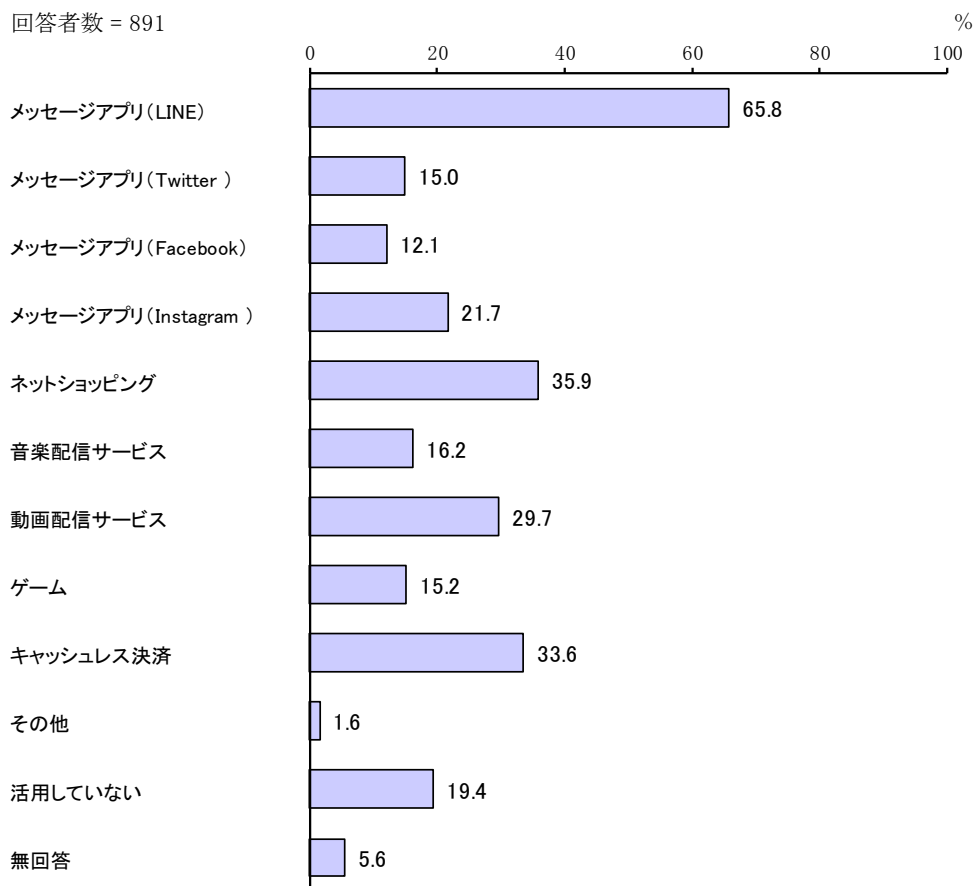
年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「催しなどの情報」の割合が高くなっています。また、年代が上がるにつれ「政策などの情報」の割合が高くなる傾向がみられ、60 歳代、70 歳代以上で4割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	政策などの 情報	催しなどの 情報	月ごとのごみ・リサイクル日程	無料相談	市長からの 発信	議会からの 発信	防災情報	子育て・ 教育情報	その他	無回答
10 歳代	17	11.8	64.7	29.4	5.9	—	—	29.4	5.9	11.8	—
20 歳代	37	27.0	40.5	48.6	18.9	5.4	2.7	16.2	48.6	2.7	2.7
30 歳代	72	19.4	54.2	43.1	12.5	4.2	1.4	41.7	61.1	5.6	2.8
40 歳代	135	26.7	51.1	57.8	12.6	8.9	6.7	40.7	40.0	5.9	3.7
50 歳代	142	33.1	52.1	62.7	15.5	6.3	6.3	52.8	12.0	4.2	3.5
60 歳代	172	38.4	54.7	52.9	15.1	15.1	12.8	48.8	3.5	3.5	2.3
70 歳代以上	314	38.2	54.8	45.9	12.1	14.0	12.1	37.3	5.4	2.9	11.1

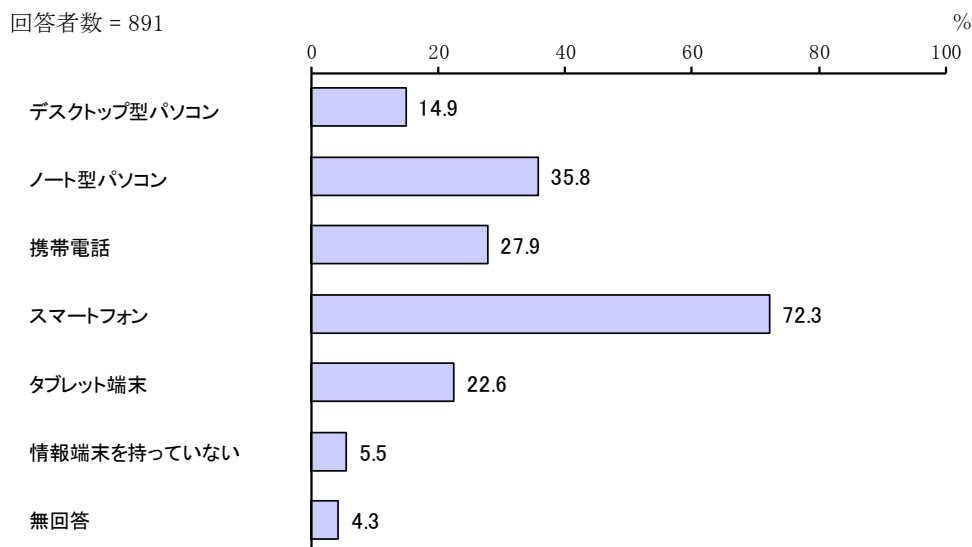
問 14 あなたは、どのようなデジタルサービスを活用していますか。(回答複数可)

「メッセージアプリ (LINE)」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「ネットショッピング」の割合が 35.9%、「キャッシュレス決済」の割合が 33.6%となっています。



問 15 あなたが自分で自由に使える情報端末はどのようなものがありますか。
(回答複数可)

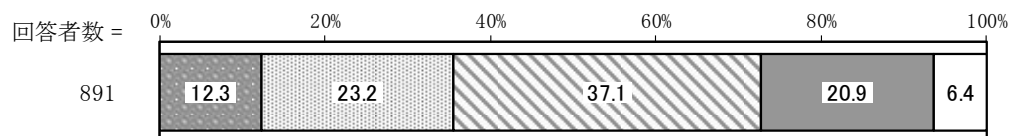
「スマートフォン」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「ノート型パソコン」の割合が 35.8%、「携帯電話」の割合が 27.9%となっています。



問 16 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

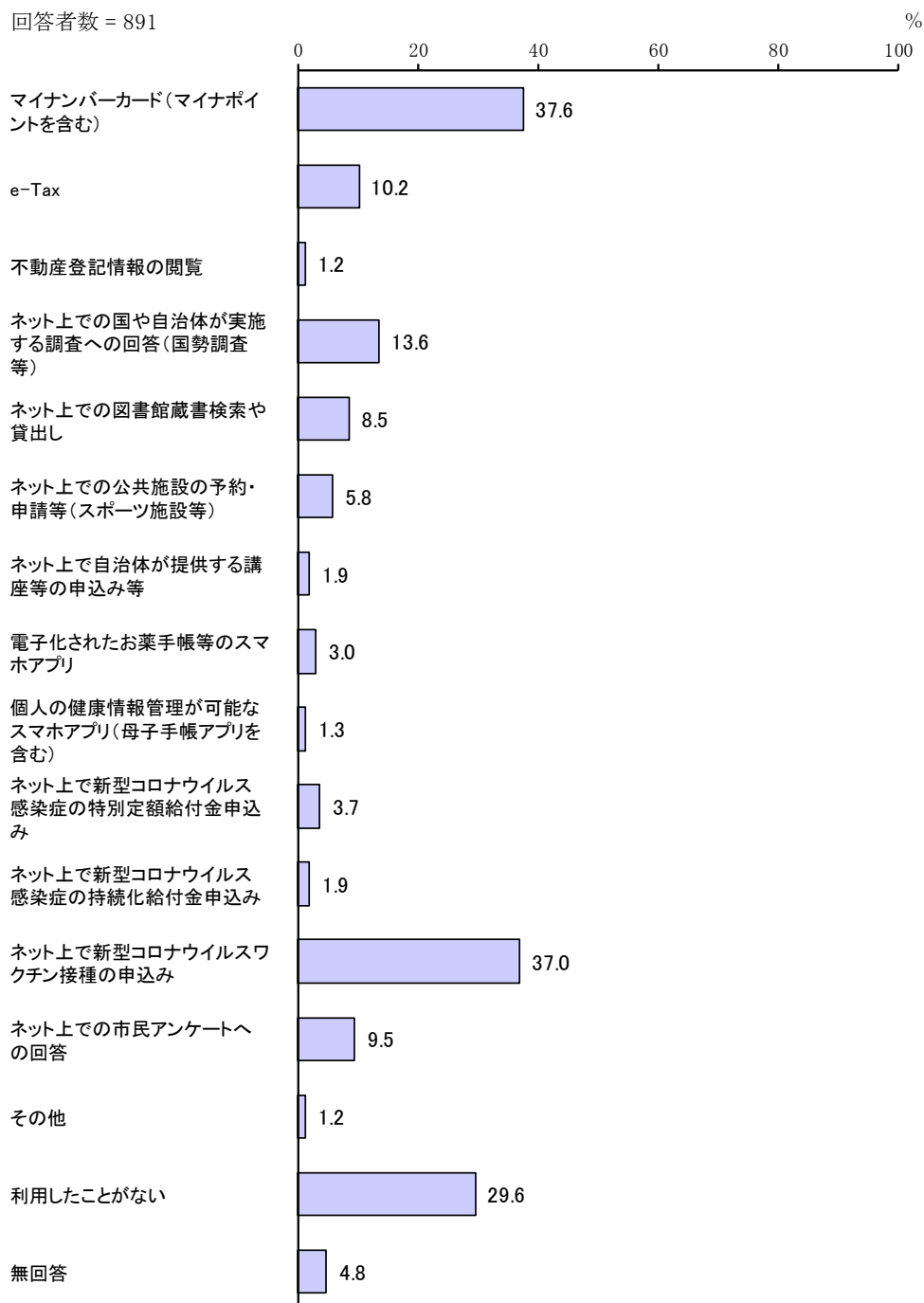
「どちらかといえば、メリットがあっても個人情報を登録したくない」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」の割合が 23.2%、「メリットがあっても個人情報を登録したくない」の割合が 20.9%となっています。

- ☐ 利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
- ☐ どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
- ☐ どちらかといえば、メリットがあっても個人情報を登録したくない
- ☐ メリットがあっても個人情報を登録したくない
- ☐ 無回答



問 17 デジタル公共サービスで利用したことがあるものはどれですか。(回答複数可)

「マイナンバーカード（マイナポイントを含む）」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「ネット上で新型コロナウイルスワクチン接種の申込み」の割合が 37.0%、「利用したことがない」の割合が 29.6%となっています。

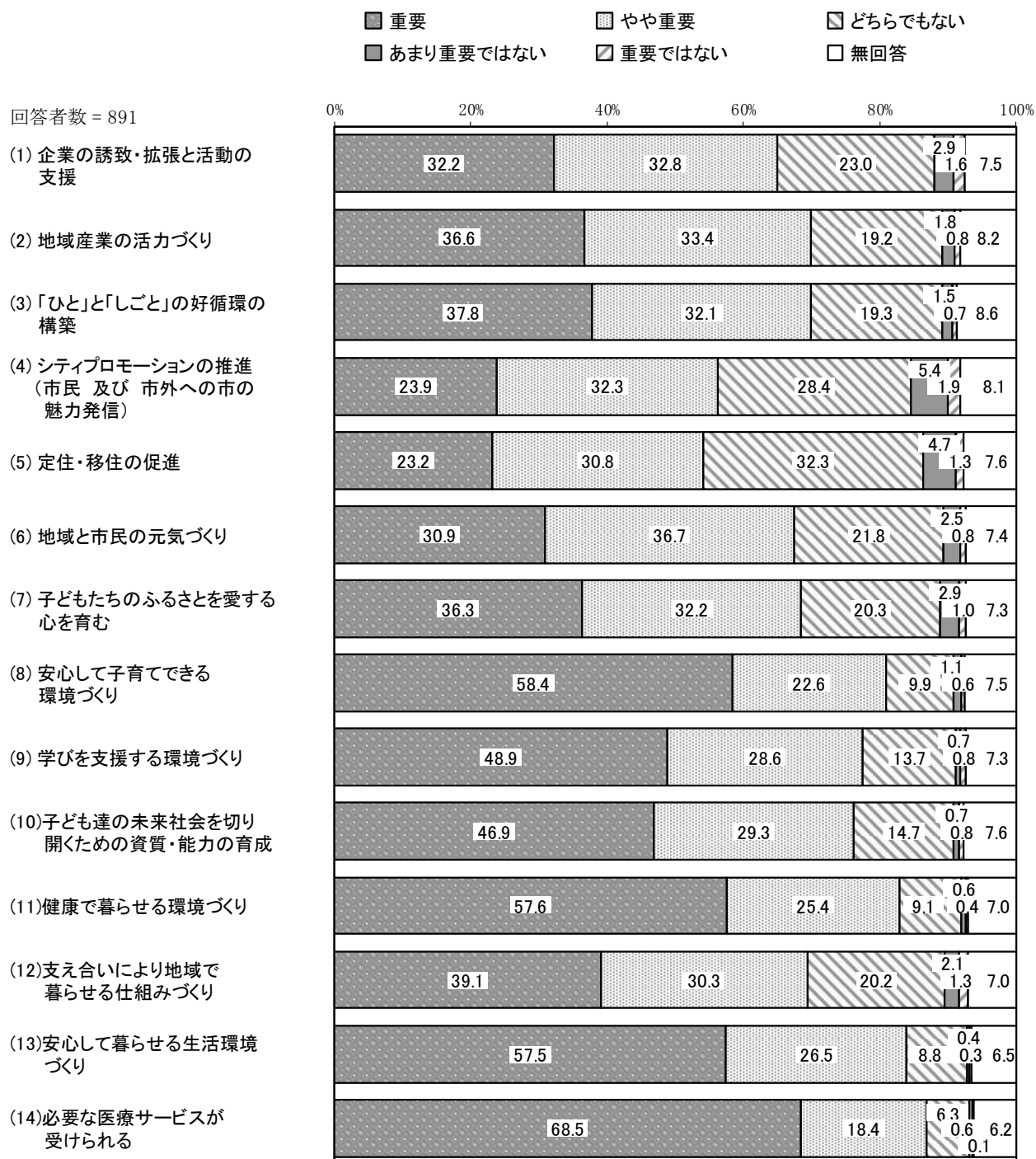


(3) 施策の重要度と満足度について

問 18 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。

①重要度

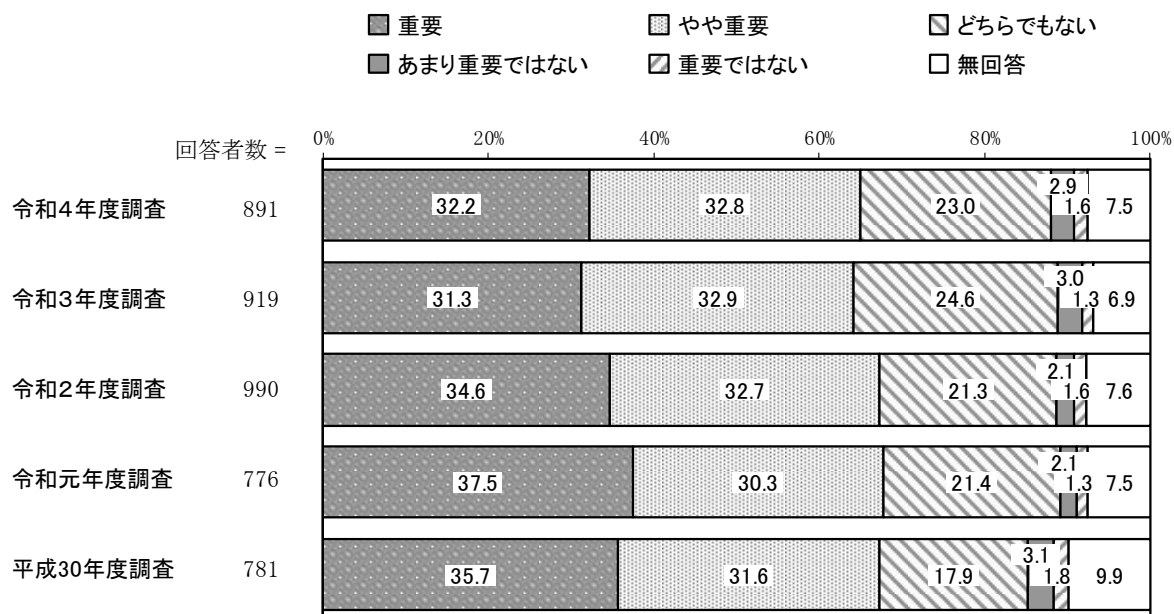
『(14) 必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

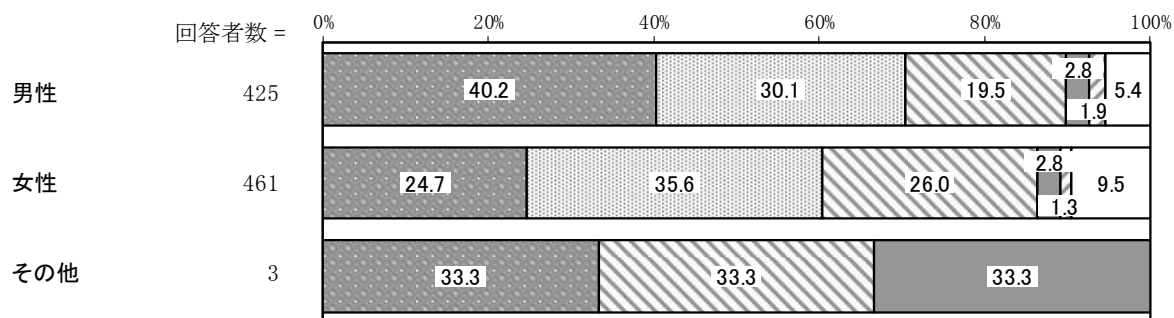
“重要”の割合が65.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が23.0%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



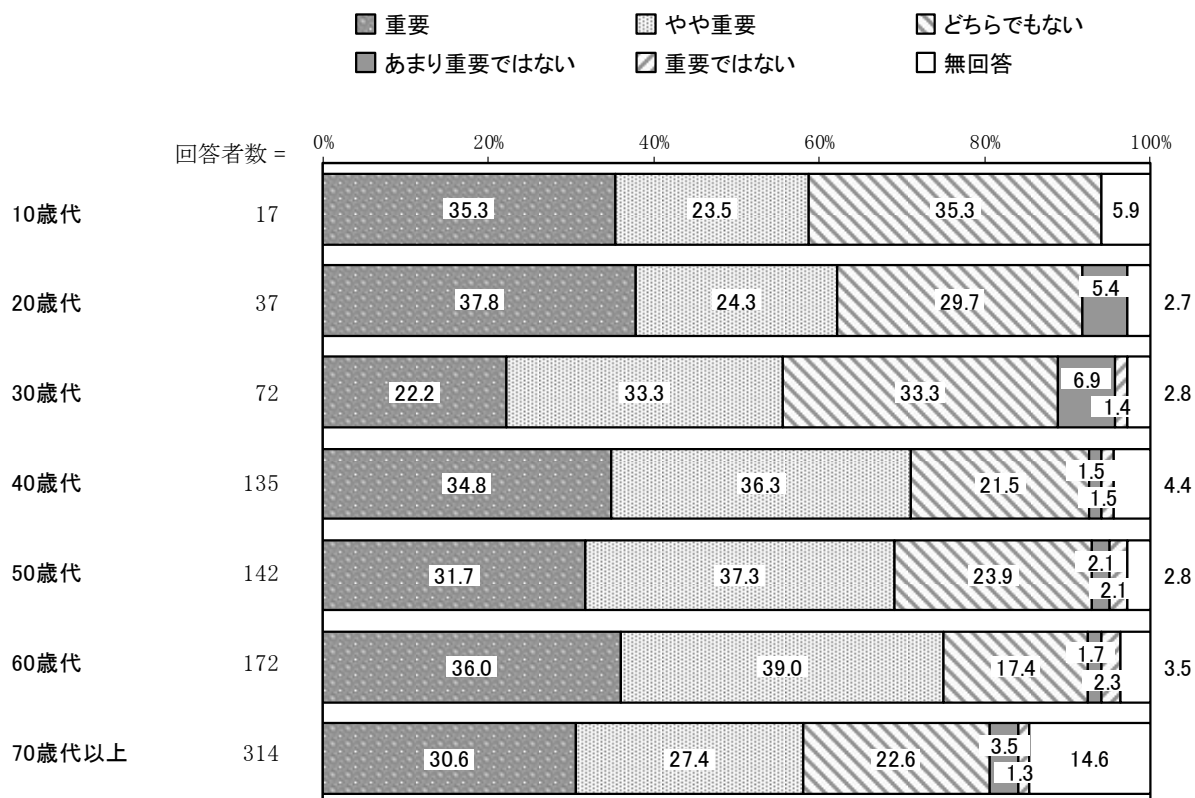
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



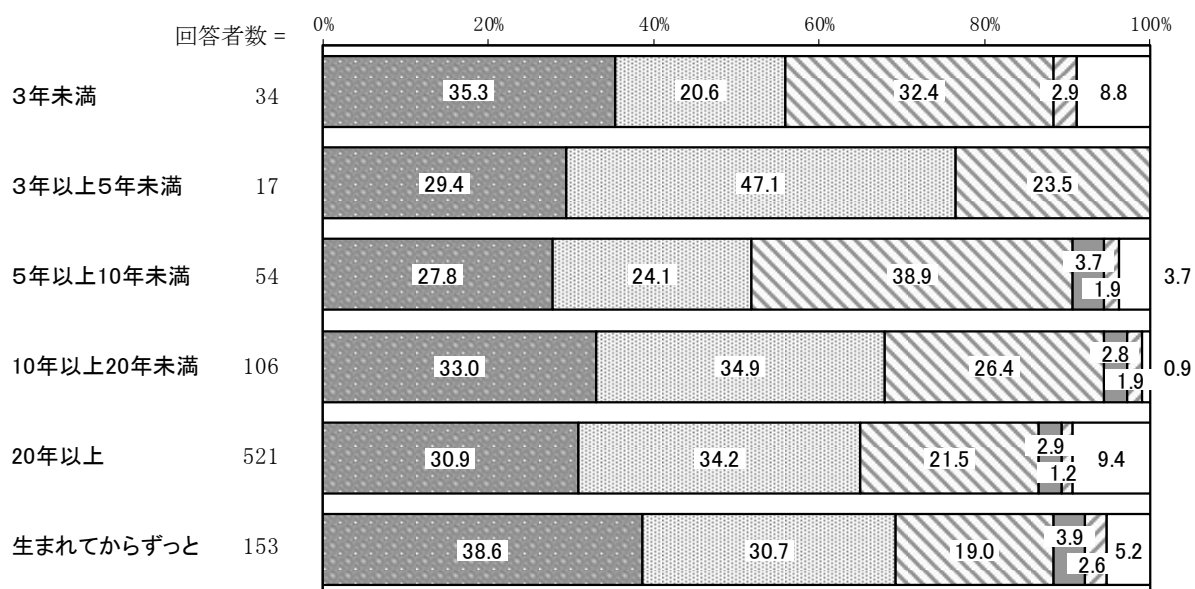
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



【居住年数別】

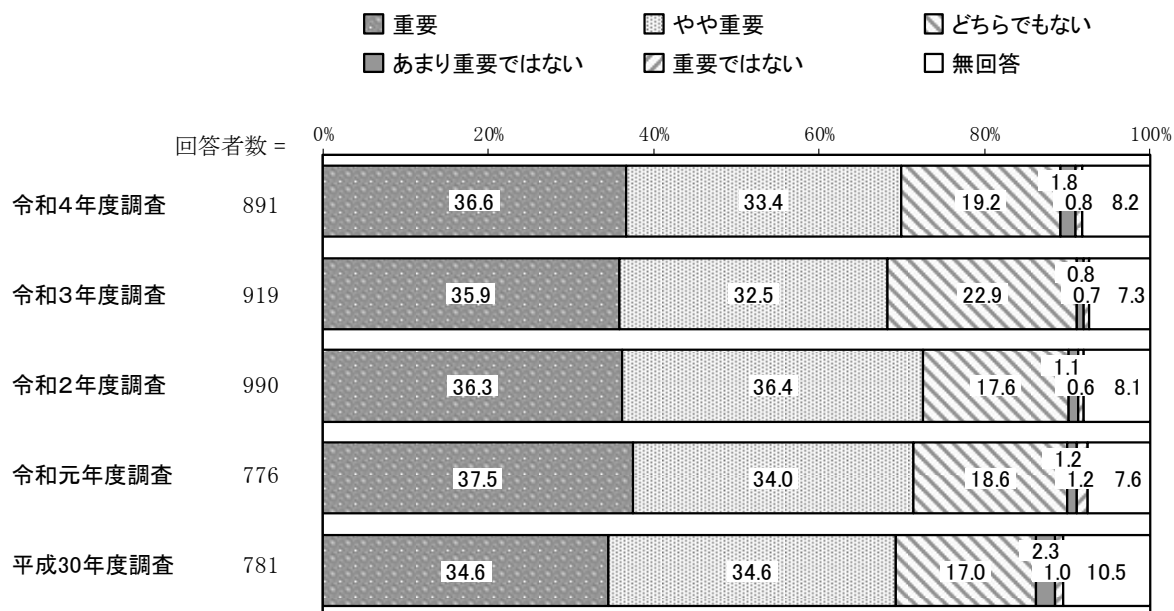
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

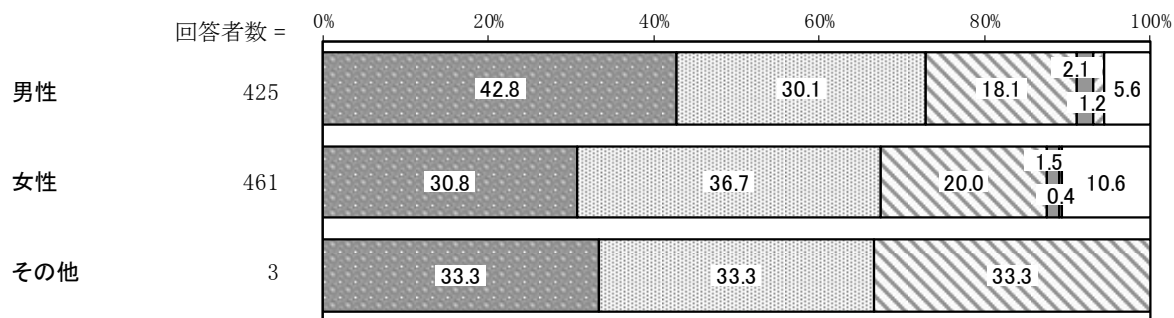
“重要”の割合が70.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が19.2%、“重要ではない”の割合が2.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



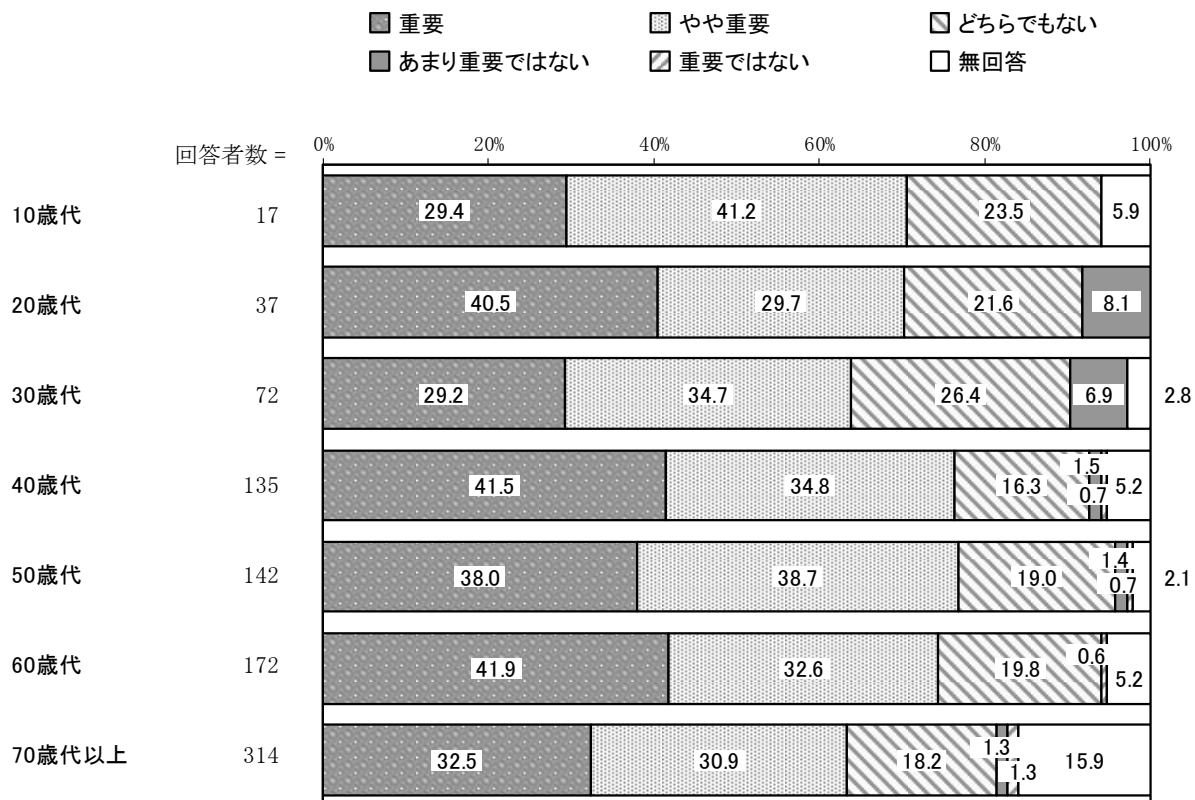
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



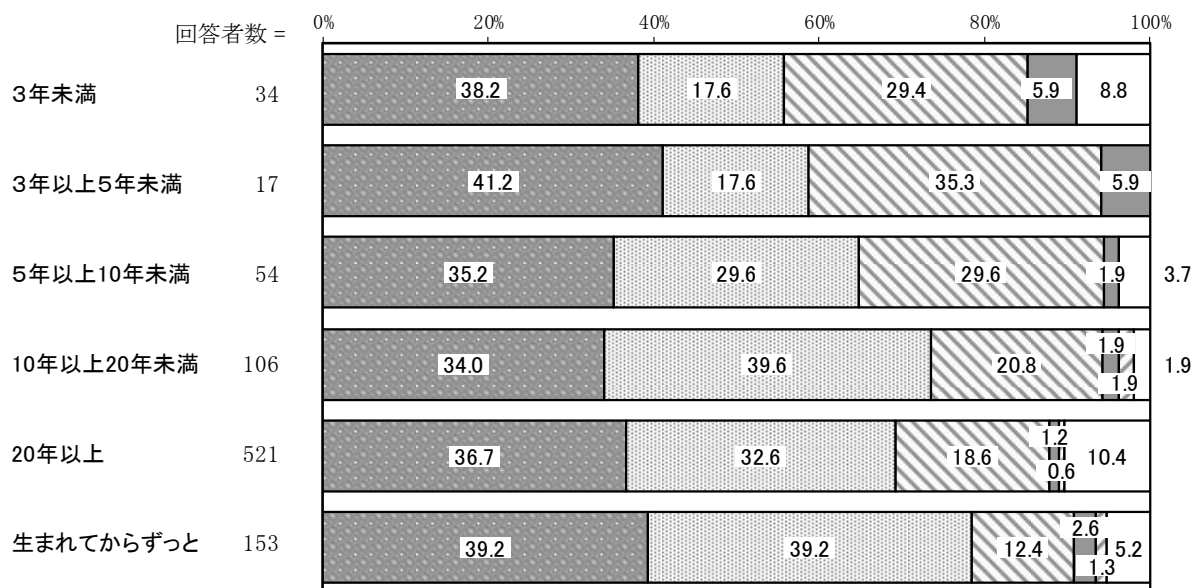
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代、50歳代で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



【居住年数別】

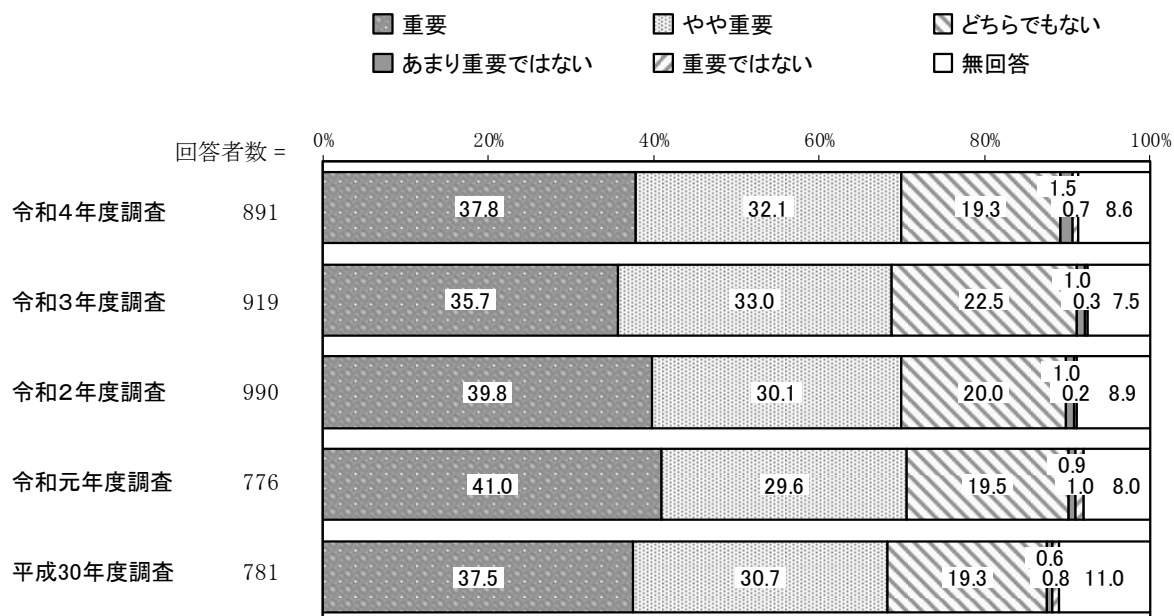
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

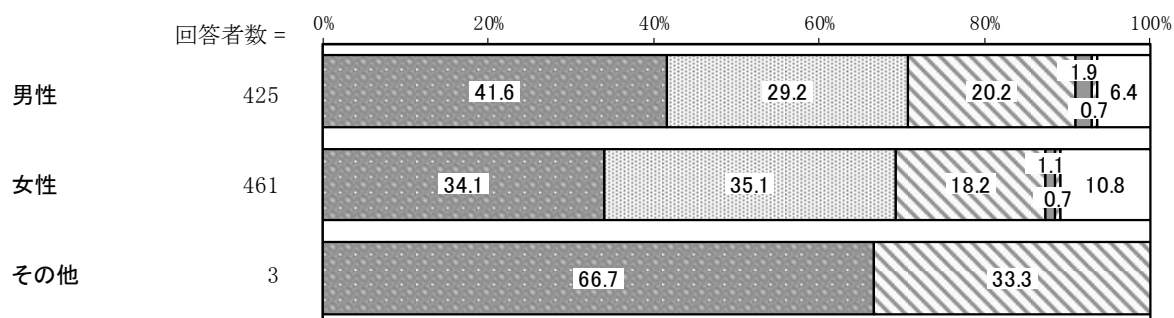
“重要”の割合が69.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が19.3%、“重要ではない”の割合が2.2%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



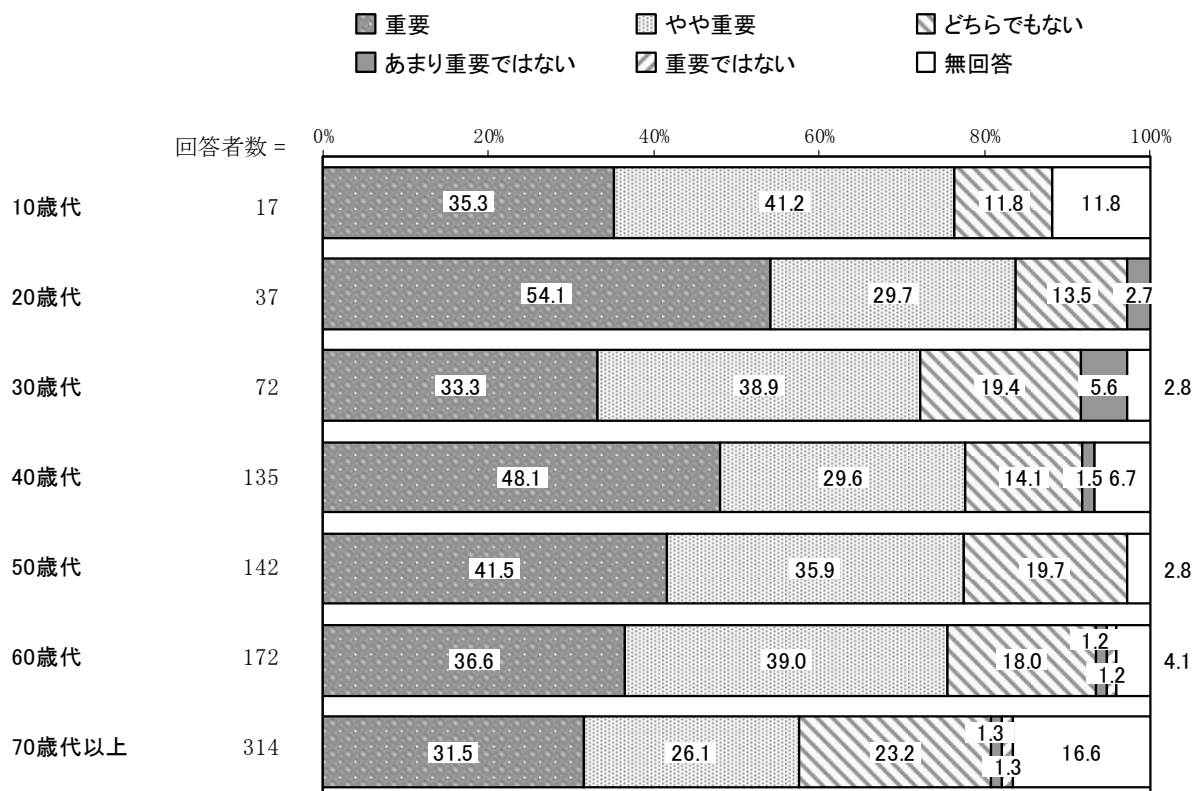
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



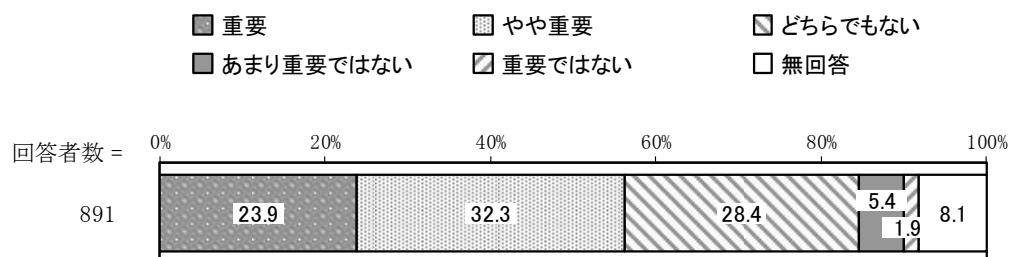
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代で“重要”の割合が低く、6割近くとなっています。



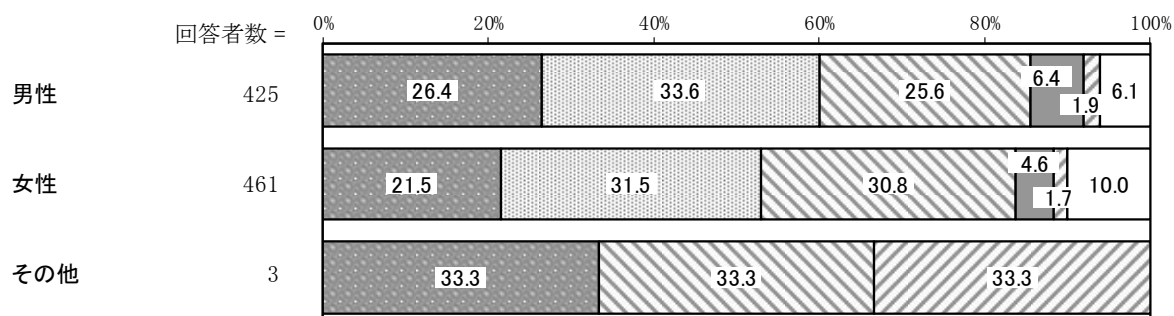
(4) シティプロモーションの推進（市民及び市外への市の魅力発信）

“重要”の割合が56.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が28.4%、“重要ではない”の割合が7.3%となっています。



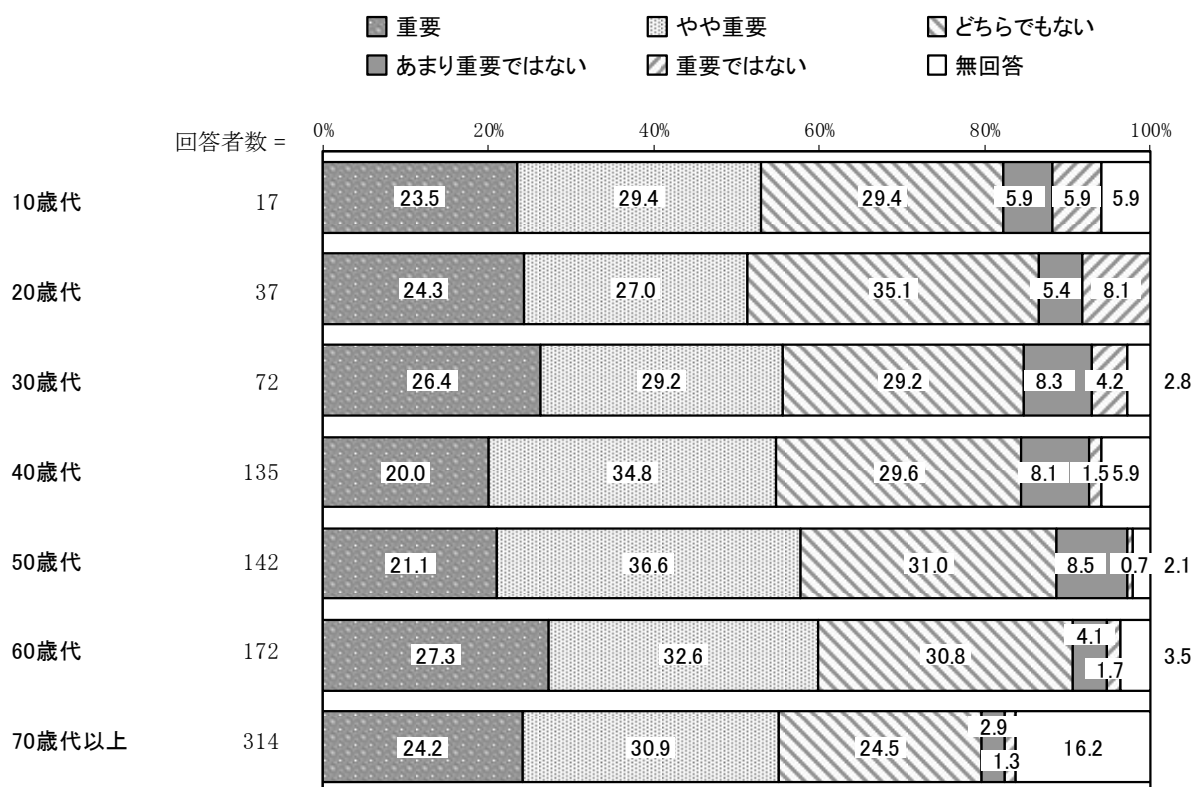
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、6割となっています。



【年代別】

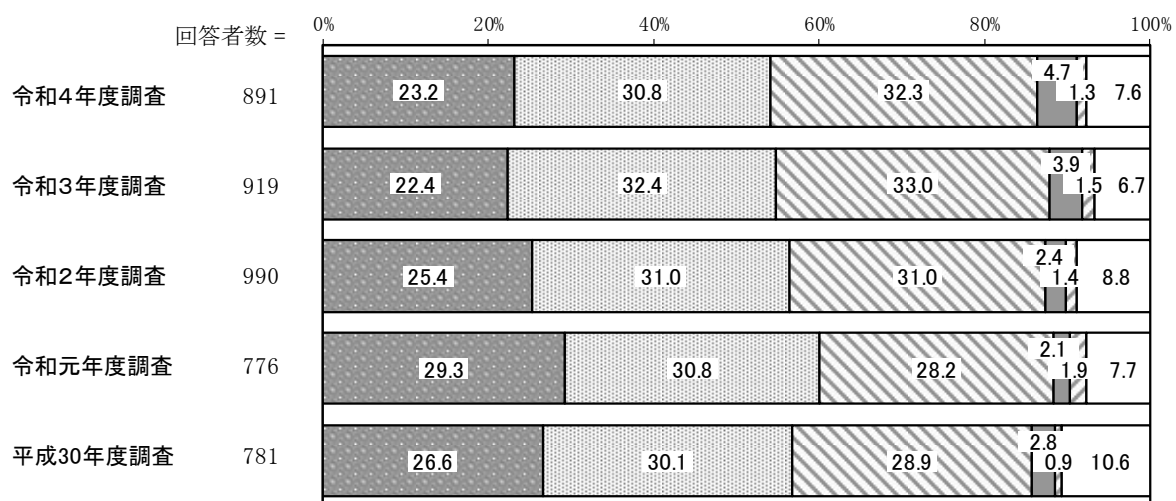
年代別でみると、大きな差異はみられません。



(5) 定住・移住の促進

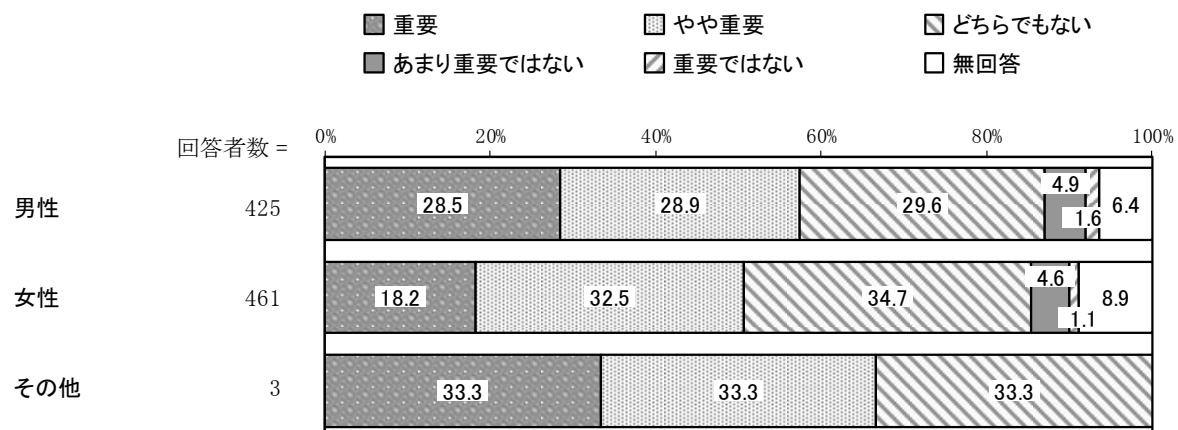
“重要”の割合が54.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が32.3%、“重要ではない”の割合が6.0%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降“重要”の割合が減少する傾向がみられます。



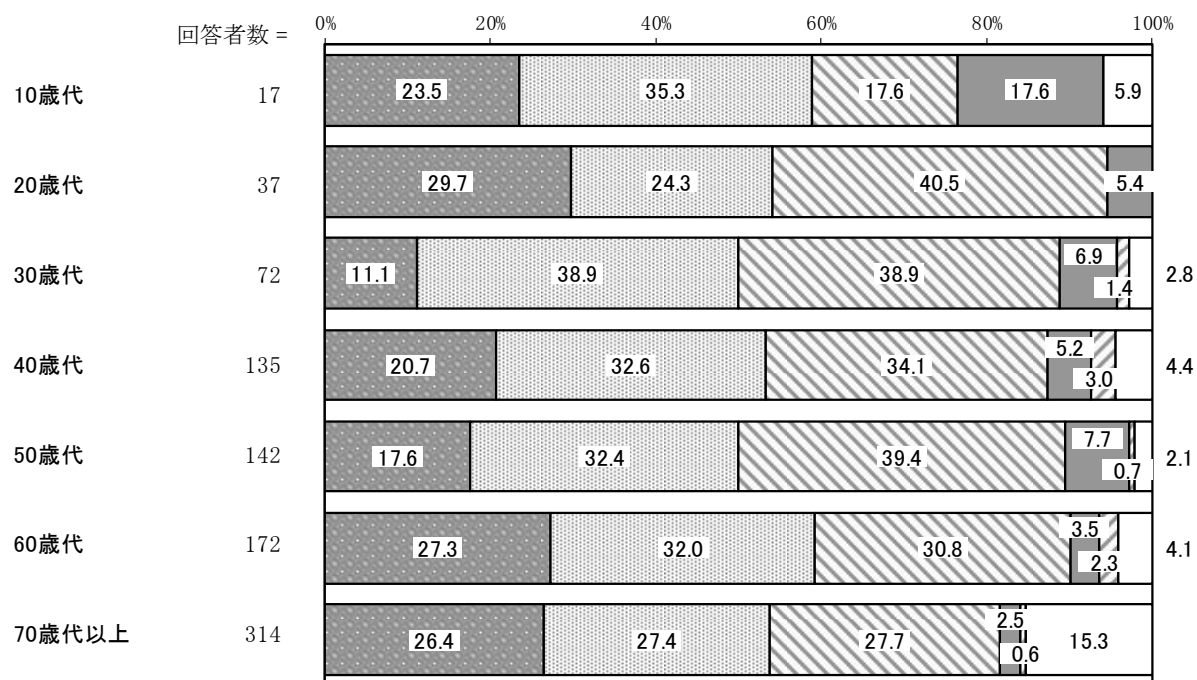
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、6割近くとなっています。



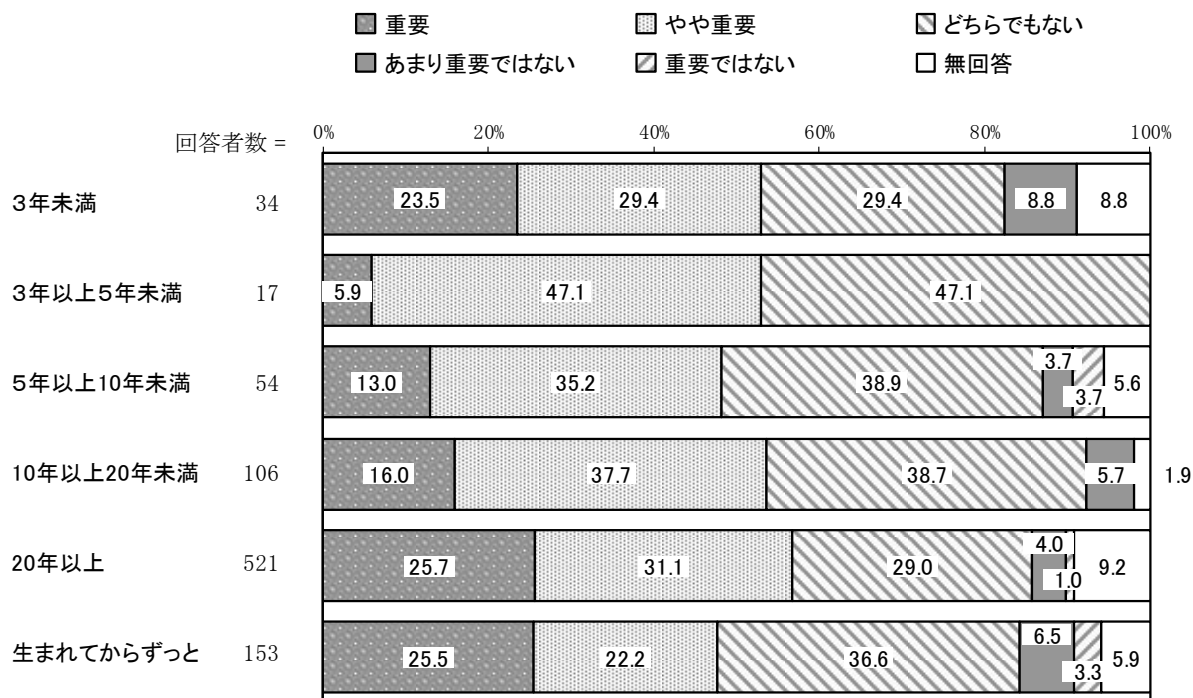
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要ではない”の割合が高く、2割近くとなっています。



【居住年数別】

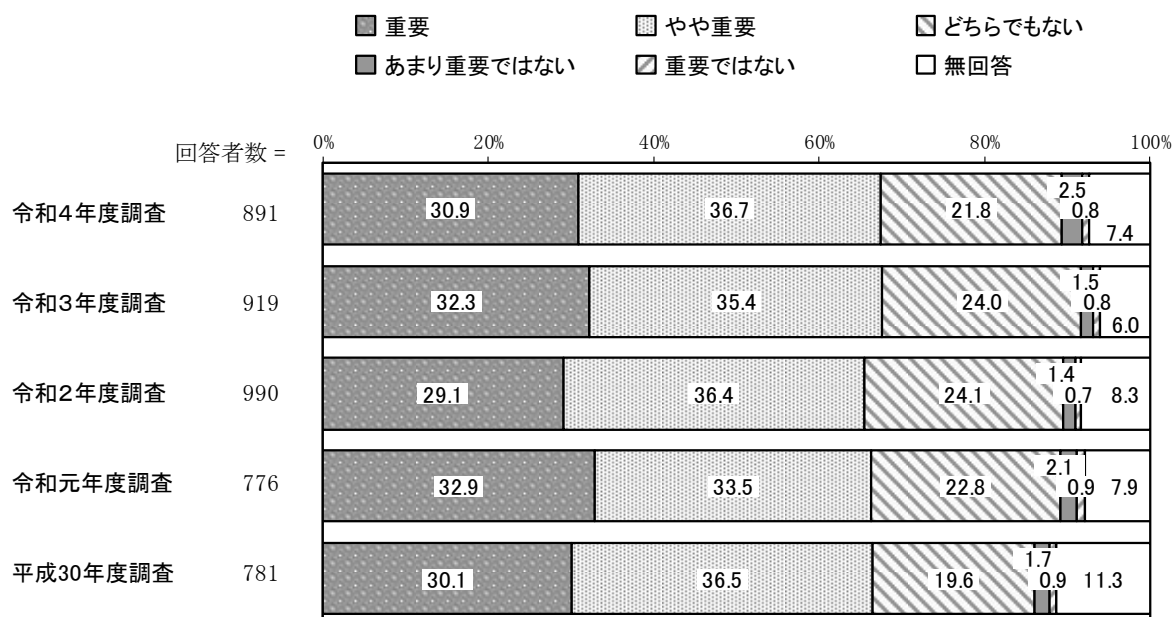
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満と生まれてからずっとで“重要”の割合が低く、5割近くとなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

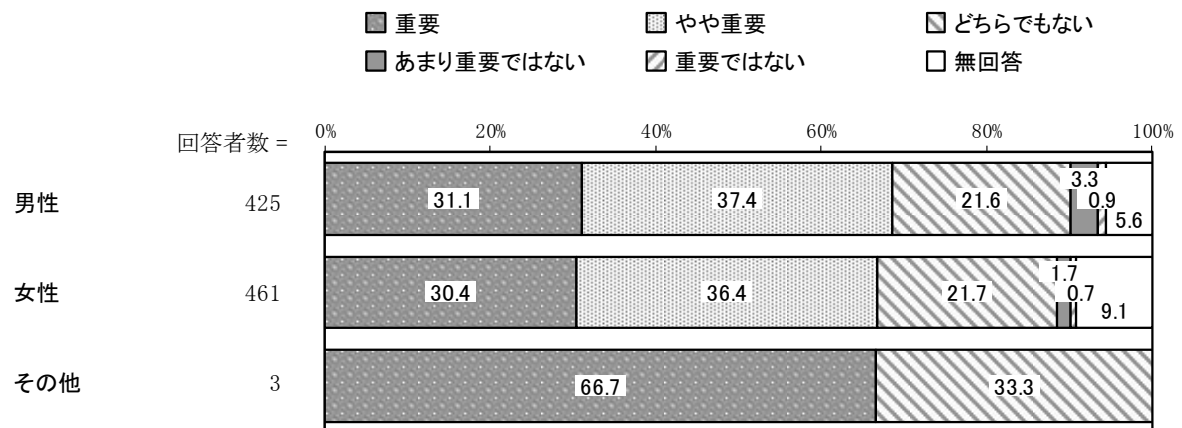
“重要”の割合が67.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が21.8%、“重要ではない”の割合が3.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



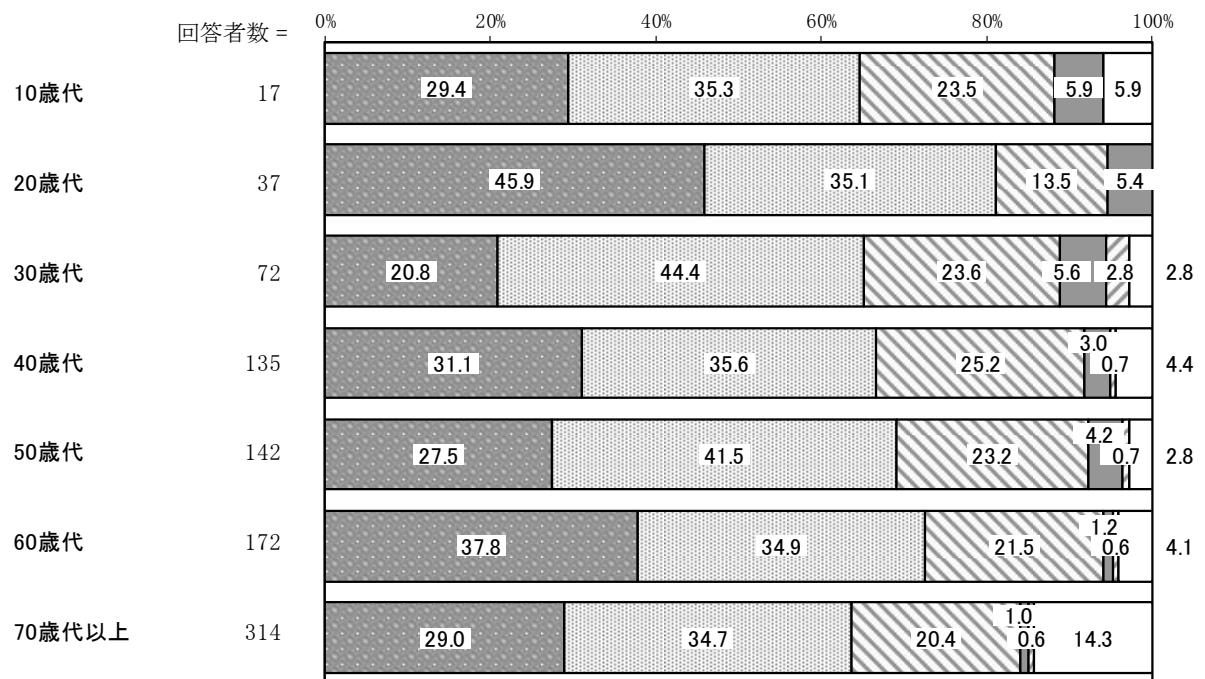
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



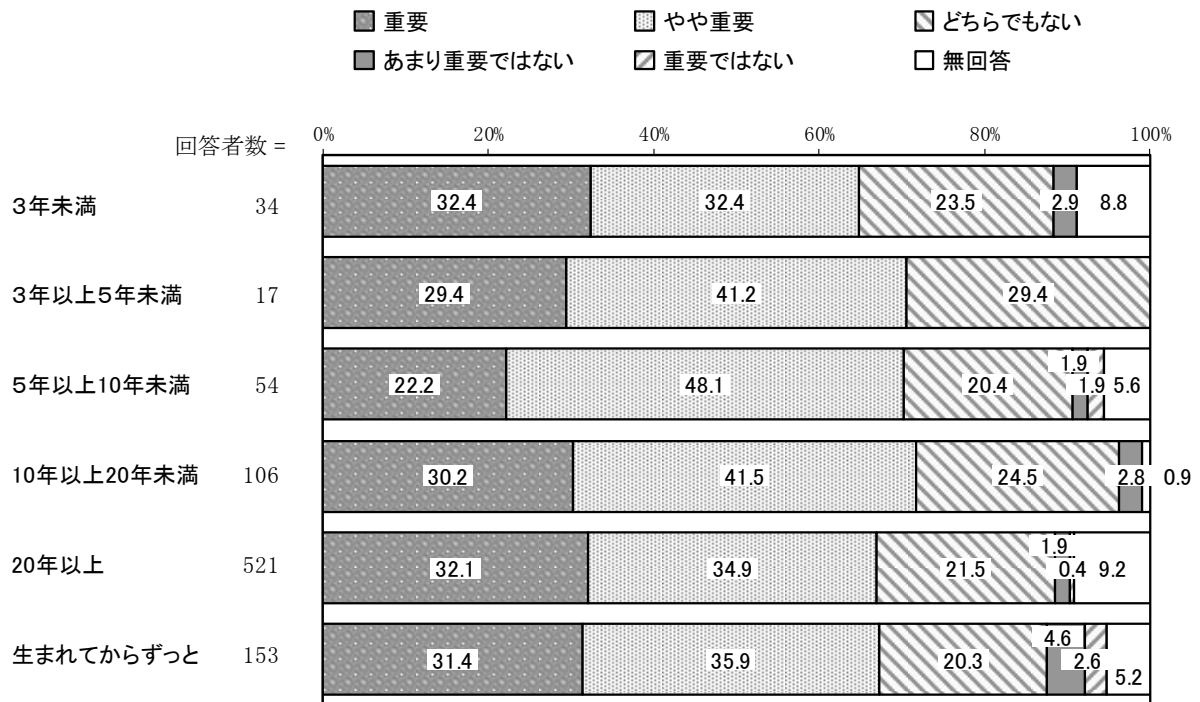
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“重要”の割合が高く約 8 割となっています。



【居住年数別】

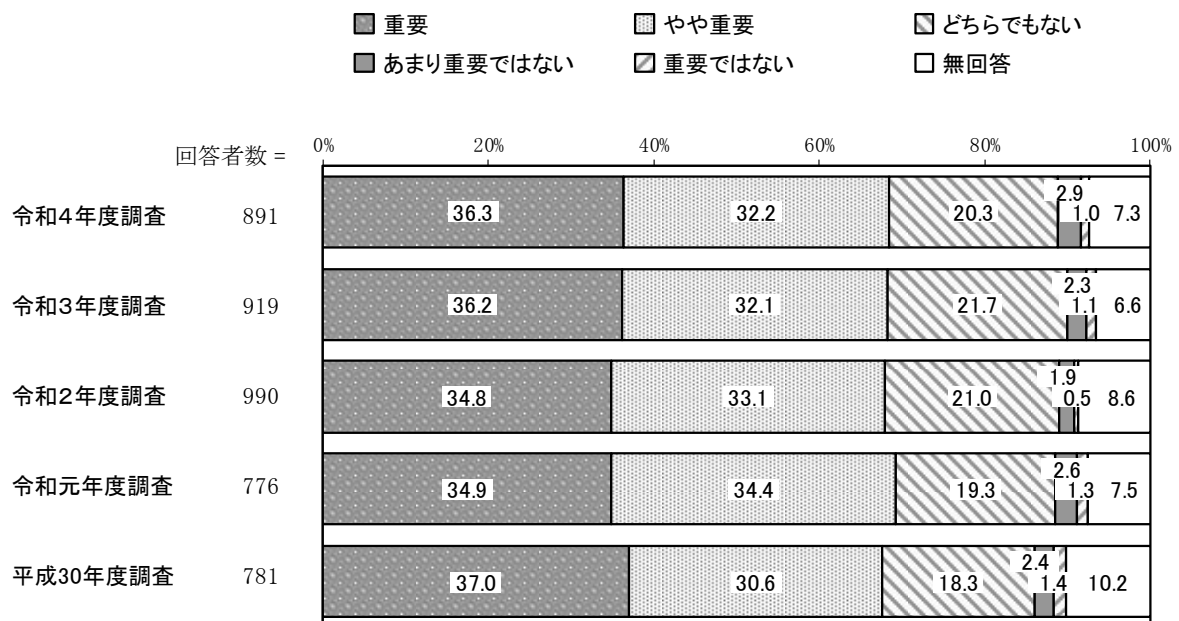
居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

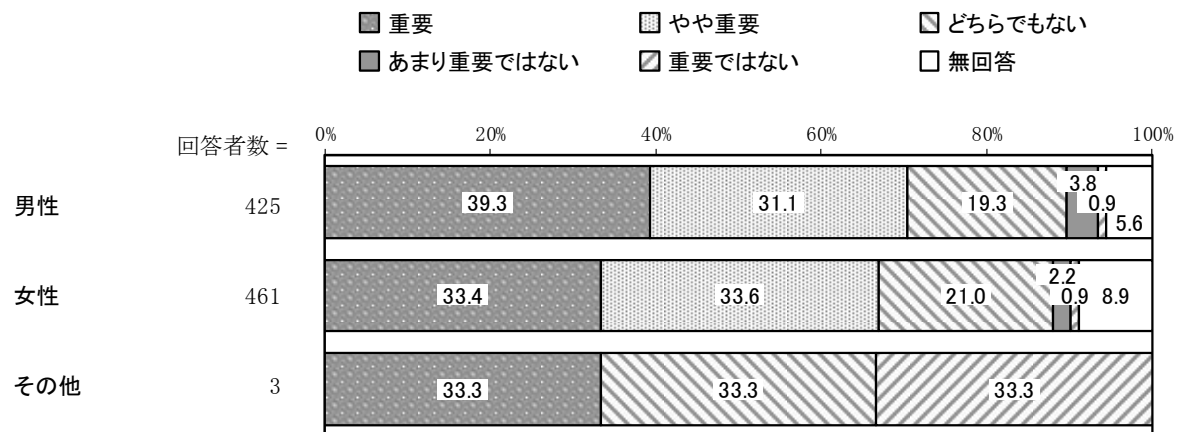
“重要”の割合が68.5%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が20.3%、“重要ではない”の割合が3.9%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



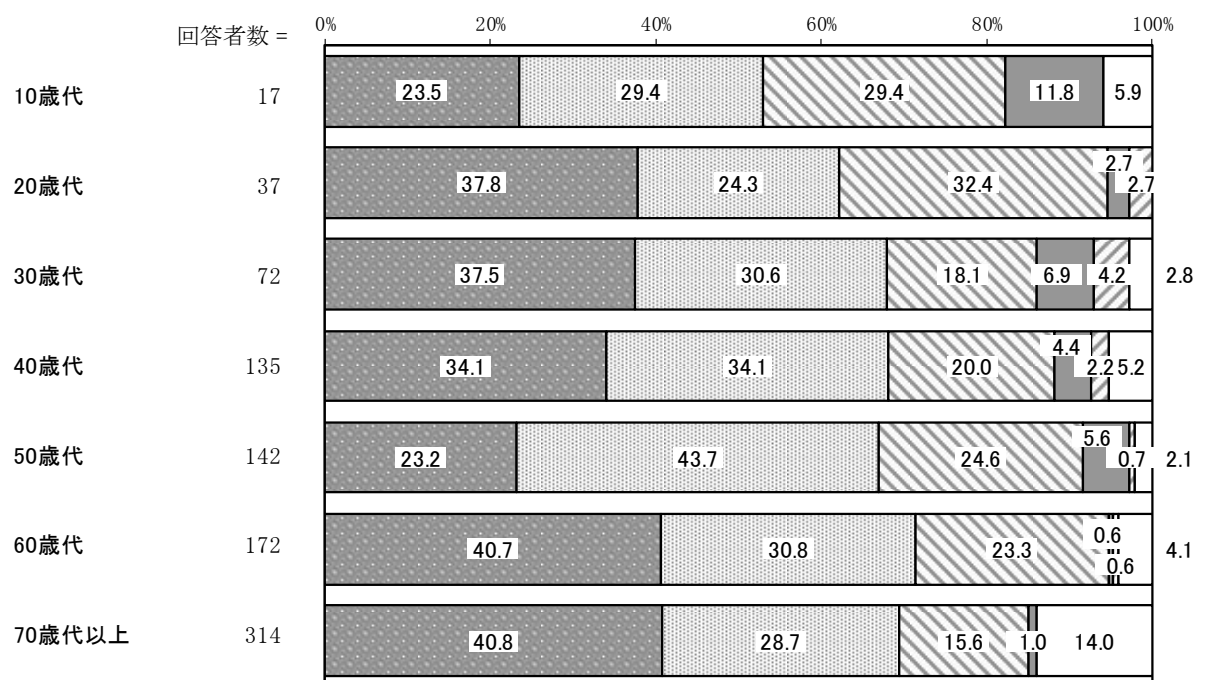
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



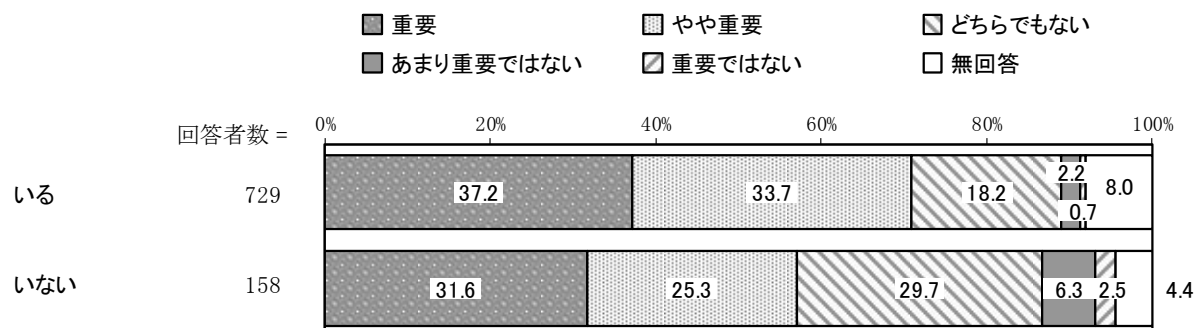
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“重要”の割合が低く、5 割程となっています。



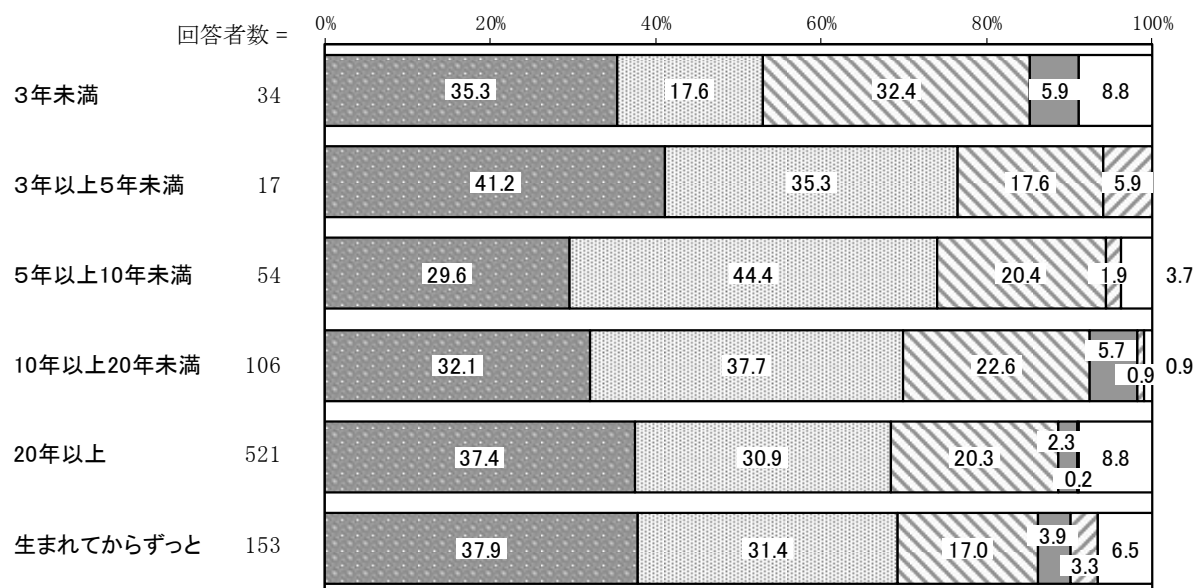
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“重要ではない”の割合が高く、1割近くとなっています。



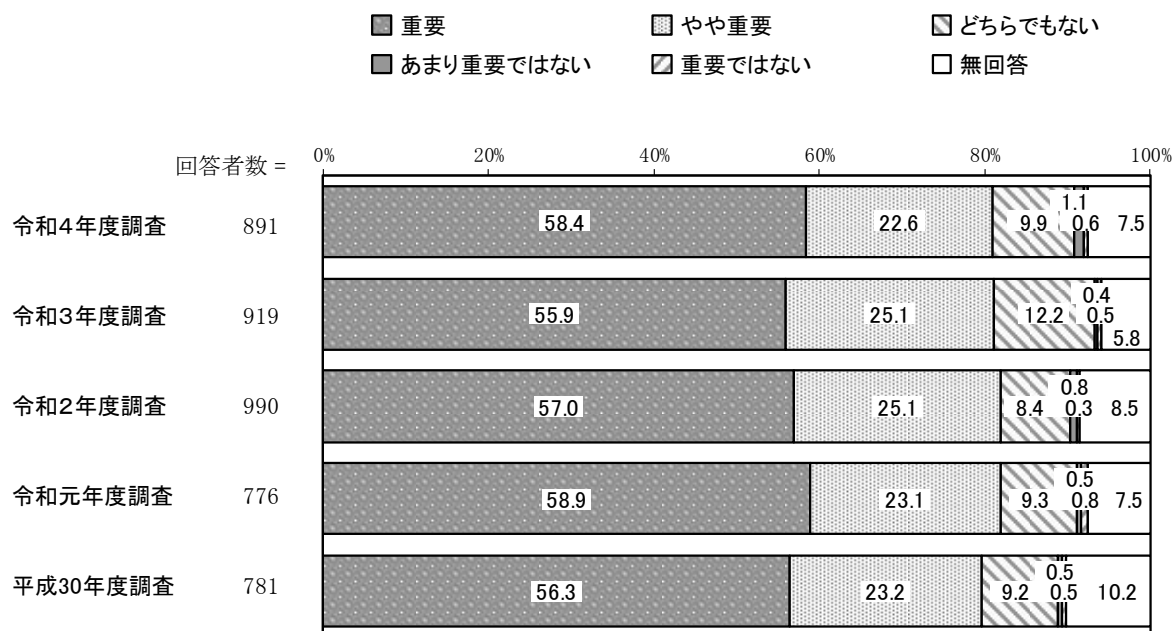
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、5割程となっています。



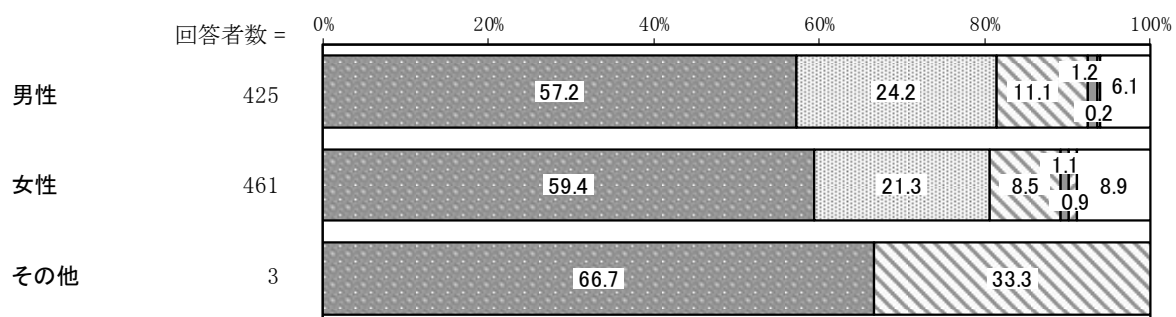
(8) 安心して子育てできる環境づくり

“重要”の割合が81.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が9.9%、“重要ではない”の割合が1.7%となっています。



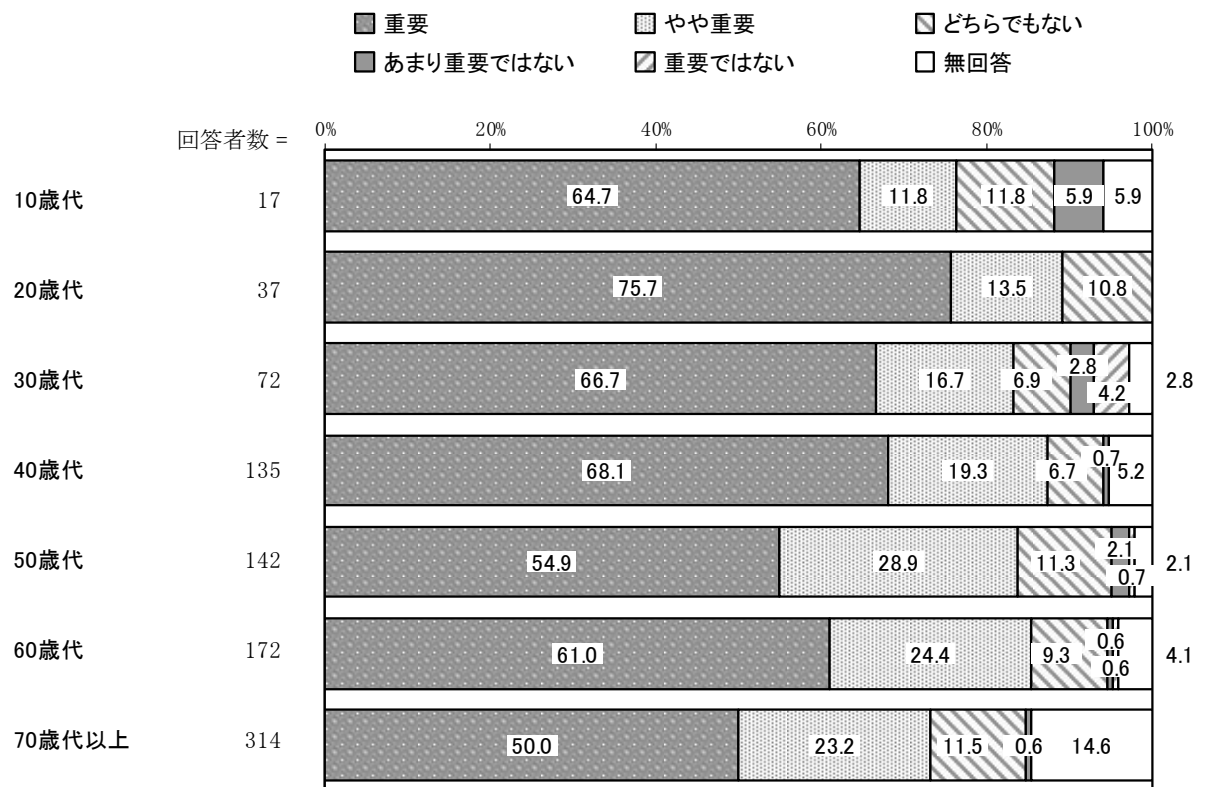
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



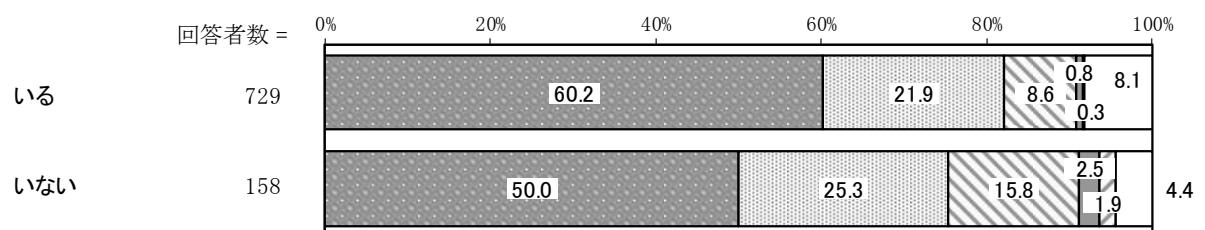
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代で“重要”の割合が低く、7 割程度となっています。



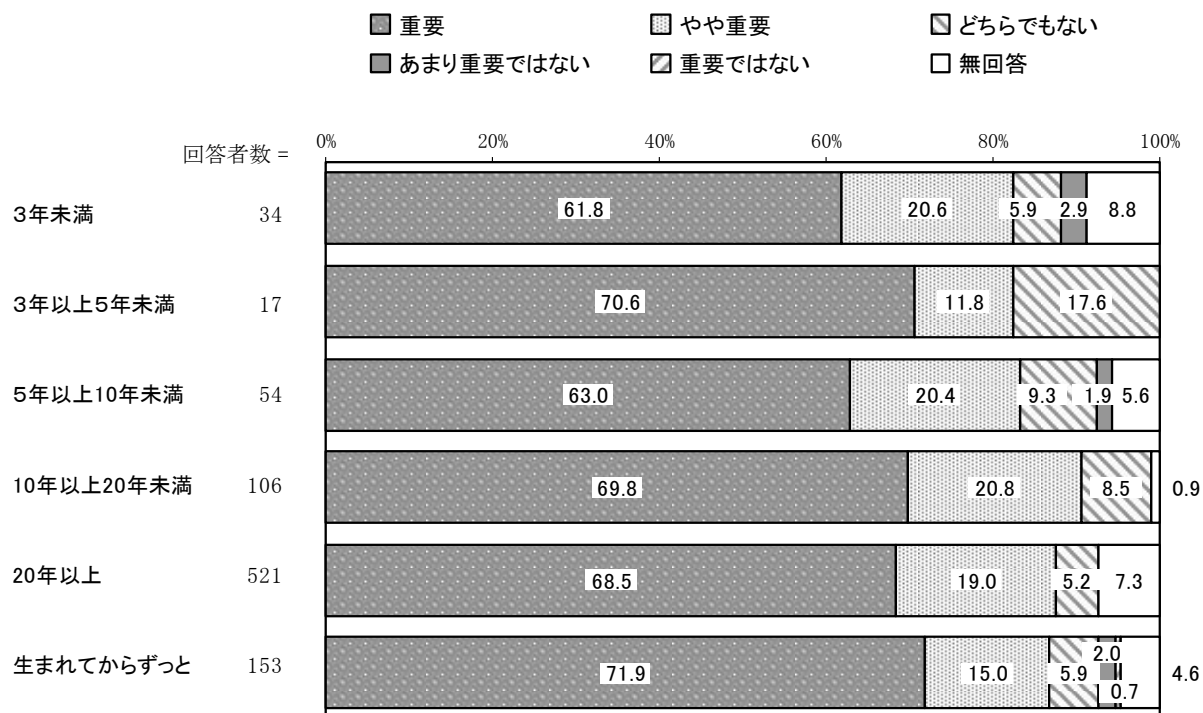
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8 割を超えています。



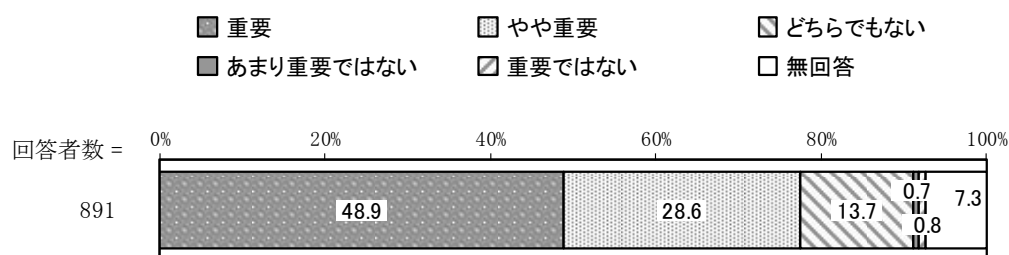
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



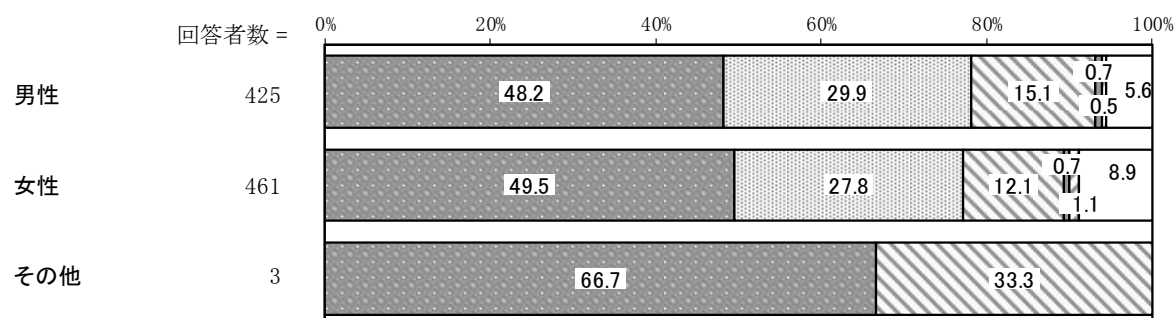
(9) 学びを支援する環境づくり

“重要”の割合が77.5%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が13.7%、“重要ではない”の割合が1.5%となっています。



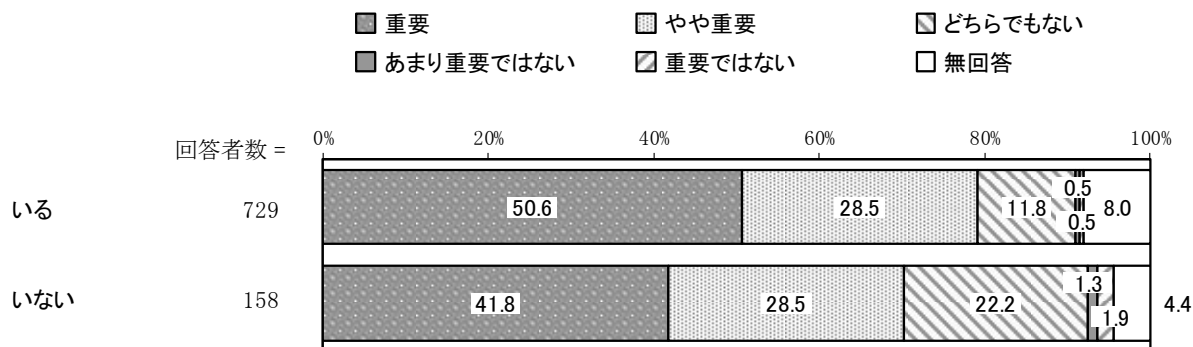
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



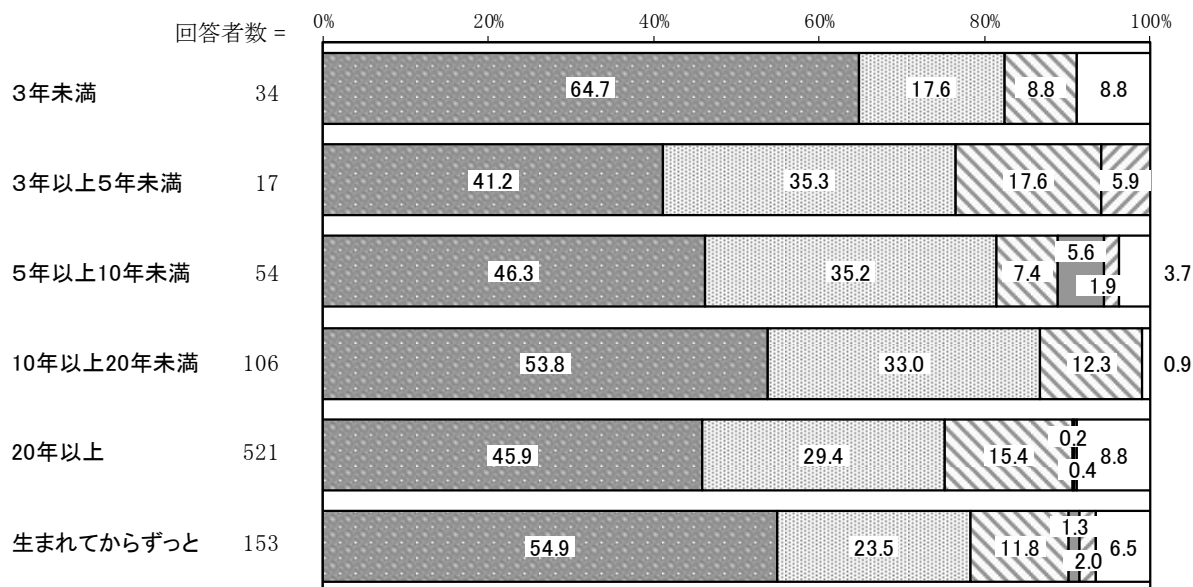
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



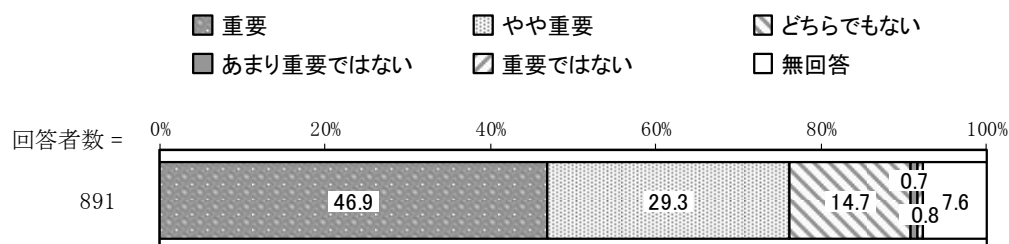
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



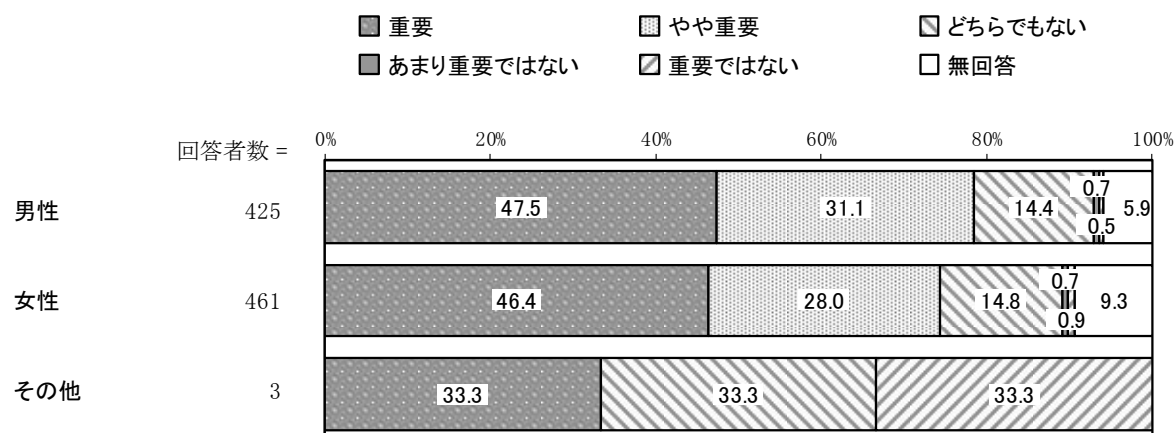
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“重要”の割合が76.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が14.7%、“重要ではない”の割合が1.5%となっています。



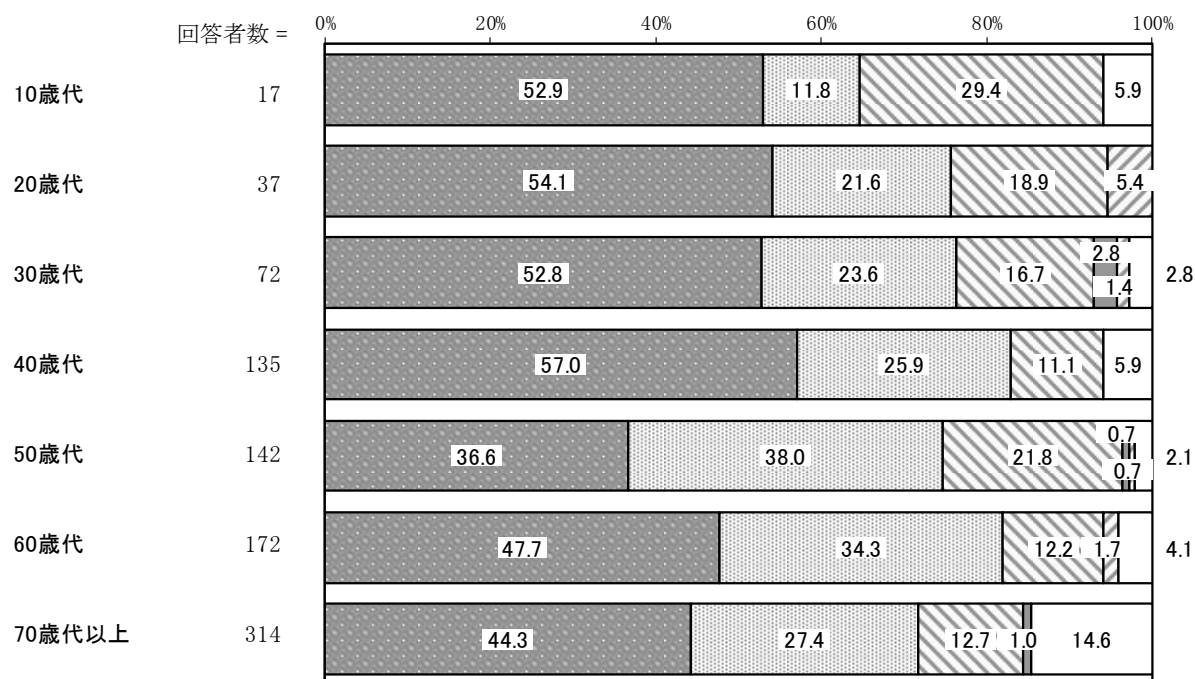
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



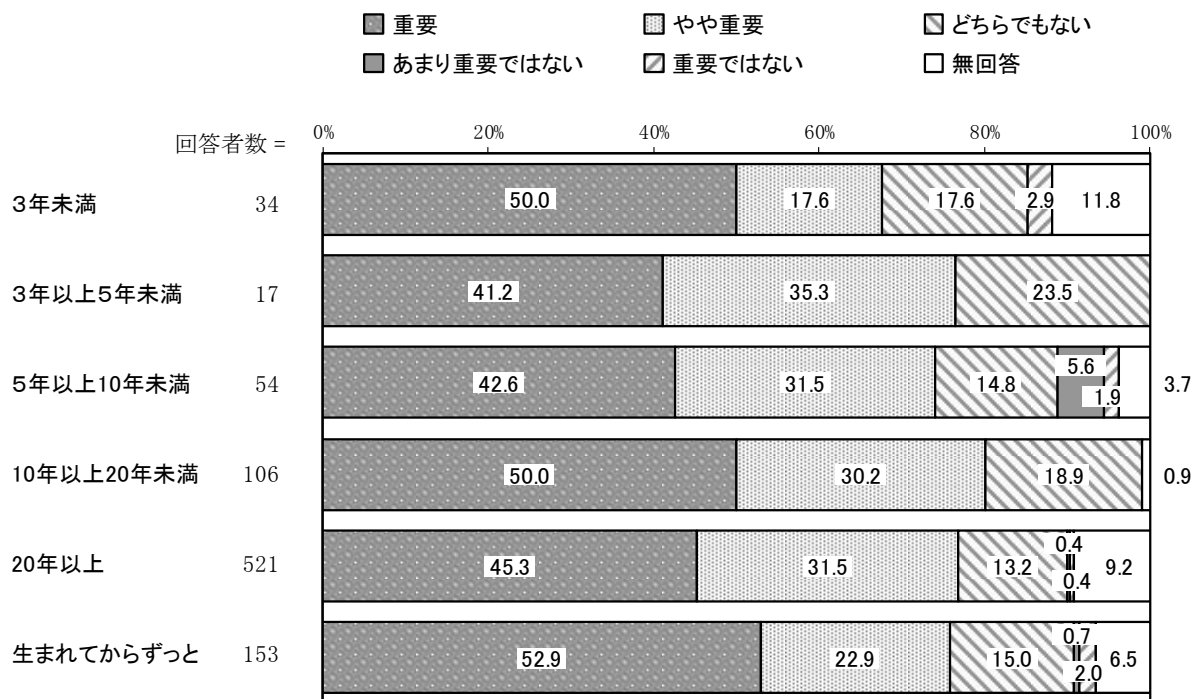
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40 歳代、60 歳代で“重要”の割合が高く、8 割を超えています。



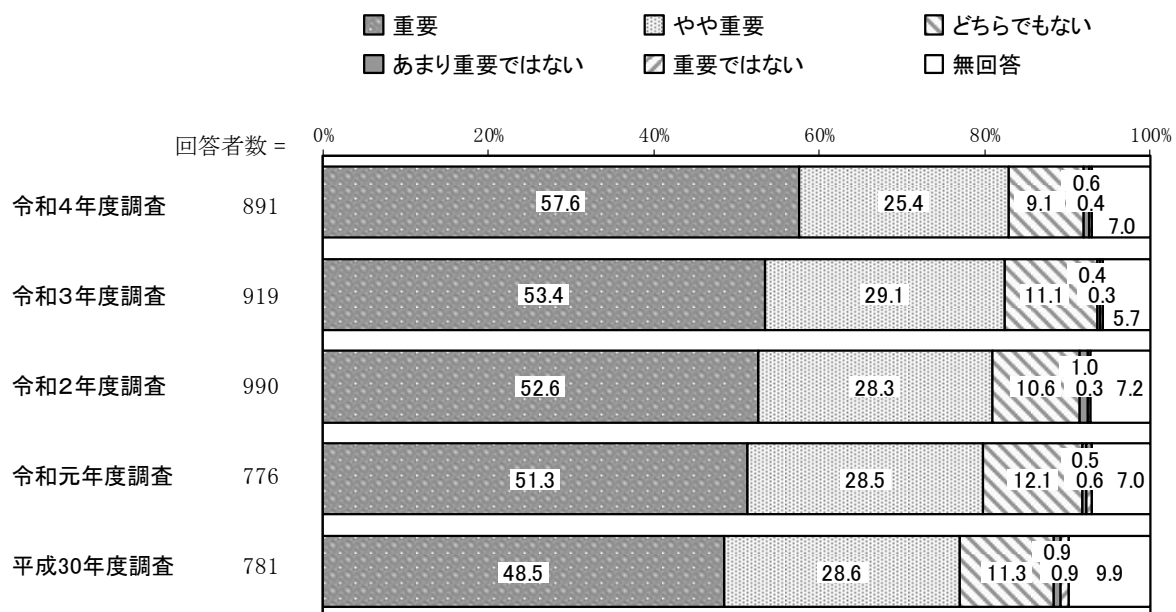
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、7割以下となっています。



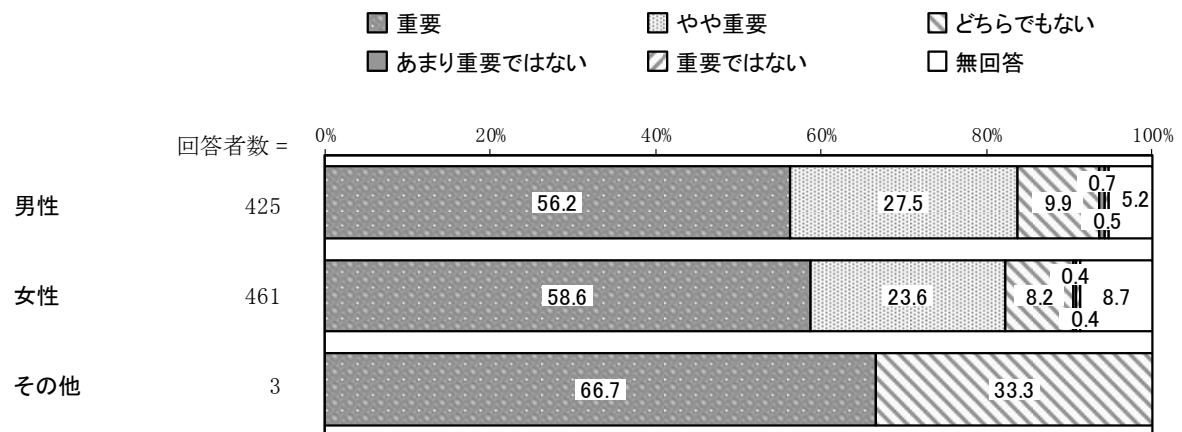
(11)健康で暮らせる環境づくり

“重要”の割合が83.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が9.1%、“重要ではない”の割合が1.0%となっています。



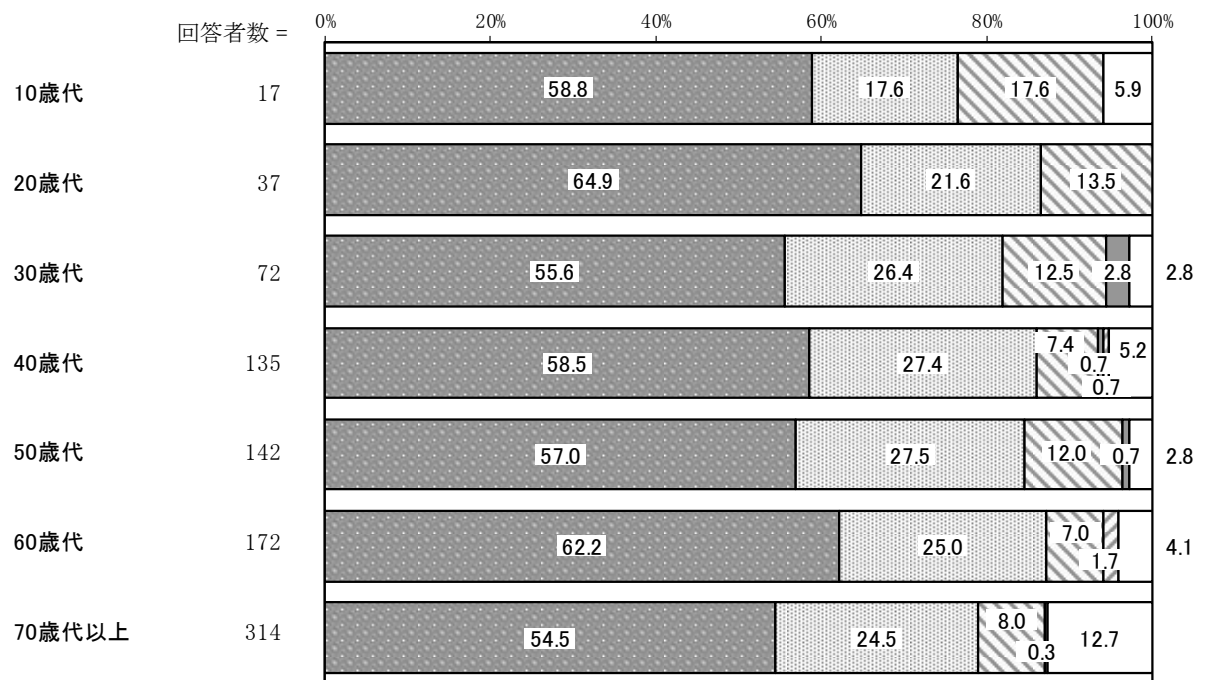
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



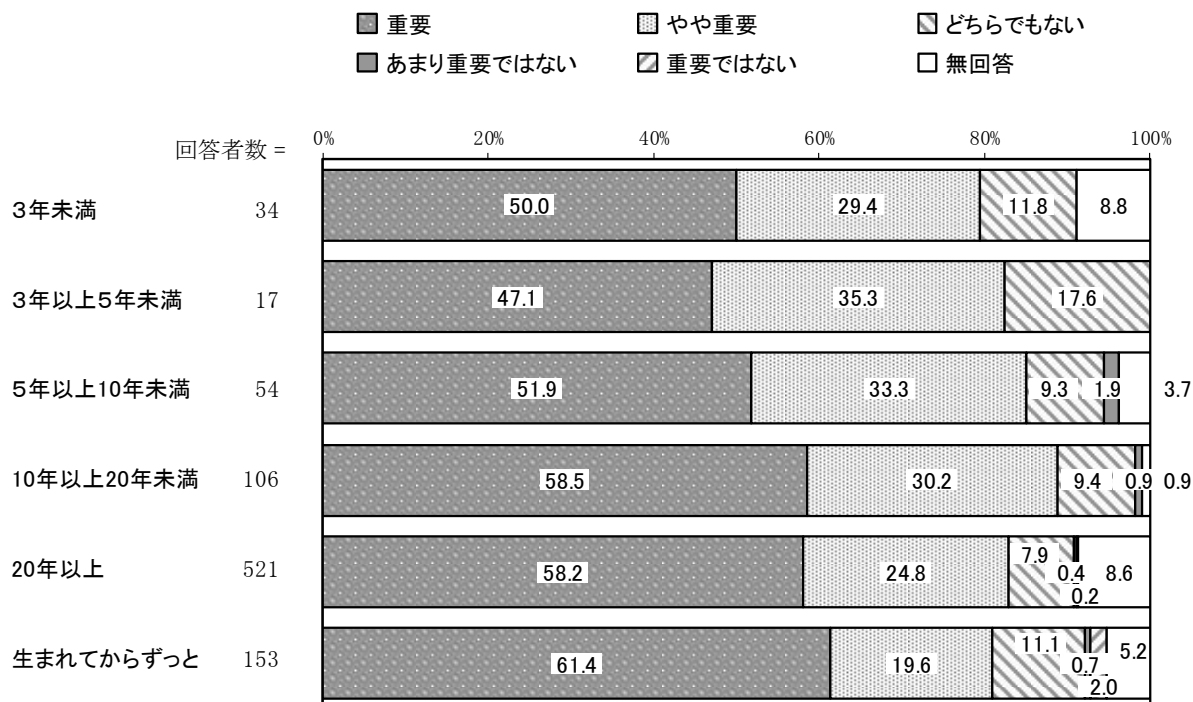
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



【居住年数別】

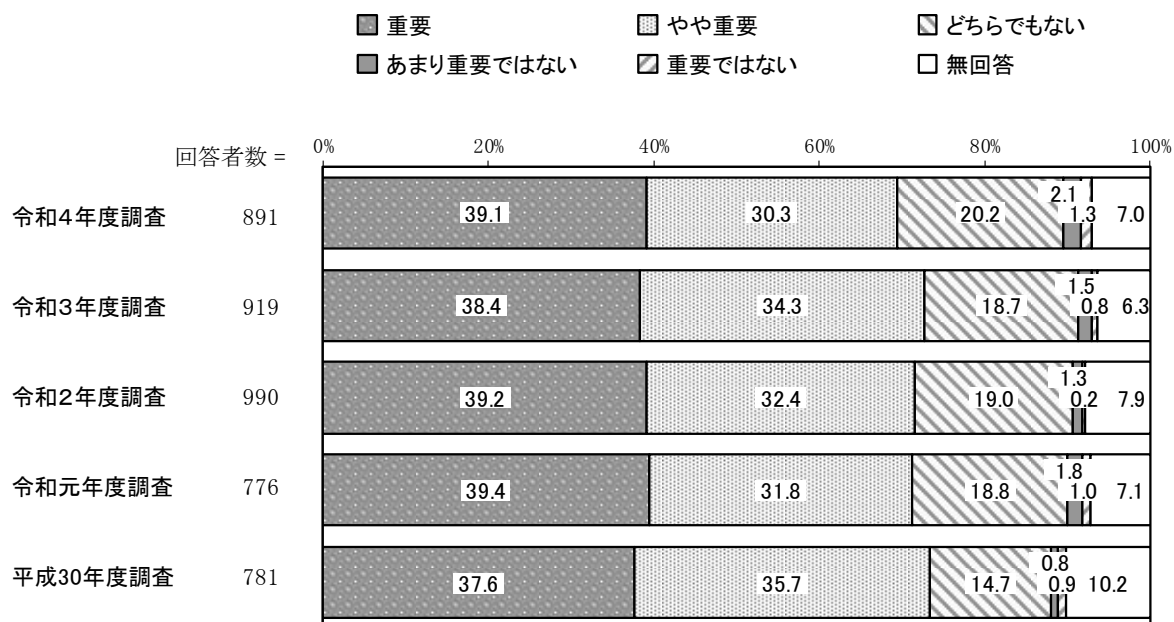
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

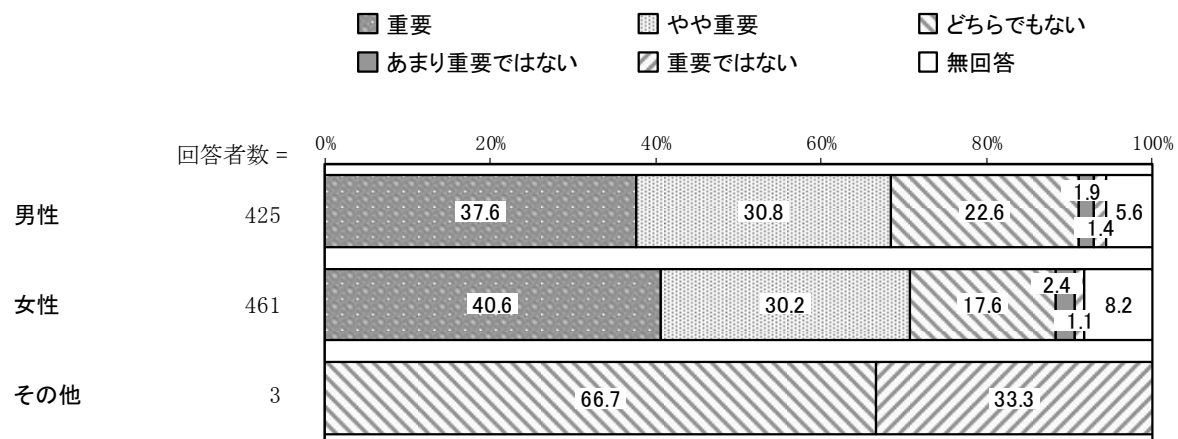
“重要”の割合が69.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が20.2%、“重要ではない”の割合が3.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



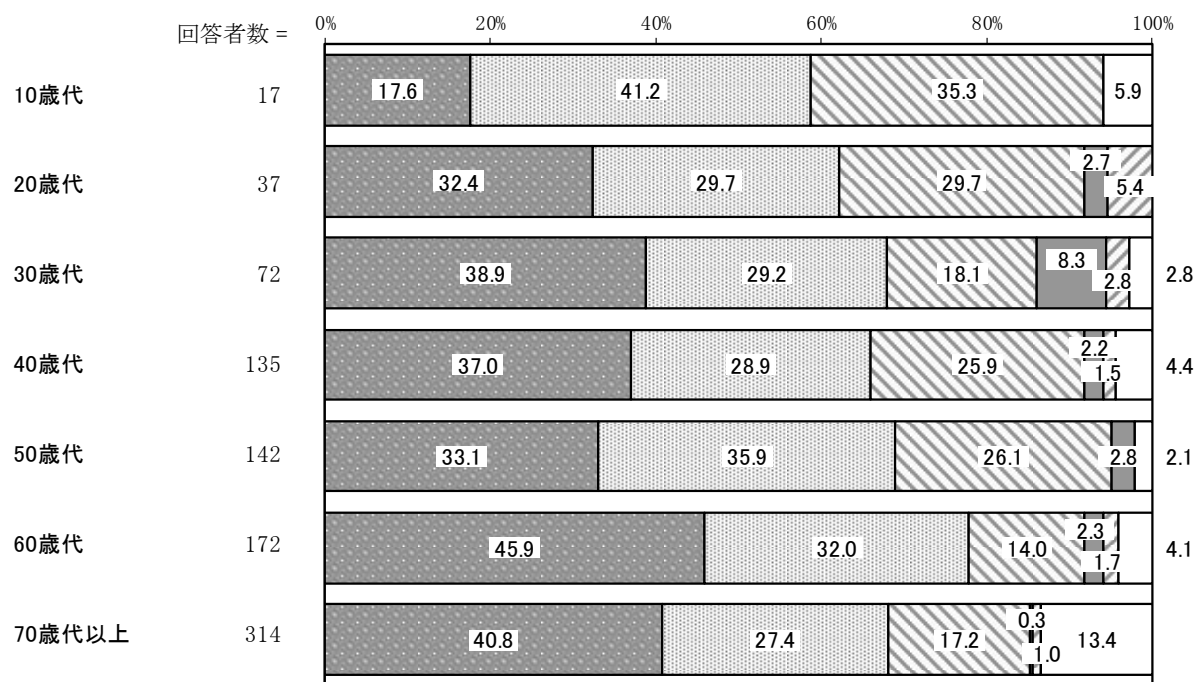
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



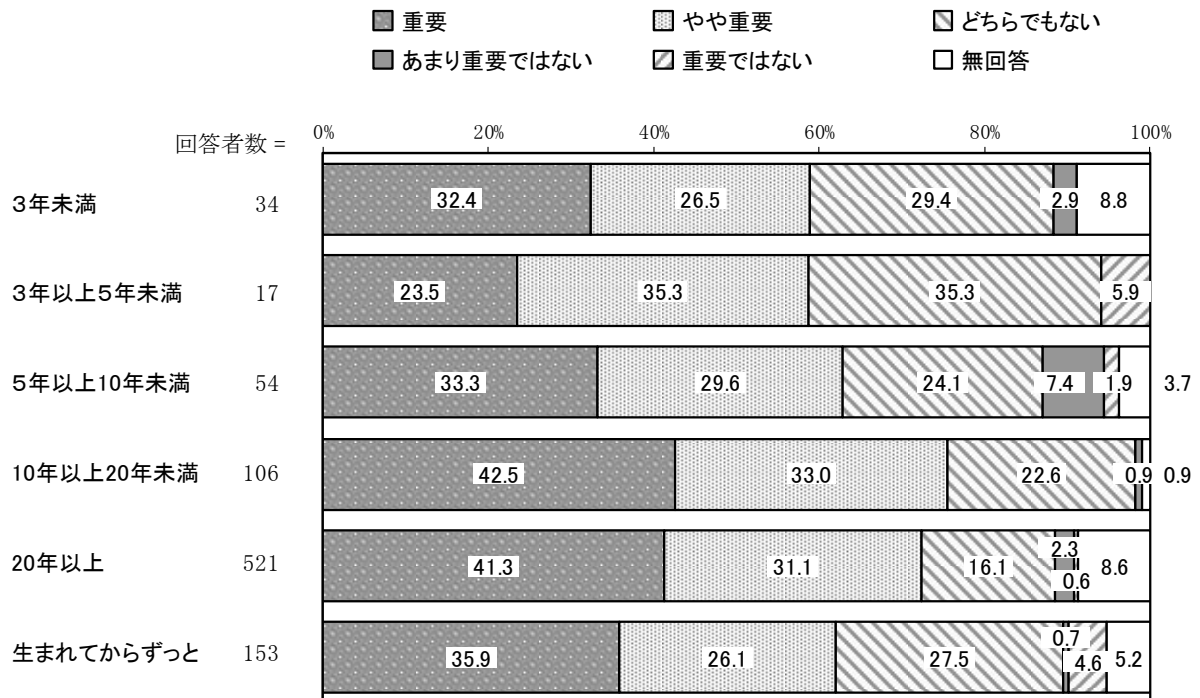
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



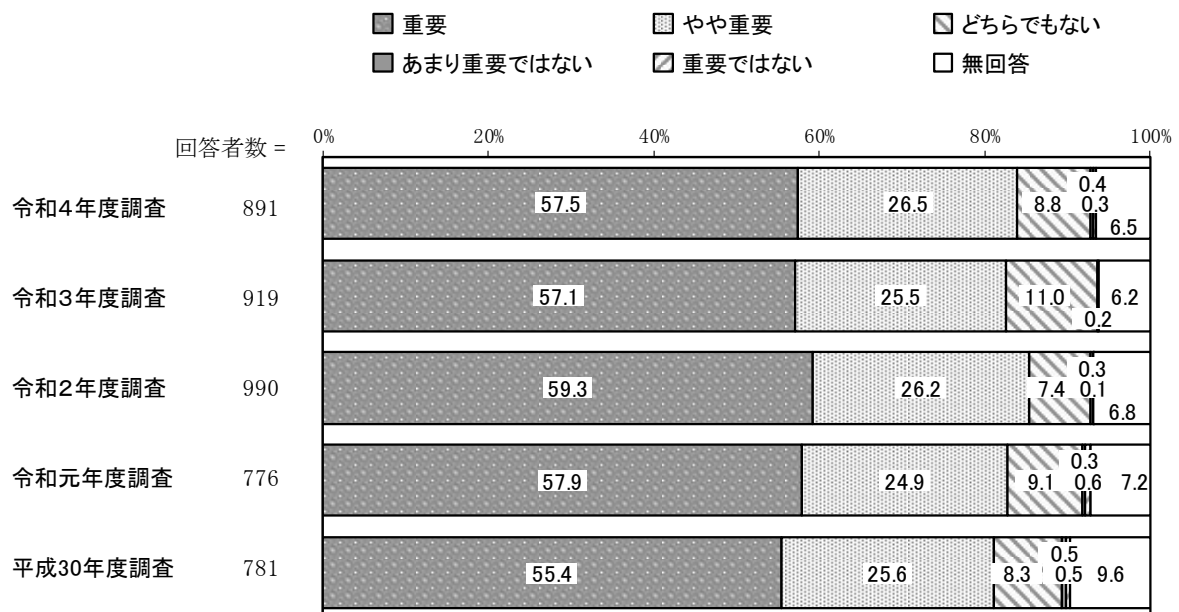
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



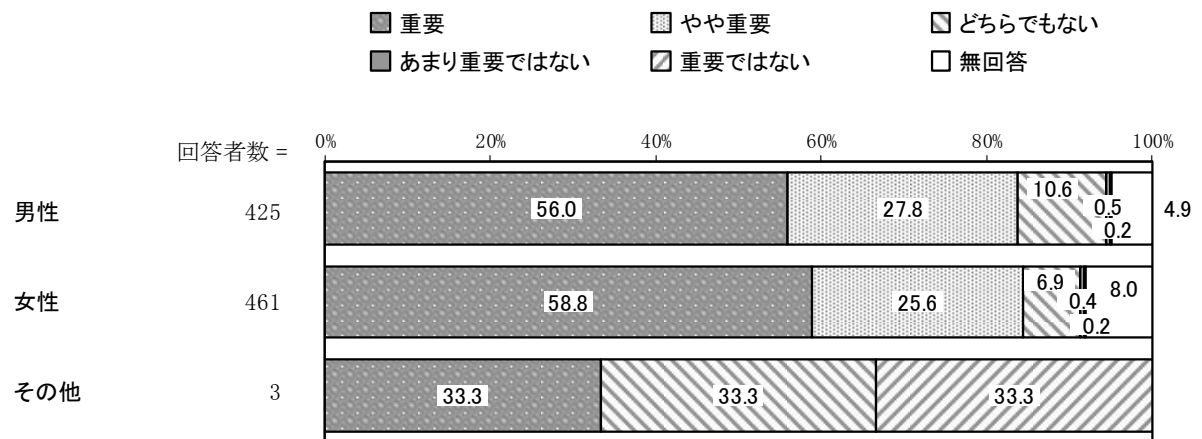
(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

“重要”の割合が84.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が8.8%、“重要ではない”の割合が0.7%となっています。



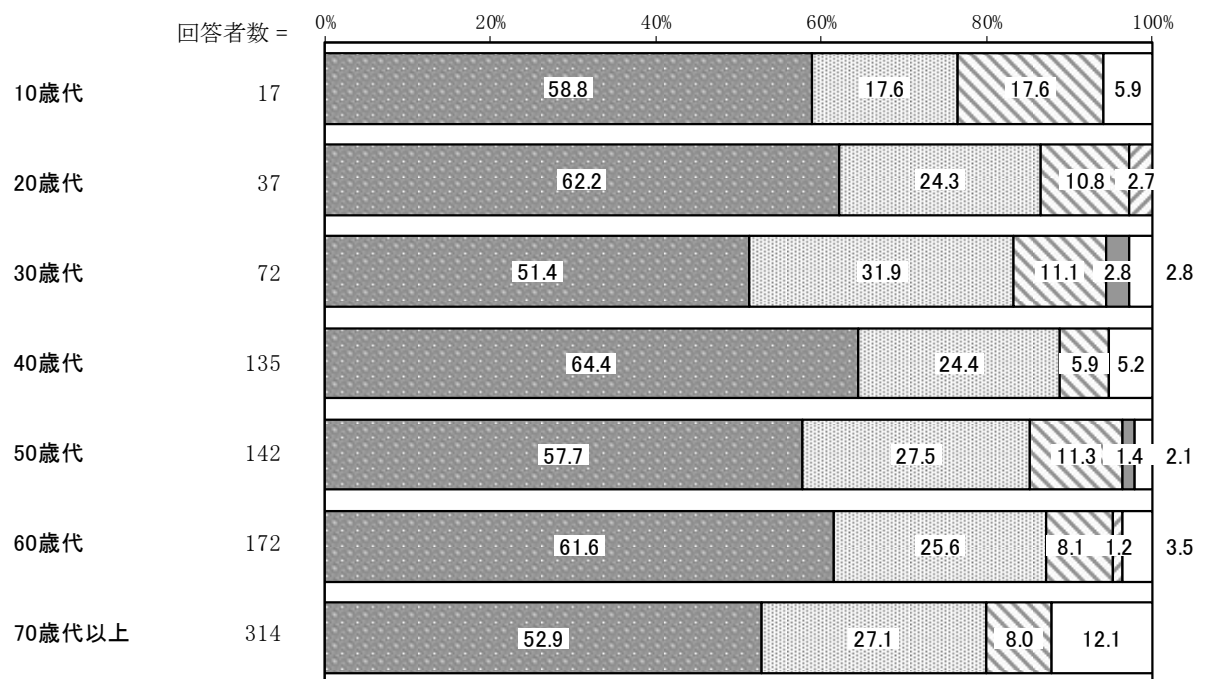
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



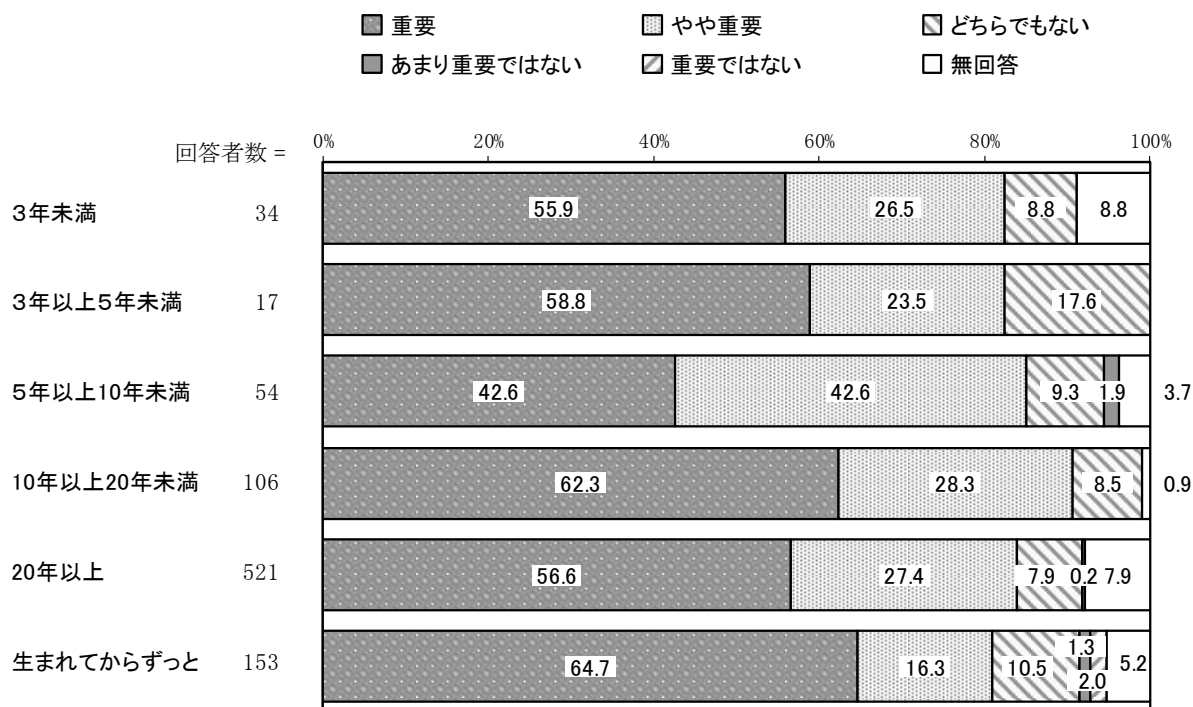
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“重要”の割合が低く、7 割半ばとなっています。



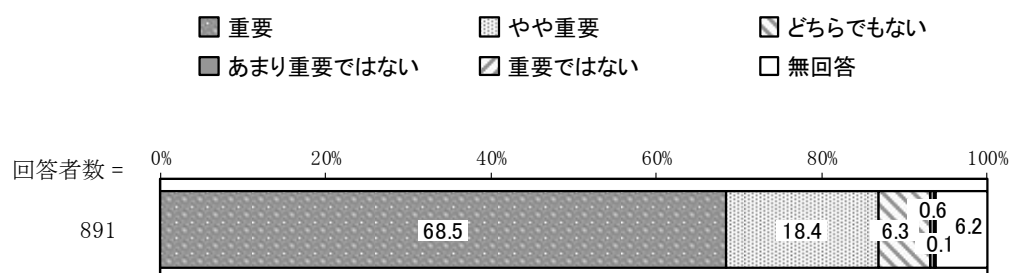
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



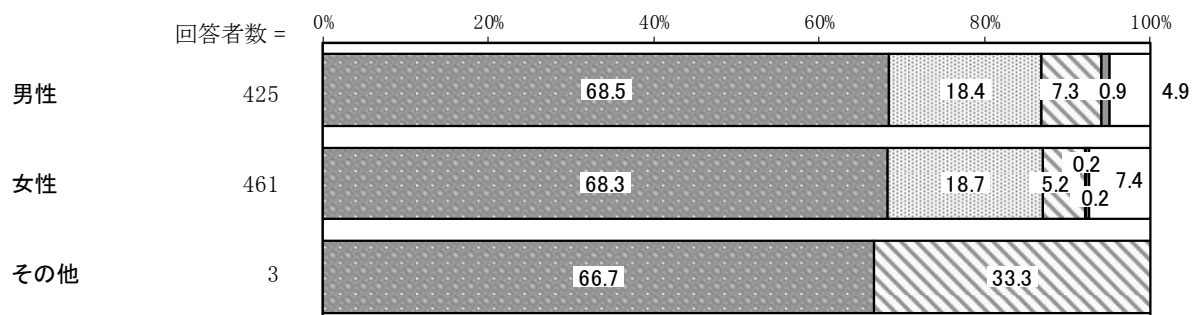
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が86.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が6.3%、“重要ではない”の割合が0.7%となっています。



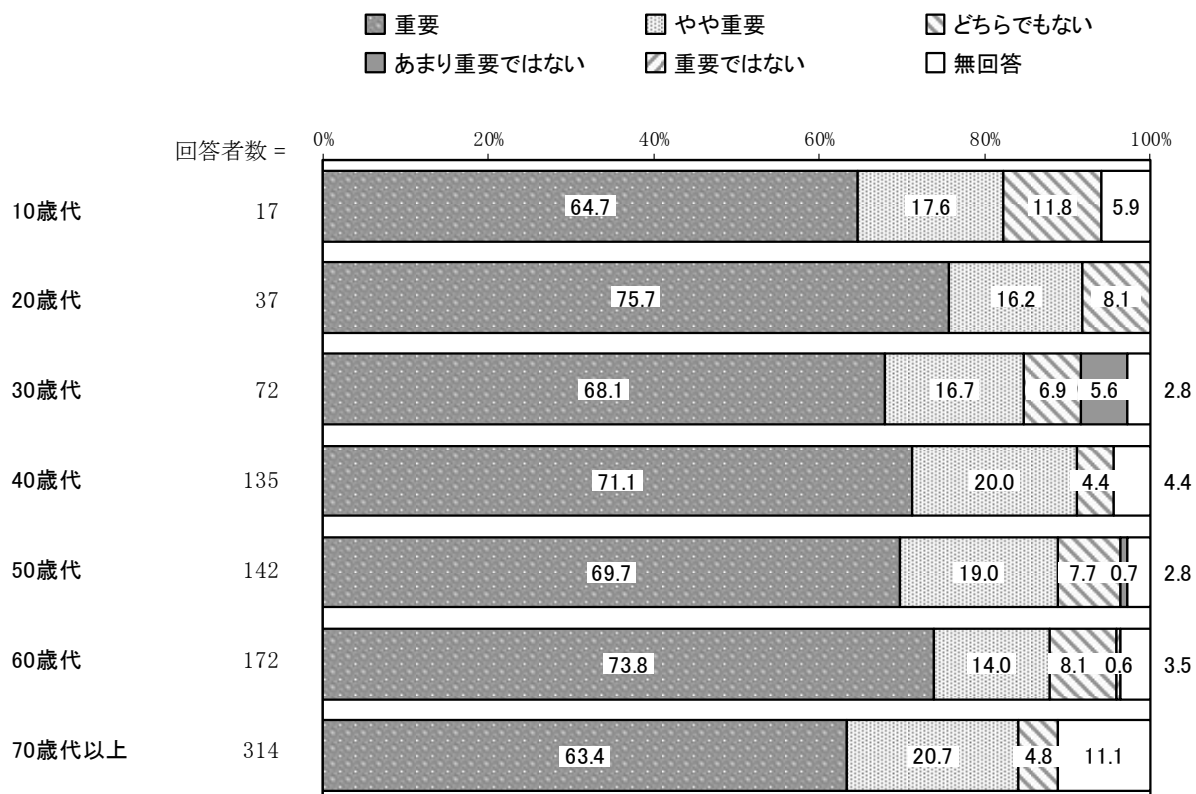
【性 別】

性別でみると大きな差異はみられません。



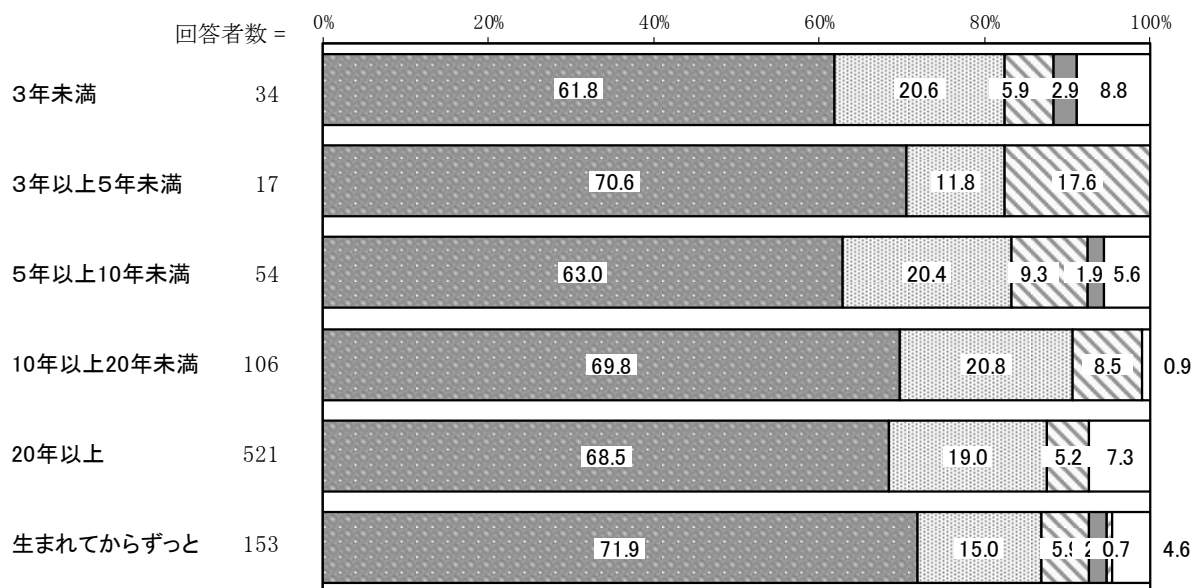
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、40 歳代で“重要”の割合が高く、9 割を超えています。



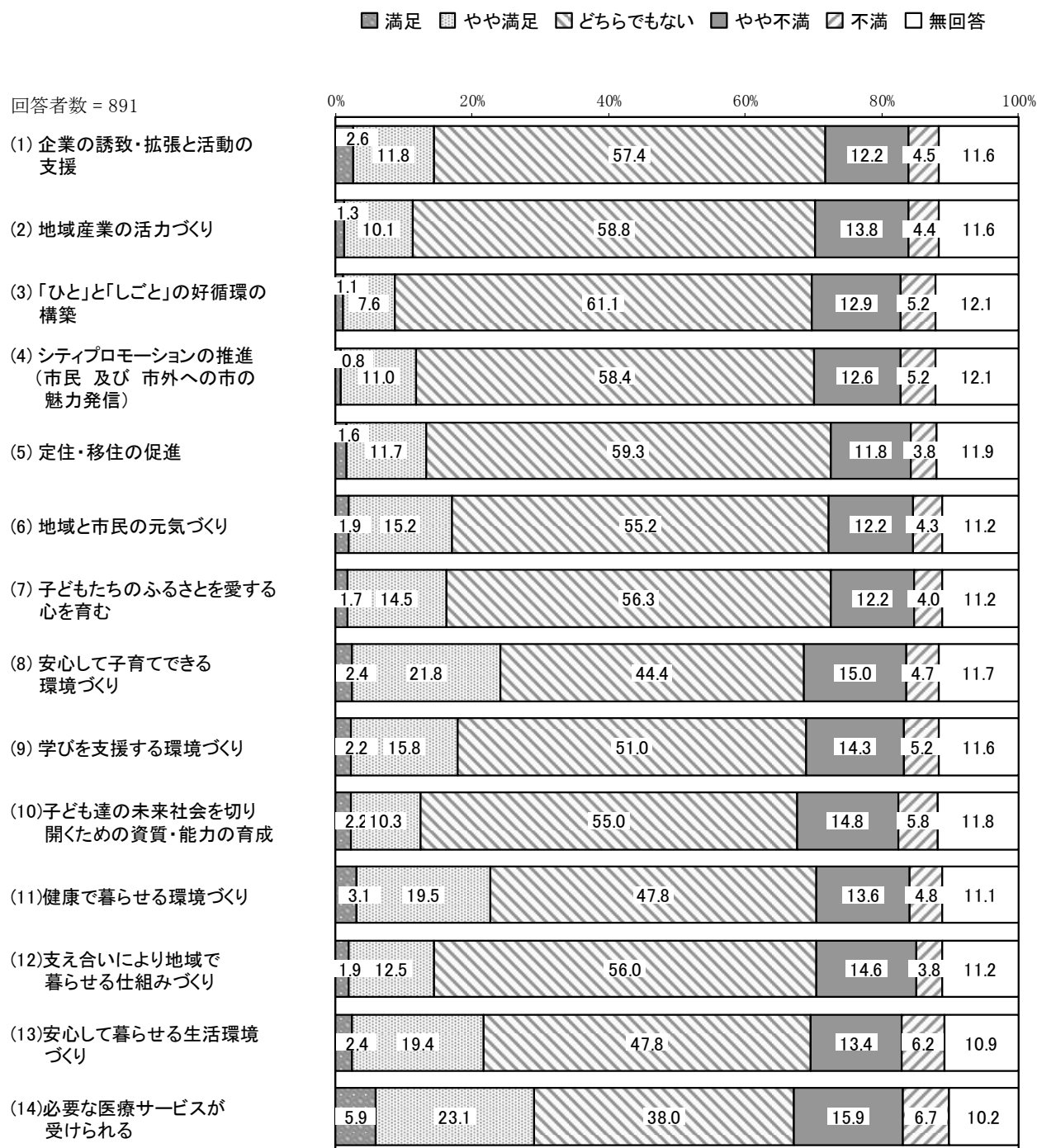
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“重要”の割合が高く、約 9 割となっています。



②満足度

『(14) 必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約3割となっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

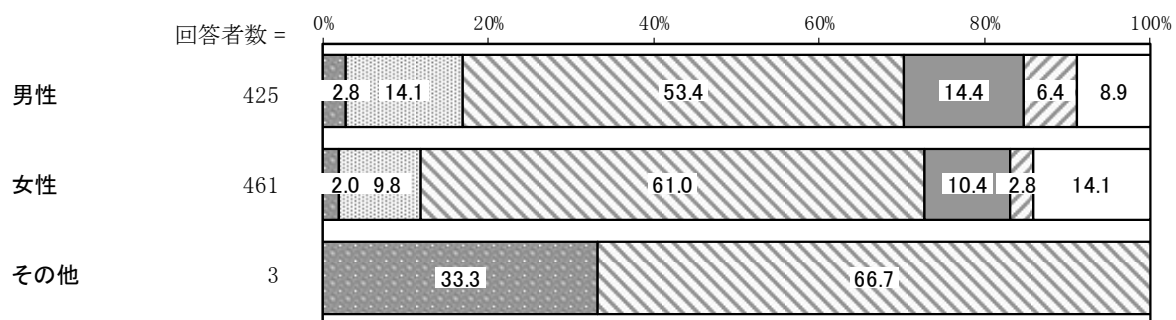
「どちらでもない」の割合が57.4%と最も高く、次いで「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が16.7%、“満足”の割合が14.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



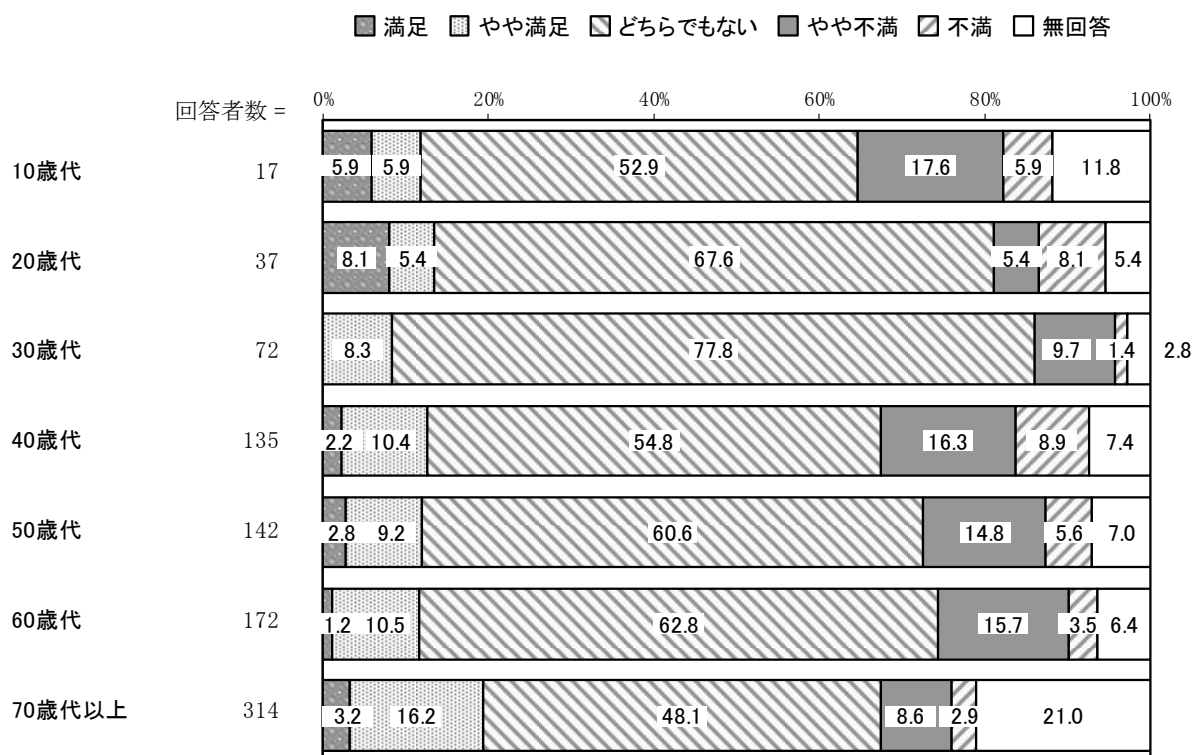
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



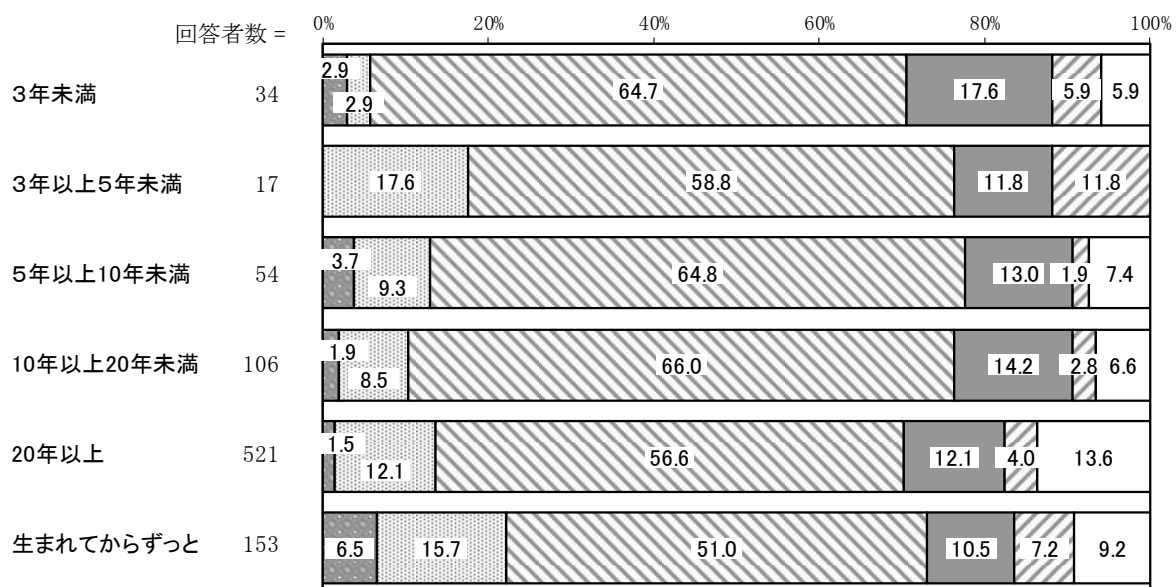
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。また、30 歳代、70 歳代以上で“不満”の割合が低く、1 割程度となっています。



【居住年数別】

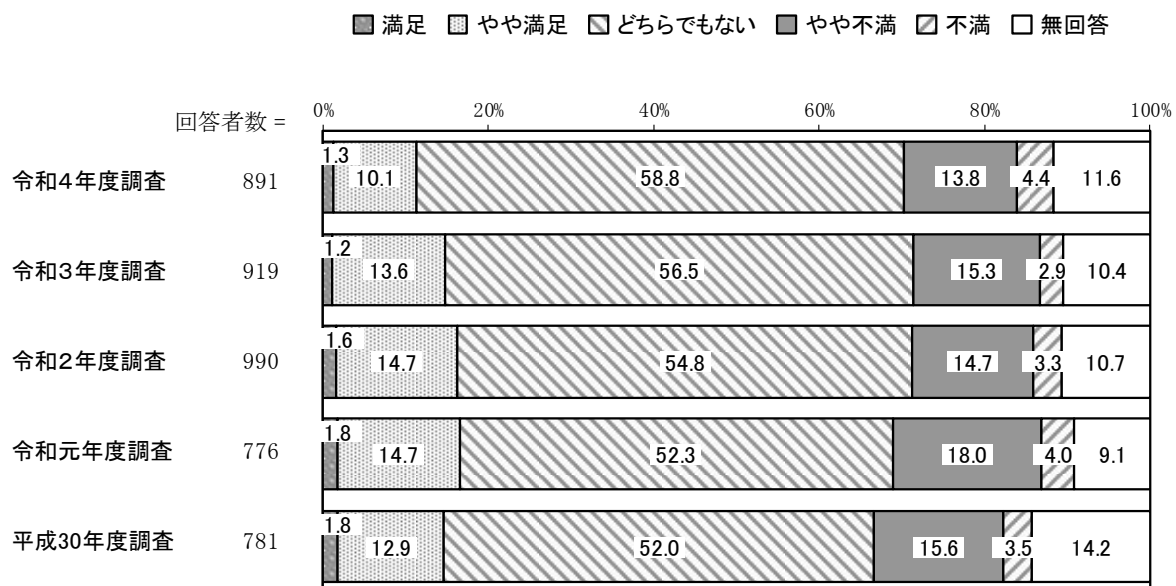
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2 割を超えています。また、3 年未満・3 年以上 5 年未満で“不満”の割合が高く、2 割を超えています。



(2) 地域産業の活力づくり

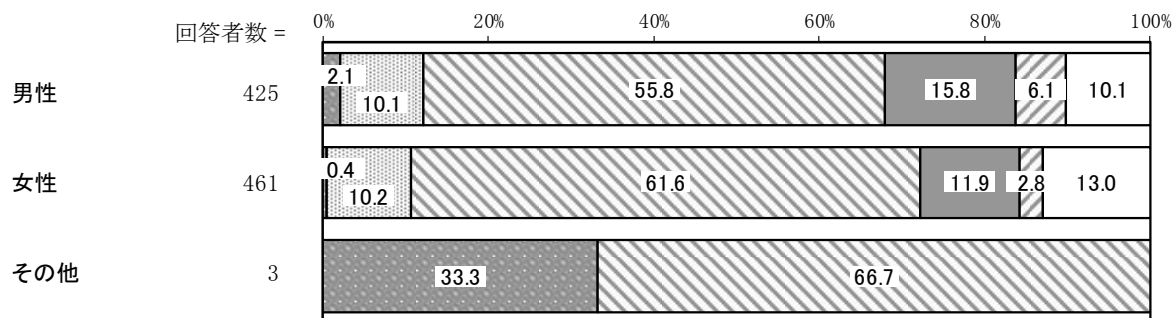
「どちらでもない」の割合が58.8%と最も高く、次いで“不満”の割合が18.2%、“満足”の割合が11.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



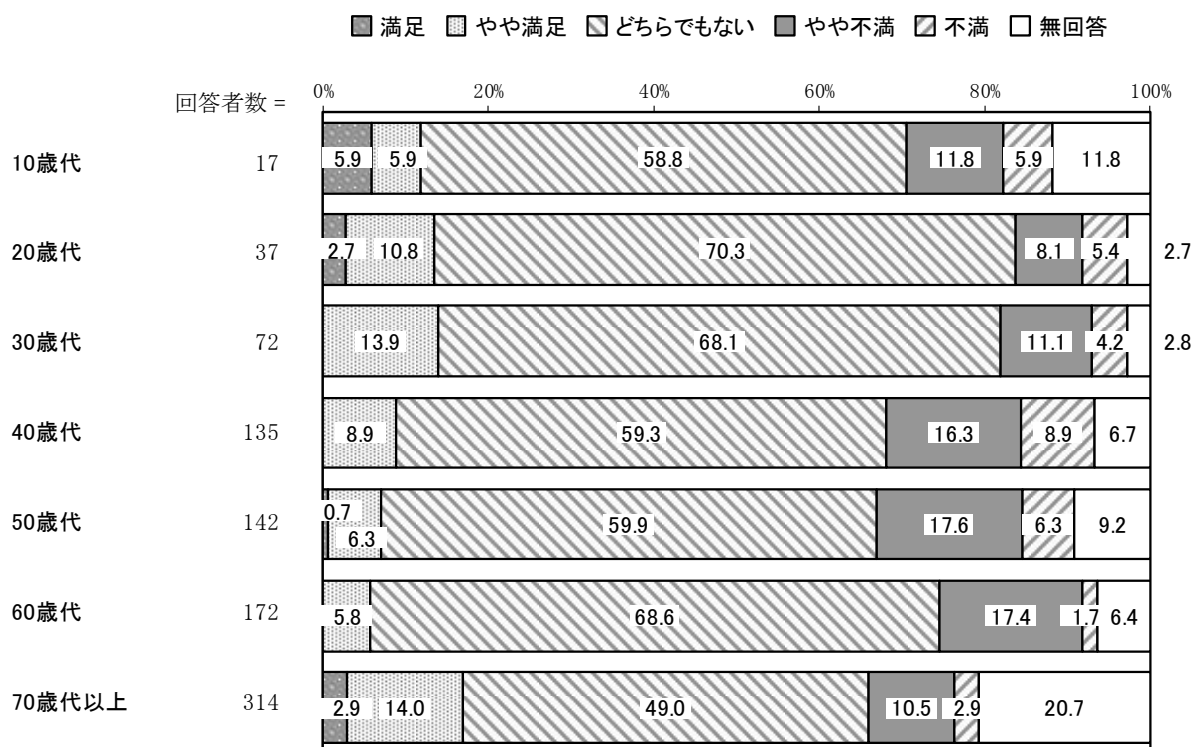
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



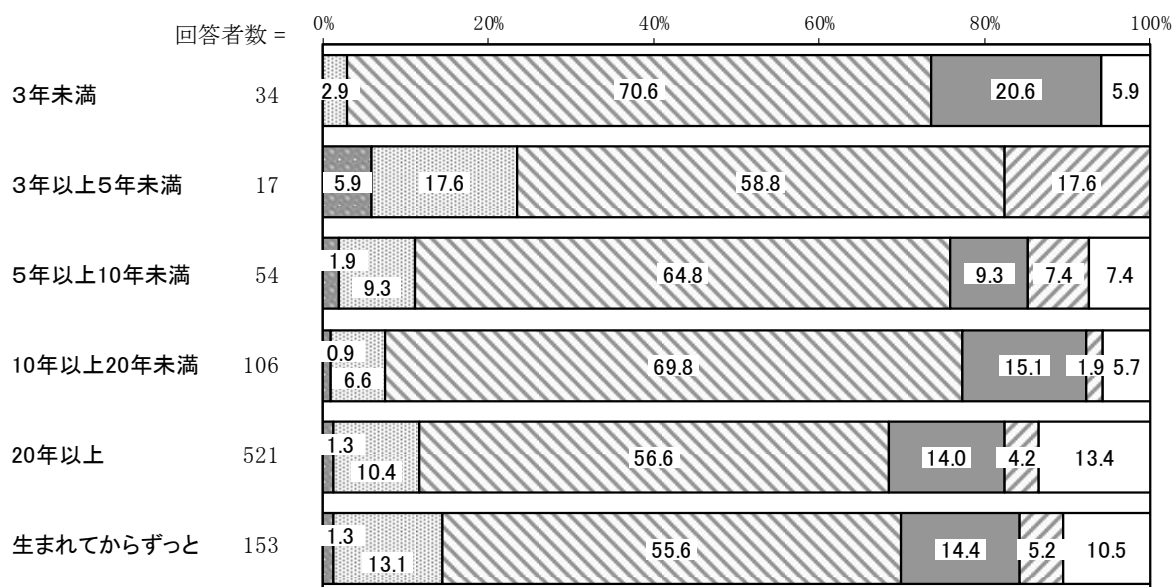
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40 歳代、50 歳代で“不満”の割合が2割を超えています。



【居住年数別】

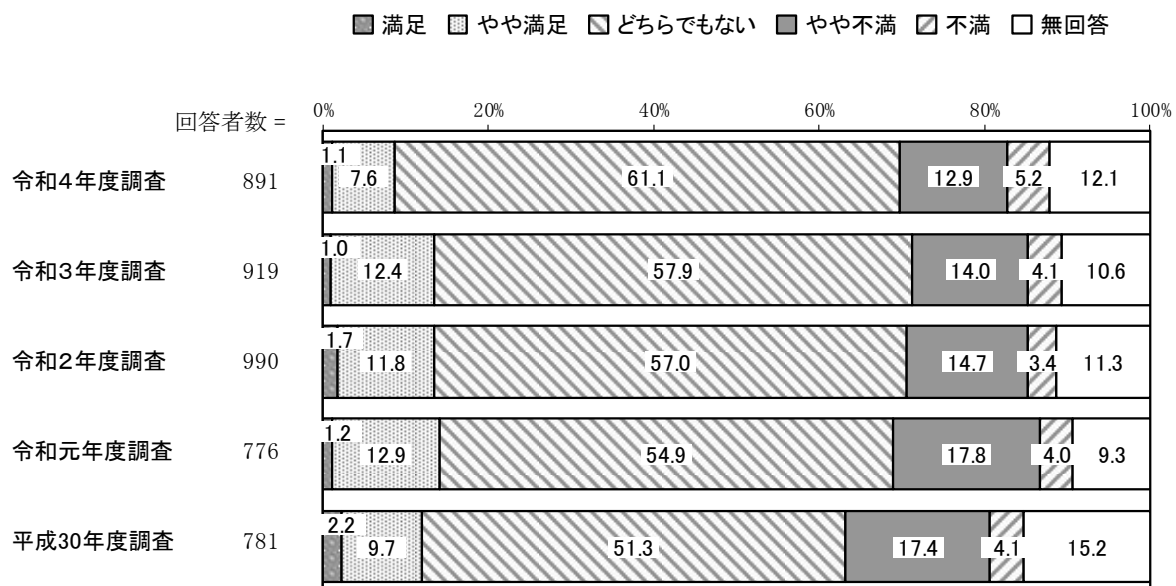
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、2割を超えています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

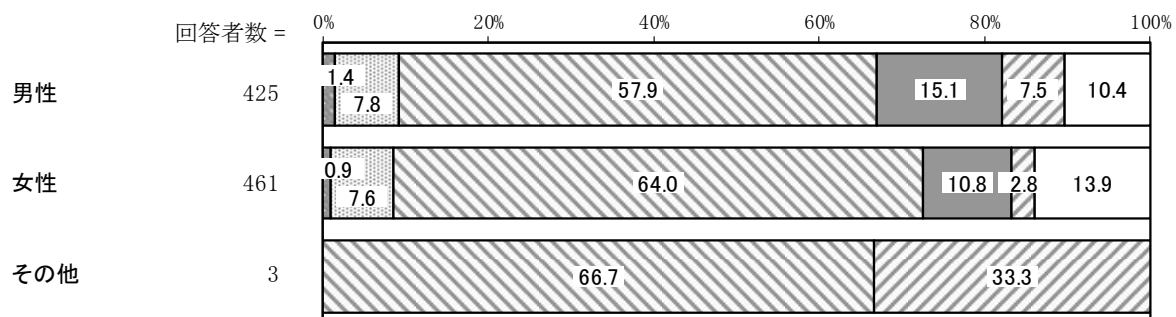
「どちらでもない」の割合が61.1%と最も高く、次いで“不満”の割合が18.1%、“満足”の割合が8.7%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が減少しています。



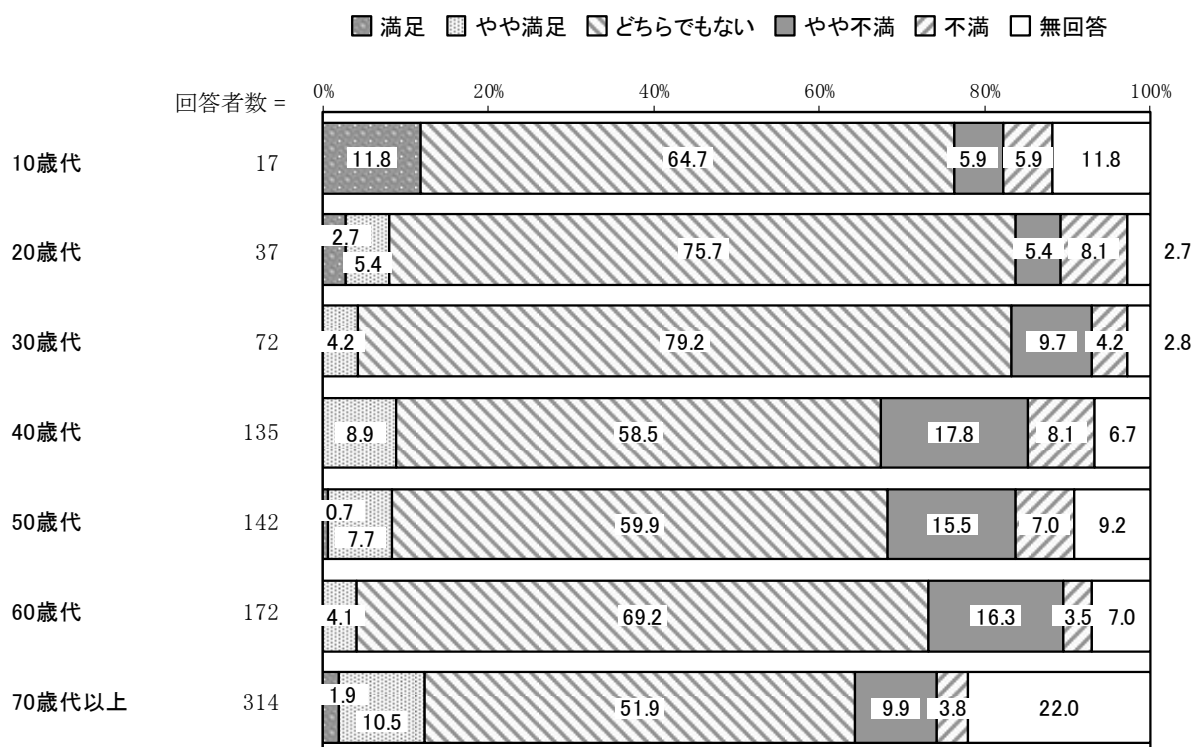
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



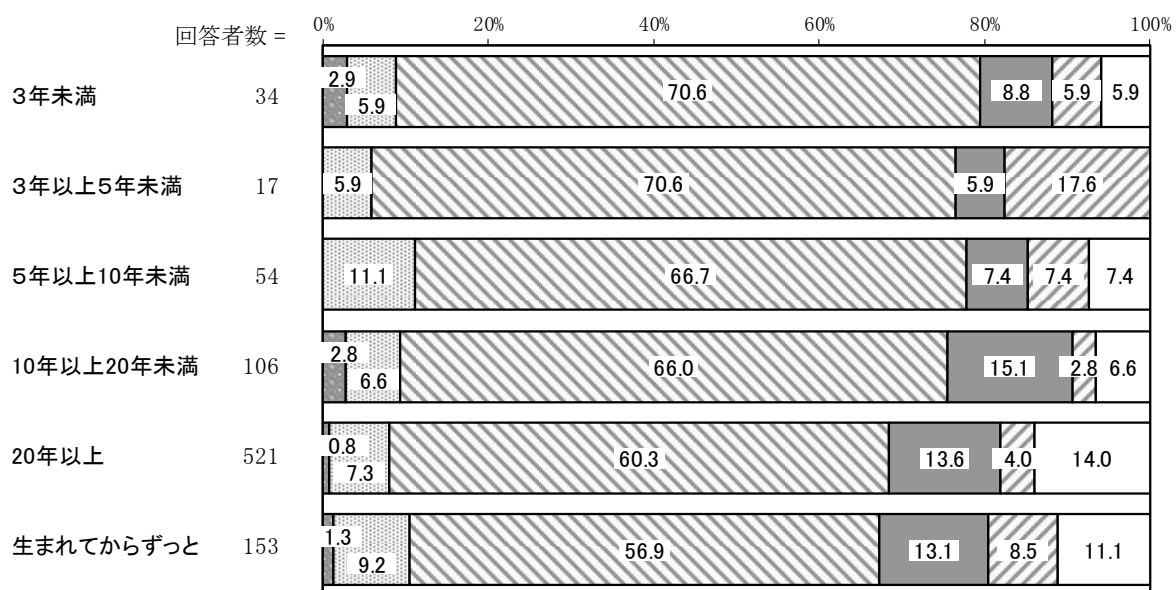
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。



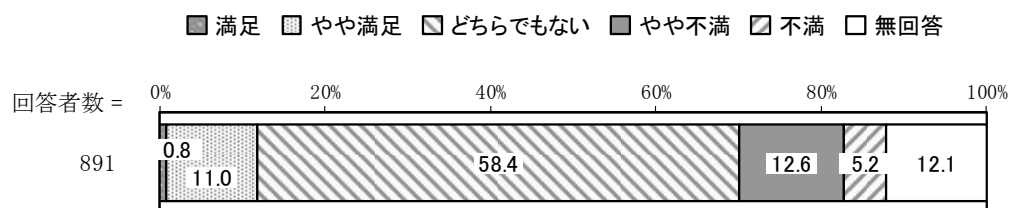
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2割を超えています。



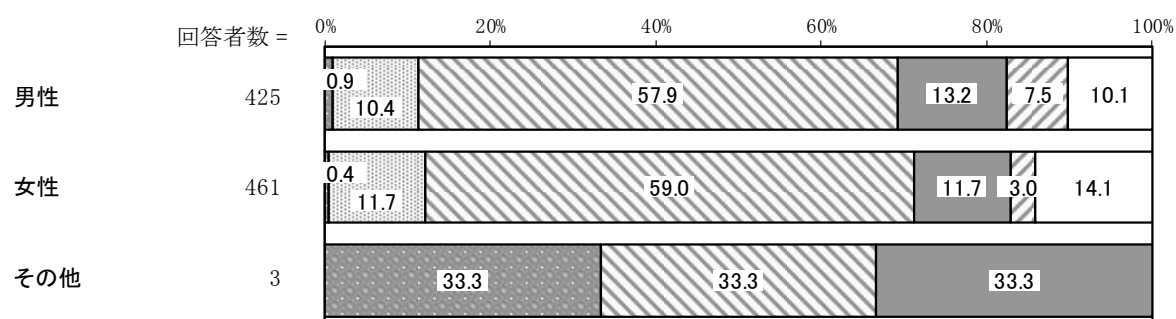
(4) シティプロモーションの推進（市民及び市外への市の魅力発信）

「どちらでもない」の割合が58.4%と最も高く、次いで“不満”の割合が17.8%、“満足”の割合が11.8%となっています。



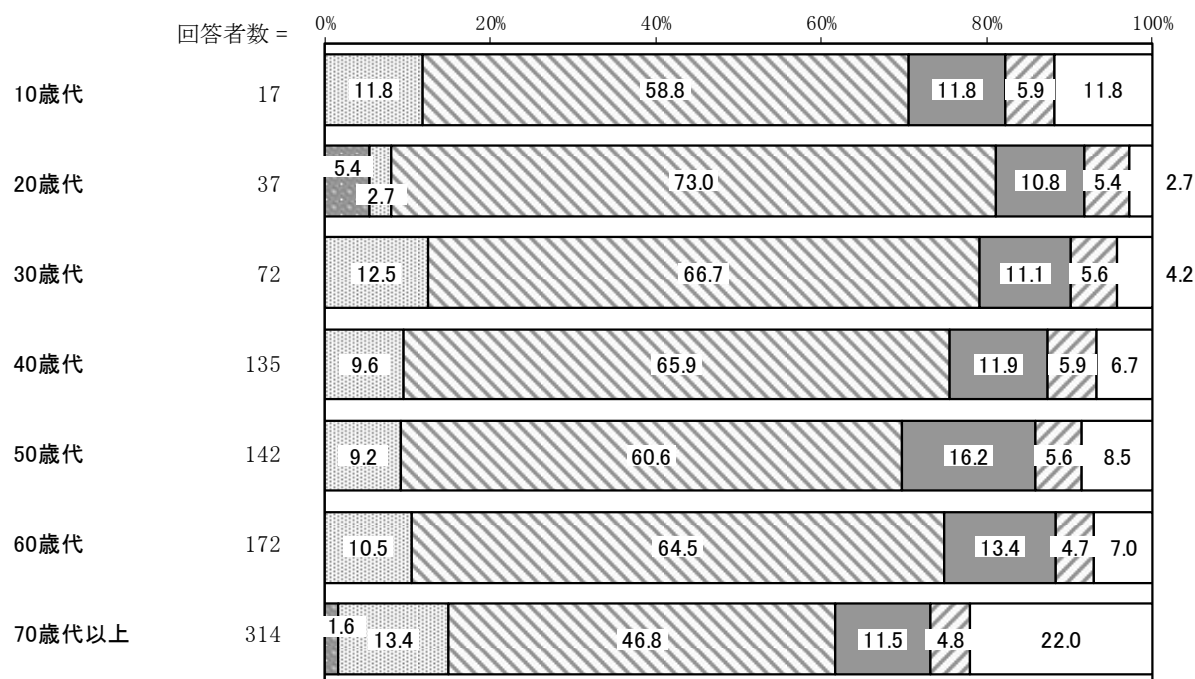
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



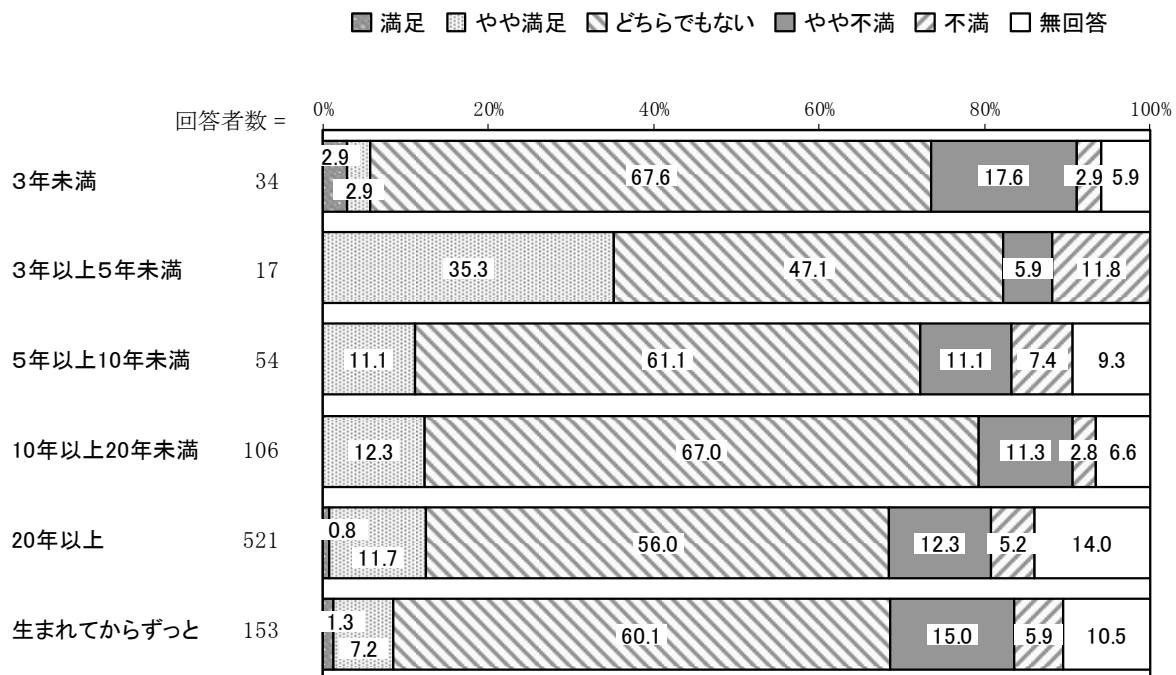
【年代別】

年代別でみると、50歳代で“不満”の割合が高くなっており、2割を超えています。



【居住年数別】

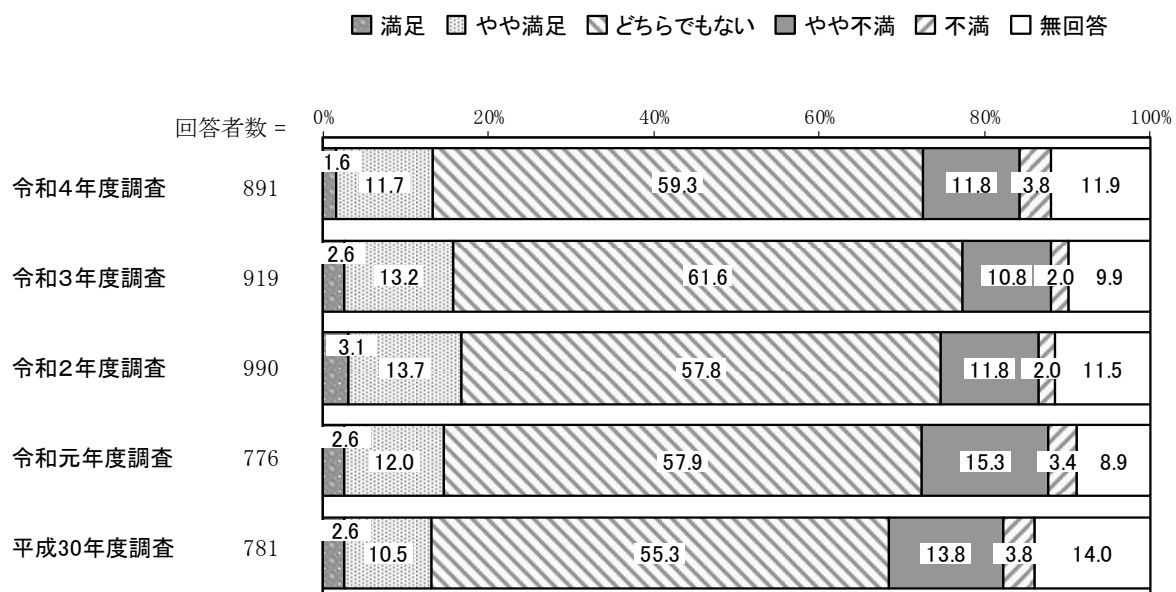
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、3割半ばとなっています。



(5) 定住・移住の促進

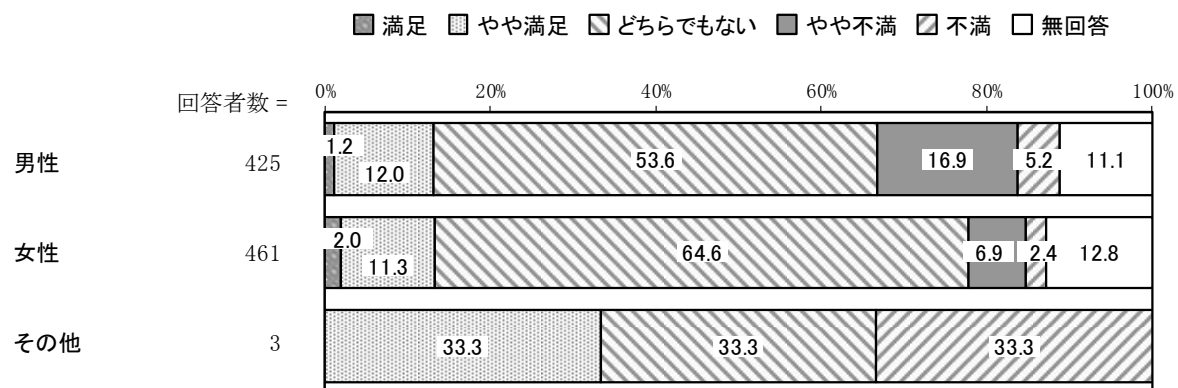
「どちらでもない」の割合が59.3%と最も高く、次いで“不満”の割合が15.6%、“満足”の割合が13.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



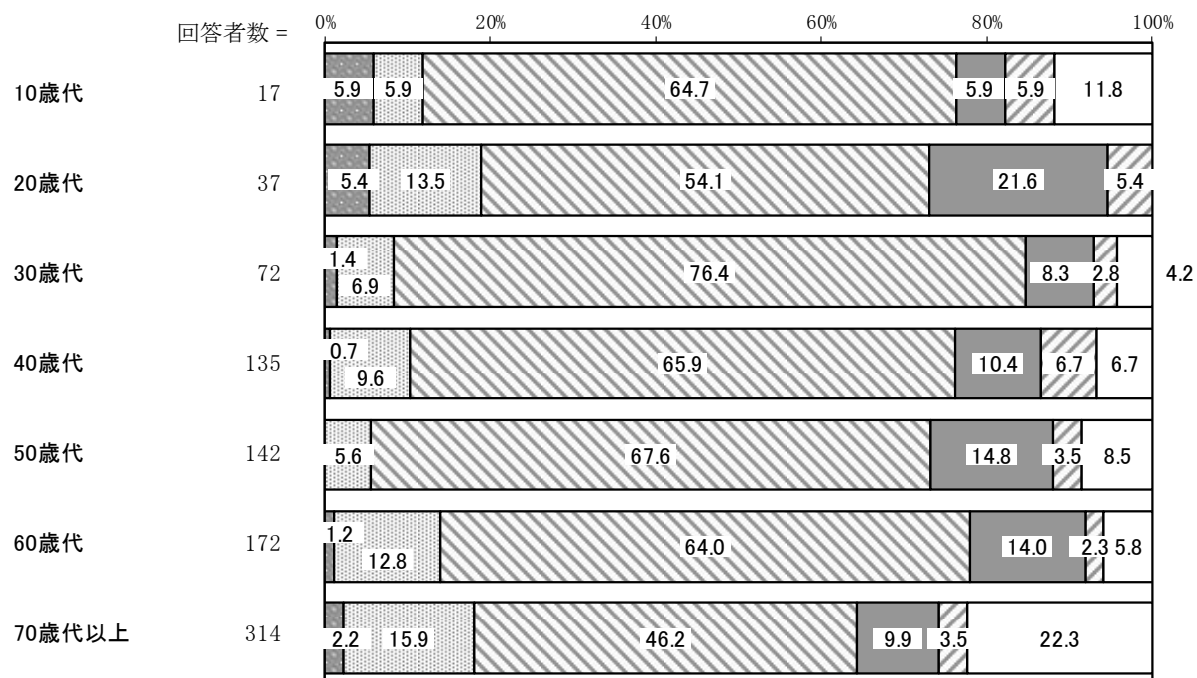
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



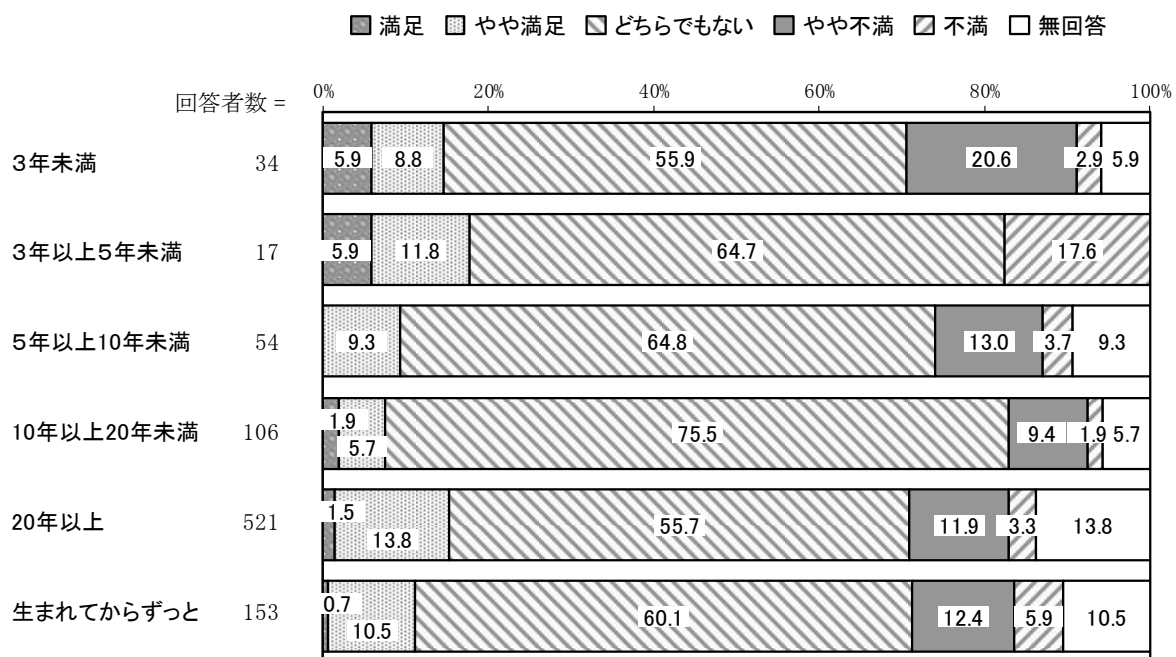
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。また、20歳代で“不満”の割合が高く、3割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。また、3年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



(6) 地域と市民の元気づくり

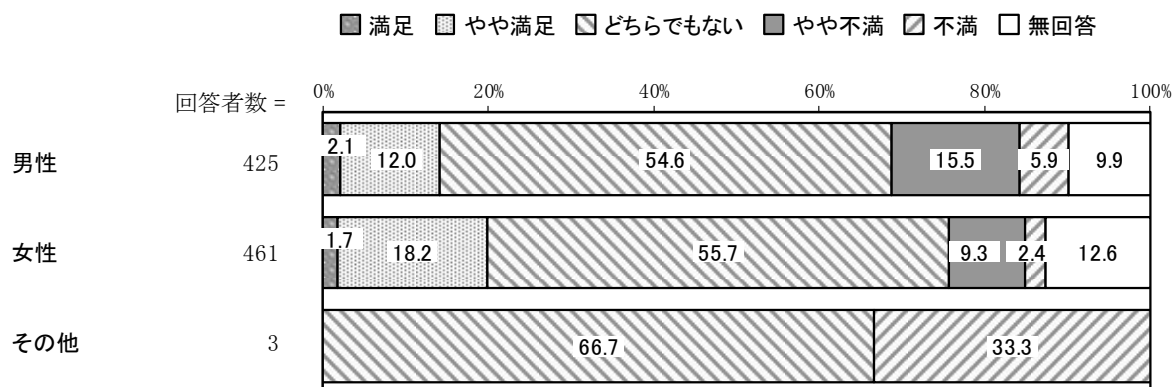
「どちらでもない」の割合が55.2%と最も高く、次いで“不満”の割合が16.5%、“満足”の割合が17.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が減少しています。



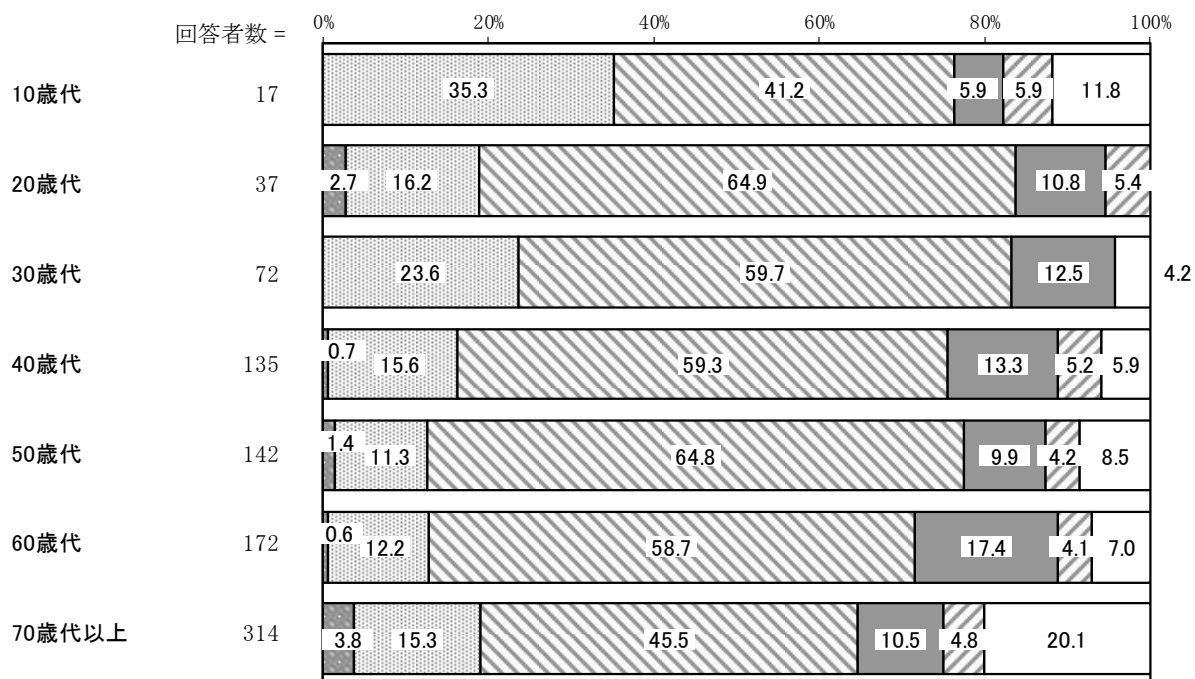
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



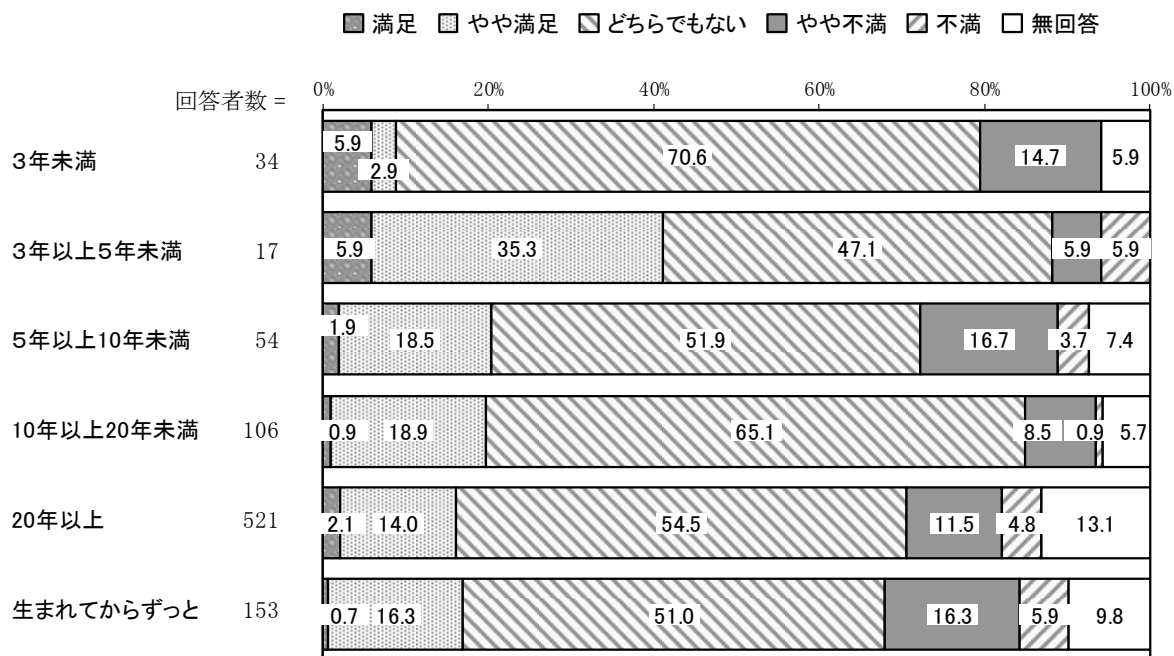
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、3割半ばとなっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、4割を超えています。また、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2割を超えています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

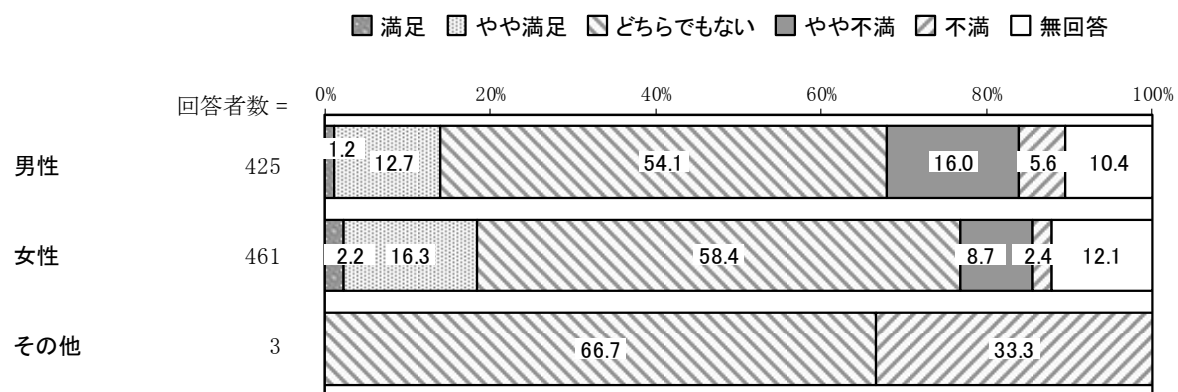
「どちらでもない」の割合が56.3%と最も高く、次いで“満足”“不満”の割合が16.2%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



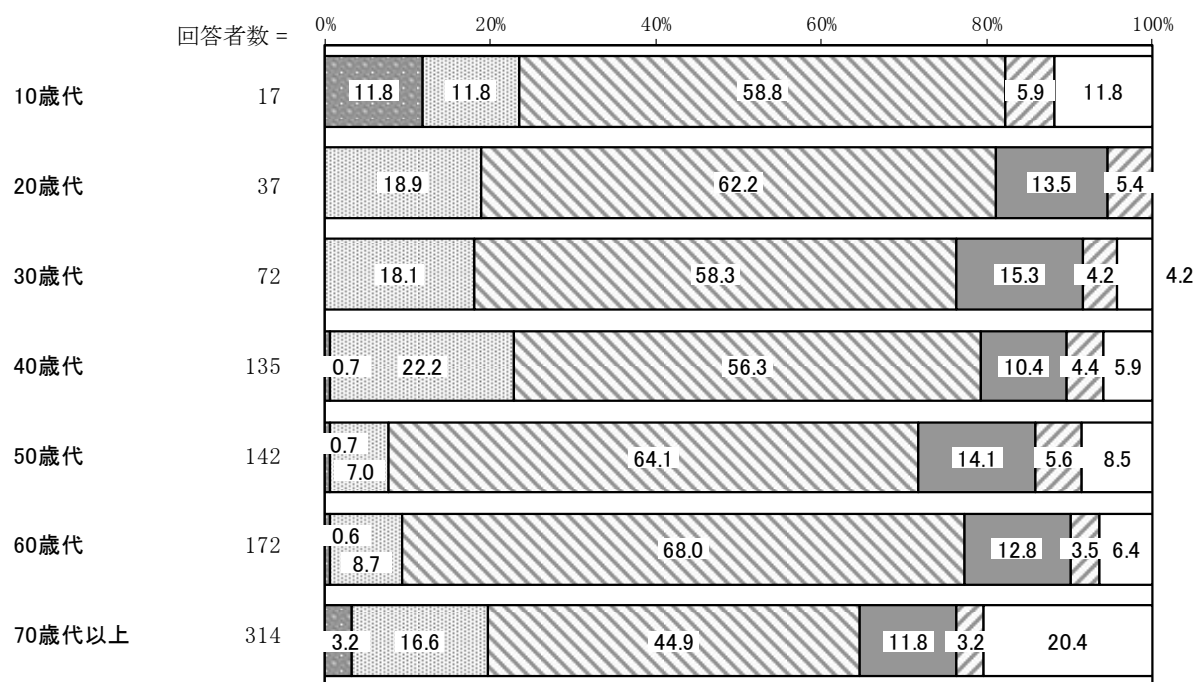
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



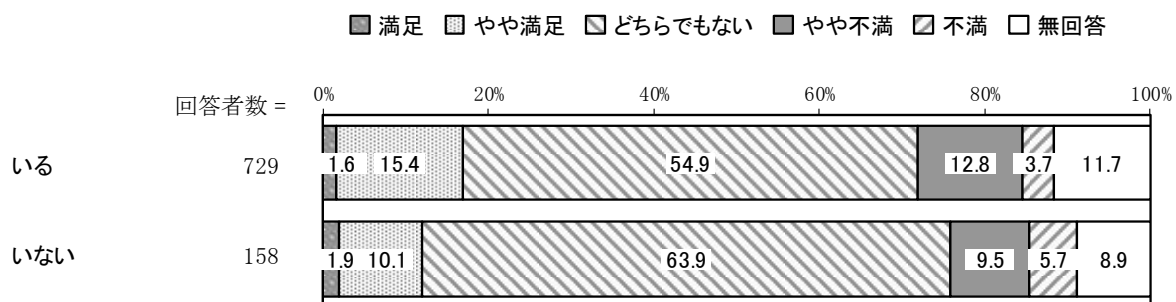
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“満足”の割合が低くなっています。また、10歳代で“不満”の割合が低くなっています。



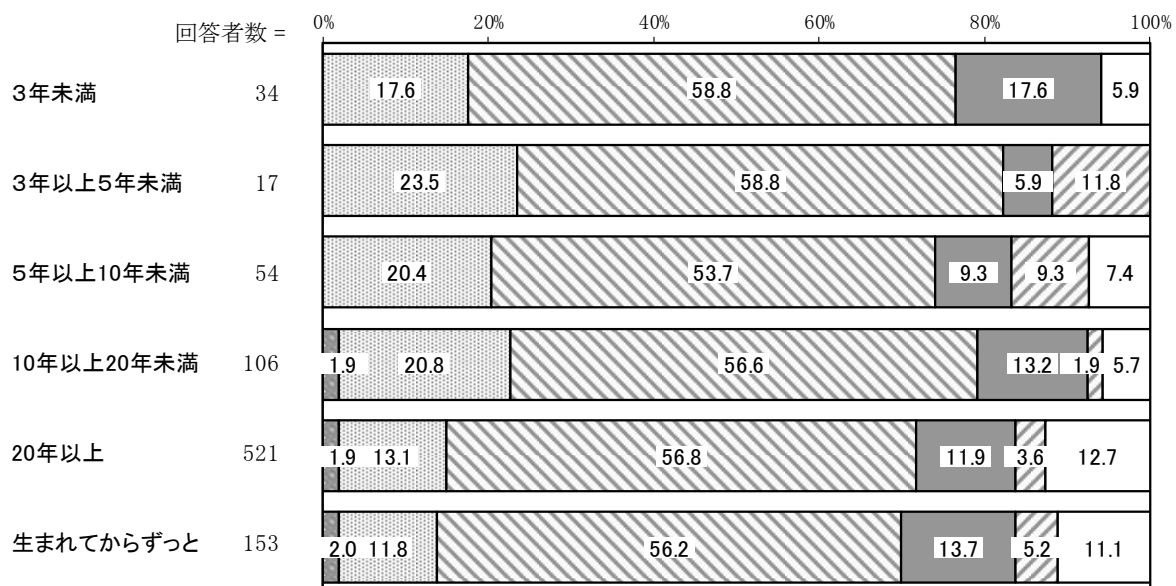
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。



【居住年数別】

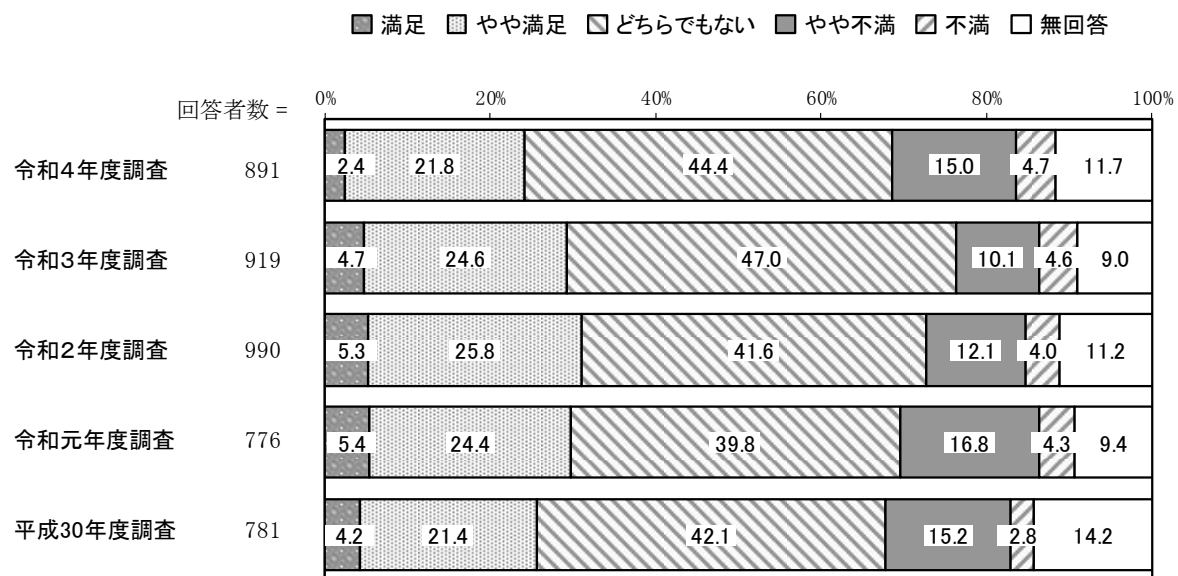
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が低くなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

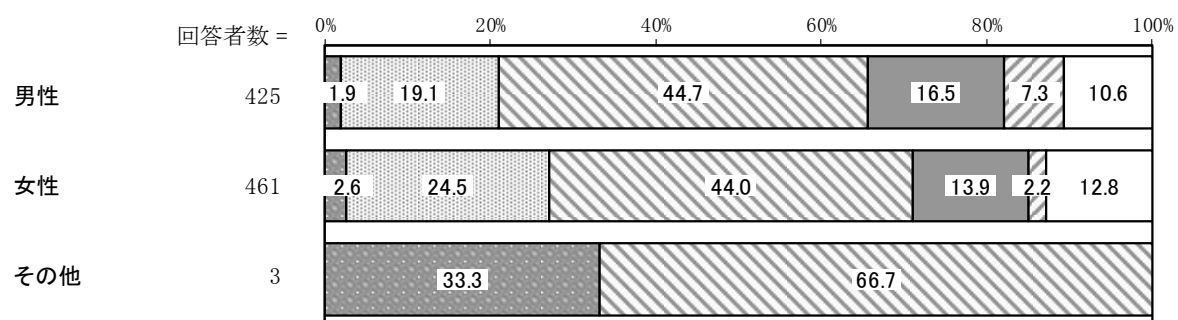
「どちらでもない」の割合が44.4%と最も高く、次いで“満足”の割合が24.2%、“不満”の割合が19.7%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が増加傾向でしたが、令和4年度では減少しています。



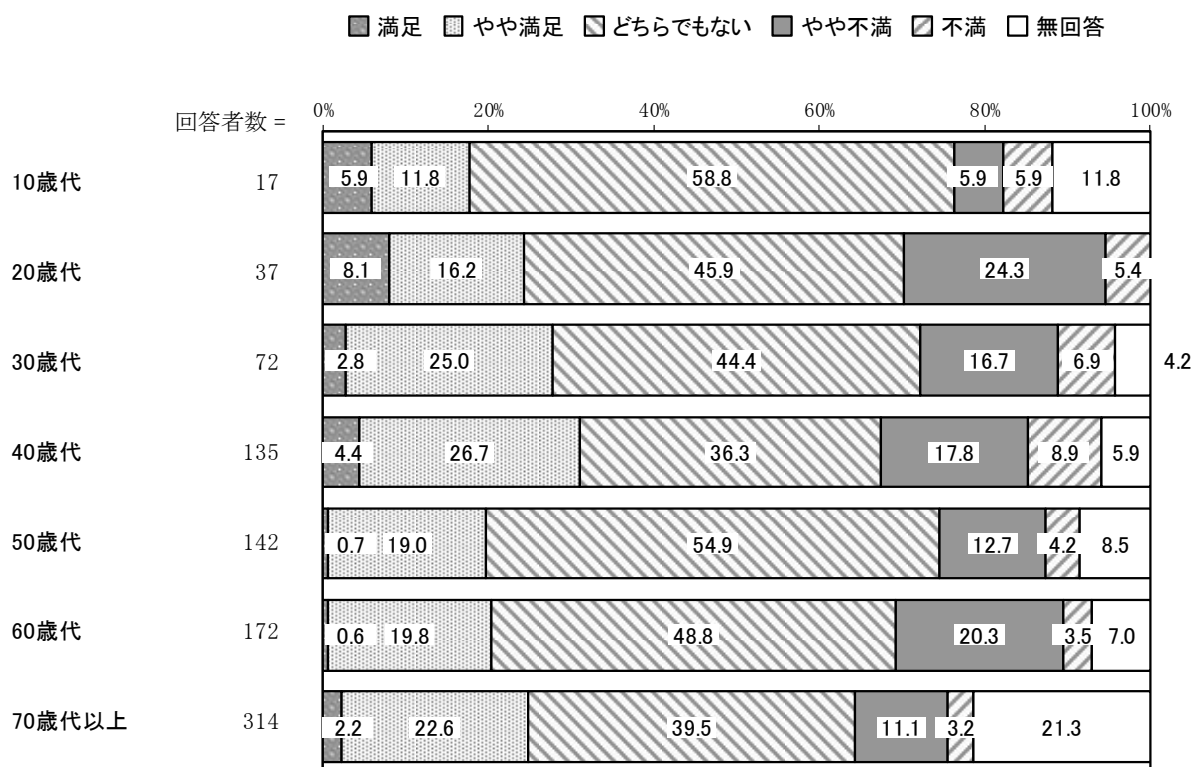
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。一方、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



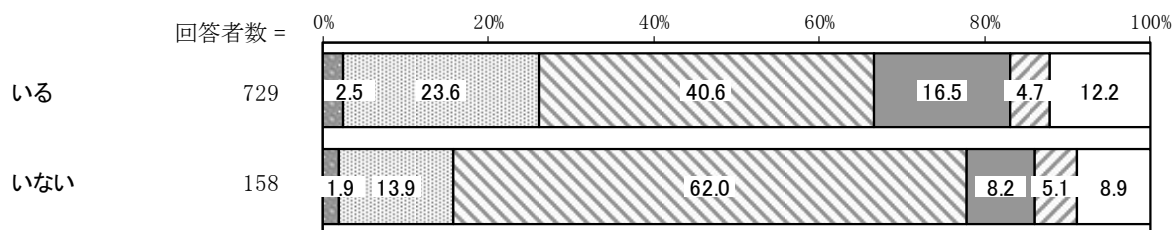
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“満足”の割合が高く、3割を超えています。また、20歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



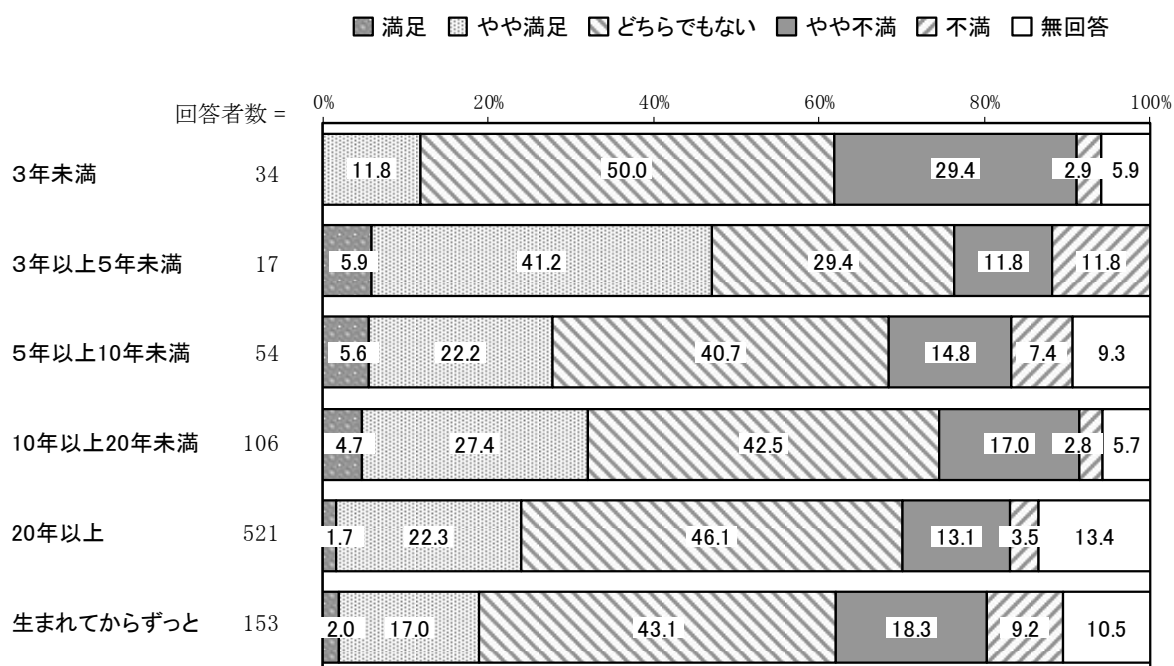
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合が高く、2割半ばとなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“不満”の割合が低く、1割半ばとなっています。



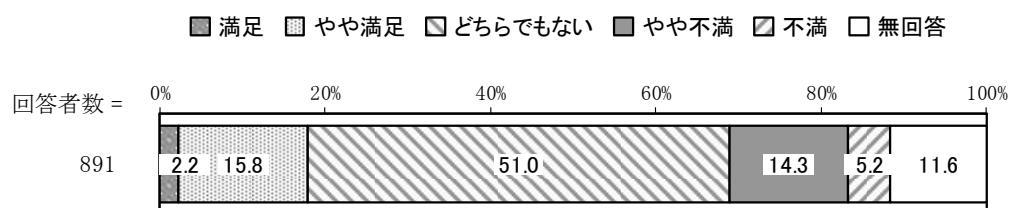
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、5割近くとなっています。また、3年未満で“不満”の割合が高く、3割を超えています。



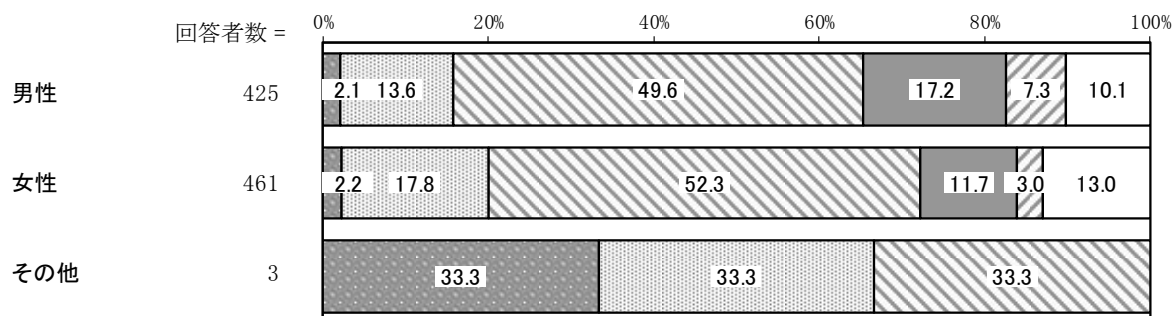
(9) 学びを支援する環境づくり

「どちらでもない」の割合が51.0%と最も高く、次いで“不満”の割合が19.5%、“満足”の割合が18.0%となっています。



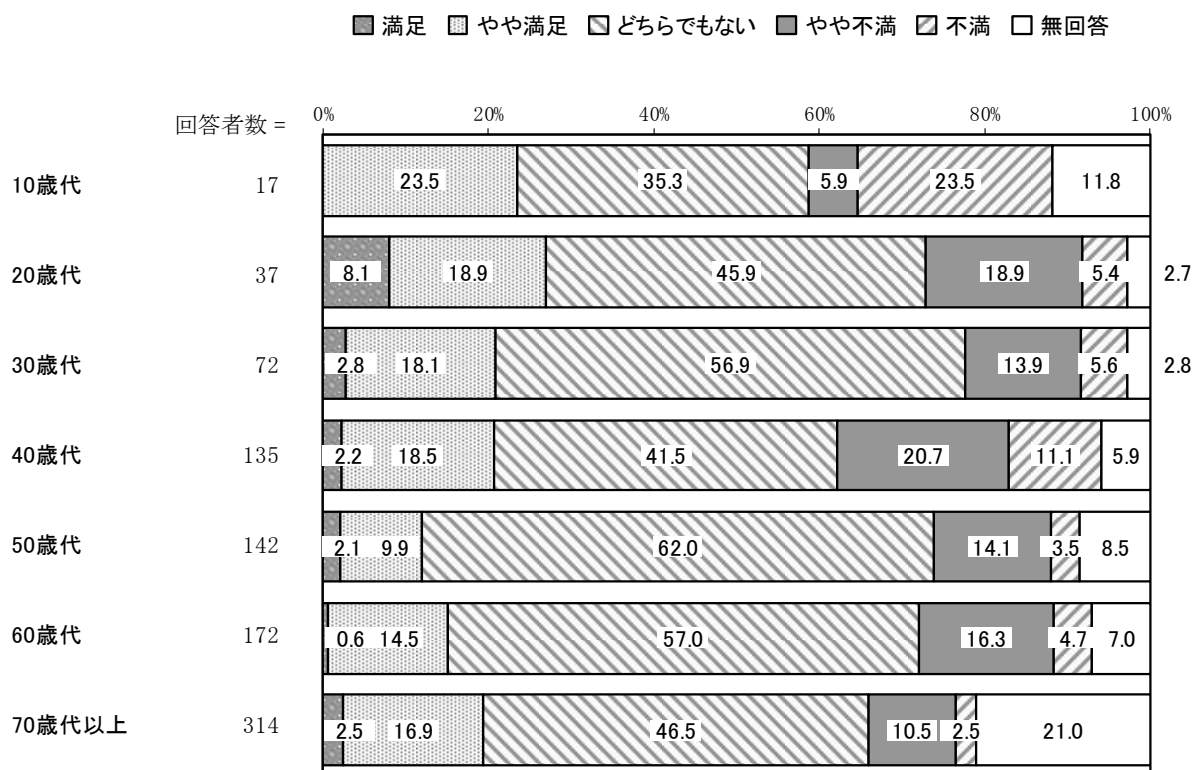
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。



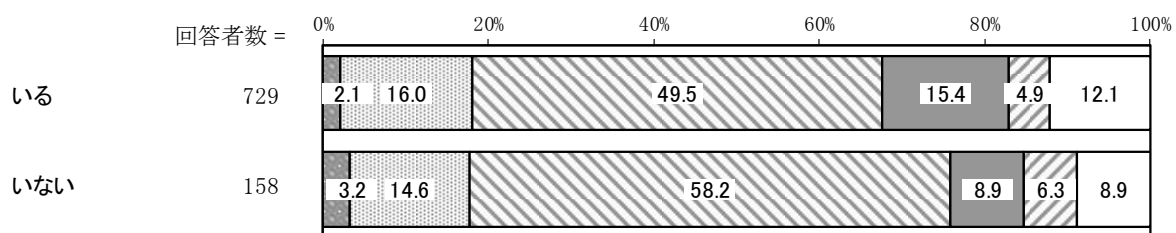
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50 歳代で“満足”の割合が低く、1 割程となっています。また、10 歳代、40 歳代で“不満”の割合が高く、約 3 割となっています。



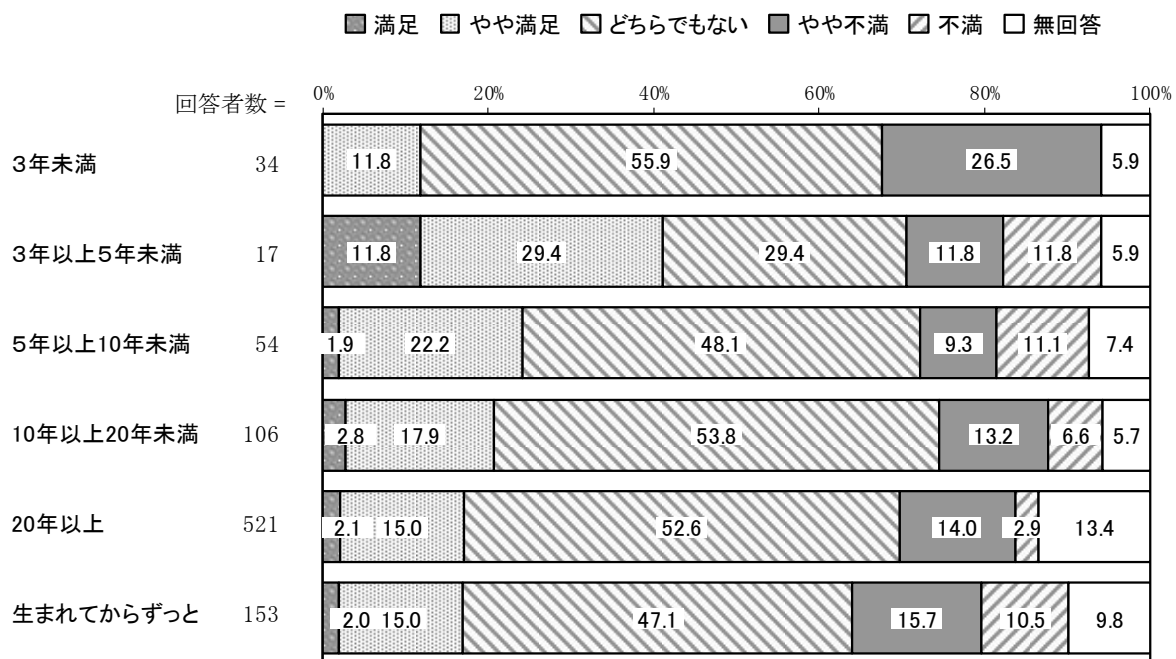
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、約 2 割となっています。



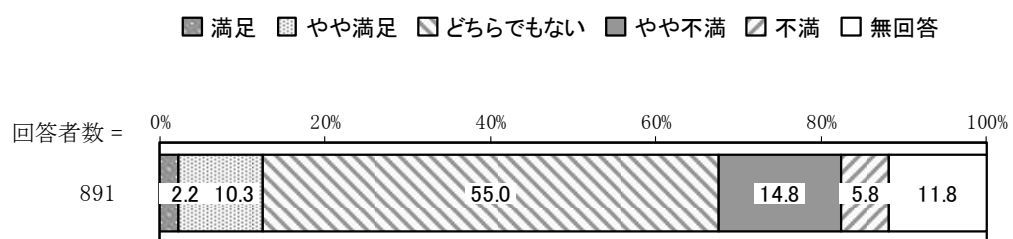
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、4割を超えています。



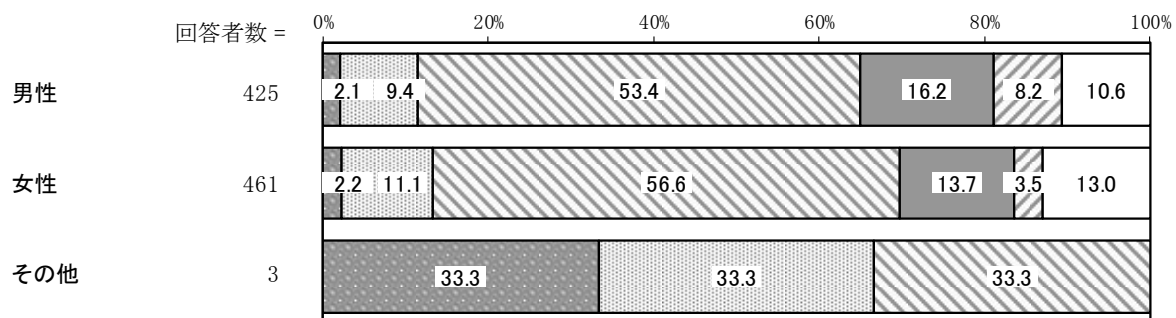
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成

「どちらでもない」の割合が55.0%と最も高く、次いで“不満”の割合が20.6%、“満足”の割合が12.5%となっています。



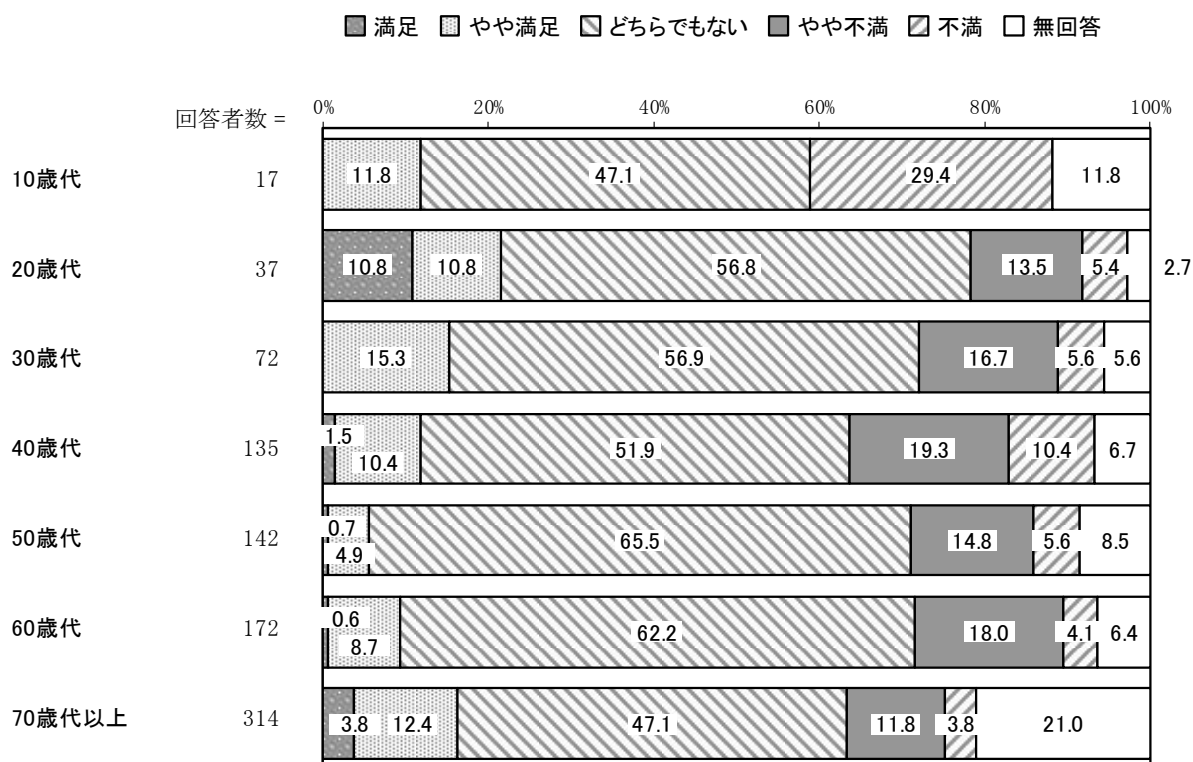
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。



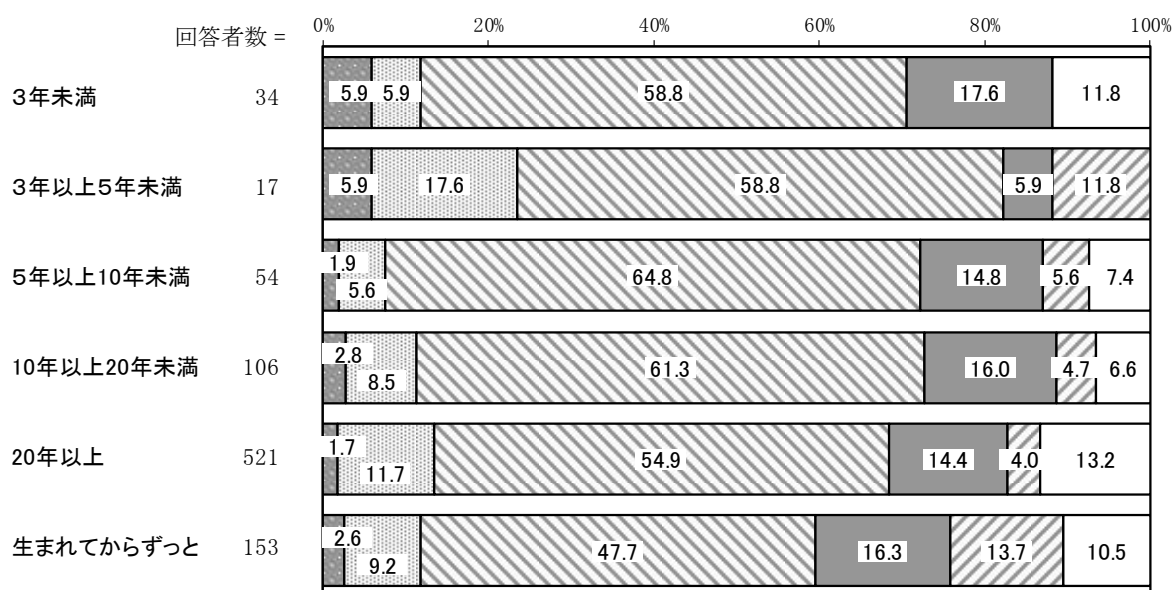
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代と40歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



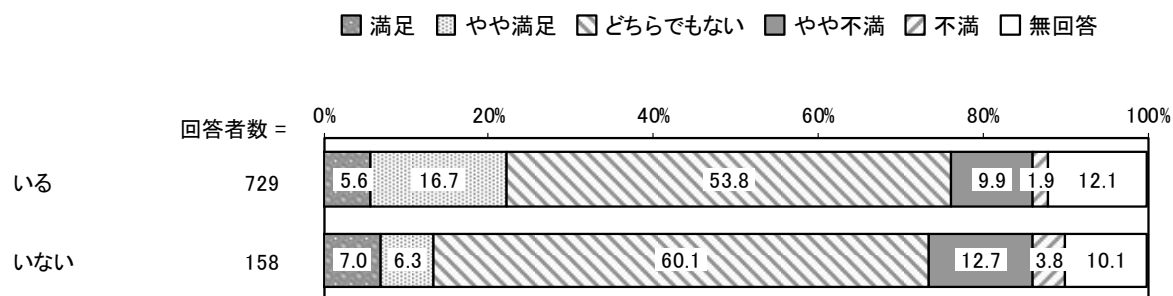
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、2割を超えています。また、3年以上5年未満、20年以上で“不満”の割合が低く、2割近くとなっています。



【子どもの有無別】

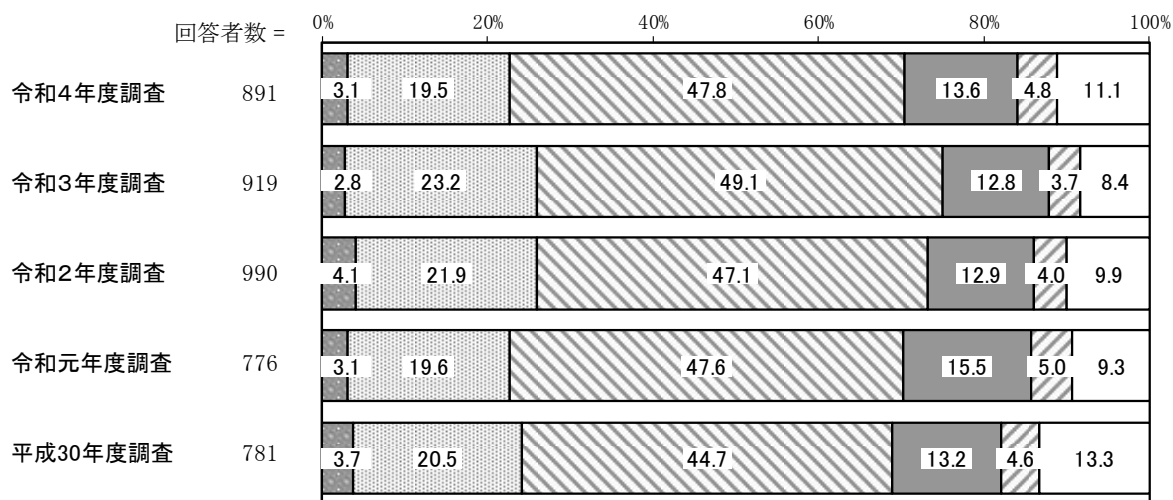
子どもの有無別でみると、子どものいない人に比べ、いる人で“満足”の割合が高く、2割を超えています。また、子どものいる人に比べ、いない人で「どちらでもない」の割合が高く、約6割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

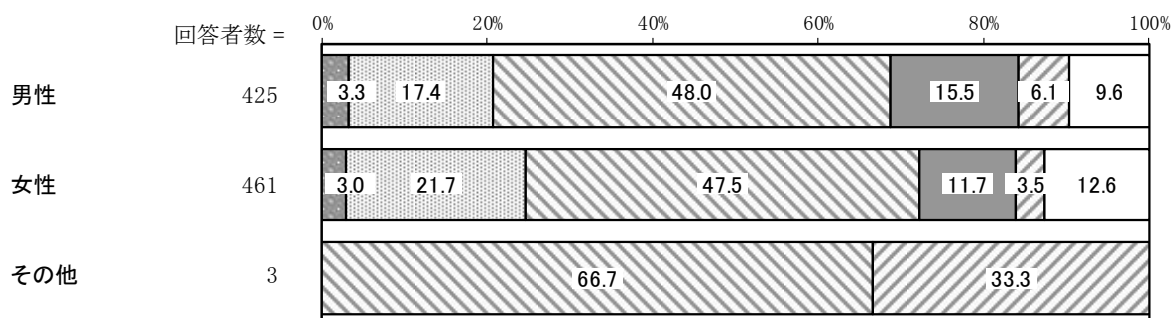
「どちらでもない」の割合が47.8%と最も高く、次いで“満足”の割合が22.6%、“不満”の割合が18.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“不満”の割合に減少の傾向がみられましたが、令和4年度では増加しています。



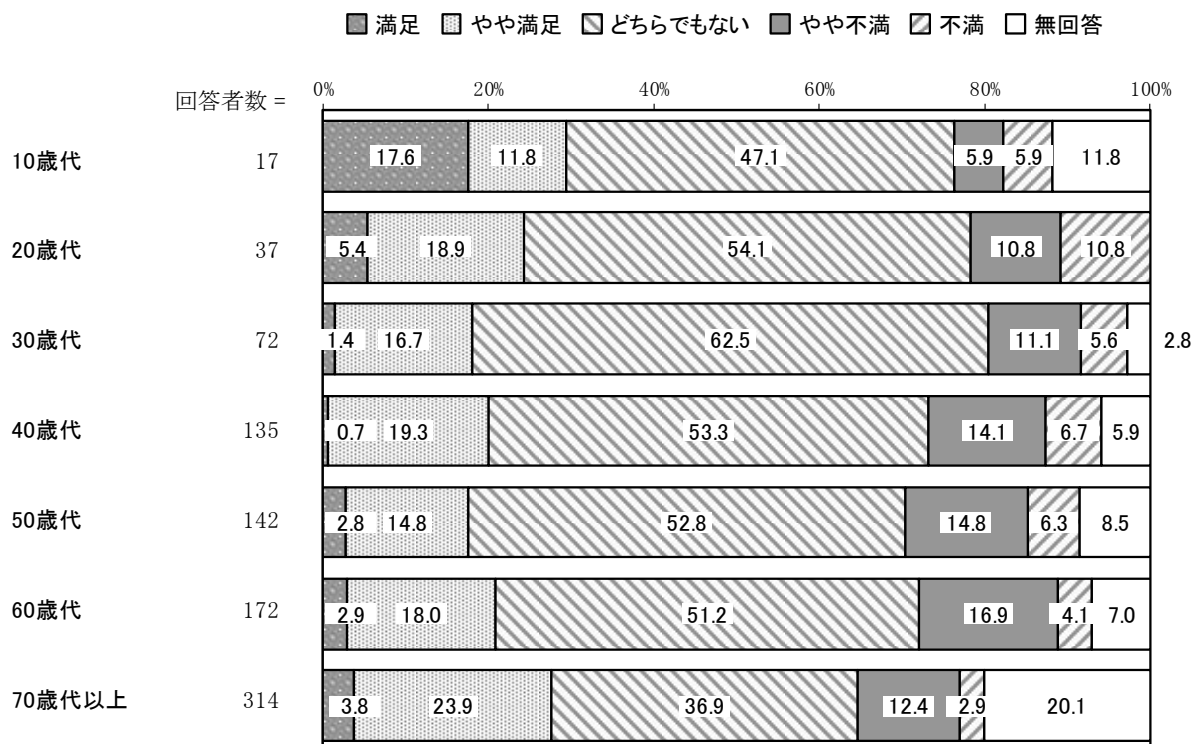
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



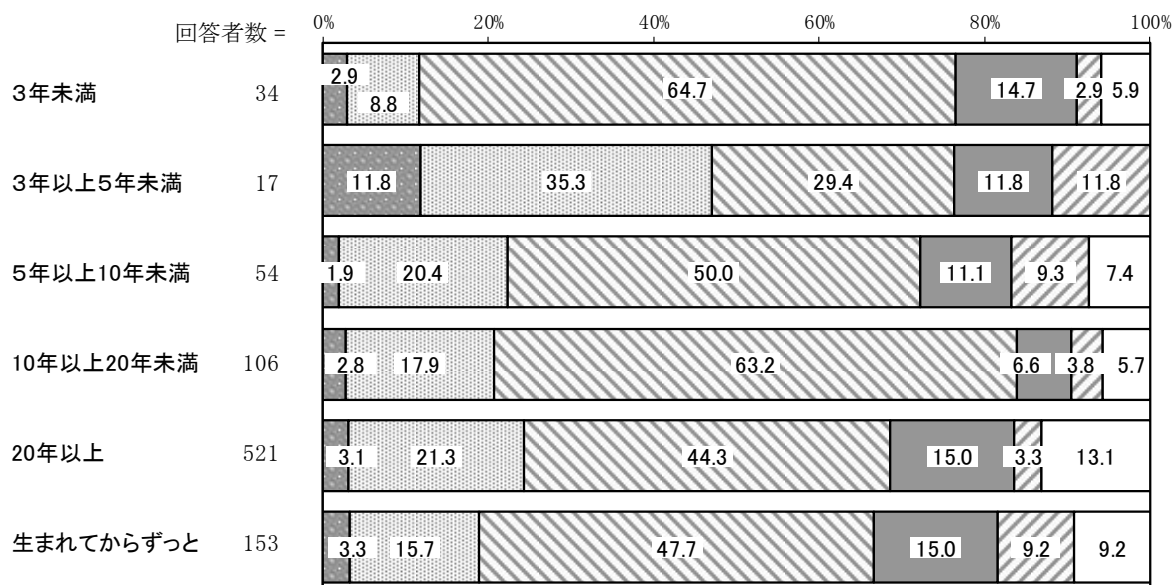
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、70 歳代以上で“満足”の割合が高くなっています。また、10 歳代で“不満”の割合が低く、約 1 割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3 年以上 5 年未満で“満足”の割合が高く、5 割近くとなっています。また、10 年以上 20 年未満で“不満”の割合が低く、約 1 割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

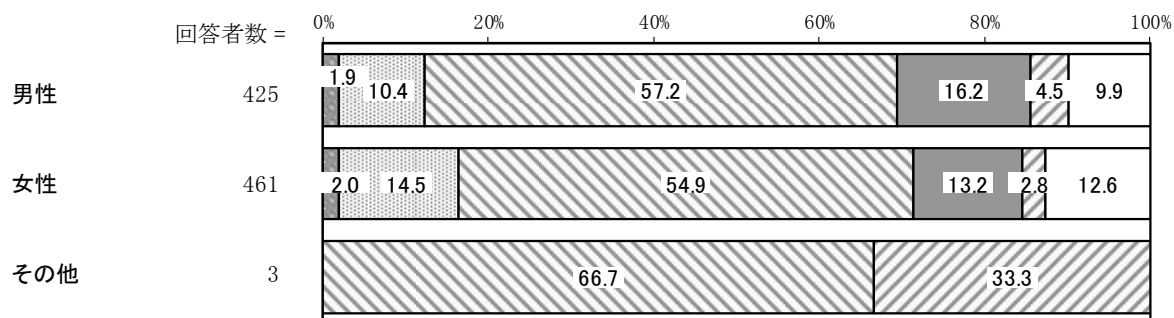
「どちらでもない」の割合が56.0%と最も高く、次いで“不満”の割合が18.4%、“満足”の割合が14.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和2年度以降“満足”の割合が減少する傾向がみられます。



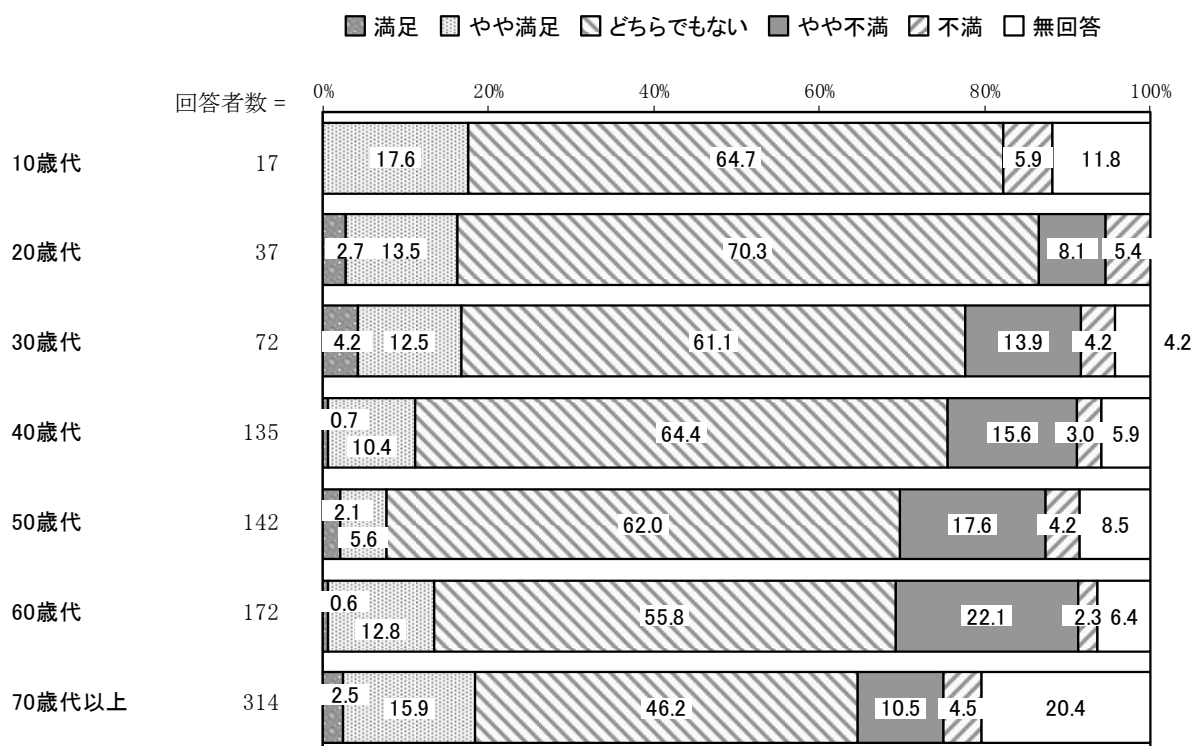
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



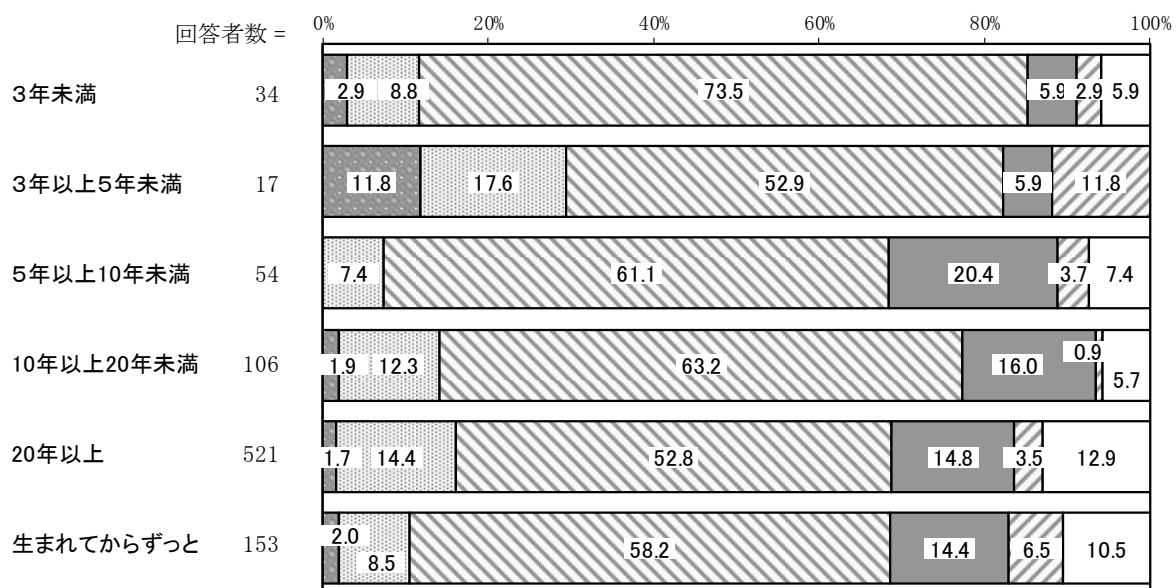
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“満足”の割合が低く、1割近くとなっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。



【居住年数別】

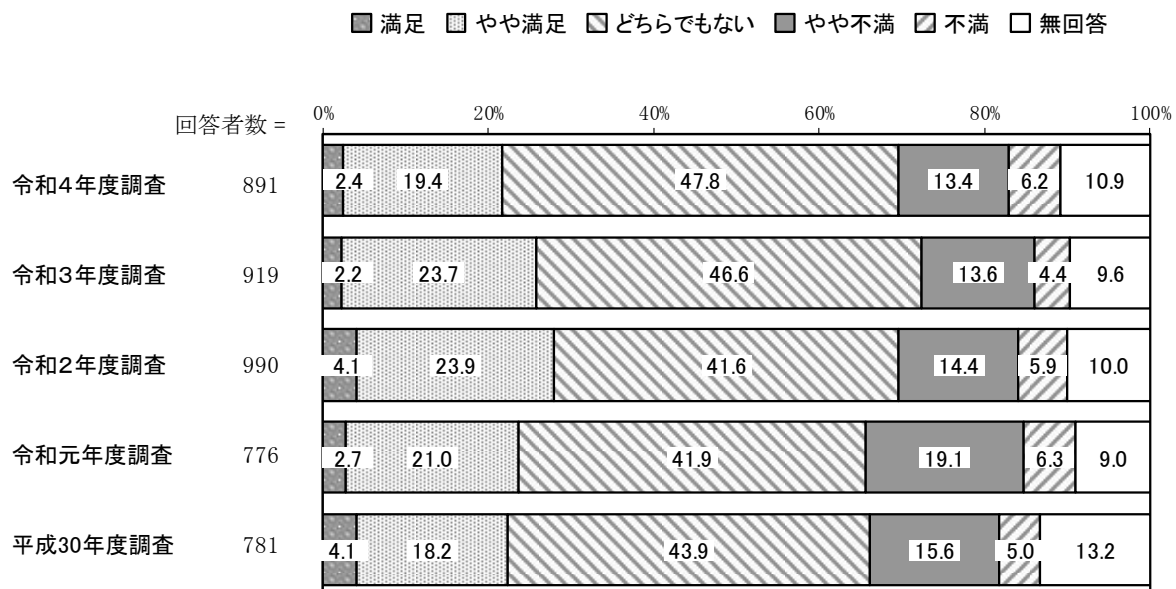
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。また、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

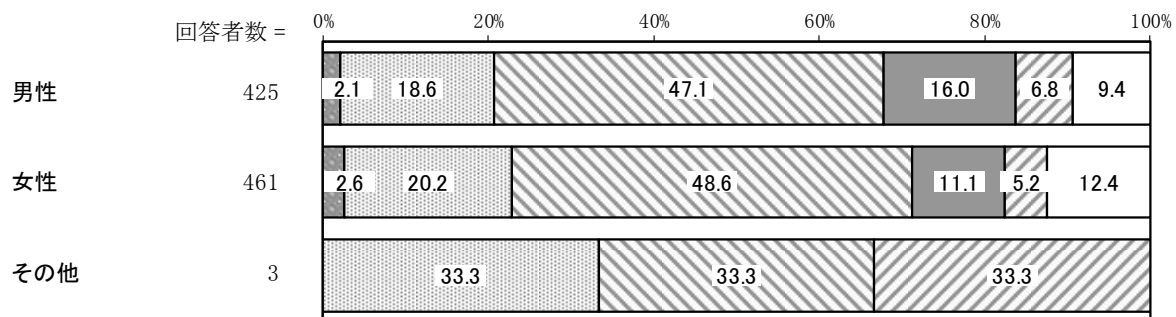
「どちらでもない」の割合が47.8%と最も高く、次いで“満足”の割合が21.8%、“不満”の割合が19.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和2年度以降“満足”の割合が減少する傾向がみられます。



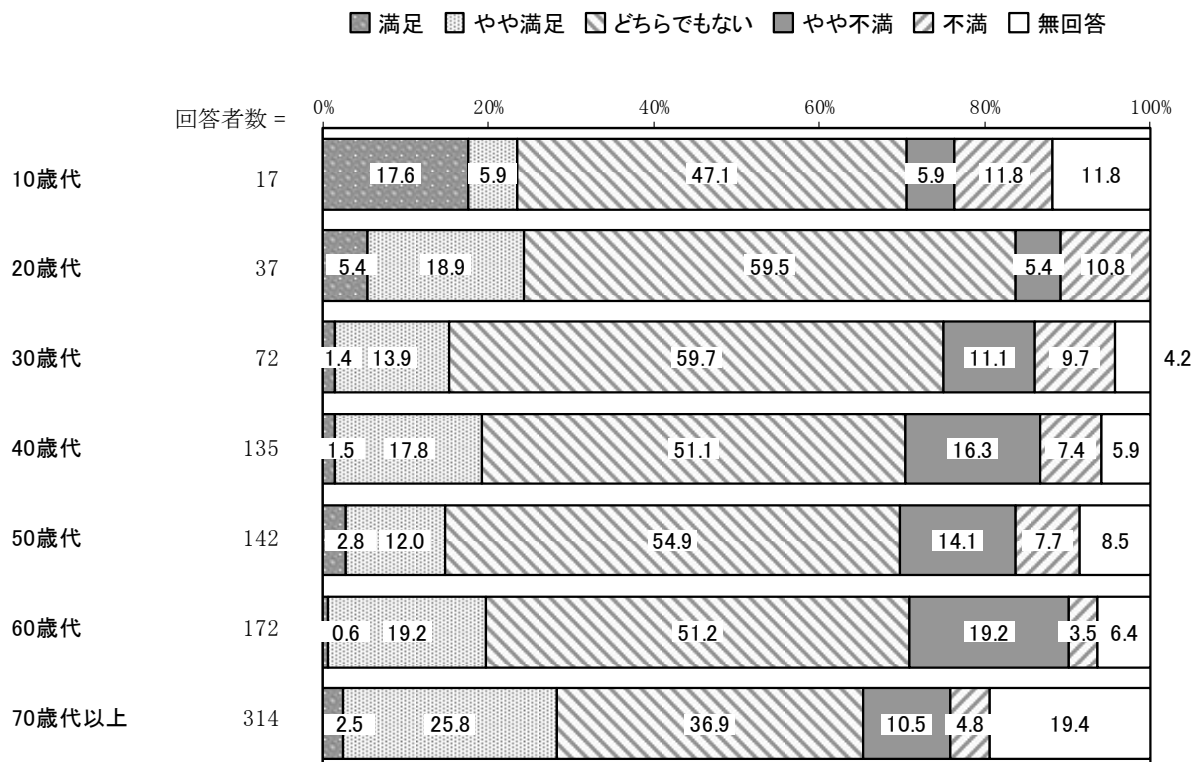
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



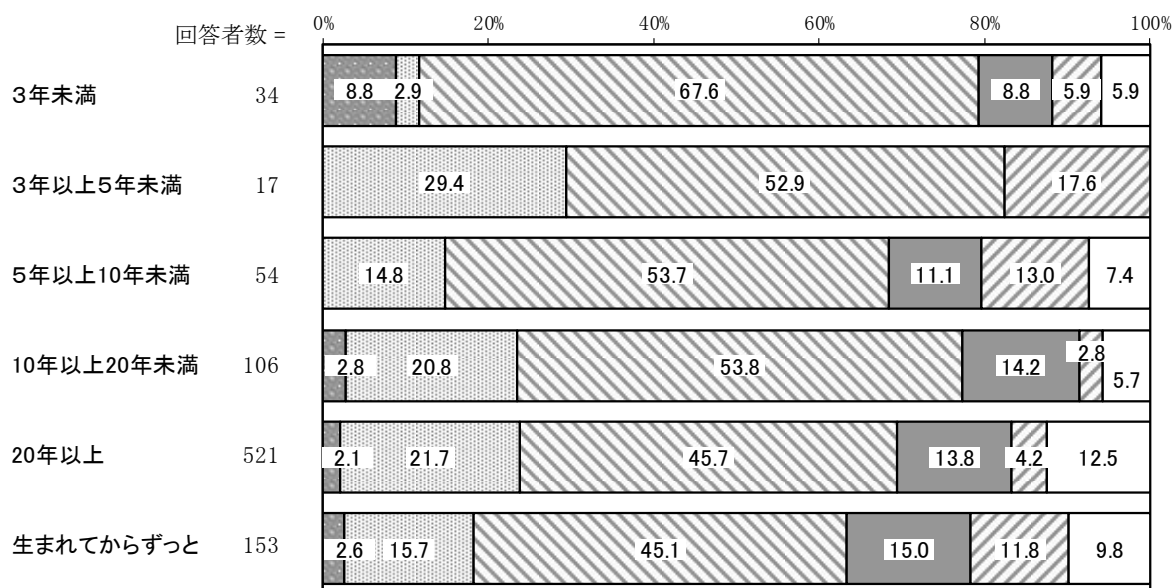
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、3 割近くとなっています。



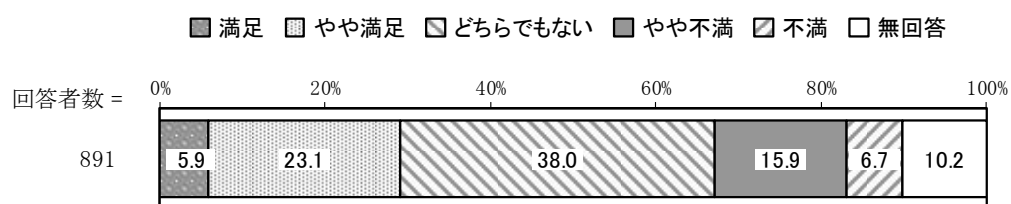
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3 年以上 5 年未満で“満足”の割合が高く、約 3 割となっています。また、5 年以上 10 年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2 割半ばとなっています。



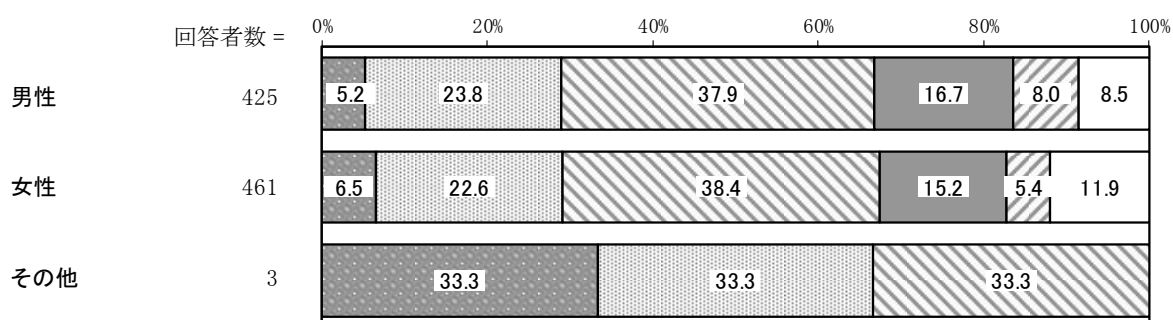
(14) 必要な医療サービスが受けられる

「どちらでもない」の割合が38.0%と最も高く、次いで“満足”の割合が29.0%、“不満”の割合が22.6%となっています。



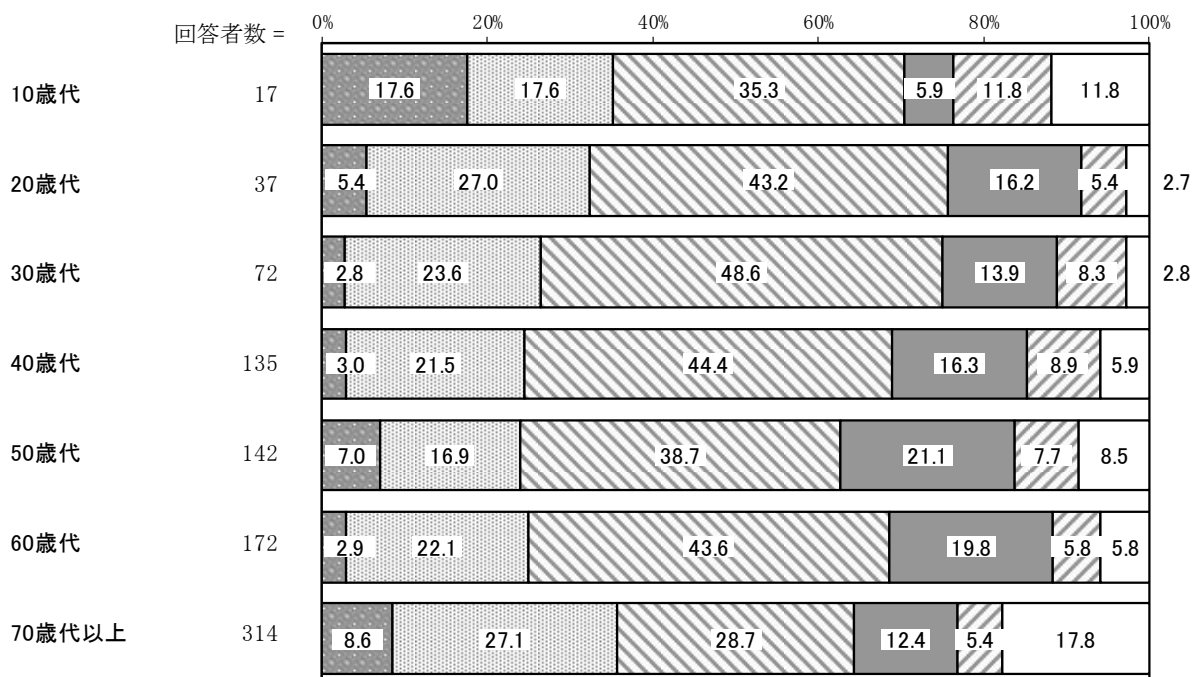
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



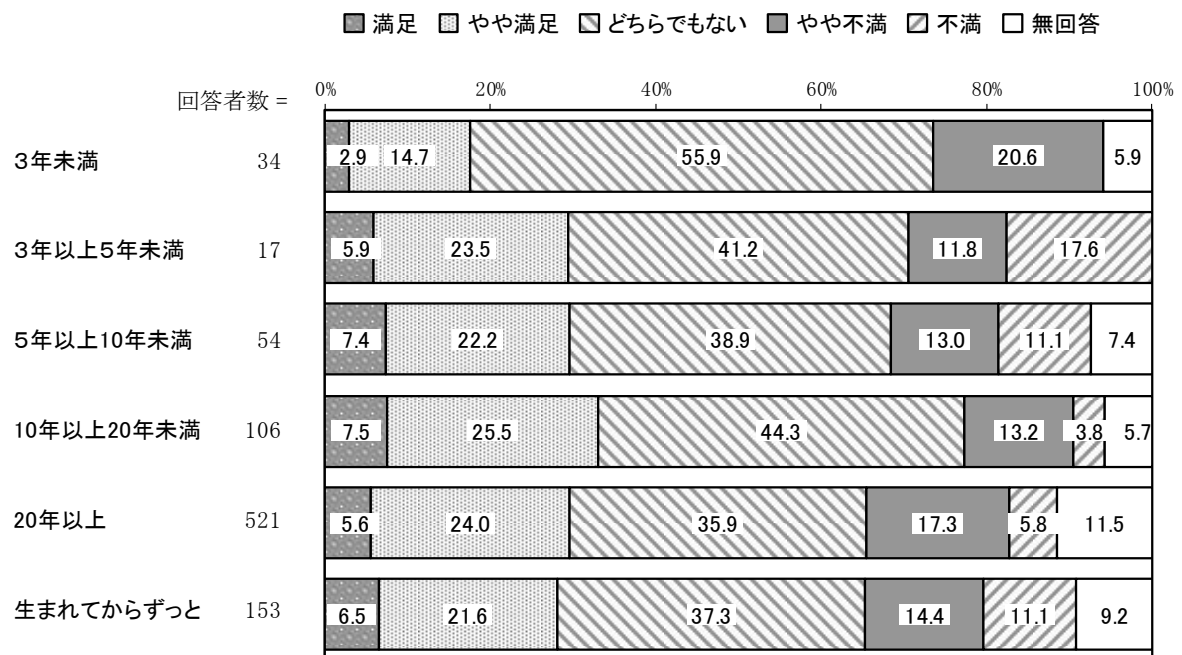
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割半ばとなっています。また、50歳代で“不満”の割合が高く、3割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“満足”の割合が低く、2割近くとなっています。また、10年以上20年未満で“不満”の割合が低く、2割近くとなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を 5 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満	→	-2 点		重要ではない	→	-2 点
やや不満	→	-1 点		あまり重要ではない	→	-1 点
どちらでもない	→	0 点		どちらでもない	→	0 点
やや満足	→	1 点		やや重要	→	1 点
満足	→	2 点		重要	→	2 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数
 +1点×「やや満足(やや重要)」の回答数
 +0点×「どちらでもない」の回答数
 -1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数
 -2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

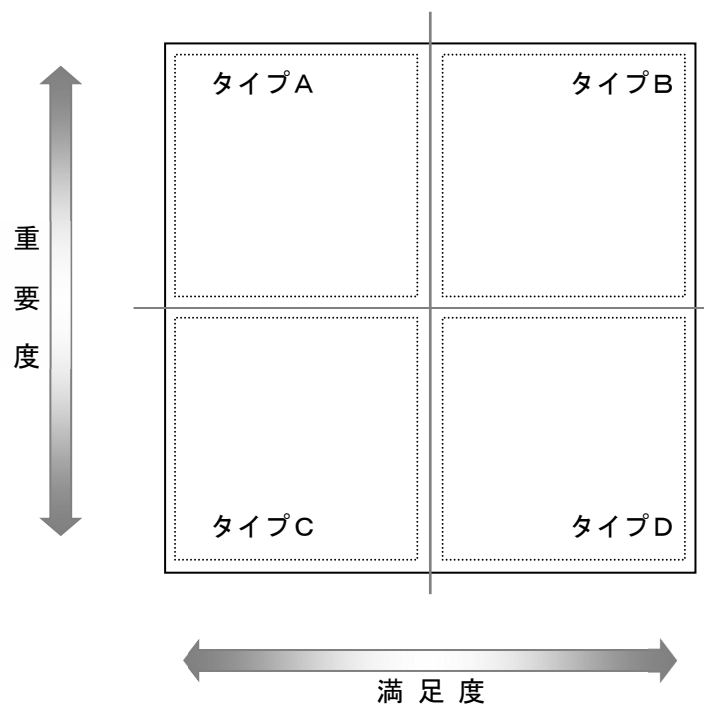
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(14) 必要な医療サービスが受けられる	0.06	第1位	1.65	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.03	第2位	1.50	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.02	第3位	1.49	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(4) シティプロモーションの推進	-0.12	第12位	0.99	(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成	-0.13	第13位	0.77	(4) シティプロモーションの推進
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.15	最下位	0.76	(5) 定住・移住の促進

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD

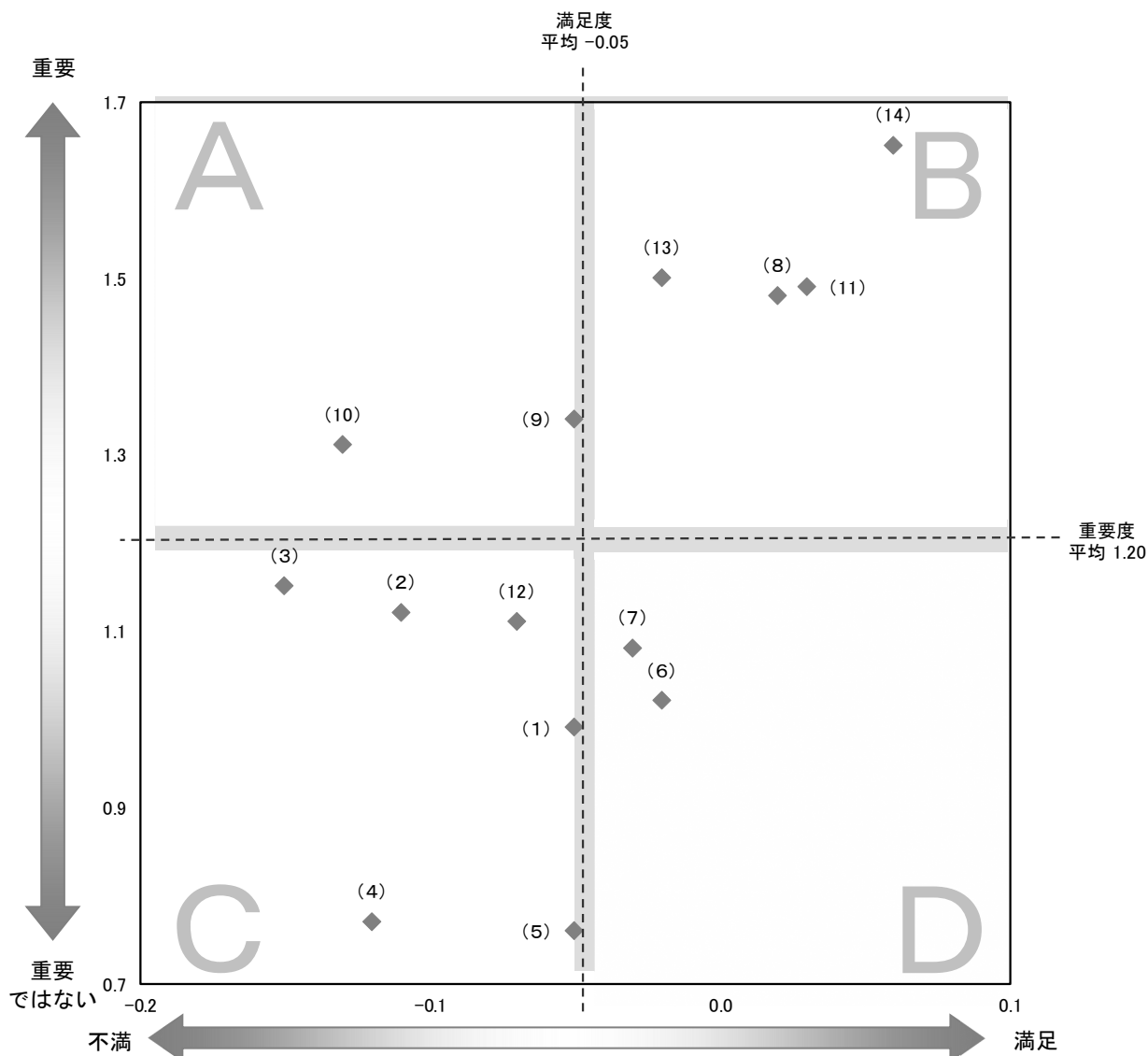
満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 891）

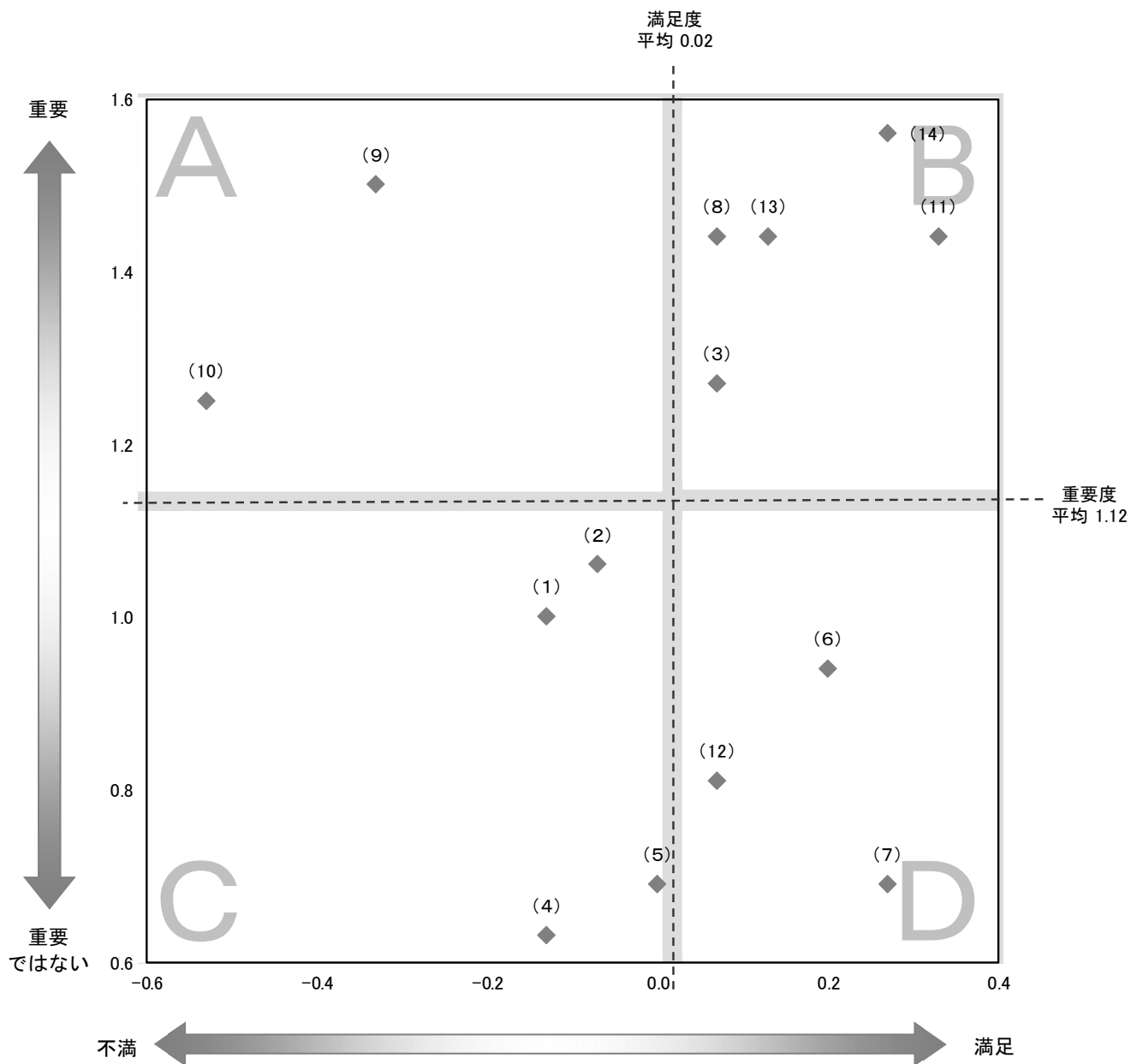
満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安全・安心に暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

各年代のポートフォリオからみると、可児市は必要な医療サービスを満足に受けられ、健康に暮らせる環境であり、安心して子供を育てられる環境であると全世代が感じています。そのため、さらに幼少期にこどもの心に寄り添い個々の力を引き出す教育環境が求められています。



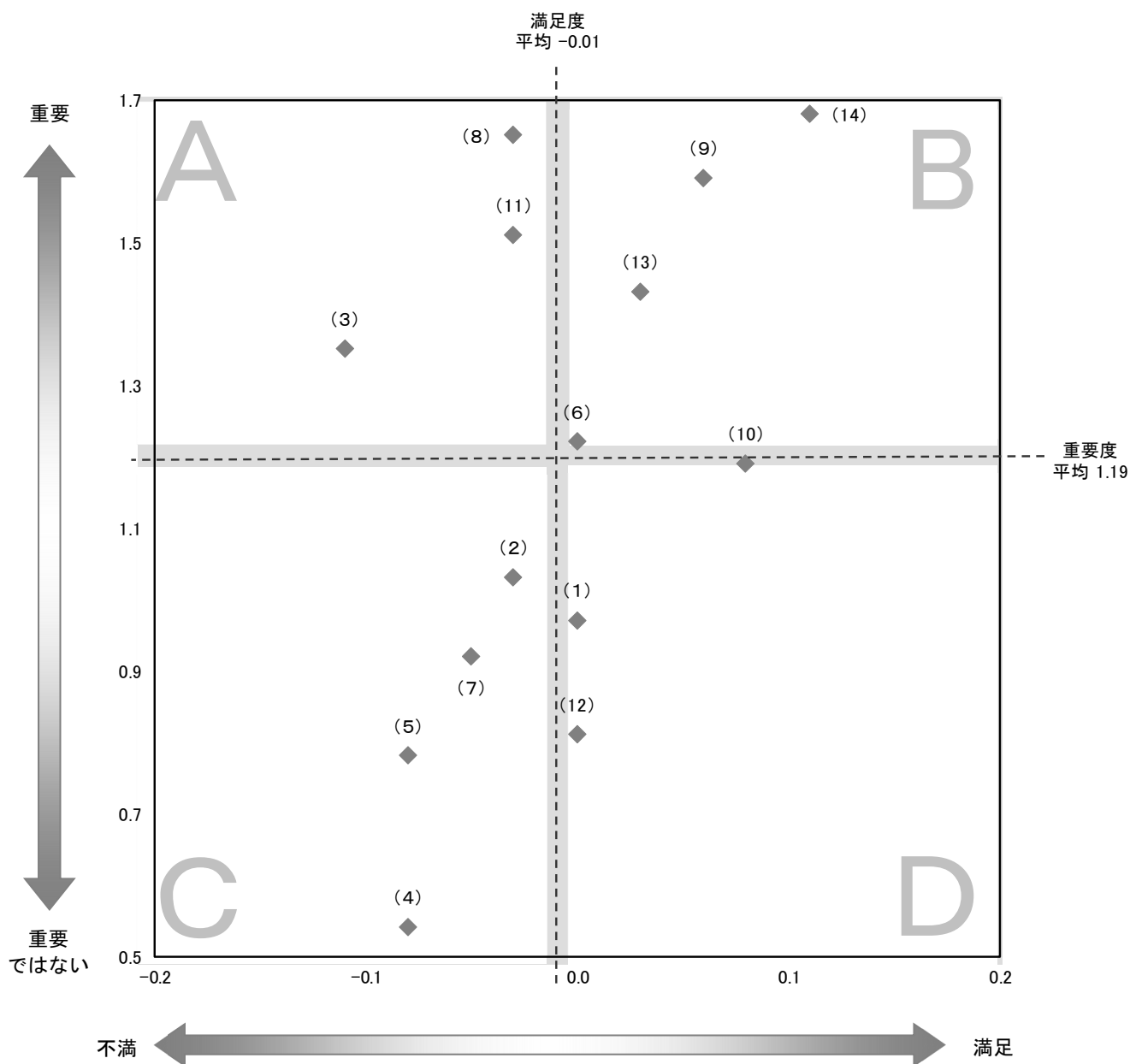
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（10 歳代 回答者数 = 17）



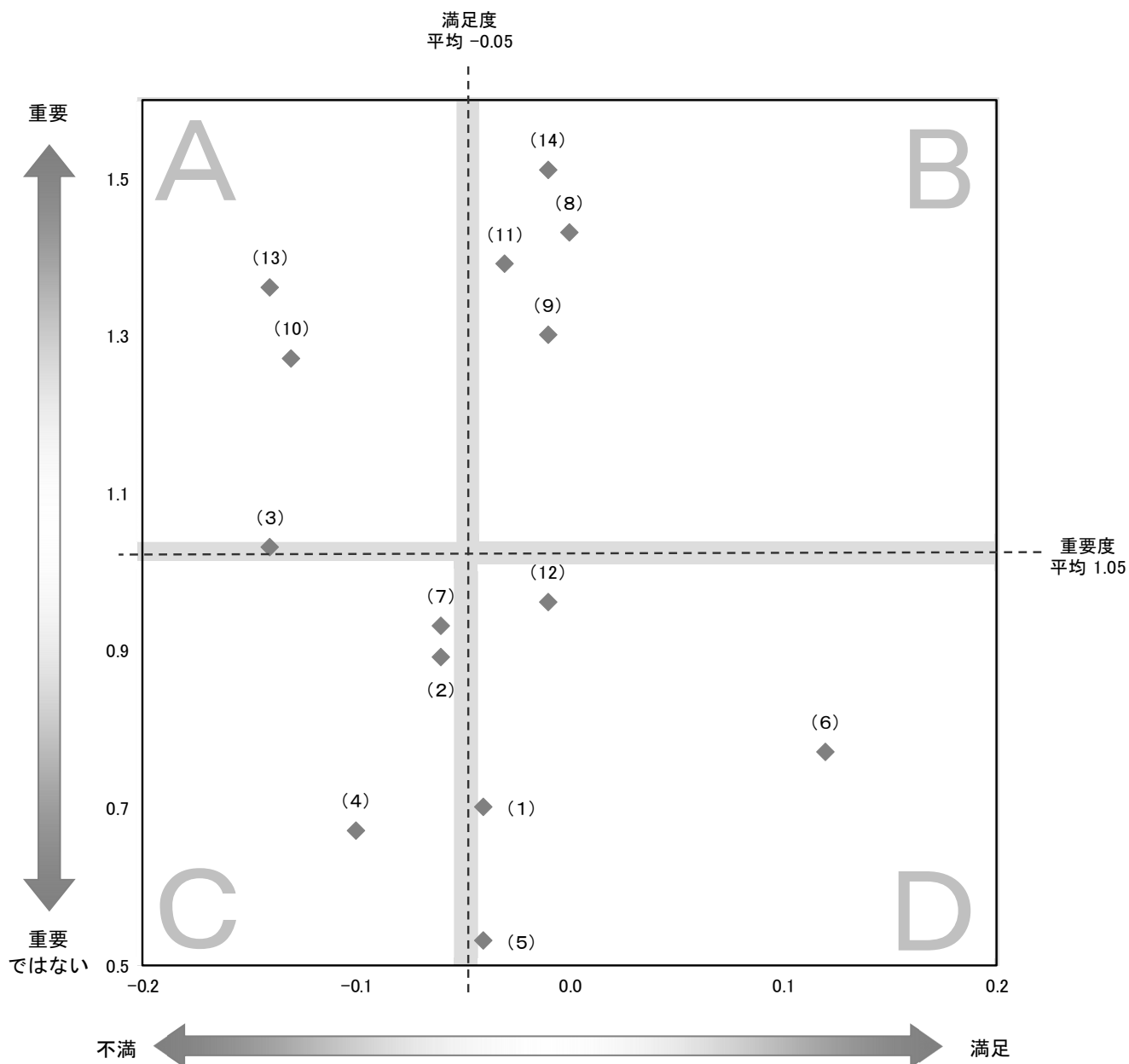
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（20 歳代 回答者数 = 37）



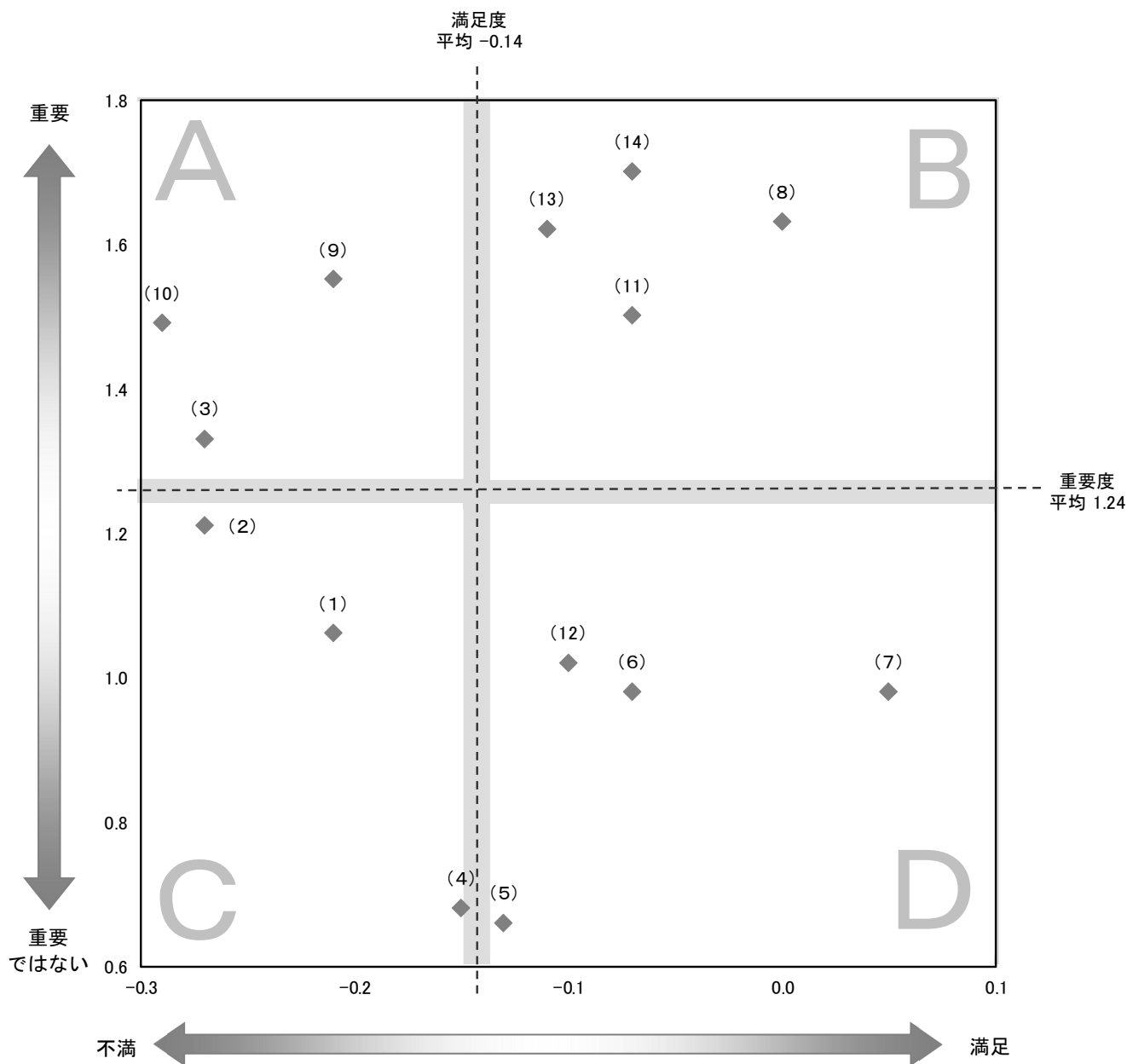
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（30 歳代 回答者数 = 72）



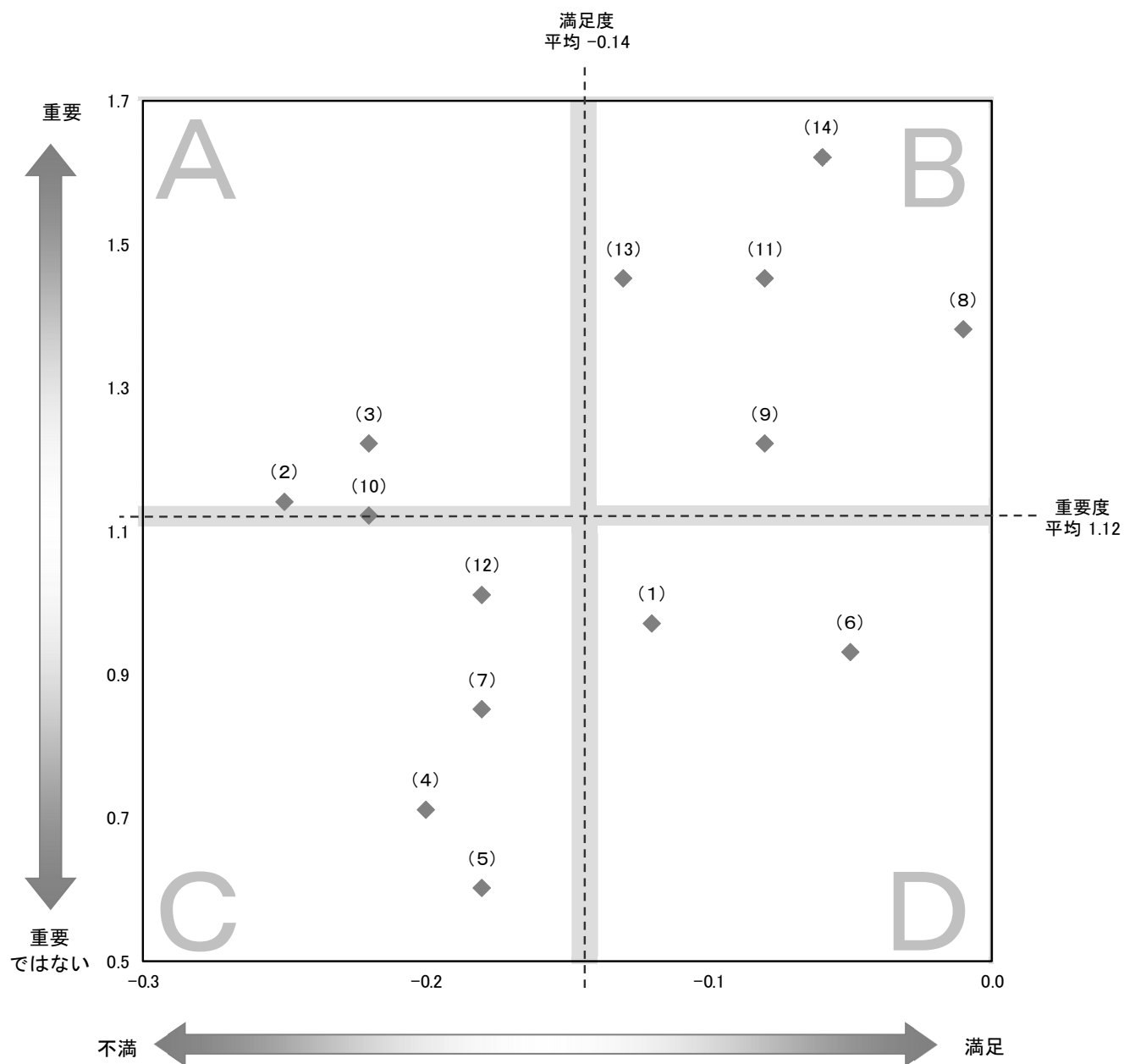
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（40 歳代 回答者数 = 135）



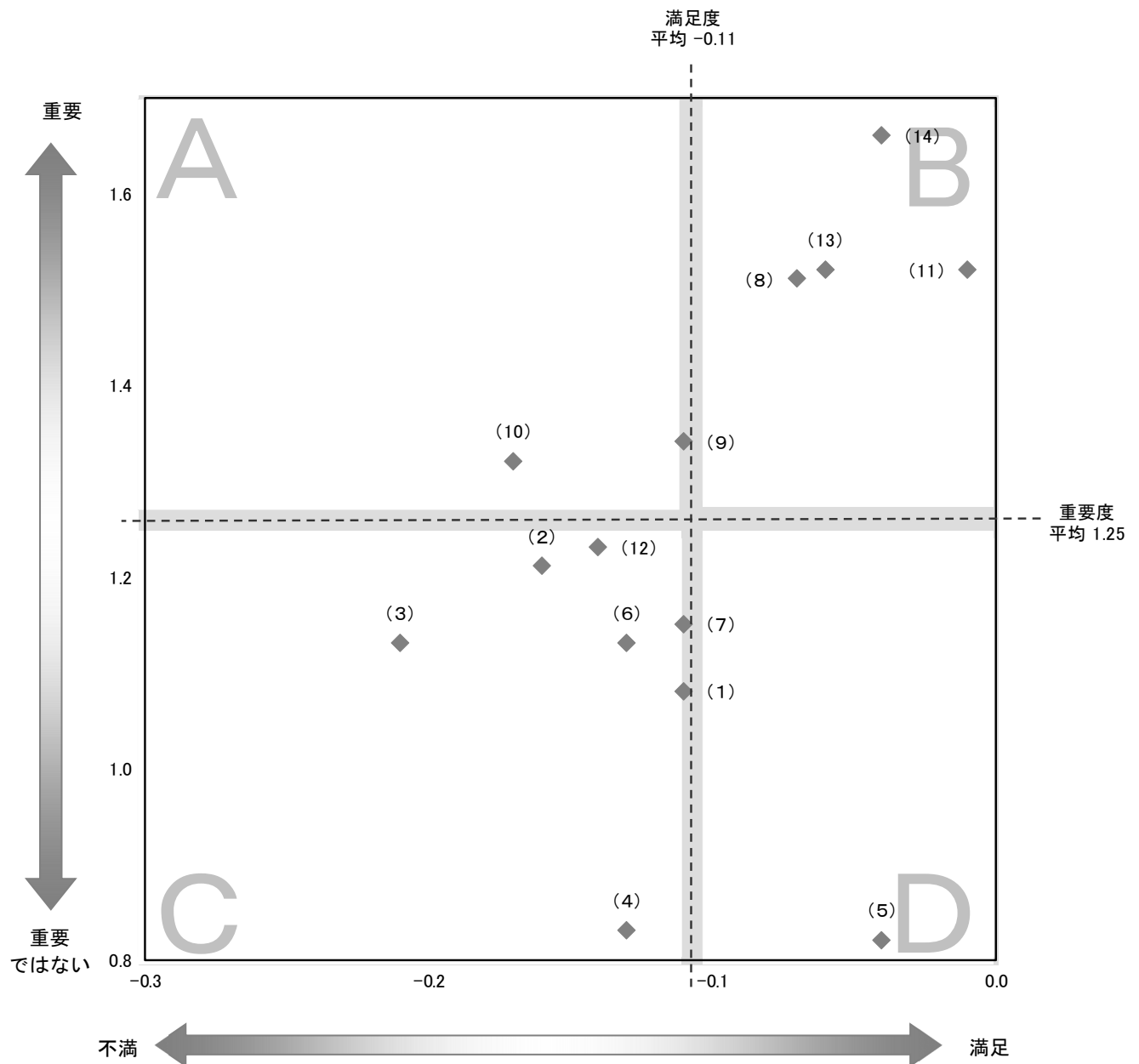
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（50 歳代 回答者数 = 142）



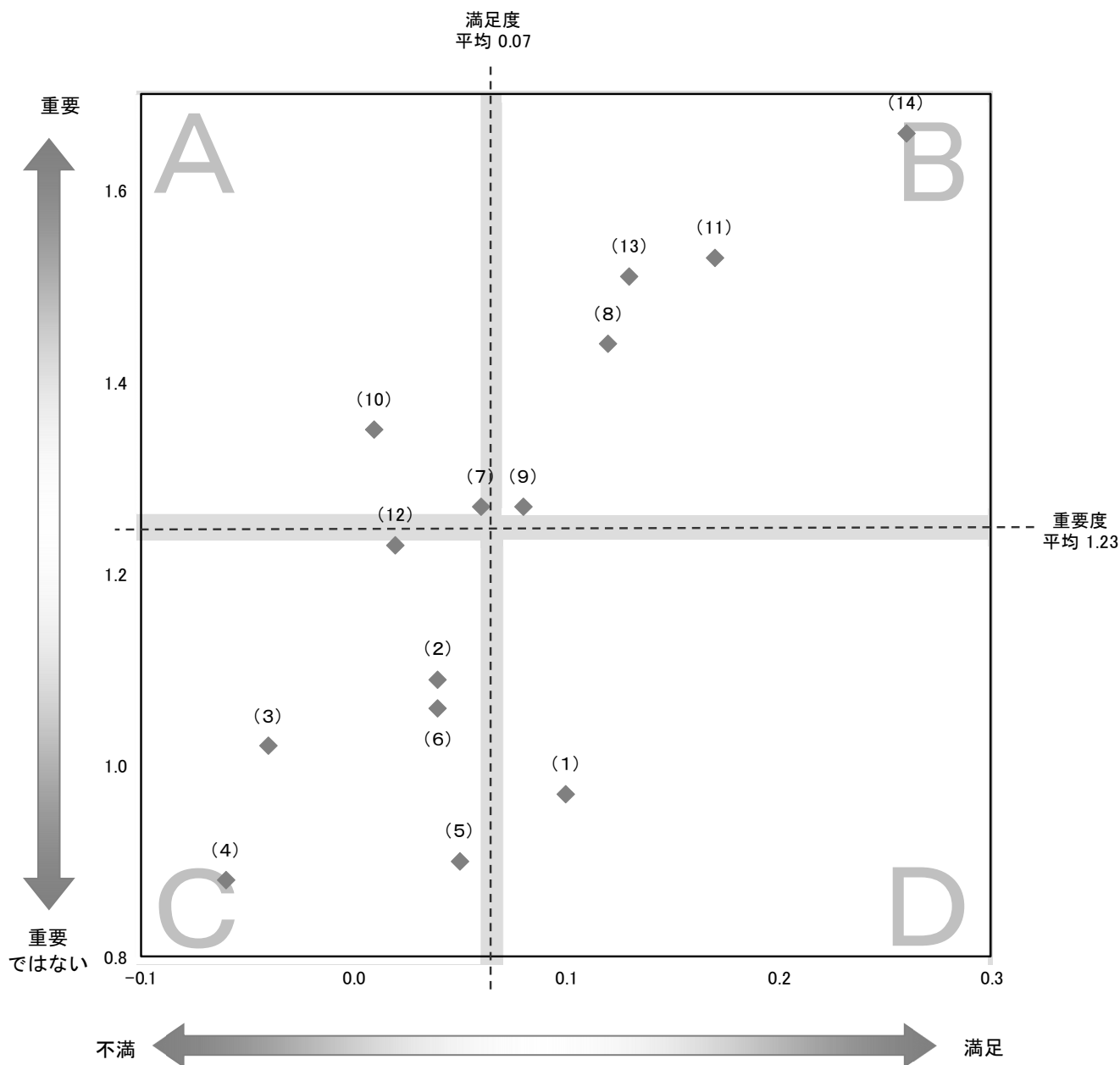
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（60 歳代 回答者数 = 172）



項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（70歳以上 回答者数 = 314）



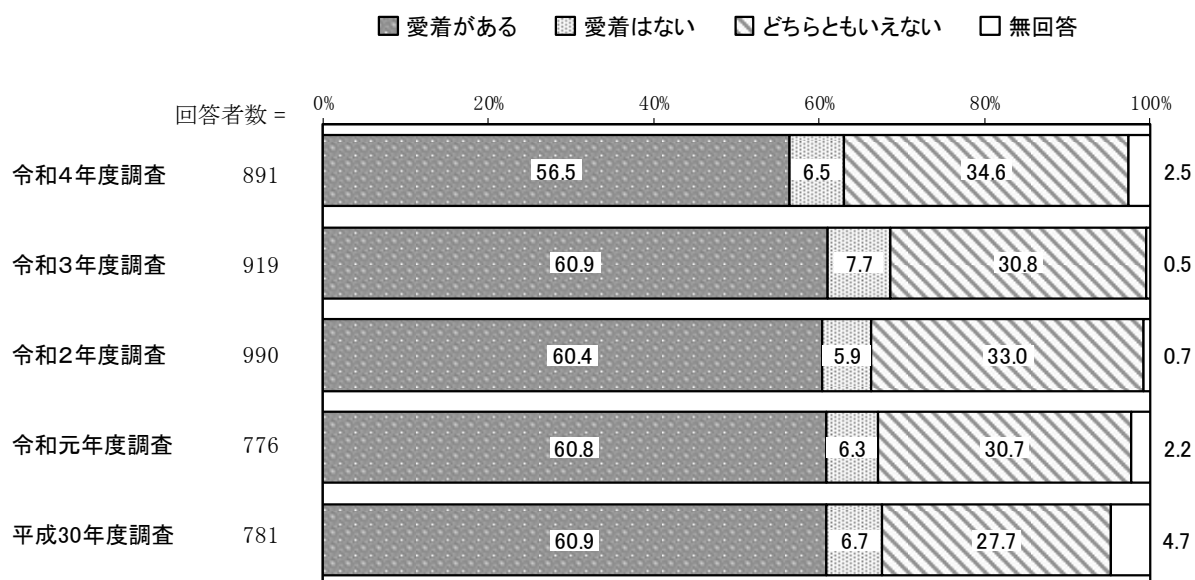
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

(4) 可児市のイメージについて

問 19 可児市に愛着はありますか。(〇は1つだけ)

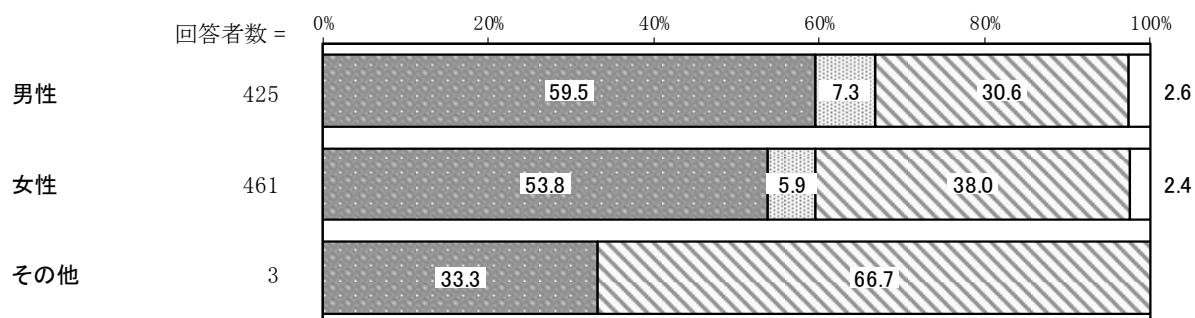
「愛着がある」の割合が56.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が34.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



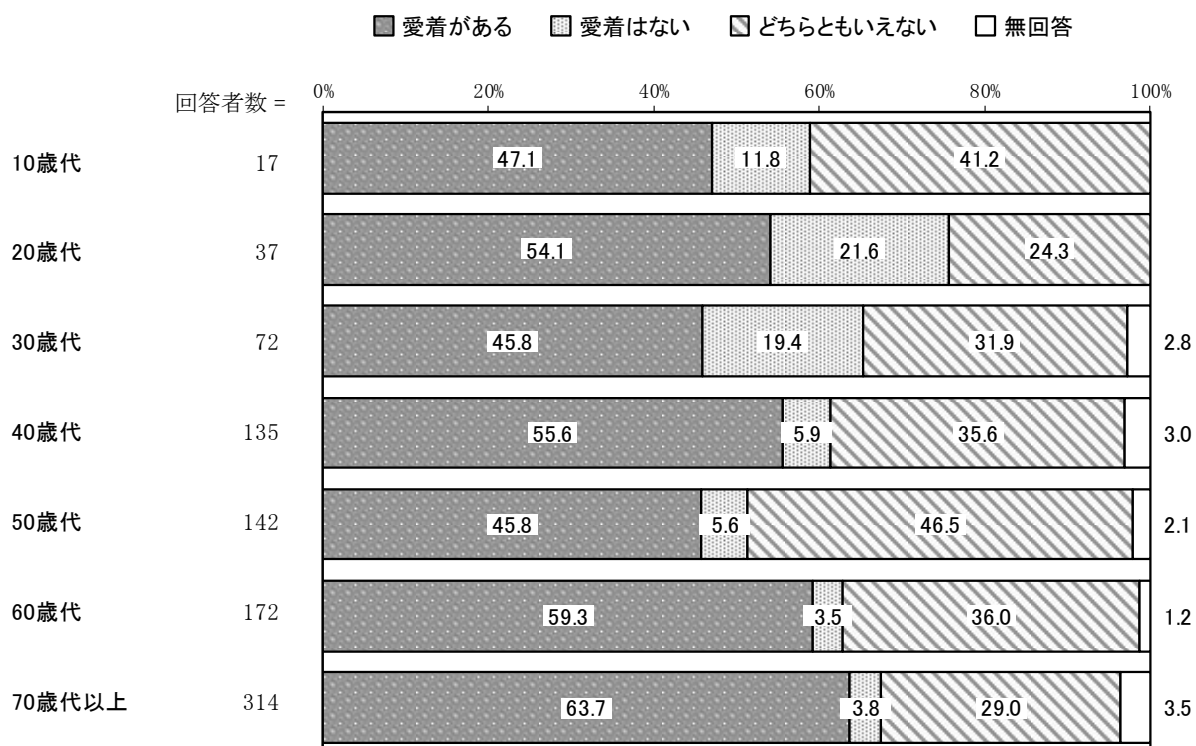
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



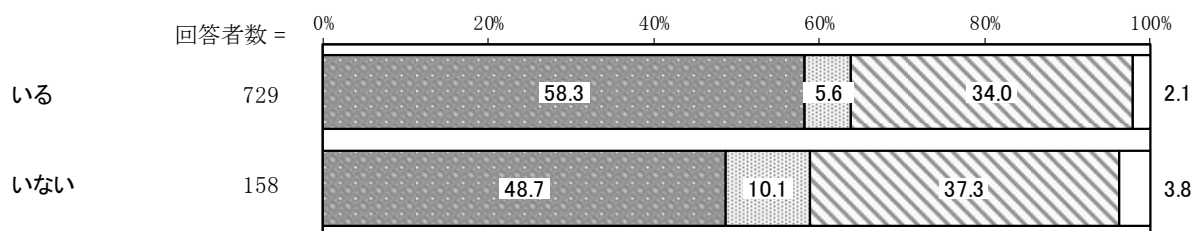
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で「愛着がある」の割合が高く、6 割を超えています。また、20 歳代で「愛着はない」の割合が高く、2 割を超えています。



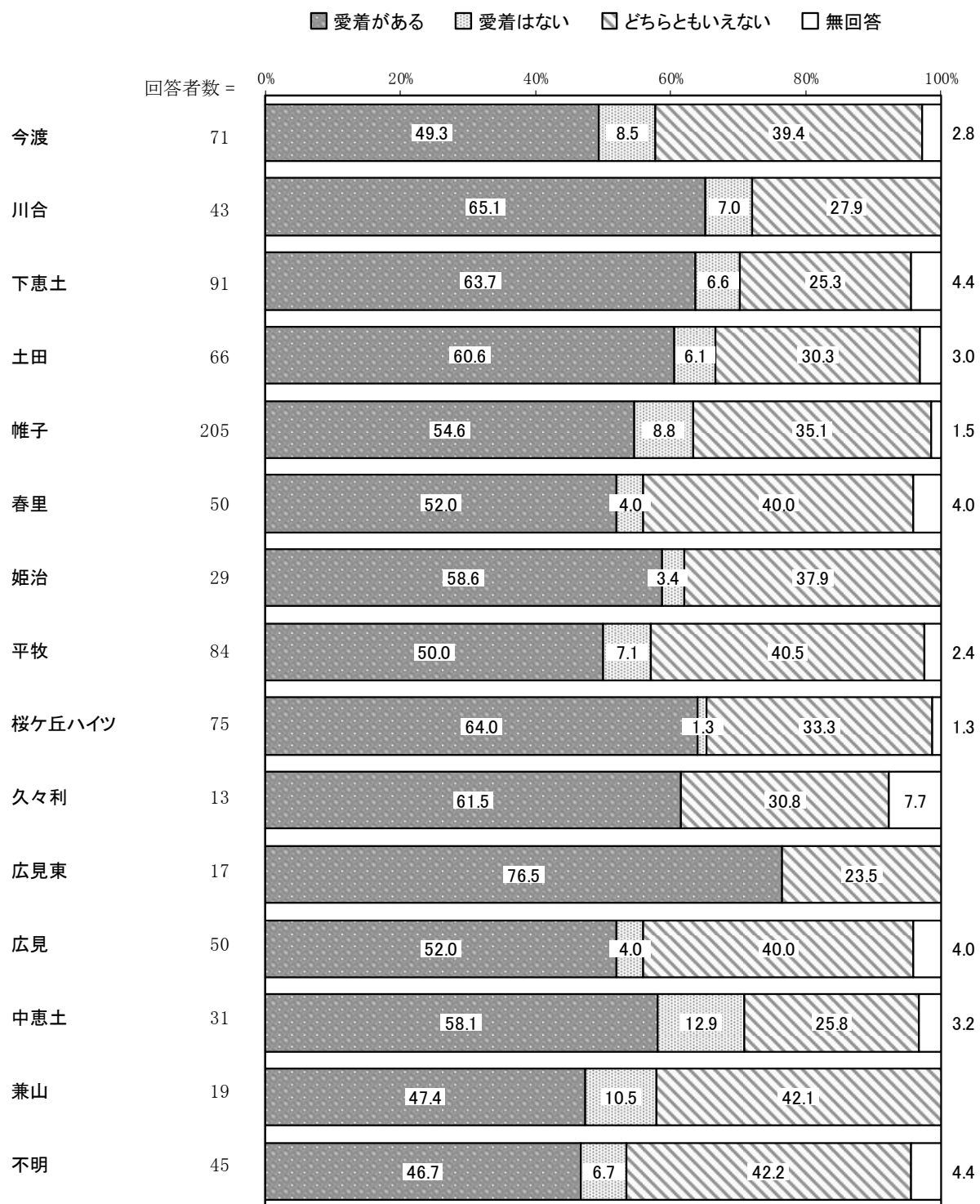
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「愛着がある」の割合が高く、6 割近くとなっています。



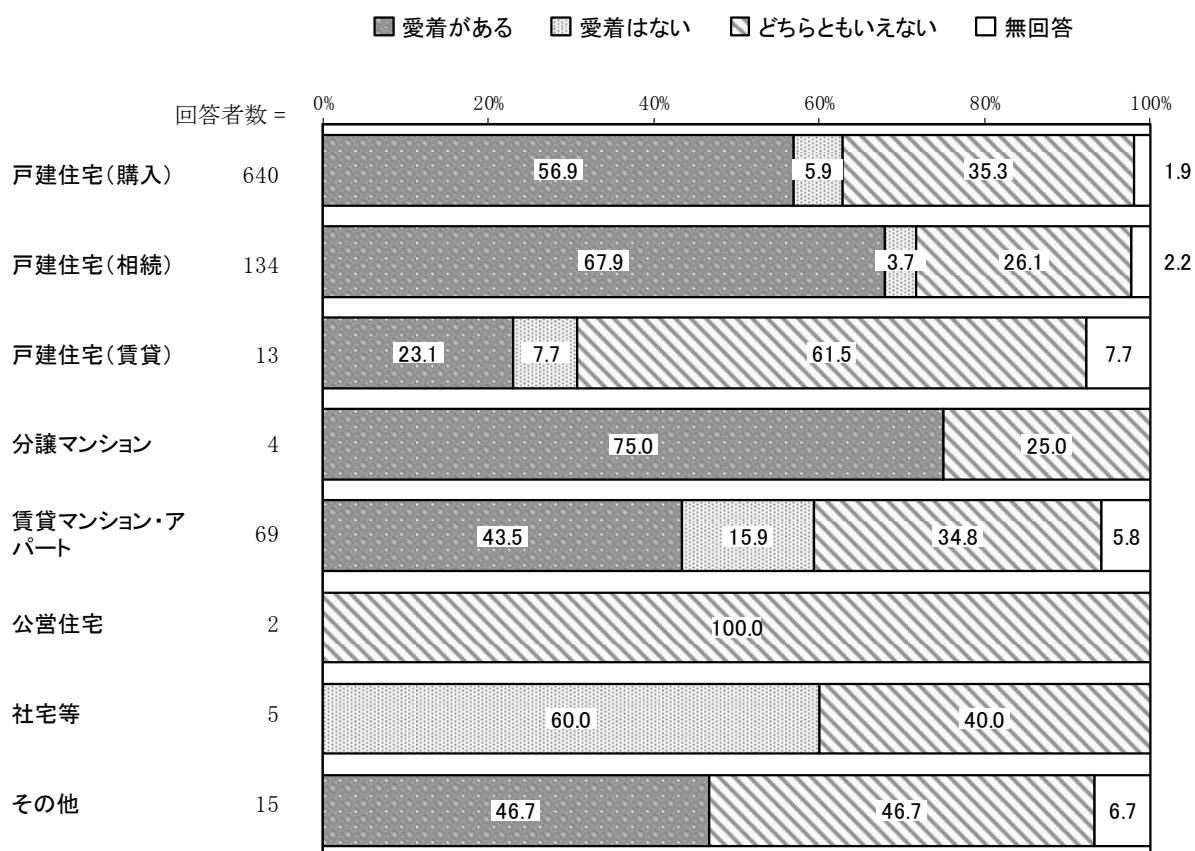
【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、広見東で「愛着がある」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、中恵土で「愛着はない」の割合が高く、1割を超えています。



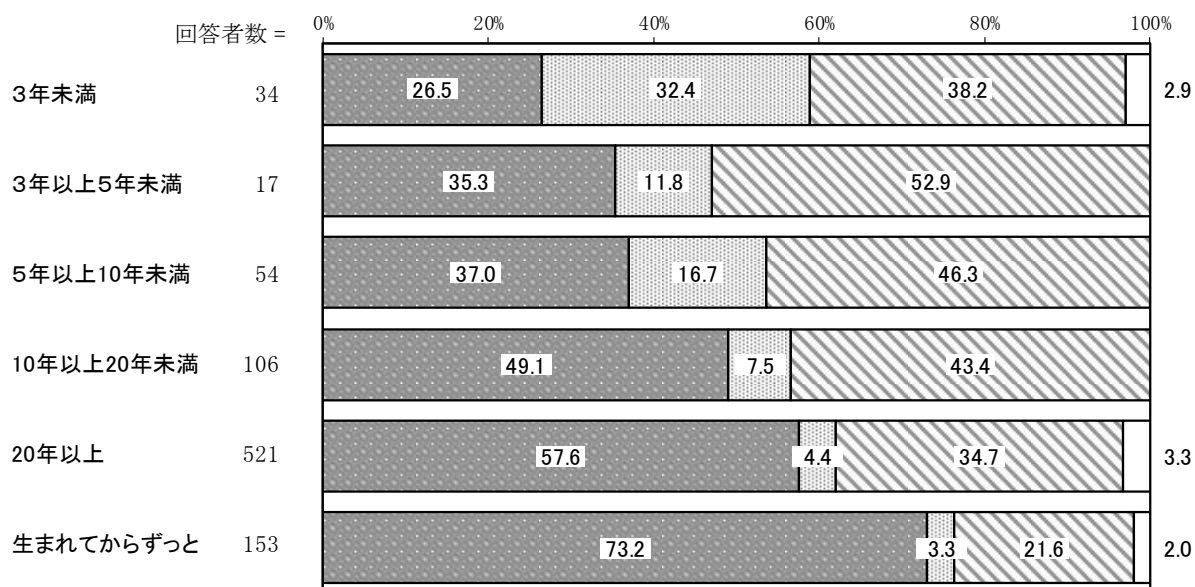
【住まいの形態別】

住まいの形態別でみると、他に比べ、戸建住宅（相続）で「愛着がある」の割合が高く、7割近くとなっています。また、賃貸マンション・アパートで「愛着はない」の割合が高く、1割半ばとなっています。



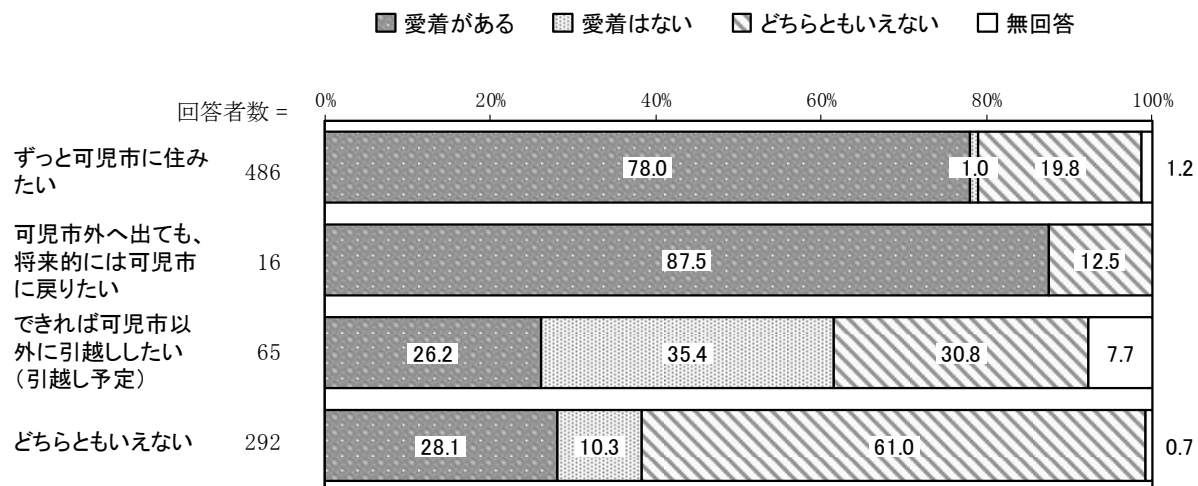
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなっており、生まれてからずっとで7割を超えています。また、3年未満で「愛着はない」の割合が高く、3割を超えています。



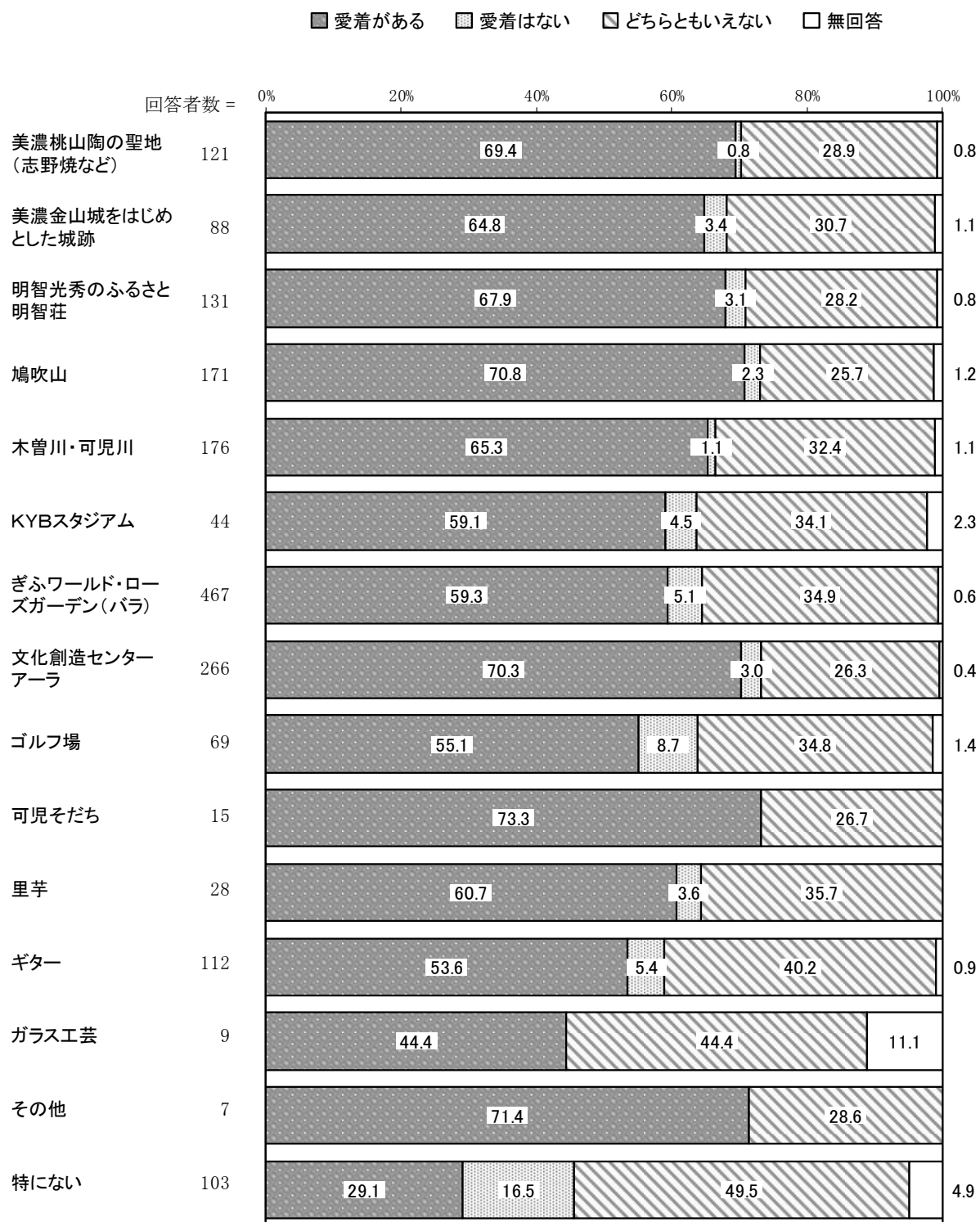
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、9割近くとなっています。また、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、3割半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、可児そだちで「愛着がある」の割合が高く、7割を超えています。また、特にないで「愛着はない」の割合が高く、1割半ばとなっています。

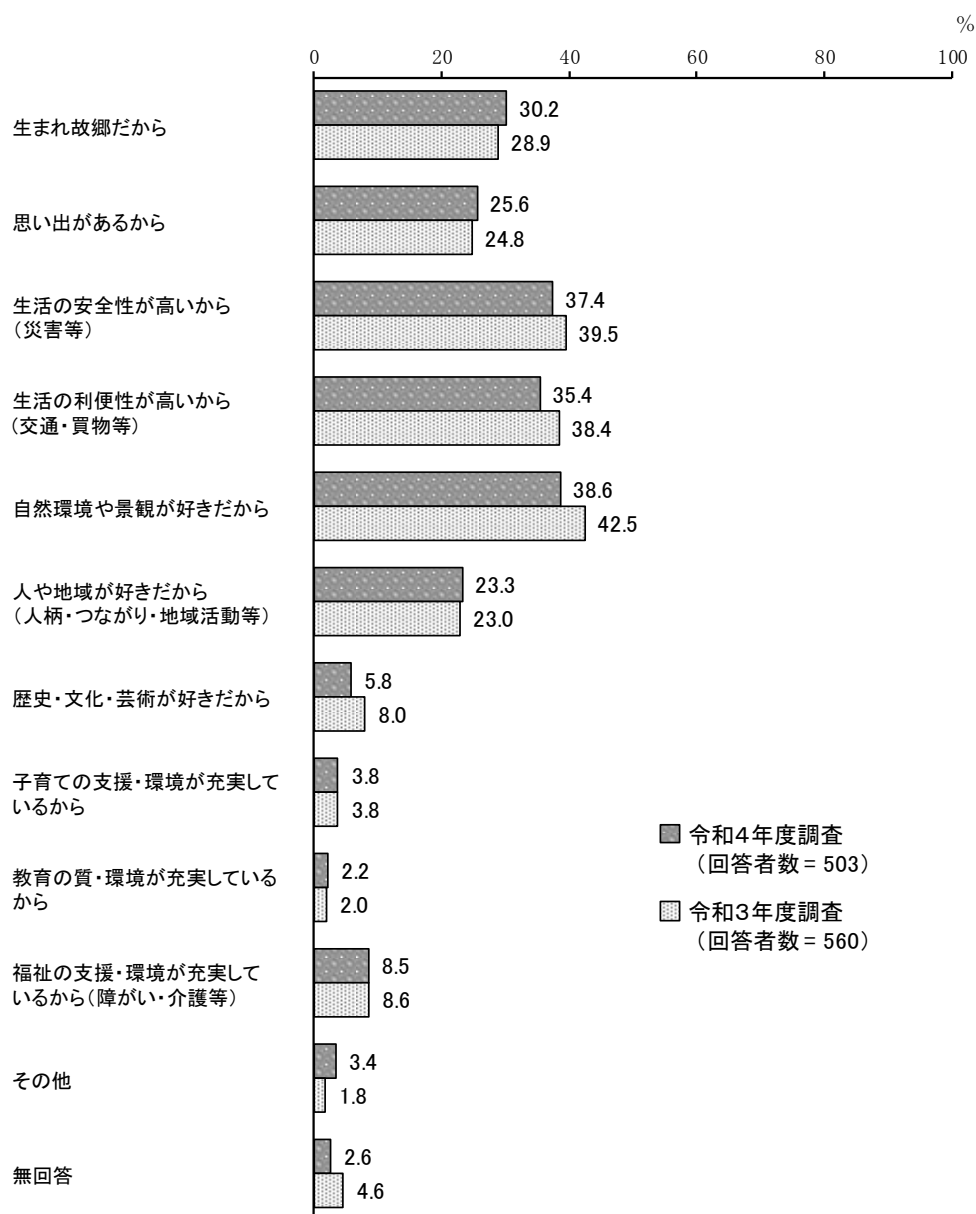


【問 19 で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 20 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「自然環境や景観が好きだから」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「生活の安全性が高いから(災害等)」の割合が 37.4%、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が 35.4%となっています。

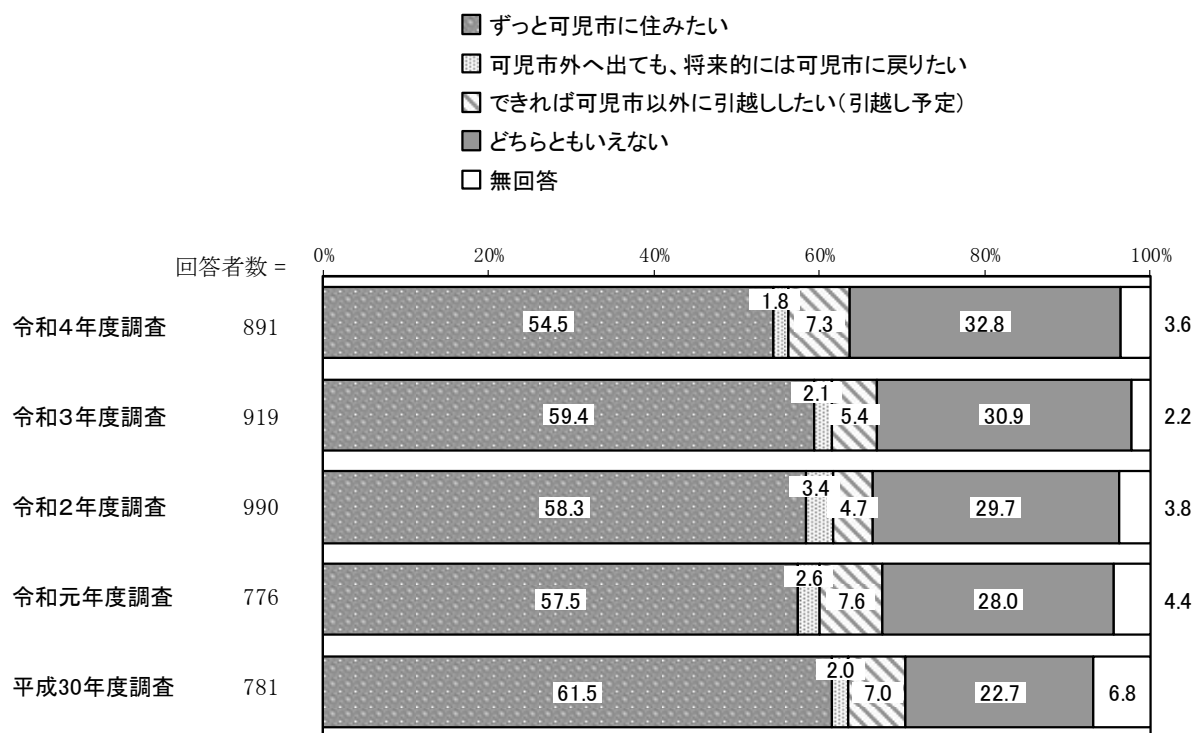
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(〇は1つだけ)

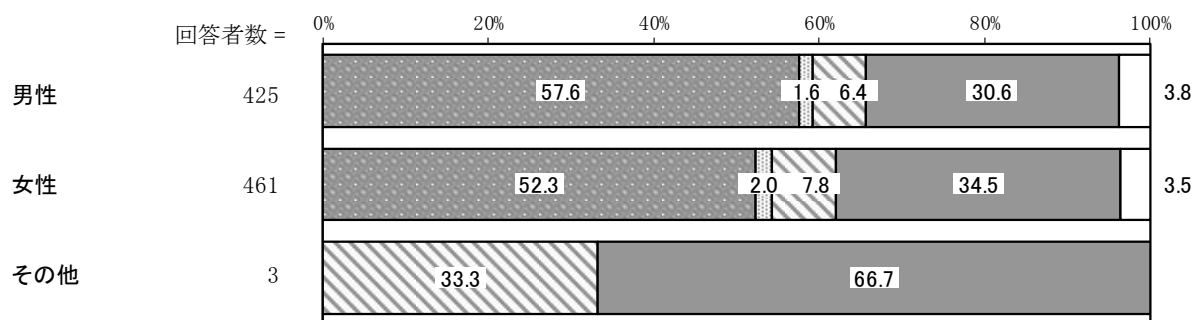
「ずっと可児市に住みたい」の割合が54.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が32.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



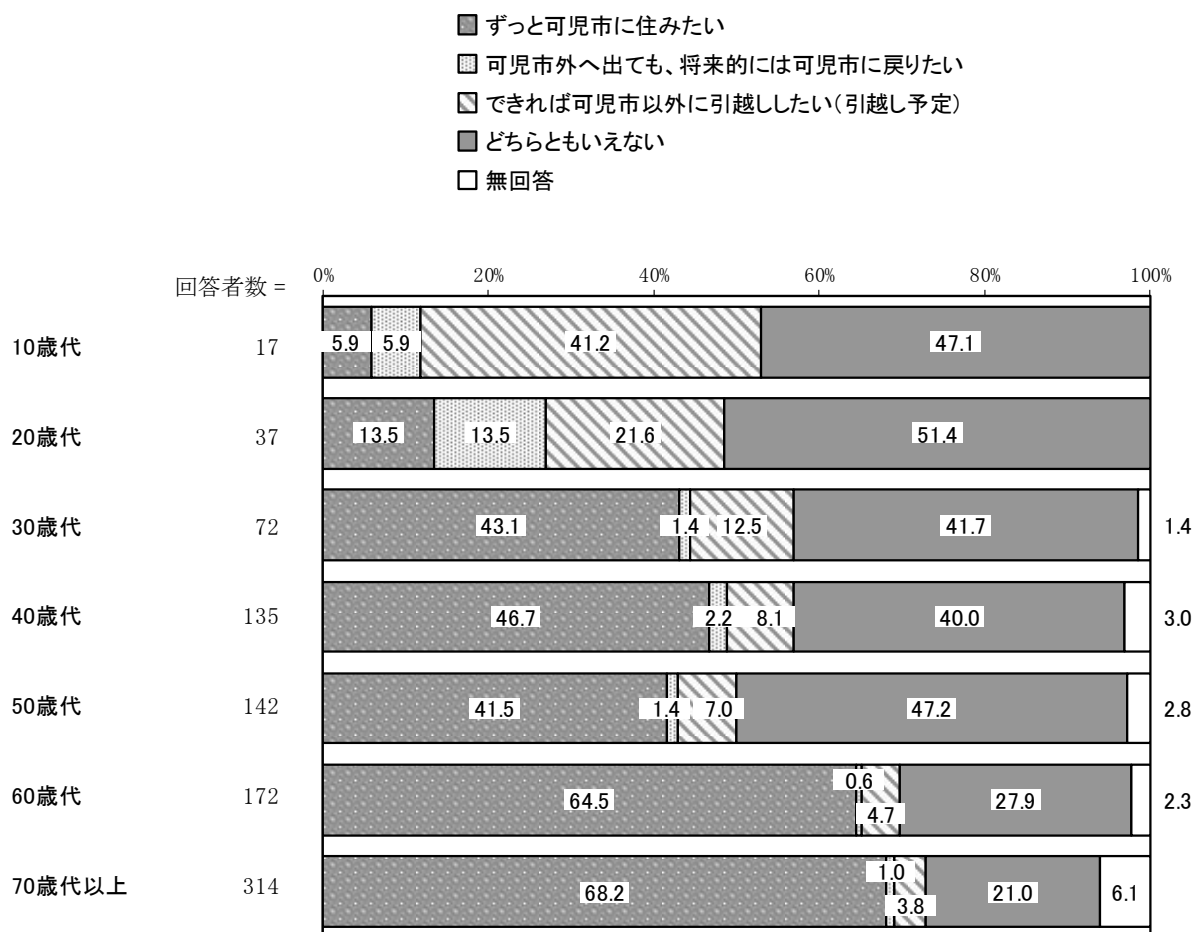
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割近くとなっています。



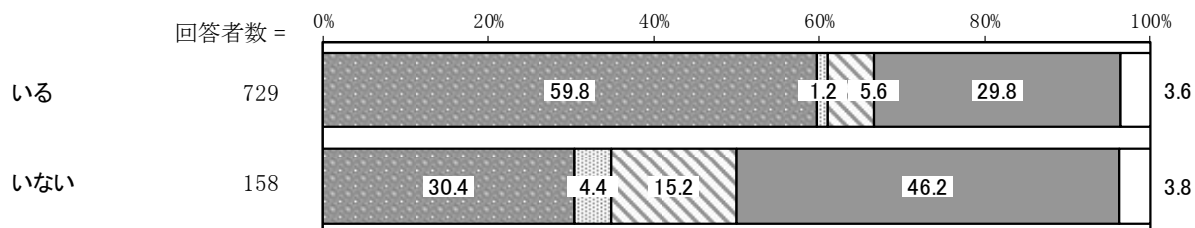
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい」の割合が高くなっています。また、10歳代で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高く、4割を超えています。



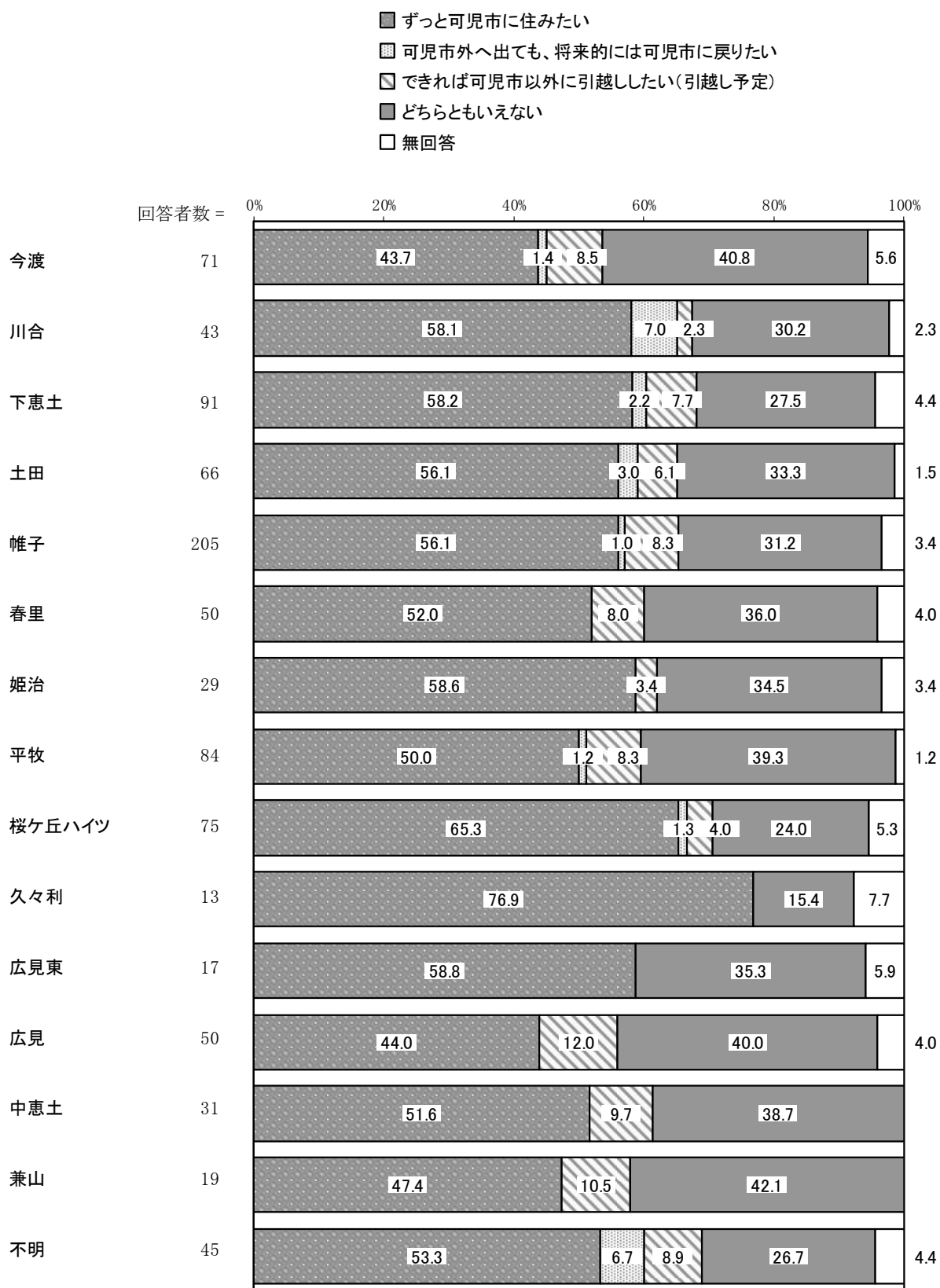
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高く、1割半ばとなっています。



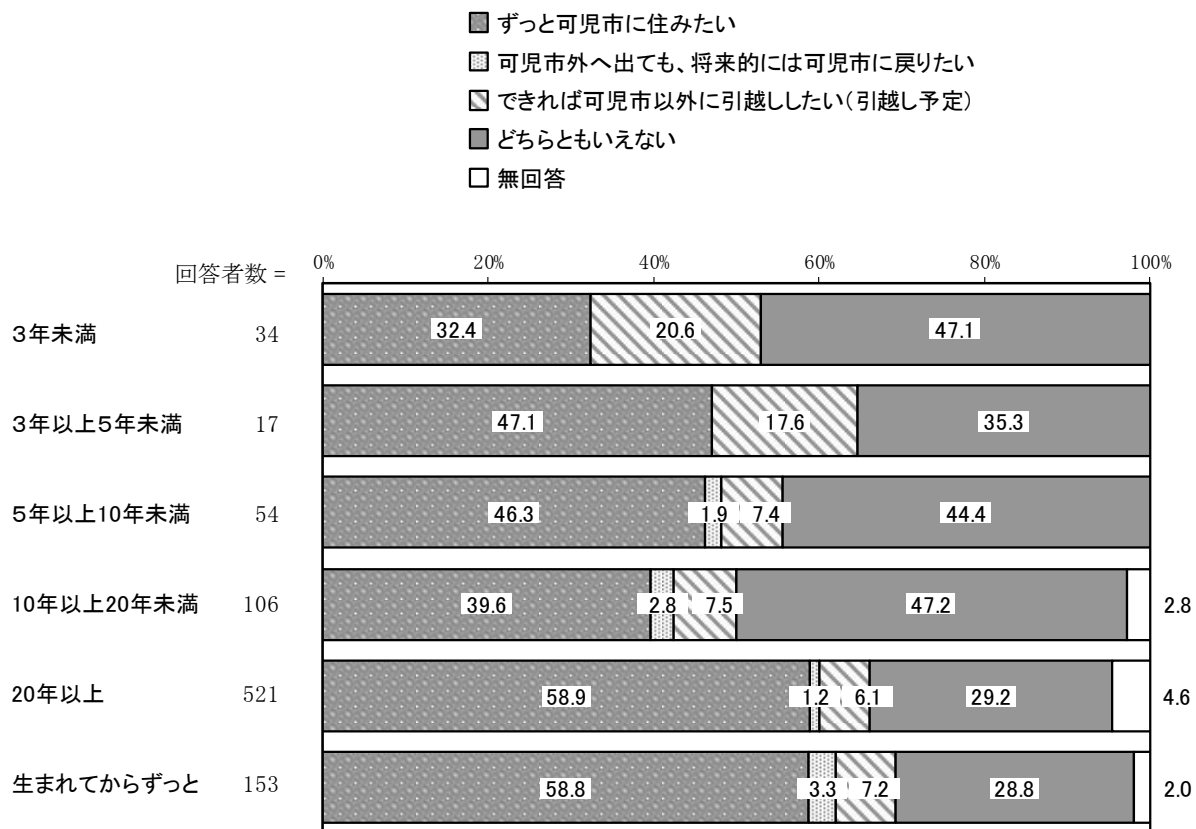
【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、久々利で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、広見で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高く、1割を超えています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割近くとなっています。また、3年未満、3年以上5年未満で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高くなっています。

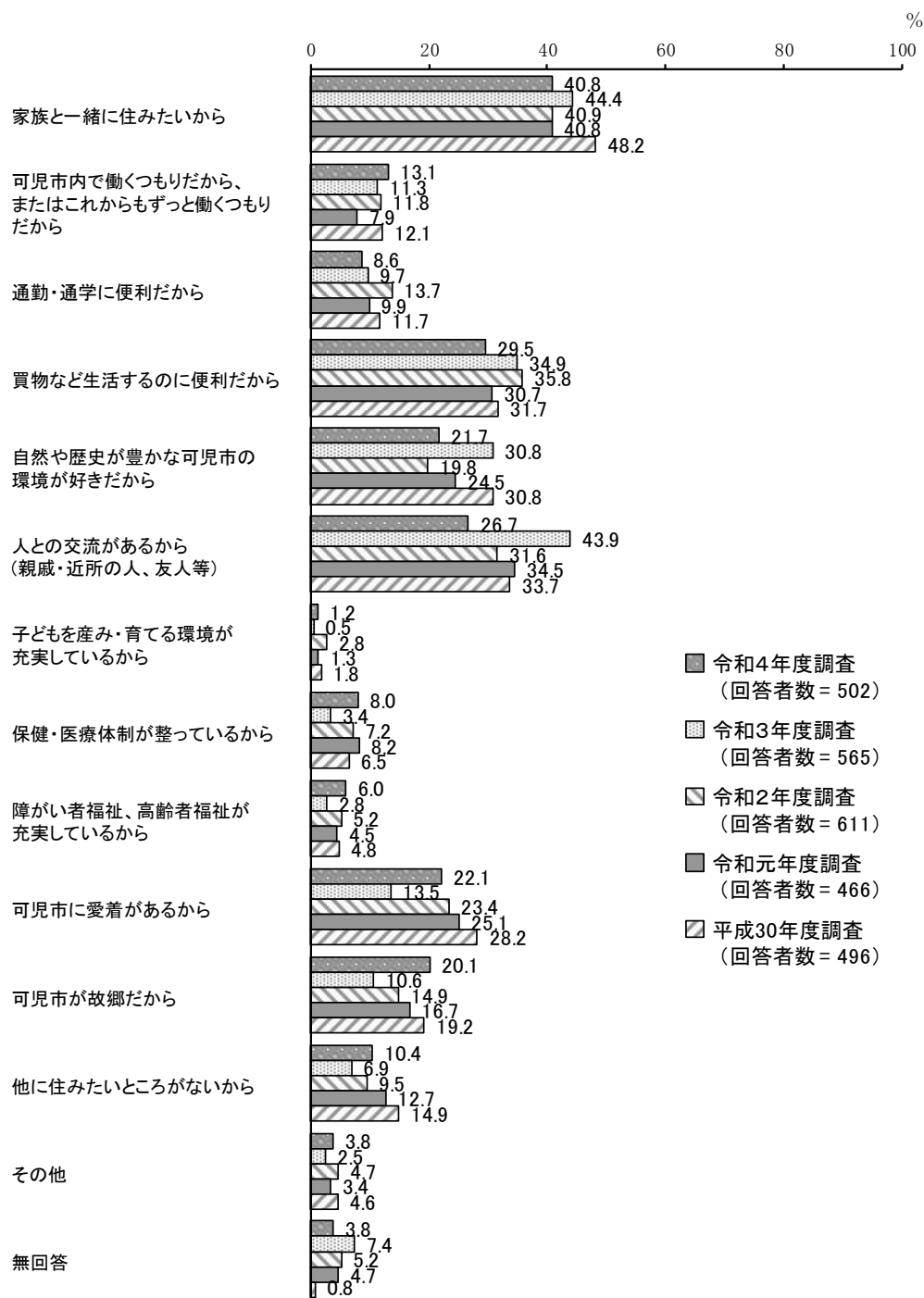


【問 21 で 1 または 2（ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出て、将来的には戻りたい）を選択した方に伺います】

問 22 その理由は何ですか。（○は 3 つまで）

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「買物など生活するのに便利だから」の割合が 29.5%、「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が 26.7%となっています。

令和 3 年度以前の調査と比較すると、「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が増加し、「買物など生活するのに便利だから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高く、2割半ばとなっています。一方、男性に比べ、女性で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから (親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	252	41.3	11.5	10.7	28.6	26.6	20.6	0.8	7.5	6.7	25.4	24.2	9.5	4.0	3.2
女性	250	40.4	14.8	6.4	30.4	16.8	32.8	1.6	8.4	5.2	18.8	16.0	11.2	3.6	4.4
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が高く、約 3 割となっています。また、年代が下がるにつれ「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっており、20 歳代で 3 割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	（親戚・近所の人、友人等）人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10 歳代	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—
20 歳代	10	60.0	30.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	—	—	20.0	50.0	—	—	—
30 歳代	32	46.9	21.9	18.8	18.8	9.4	12.5	—	—	6.3	18.8	18.8	15.6	6.3	9.4
40 歳代	66	50.0	28.8	18.2	19.7	7.6	19.7	4.5	1.5	—	10.6	28.8	9.1	6.1	6.1
50 歳代	61	34.4	29.5	18.0	31.1	16.4	21.3	—	6.6	1.6	23.0	16.4	8.2	4.9	3.3
60 歳代	112	36.6	14.3	3.6	28.6	20.5	26.8	0.9	4.5	4.5	29.5	19.6	8.9	3.6	1.8
70 歳代以上	217	40.1	1.4	2.8	35.0	30.4	32.7	0.5	13.8	10.1	22.1	17.5	12.0	2.8	3.7

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから」「障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	（親戚・近所の人、友人等）	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	445	41.3	11.9	8.1	29.0	21.6	28.1	1.3	7.9	4.9	21.8	18.2	10.3	4.0	4.3	
いない	55	34.5	23.6	12.7	32.7	23.6	14.5	—	9.1	14.5	25.5	32.7	10.9	1.8	—	

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、下恵土、広見、中恵土で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高くなっています。また、今渡、中恵土で「可児市に愛着があるから」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

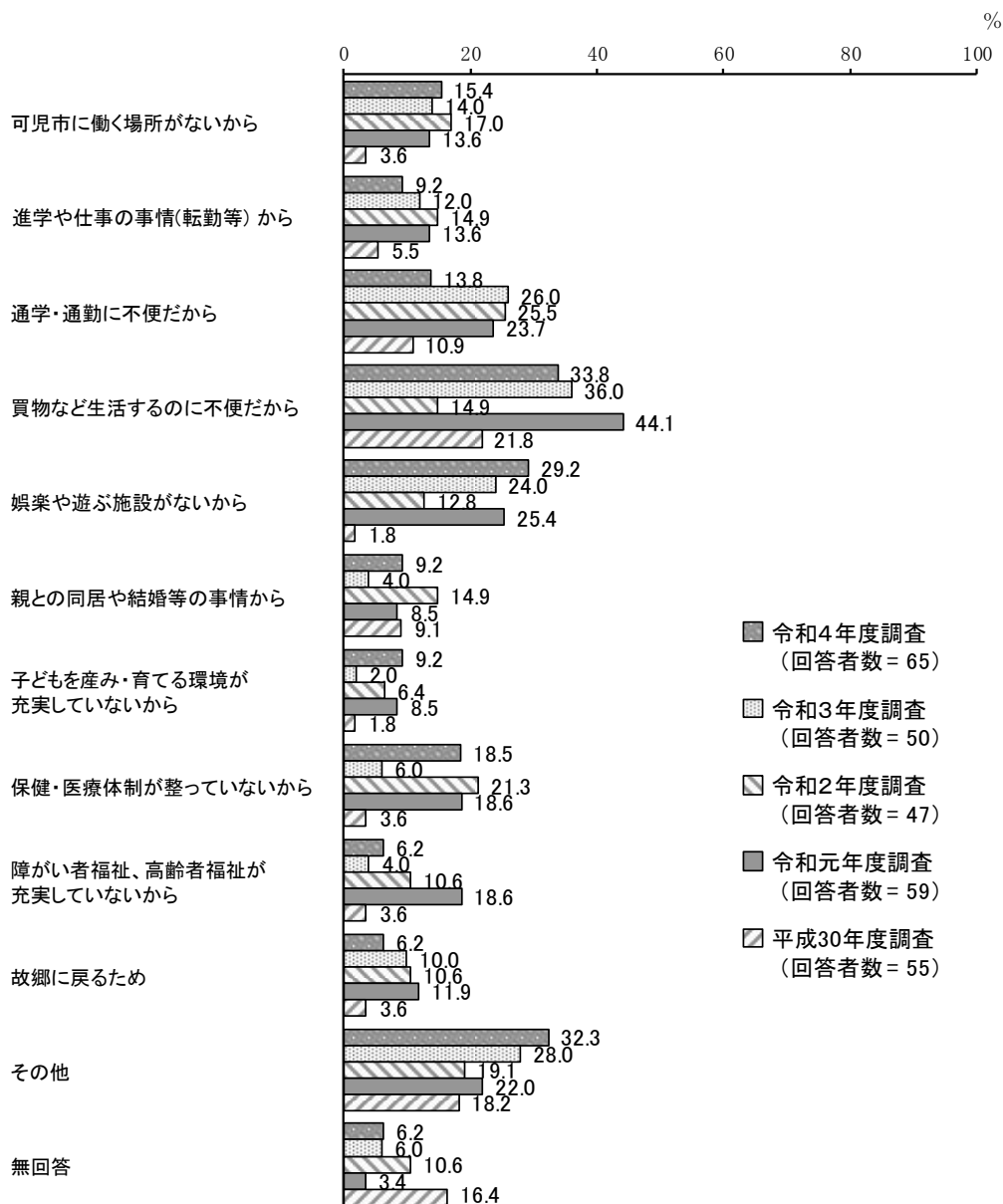
区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等)	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	32	28.1	15.6	9.4	31.3	25.0	18.8	3.1	15.6	6.3	31.3	18.8	12.5	3.1	12.5		
川合	28	32.1	21.4	3.6	35.7	10.7	35.7	7.1	10.7	10.7	28.6	10.7	10.7	3.6	3.6		
下恵土	55	54.5	18.2	9.1	43.6	9.1	12.7	—	18.2	3.6	9.1	23.6	1.8	3.6	3.6		
土田	39	41.0	12.8	20.5	23.1	20.5	33.3	—	10.3	7.7	20.5	28.2	10.3	2.6	—		
帷子	117	35.0	11.1	6.8	28.2	25.6	26.5	—	3.4	6.0	27.4	15.4	12.8	6.0	3.4		
春里	26	34.6	11.5	7.7	19.2	15.4	34.6	3.8	11.5	3.8	11.5	23.1	19.2	3.8	7.7		
姫治	17	52.9	5.9	—	29.4	29.4	23.5	—	5.9	5.9	11.8	41.2	—	5.9	5.9		
平牧	43	55.8	14.0	4.7	18.6	18.6	23.3	—	4.7	4.7	23.3	23.3	11.6	4.7	4.7		
桜ヶ丘ハイツ	50	48.0	8.0	6.0	22.0	30.0	28.0	2.0	6.0	8.0	24.0	12.0	14.0	—	2.0		
久々利	10	30.0	—	—	20.0	50.0	20.0	—	10.0	—	20.0	50.0	10.0	—	—		
広見東	10	20.0	10.0	—	30.0	10.0	40.0	—	—	—	30.0	—	20.0	30.0	—		
広見	22	40.9	4.5	9.1	45.5	27.3	40.9	—	9.1	9.1	27.3	18.2	—	—	4.5		
中恵土	16	43.8	6.3	12.5	43.8	18.8	18.8	—	—	—	31.3	31.3	6.3	—	—		
兼山	9	22.2	11.1	—	—	44.4	77.8	—	11.1	11.1	—	44.4	11.1	—	—		
不明	27	37.0	33.3	25.9	37.0	11.1	18.5	3.7	3.7	7.4	18.5	11.1	11.1	—	3.7		

【問 21 で 3（できれば可児市以外に引越したい（引っ越し予定））を選択した方に伺います】

問 23 その理由は何ですか。（○は3つまで）

「買物など生活するのに不便だから」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が 29.2%、「保健・医療体制が整っていないから」の割合が 18.5%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「娯楽や遊ぶ施設がないから」「親との同居や結婚等の事情から」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「保健・医療体制が整っていないから」の割合が増加し、「通学・通勤に不便だから」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「保健・医療体制が整っていないから」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	27	11.1	3.7	11.1	37.0	40.7	—	7.4	11.1	3.7	7.4	37.0	7.4
女性	36	19.4	13.9	16.7	33.3	22.2	16.7	11.1	25.0	5.6	5.6	27.8	5.6
その他	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—

【年代別】

年齢別でみると、50 歳代で「可児市に働く場所がないから」の割合が、40 歳代で「その他」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
10 歳代	7	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	—	—	14.3	—	—	28.6	—
20 歳代	8	—	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	—	12.5	—	25.0	12.5
30 歳代	9	22.2	—	11.1	22.2	22.2	—	11.1	—	—	22.2	22.2	11.1
40 歳代	11	18.2	18.2	—	27.3	18.2	18.2	9.1	18.2	—	—	45.5	9.1
50 歳代	10	30.0	—	10.0	40.0	30.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0
60 歳代	8	—	12.5	25.0	62.5	25.0	—	12.5	—	—	12.5	37.5	—
70 歳代以上	12	—	—	8.3	41.7	41.7	—	8.3	50.0	16.7	—	50.0	—

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「通学・通勤に不便だから」の割合が高く、約 2 割となっています。一方、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「保健・医療体制が整っていないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	41	12.2	9.8	9.8	41.5	31.7	7.3	12.2	26.8	7.3	7.3	34.1	2.4
いない	24	20.8	8.3	20.8	20.8	25.0	12.5	4.2	4.2	4.2	4.2	29.2	12.5

【居住地区別】

居住地区別では、有効な回答数が少ないため、コメントは控えます。

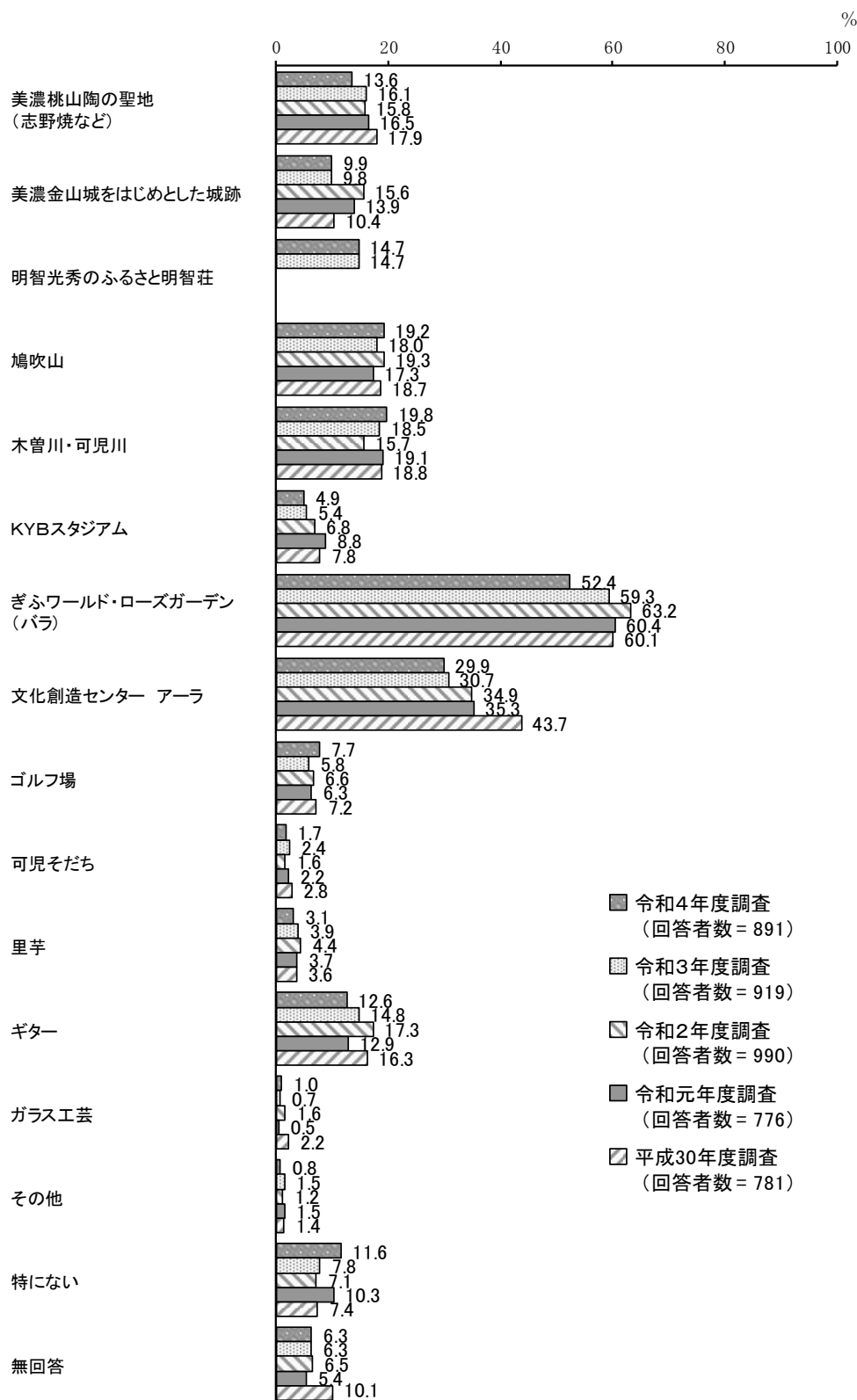
単位：％

区分	有効回答数（件）	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情（転勤等）から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	6	—	—	—	16.7	50.0	33.3	—	—	—	—	16.7	16.7
川合	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
下恵土	7	28.6	28.6	—	14.3	14.3	—	14.3	14.3	—	14.3	14.3	14.3
土田	4	—	—	25.0	25.0	25.0	—	25.0	25.0	25.0	—	50.0	—
帷子	17	29.4	11.8	23.5	47.1	23.5	17.6	17.6	35.3	—	—	41.2	—
春里	4	—	—	—	25.0	25.0	—	25.0	25.0	25.0	—	25.0	25.0
姫治	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—
平牧	7	14.3	28.6	14.3	71.4	28.6	—	—	14.3	14.3	—	14.3	—
桜ヶ丘ハイツ	3	—	—	33.3	33.3	66.7	—	—	—	—	33.3	33.3	—
久々利	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見	6	—	—	—	—	—	16.7	—	—	16.7	33.3	33.3	—
中恵土	3	33.3	—	66.7	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—	—	—
兼山	2	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	100.0	—
不明	4	25.0	—	—	50.0	50.0	—	—	25.0	—	—	25.0	25.0

問 24 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）はどれだと思いますか。
（○は3つまで）

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「文化創造センター アーラ」の割合が 29.9%、「木曽川・可児川」の割合が 19.8%となっています。

令和３年度以前の調査と比較すると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」「文化創造センター アーラ」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「ゴルフ場」の割合が高く、約1割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	文化創造センター アーラ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	425	13.6	9.6	14.1	20.2	21.9	7.1	44.5	26.8	10.8	0.7	1.9	11.1	0.5	0.9	14.6	6.4
女性	461	13.7	10.2	15.4	18.4	18.0	3.0	59.7	32.8	4.8	2.6	4.3	13.9	1.1	0.7	8.9	6.1
その他	3	—	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3	—	—	33.3	33.3	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「KYB スタジアム」「文化創造センター アーラ」の割合が高くなっています。また、20 歳代で「ゴルフ場」の割合が高く、1 割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYB スタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン (バラ)	文化創造センター アーラ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
10 歳代	17	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6	17.6	52.9	64.7	—	—	—	17.6	5.9	—	5.9	—
20 歳代	37	8.1	8.1	5.4	18.9	10.8	10.8	45.9	24.3	16.2	—	2.7	24.3	2.7	—	13.5	2.7
30 歳代	72	9.7	8.3	20.8	15.3	9.7	4.2	61.1	18.1	8.3	2.8	1.4	13.9	2.8	1.4	13.9	4.2
40 歳代	135	13.3	11.9	12.6	21.5	17.0	5.9	47.4	23.7	5.9	1.5	3.0	20.0	0.7	0.7	14.8	7.4
50 歳代	142	11.3	6.3	17.6	16.2	13.4	5.6	56.3	30.3	8.5	2.1	4.9	21.1	0.7	0.7	12.0	4.9
60 歳代	172	15.1	8.1	11.6	19.2	24.4	4.1	56.4	29.1	8.7	0.6	2.3	10.5	0.6	1.7	9.9	5.2
70 歳代以上	314	15.3	12.4	15.9	21.0	24.8	3.5	49.0	34.4	7.0	2.2	3.5	4.8	0.6	0.3	10.5	8.3

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、久々利で「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が、兼山で「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が高くなっています。また、土田で「鳩吹山」の割合が高く、5割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン(バラ)	文化創造センター エリア	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にな い	無回答
今渡	71	11.3	5.6	11.3	18.3	25.4	5.6	45.1	31.0	2.8	4.2	2.8	12.7	—	1.4	14.1	9.9
川合	43	18.6	11.6	16.3	23.3	11.6	2.3	55.8	37.2	4.7	2.3	7.0	11.6	—	2.3	7.0	11.6
下恵土	91	7.7	6.6	9.9	15.4	20.9	3.3	35.2	28.6	7.7	1.1	3.3	19.8	1.1	—	19.8	8.8
土田	66	15.2	10.6	12.1	47.0	37.9	3.0	37.9	25.8	10.6	—	1.5	12.1	—	1.5	7.6	6.1
帷子	205	8.8	9.3	12.7	27.8	27.8	6.3	48.8	26.3	7.8	2.0	3.4	8.8	1.0	1.0	10.7	5.4
春里	50	10.0	12.0	16.0	24.0	24.0	14.0	54.0	40.0	4.0	2.0	—	8.0	—	—	10.0	2.0
姫治	29	17.2	13.8	13.8	3.4	13.8	—	69.0	41.4	—	—	—	27.6	—	—	13.8	—
平牧	84	15.5	11.9	19.0	10.7	8.3	3.6	61.9	28.6	6.0	2.4	3.6	14.3	—	1.2	14.3	7.1
桜ヶ丘ハイツ	75	22.7	6.7	17.3	8.0	18.7	4.0	73.3	29.3	10.7	—	4.0	9.3	1.3	—	6.7	4.0
久々利	13	38.5	15.4	15.4	—	—	—	53.8	15.4	7.7	—	7.7	15.4	7.7	—	—	7.7
広見東	17	11.8	11.8	41.2	23.5	—	5.9	47.1	29.4	17.6	—	—	17.6	—	—	11.8	5.9
広見	50	20.0	12.0	16.0	6.0	12.0	2.0	66.0	32.0	14.0	2.0	2.0	10.0	4.0	—	8.0	6.0
中恵土	31	16.1	3.2	19.4	9.7	—	3.2	80.6	32.3	6.5	—	3.2	9.7	—	3.2	16.1	—
兼山	19	15.8	52.6	5.3	—	—	10.5	31.6	26.3	5.3	—	—	10.5	—	—	10.5	15.8
不明	45	8.9	2.2	15.6	15.6	17.8	6.7	44.4	33.3	13.3	4.4	4.4	17.8	4.4	—	13.3	6.7

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「美濃金山城をはじめとした城跡」「明智光秀のふるさと明智荘」の割合が高くなっています。また、10年以上20年未満で「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」「文化創造センター アーラ」の割合が高くなっています。

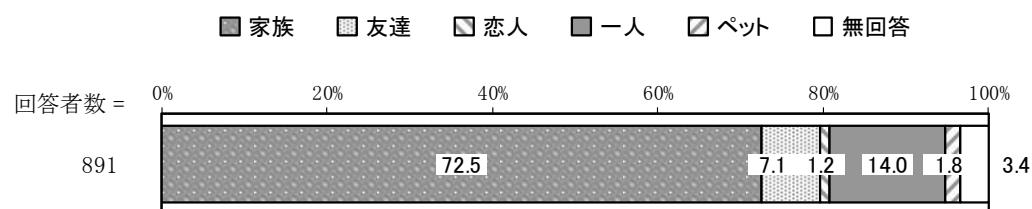
単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	文化創造センター アーラ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
3年未満	34	11.8	8.8	14.7	11.8	8.8	5.9	50.0	14.7	14.7	2.9	—	17.6	2.9	—	11.8	5.9
3年以上 5年未満	17	17.6	29.4	41.2	11.8	17.6	—	47.1	17.6	11.8	—	11.8	23.5	—	—	—	11.8
5年以上 10年未満	54	11.1	7.4	16.7	18.5	14.8	7.4	51.9	13.0	5.6	—	1.9	11.1	—	—	24.1	3.7
10年以上 20年未満	106	11.3	6.6	17.9	17.9	16.0	8.5	62.3	36.8	5.7	3.8	1.9	21.7	1.9	0.9	7.5	5.7
20年以上	521	13.4	10.2	14.6	21.5	21.5	3.8	55.1	30.3	7.5	1.3	3.5	9.8	0.6	1.2	10.6	6.3
生まれて からずっと	153	17.0	9.8	9.2	14.4	20.3	5.9	39.2	34.0	9.2	2.0	3.3	14.4	2.0	—	14.4	6.5

（５）余暇の過ごし方について

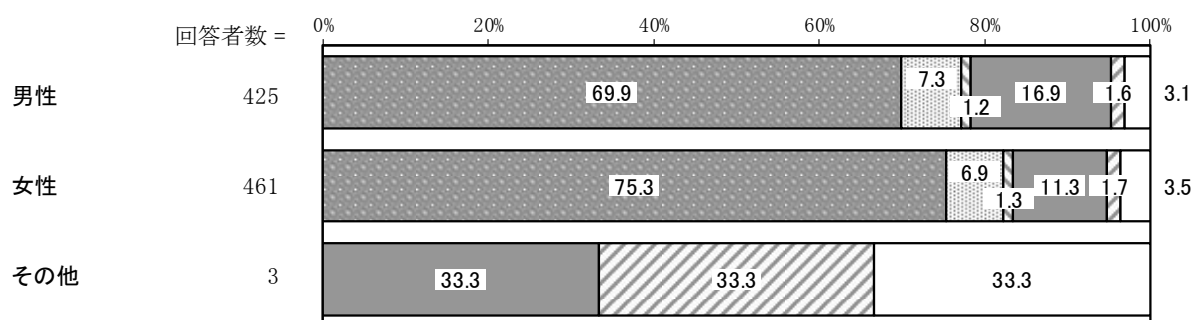
問 25 あなたは、休日（余暇）を誰と過ごすことが多いですか。（○は１つだけ）

「家族」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「一人」の割合が 14.0%となっています。



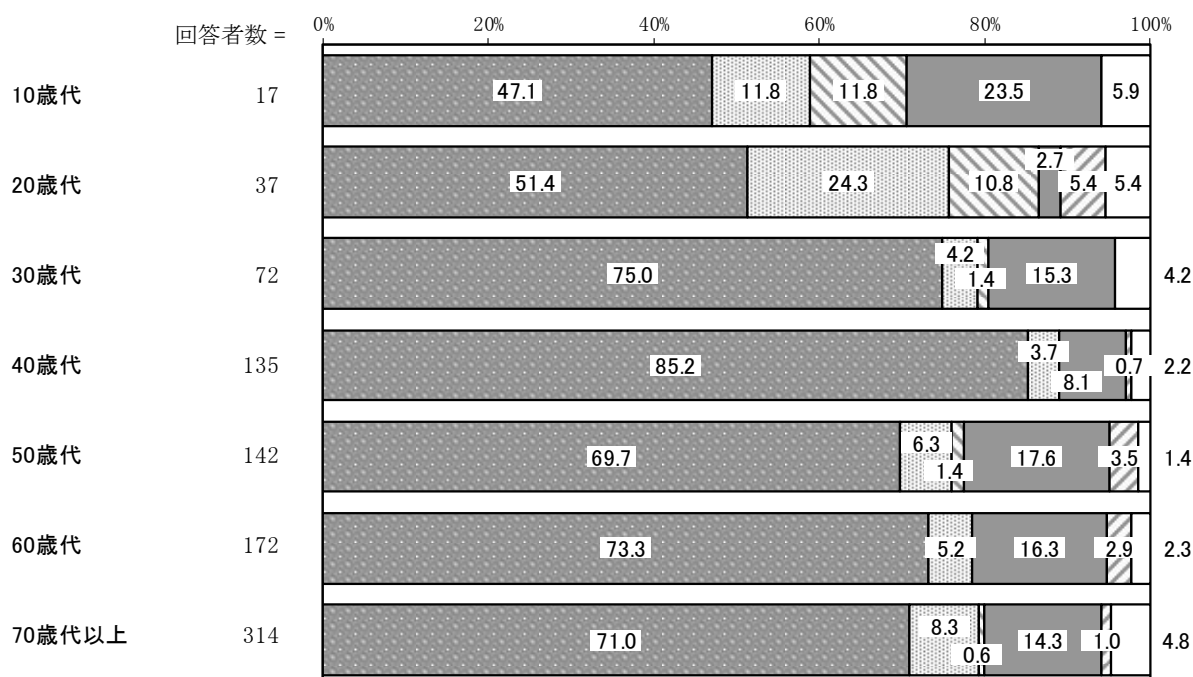
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、女性に比べ、男性で「1人」の割合が高く、1割半ばとなっています。



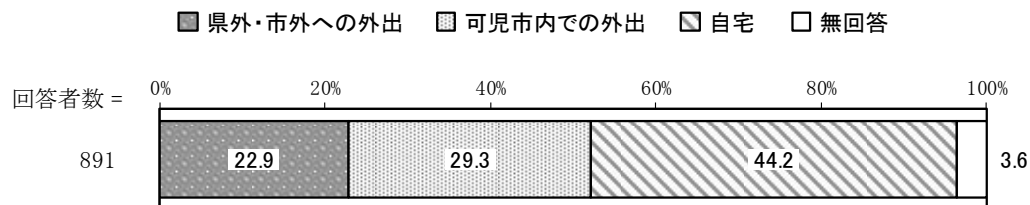
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で「家族」の割合が、20歳代で「友達」の割合が高くなっています。また、年代が下がるにつれ「恋人」の割合が高くなる傾向がみられ、10歳代で1割を超えています。



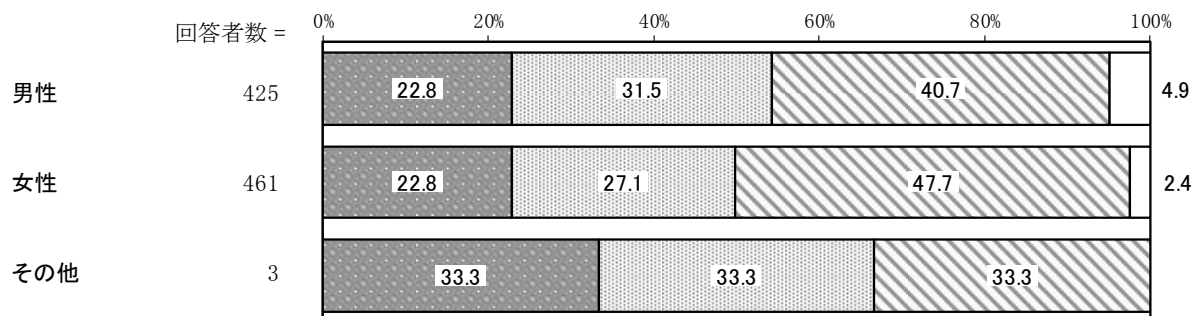
問 26 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「自宅」の割合が44.2%と最も高く、次いで「可児市内での外出」の割合が29.3%、「県外・市外への外出」の割合が22.9%となっています。



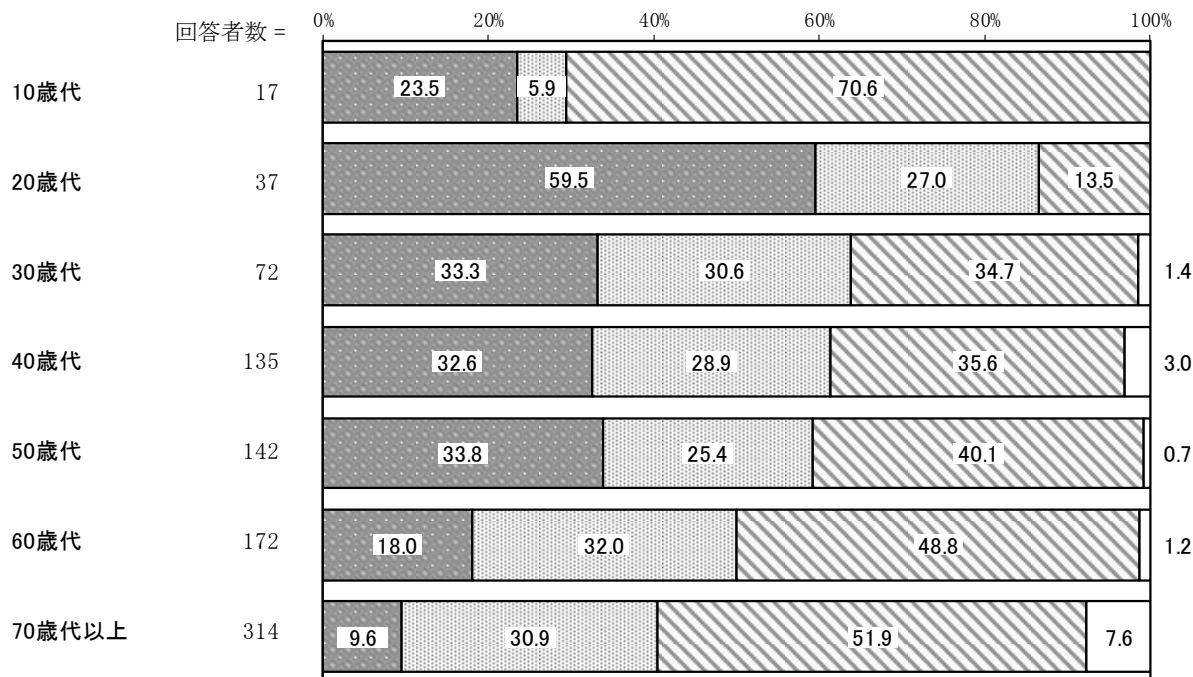
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「自宅」の割合が高く、5割近くとなっています。



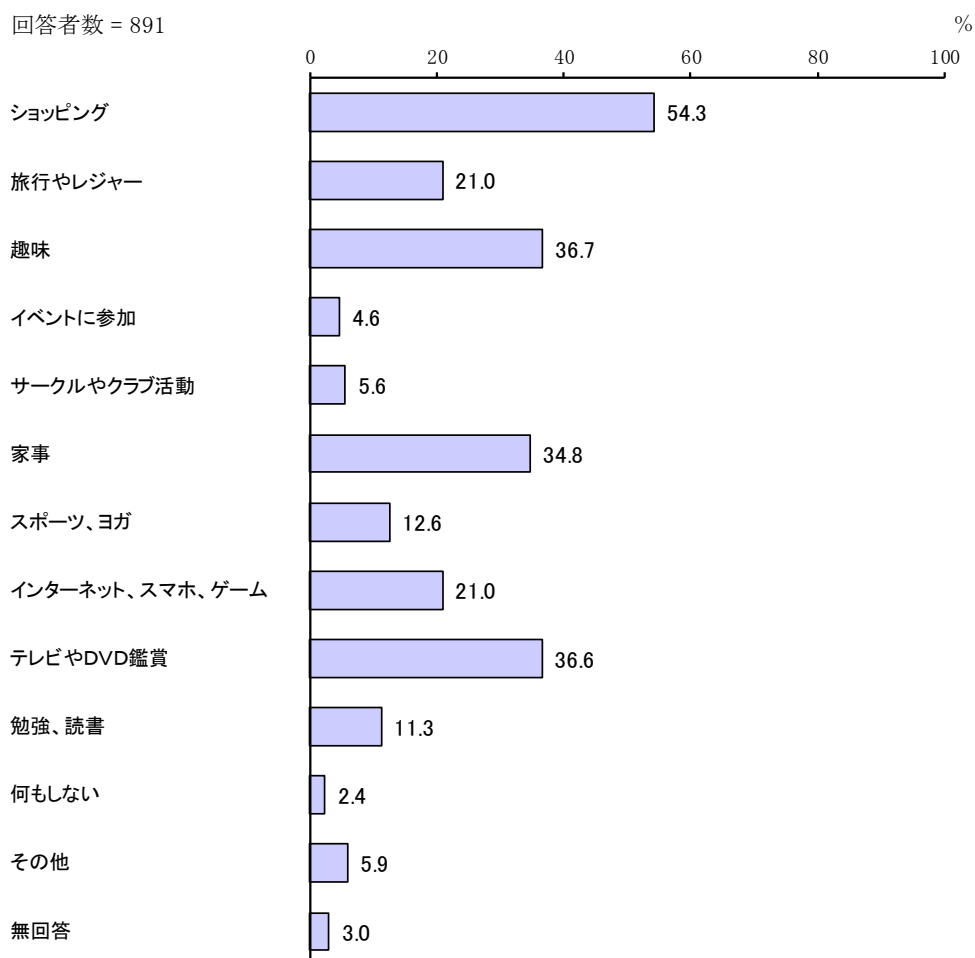
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「県外・市外への外出」の割合が高く、約6割となっています。また、10歳代で「自宅」の割合が高く、約7割となっています。



問 27 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

「ショッピング」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「趣味」の割合が 36.7%、「テレビやDVD鑑賞」の割合が 36.6%となっています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ショッピング」「家事」「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「趣味」「スポーツ、ヨガ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	スマホ、ゲーム	インターネット、 テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	425	49.4	20.7	42.4	3.8	5.9	17.9	16.0	22.4	33.6	11.3	3.1	7.8	4.2
女性	461	58.8	21.3	31.7	5.4	5.4	50.5	9.3	20.0	39.5	11.3	1.7	4.1	2.0
その他	3	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	—	33.3	33.3	—	33.3	—

【年代別】

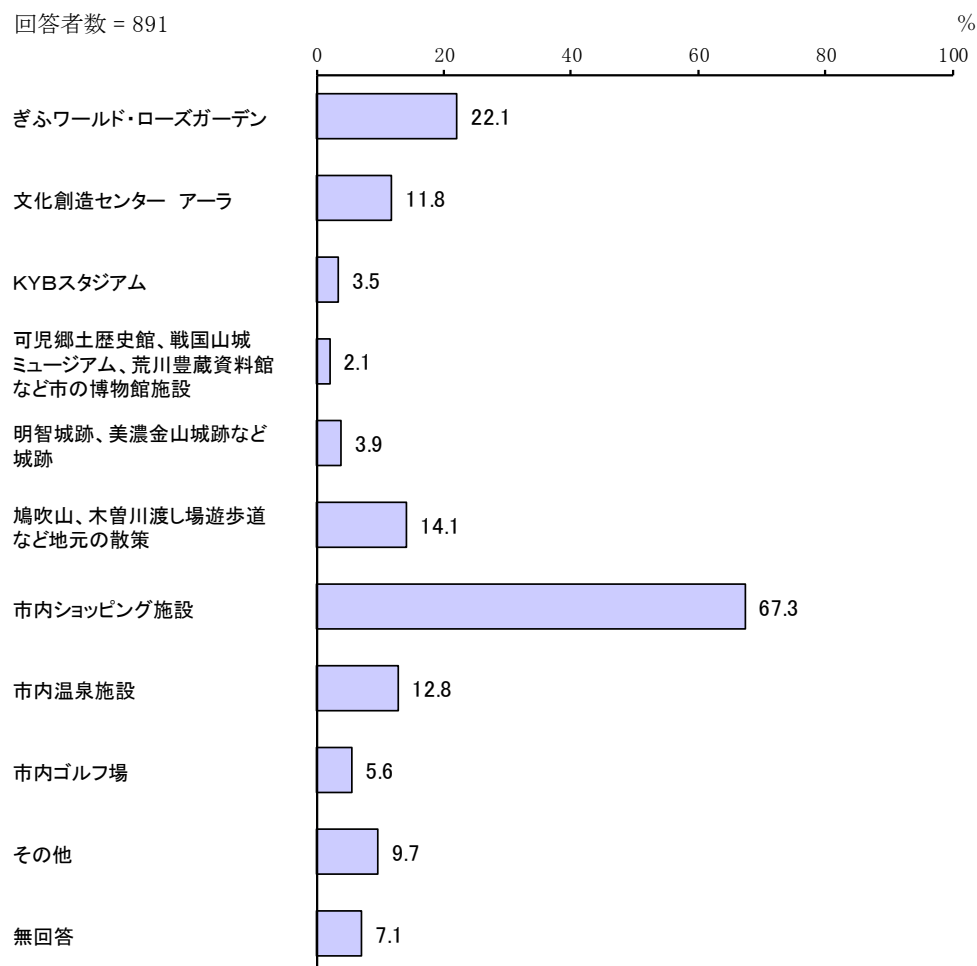
年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「趣味」「サークルやクラブ活動」「勉強、読書」の割合が高くなっています。また、年代が下がるにつれ「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなる傾向がみられ、10歳代で6割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	スマホ、ゲーム	インターネット、 テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10歳代	17	47.1	—	52.9	—	35.3	—	11.8	64.7	17.6	41.2	—	17.6	—
20歳代	37	78.4	40.5	45.9	8.1	5.4	37.8	13.5	32.4	18.9	10.8	—	5.4	—
30歳代	72	54.2	20.8	30.6	8.3	4.2	41.7	9.7	34.7	33.3	11.1	2.8	6.9	—
40歳代	135	63.0	34.1	34.8	6.7	3.7	44.4	13.3	27.4	33.3	12.6	—	6.7	0.7
50歳代	142	62.0	21.1	38.7	5.6	3.5	45.8	12.0	29.6	42.3	9.9	1.4	4.2	0.7
60歳代	172	52.9	17.4	36.0	4.1	5.2	28.5	18.0	15.7	42.4	8.7	1.2	5.2	1.2
70歳代以上	314	45.2	15.9	36.3	2.5	6.4	29.0	10.2	10.5	36.0	11.5	4.8	6.1	7.3

問 28 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 22.1%、「鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策」の割合が 14.1%となっています。



【性 別】

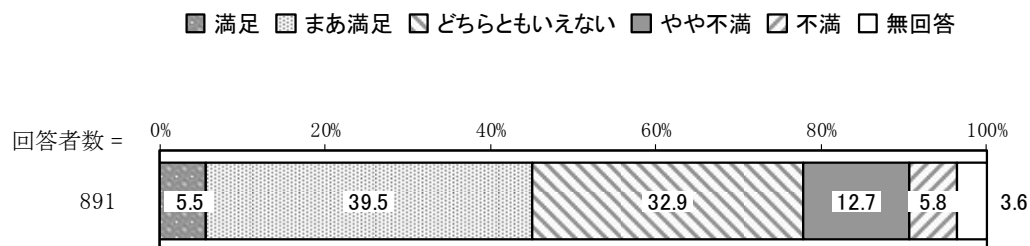
性別でみると、男性に比べ、女性で「ぎふワールド・ローズガーデン」「文化創造センターアーラ」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「市内ゴルフ場」の割合が高く、約1割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、 荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の 散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	425	16.5	8.9	4.7	2.6	4.2	14.6	65.2	12.5	9.2	9.4	8.9
女性	461	27.3	14.5	2.4	1.7	3.7	13.9	69.2	13.2	2.2	10.0	5.4
その他	3	33.3	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3	—	—

問 29 可児市内の公園や緑地などの整備状況についてどう思いますか（○は1つだけ）

「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が45.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が32.9%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が18.5%となっています。

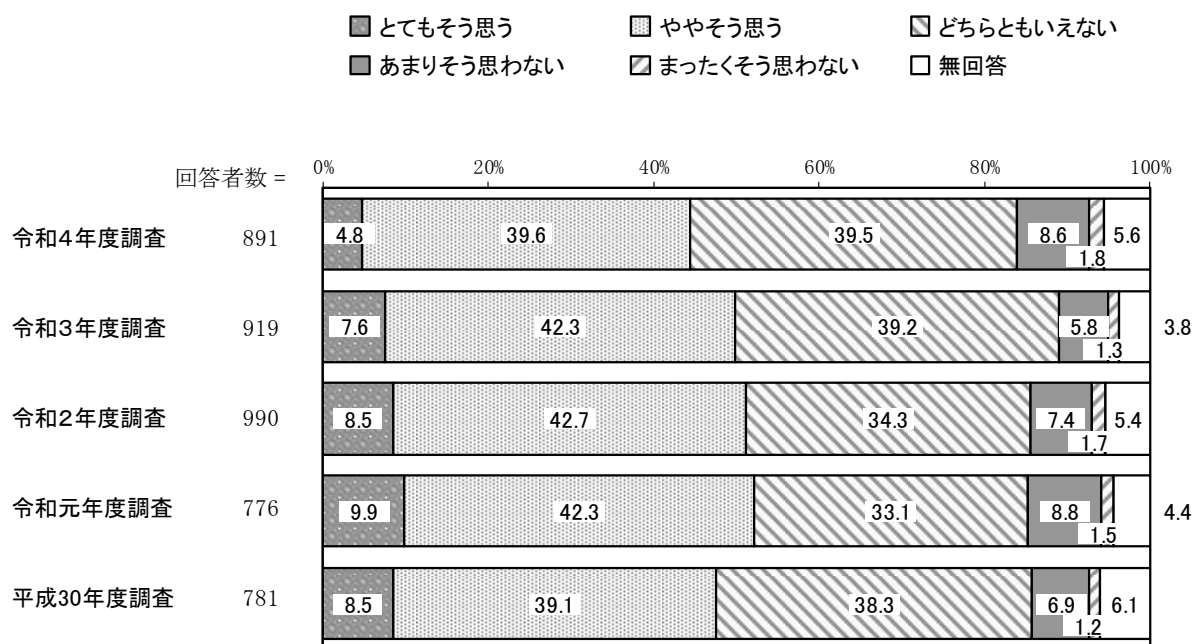


(6) 子育て環境について

問 30 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

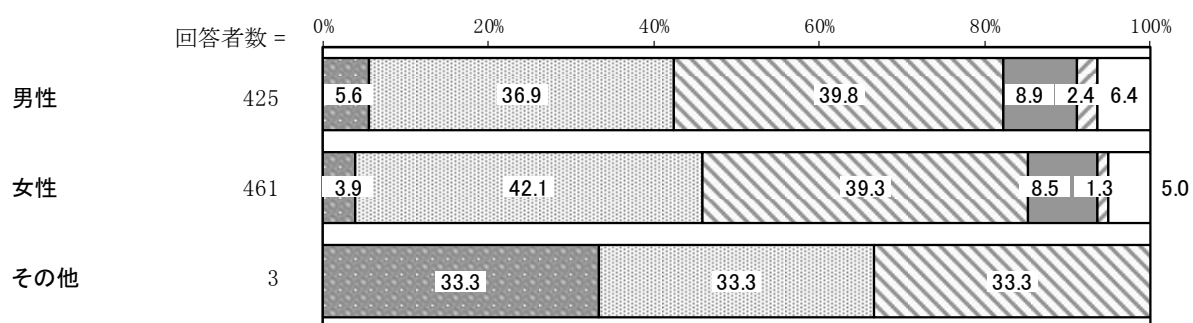
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 44.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 39.5%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 10.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降“そう思う”の割合が減少する傾向がみられます。



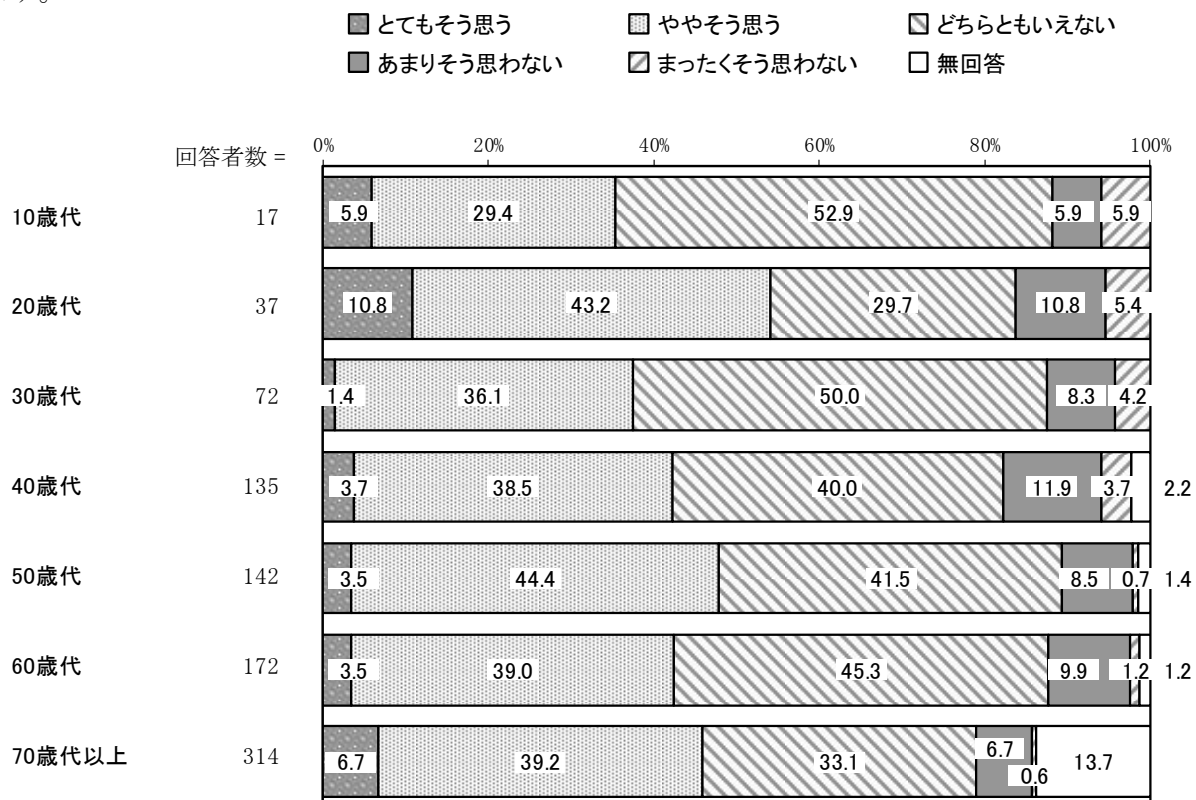
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、4割半ばとなっています。



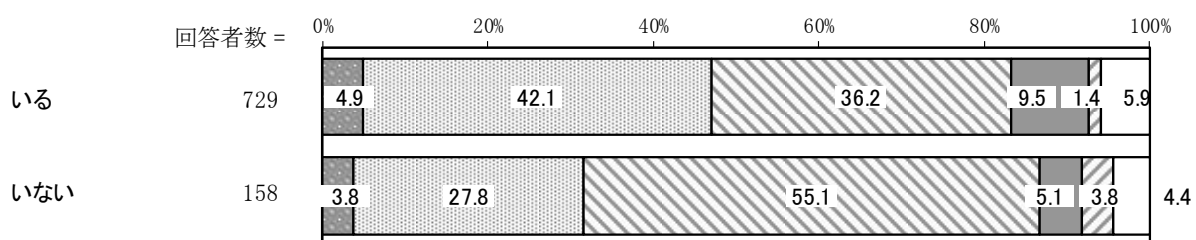
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“そう思う”の割合が高く、5 割半ばとなっています。



【子どもの有無別】

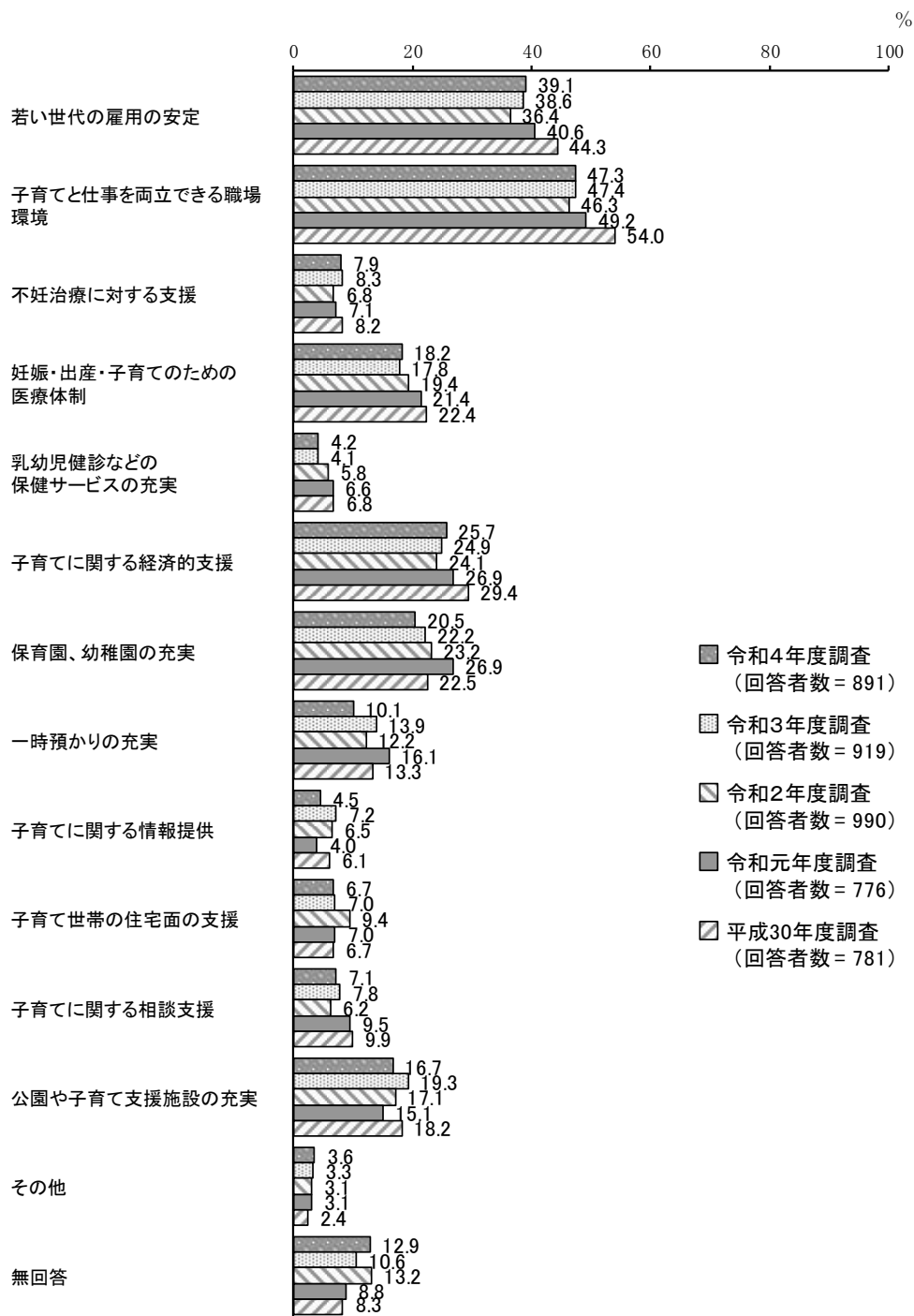
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、5 割近くとなっています。



問 31 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が47.3%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が39.1%、「子育てに関する経済的支援」の割合が25.7%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降「保育園、幼稚園の充実」の割合が減少する傾向がみられます。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	425	44.5	43.5	6.1	16.0	2.6	28.5	18.8	9.9	4.0	8.9	4.9	16.0	4.2	12.7
女性	461	34.5	50.8	9.5	20.4	5.4	23.0	21.7	10.4	4.8	4.8	9.1	17.4	2.8	13.2
その他	3	—	33.3	—	—	—	66.7	66.7	—	—	—	—	33.3	33.3	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が、20 歳代で「乳幼児健診などの保健サービスの充実」の割合が高くなっています。また、30 歳代で「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

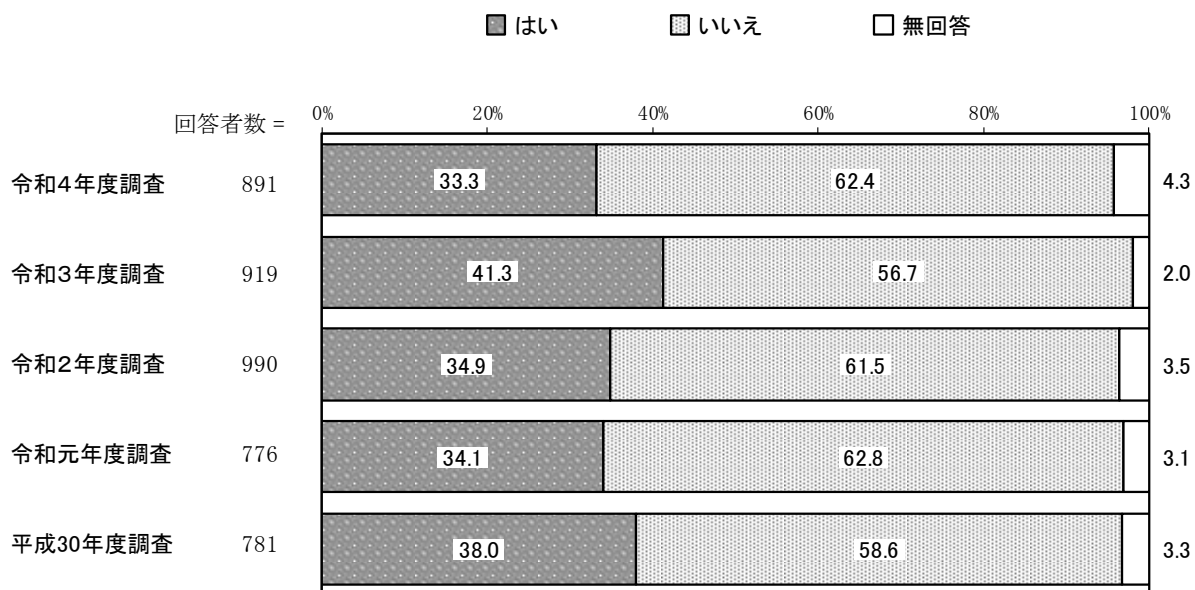
単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	17	47.1	52.9	—	35.3	5.9	29.4	11.8	—	5.9	5.9	5.9	23.5	11.8	—
20 歳代	37	37.8	40.5	13.5	29.7	16.2	37.8	27.0	2.7	2.7	13.5	8.1	13.5	5.4	5.4
30 歳代	72	25.0	40.3	15.3	20.8	1.4	43.1	29.2	8.3	2.8	11.1	5.6	26.4	2.8	11.1
40 歳代	135	33.3	48.1	15.6	23.0	3.0	37.0	11.9	11.1	4.4	12.6	9.6	17.0	5.2	5.9
50 歳代	142	34.5	49.3	9.2	23.2	6.3	23.9	23.9	14.8	4.2	4.9	11.3	13.4	6.3	6.3
60 歳代	172	40.7	51.7	5.8	16.3	4.1	26.2	26.2	13.4	3.5	7.0	9.3	18.0	2.9	7.0
70 歳代以上	314	45.9	45.5	3.2	12.1	2.9	15.9	17.5	7.6	5.4	3.2	3.2	15.0	1.3	24.2

(7) 運動の推進について

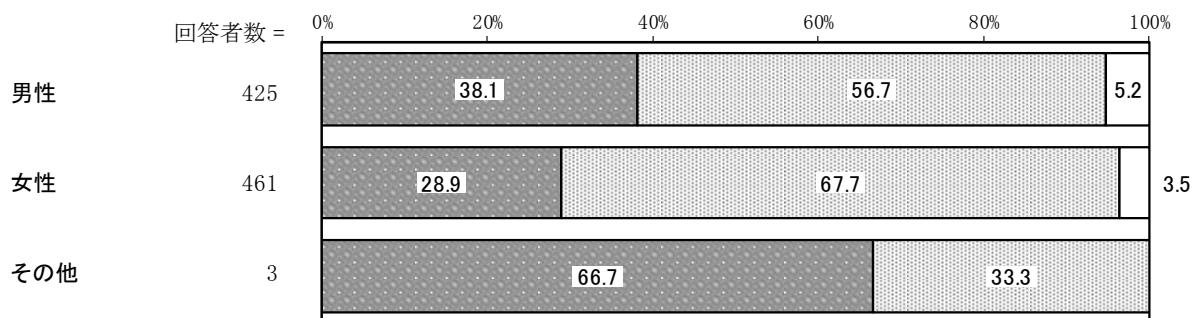
問 32 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する『歩こう可児 302 運動』や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ『一市民ースポーツ』を推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が33.3%、「いいえ」の割合が62.4%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



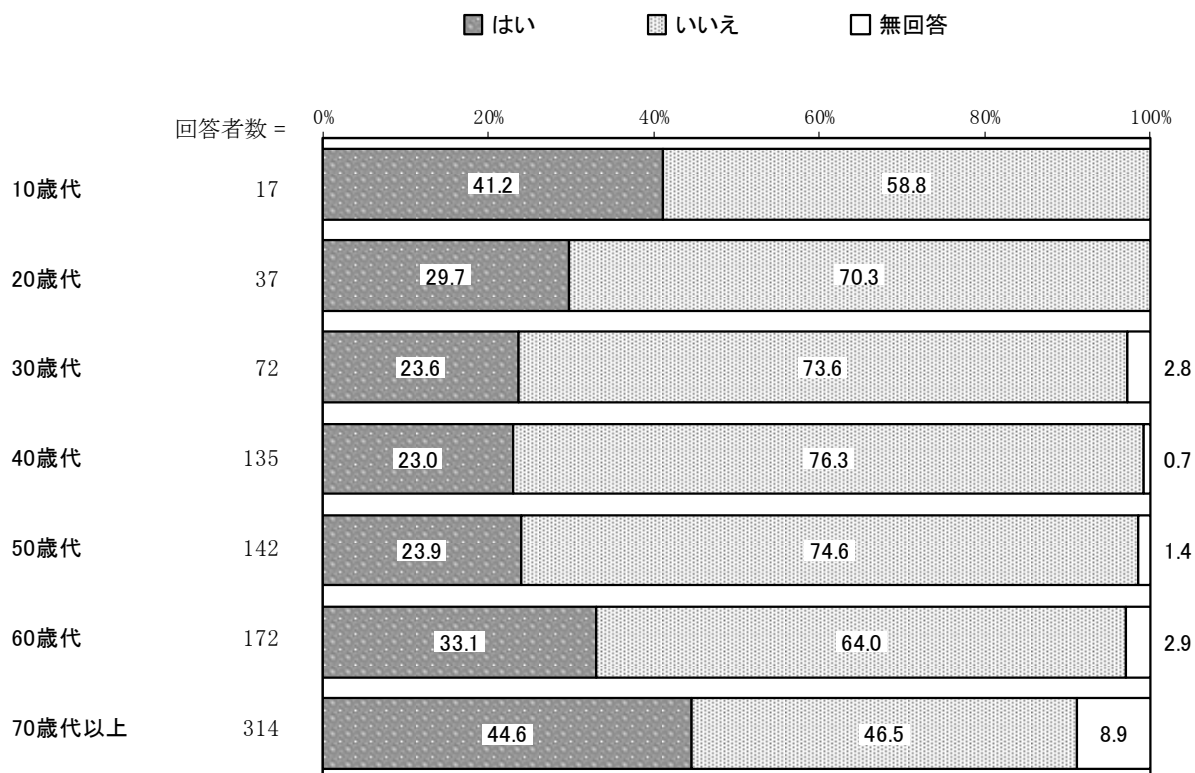
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、4割近くとなっています。一方、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高く、7割近くとなっています。



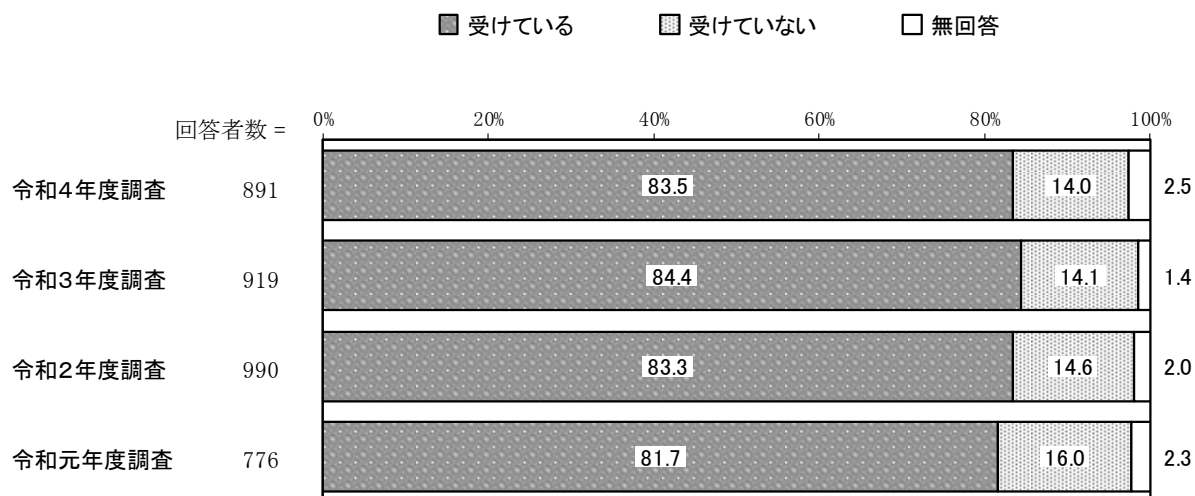
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で「はい」の割合が高く、4 割半ばとなっています。また、40 歳代、50 歳代で「いいえ」の割合が高く、7 割半ばとなっています。



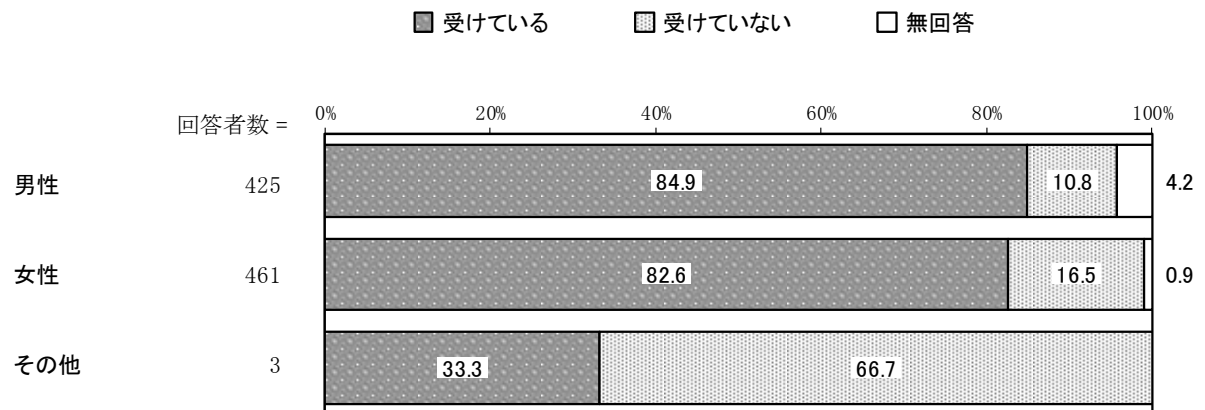
問 33 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が 83.5%、「受けていない」の割合が 14.0%となっています。令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



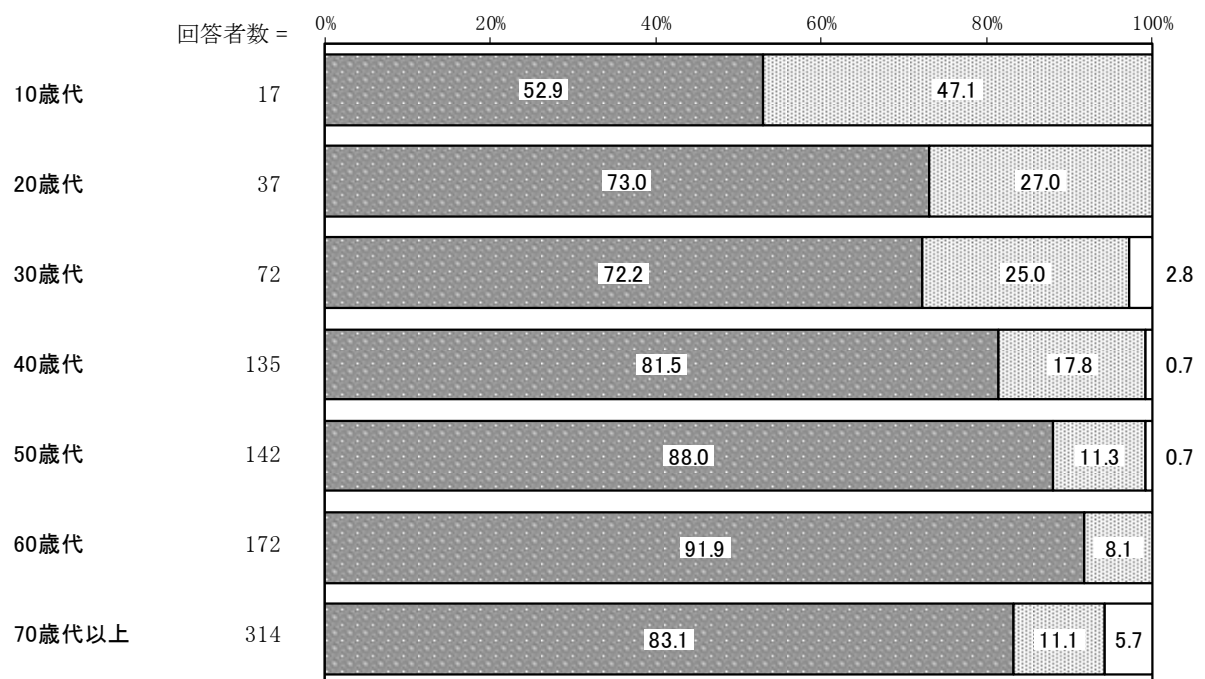
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「受けていない」の割合が高く、1割半ばとなっています。



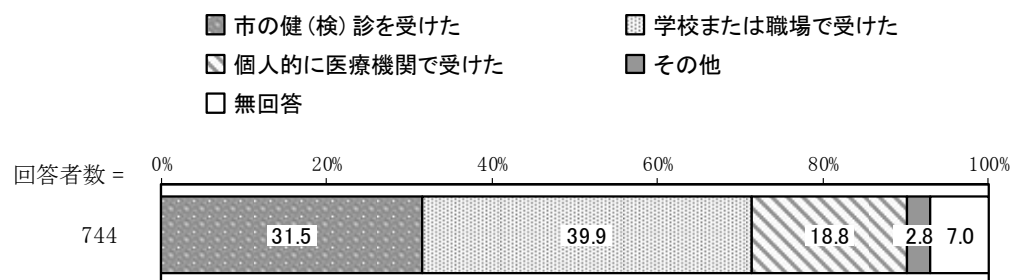
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「受けている」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代で9割を超えています。また、他の年代に比べ、10歳代で「受けていない」の割合が高く、5割近くとなっています。



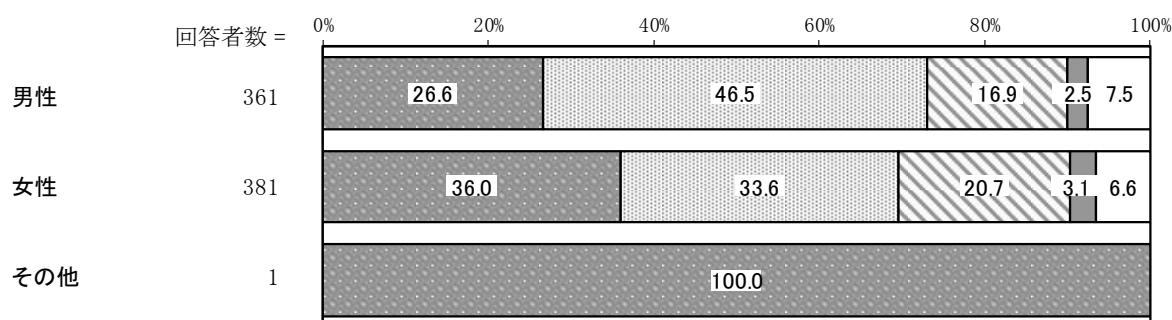
受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が39.9%と最も高く、次いで「市の健(検)診を受けた」の割合が31.5%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が18.8%となっています。



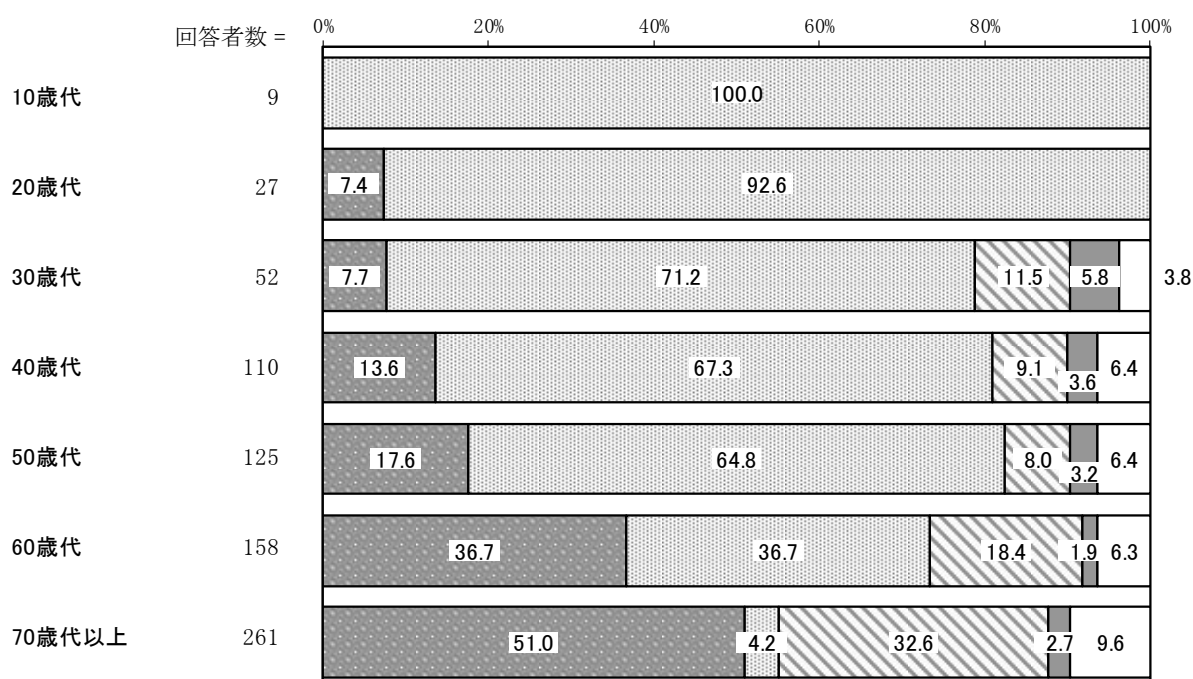
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高くなっています。



【年代別】

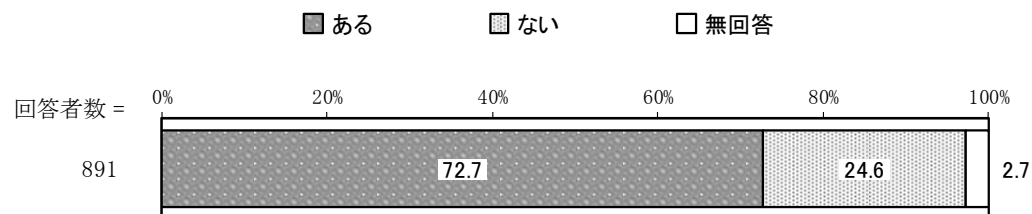
年代別でみると、年代が上がるにつれ「市の健(検)診を受けた」の割合が高くなっており、70歳代以上で5割を超えています。また、年代が下がるにつれ、「学校または職場で受けた」の割合が高くなっており、20歳代で9割を超えています。



問 34 あなたは「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」がありますか。
(それぞれ○は1つだけ)

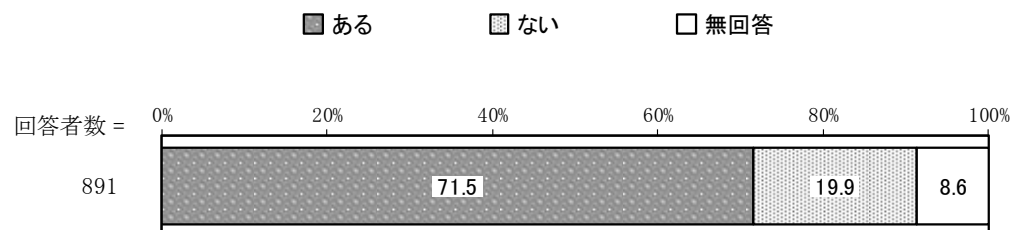
かかりつけ医

「ある」の割合が 72.7%、「ない」の割合が 24.6%となっています。



かかりつけ歯科医

「ある」の割合が 71.5%、「ない」の割合が 19.9%となっています。

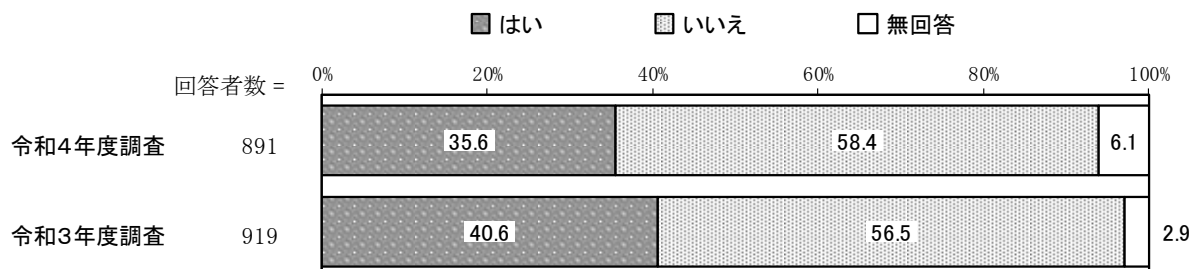


(8) 教育や学習に関する施策について

問 35 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。(〇は1つだけ)

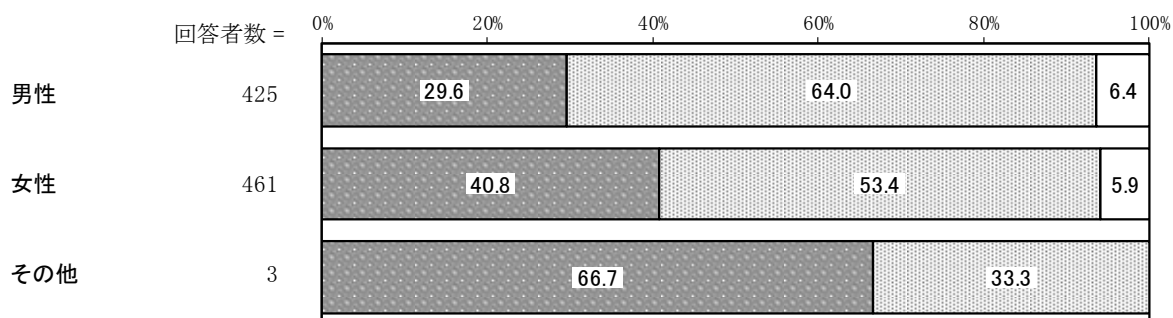
「はい」の割合が35.6%、「いいえ」の割合が58.4%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



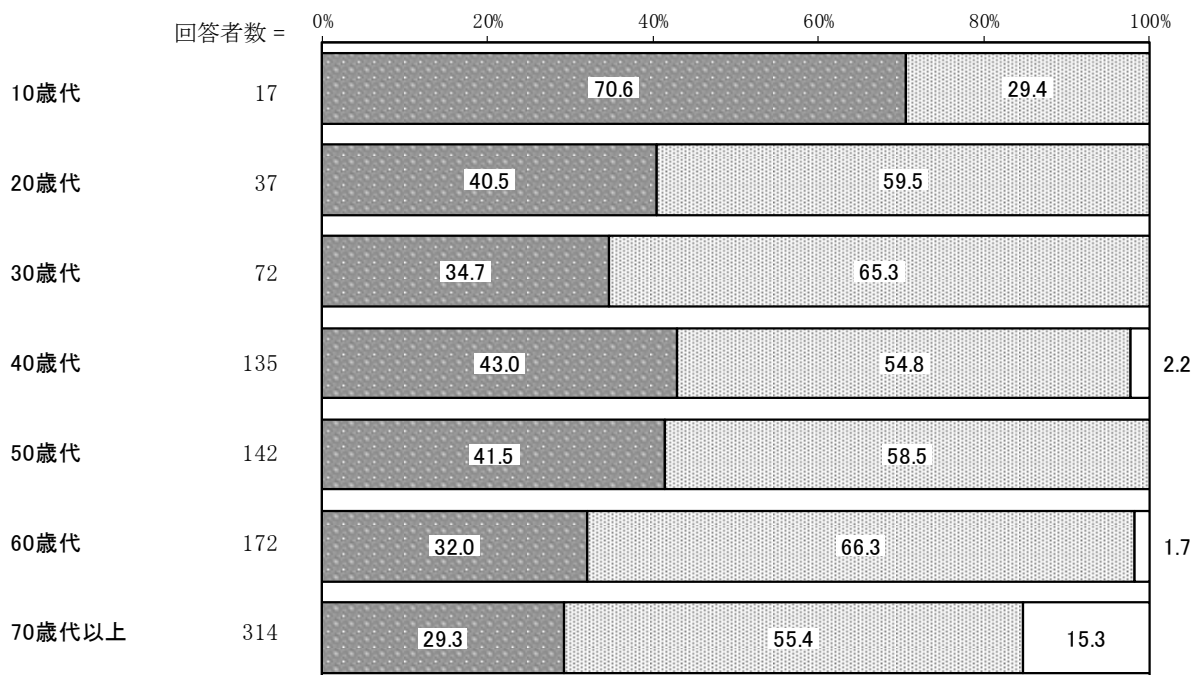
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高く、約4割となっています。一方、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、6割半ばとなっています。



【年代別】

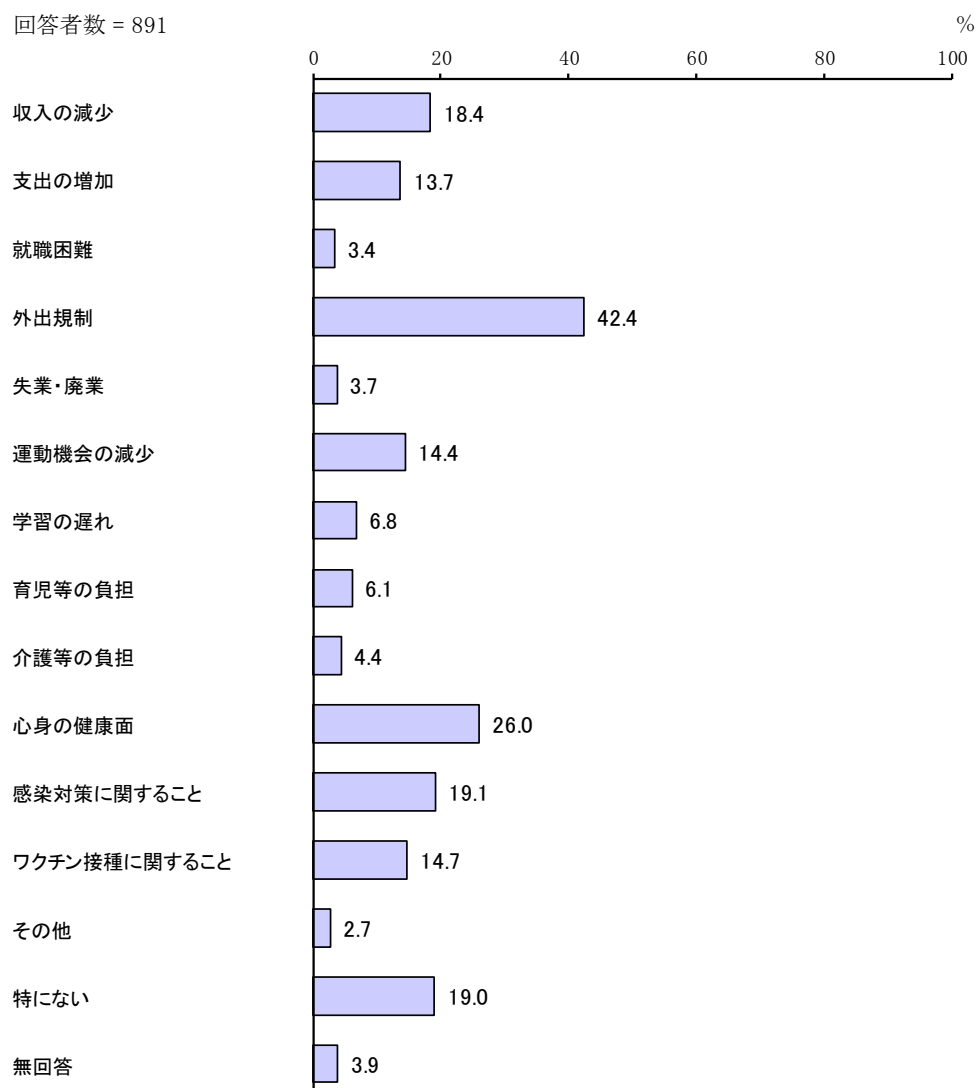
年代別でみると、他の世代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳代、60歳代で「いいえ」の割合が高く、6割半ばとなっています。



問 36 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとは何ですか。（回答複数可）

「外出規制」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「心身の健康面」の割合が 26.0%、「感染対策に関すること」の割合が 19.1%となっています。

回答者数 = 891



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「心身の健康面」の割合が高く、約3割となっています。一方、女性に比べ、男性で「感染対策に関すること」の割合が高く、2割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	特にな い	無回 答
男性	425	19.1	13.6	2.8	42.8	4.2	14.4	6.4	4.0	3.8	21.4	21.6	13.9	3.1	18.1	5.4
女性	461	17.8	13.7	3.7	42.1	3.0	14.3	7.2	7.8	4.8	30.4	16.5	15.2	2.4	19.7	2.6
その他	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「収入の減少」「外出規制」「ワクチン接種に関すること」の割合が高くなっています。また、10歳代で「心身の健康面」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	特にな い	無回 答
10歳代	17	11.8	11.8	11.8	52.9	11.8	5.9	17.6	—	—	52.9	23.5	5.9	—	17.6	—
20歳代	37	40.5	29.7	10.8	59.5	16.2	16.2	8.1	29.7	10.8	29.7	21.6	27.0	8.1	13.5	—
30歳代	72	31.9	26.4	6.9	51.4	8.3	16.7	18.1	31.9	—	33.3	20.8	19.4	6.9	9.7	2.8
40歳代	135	31.1	20.7	5.2	48.1	3.0	16.3	18.5	9.6	3.0	30.4	17.8	13.3	1.5	6.7	1.5
50歳代	142	26.1	15.5	5.6	43.0	3.5	12.0	5.6	2.1	4.9	28.9	23.9	18.3	2.8	19.0	2.1
60歳代	172	13.4	9.9	0.6	43.0	1.7	14.0	0.6	1.2	5.8	19.2	19.2	12.8	2.3	23.3	2.9
70歳代以上	314	6.7	7.3	1.0	34.7	2.2	14.3	2.5	0.6	4.5	23.2	16.2	12.7	1.9	24.8	7.3

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「就職困難」「心身の健康面」の割合が高くなっています。
また、自営業（飲食店以外）で「収入の減少」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関	その他	特 に ない	無 回 答
正社員・正職員	232	26.3	16.8	2.2	50.0	5.2	15.5	10.3	8.6	3.9	24.1	21.1	19.0	3.9	12.9	0.9
アルバイト・パート	159	27.7	18.2	6.3	45.3	1.9	15.1	8.8	8.8	5.0	37.7	18.9	15.7	3.8	13.2	3.8
派遣社員	8	37.5	12.5	—	50.0	12.5	—	12.5	12.5	—	—	25.0	—	—	25.0	—
嘱託・契約社員	34	26.5	26.5	2.9	47.1	5.9	11.8	8.8	8.8	8.8	20.6	14.7	8.8	2.9	8.8	—
自営業主(飲食店)	6	16.7	16.7	—	33.3	—	—	16.7	—	—	33.3	16.7	16.7	—	16.7	—
自営業(飲食店以外)	41	36.6	14.6	2.4	36.6	2.4	17.1	4.9	9.8	4.9	14.6	12.2	12.2	—	14.6	9.8
内職	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0
家事専業	103	8.7	12.6	2.9	40.8	2.9	20.4	7.8	8.7	4.9	34.0	18.4	17.5	1.9	20.4	2.9
学生	20	15.0	10.0	15.0	45.0	10.0	5.0	15.0	—	—	45.0	20.0	5.0	—	25.0	—
無職	271	5.5	7.4	1.8	35.1	3.0	12.2	1.5	0.7	4.1	19.9	19.6	12.2	2.2	26.9	7.0
その他	14	21.4	7.1	7.1	50.0	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	14.3	14.3	7.1	—	42.9	—

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「支出の増加」の割合が高く、4割近くとなっています。また、3年以上5年未満で「外出規制」「ワクチン接種に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関	その他	特 に ない	無 回 答
3年未満	34	29.4	38.2	11.8	52.9	11.8	8.8	2.9	17.6	2.9	17.6	17.6	17.6	14.7	11.8	—
3年以上5年未満	17	17.6	11.8	11.8	58.8	—	17.6	—	17.6	11.8	23.5	17.6	29.4	5.9	17.6	—
5年以上 10年未満	54	33.3	27.8	5.6	44.4	7.4	14.8	9.3	22.2	1.9	29.6	16.7	11.1	1.9	11.1	—
10年以上 20年未満	106	26.4	17.9	2.8	48.1	2.8	17.0	16.0	9.4	0.9	32.1	19.8	12.3	3.8	11.3	1.9
20年以上	521	13.1	9.8	2.3	41.7	2.5	15.5	4.0	1.5	4.0	24.2	18.4	15.4	2.3	20.3	5.0
生まれてから ずっと	153	24.2	13.7	3.9	37.3	5.9	9.2	11.1	9.2	8.5	30.1	22.9	13.7	0.7	23.5	3.3

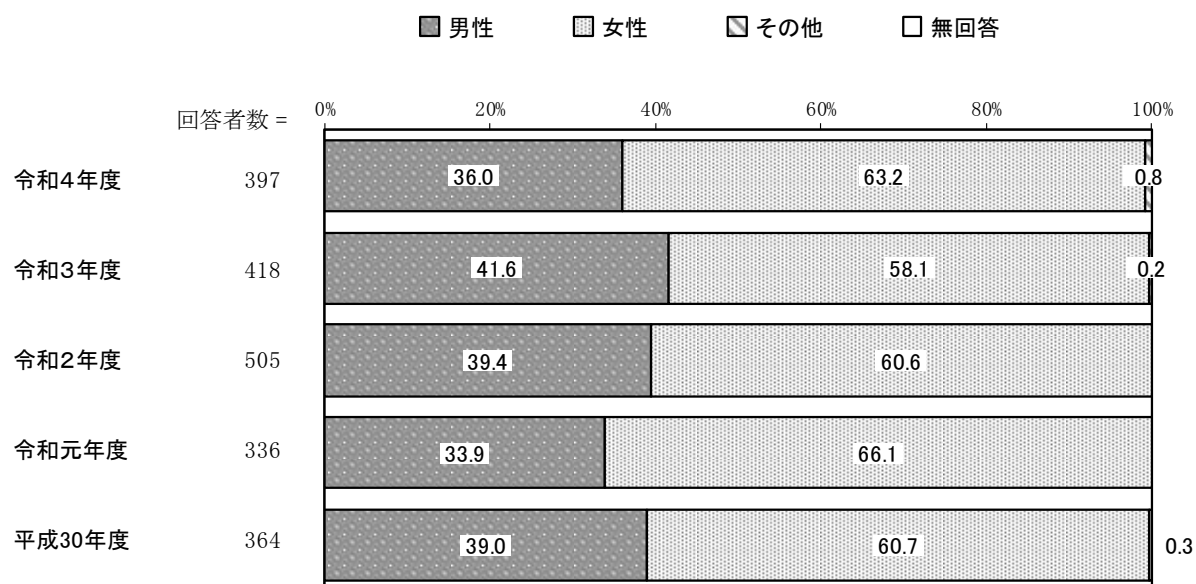
2 若年層

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

「男性」の割合が36.0%、「女性」の割合が63.2%となっています。

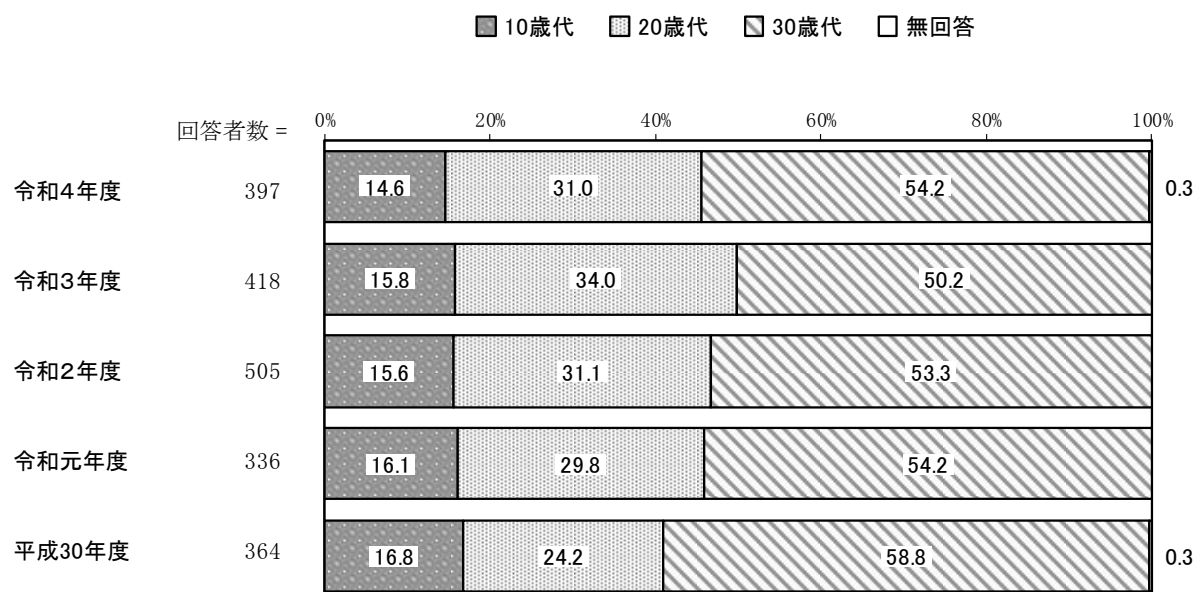
令和3年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「男性」に比べ「女性」の割合が高い傾向が続いています。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「30歳代」の割合が54.2%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が31.0%、「10歳代」の割合が14.6%となっています。

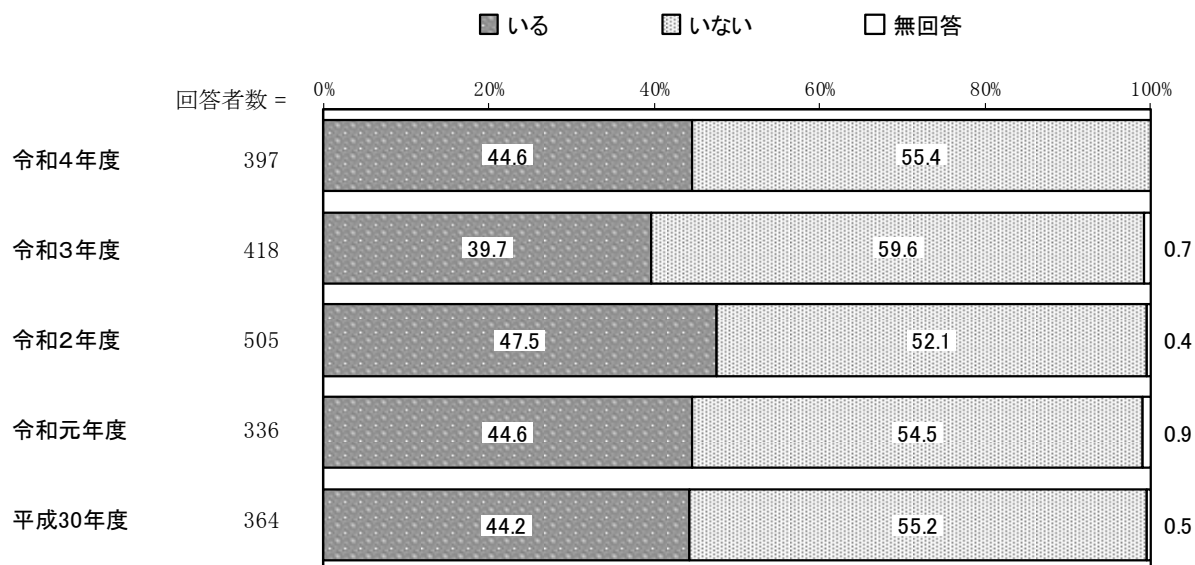
令和3年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「30歳代」の割合が最も高い傾向が続いています。



問3 あなたには、子どもはいますか。（いる場合は子どもの世代も選択して下さい。）

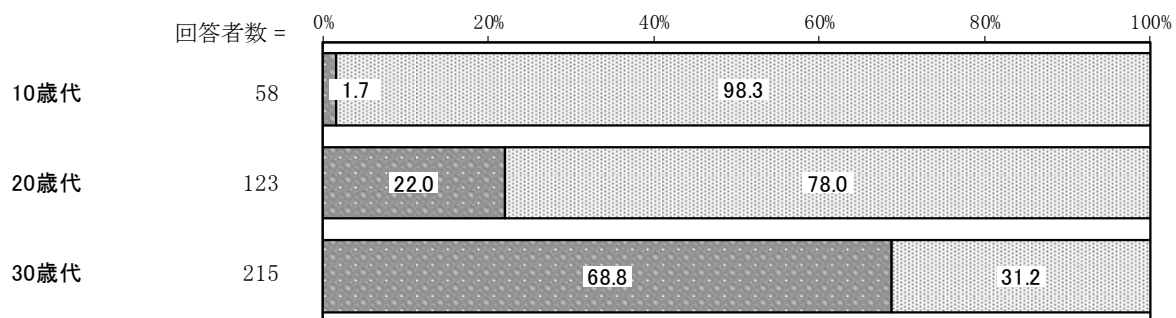
「いる」の割合が44.6%、「いない」の割合が55.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「いる」の割合が増加する傾向がみられ、令和3年度では減少しましたが、令和4年度ではまた増加しています。



【年代別】

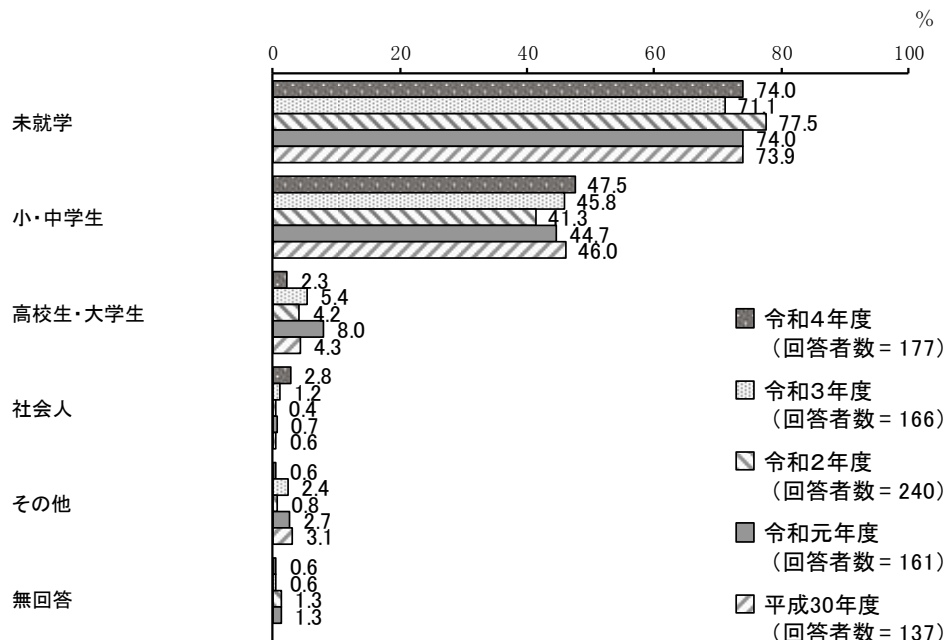
年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「いる」の割合が高く、7割近くとなっています。また、10歳代で「いない」の割合が高く、10割近くとなっています。



子どもの世代

「未就学」の割合が74.0%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が47.5%となっています。

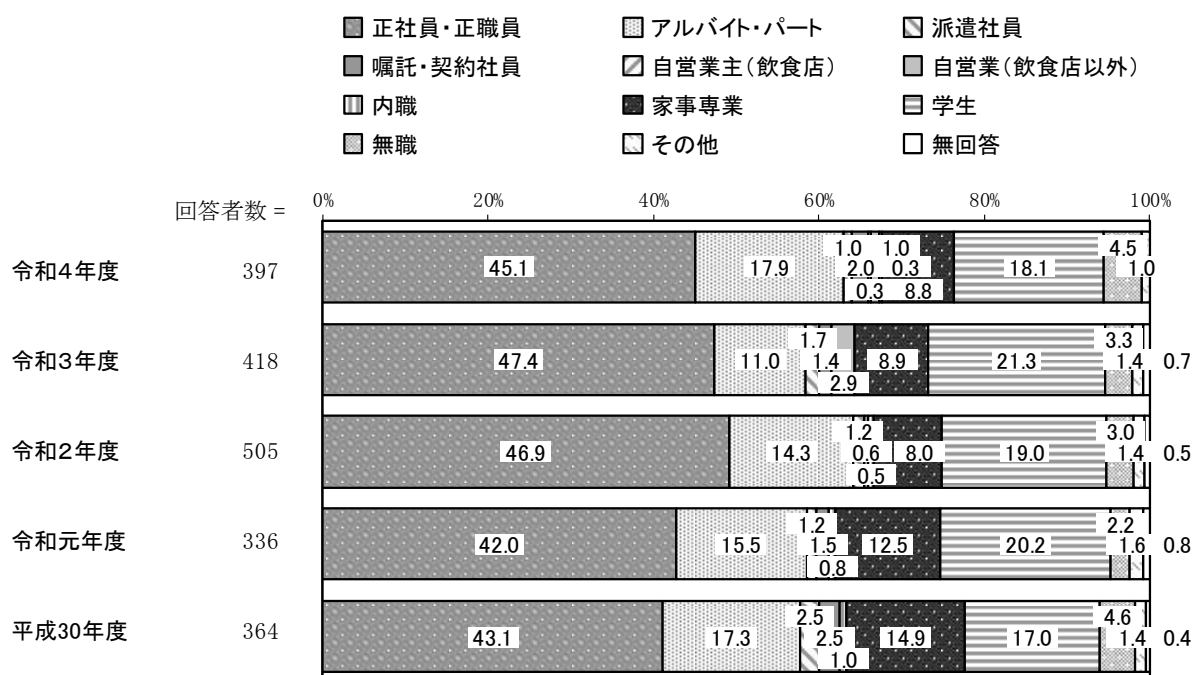
令和3年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「小・中学生」の割合が減少していましたが、令和3年度、令和4年度では増加しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

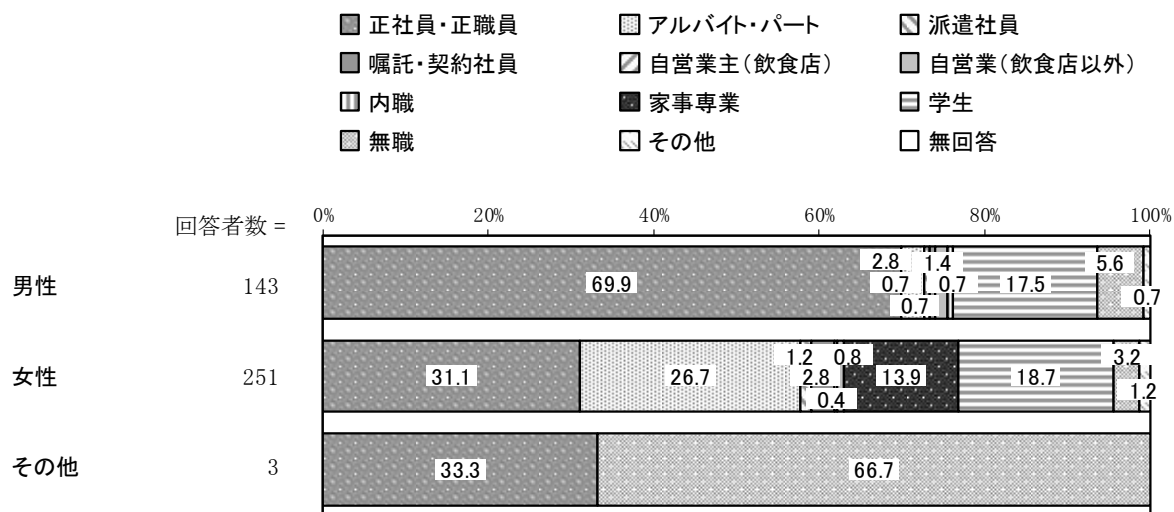
「正社員・正職員」の割合が45.1%と最も高く、次いで「学生」の割合が18.1%、「アルバイト・パート」の割合が17.9%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「アルバイト・パート」の割合が増加しています。



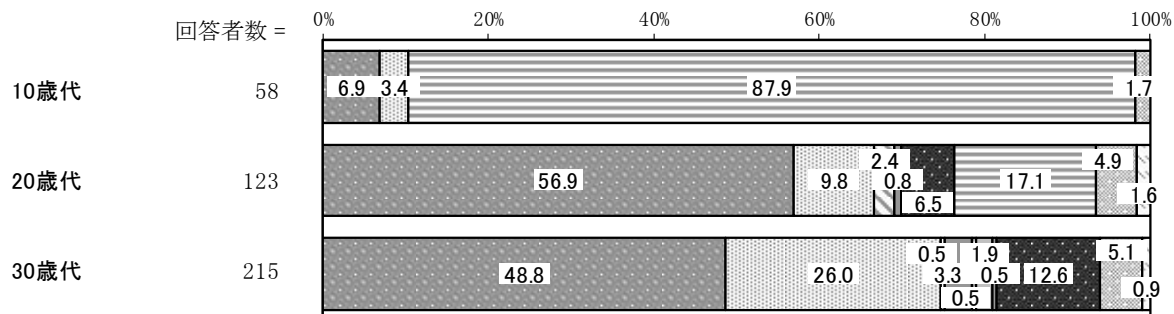
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」の割合が高く、約7割となっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

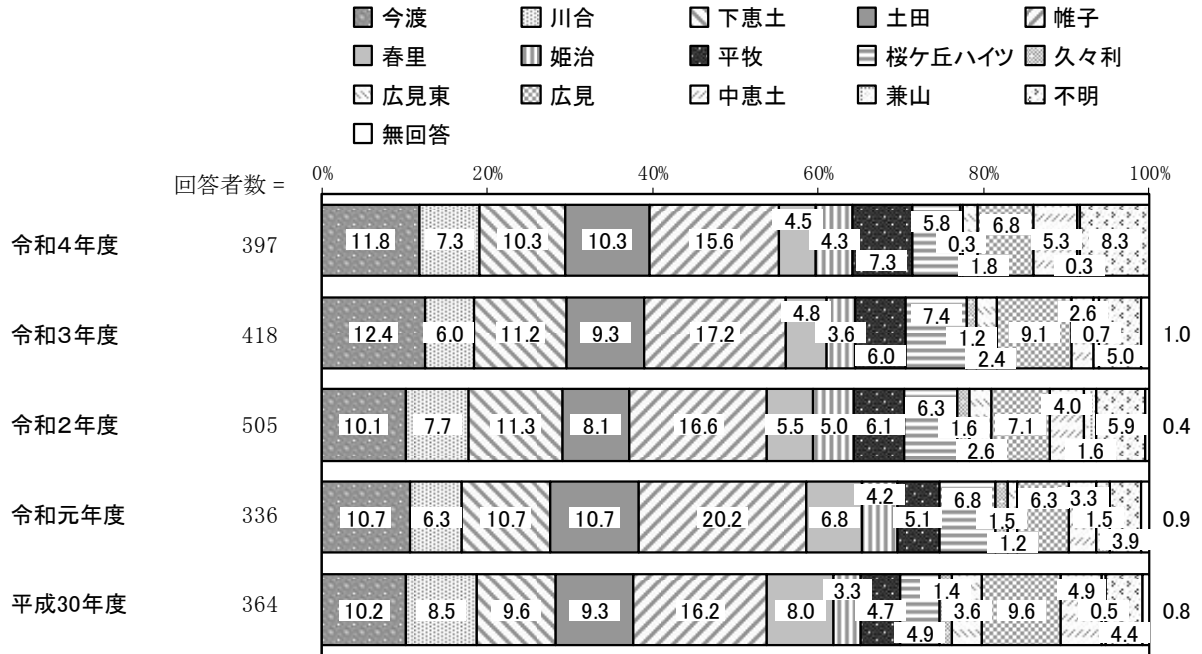
年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「正社員・正職員」の割合が、30歳代で「アルバイト・パート」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、10歳代で「学生」の割合が高く、9割近くとなっています。



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。（自治連合会単位）（○は1つだけ）

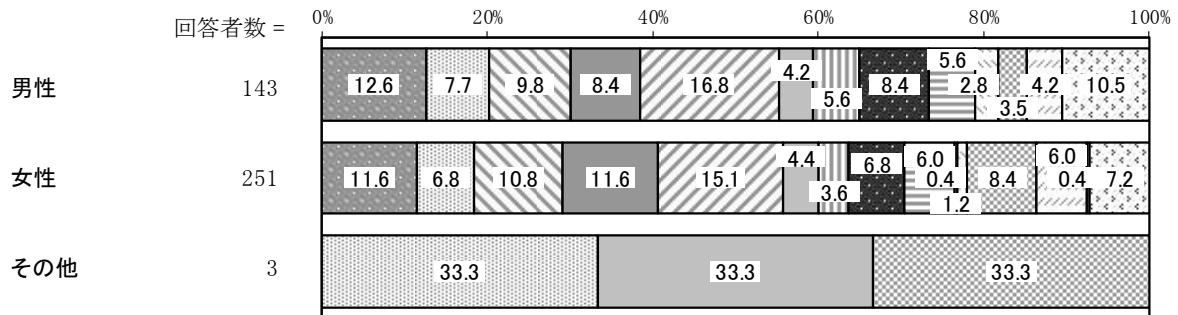
「帷子」の割合が15.6%と最も高く、次いで「今渡」の割合が11.8%、「下恵土」「土田」の割合が10.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



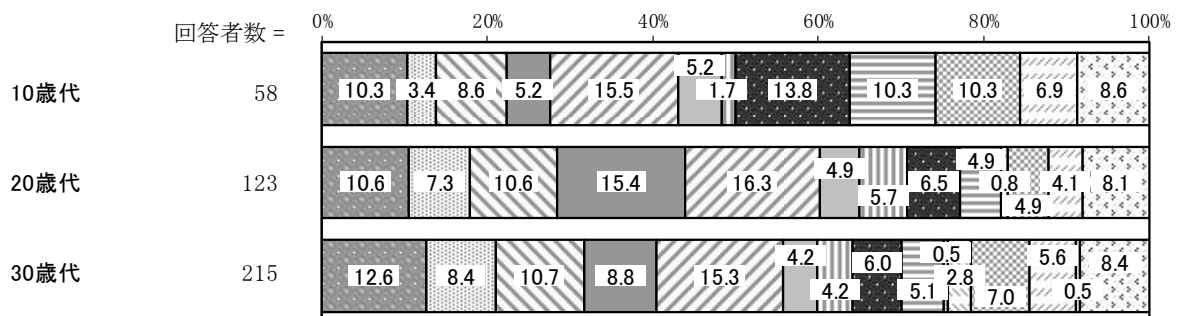
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



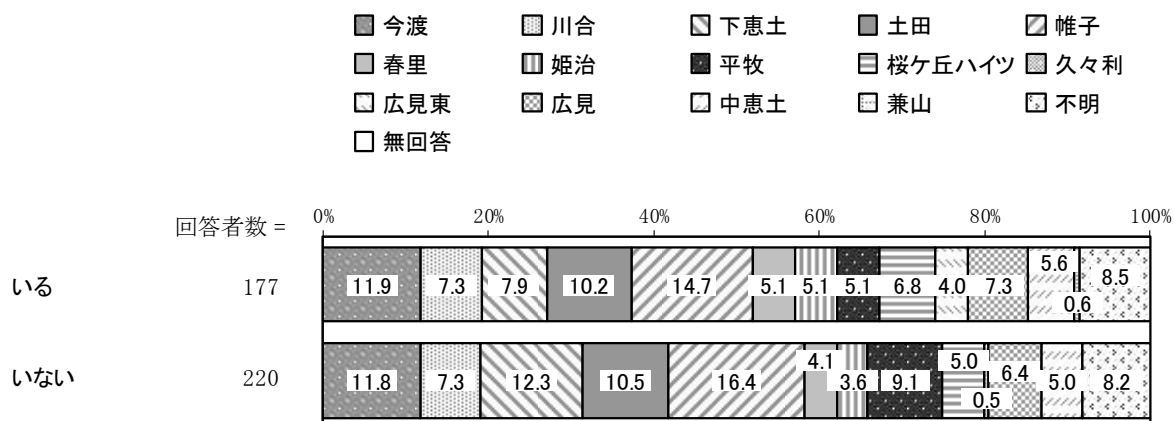
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「平牧」「桜が丘ハイツ」の割合が高くなっています。



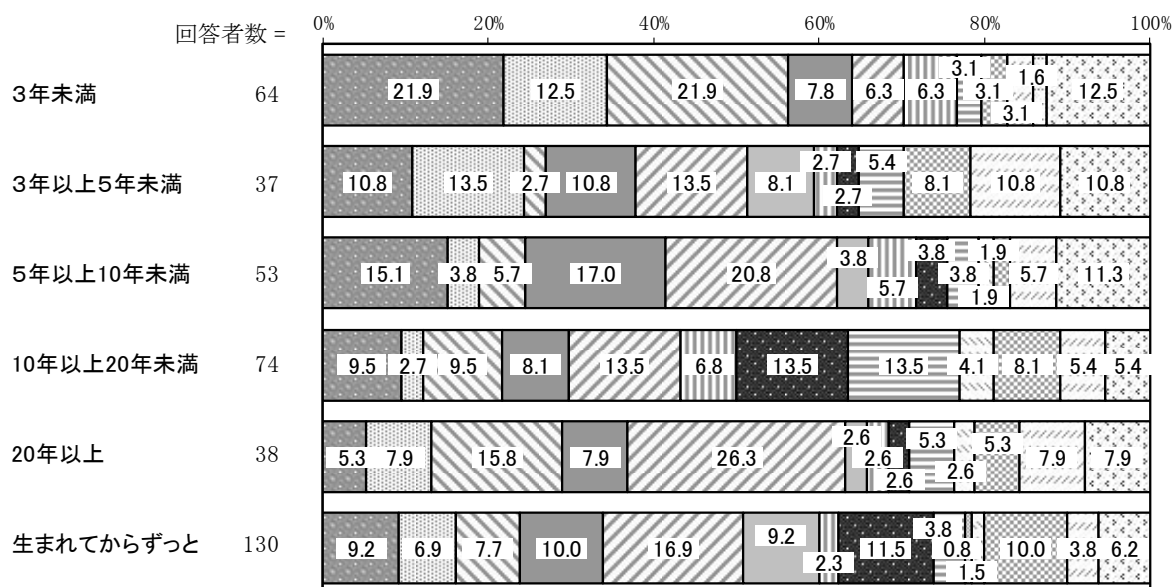
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



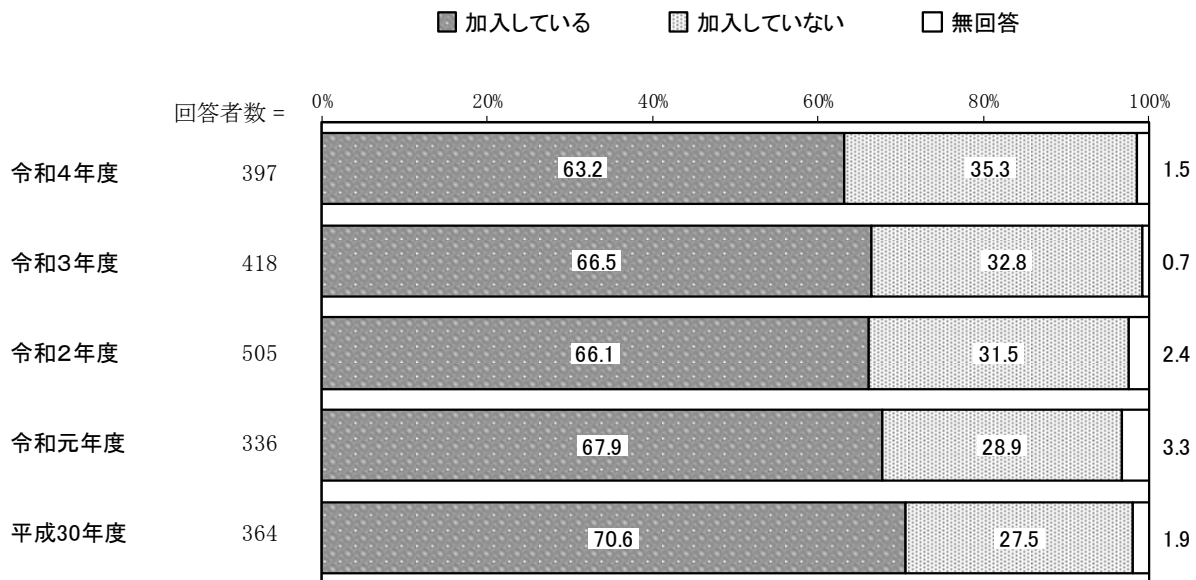
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「今渡」「下恵土」の割合が、5年以上10年未満で「帷子」の割合が高くなっています。また、20年以上で「帷子」の割合が高く、2割半ばとなっています。



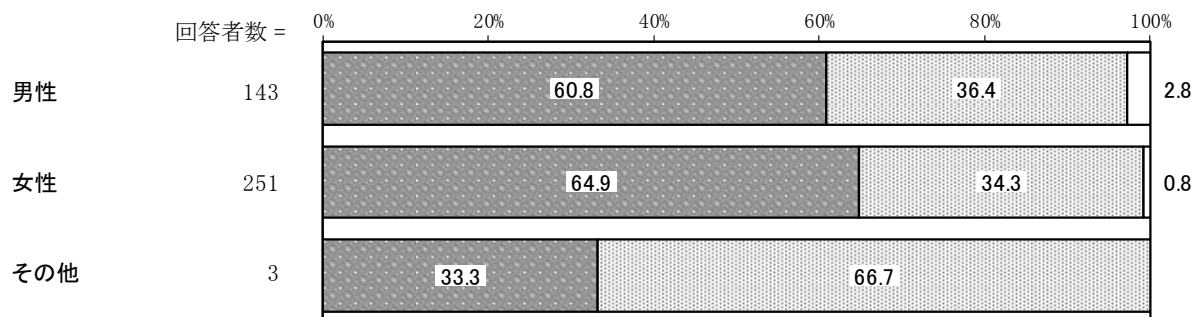
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(〇は1つだけ)

「加入している」の割合が63.2%、「加入していない」の割合が35.3%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、「加入していない」の割合が増加する傾向がみられます。



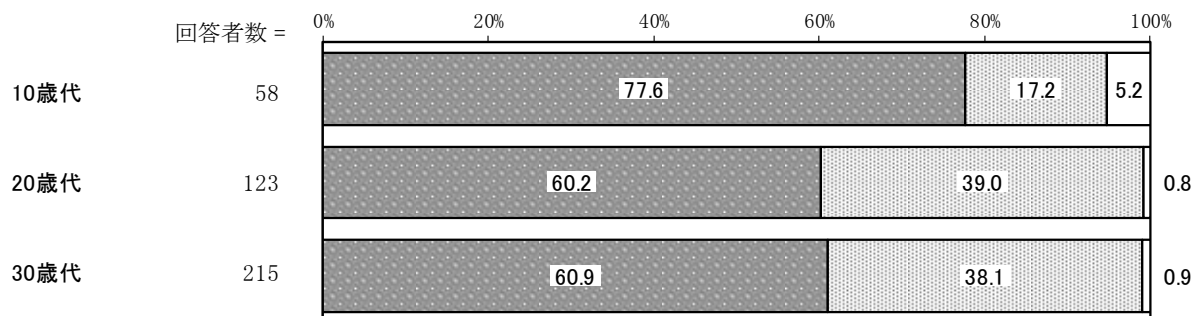
【性別】

性別でみると、他に比べ、大きな差異はみられません。



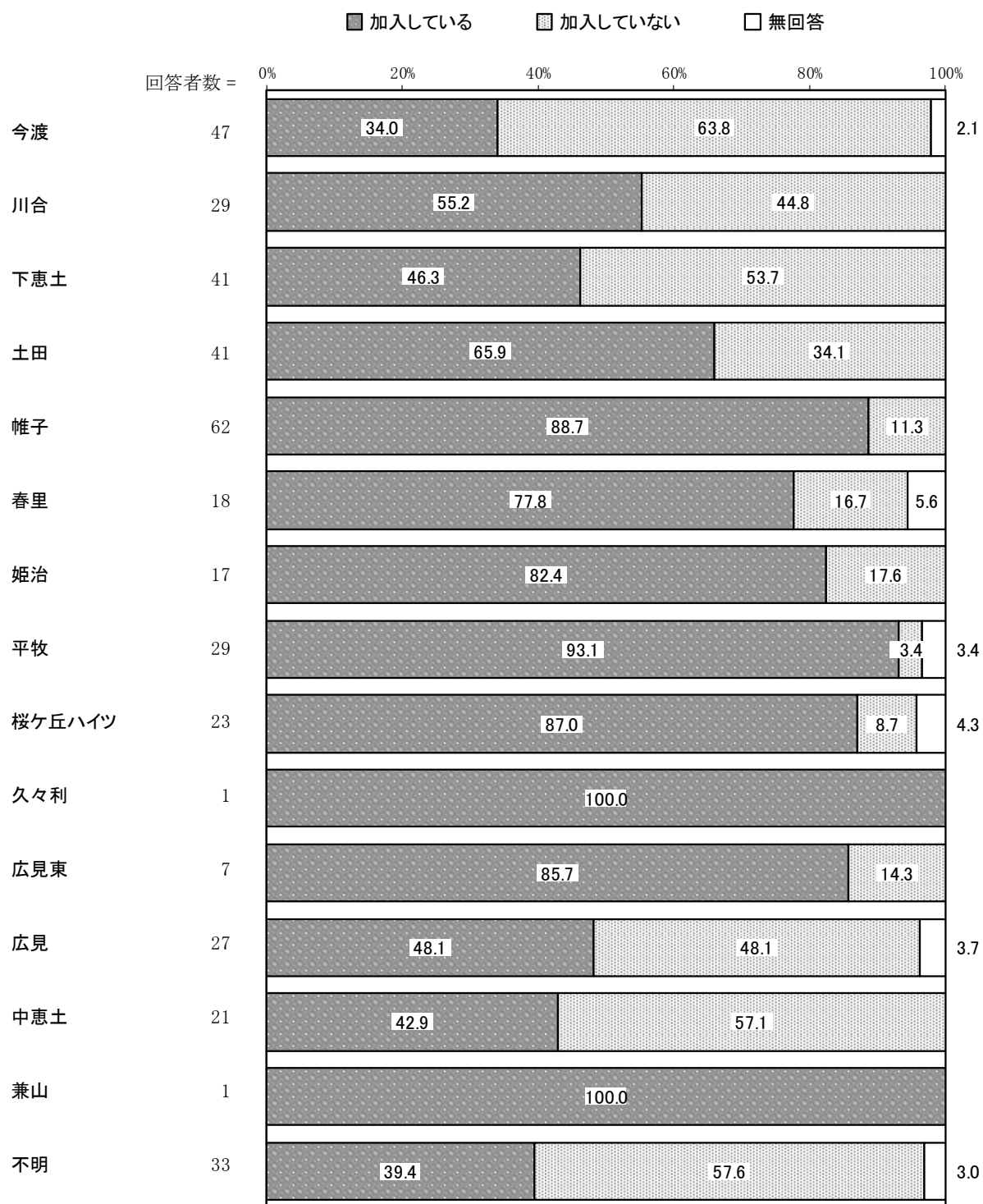
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「加入している」の割合が高く、8割近くとなっています。



【居住地区別】

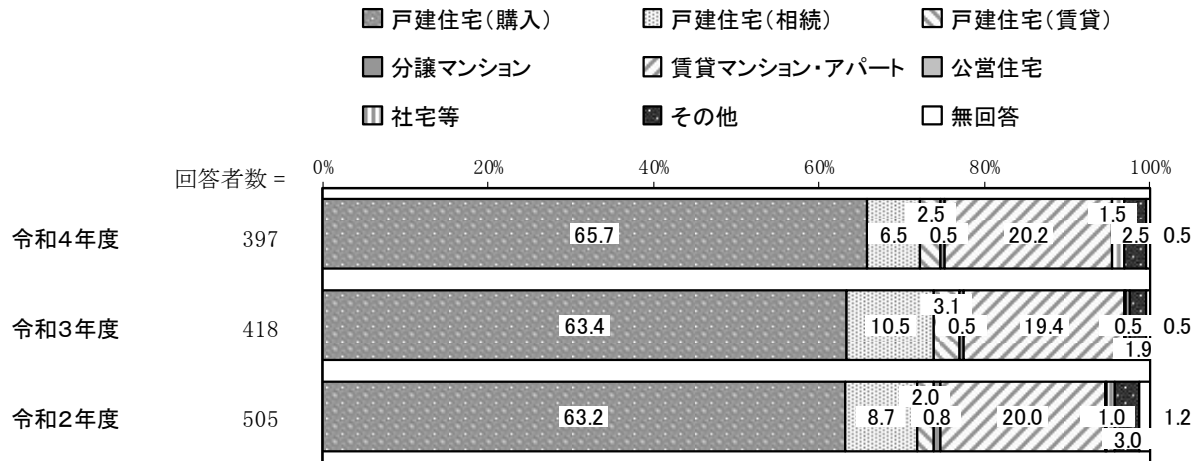
居住地区別でみると、他に比べ、帷子、平牧で「加入している」の割合が高くなっています。また、今渡で「加入していない」の割合が高く、6割を超えています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「戸建住宅（購入）」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が 20.2%となっています。

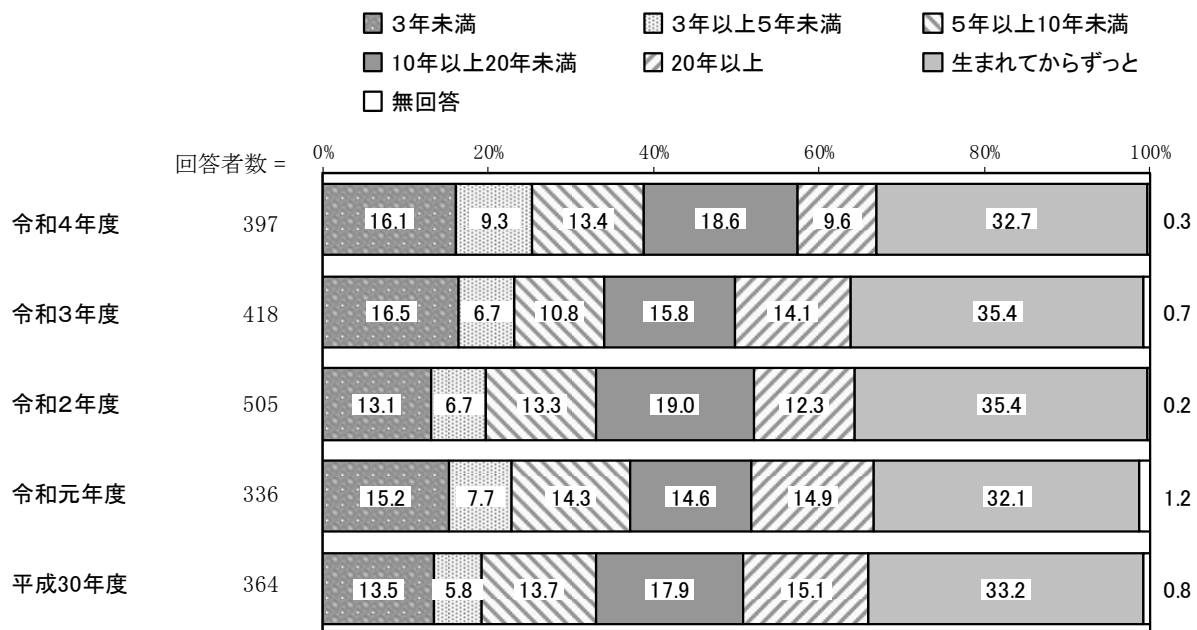
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(〇は1つだけ)

「生まれてからずっと」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が 18.6%、「3年未満」の割合が 16.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「20年以上」の割合が減少しています。



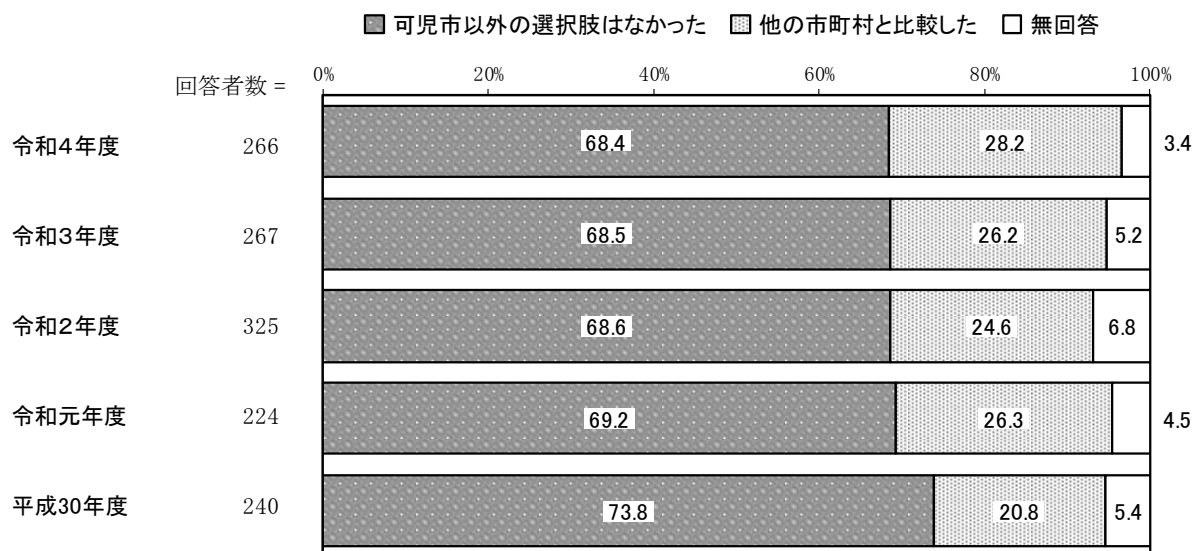
（２）可児市への居住理由について

【問８で１～５を選択された方に伺います】

問９ どのように可児市を転居先を選ばれましたか。（○は１つだけ）

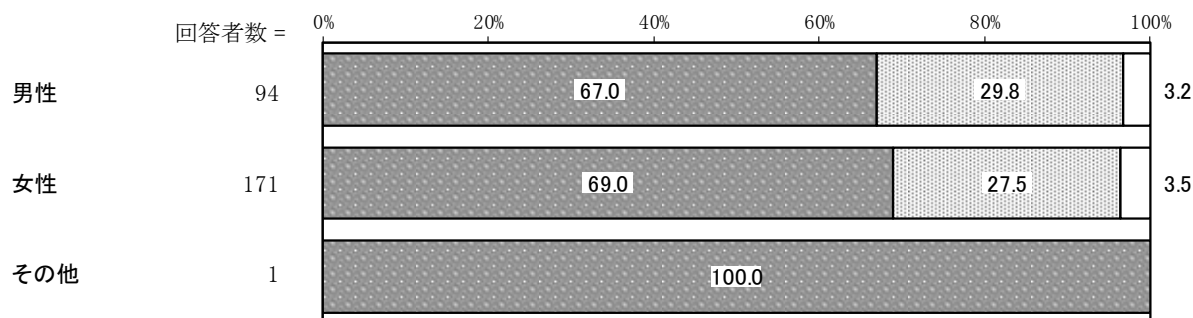
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が 68.4%、「他の市町村と比較した」の割合が 28.2% となっています。

令和３年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度以降「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が減少する傾向がみられます。



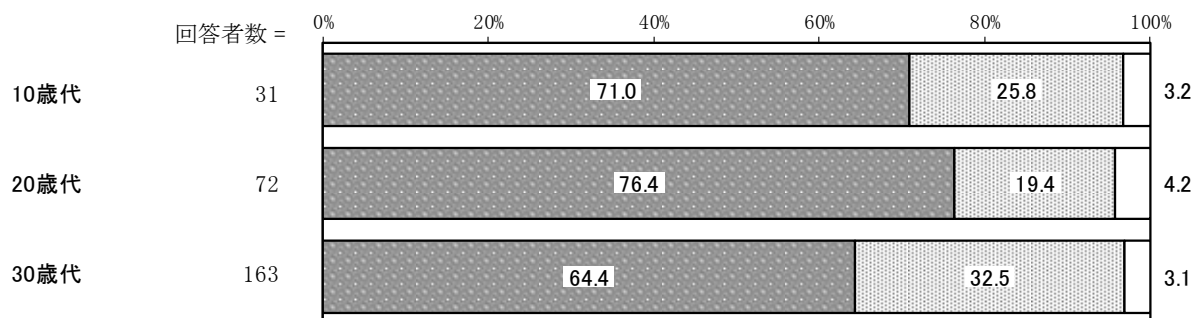
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で、「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、7 割半ばとなっています。また、30 歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、3 割を超えています。

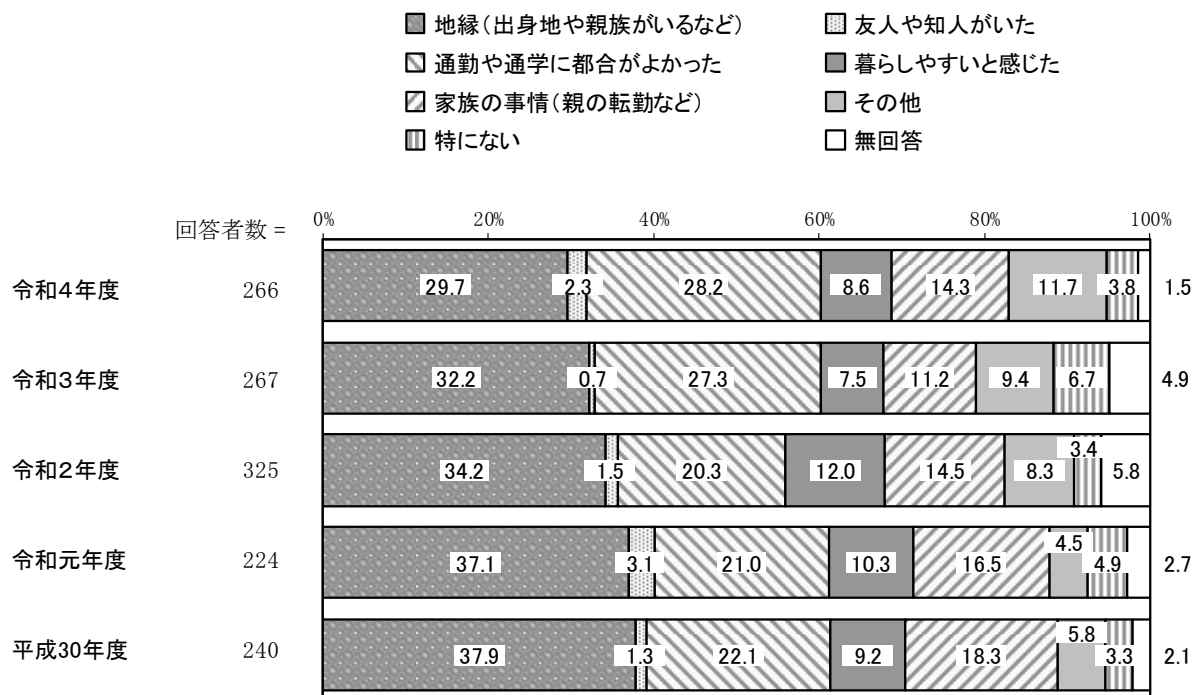


【問8で1～5を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

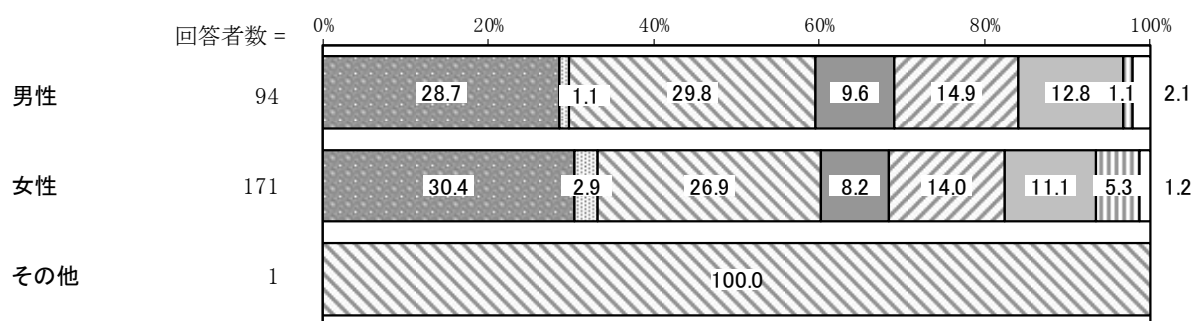
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が29.7%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が28.2%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が14.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が減少する傾向がみられます。



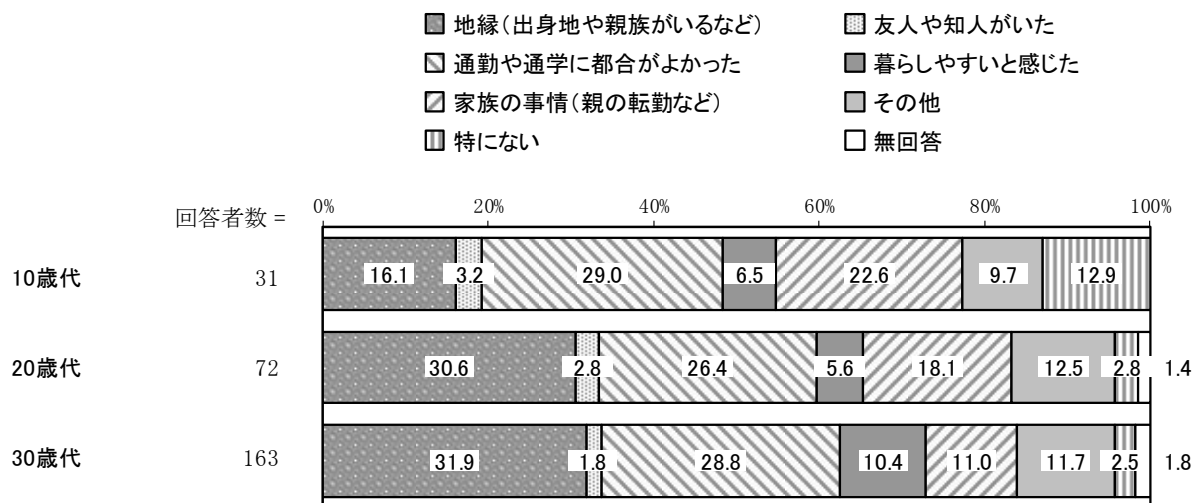
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



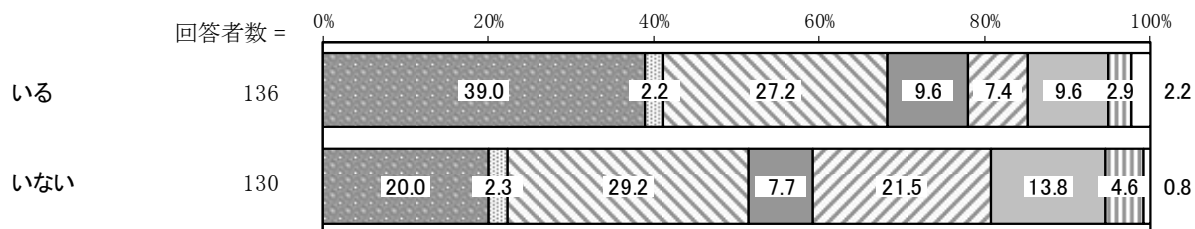
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「地縁（出身地や家族がいるなど）」の割合が高くなっています。また、10歳代で「特にない」の割合が高く、1割を超えています。



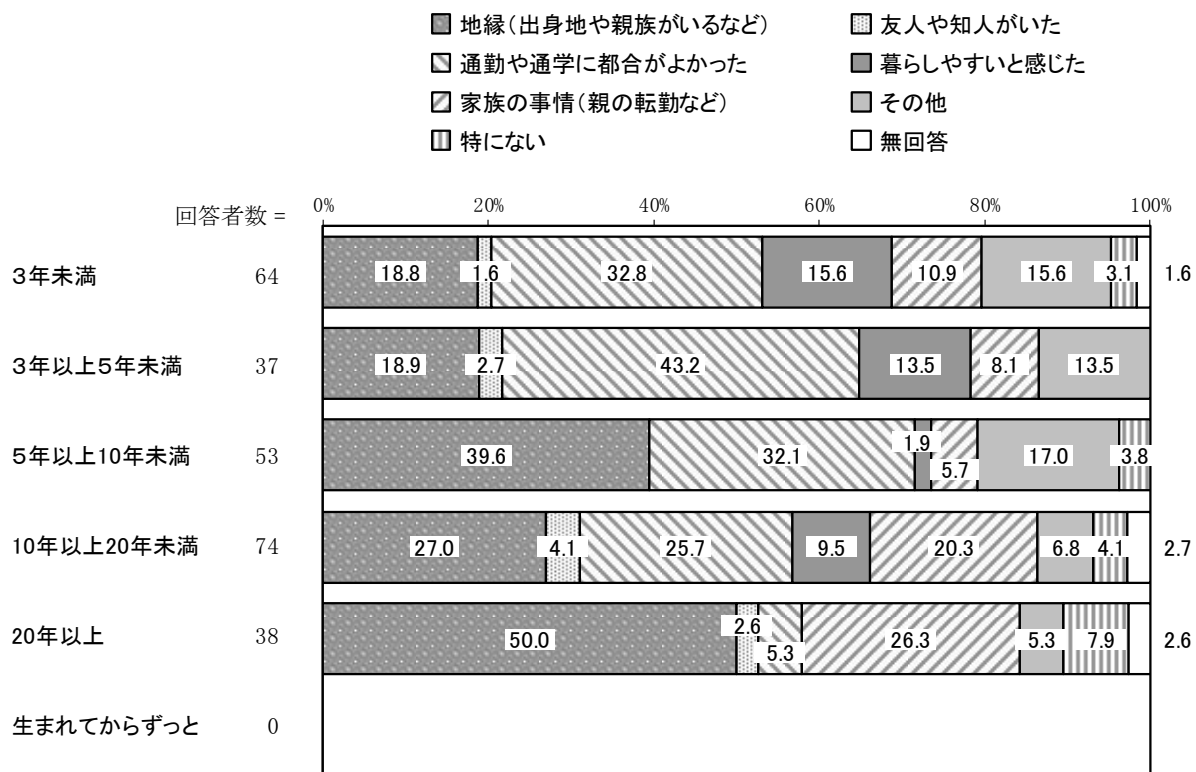
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁（出身地や家族がいるなど）」の割合が高く、約4割となっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、2割を超えています。



【居住年数別】

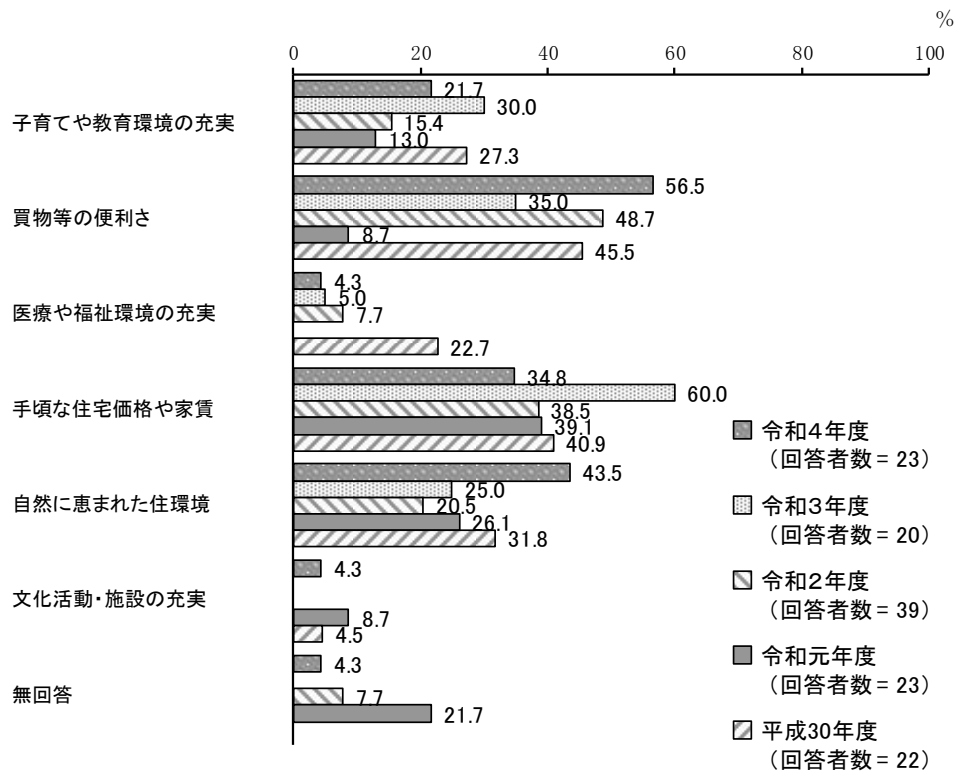
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で「地縁（出身地や家族がいるなど）」「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。また、3年以上5年未満で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、4割を超えています。



暮らしやすいと感じた理由

「買物等の便利さ」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「自然に恵まれた住環境」の割合が 43.5%、「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 34.8%となっています。

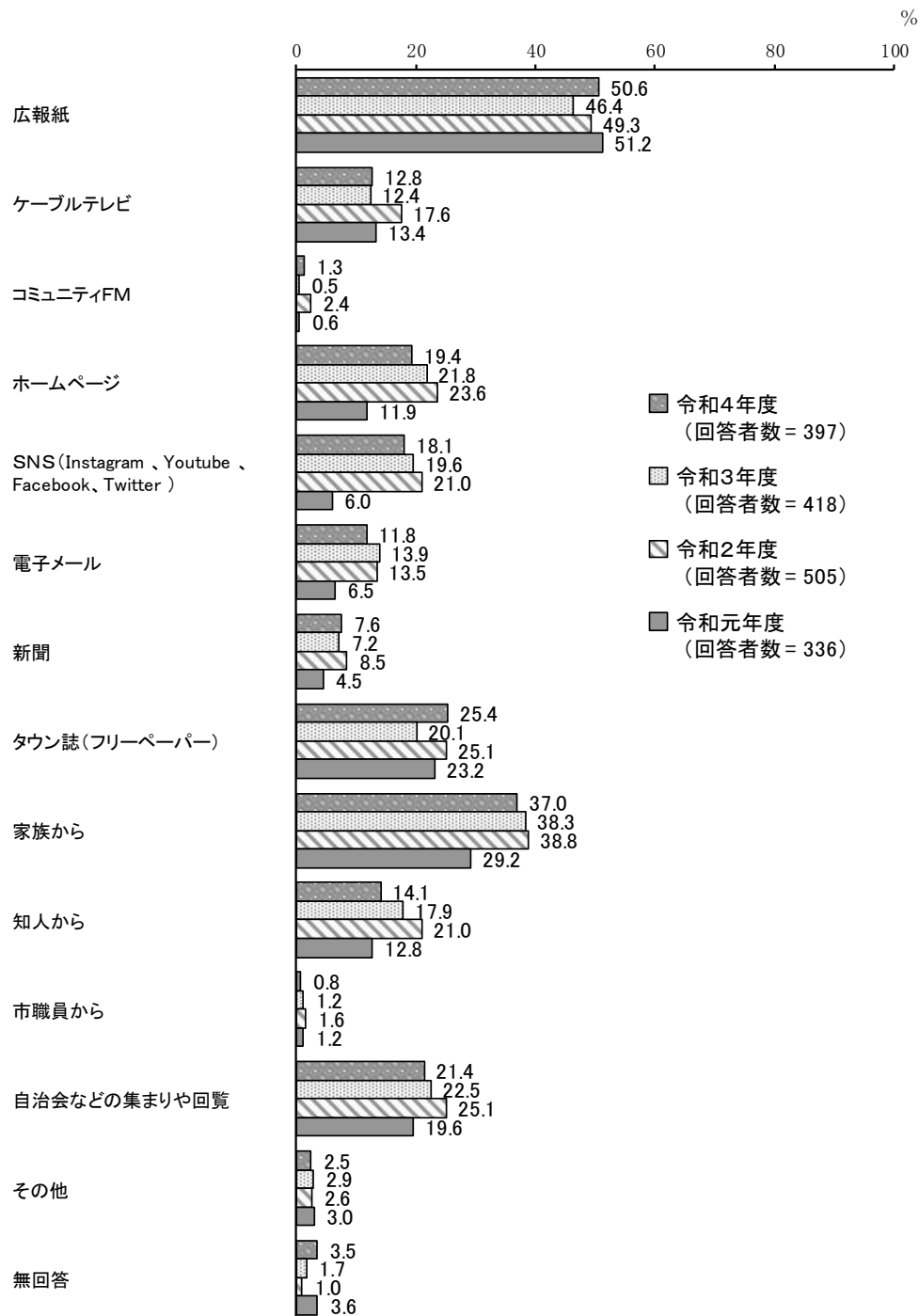
令和3年度以前の調査と比較すると、「買い物等の便利さ」「自然に恵まれた住環境」の割合が増加し、「手頃な住宅価格や家賃」「子育てや教育環境の充実」の割合が減少しています。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「家族から」の割合が 37.0%、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が 25.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が増加しています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「広報紙」「電子メール」「自治会などの集まりや回覧」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	143	48.3	16.1	—	18.2	15.4	6.3	7.7	22.4	37.8	11.2	—	16.8	4.2	3.5
女性	251	52.6	11.2	2.0	19.9	19.9	15.1	7.6	27.1	37.1	15.9	1.2	23.9	1.6	3.6
その他	3	—	—	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「広報紙」「電子メール」「タウン誌（フリーペーパー）」「自治会などの集まりや回覧」高くなっています。また、10歳代で「家族から」の割合が高く、6割半ばとなっています。

単位：％

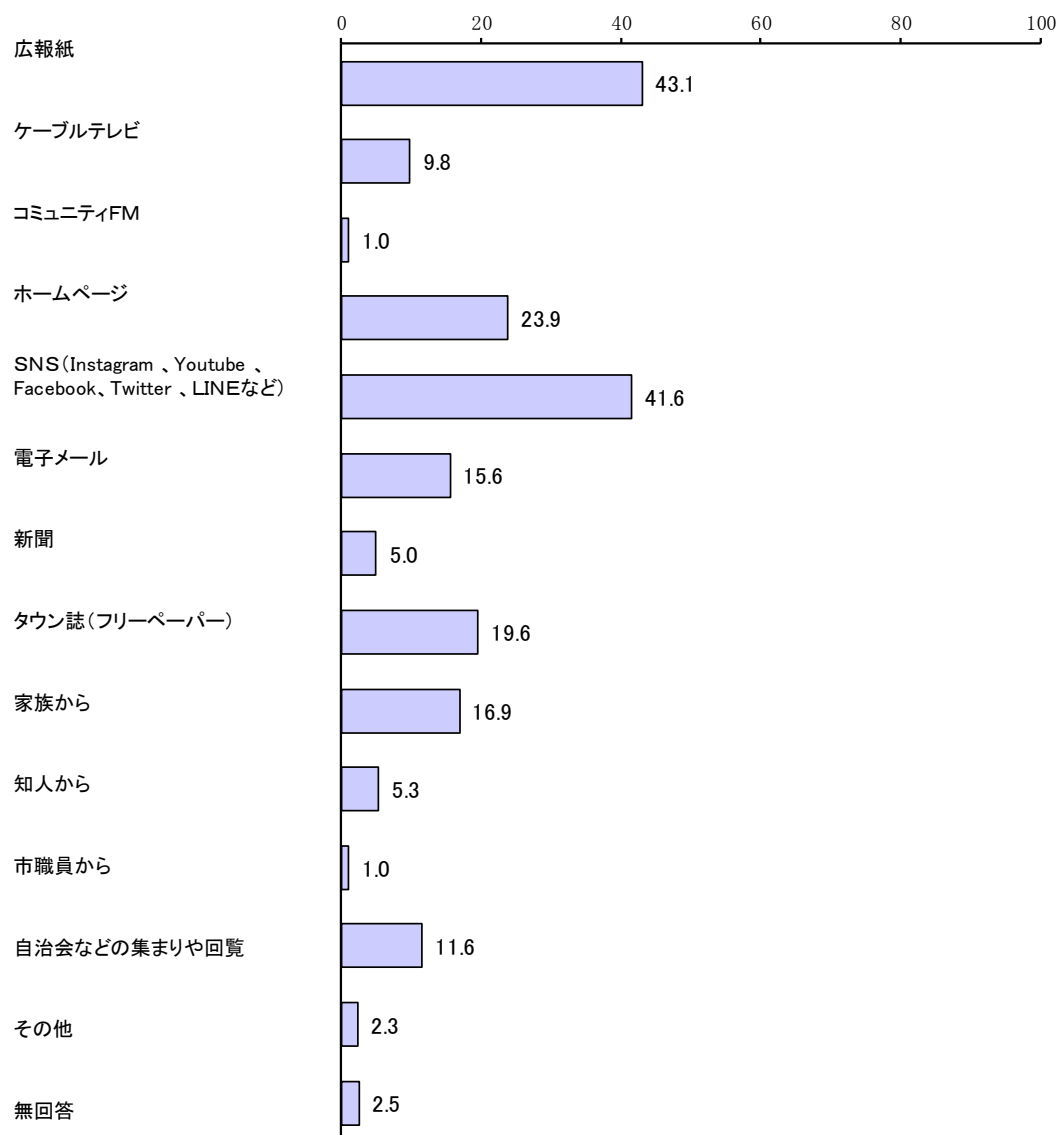
区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	58	37.9	13.8	—	12.1	19.0	5.2	12.1	8.6	65.5	13.8	—	15.5	1.7	1.7
20歳代	123	44.7	15.4	1.6	18.7	20.3	5.7	11.4	20.3	40.7	16.3	—	16.3	3.3	4.9
30歳代	215	57.2	10.7	1.4	21.9	16.3	17.2	4.2	32.6	27.4	13.0	1.4	25.6	2.3	3.3

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。（回答複数可）

「広報紙」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）」の割合が 41.6%、「ホームページ」の割合が 23.9%となっています。

回答者数 = 397

%



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ケーブルテレビ」「ホームページ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	S N S（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	143	40.6	16.1	0.7	26.6	40.6	15.4	7.7	17.5	17.5	3.5	1.4	9.8	4.9	2.1
女性	251	45.0	6.4	1.2	21.5	42.2	15.9	3.6	21.1	16.7	6.4	0.8	12.7	0.8	2.8
その他	3	—	—	—	100.0	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

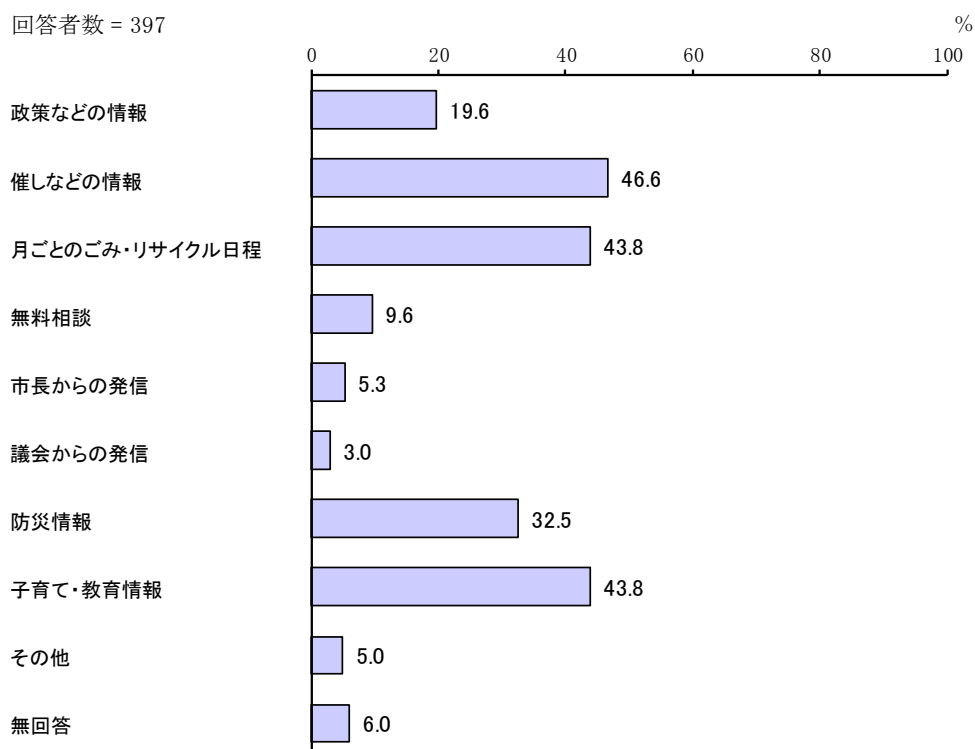
年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「広報紙」「電子メール」「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。また、20歳代で「SNS（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）」の割合が高く、5割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	S N S（Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	58	29.3	8.6	1.7	17.2	39.7	8.6	6.9	8.6	41.4	3.4	1.7	15.5	3.4	—
20歳代	123	37.4	9.8	0.8	24.4	48.8	13.0	8.1	17.1	18.7	6.5	—	6.5	4.9	3.3
30歳代	215	49.8	10.2	0.9	25.6	37.7	19.1	2.8	24.2	9.3	5.1	1.4	13.5	0.5	2.8

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

「催しなどの情報」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「月ごとのごみ・リサイクル日程」「子育て・教育情報」の割合が 43.8%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」の割合が高く、3割近くとなっています。また、男性に比べ、女性で「催しなどの情報」「子育て・教育情報」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
男性	143	28.7	40.6	42.0	8.4	5.6	4.2	32.9	35.0	4.9	5.6
女性	251	14.3	50.2	44.6	10.4	4.8	2.0	31.9	49.4	5.2	6.4
その他	3	33.3	33.3	66.7	—	33.3	33.3	66.7	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代で「月ごとのごみ・リサイクル日程」「防災情報」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。また、10 歳代で「政策などの情報」の割合が低く、1 割未満となっています。

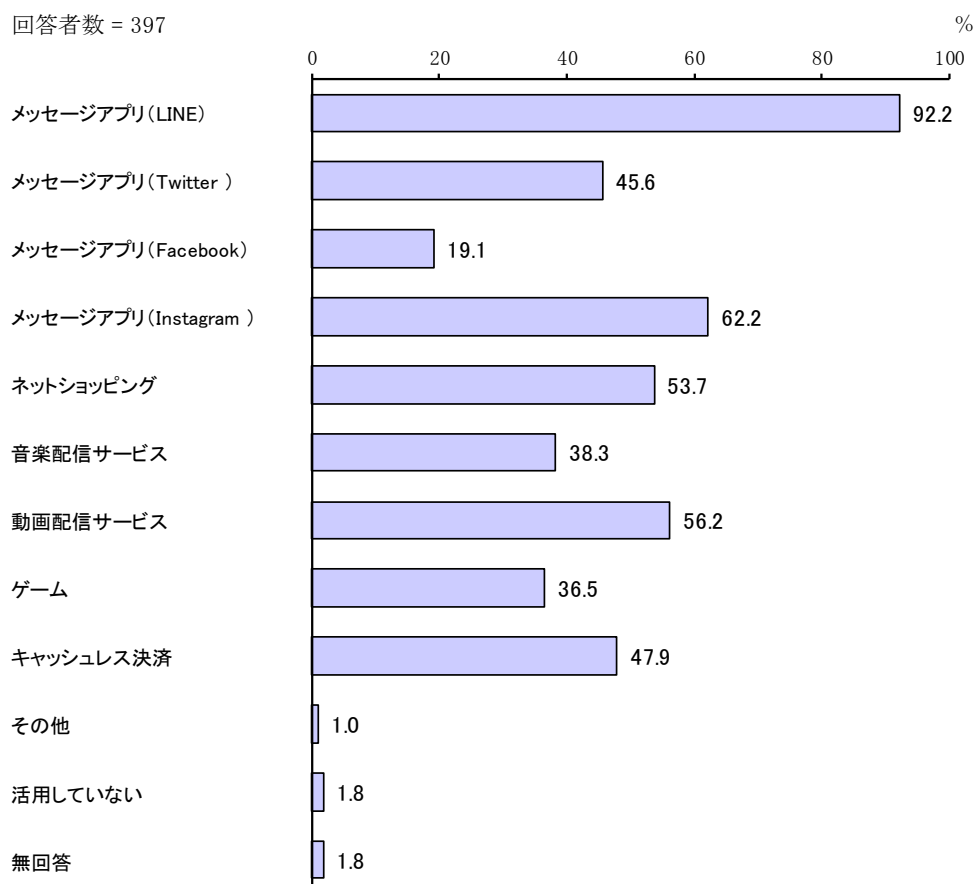
単位：％

区分	有効回答数 (件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・ リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・ 教育情報	その他	無回答
10 歳代	58	8.6	50.0	22.4	6.9	3.4	—	24.1	15.5	13.8	12.1
20 歳代	123	20.3	43.1	39.8	9.8	4.1	4.1	27.6	31.7	3.3	6.5
30 歳代	215	22.3	47.9	52.1	10.2	6.5	3.3	37.2	58.1	3.7	4.2

問 14 あなたは、どのようなデジタルサービスを活用していますか。(回答複数可)

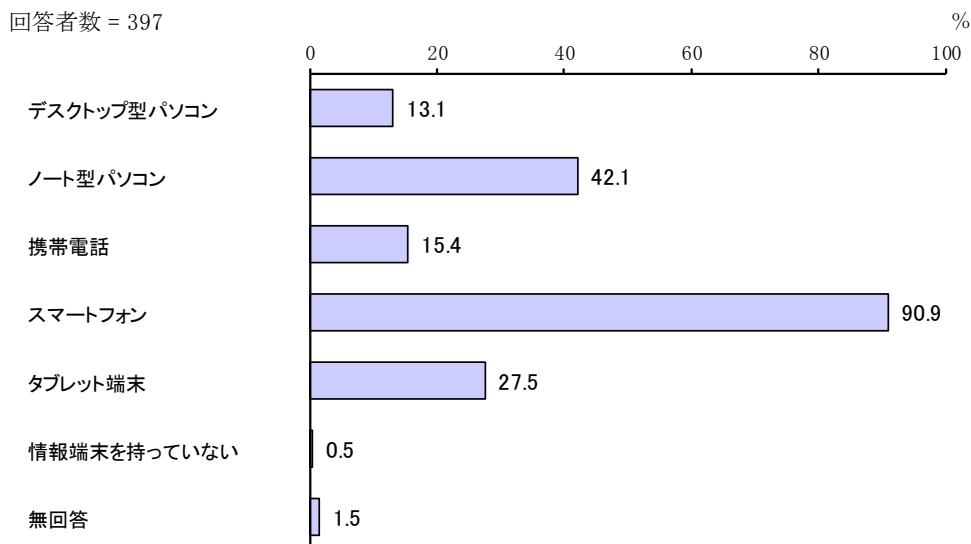
「メッセージアプリ (LINE)」の割合が 92.2％と最も高く、次いで「メッセージアプリ (Instagram)」の割合が 62.2％、「動画配信サービス」の割合が 56.2％となっています。

回答者数 = 397



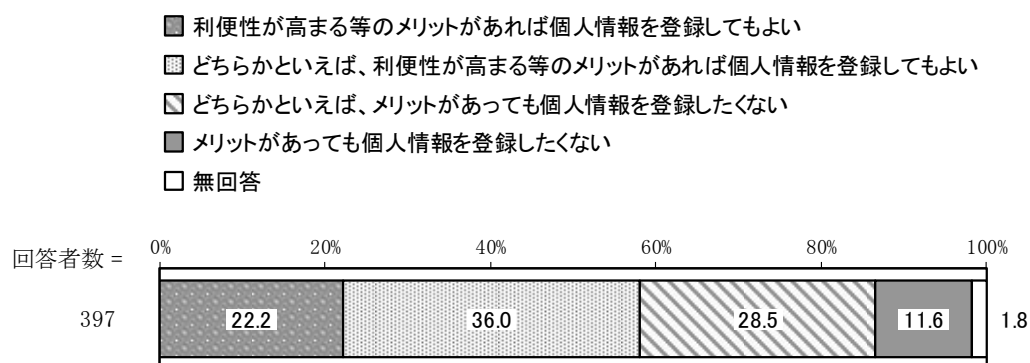
**問 15 あなたが自分で自由に使える情報端末はどのようなものがありますか。
(回答複数可)**

「スマートフォン」の割合が 90.9%と最も高く、次いで「ノート型パソコン」の割合が 42.1%、「タブレット端末」の割合が 27.5%となっています。



問 16 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

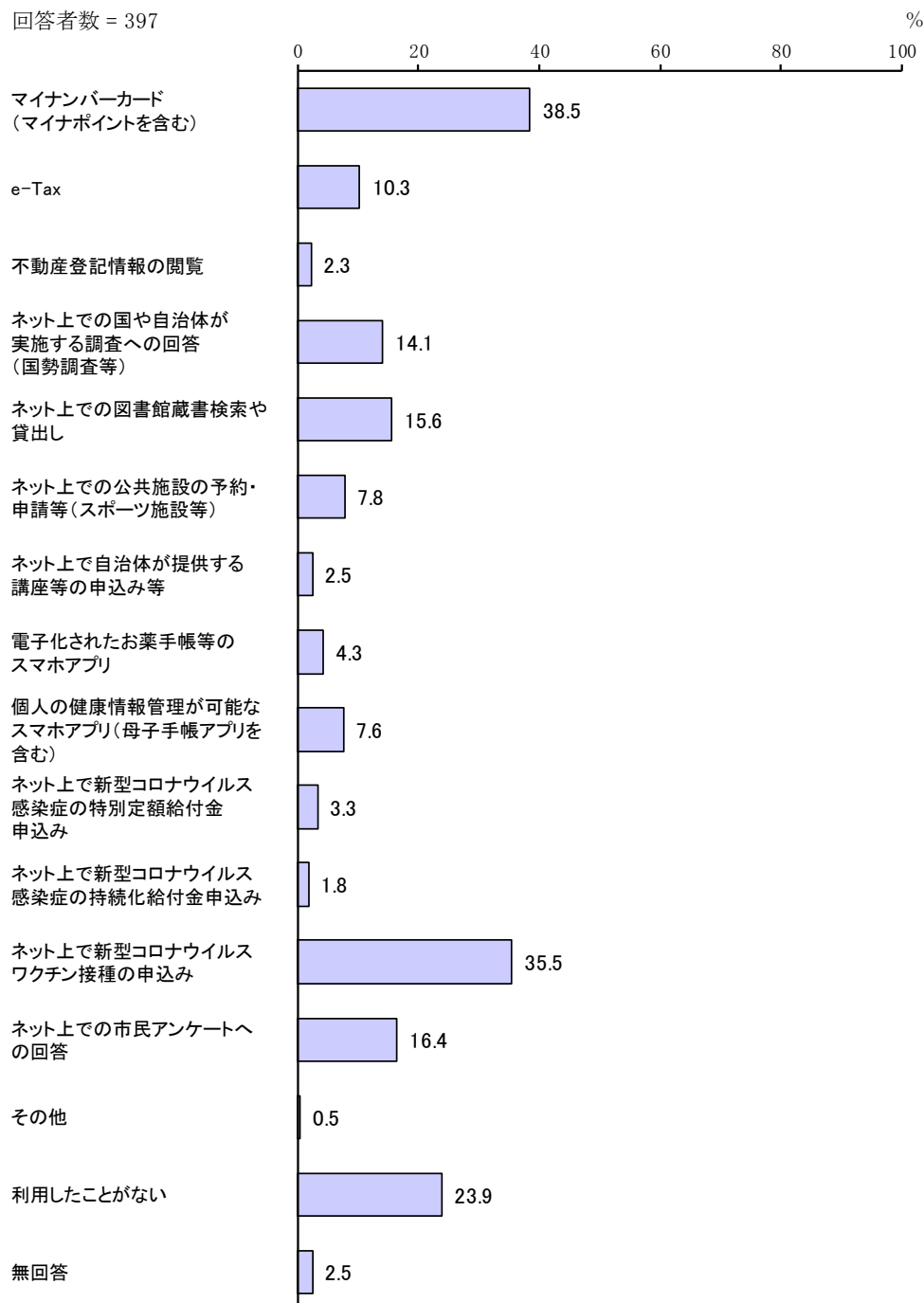
「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、メリットがあっても個人情報を登録したくない」の割合が 28.5%、「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」の割合が 22.2%となっています。



問 17 デジタル公共サービスで利用したことがあるものはどれですか。(回答複数可)

「マイナンバーカード（マイナポイントを含む）」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「ネット上で新型コロナウイルスワクチン接種の申込み」の割合が 35.5%、「利用したことがない」の割合が 23.9%となっています。

回答者数 = 397

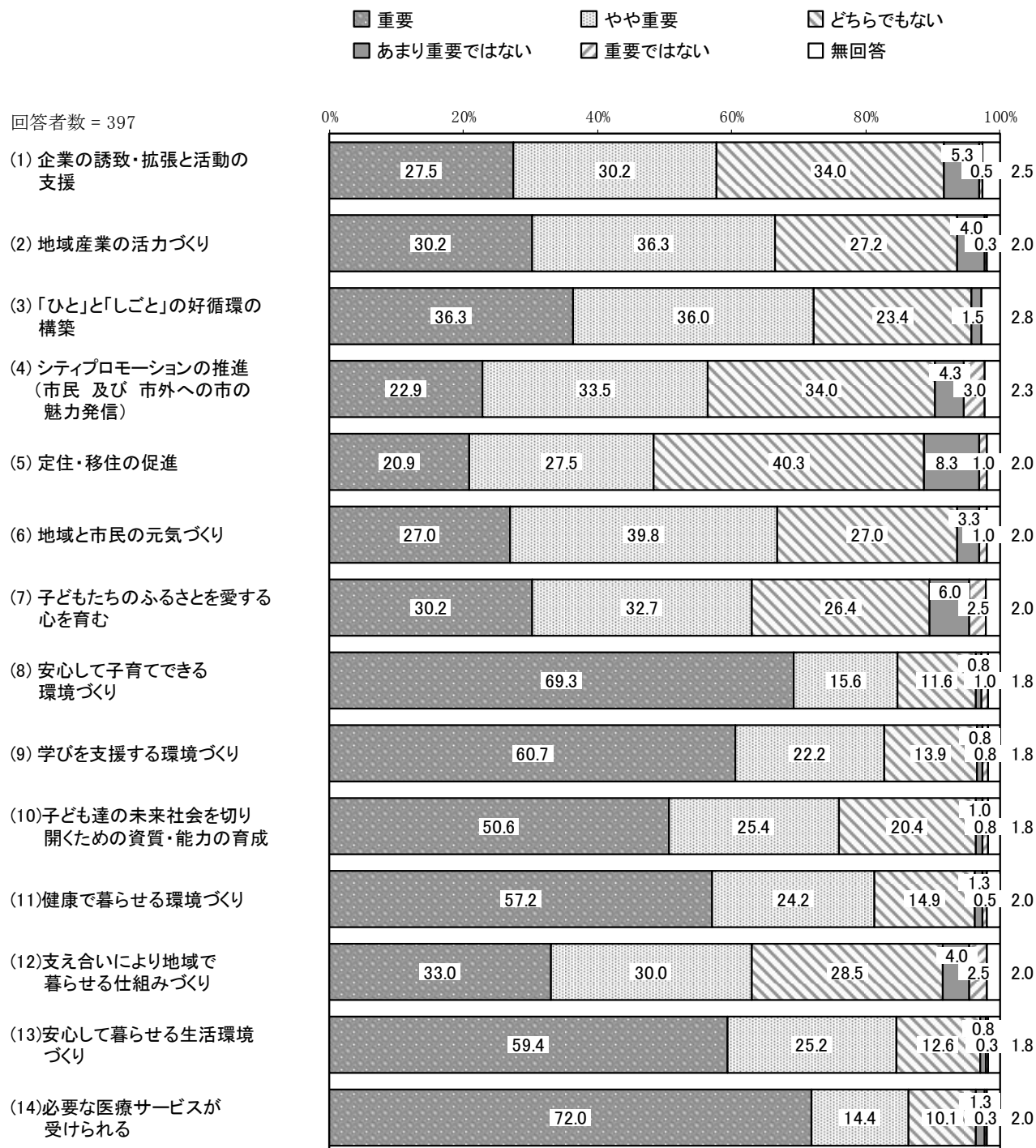


(3) 施策の重要度と満足度について

問 18 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。

①重要度

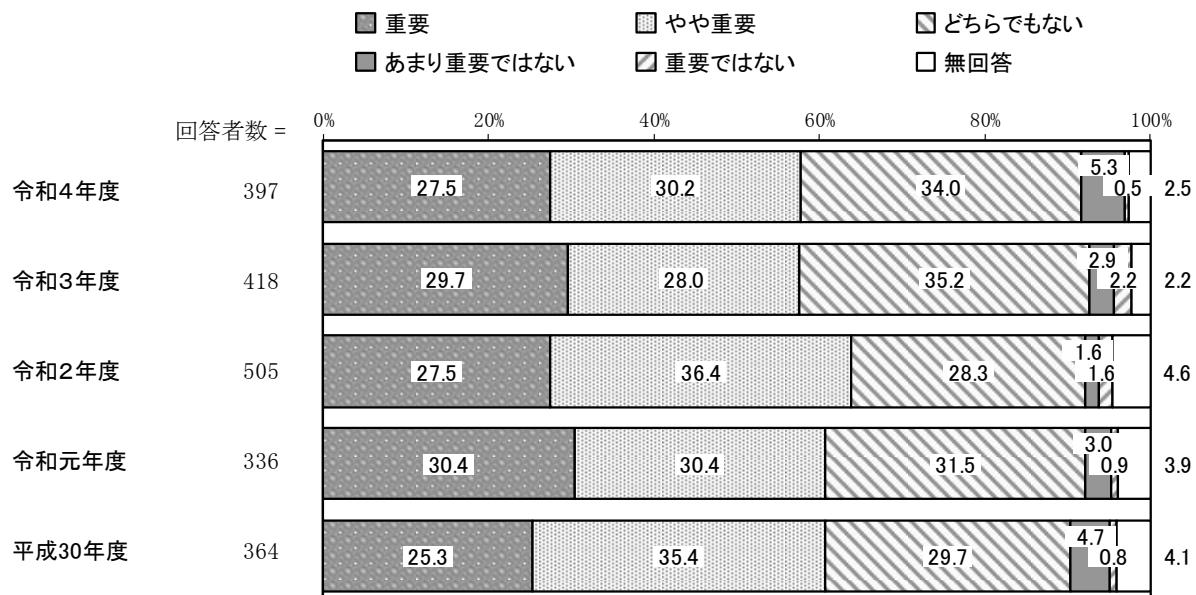
『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

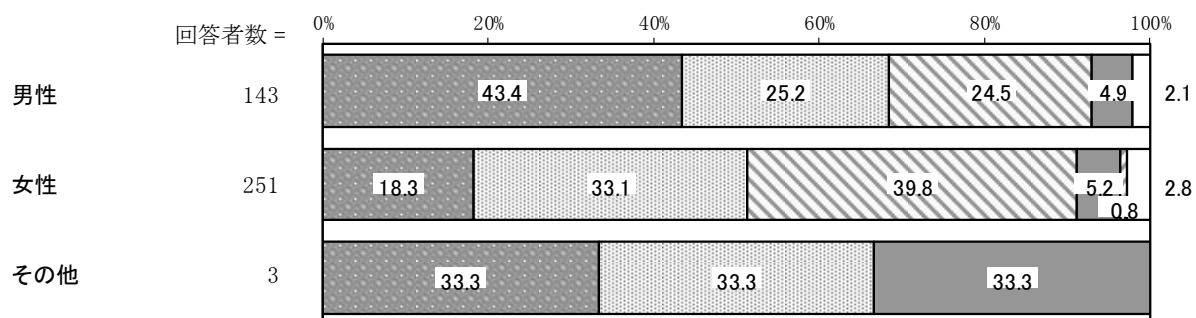
「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が57.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が34.0%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が5.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



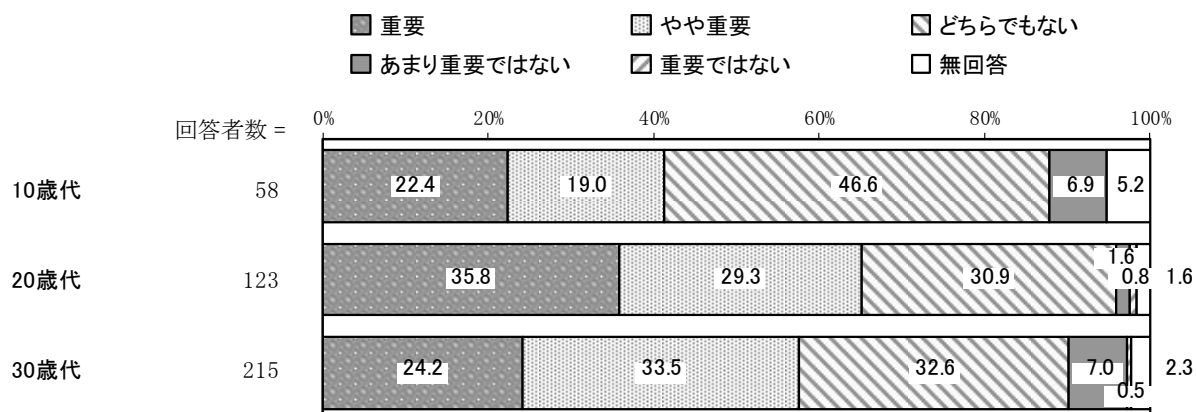
【性別】

性別でみると、女性と比べ、男性で“重要”の割合が高く、7割近くとなっています。



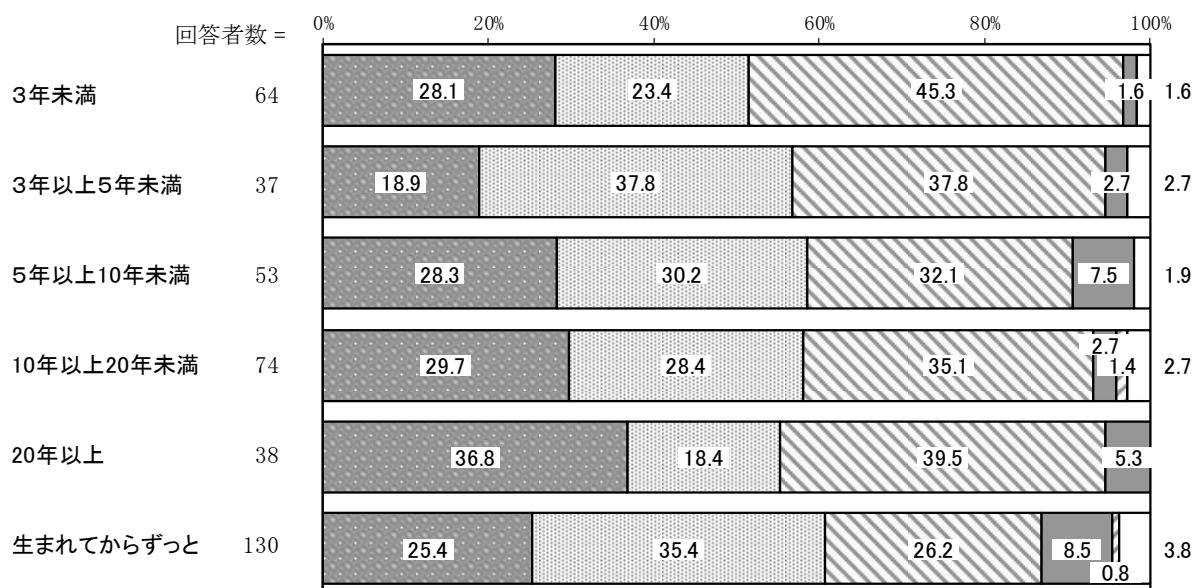
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“重要”の割合が高く、6 割半ばとなっています。



【居住年数別】

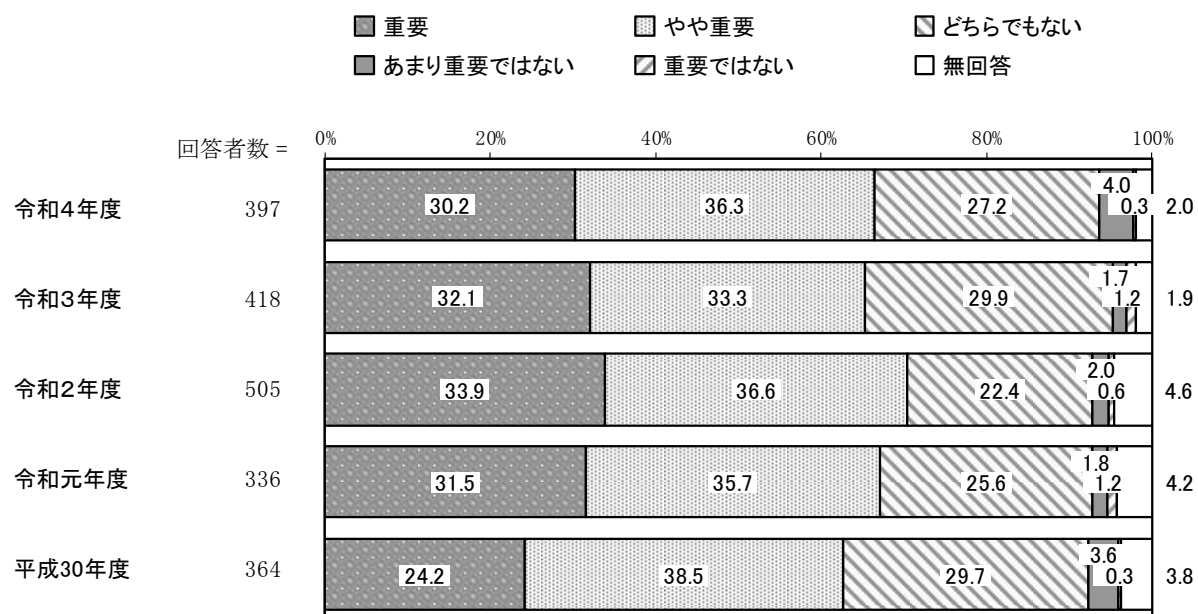
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約6割となっています。



(2) 地域産業の活力づくり

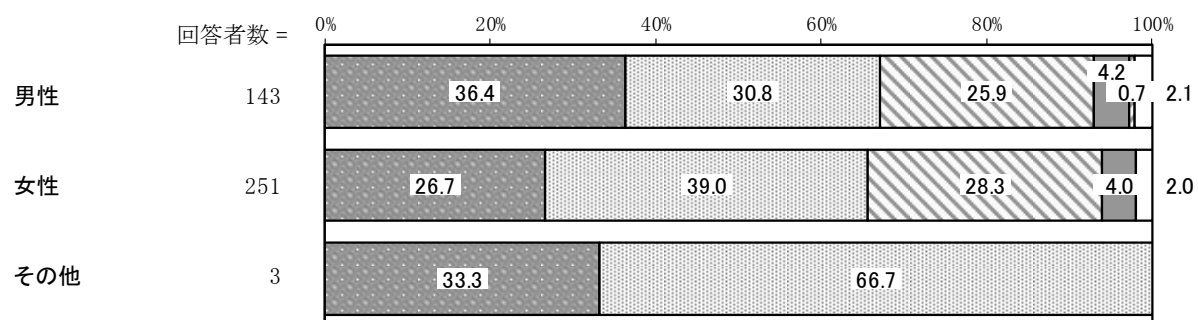
“重要”の割合が66.5%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が27.2%、“重要ではない”の割合が4.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



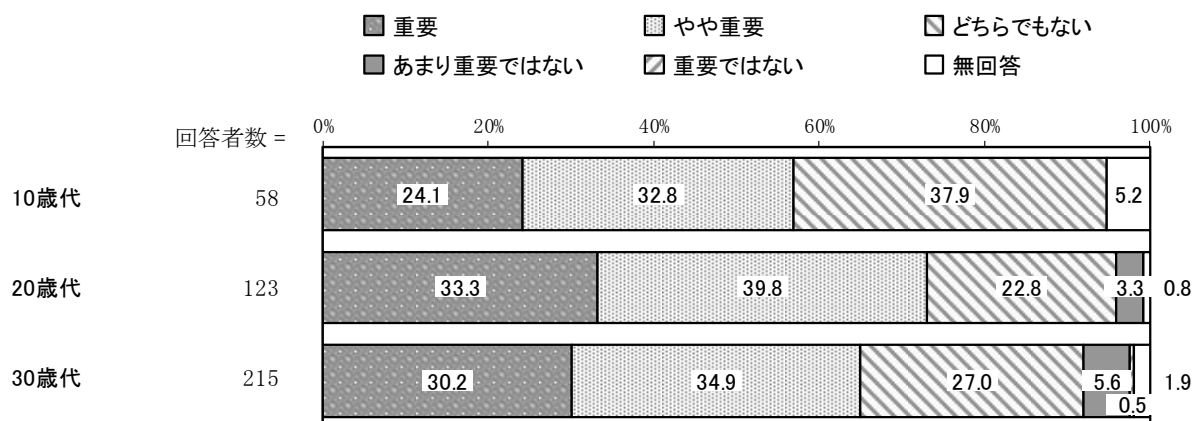
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



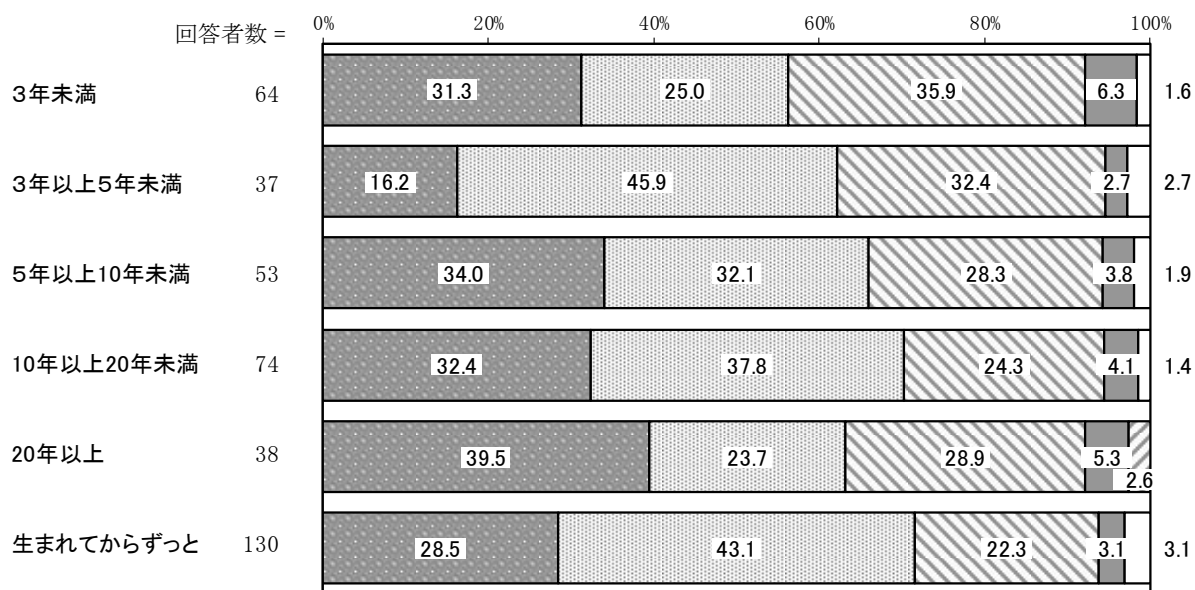
【年代別】

年代別でみると、20歳代で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



【居住年数別】

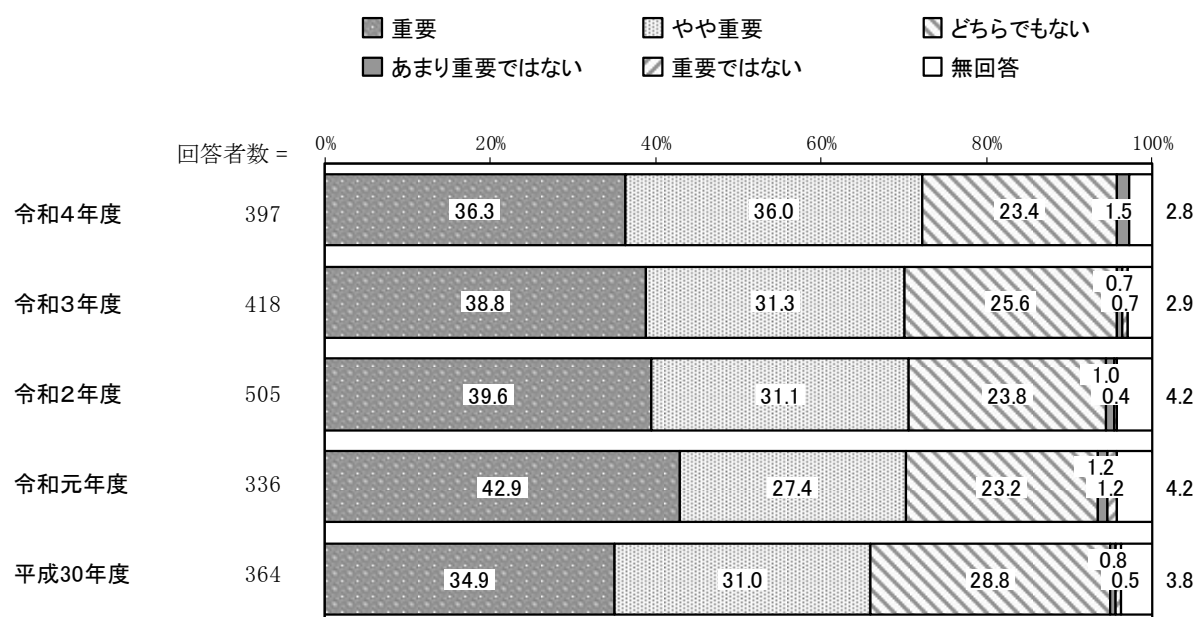
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、5割半ばとなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

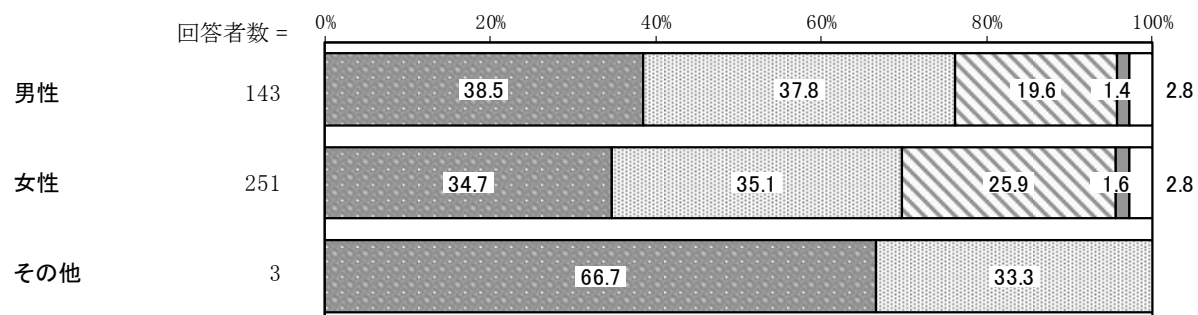
“重要”の割合が72.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が23.4%、“重要ではない”の割合が1.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



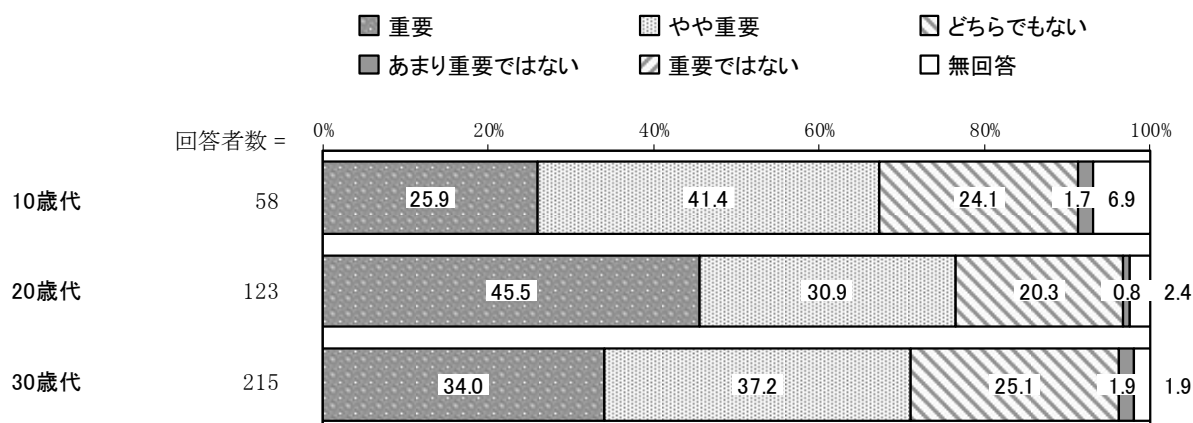
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



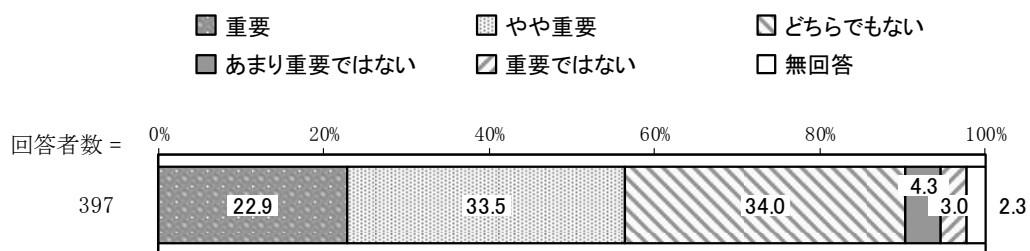
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



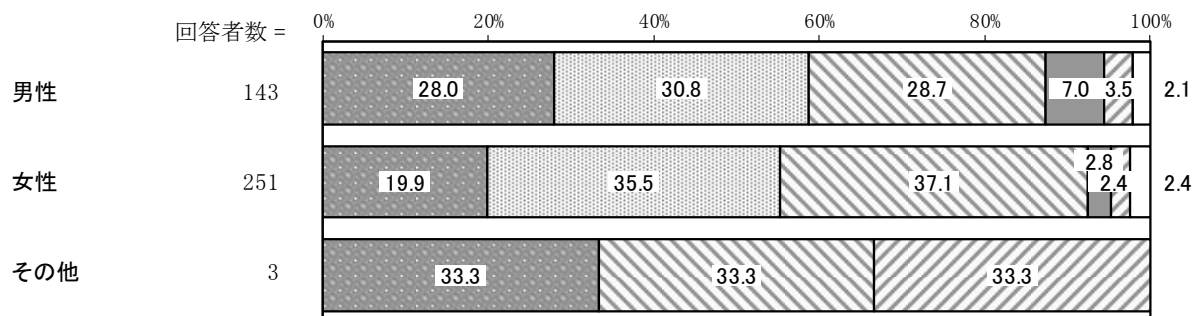
(4) シティプロモーションの推進（市民及び市外への市の魅力発信）

“重要”の割合が56.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が34.0%、“重要ではない”の割合が7.3%となっています。



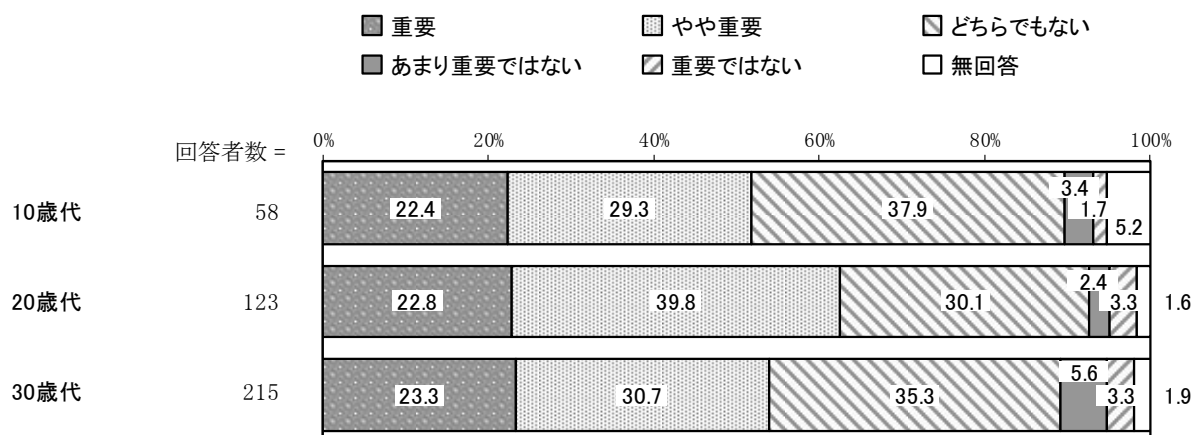
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



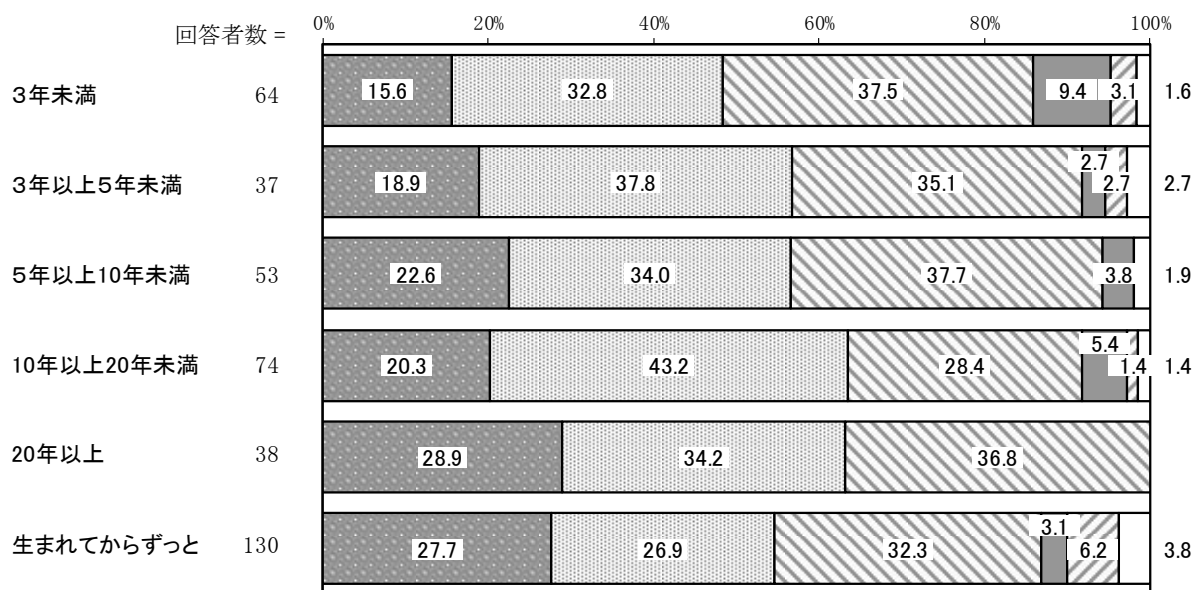
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く6割を超えています。



【居住年数別】

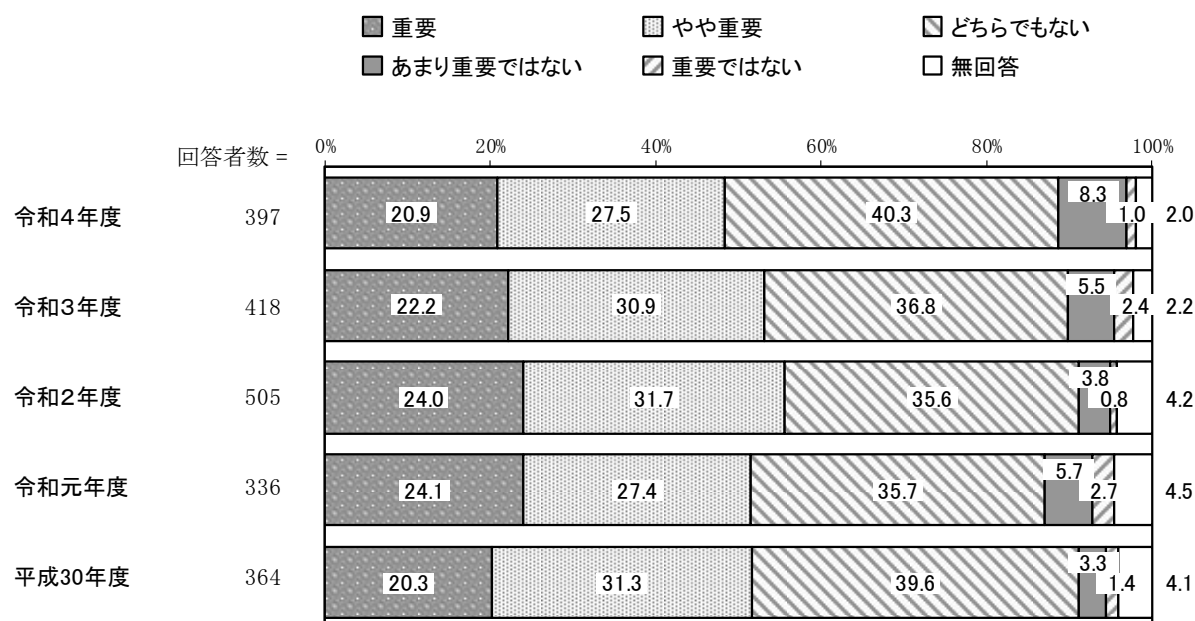
居住年数別でみると、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、6割を超えています。



(5) 定住・移住の促進

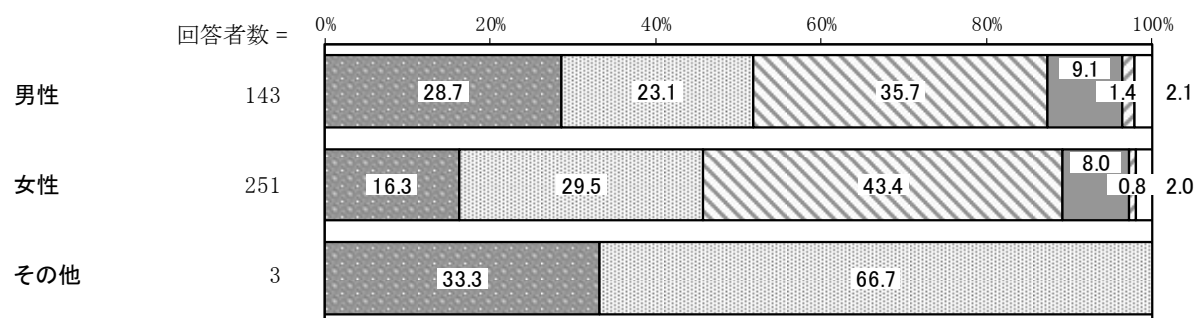
“重要”の割合が48.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が40.3%、“重要ではない”の割合が9.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



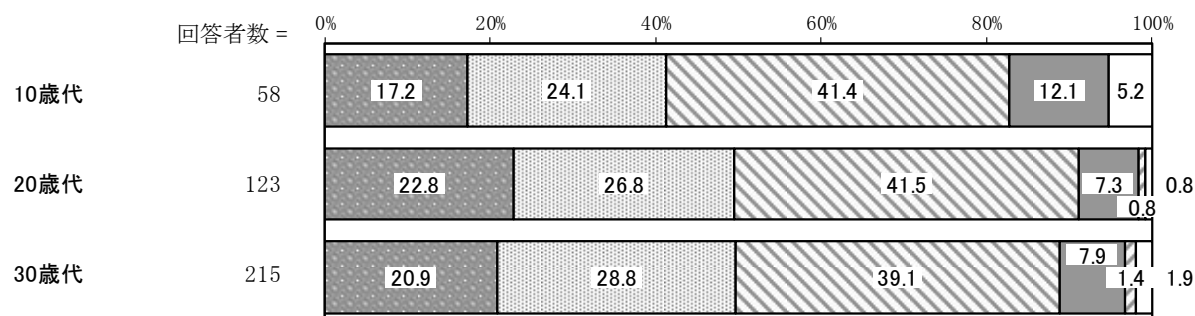
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、5割を超えています。



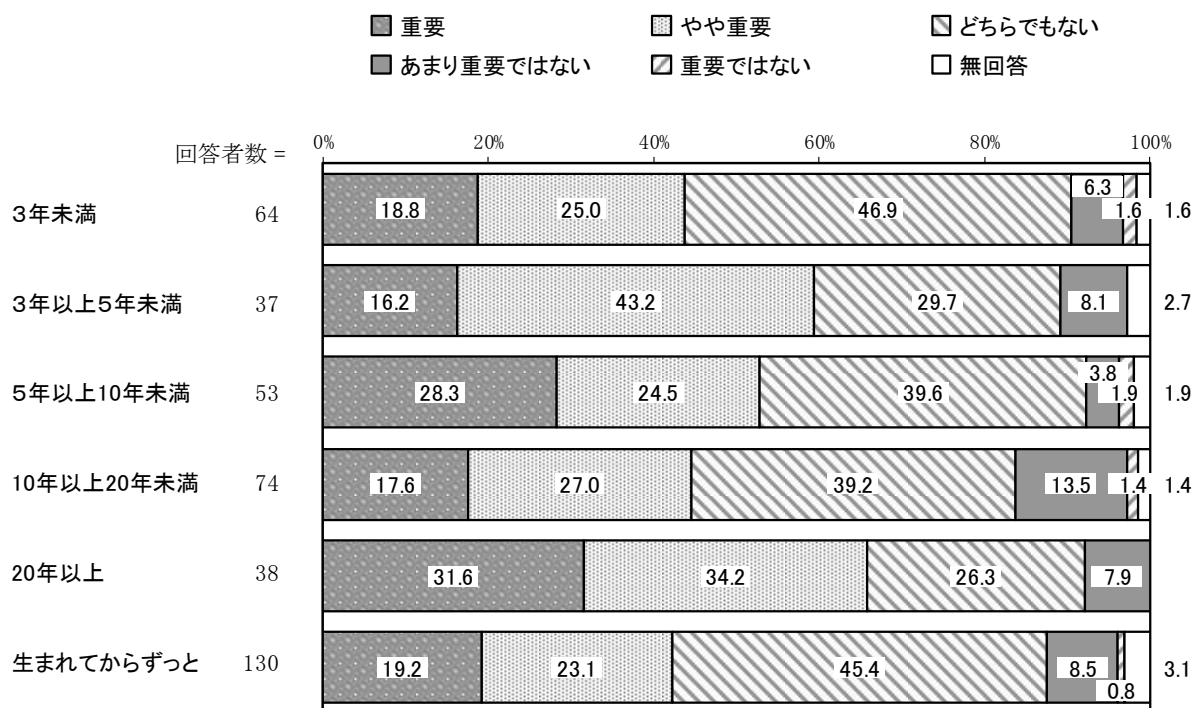
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



【居住年数別】

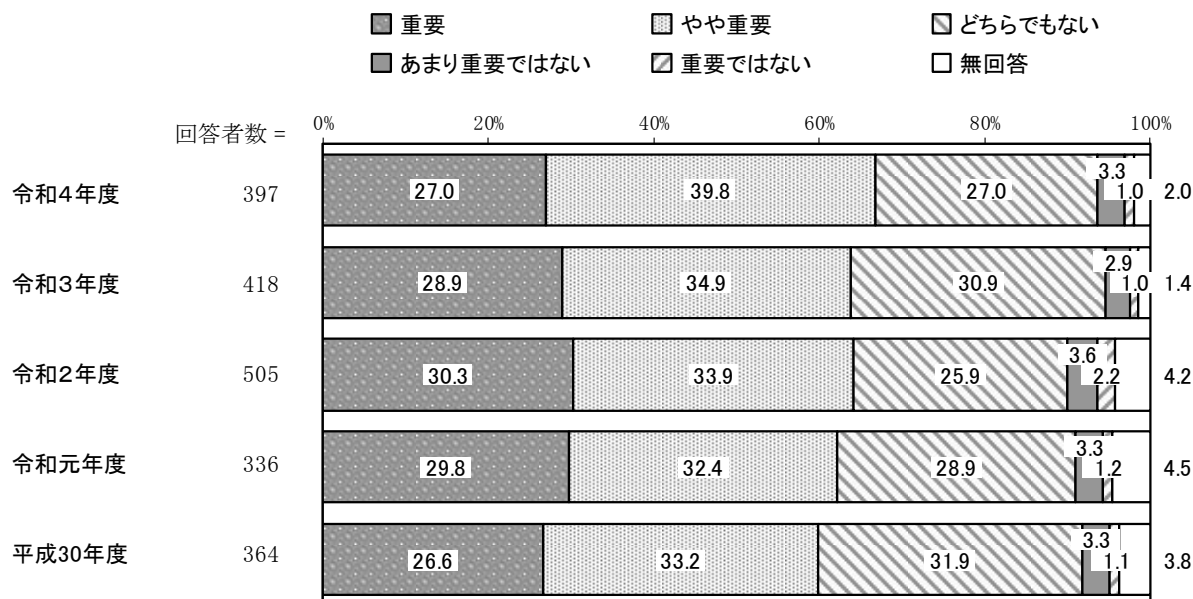
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で「重要ではない」「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が高く、1割半ばとなっています。また、20年以上で“重要”の割合が高く、6割半ばとなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

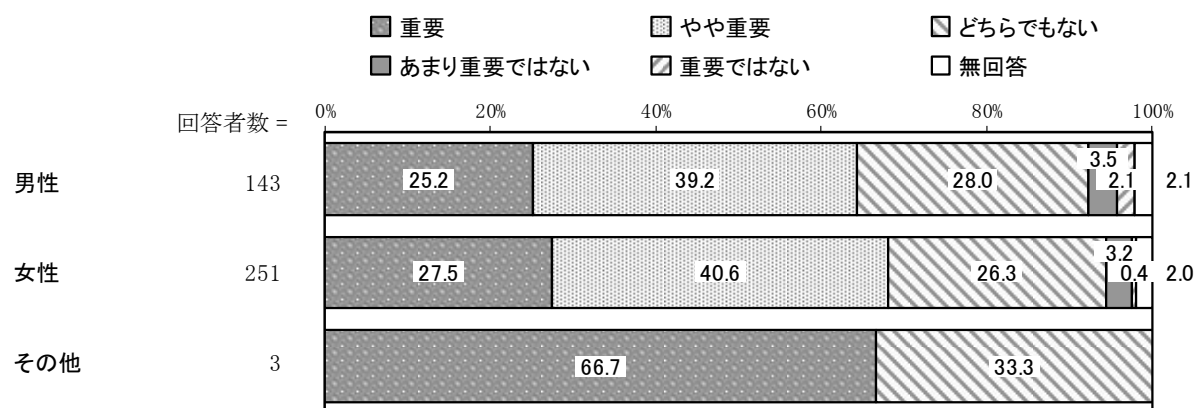
“重要”の割合が66.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が27.0%、“重要ではない”の割合が4.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“重要”の割合が増加する傾向がみられます。



【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



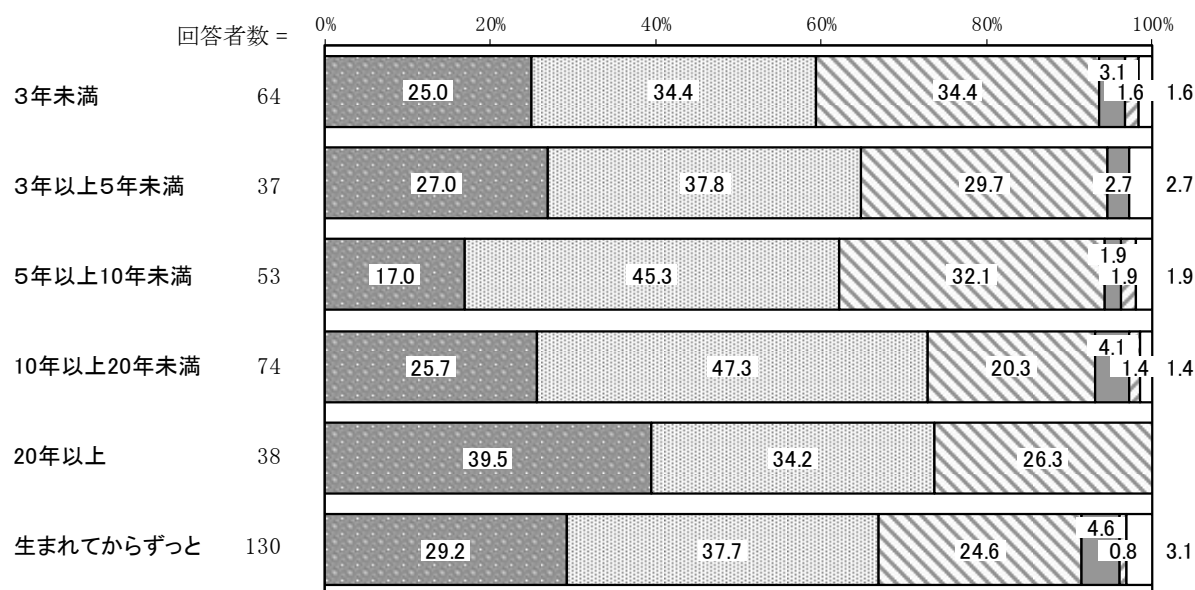
【年代別】

年代別でみると、20 歳代で“重要”の割合が高く、7 割半ばとなっています。



【居住年数別】

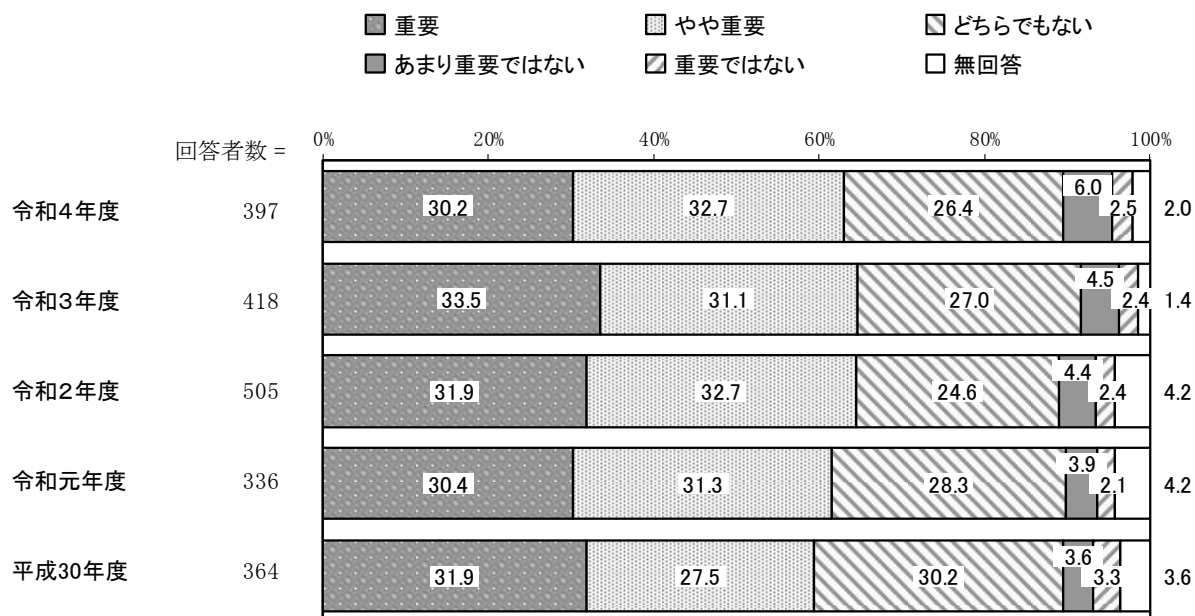
居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満、20 年以上で“重要”の割合が高く、7 割を超えています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

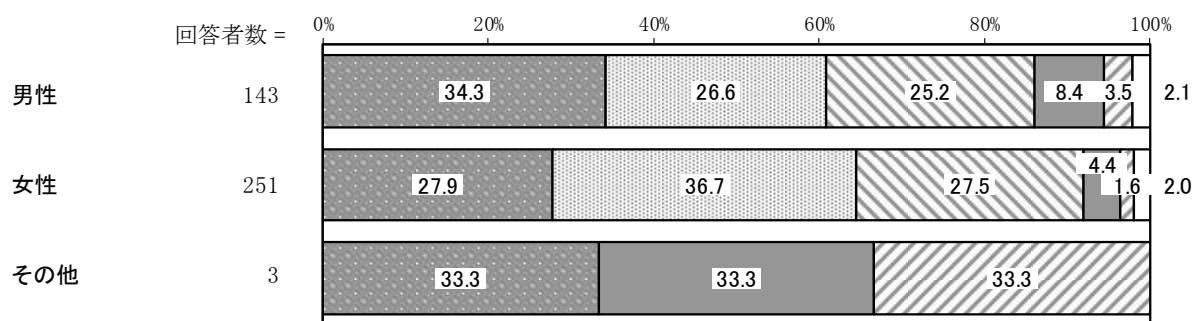
“重要”の割合が62.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が26.4%、“重要ではない”の割合が8.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“重要”の割合が増加する傾向がみられます。



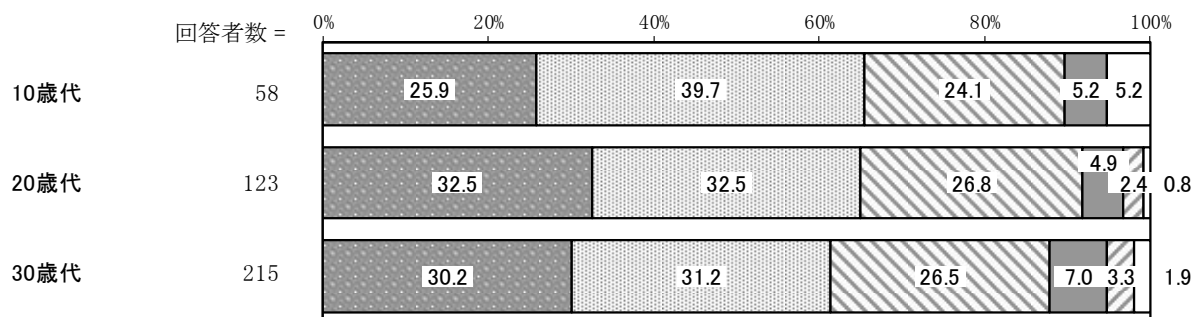
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要ではない”の割合が高く、1割を超えています。



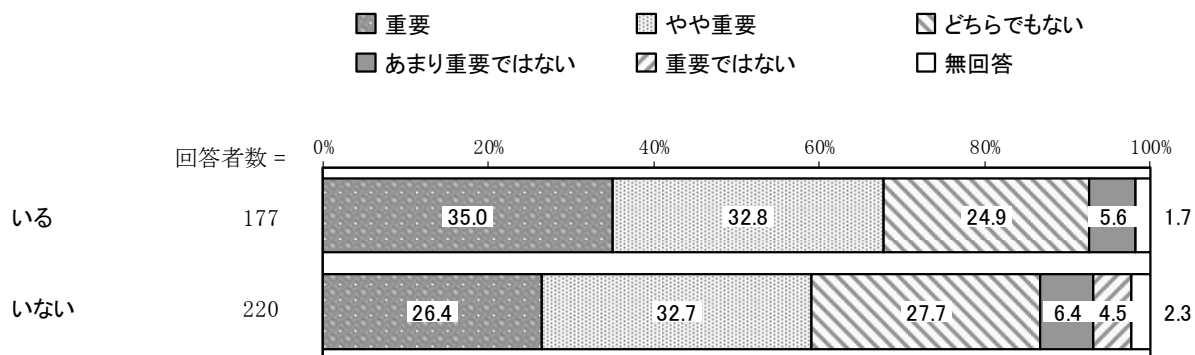
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



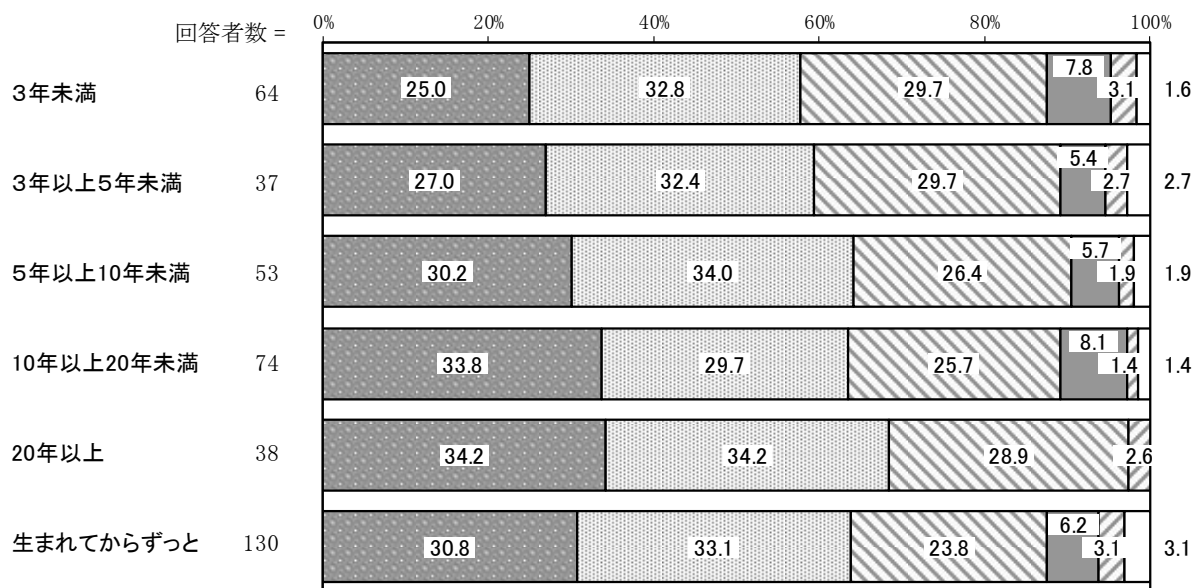
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“重要ではない”の割合が高く、約1割となっています。一方、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、7割近くとなっています。



【居住年数別】

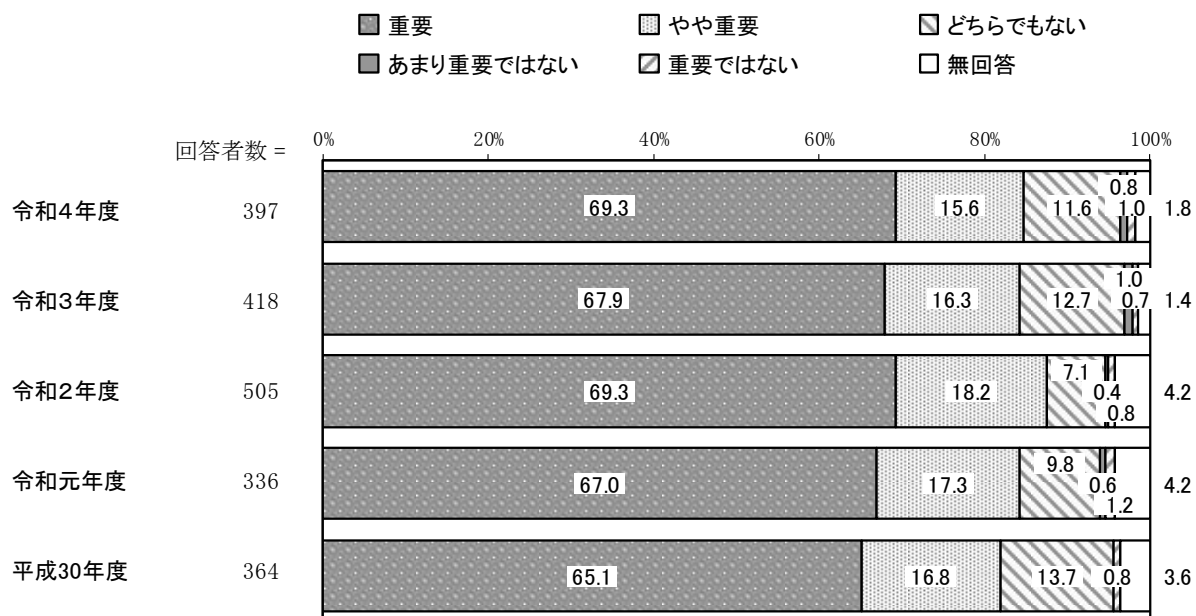
居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

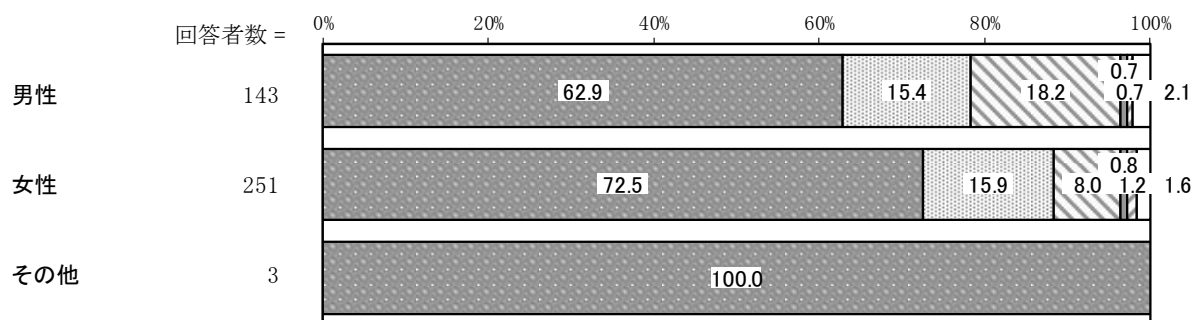
“重要”の割合が84.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が11.6%、“重要ではない”の割合が1.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



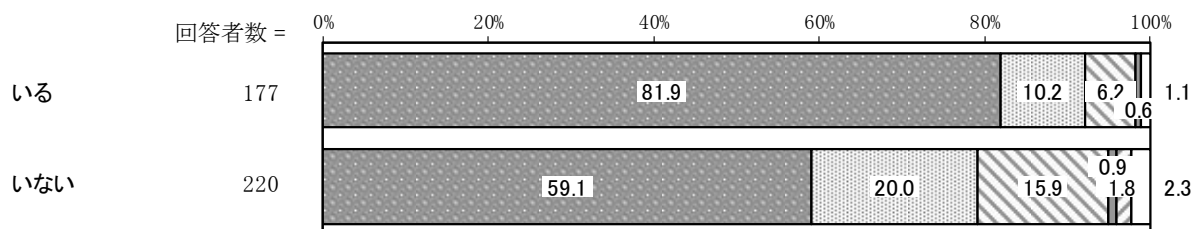
【性別】

性別でみると、男性と比べ、女性で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



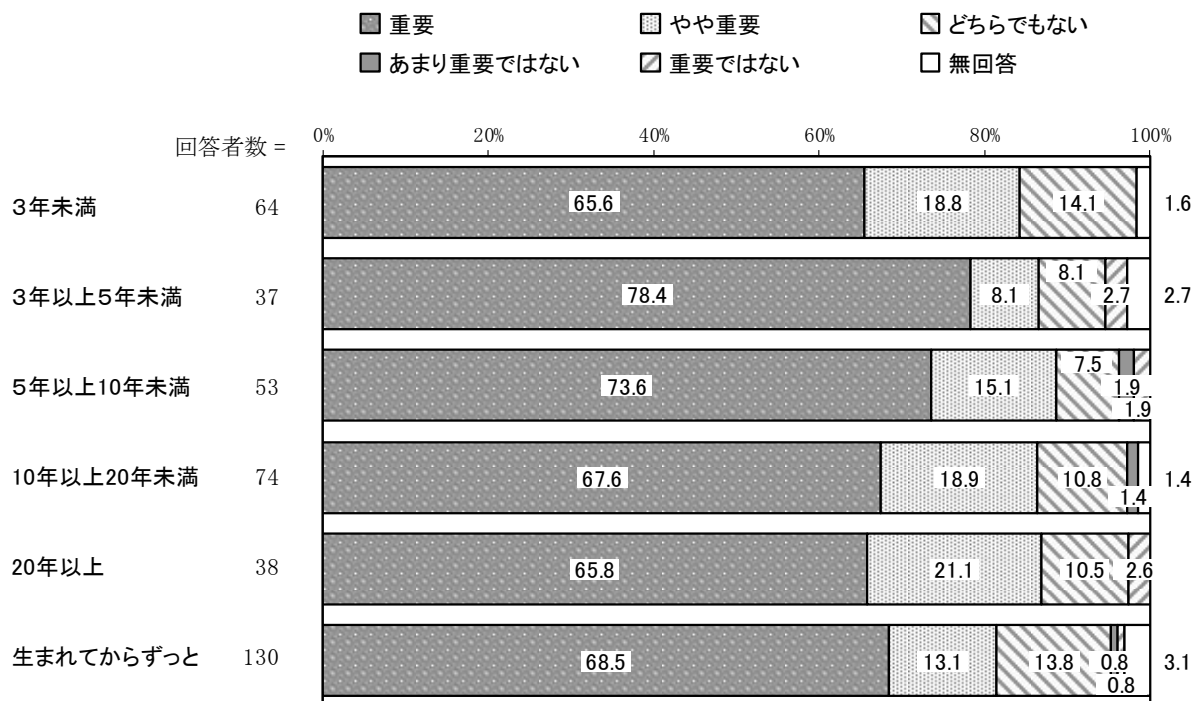
【子どもの有無別】

性別でみると、子供がいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



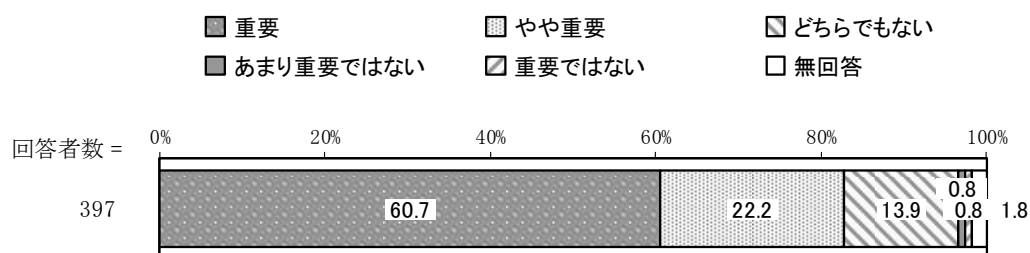
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



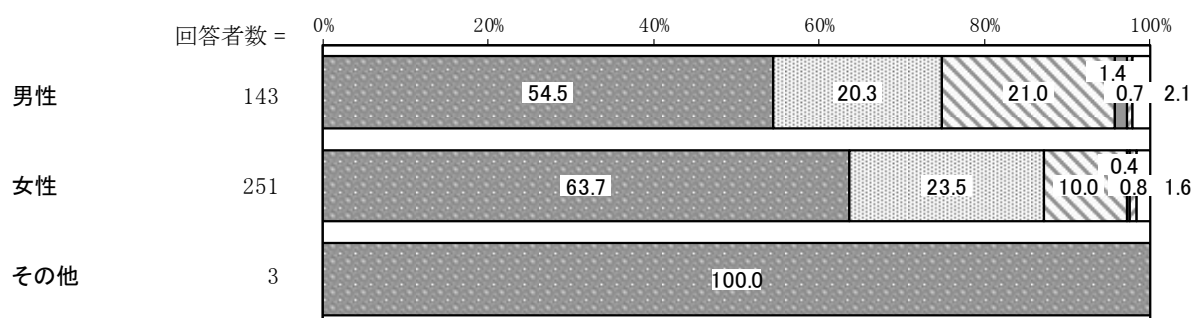
(9) 学びを支援する環境づくり

“重要”の割合が82.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が13.9%、“重要ではない”の割合が1.6%となっています。



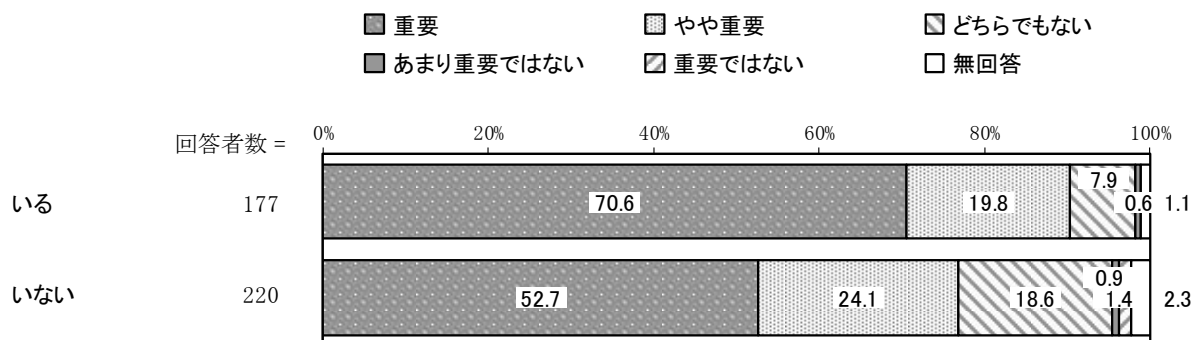
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



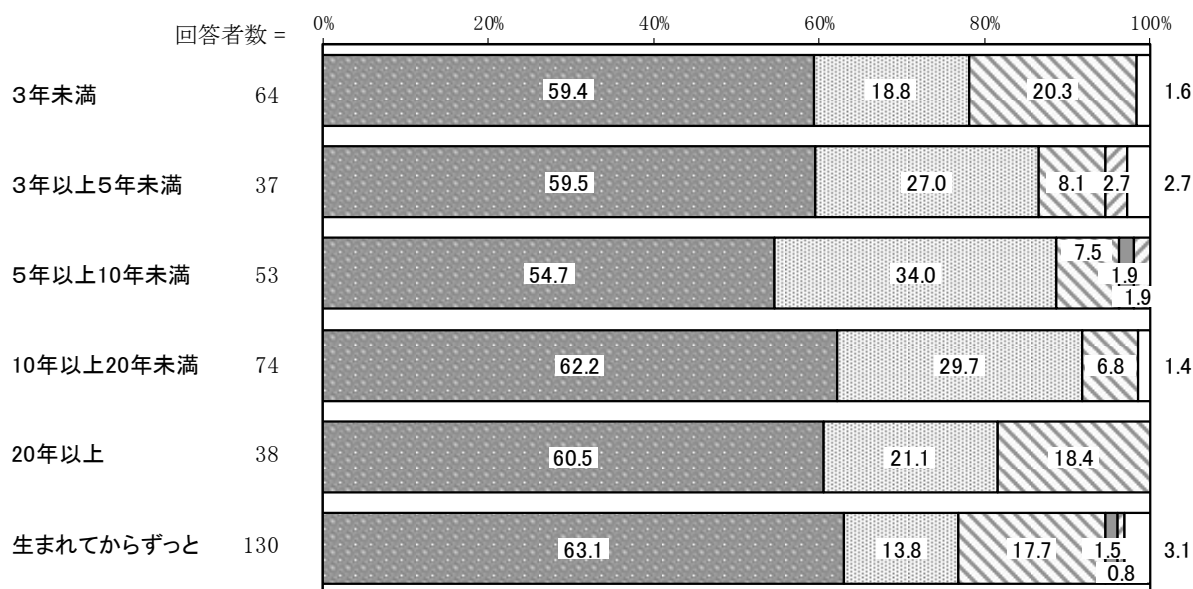
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



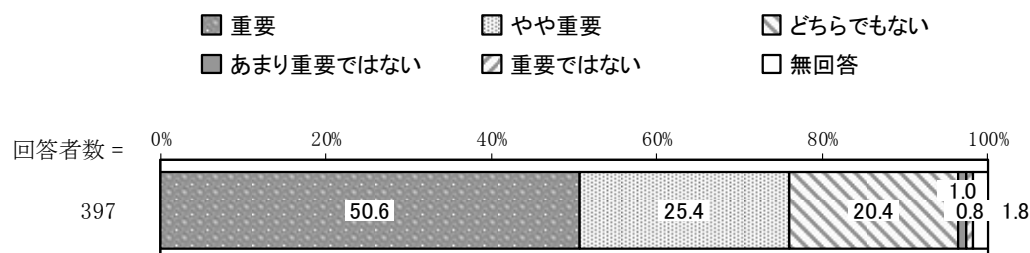
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満“重要”の割合が高く、9割を超えています。



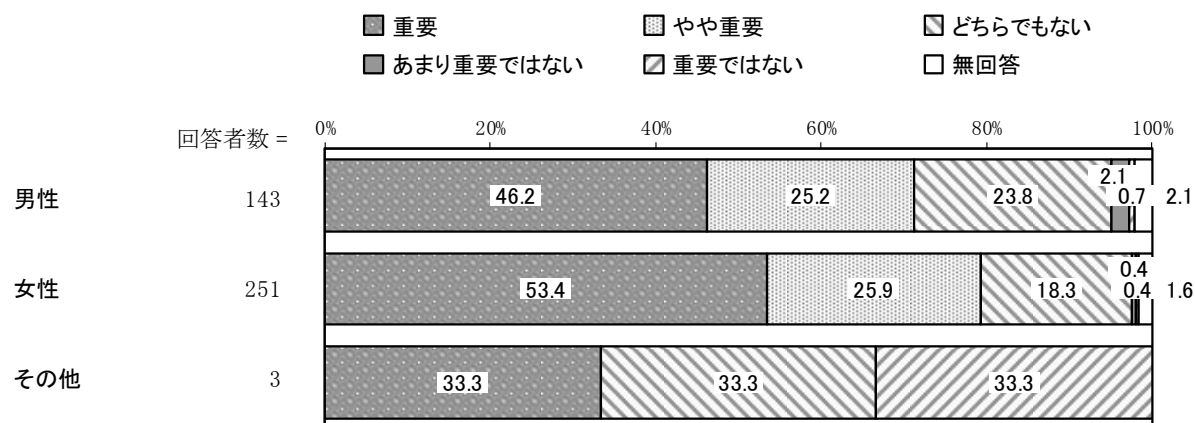
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“重要”の割合が76.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が20.4%、“重要ではない”の割合が1.8%となっています。



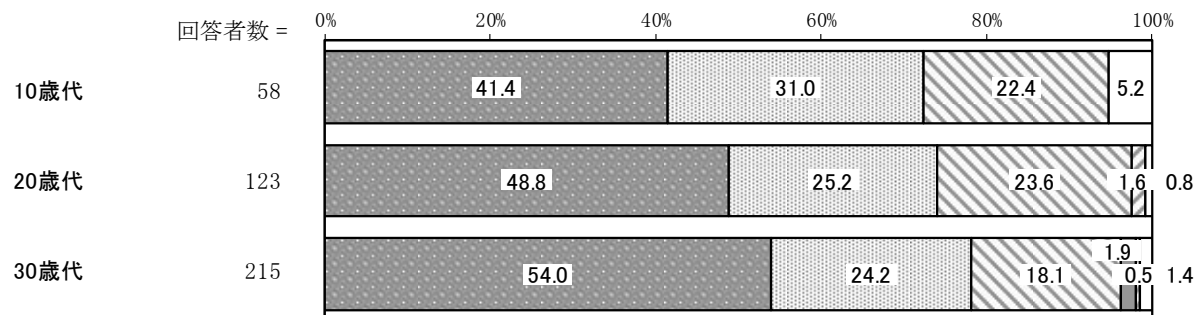
【性別】

性別でみると、男性と比べ、女性で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



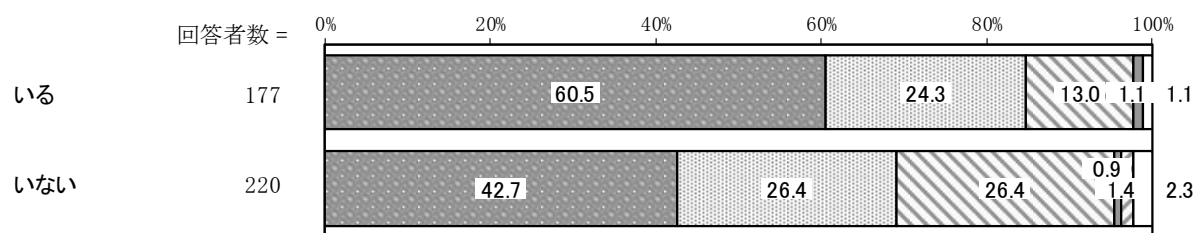
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



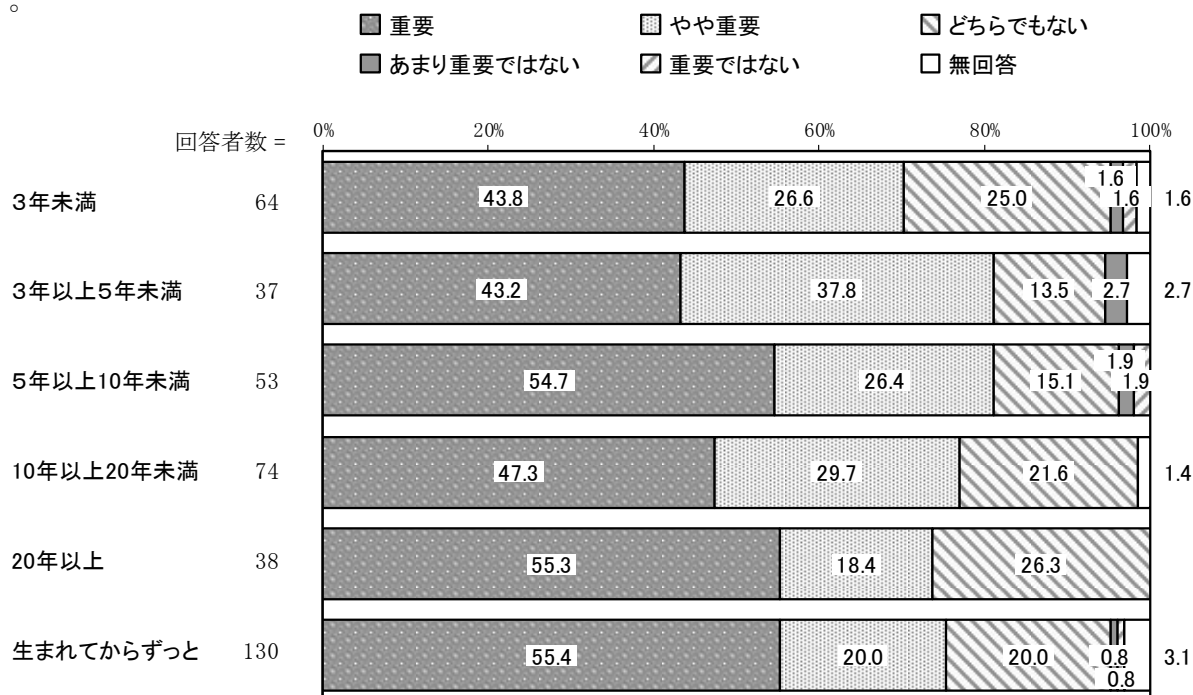
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



【居住年数別】

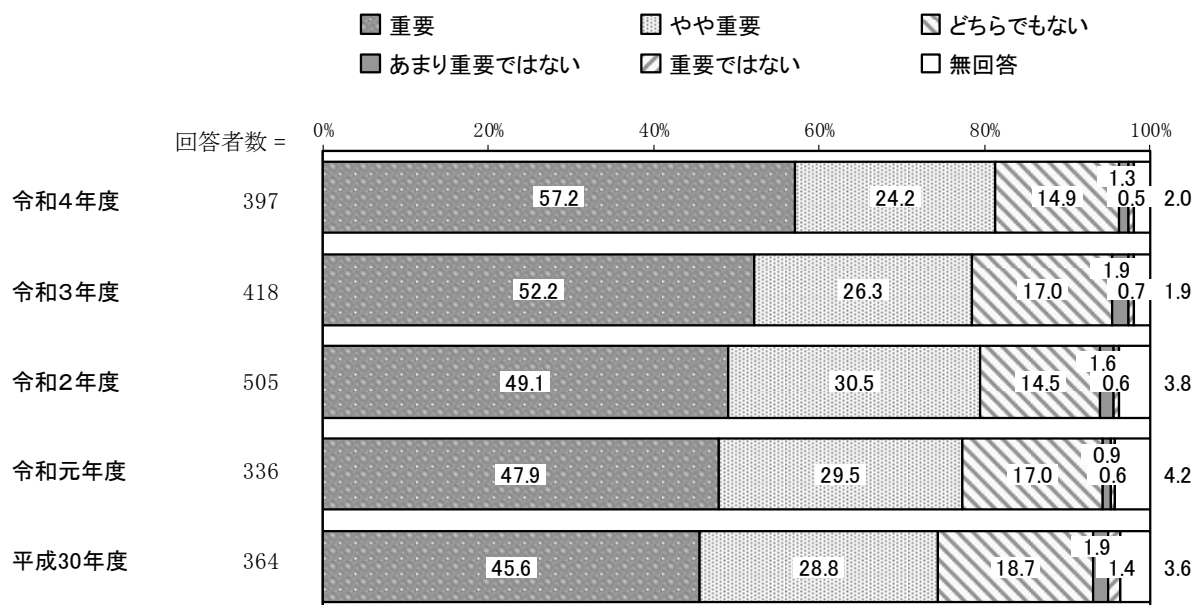
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合高く、8割を超えています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

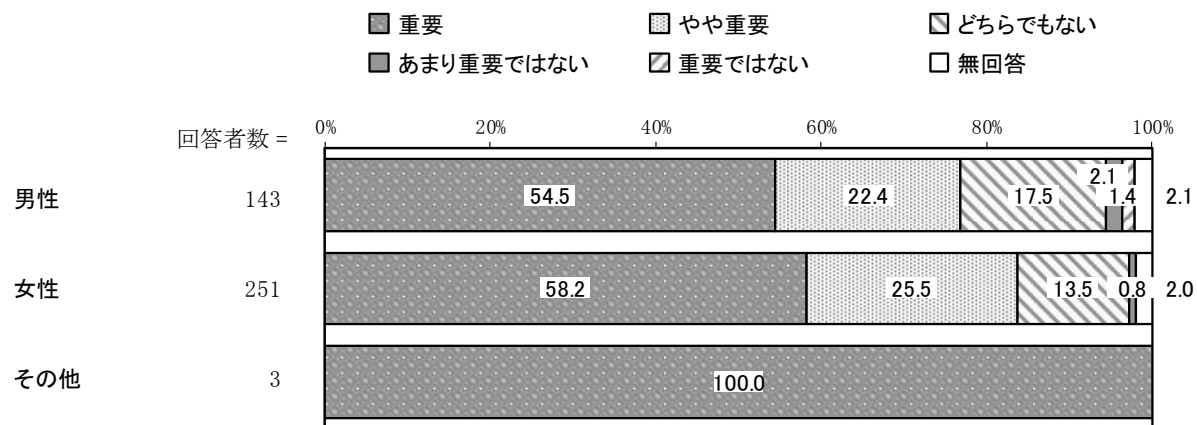
“重要”の割合が81.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が14.9%、“重要ではない”の割合が1.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“重要”の割合が増加する傾向がみられます。



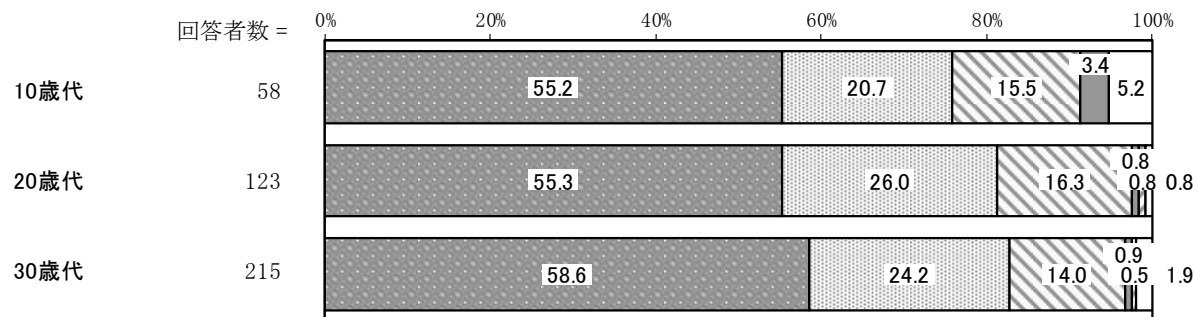
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



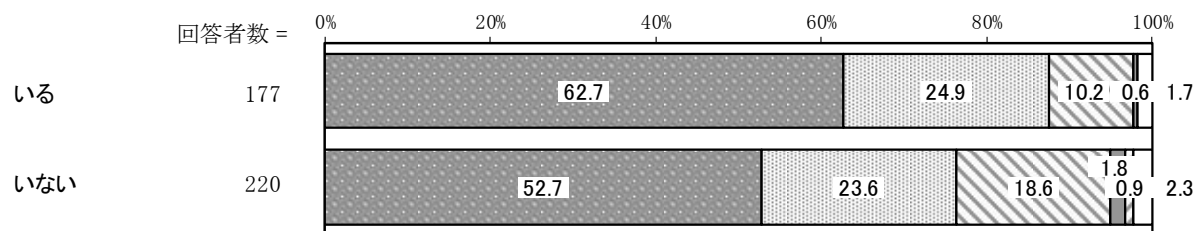
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



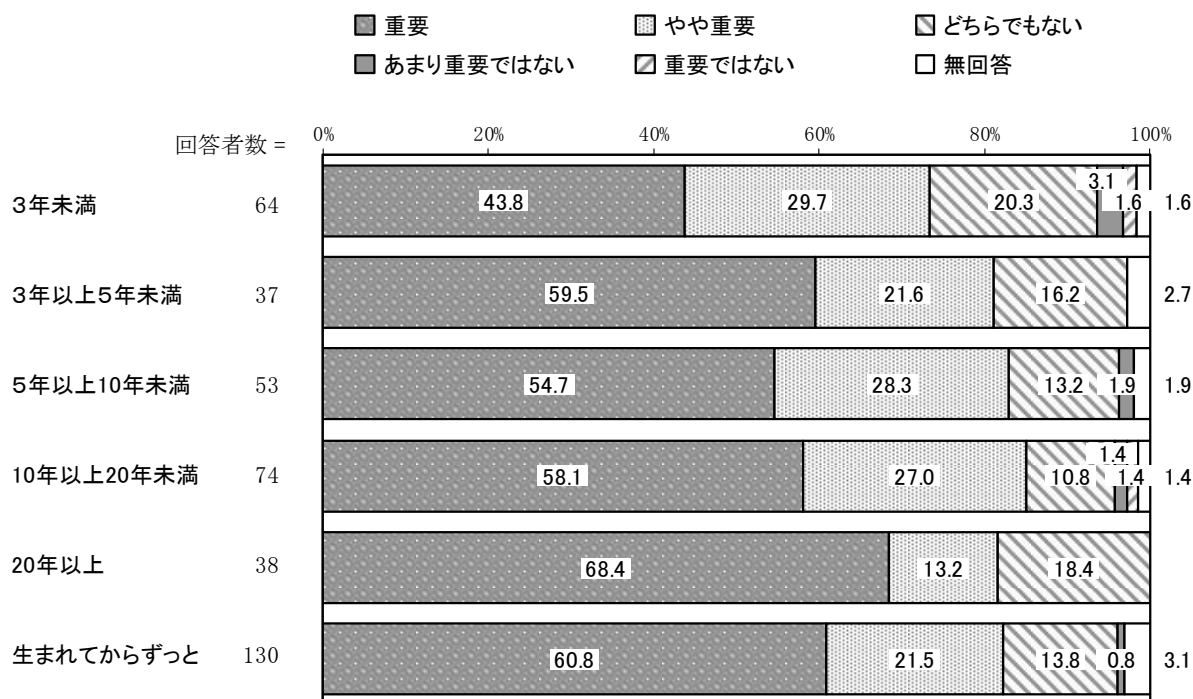
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



【居住年数別】

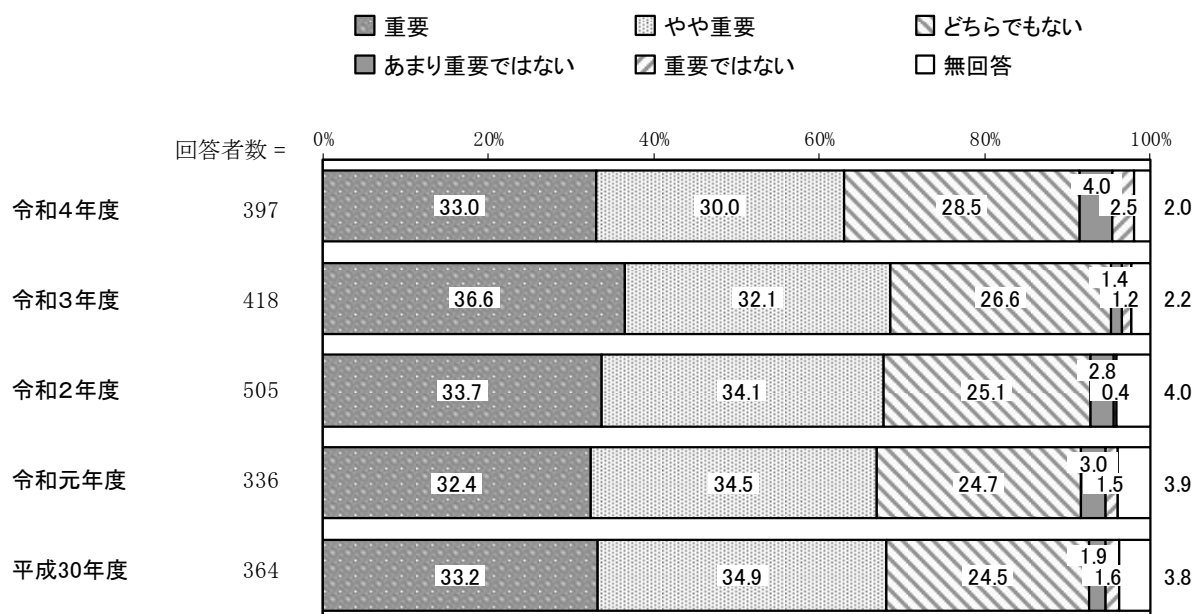
居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

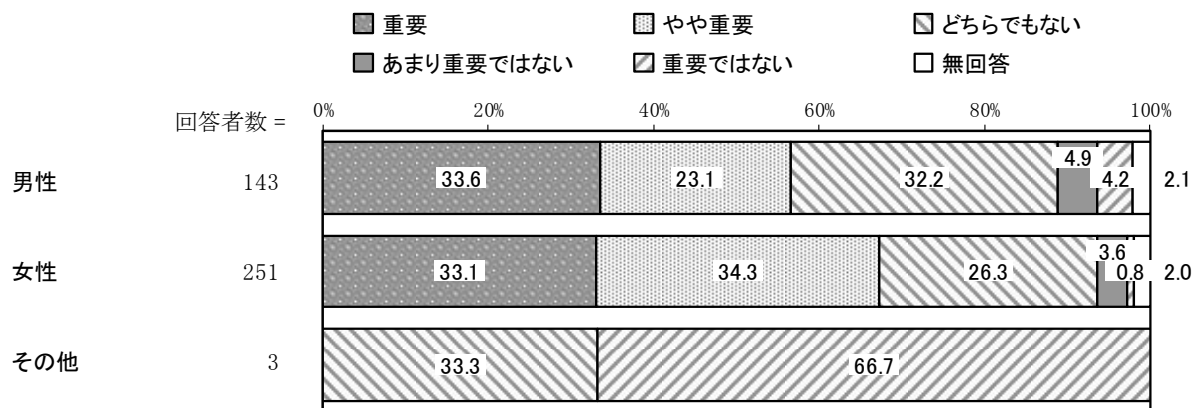
“重要”の割合が63.0%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が28.5%、“重要ではない”の割合が6.5%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“重要ではない”の割合が増加しています。



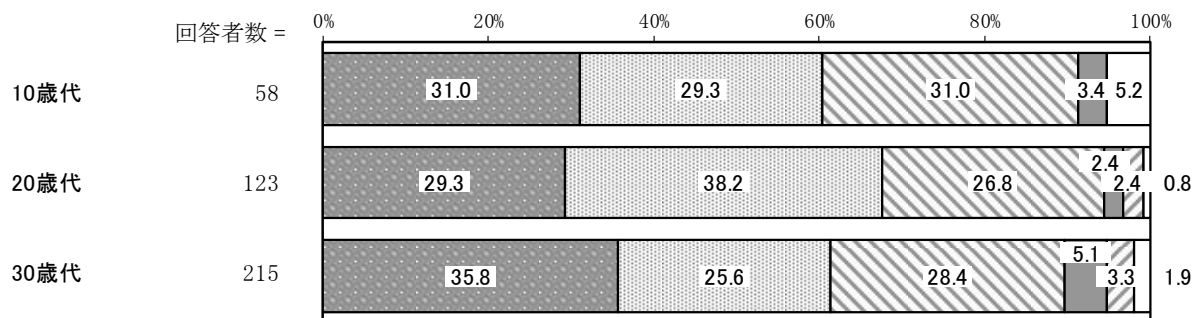
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



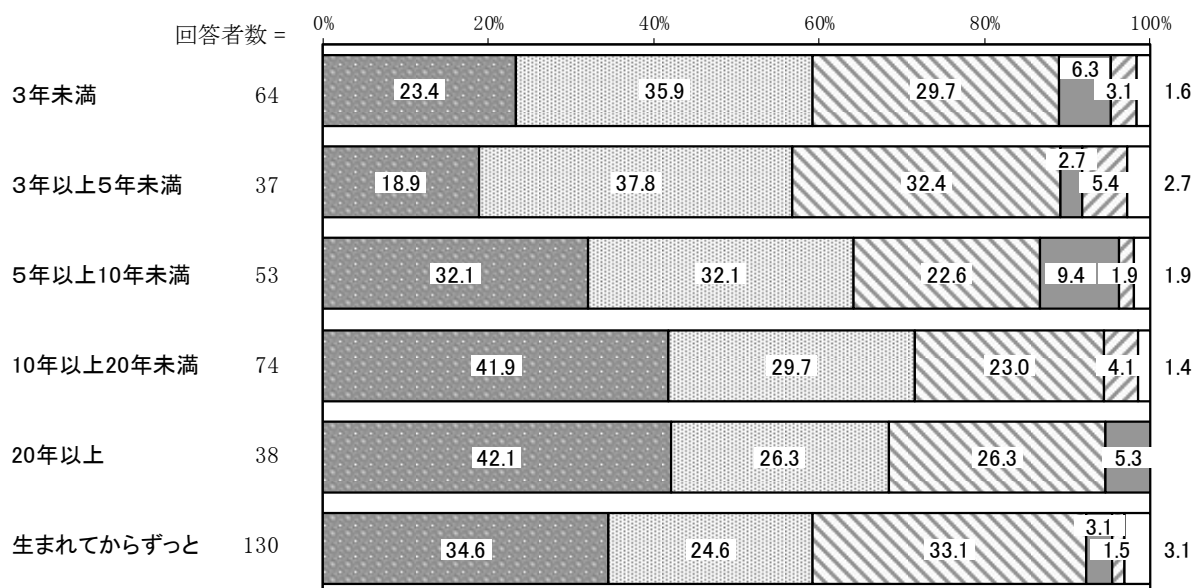
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、7割近くとなっています。



【居住年数別】

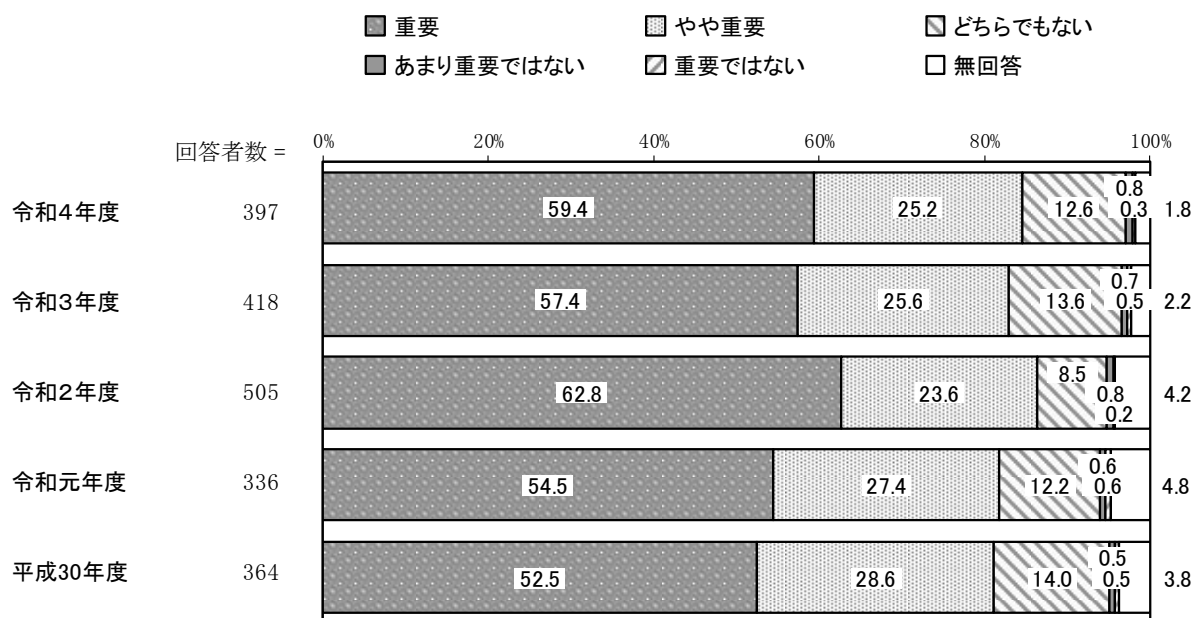
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“重要”の割合が低く、約6割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

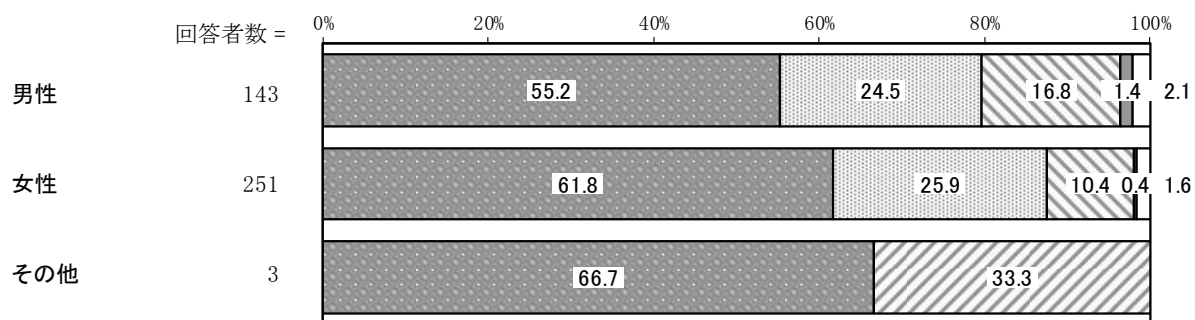
“重要”の割合が84.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が12.6%、“重要ではない”の割合が1.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



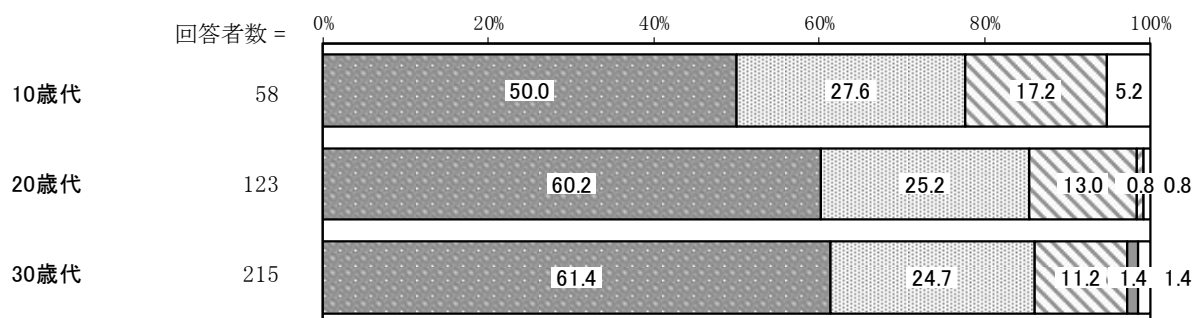
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



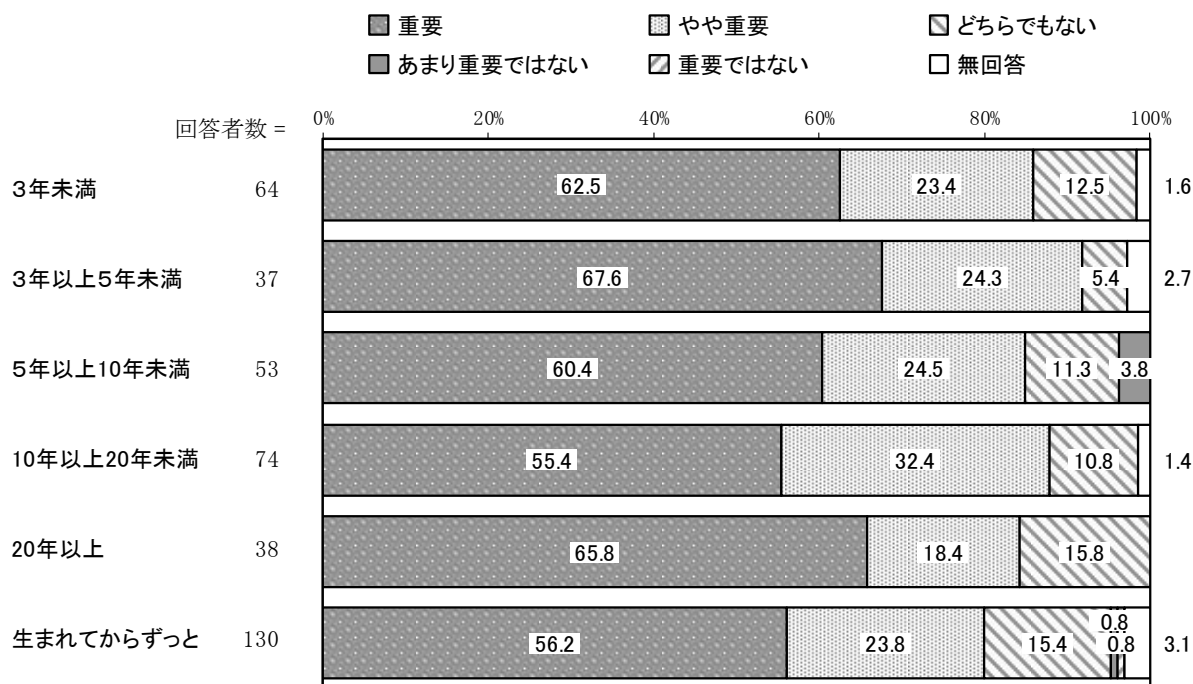
【年代別】

年代別でみると、年齢が上がるにつれ、“重要”の割合が高くなっており、30歳代で8割半ばとなっています。



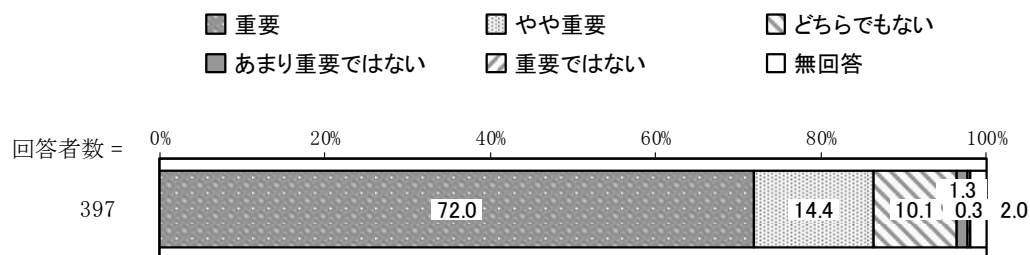
【居住年数別】

居住年数別でみると、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



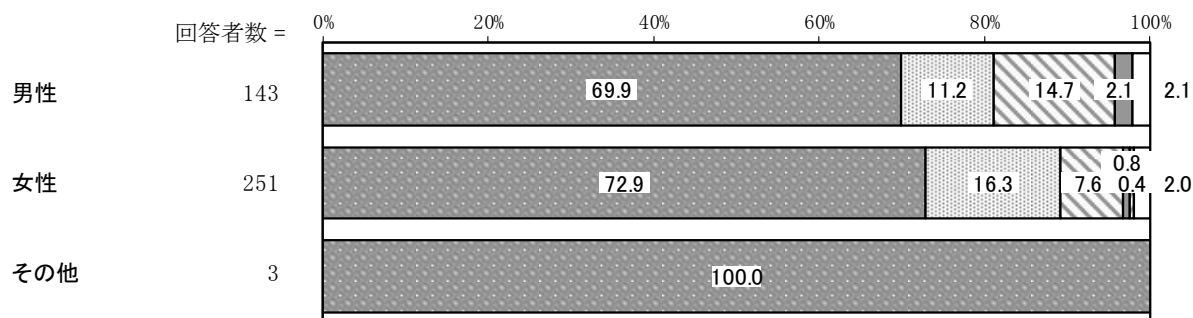
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が86.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が10.1%、“重要ではない”の割合が1.6%となっています。



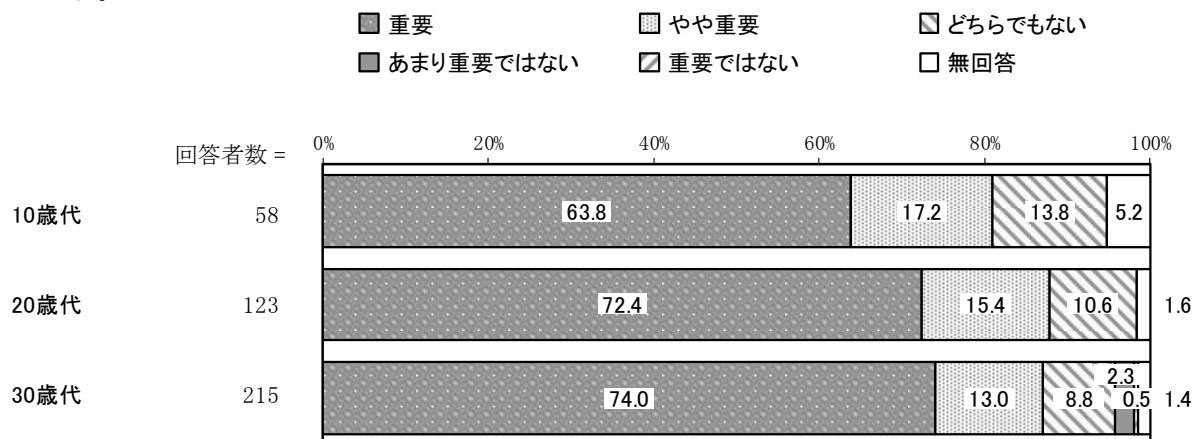
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



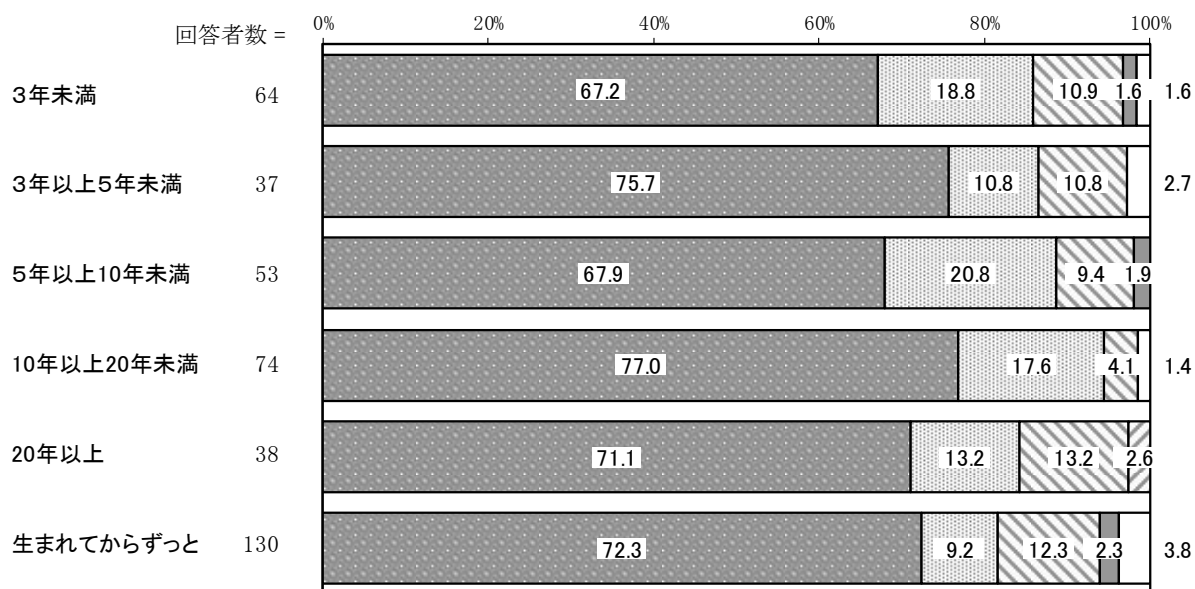
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で“重要”の割合が高く、9 割近くとなっています。



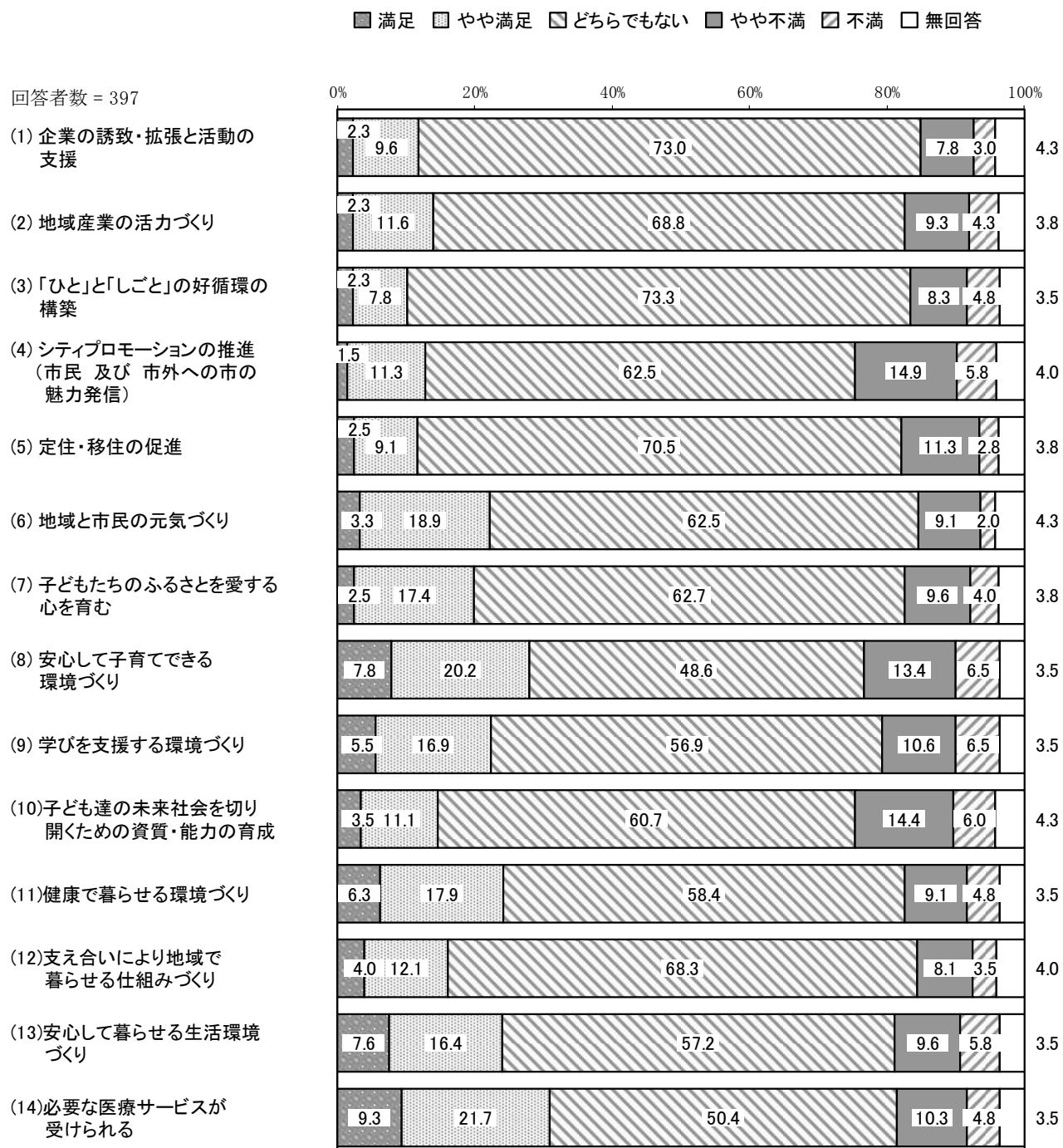
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“重要”の割合が高く、9 割半ばとなっています。



②満足度

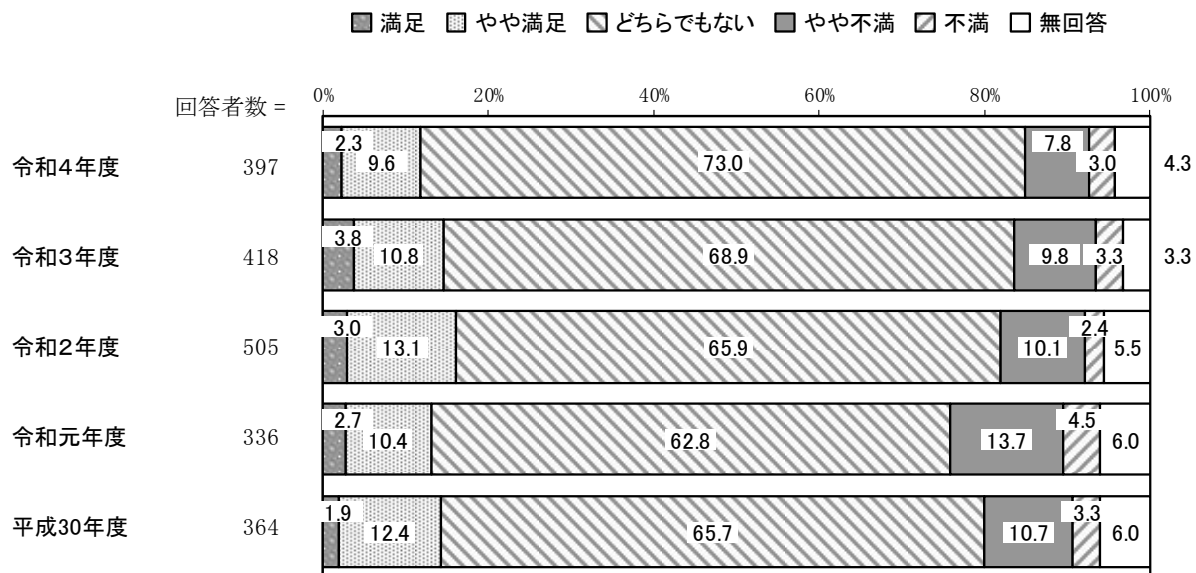
『(14) 必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が高く、3割を超えています。また、『(4) シティプロモーションの推進（市民及び市外への市の魅力発信）』『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

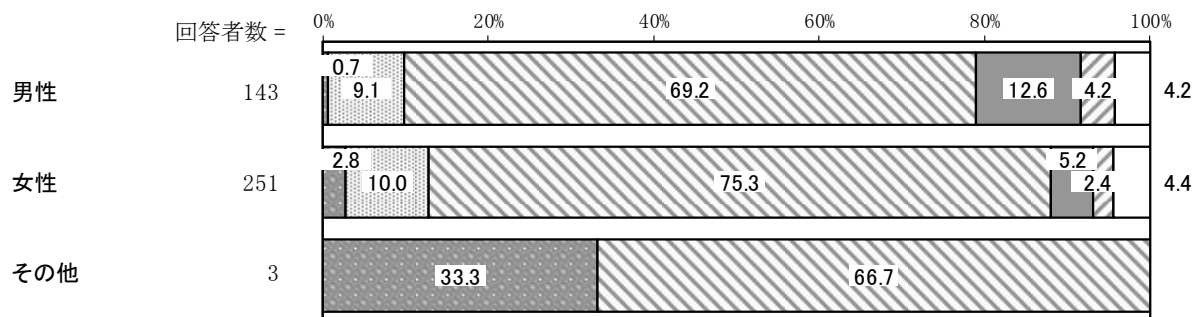
「どちらでもない」の割合が73.0%と最も高く、次いで“満足”の割合が11.9%、“不満”の割合が10.8%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



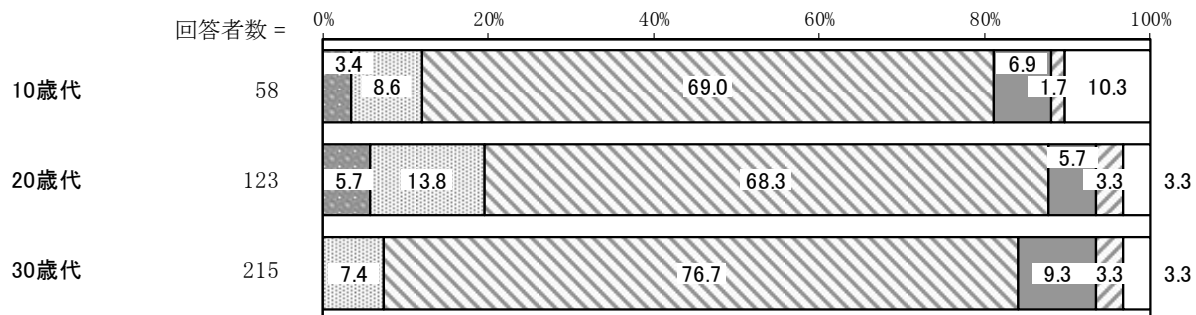
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



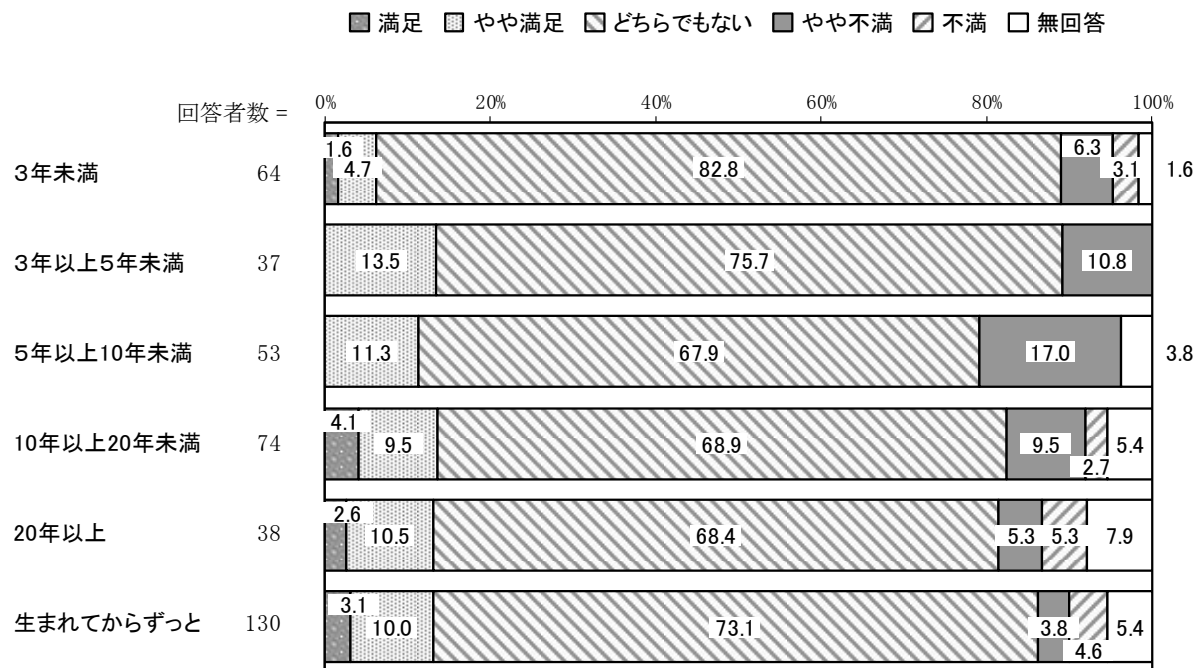
【年代別】

年代別でみると、20歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

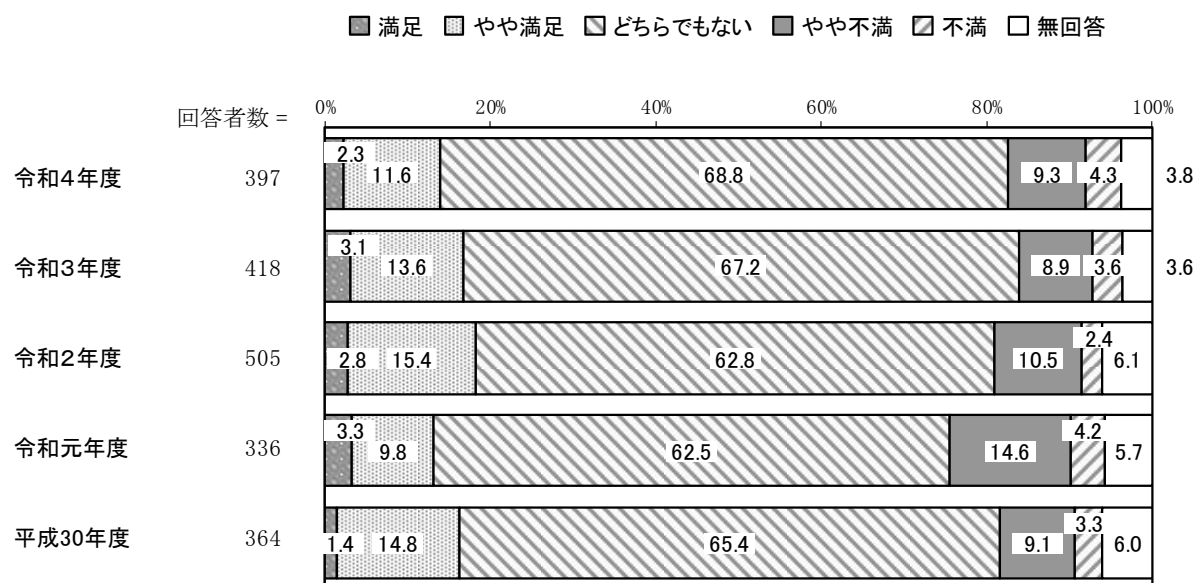
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

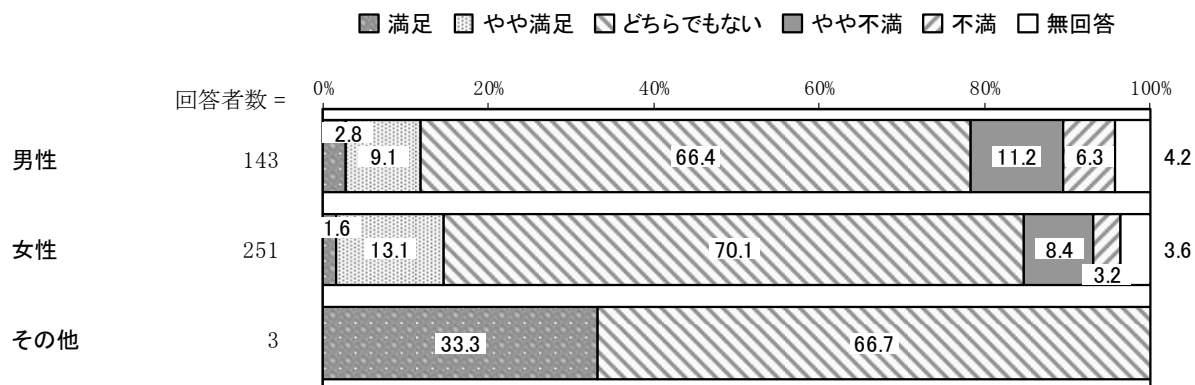
「どちらでもない」の割合が68.8%と最も高く、次いで“満足”の割合が13.9%、“不満”の割合が13.3%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



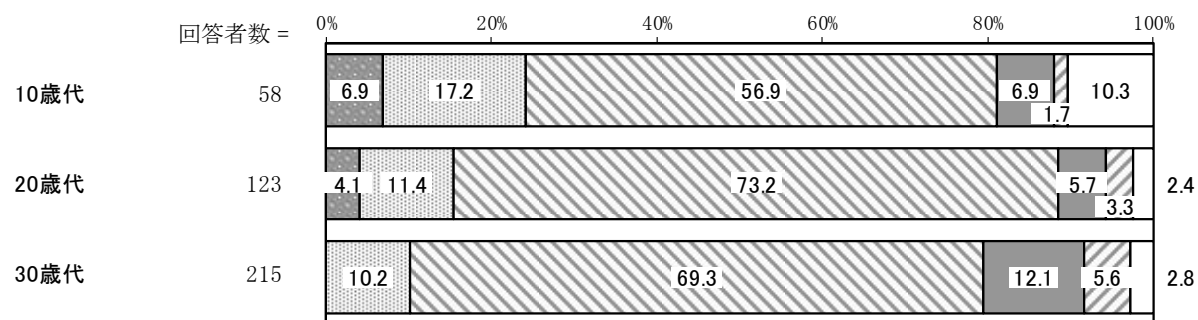
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



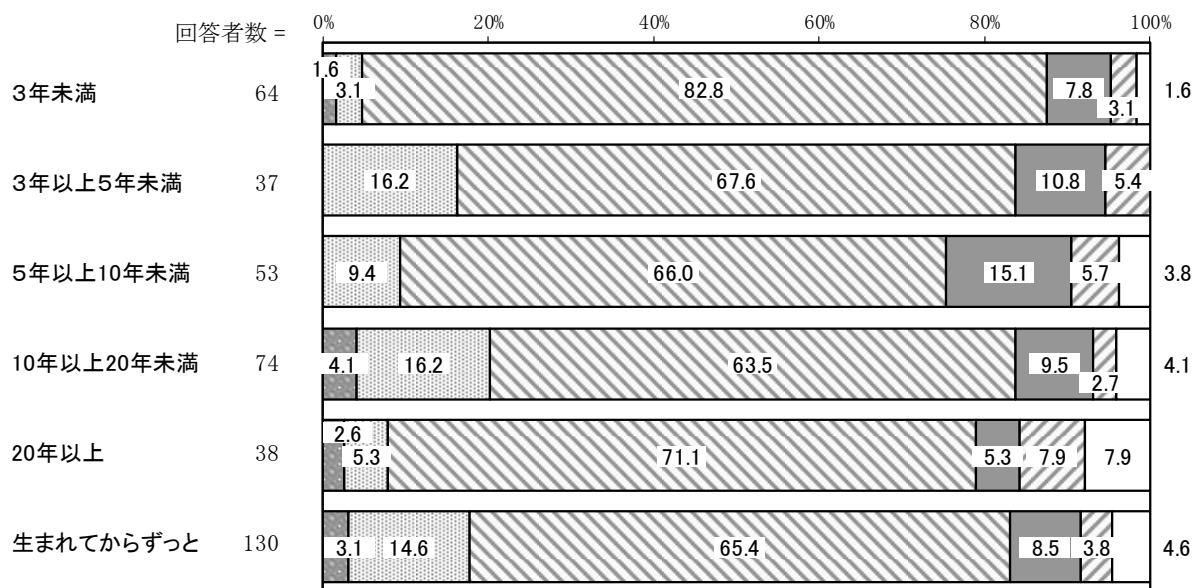
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、2割半ばとなっています。



【居住年数別】

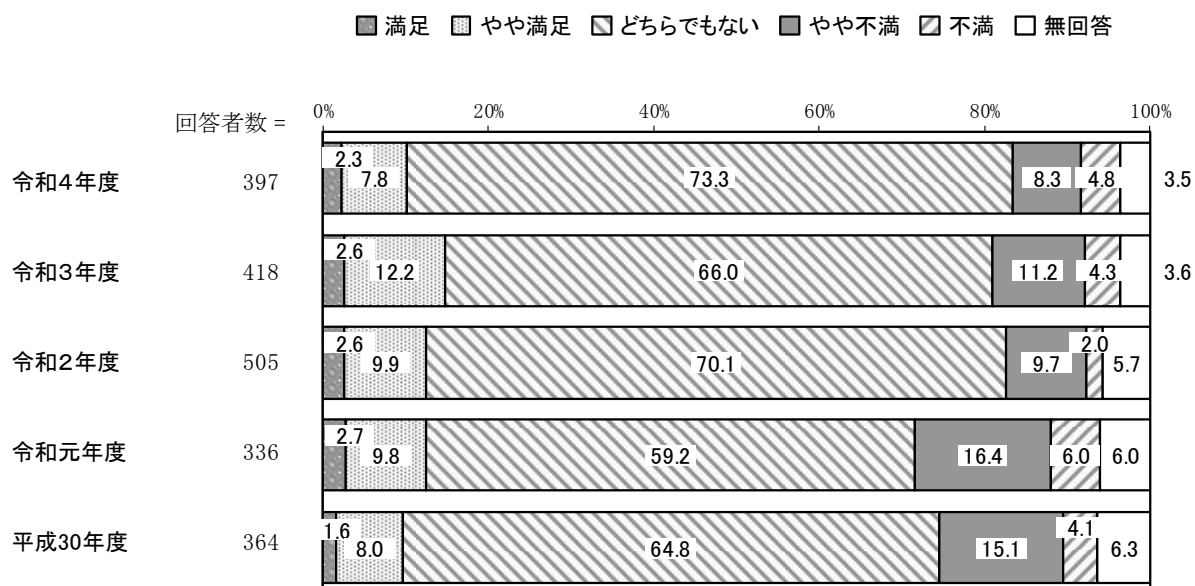
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

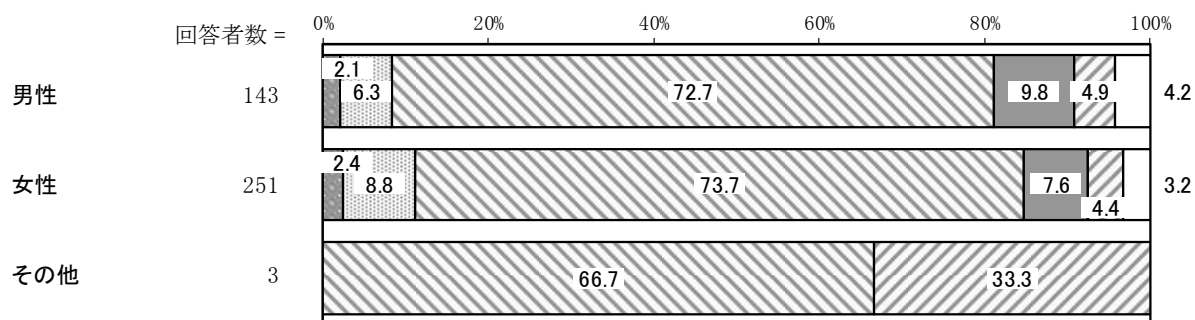
「どちらでもない」の割合が73.3%と最も高く、次いで“不満”の割合が13.1%、“満足”の割合が10.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、平成30年度から令和3年度にかけて多少の増減はあるものの“満足”の割合が増加する傾向にありましたが、令和4年度では減少しています。



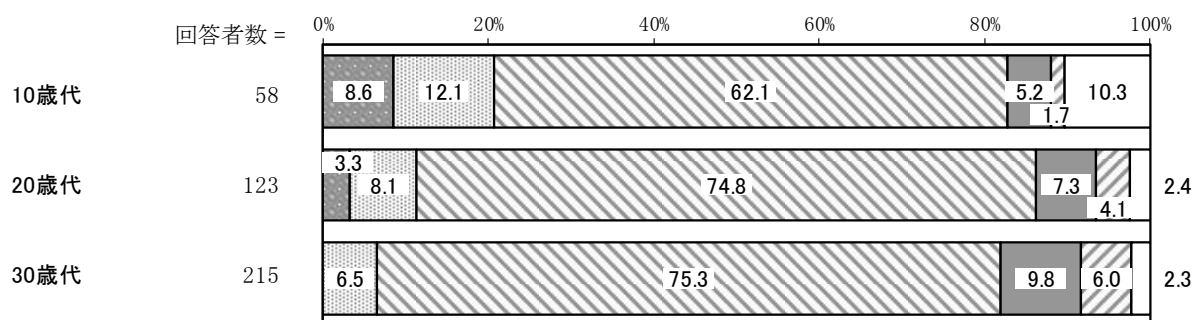
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



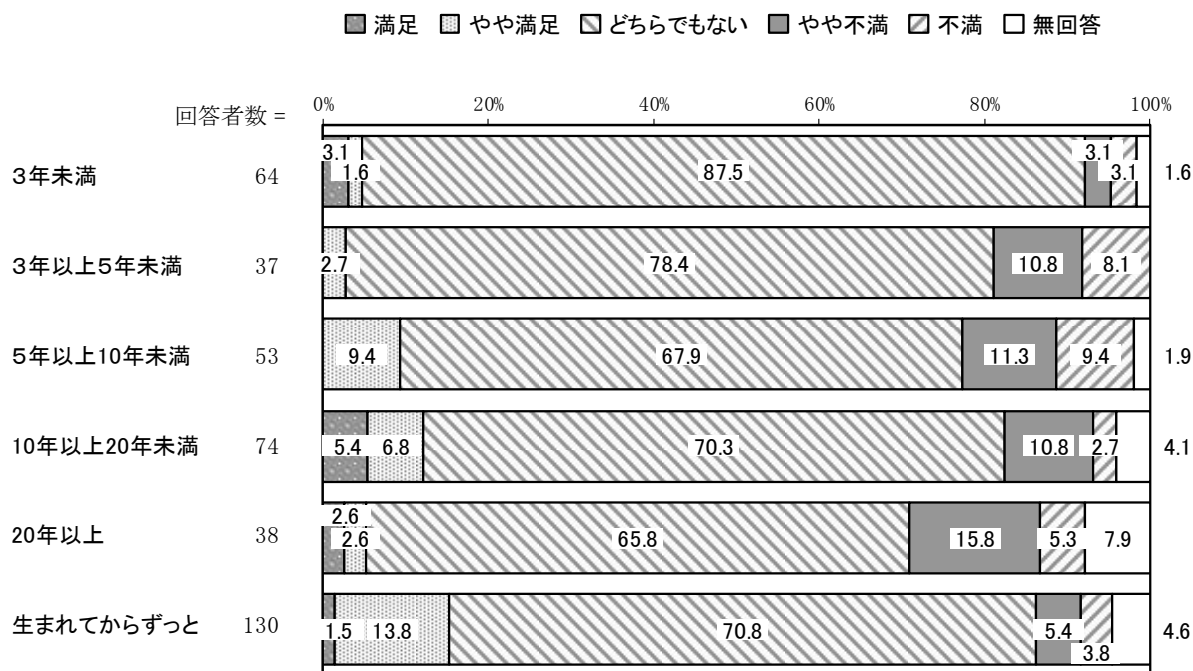
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



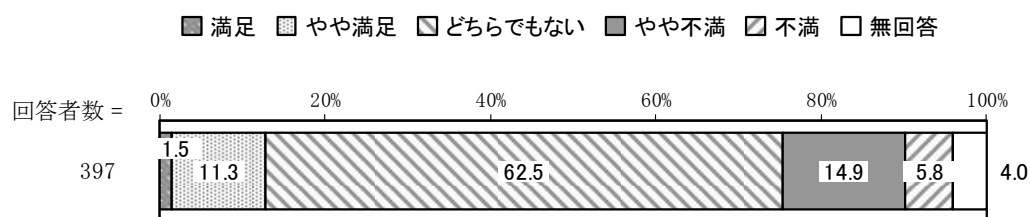
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、1割半ばとなっています。



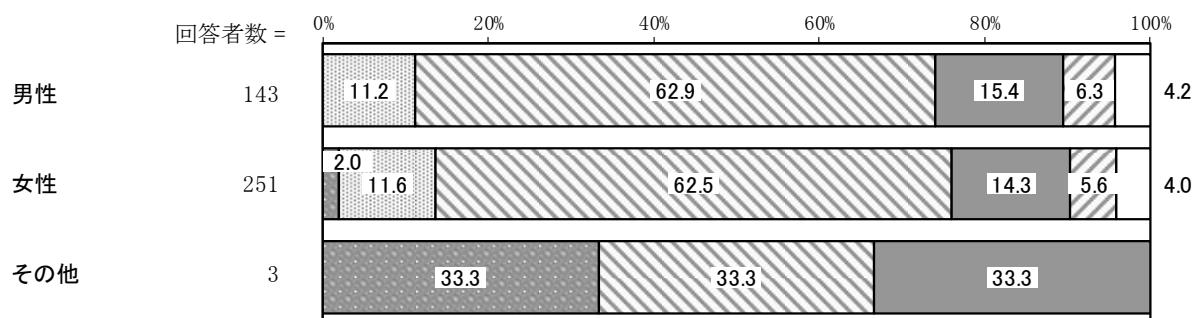
(4) シティプロモーションの推進（市民及び市外への市の魅力発信）

「どちらでもない」の割合が62.5%と最も高く、次いで“不満”の割合が20.7%、“満足”の割合が12.8%となっています。



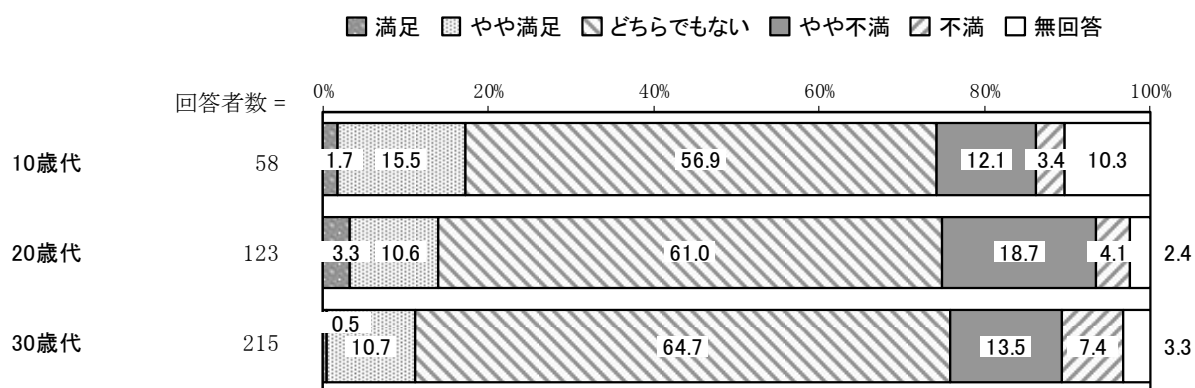
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



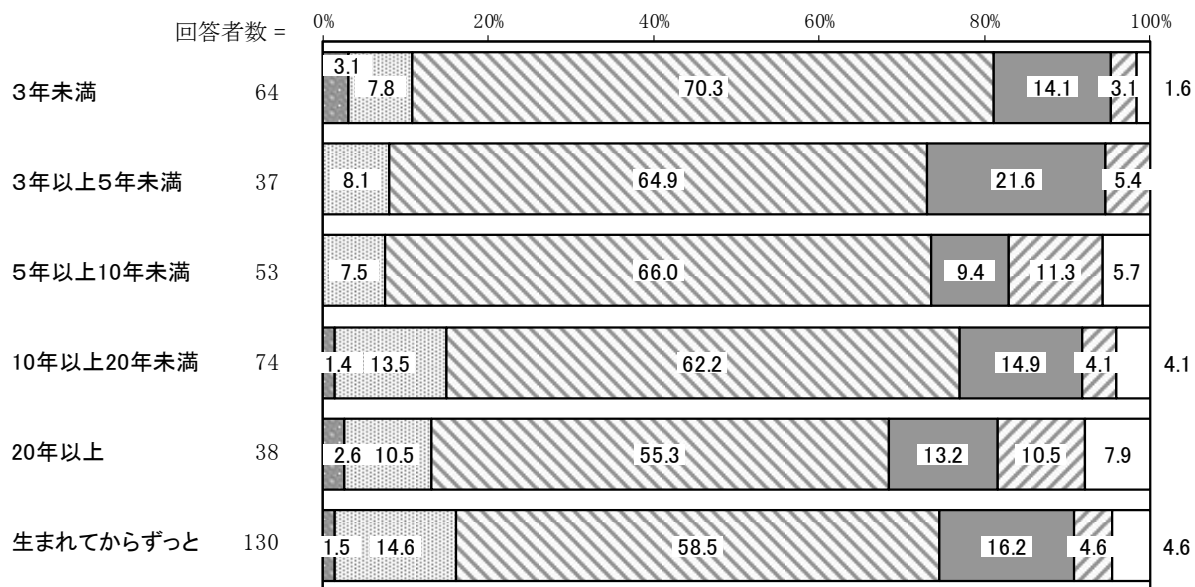
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれて“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

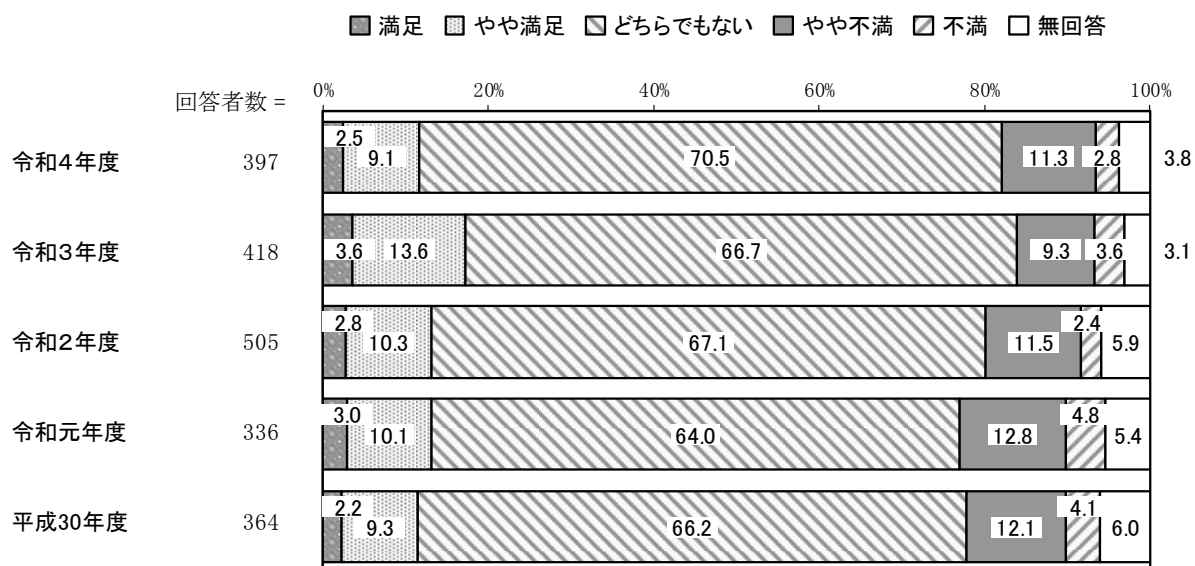
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、3割近くとなっています。



(5) 定住・移住の促進

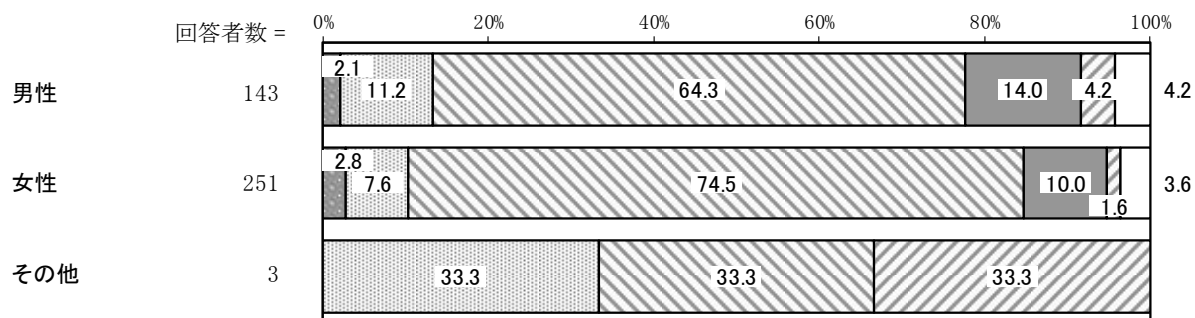
「どちらでもない」の割合が70.5%と最も高く、次いで“不満”の割合が14.1%、“満足”の割合が11.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、平成30年度から令和3年度にかけて“満足”の割合が増加する傾向にありましたが、令和4年度では減少しています。



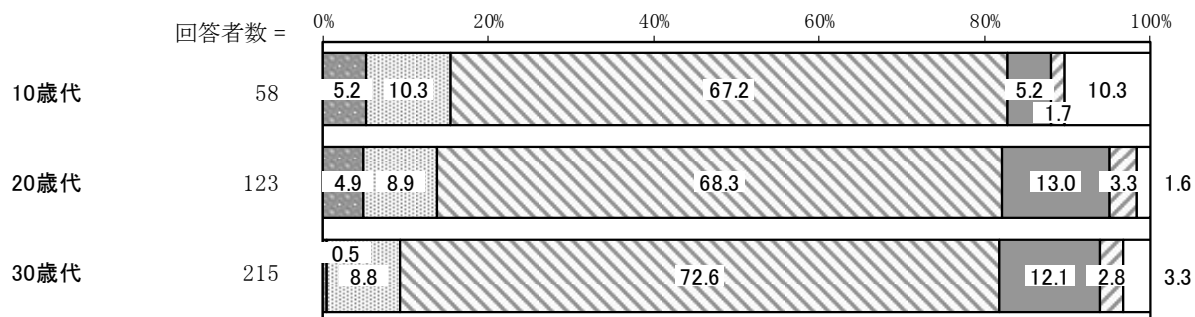
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



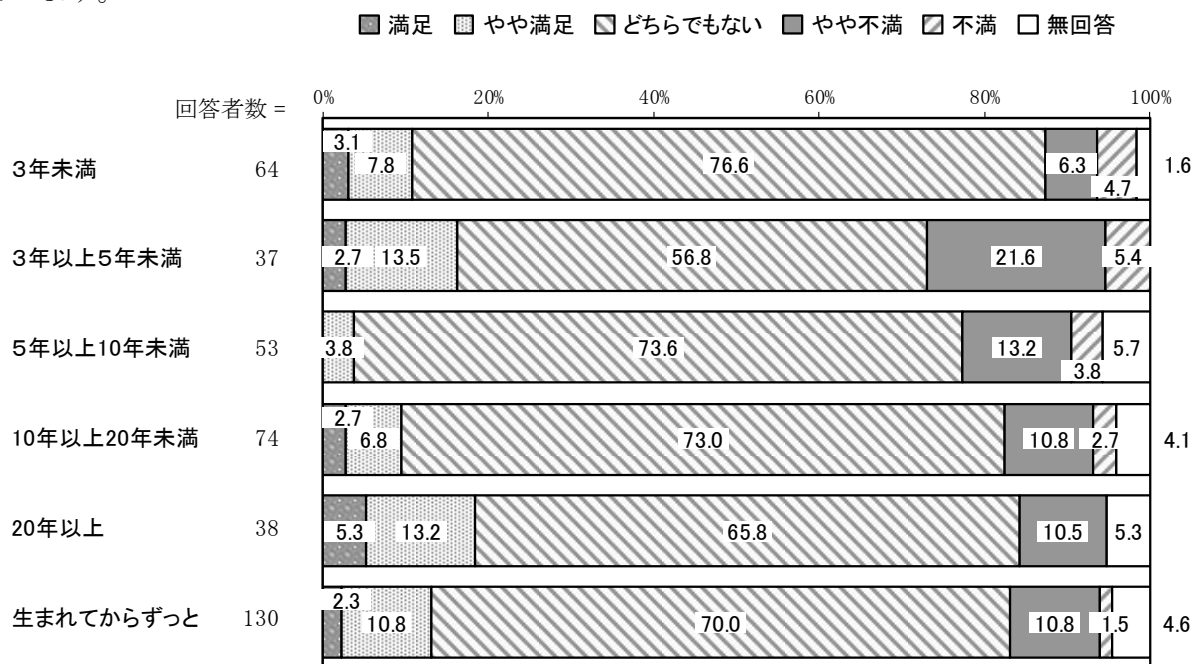
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“不満”の割合が高く、1割半ばとなっています。



【居住年数別】

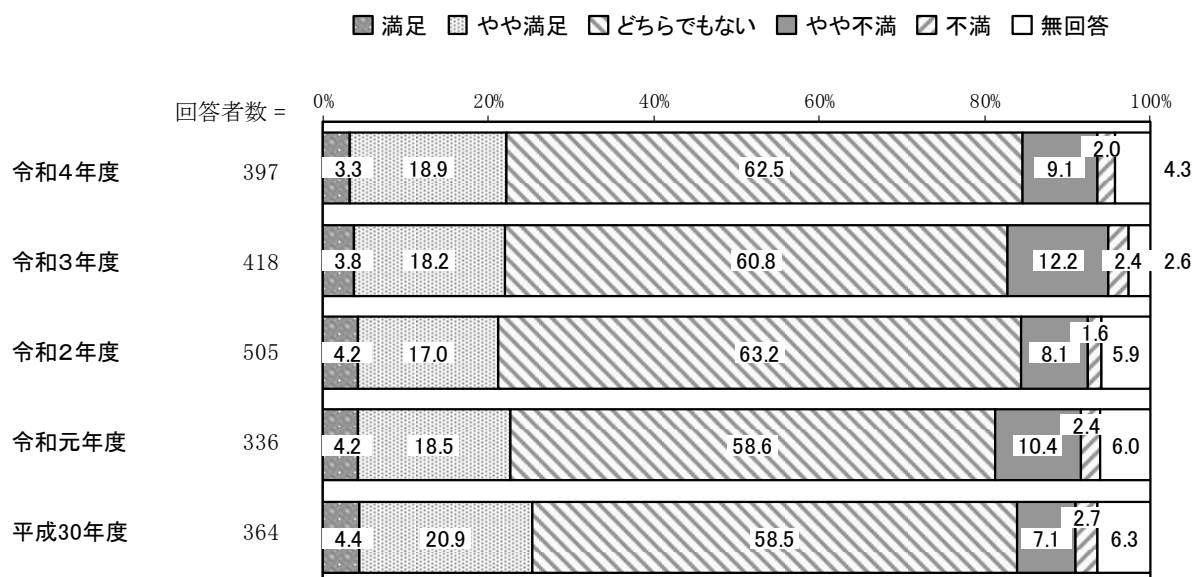
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、3割近くとなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

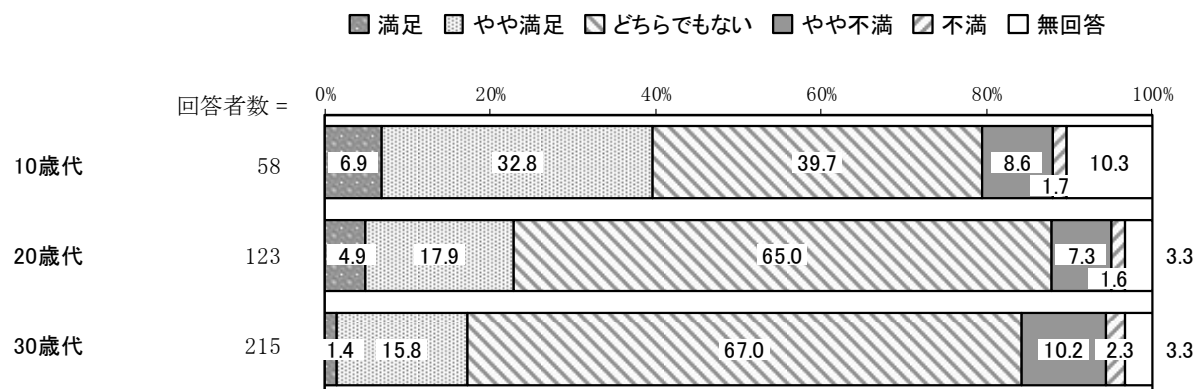
「どちらでもない」の割合が62.5%と最も高く、次いで“満足”の割合が22.2%、“不満”の割合が11.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



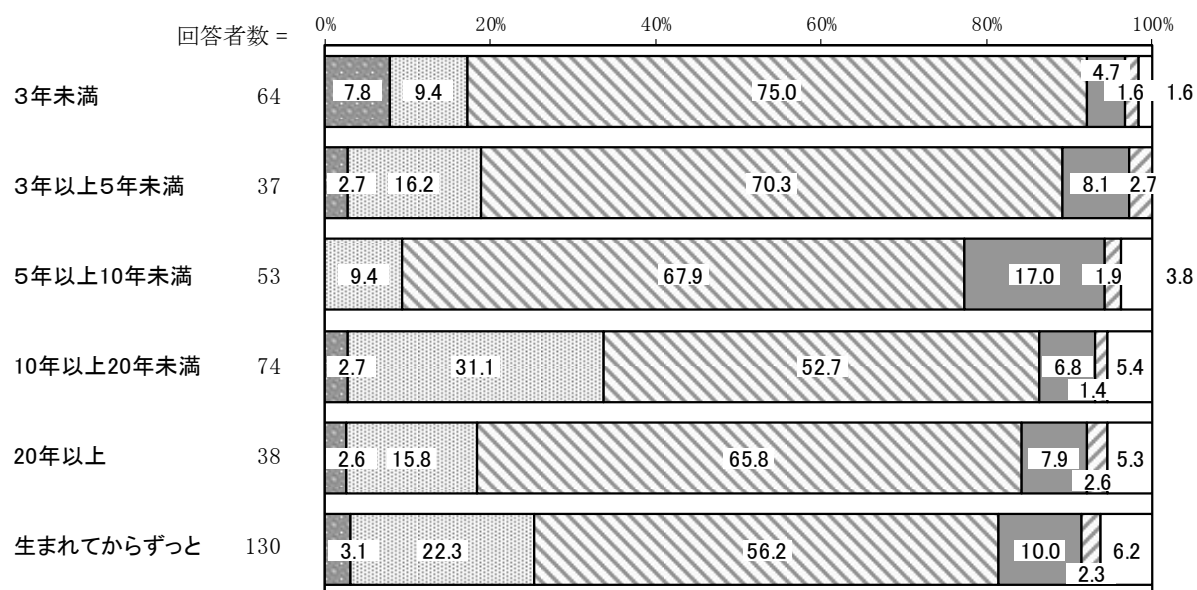
【年代別】

年代別でみると、10 歳代で“満足”の割合が高く、約 4 割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5 年以上 10 年未満で“不満”の割合が高く、2 割近くとなっています。また、10 年以上 20 年未満で“満足”の割合が高く、3 割を超えています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

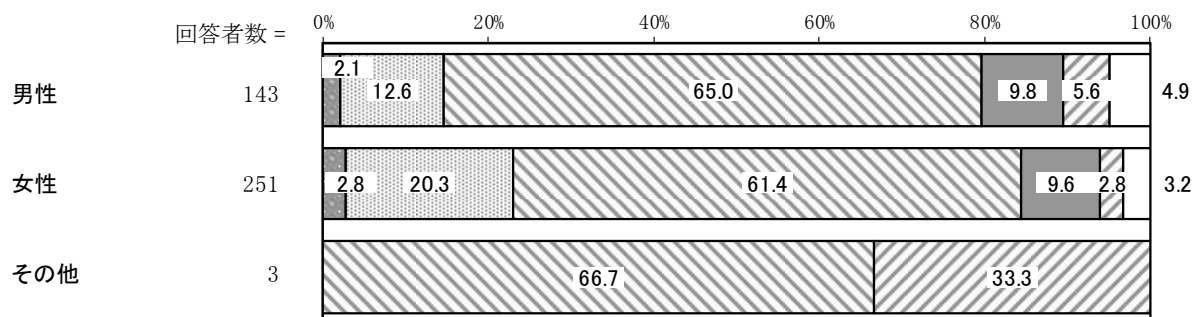
「どちらでもない」の割合が62.7%と最も高く、次いで“満足”の割合が19.9%、“不満”の割合が13.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が増減はあるものの、増加する傾向がみられます。



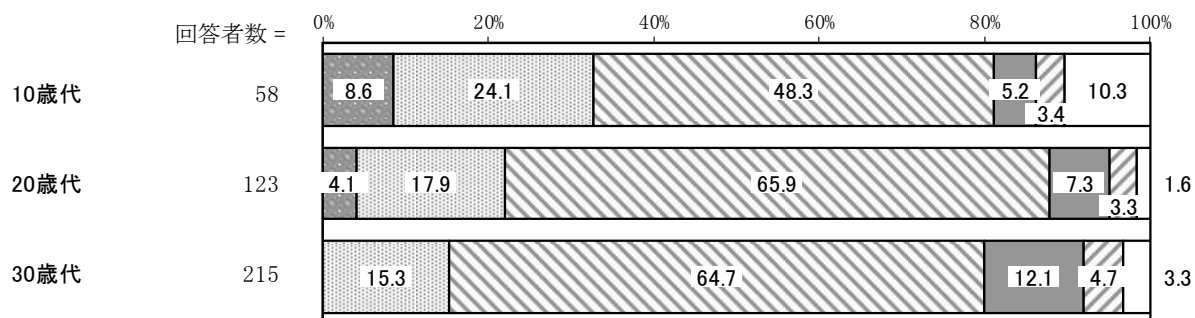
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、2割を超えています。



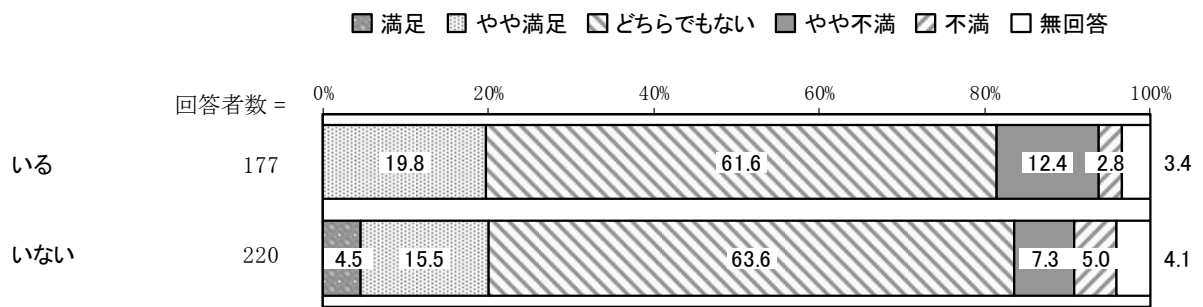
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



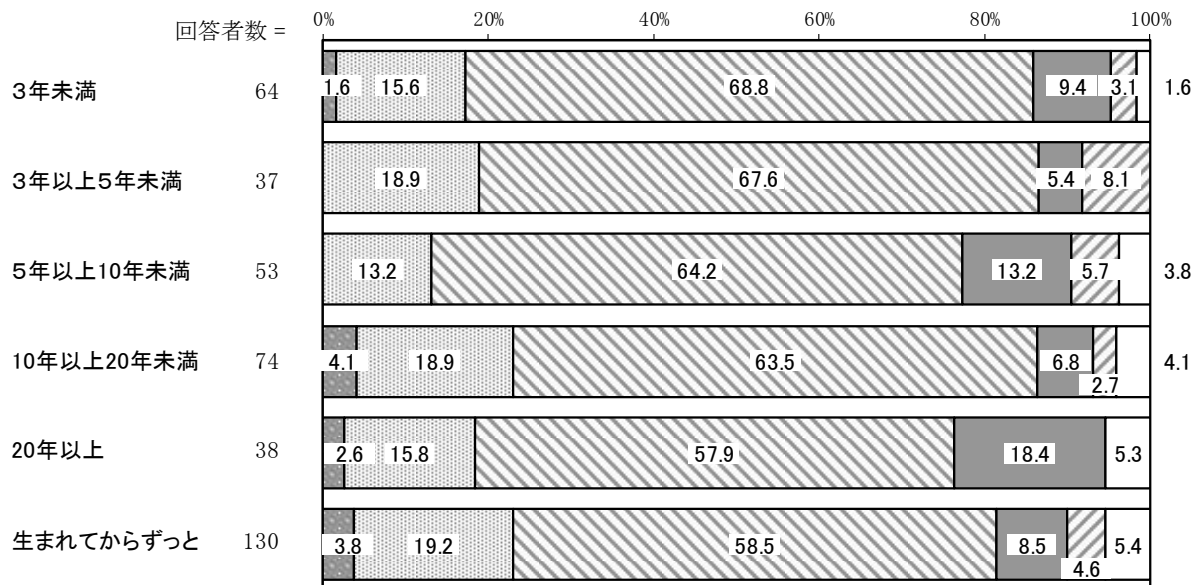
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

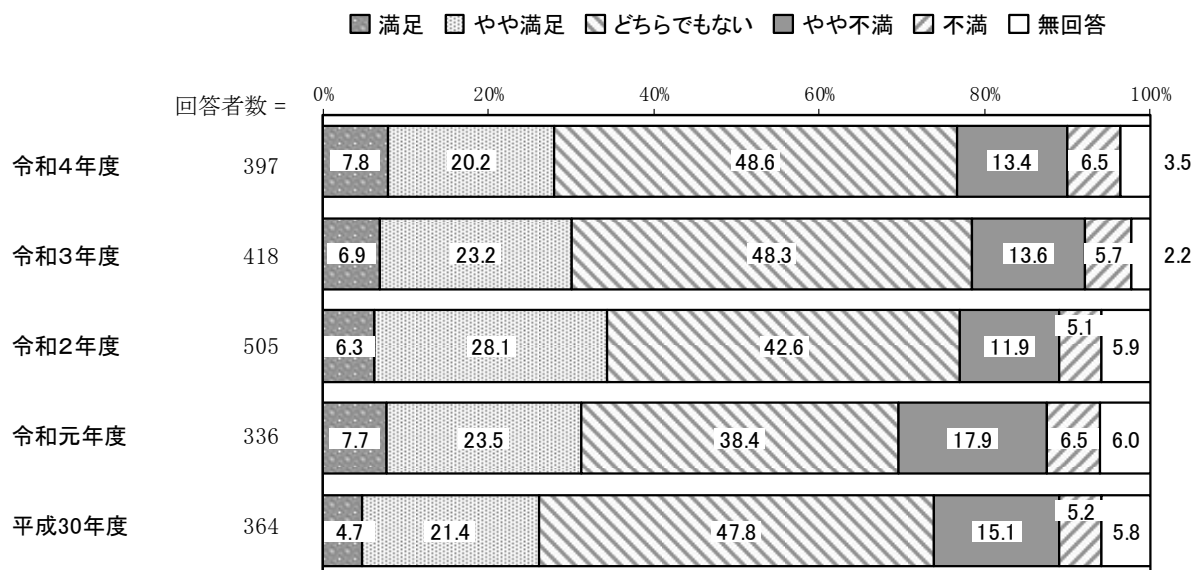
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

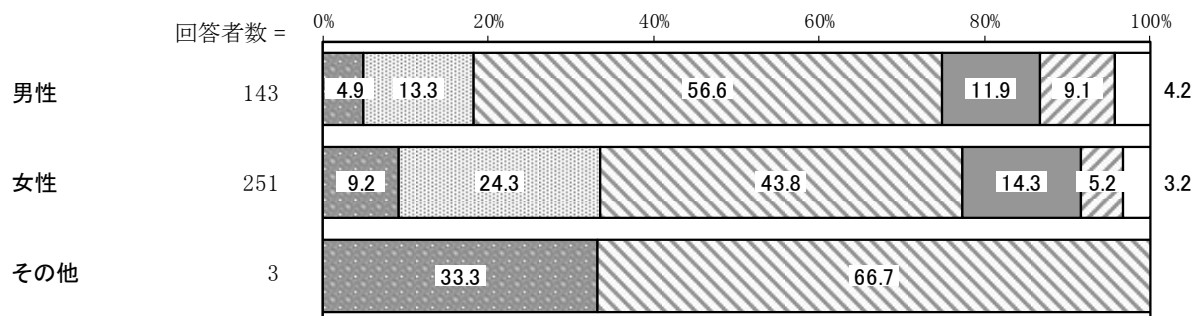
「どちらでもない」の割合が48.6%と最も高く、次いで“満足”の割合が28.0%、“不満”の割合が19.9%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和2年度以降“満足”の割合が減少する傾向がみられます。



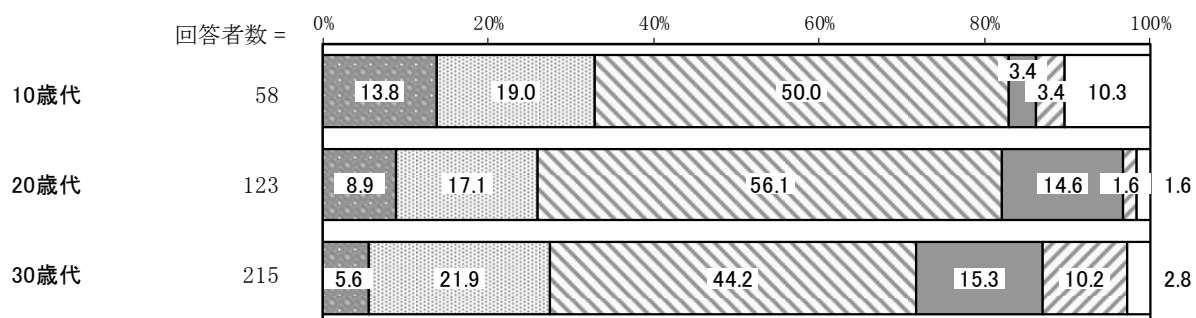
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



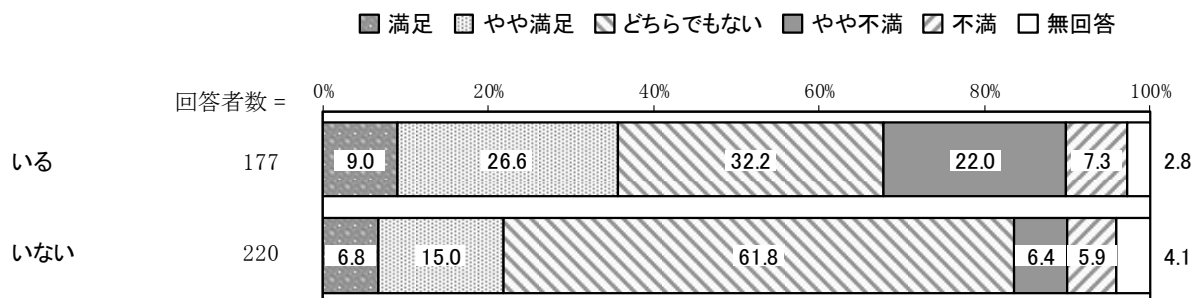
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、2割半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



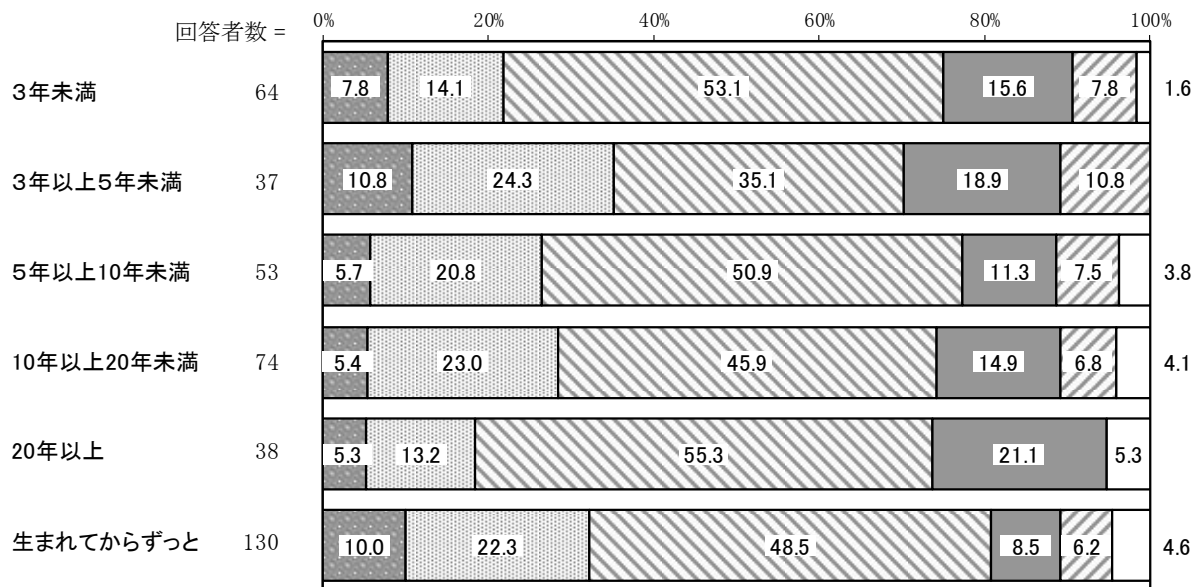
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”“満足”の割合が高くなっています。



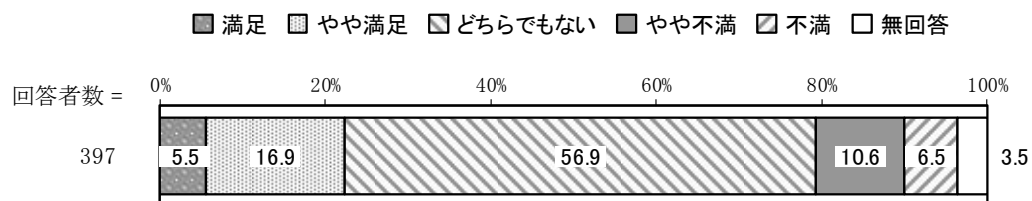
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



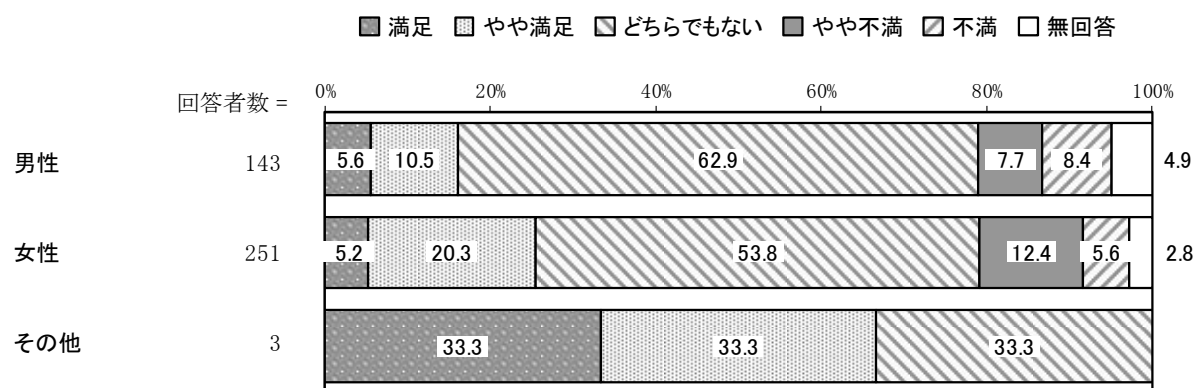
(9) 学びを支援する環境づくり

「どちらでもない」の割合が56.9%と最も高く、次いで“満足”の割合が22.4%、“不満”の割合が17.1%となっています。



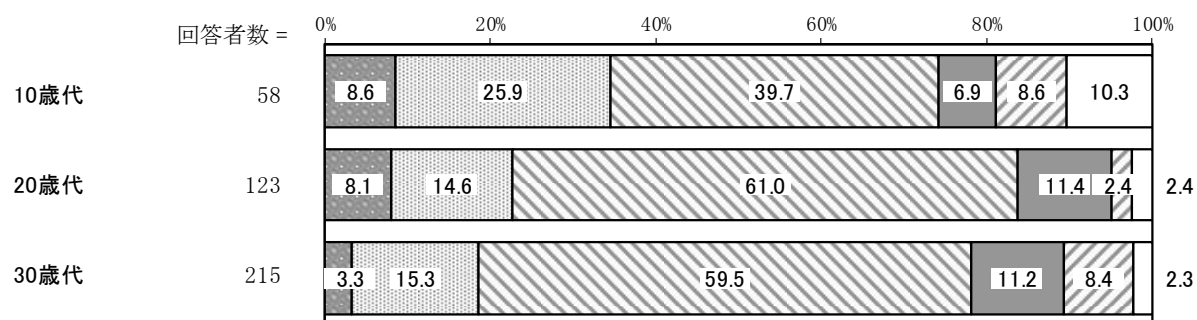
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、2割半ばとなっています。



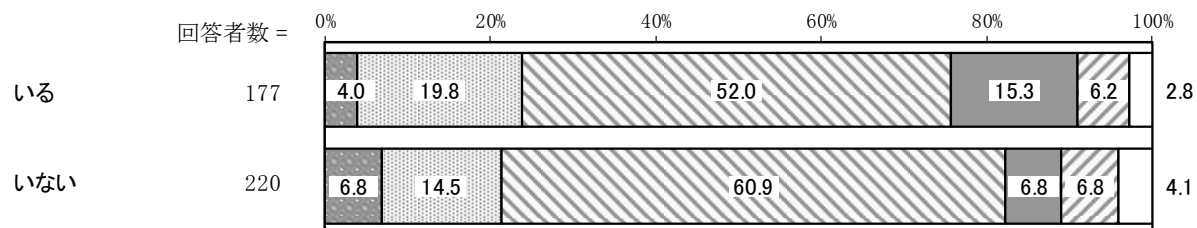
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、3割半ばとなっています。



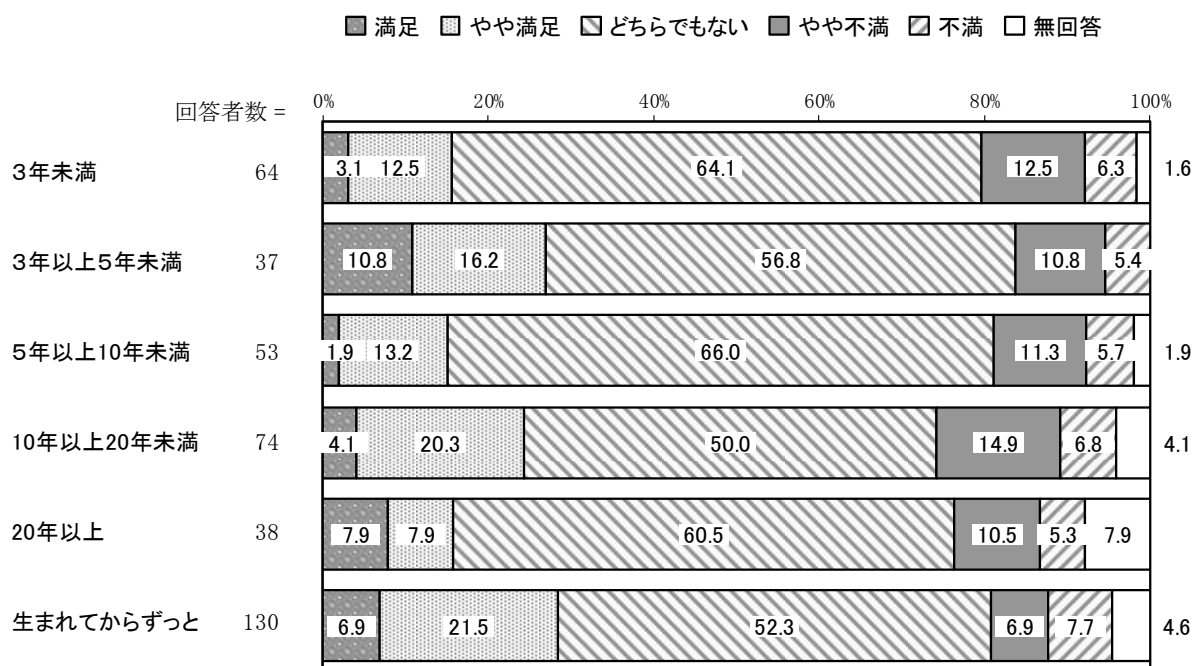
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”“不満”の割合が高く、2割を超えています。



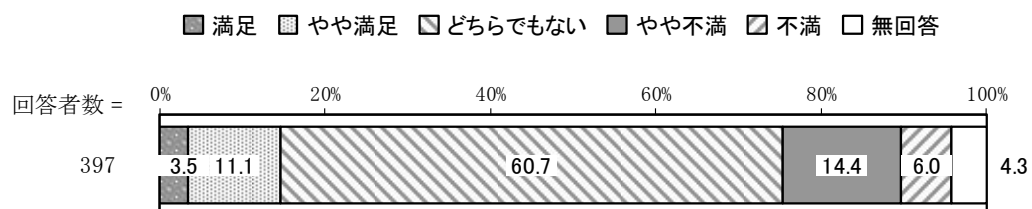
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



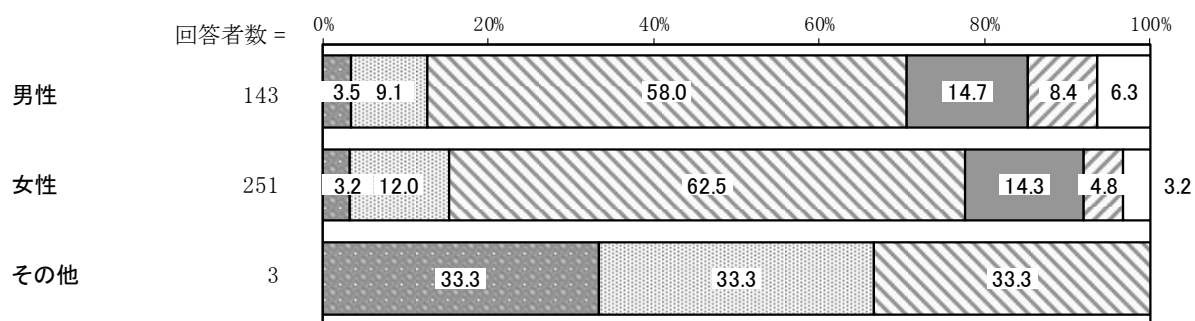
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成

「どちらでもない」の割合が60.7%と最も高く、次いで“不満”の割合が20.4%、“満足”の割合が14.6%となっています。



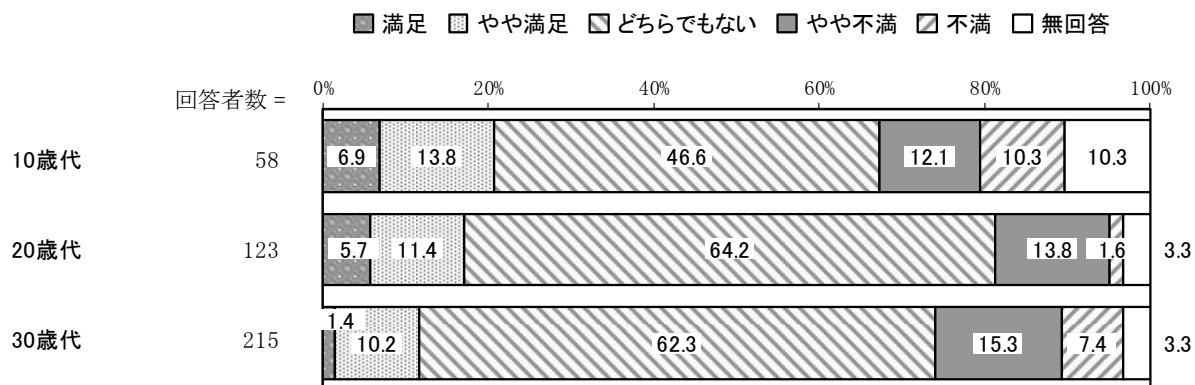
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



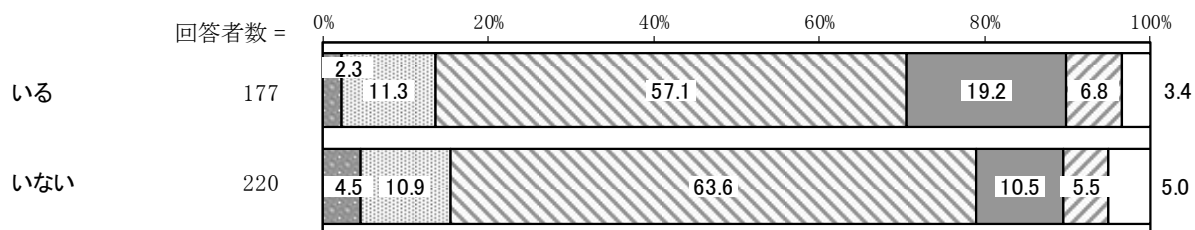
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“不満”の割合が高く、約 2 割となっています。



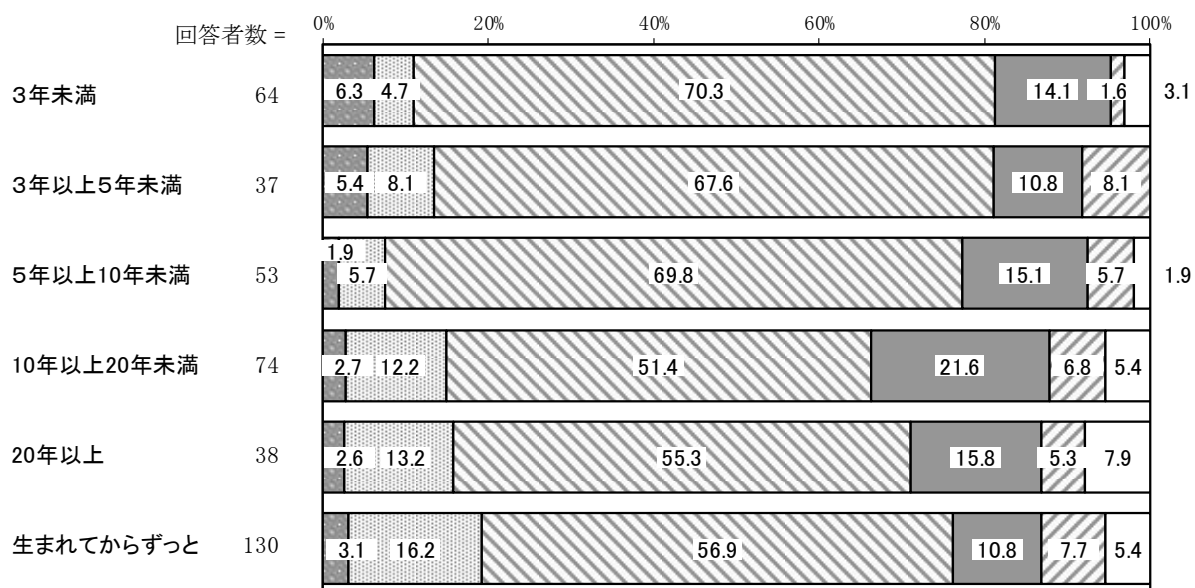
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、2 割半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“不満”の割合が高く、2 割半ばを超えています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

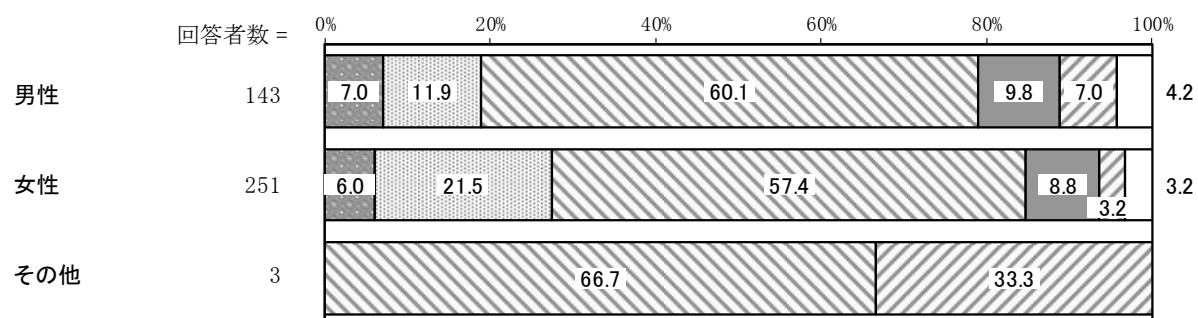
「どちらでもない」の割合が58.4%と最も高く、次いで“満足”の割合が24.2%、“不満”の割合が13.9%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、増減はありますが“満足”の割合が増加する傾向がみられます。



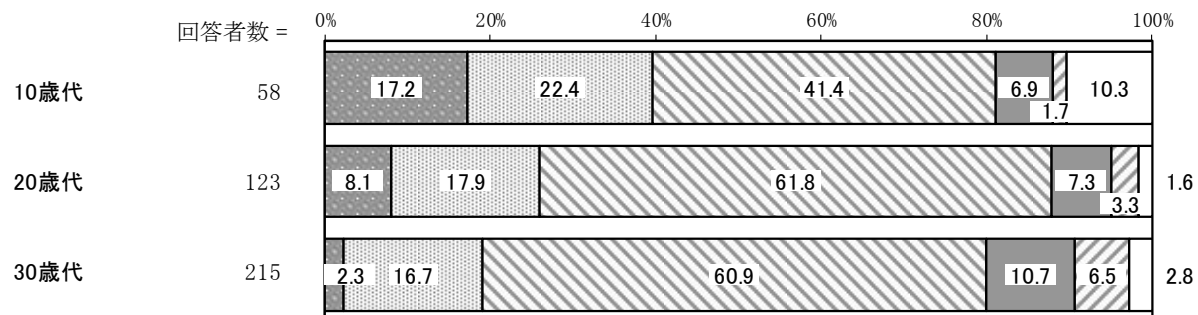
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



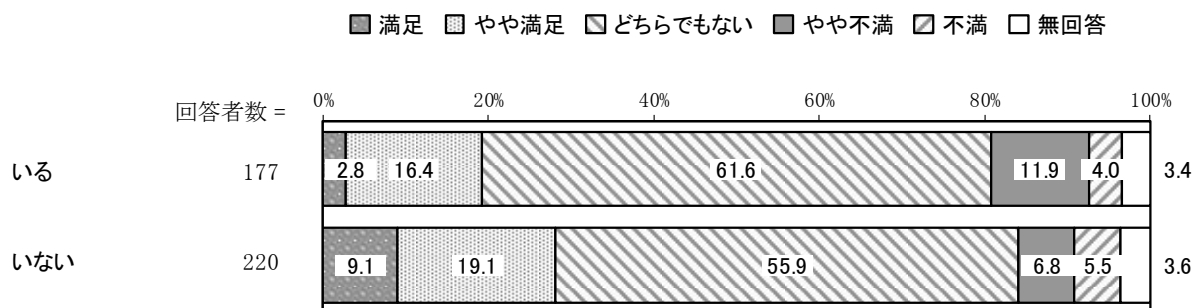
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ“不満”の割合が高くなっており、30歳代で2割近くとなっています。



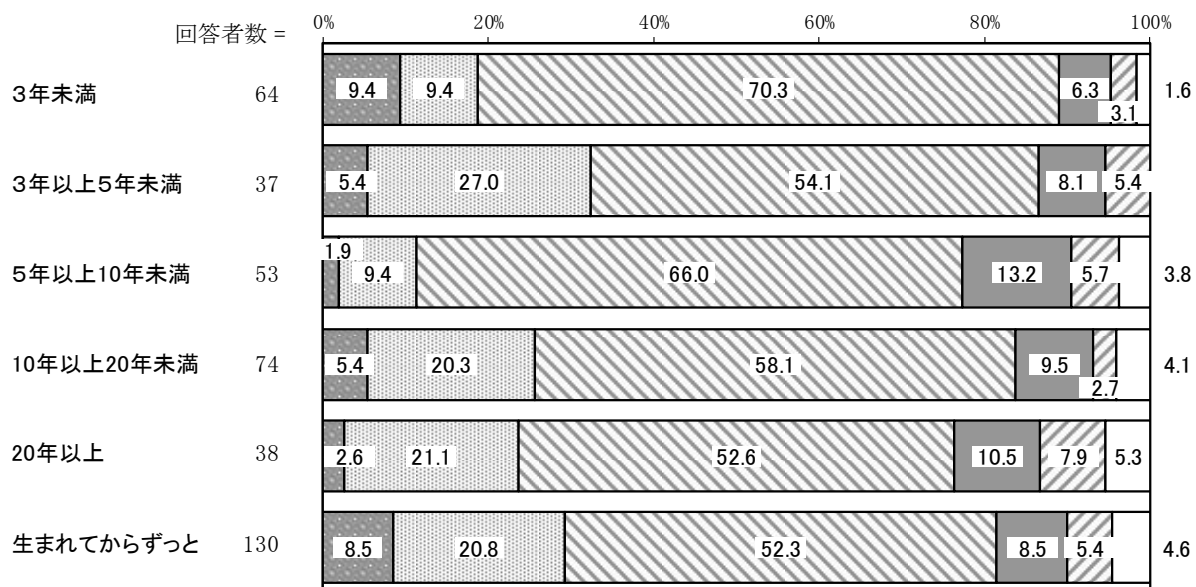
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、5年以上10年未満で“満足”の割合が低くなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

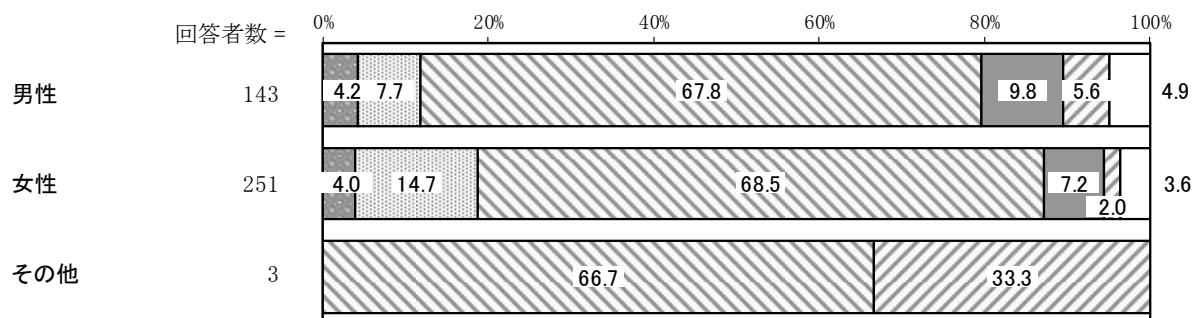
「どちらでもない」の割合が68.3%と最も高く、次いで“満足”の割合が16.1%、“不満”の割合が11.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



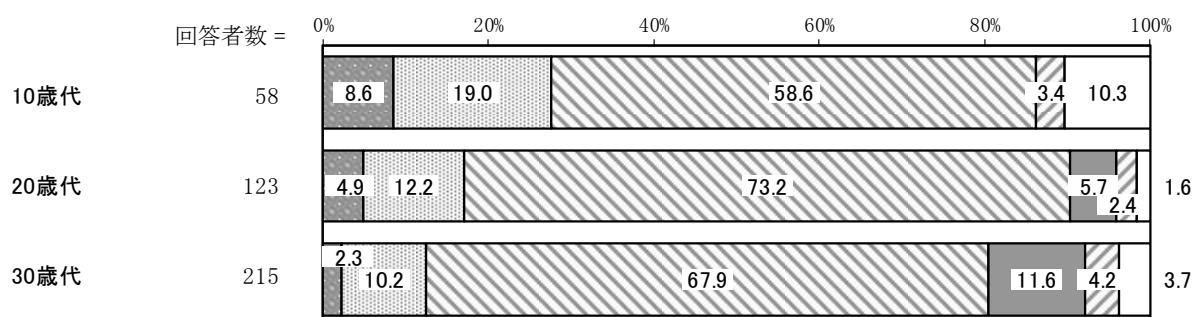
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、1割半ばとなっています。一方、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。



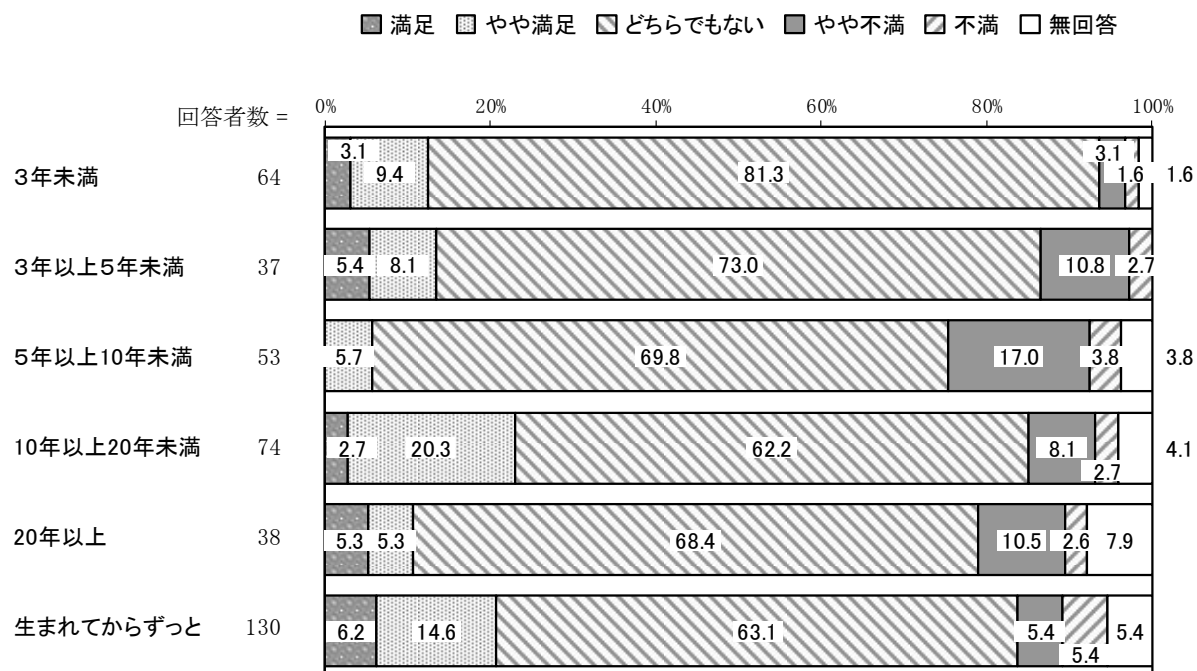
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、1割半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



【居住年数別】

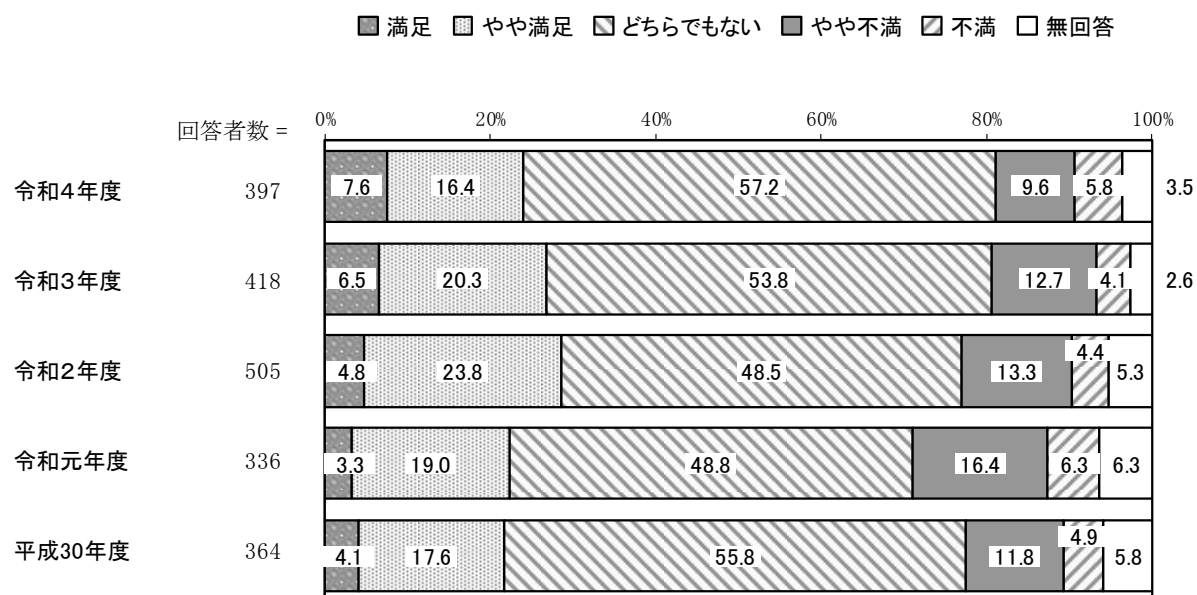
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

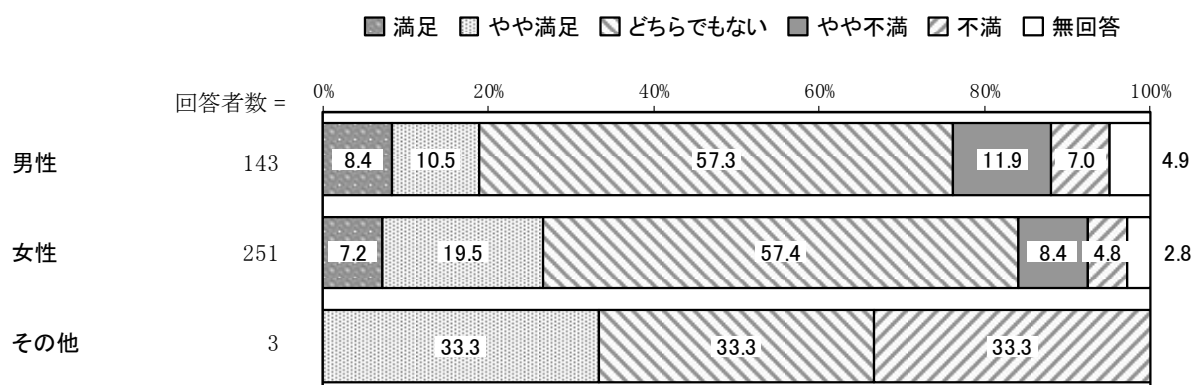
「どちらでもない」の割合が57.2%と最も高く、次いで“満足”の割合が24.0%、“不満”の割合が15.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、令和2年度以降“満足”の割合が減少する傾向がみられます。



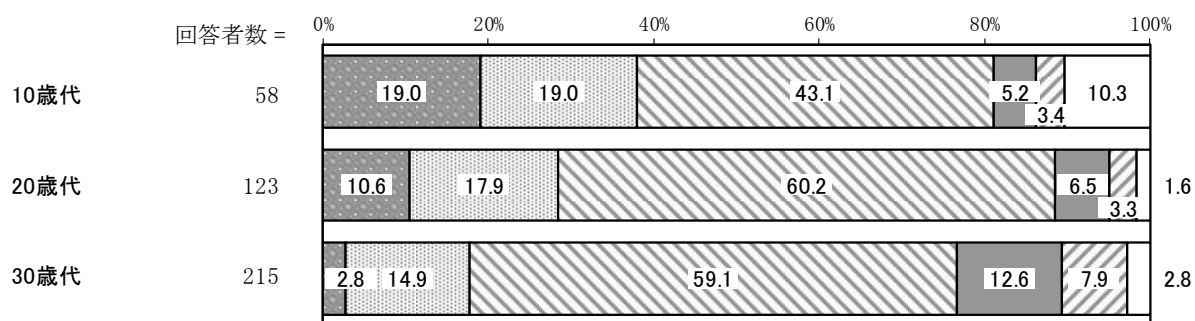
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。また、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



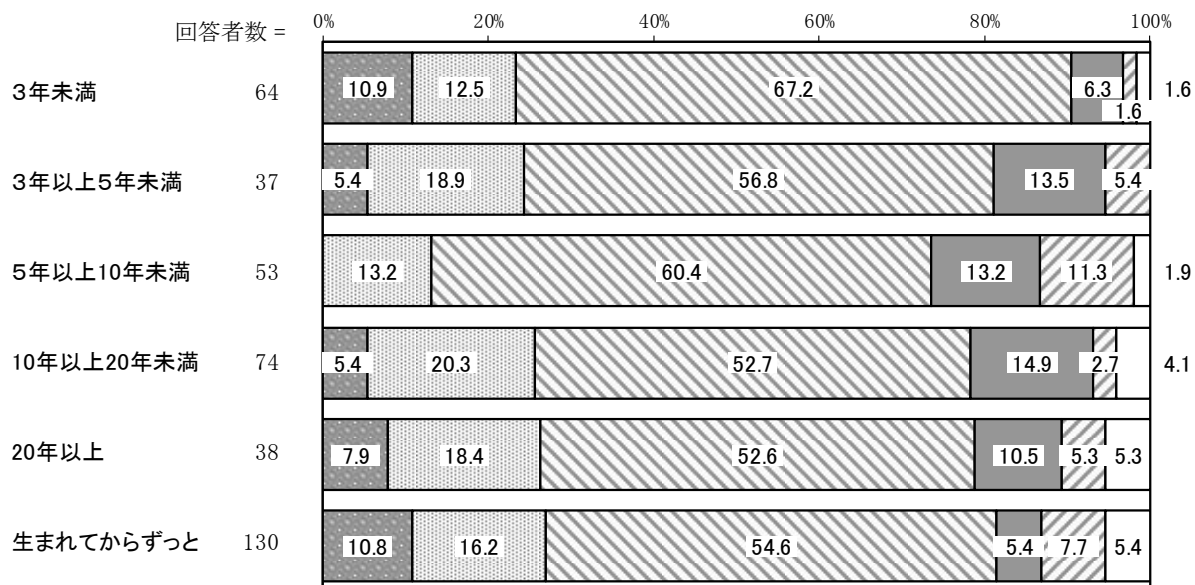
【年代別】

年代別でみると、10歳代で“満足”の割合が高く、4割近くとなっています。



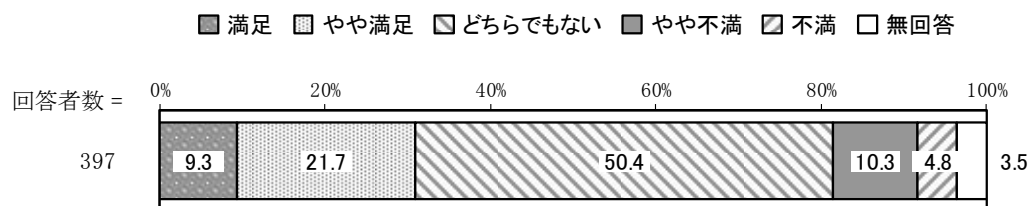
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が低くなっています。



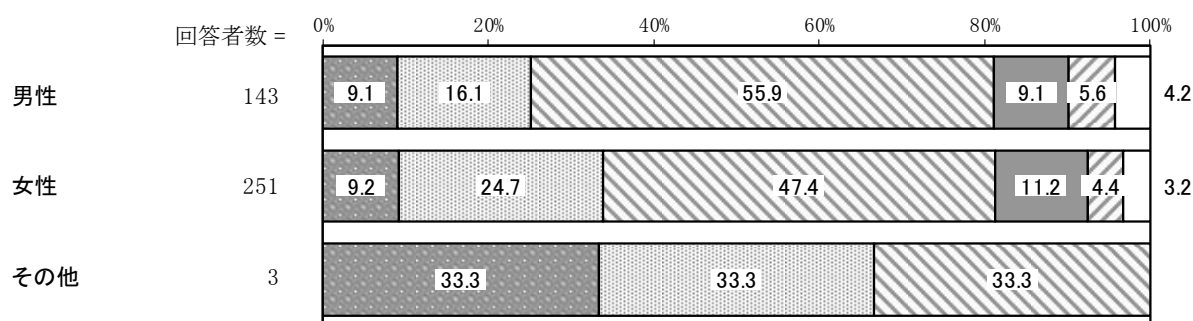
(14) 必要な医療サービスが受けられる

「どちらでもない」の割合が50.4%と最も高く、次いで“満足”の割合が31.0%、“不満”の割合が15.1%となっています。



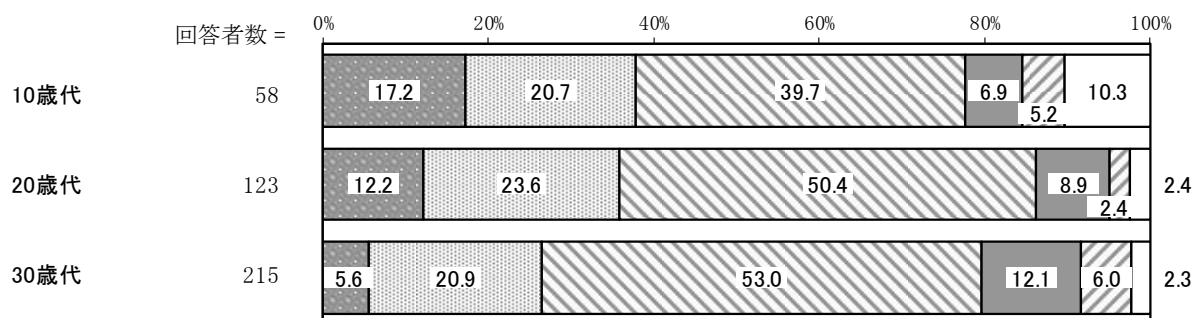
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



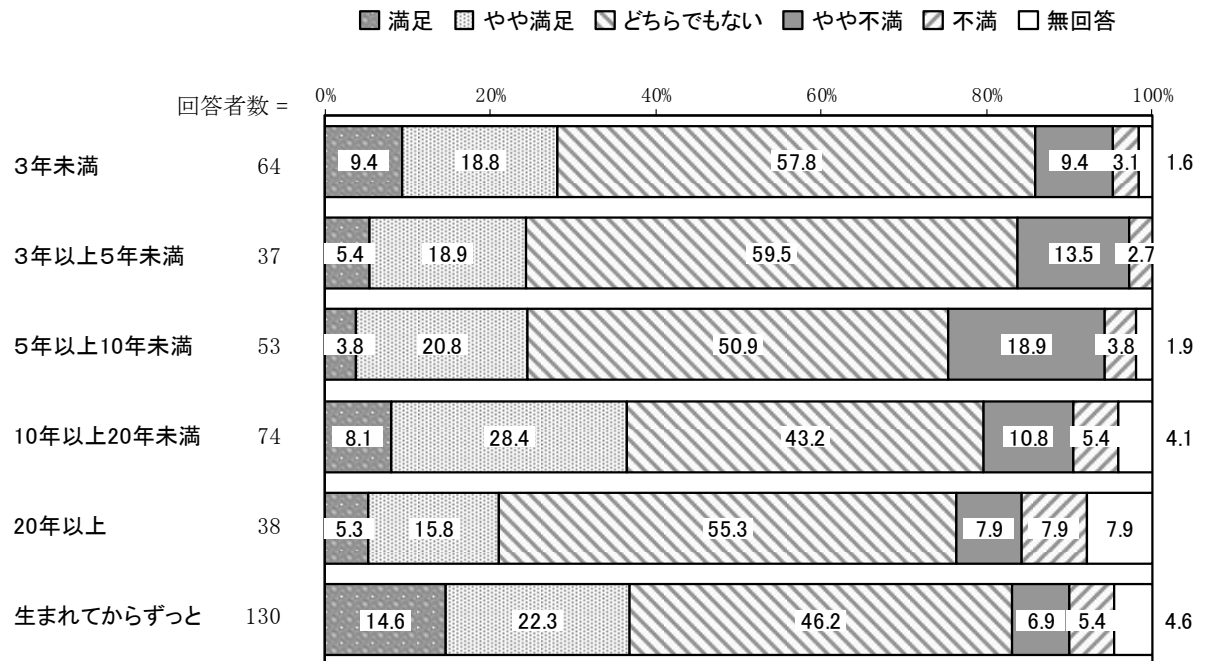
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を 5 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満	→	-2 点		重要ではない	→	-2 点
やや不満	→	-1 点		あまり重要ではない	→	-1 点
どちらでもない	→	0 点		どちらでもない	→	0 点
やや満足	→	1 点		やや重要	→	1 点
満足	→	2 点		重要	→	2 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

$2 \text{ 点} \times \text{「満足(重要)」の回答数}$
 $+ 1 \text{ 点} \times \text{「やや満足(やや重要)」の回答数}$
 $+ 0 \text{ 点} \times \text{「どちらでもない」の回答数}$
 $- 1 \text{ 点} \times \text{「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数}$
 $- 2 \text{ 点} \times \text{「不満(重要ではない)」の回答数} / \text{無回答を除く回答数}$

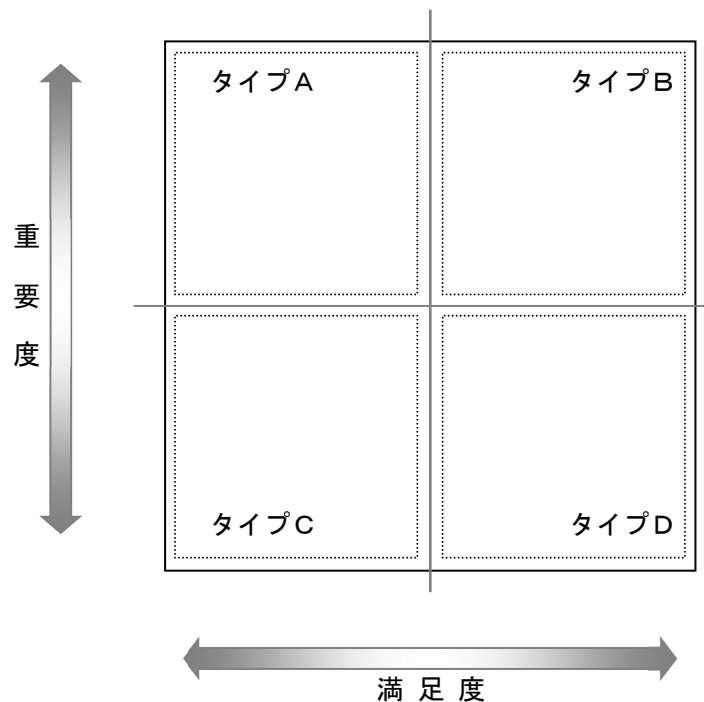
算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(14) 必要な医療サービスが受けられる	0.21	第1位	1.60	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(6) 地域と市民の元気づくり	0.13	第2位	1.54	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.12	第3位	1.45	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.06	第12位	0.81	(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成	-0.09	第13位	0.71	(4) シティプロモーションの推進
(4) シティプロモーションの推進	-0.13	最下位	0.60	(5) 定住・移住の促進

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

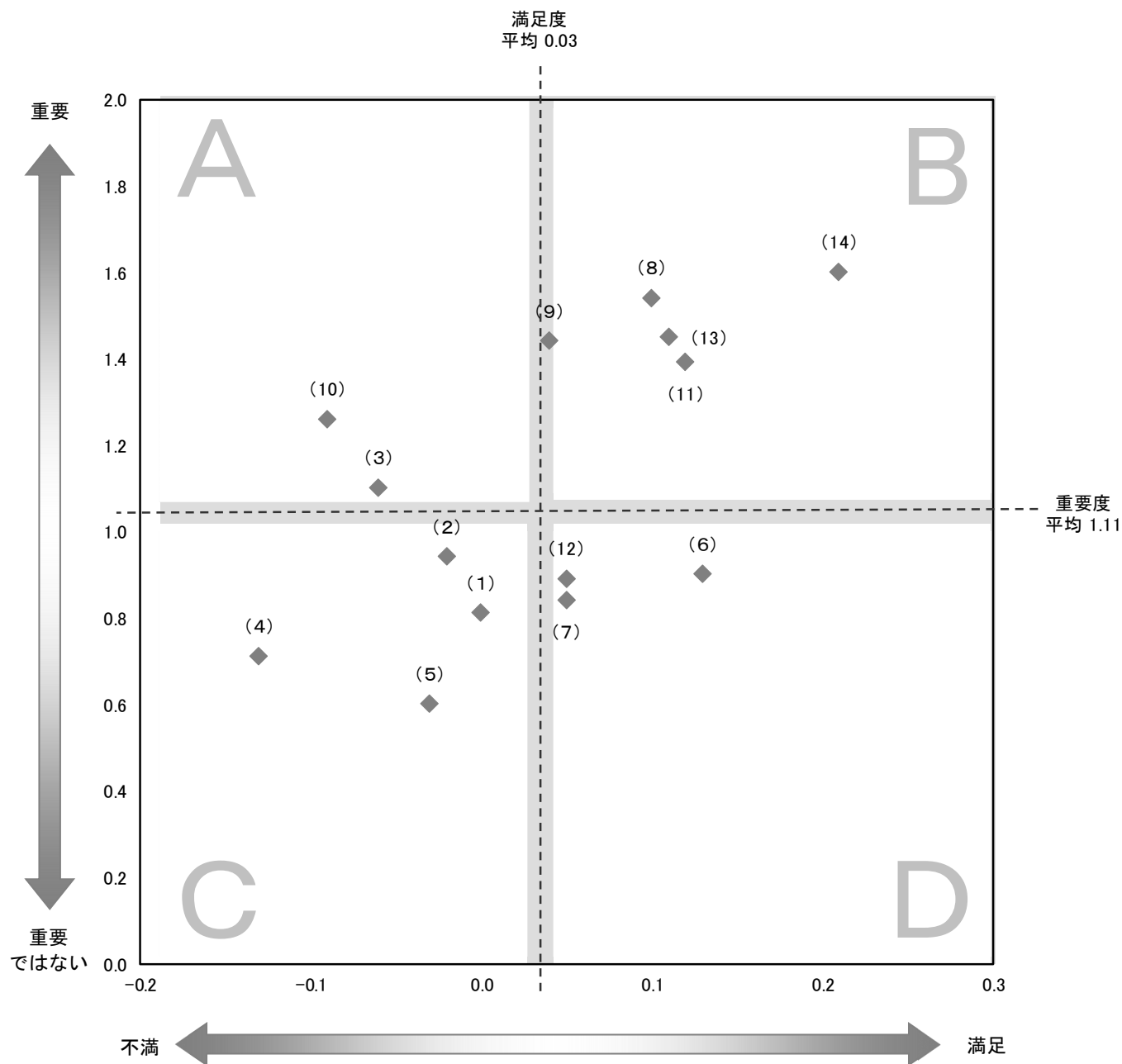
◆タイプD

満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 397）

満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(14)必要な医療サービスが受けられる』『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安全・安心に暮らせる生活環境づくり』『(9)学びを支援する環境づくり』となっています。



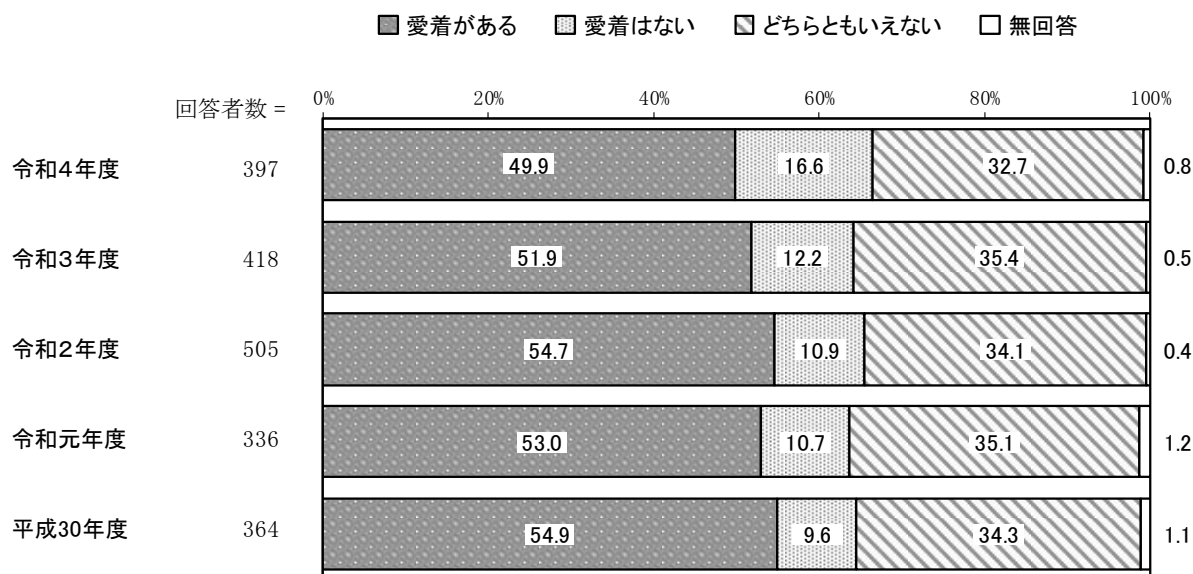
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 子ども達の未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

（４）可児市のイメージについて

問 19 可児市に愛着はありますか。（○は１つだけ）

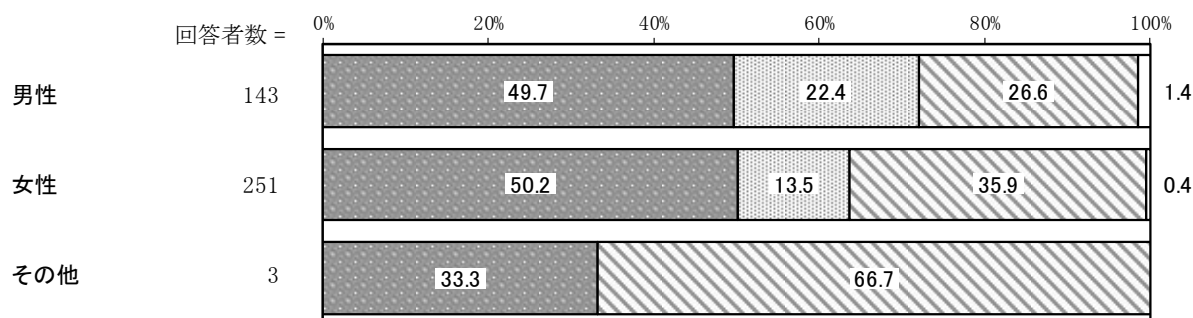
「愛着がある」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 32.7%、「愛着はない」の割合が 16.6%となっています。

令和３年度以前の調査と比較すると、「愛着はない」の割合が増加する傾向がみられます。



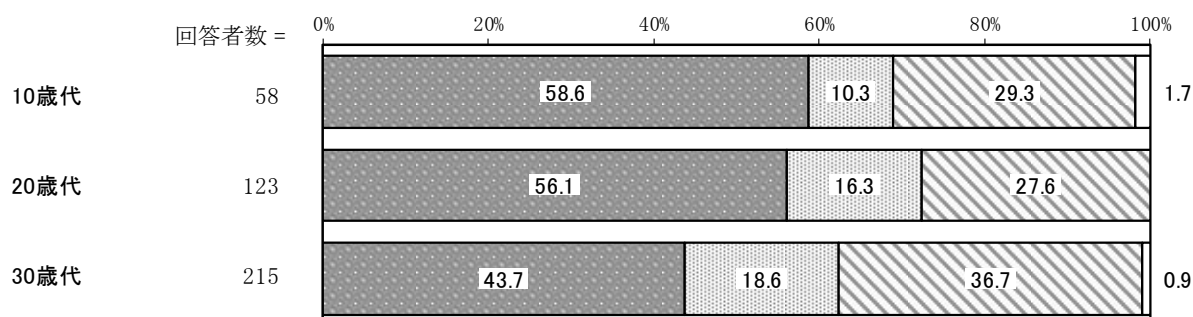
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着はない」の割合が高く、２割を超えています。



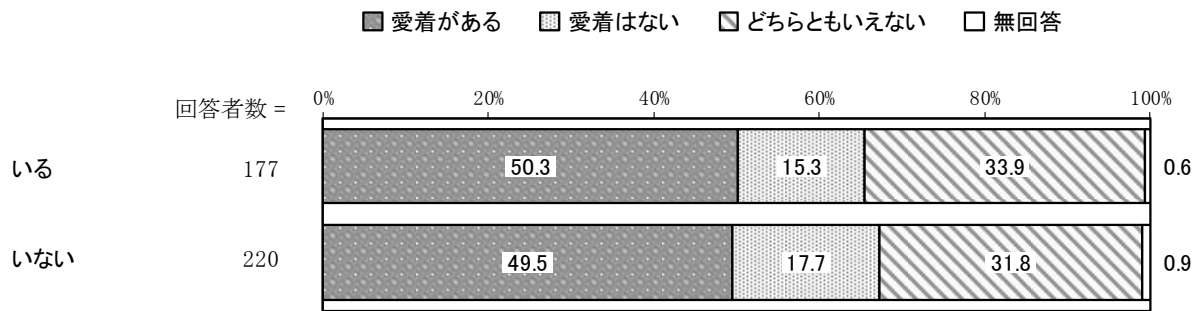
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「愛着がある」の割合が低く、５割以下となっています。



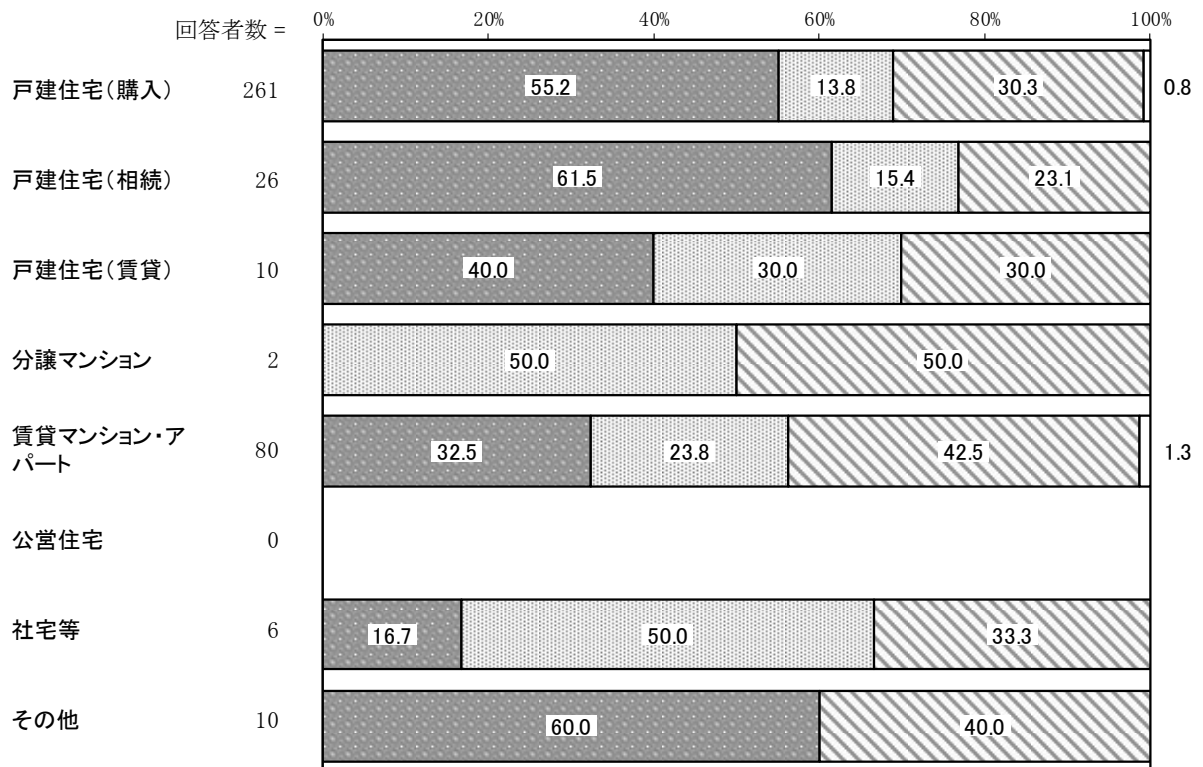
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



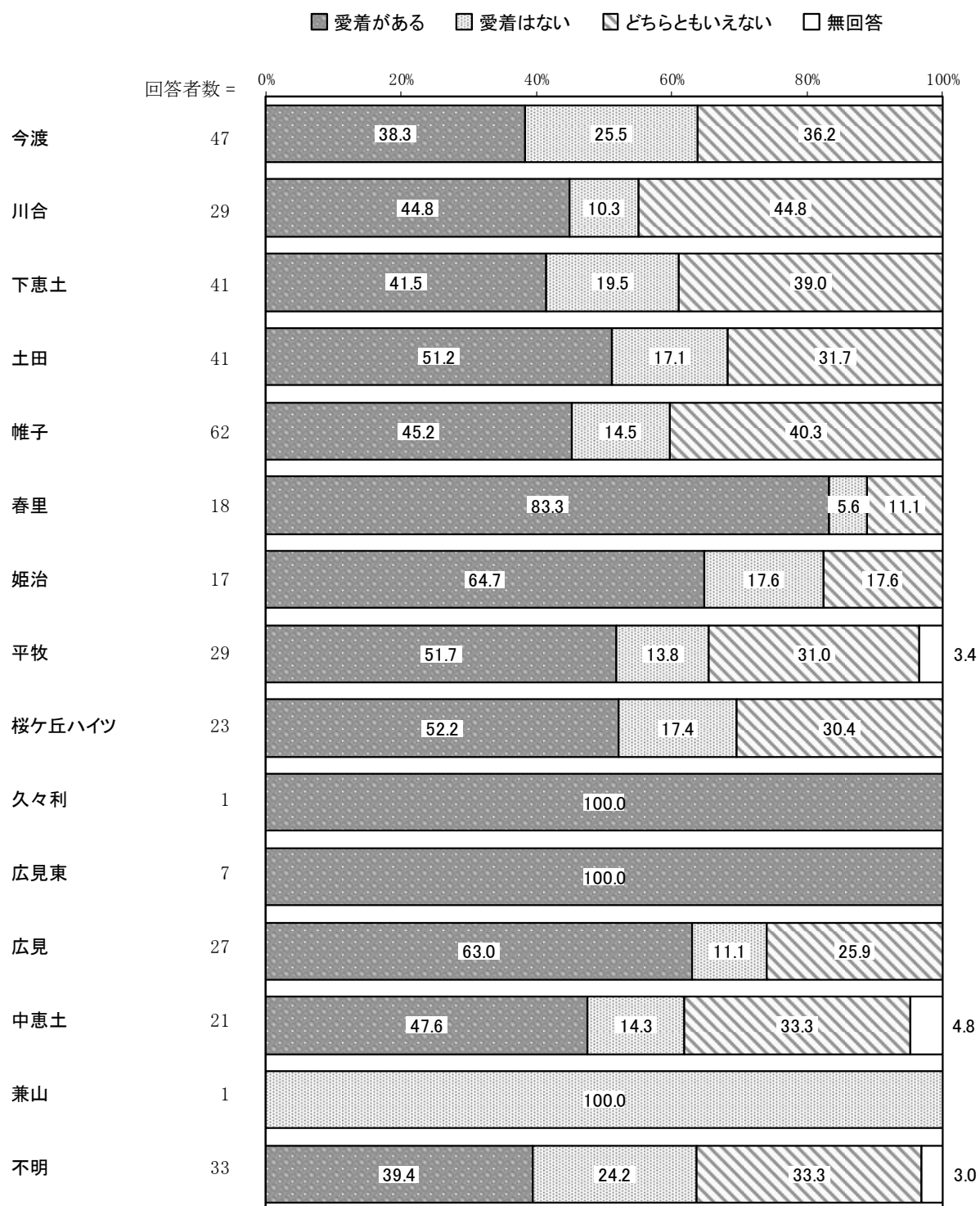
【住まいの形態別】

住まいの形態別でみると、他に比べ、戸建住宅（相続）で「愛着がある」の割合が高く、6割を超えています。



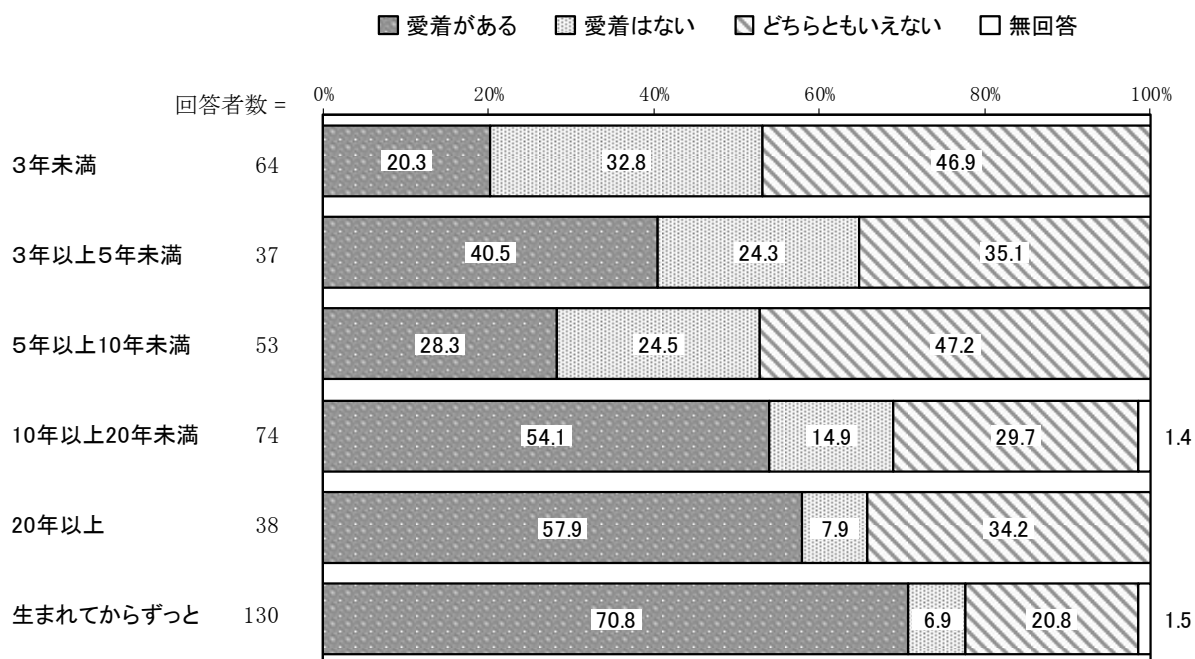
【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、春里で「愛着がある」の割合が高く、8割を超えています。また、今渡で「愛着はない」の割合が高く、2割半ばとなっています。



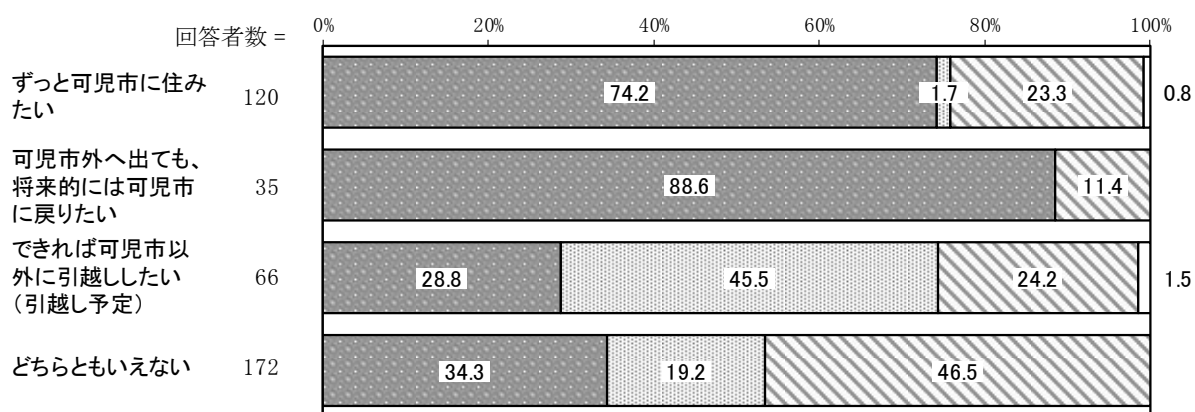
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。また、3年未満で「愛着はない」の割合が高く、3割を超えています。



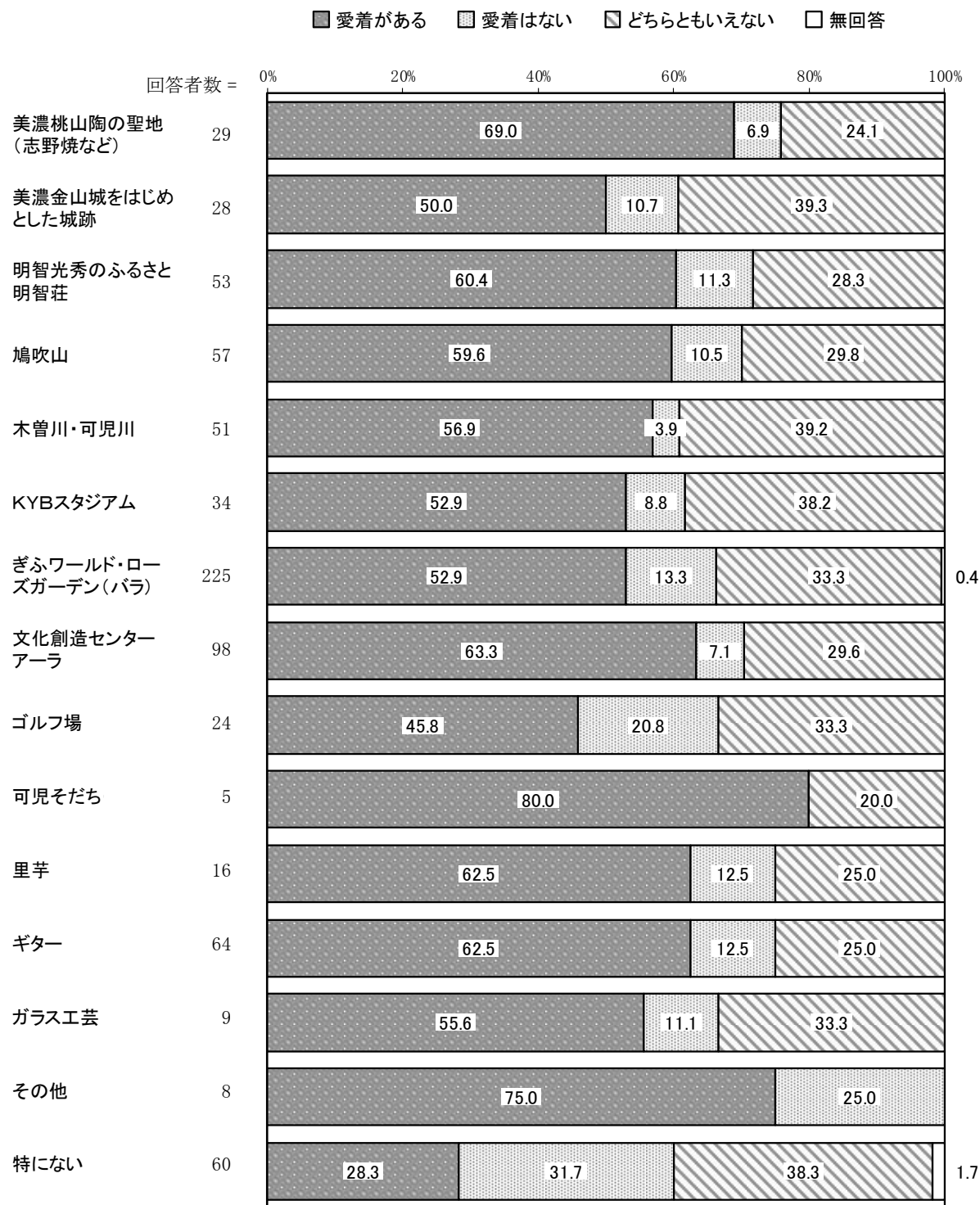
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、9割近くとなっています。また、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、4割半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、美濃桃山陶の聖地（志野焼など）で「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。また、特にないで「愛着はない」の割合が高く、3割を超えています。

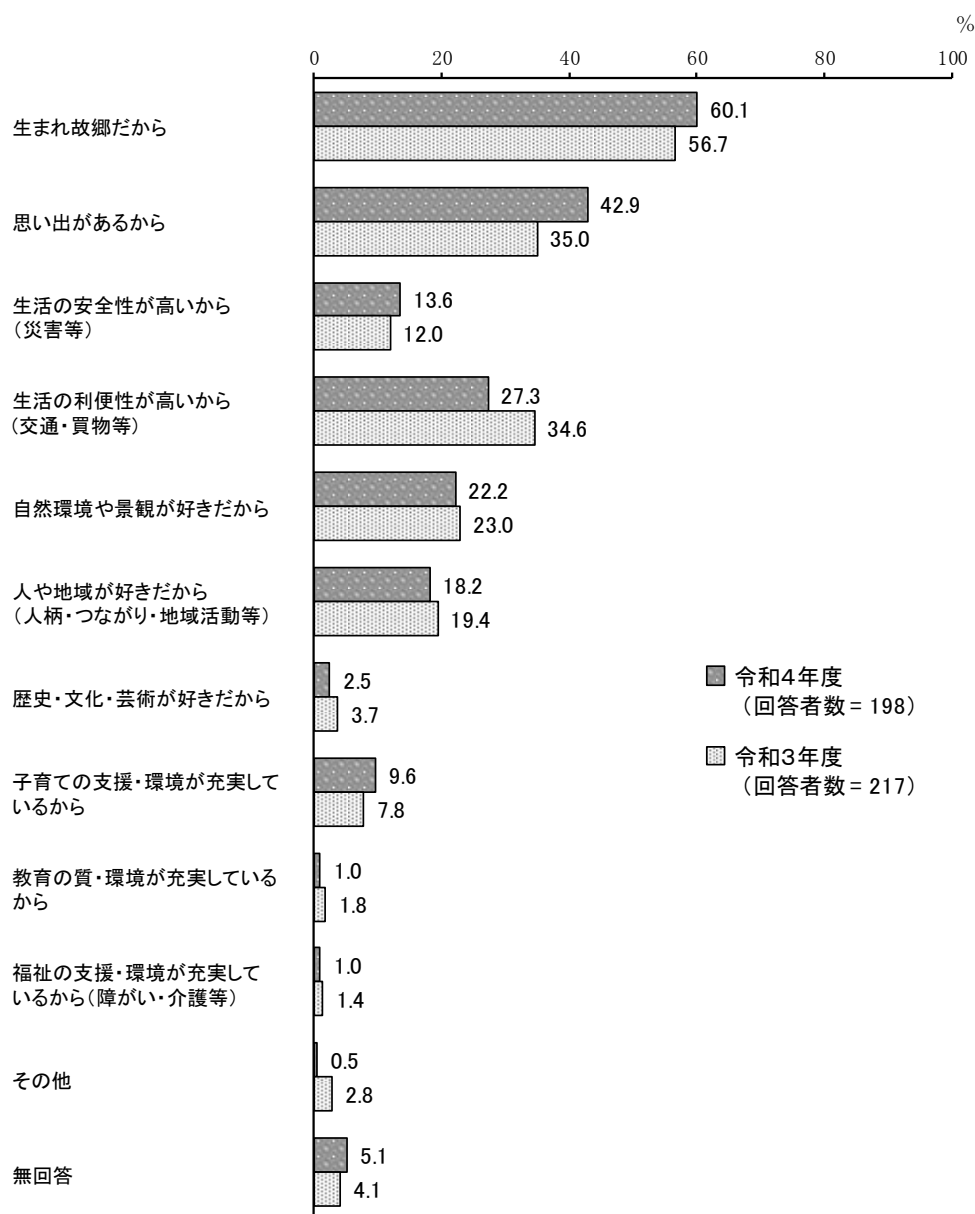


【問 19 で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 20 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「生まれ故郷だから」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「思い出があるから」の割合が 42.9%、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が 27.3%となっています。

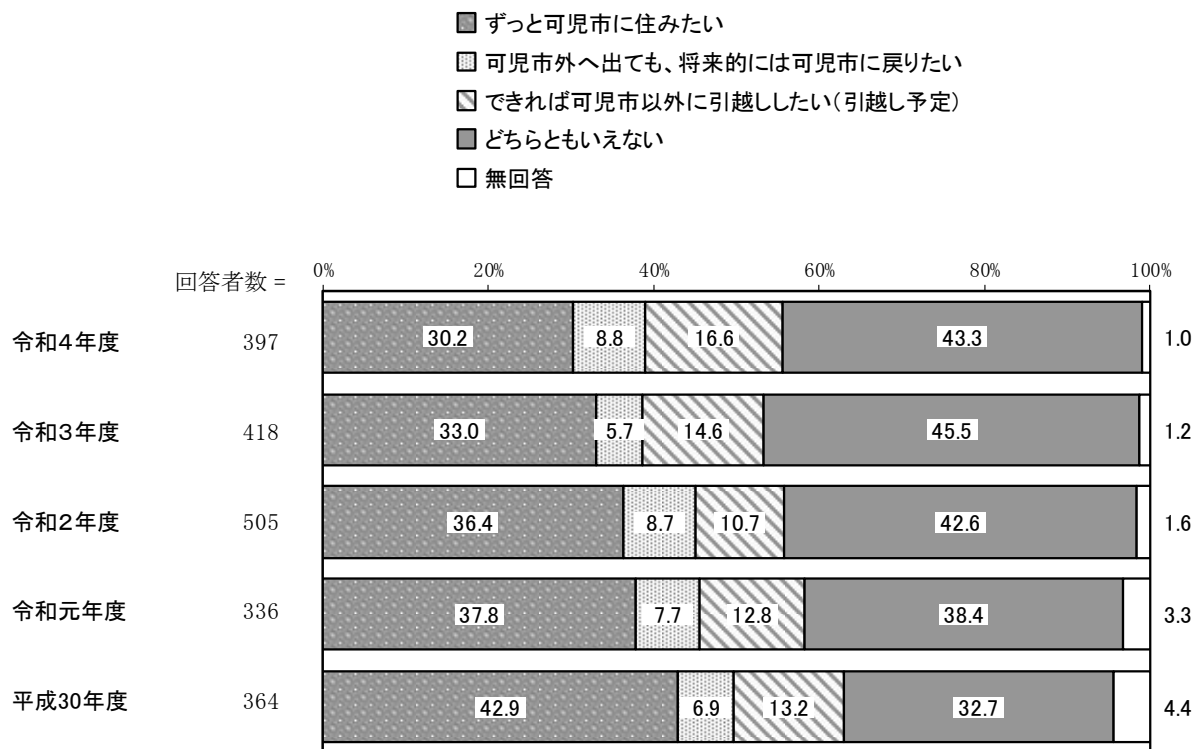
令和3年度の調査と比較すると、「思い出があるから」の割合が増加し、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が減少しています。



問 21 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

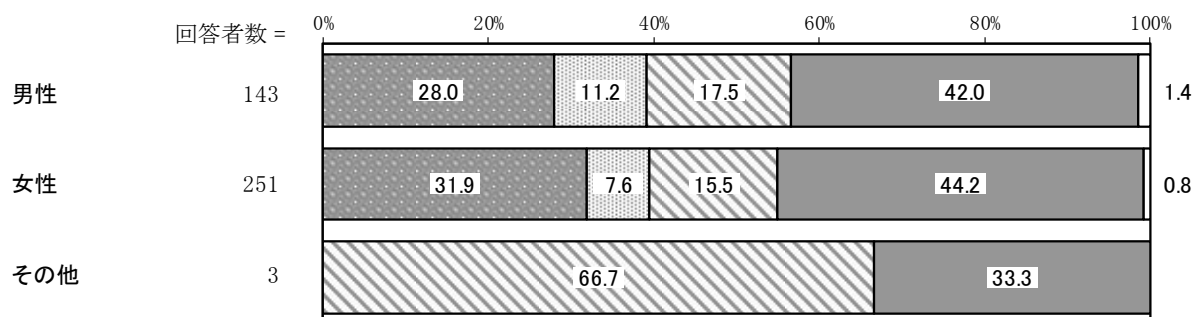
「どちらともいえない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい」の割合が 30.2%、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が 16.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「ずっと可児市に住みたい」の割合が減少する傾向がみられます。



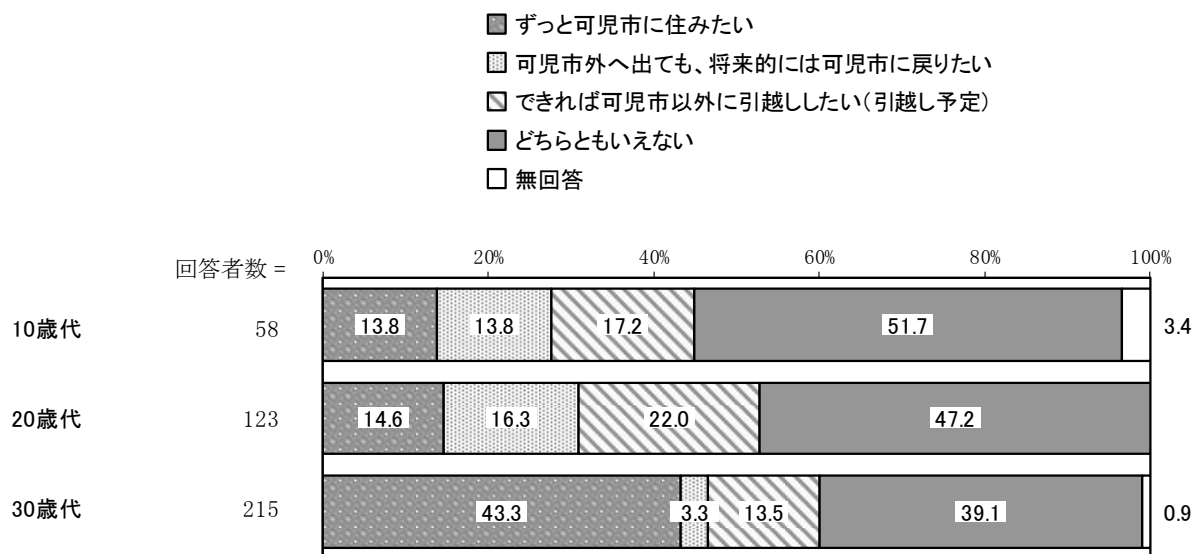
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



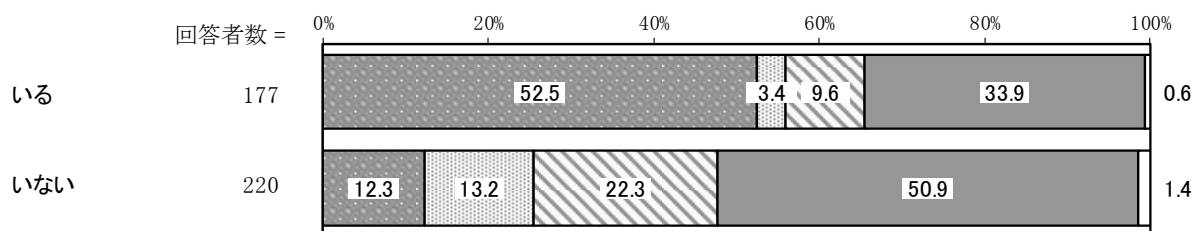
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、4割を超えています。また、30歳代で「どちらともいえない」の割合が低く、約4割となっています。



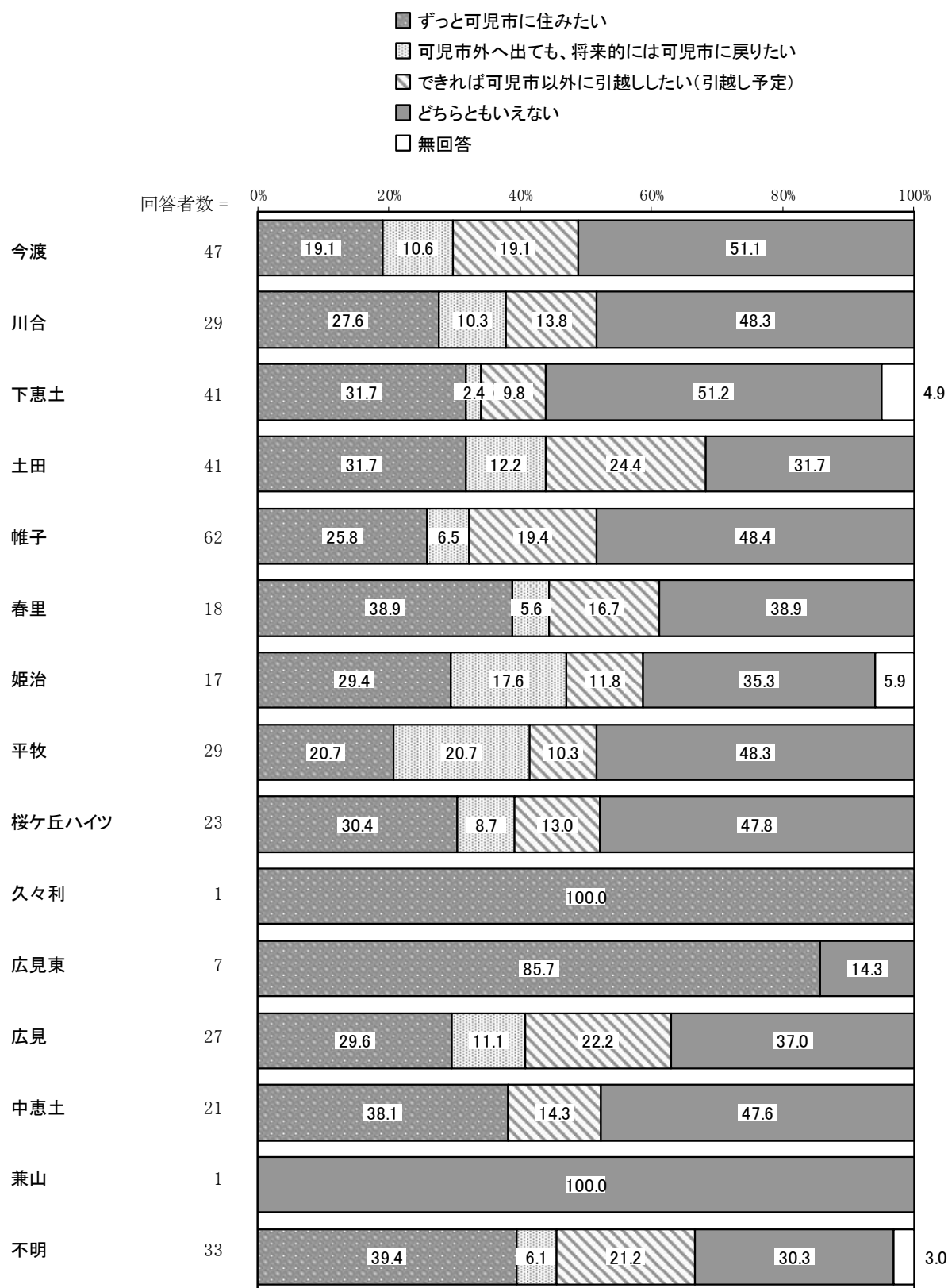
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割を超えています。また、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引っ越したい」(引っ越し予定)、「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



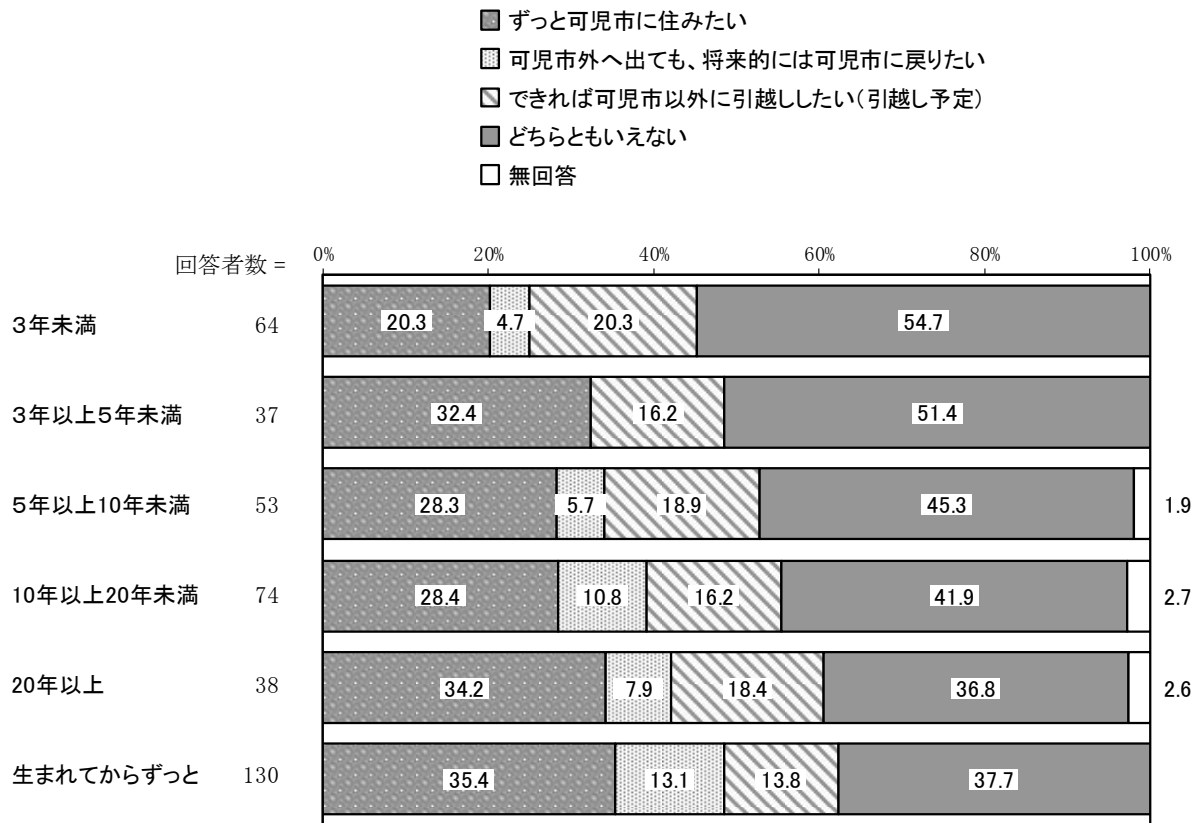
【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、春里、中恵土で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、4割近くとなっています。また、平牧で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、3年未満で、「どちらともいえない」の割合が高く、5割半ばとなっています。

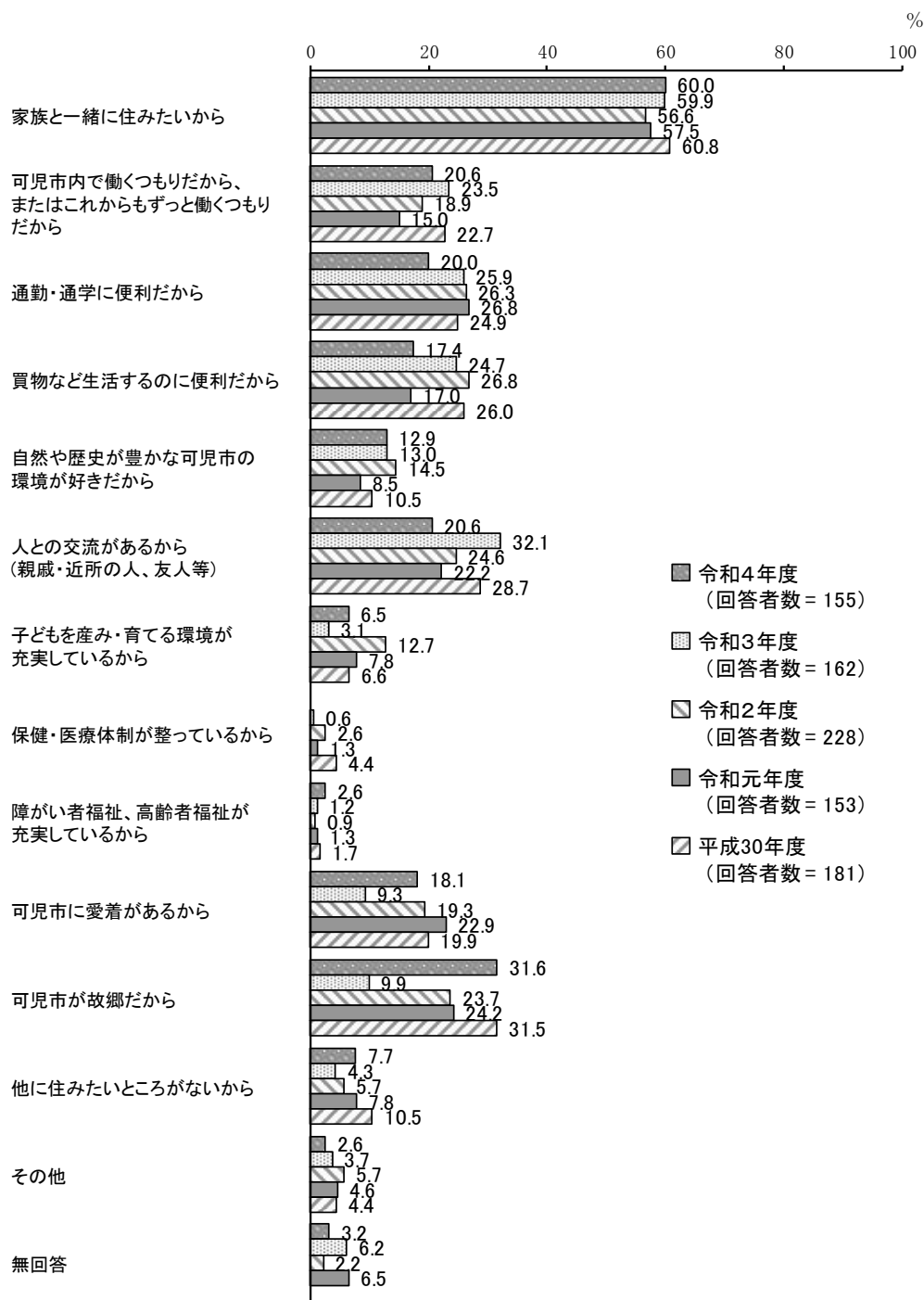


【問 21 で 1 または 2（ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出て、将来的には戻りたい）を選択した方に伺います】

問 22 その理由は何ですか。（○は3つまで）

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「可児市が故郷だから」の割合が 31.6%、「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が 20.6%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が増加し、「通勤・通学に便利だから」「買物など生活するのに便利だから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「家族と一緒に住みたいから」「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	56	66.1	28.6	25.0	17.9	14.3	16.1	－	－	5.4	19.6	28.6	12.5	3.6	1.8
女性	99	56.6	16.2	17.2	17.2	12.1	23.2	10.1	－	1.0	17.2	33.3	5.1	2.0	4.0
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「家族と一緒に住みたいから」「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が高くなっています。また、10 歳代で「通勤・通学に便利だから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が	人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10 歳代	16	37.5	—	25.0	6.3	12.5	12.5	6.3	—	6.3	31.3	50.0	12.5	—	—	
20 歳代	38	68.4	28.9	18.4	15.8	13.2	36.8	7.9	—	—	21.1	39.5	2.6	—	2.6	
30 歳代	100	60.0	21.0	20.0	20.0	13.0	15.0	6.0	—	3.0	15.0	25.0	9.0	4.0	4.0	

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「通勤・通学に便利だから」「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	99	60.6	20.2	17.2	17.2	13.1	22.2	8.1	—	1.0	12.1	23.2	7.1	3.0	4.0
いない	56	58.9	21.4	25.0	17.9	12.5	17.9	3.6	—	5.4	28.6	46.4	8.9	1.8	1.8

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、平牧で「家族と一緒に住みたいから」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。また、川合で「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高く、2割近くとなっています。

単位：％

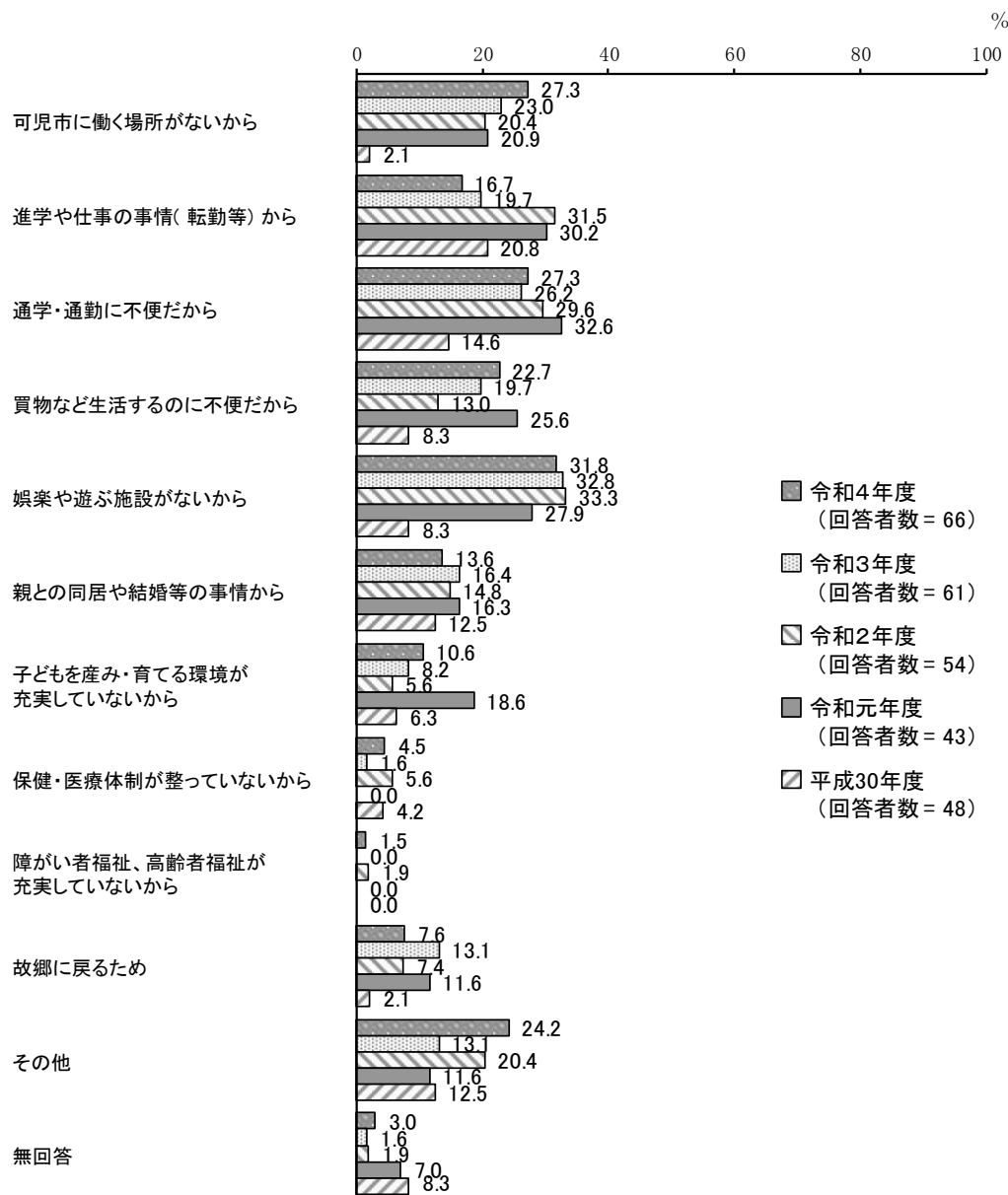
区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	14	42.9	14.3	28.6	28.6	21.4	14.3	7.1	—	7.1	7.1	21.4	—	7.1	7.1
川合	11	63.6	45.5	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	—	9.1	18.2	18.2	27.3	—	—
下恵土	14	78.6	50.0	28.6	28.6	—	7.1	—	—	—	7.1	35.7	—	—	—
土田	18	61.1	11.1	22.2	27.8	11.1	16.7	5.6	—	—	16.7	22.2	11.1	—	—
帷子	20	35.0	20.0	30.0	5.0	5.0	25.0	—	—	—	15.0	40.0	10.0	—	10.0
春里	8	37.5	—	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	—	—	25.0	50.0	12.5	—	—
姫治	8	50.0	12.5	—	—	25.0	25.0	12.5	—	—	12.5	12.5	—	12.5	25.0
平牧	12	83.3	16.7	33.3	—	16.7	8.3	—	—	—	33.3	25.0	25.0	—	—
桜ヶ丘ハイッ	9	88.9	11.1	22.2	—	22.2	11.1	11.1	—	—	11.1	66.7	11.1	—	—
久々利	1	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
広見東	6	83.3	16.7	16.7	—	16.7	33.3	—	—	—	16.7	33.3	—	—	—
広見	11	63.6	9.1	—	36.4	18.2	36.4	—	—	—	27.3	54.5	—	—	—
中恵土	8	62.5	12.5	—	25.0	12.5	25.0	12.5	—	—	25.0	25.0	—	12.5	—
兼山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不明	15	53.3	33.3	20.0	26.7	—	33.3	13.3	—	6.7	26.7	20.0	—	6.7	—

【問 21 で 3（できれば可児市以外に引越したい（引っ越し予定））を選択した方に伺います】

問 23 その理由は何ですか。（○は3つまで）

「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「可児市に働く場所がないから」「通学・通勤に不便だから」の割合が 27.3%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「故郷に戻るため」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「買物など生活するのに不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「親との同居や結婚等の事情から」「保健・医療体制が整っていないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	25	8.0	8.0	24.0	32.0	44.0	8.0	12.0	—	—	4.0	24.0	4.0
女性	39	41.0	20.5	30.8	17.9	25.6	17.9	10.3	7.7	—	10.3	25.6	2.6
その他	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	17	17.6	17.6	17.6	29.4	23.5	11.8	23.5	5.9	—	17.6	29.4	—
いない	49	30.6	16.3	30.6	20.4	34.7	14.3	6.1	4.1	2.0	4.1	22.4	4.1

【居住地区別】

居住地区別では、土田で「可児市に働く場所がないから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。

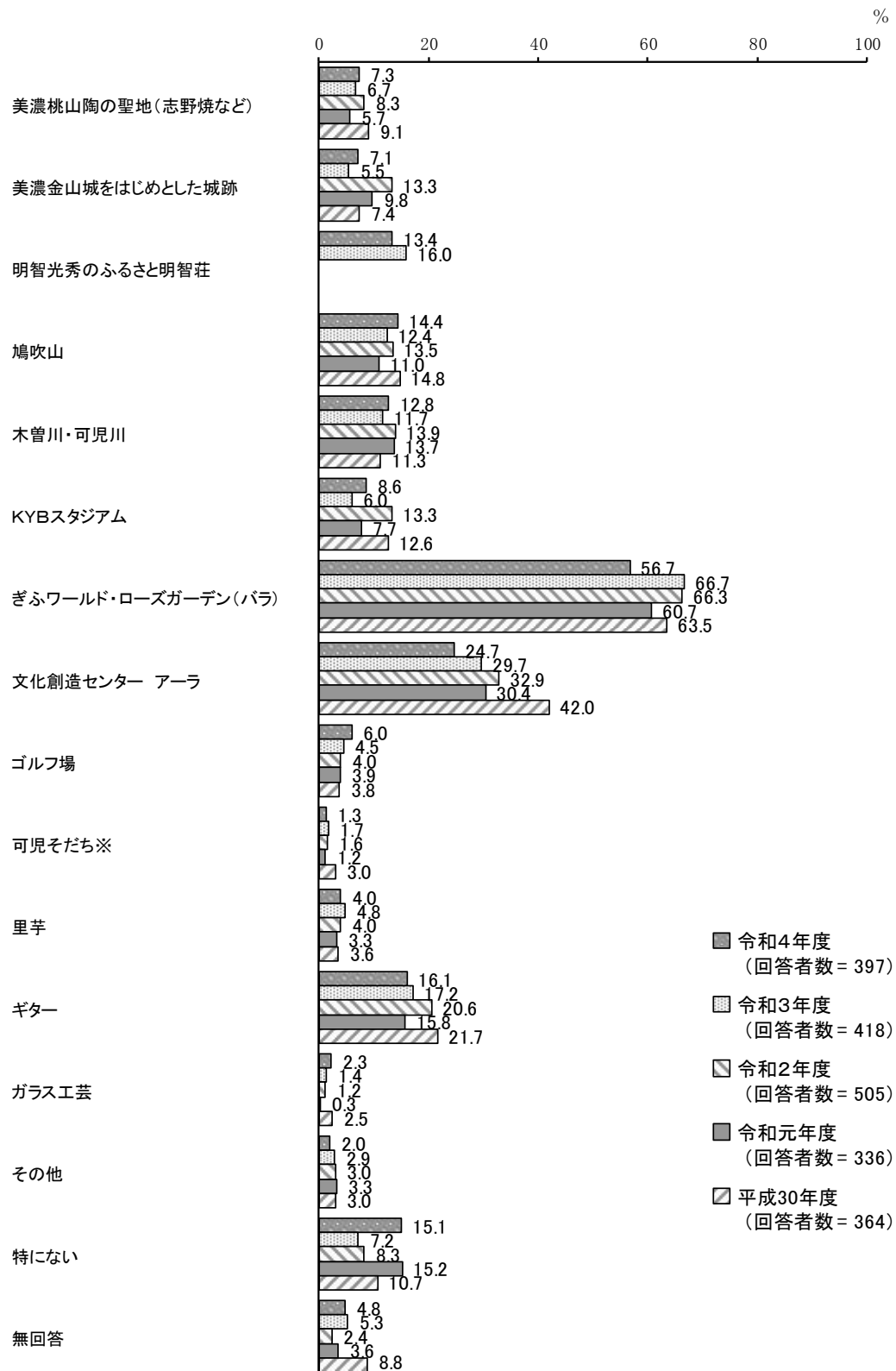
単位：％

区分	有効回答数 (件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	9	11.1	11.1	11.1	22.2	33.3	22.2	22.2	—	—	11.1	33.3	—
川合	4	50.0	50.0	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—
下恵土	4	25.0	50.0	—	—	—	—	25.0	—	—	—	25.0	25.0
土田	10	50.0	20.0	20.0	20.0	40.0	10.0	—	—	—	—	20.0	—
帷子	12	25.0	16.7	50.0	16.7	25.0	16.7	25.0	8.3	—	16.7	8.3	—
春里	3	—	—	33.3	66.7	33.3	—	—	—	—	—	66.7	—
姫治	2	50.0	—	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	50.0	—
平牧	3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	—	—	33.3	—	—	—	—
桜ヶ丘ハイツ	3	—	—	33.3	—	66.7	—	—	—	—	33.3	—	—
久々利	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見	6	16.7	16.7	—	—	—	33.3	—	—	16.7	16.7	33.3	—
中恵土	3	33.3	—	66.7	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—	—	—
兼山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不明	7	14.3	—	28.6	42.9	42.9	—	14.3	—	—	—	57.1	14.3

問 24 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）はどれだと思いますか。
（〇は3つまで）

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「文化創造センター アーラ」の割合が 24.7%、「ギター」の割合が 16.1%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」「文化創造センターアーラ」の割合が減少し、「特にない」の割合が増加しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曽川・可児川」「K Y B スタジアム」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」「文化創造センター アーラ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	K Y B スタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	文化創造センター アーラ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	143	7.7	5.6	14.7	15.4	17.5	11.9	44.8	19.6	6.3	0.7	1.4	16.8	0.7	3.5	22.4	3.5
女性	251	7.2	7.6	12.4	13.9	10.4	6.8	63.7	27.5	5.6	1.6	5.6	15.5	2.8	1.2	11.2	5.6
その他	3	—	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3	33.3	—	—	—

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、川合で「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が、春里で「文化創造センター アーラ」の割合が高くなっています。また、平牧で「ギター」の割合が高く、4割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン (バラ)	文化創造センター アーラ	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にな い	無回 答
今渡	47	6.4	4.3	8.5	12.8	12.8	6.4	48.9	23.4	6.4	2.1	—	14.9	2.1	6.4	17.0	6.4
川合	29	6.9	20.7	31.0	17.2	10.3	6.9	55.2	24.1	3.4	—	10.3	17.2	3.4	3.4	6.9	6.9
下恵土	41	4.9	7.3	17.1	4.9	7.3	—	53.7	19.5	9.8	2.4	2.4	19.5	2.4	2.4	12.2	4.9
土田	41	—	4.9	7.3	24.4	24.4	19.5	43.9	17.1	4.9	2.4	2.4	4.9	—	—	17.1	7.3
帷子	62	9.7	11.3	17.7	24.2	22.6	11.3	51.6	17.7	6.5	1.6	6.5	12.9	3.2	—	16.1	3.2
春里	18	—	5.6	5.6	22.2	22.2	5.6	61.1	50.0	11.1	—	5.6	27.8	5.6	—	11.1	—
姫治	17	—	5.9	11.8	5.9	—	5.9	70.6	41.2	11.8	—	5.9	23.5	—	—	17.6	—
平牧	29	3.4	6.9	13.8	6.9	6.9	6.9	62.1	31.0	3.4	3.4	6.9	37.9	—	—	6.9	6.9
桜ヶ丘ハイツ	23	17.4	4.3	—	21.7	8.7	8.7	78.3	30.4	—	—	4.3	21.7	—	—	13.0	4.3
久々利	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
広見東	7	—	—	42.9	14.3	14.3	14.3	71.4	—	—	—	—	28.6	—	—	14.3	—
広見	27	14.8	7.4	11.1	7.4	7.4	18.5	55.6	33.3	3.7	—	3.7	11.1	7.4	3.7	22.2	3.7
中恵土	21	14.3	4.8	14.3	—	—	—	81.0	33.3	4.8	—	—	9.5	—	—	19.0	—
兼山	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
不明	33	9.1	—	9.1	12.1	12.1	6.1	51.5	18.2	6.1	—	3.0	6.1	3.0	6.1	21.2	6.1

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が、20年以上で「鳩吹山」の割合が高くなっています。また、3年以上5年未満で「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が高く、7割近くとなっています。

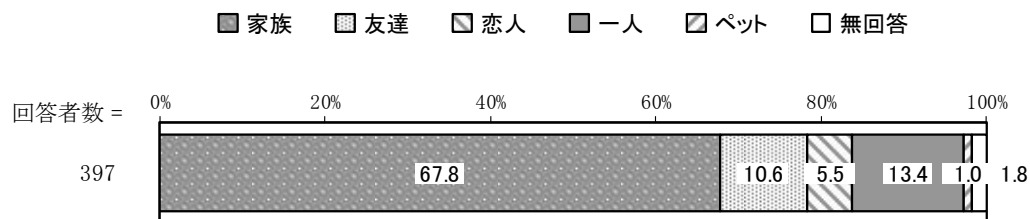
単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	文化創造センター エリア	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
3年未満	64	6.3	7.8	15.6	7.8	15.6	3.1	56.3	14.1	6.3	1.6	4.7	7.8	3.1	3.1	21.9	1.6
3年以上5年未満	37	2.7	10.8	21.6	8.1	13.5	5.4	67.6	21.6	8.1	—	2.7	16.2	—	—	10.8	5.4
5年以上10年未満	53	3.8	3.8	11.3	18.9	9.4	9.4	62.3	11.3	5.7	1.9	—	7.5	1.9	—	18.9	5.7
10年以上20年未満	74	13.5	6.8	20.3	17.6	10.8	10.8	59.5	32.4	2.7	1.4	5.4	21.6	2.7	—	8.1	8.1
20年以上	38	2.6	10.5	10.5	26.3	13.2	10.5	55.3	13.2	10.5	—	—	10.5	—	10.5	15.8	—
生まれてからずっと	130	8.5	6.2	7.7	12.3	13.8	10.0	50.8	35.4	6.2	1.5	6.2	22.3	3.1	1.5	14.6	5.4

（５）余暇の過ごし方について

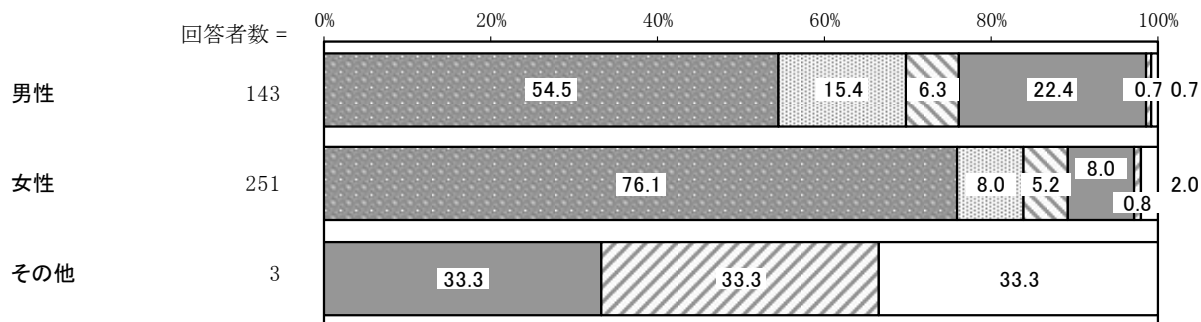
問 25 あなたは、休日（余暇）を誰と過ごすことが多いですか。（○は１つだけ）

「家族」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「一人」の割合が 13.4%、「友達」の割合が 10.6%となっています。



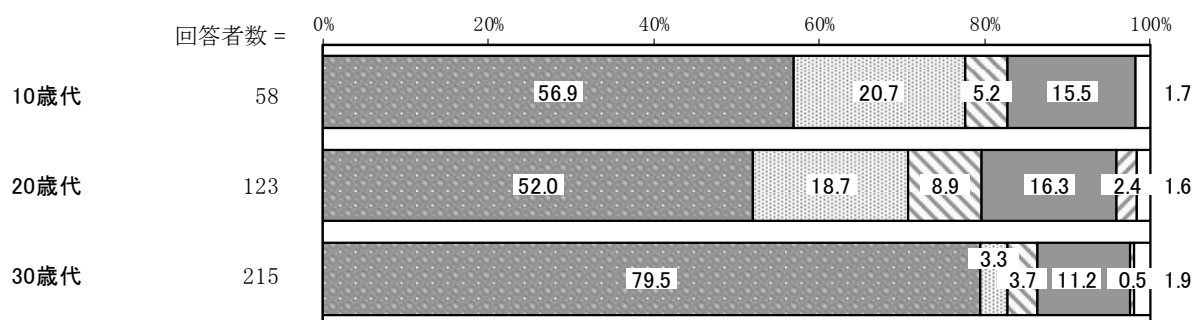
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「友達」「一人」の割合が高くなっています。一方、男性に比べて、女性で「家族」の割合が高く、7割半ばとなっています。



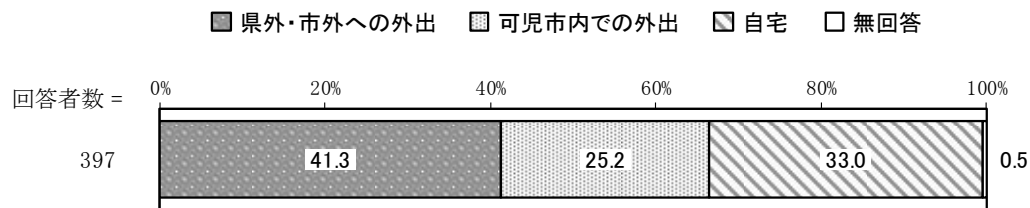
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代で「家族」の割合が高く、約 8 割となっています。



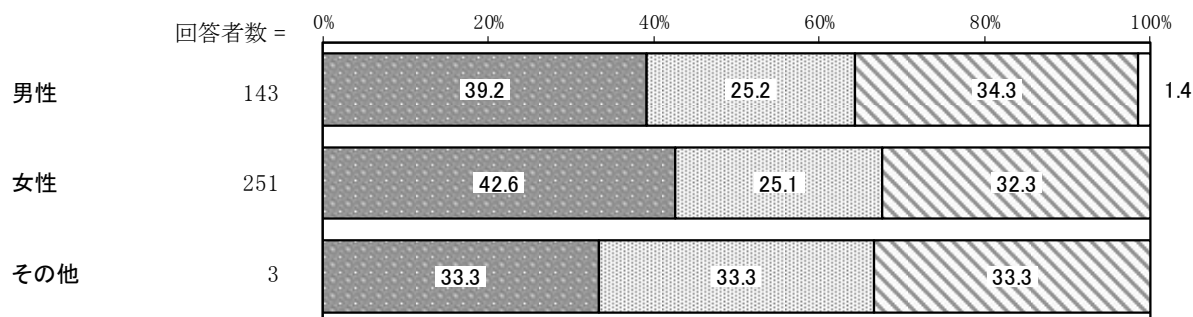
問 26 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「県外・市外への外出」の割合が41.3%と最も高く、次いで「自宅」の割合が33.0%、「可児市内での外出」の割合が25.2%となっています。



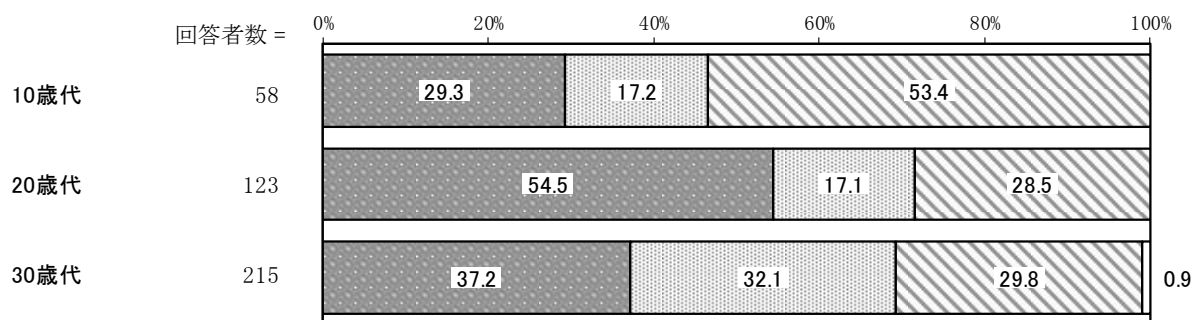
【性 別】

性別でみると大きな差異はみられません。



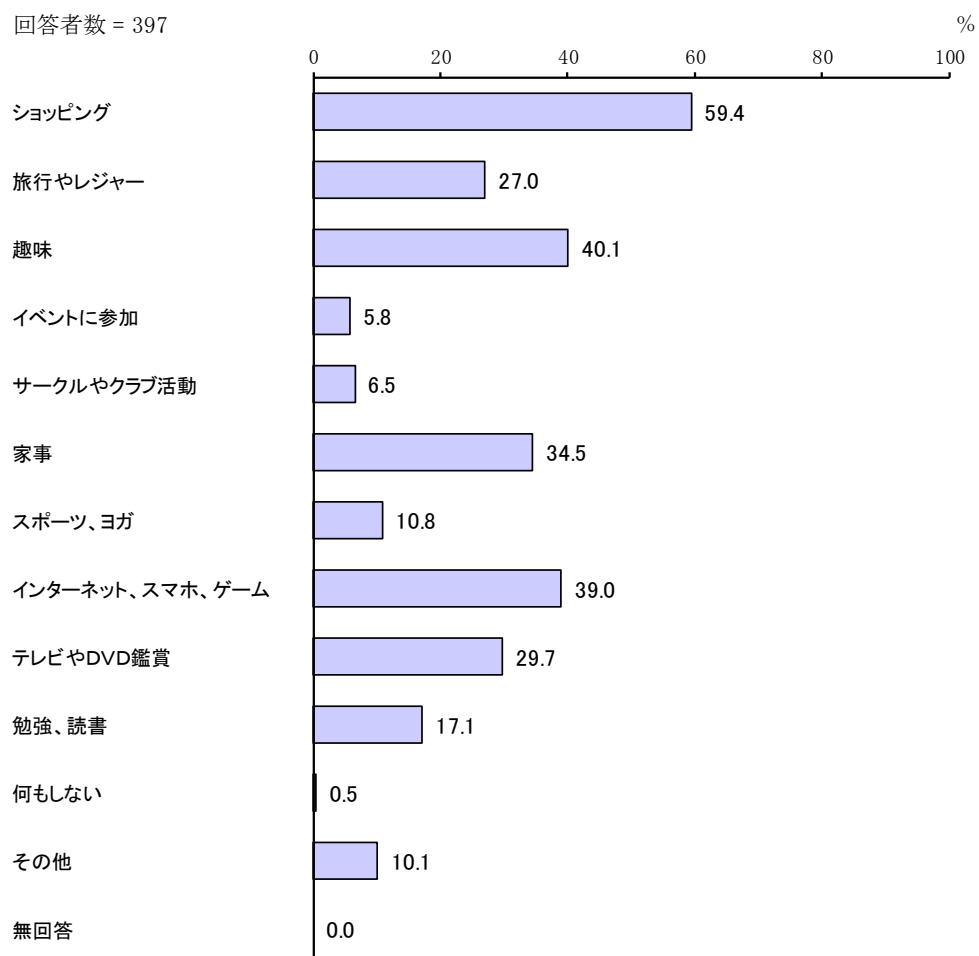
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「県外・市外への外出」の割合が、30歳代で「可児市内での外出」の割合が高くなっています。また、10歳代で「自宅」の割合が高く、5割を超えています。



問 27 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

「ショッピング」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「趣味」の割合が 40.1%、「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が 39.0%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「趣味」「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「ショッピング」「旅行やレジャー」「家事」「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、 スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	143	46.2	23.8	54.5	4.2	4.9	25.2	12.6	42.7	21.7	17.5	0.7	7.7	—
女性	251	67.3	29.1	31.9	6.8	7.6	39.8	9.6	37.5	34.7	16.3	0.4	11.2	—
その他	3	33.3	—	33.3	—	—	33.3	33.3	—	—	66.7	—	33.3	—

【年代別】

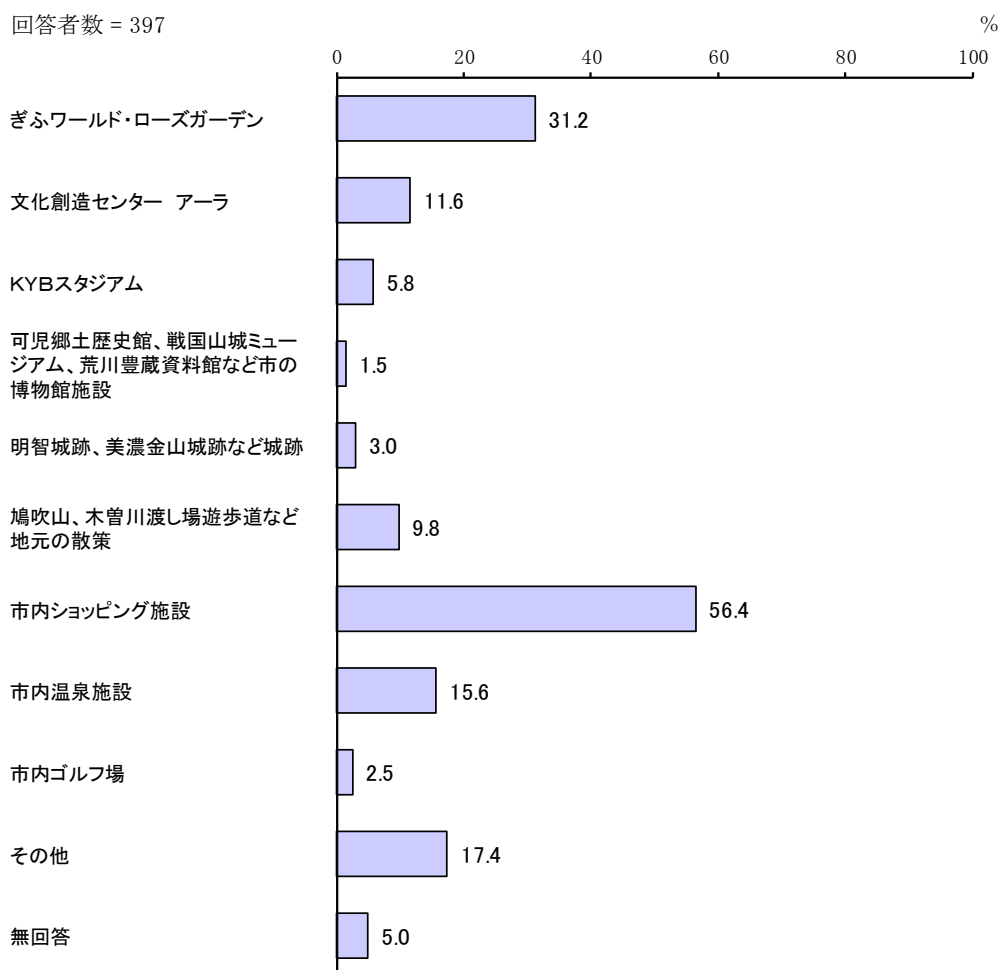
年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「ショッピング」「旅行やレジャー」の割合が、10 歳代で「サークルやクラブ活動」「インターネット、スマホ、ゲーム」「勉強、読書」の割合が高くなっています。また、30 歳代で「家事」の割合が高く、4 割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、 スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10 歳代	58	37.9	3.4	44.8	1.7	24.1	1.7	13.8	50.0	22.4	44.8	—	19.0	—
20 歳代	123	69.1	35.0	46.3	8.9	4.9	31.7	8.1	43.9	31.7	15.4	—	6.5	—
30 歳代	215	60.0	28.8	35.3	5.1	2.8	44.7	11.6	33.0	30.2	10.2	0.9	9.8	—

問 28 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 31.2%、「市内温泉施設」の割合が 15.6%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市内温泉施設」の割合が高く、2割近くとなっています。一方、男性に比べ、女性で「ぎふワールド・ローズガーデン」「文化創造センター アーラ」「市内ショッピング施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、 荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など 地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	143	21.0	5.6	7.0	3.5	4.9	11.2	49.0	18.9	4.2	13.3	9.8
女性	251	37.1	14.7	5.2	0.4	2.0	9.2	60.6	13.5	1.2	19.5	2.4
その他	3	33.3	33.3	—	—	—	—	66.7	33.3	33.3	33.3	—

【年代別】

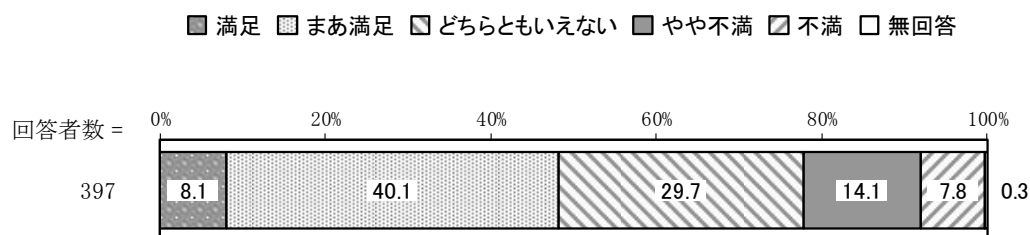
年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代で「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が、10 歳代で「文化創造センターエリア」の割合が高くなっています。また、20 歳代で「市内温泉施設」の割合が高く、2 割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターエリア	KYB スタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、 荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など 地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
10 歳代	58	10.3	24.1	12.1	—	—	3.4	58.6	5.2	—	12.1	10.3
20 歳代	123	26.0	8.9	8.1	2.4	4.1	10.6	49.6	22.8	6.5	20.3	3.3
30 歳代	215	39.5	9.3	2.8	1.4	3.3	11.2	59.5	14.4	0.9	17.2	4.7

問 29 可児市内の公園や緑地などの整備状況についてどう思いますか（○は 1 つだけ）

「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が 48.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.7%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 21.9%となっています。

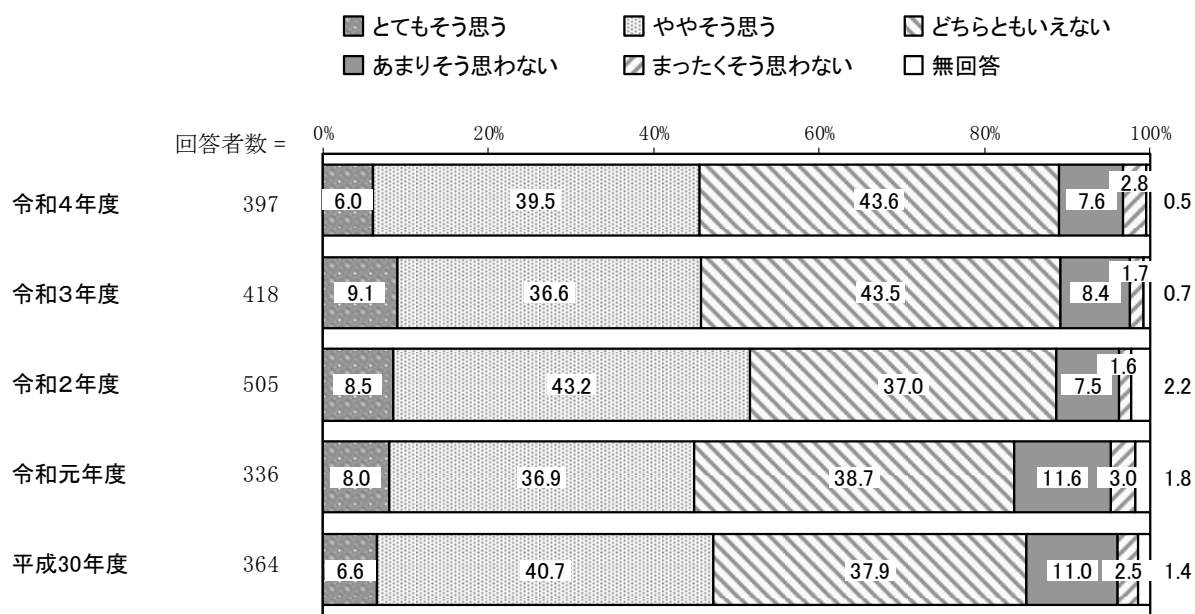


(6) 子育て環境について

問 30 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

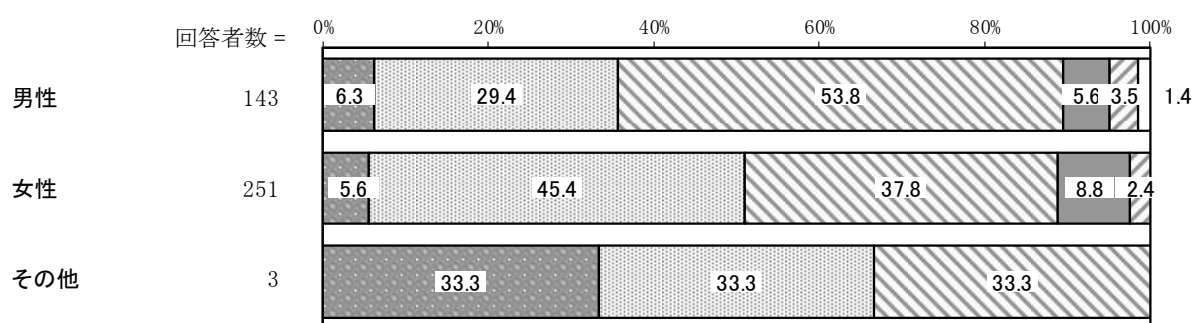
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 45.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 43.6%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 10.4%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



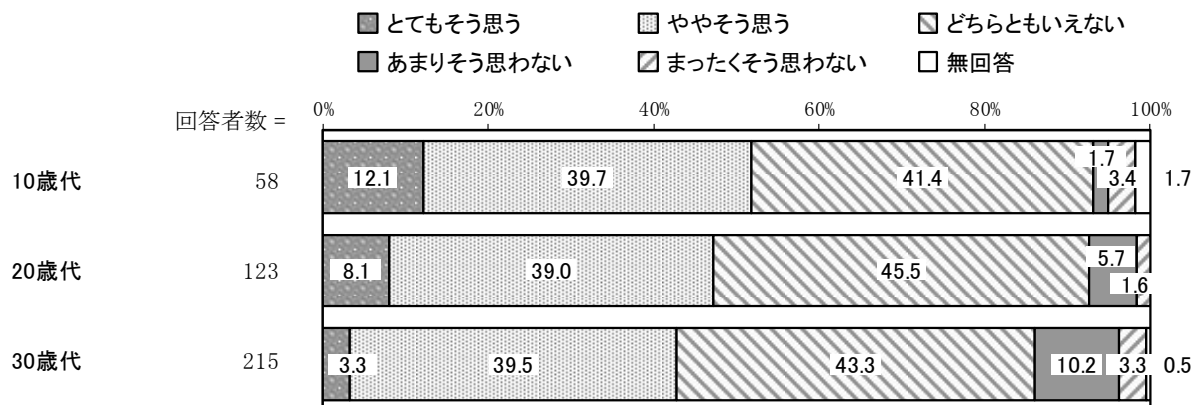
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。



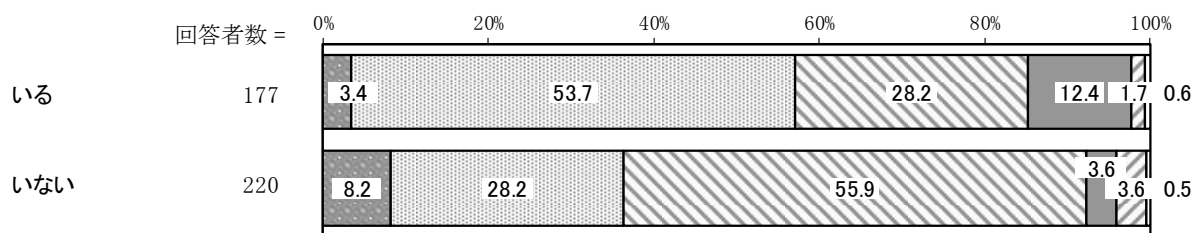
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ、“そう思わない”の割合が高く、30歳代で1割を超えています。



【子どもの有無別】

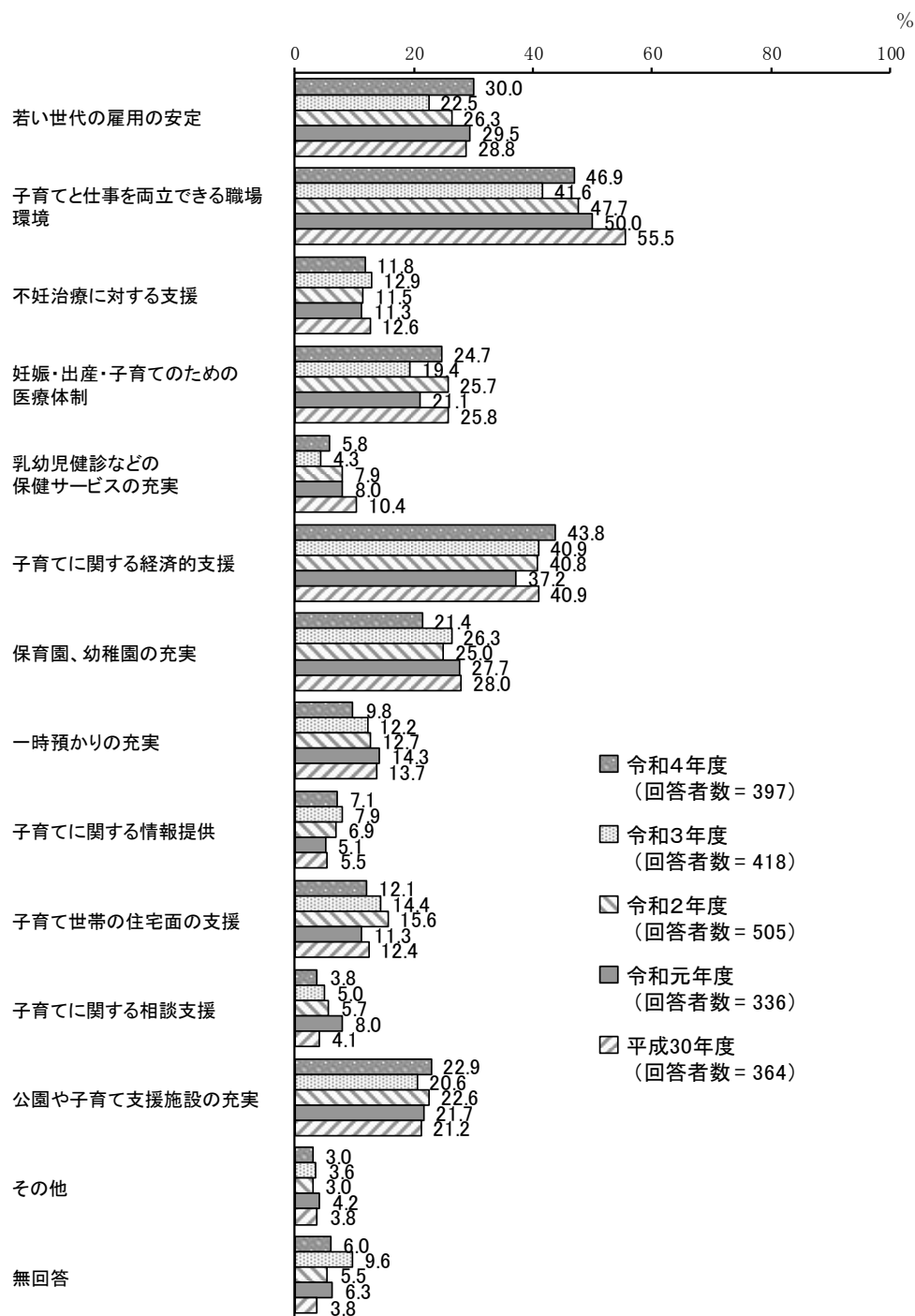
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、6割近くとなっています。



問 31 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が46.9%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が43.8%、「若い世代の雇用の安定」の割合が30.0%となっています。

令和3年度以前の調査と比較すると、「若い世代の雇用の安定」「子育てと仕事を両立できる職場環境」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が増加しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育て世帯の住宅面の支援」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「子育てに関する経済的支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	143	39.2	45.5	7.0	18.2	4.2	39.9	20.3	7.0	4.9	15.4	2.8	16.8	3.5	8.4
女性	251	25.1	47.8	14.3	28.7	6.8	45.4	21.5	11.6	8.4	10.0	4.4	26.3	2.8	4.8
その他	3	—	33.3	33.3	—	—	100.0	66.7	—	—	33.3	—	33.3	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する情報提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	58	41.4	50.0	1.7	24.1	13.8	41.4	10.3	3.4	15.5	5.2	1.7	20.7	5.2	5.2
20 歳代	123	35.8	51.2	13.0	28.5	8.9	43.9	24.4	8.9	5.7	12.2	6.5	11.4	2.4	2.4
30 歳代	215	23.3	43.7	14.0	22.8	1.9	44.7	22.8	12.1	5.6	14.0	2.3	29.8	2.8	8.4

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てに関する経済的支援」「一時預かりの充実」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	177	13.6	45.8	10.2	22.0	6.2	48.6	23.2	14.7	6.8	15.3	3.4	35.0	2.8	7.9
いない	220	43.2	47.7	13.2	26.8	5.5	40.0	20.0	5.9	7.3	9.5	4.1	13.2	3.2	4.5

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、家事専業で「子育てに関する経済的支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、無職で「子育て世帯の住宅面の支援」の割合が高くなっています。

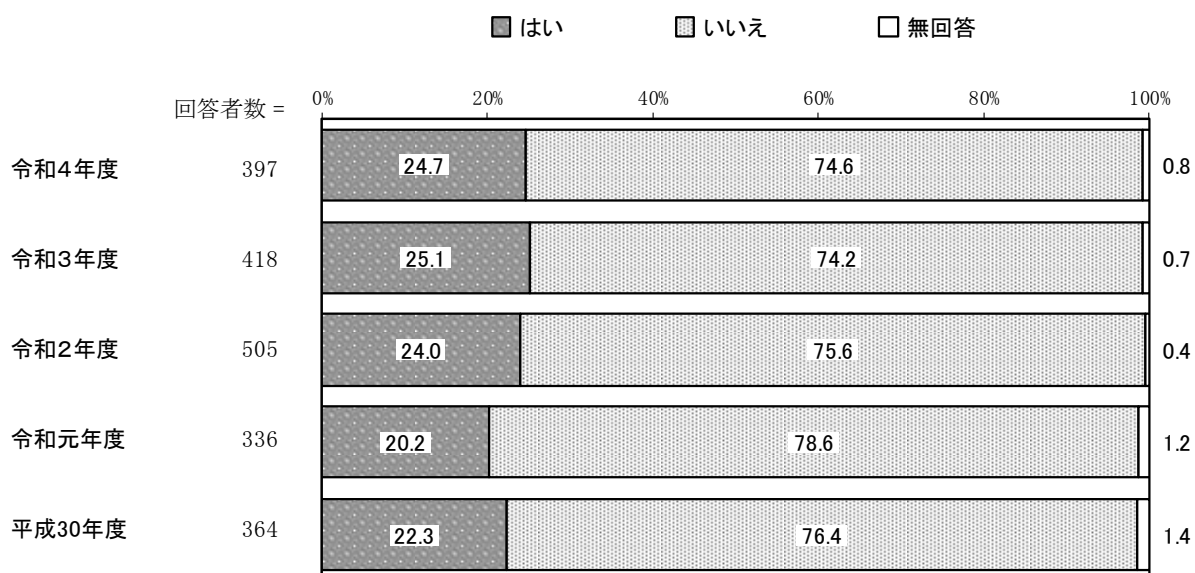
単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	179	29.6	43.6	12.8	26.8	4.5	41.3	26.3	6.1	6.7	15.1	4.5	19.6	3.4	6.7
アルバイト・パート	71	18.3	43.7	18.3	26.8	5.6	49.3	16.9	15.5	4.2	16.9	2.8	16.9	2.8	8.5
派遣社員	4	75.0	75.0	—	25.0	—	75.0	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—
嘱託・契約社員	8	62.5	62.5	12.5	37.5	—	37.5	12.5	—	—	—	—	12.5	—	12.5
自営業主（飲食店）	1	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—
自営業（飲食店以外）	4	25.0	50.0	50.0	—	—	25.0	50.0	25.0	—	—	—	75.0	—	—
内職	1	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—
家事専業	35	5.7	54.3	11.4	17.1	5.7	54.3	20.0	28.6	8.6	—	2.9	57.1	—	—
学生	72	45.8	55.6	2.8	23.6	9.7	40.3	15.3	5.6	12.5	2.8	4.2	22.2	4.2	2.8
無職	18	33.3	33.3	5.6	16.7	11.1	33.3	22.2	—	—	22.2	5.6	22.2	5.6	16.7
その他	4	25.0	50.0	25.0	25.0	—	75.0	—	25.0	—	25.0	—	—	—	—

(7) 運動の推進について

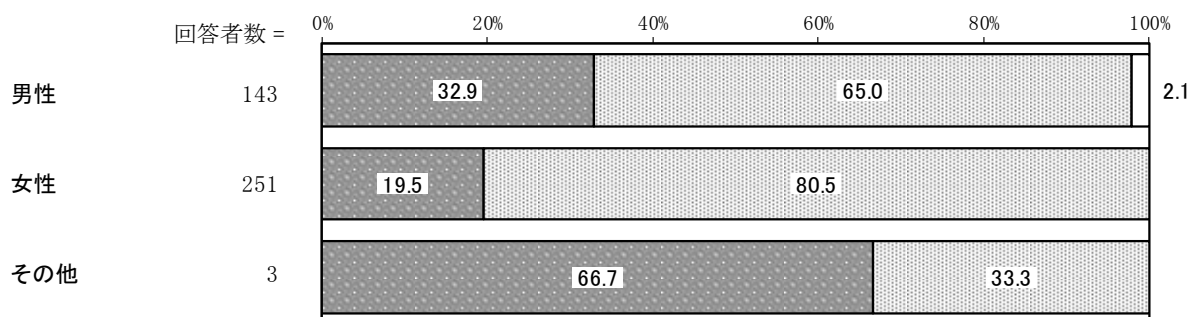
問 32 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する『歩こう可児 302 運動』や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ『一市民ースポーツ』を推進しています。あなたは、30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けていますか。

「はい」の割合が 24.7%、「いいえ」の割合が 74.6%となっています。
令和 3 年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



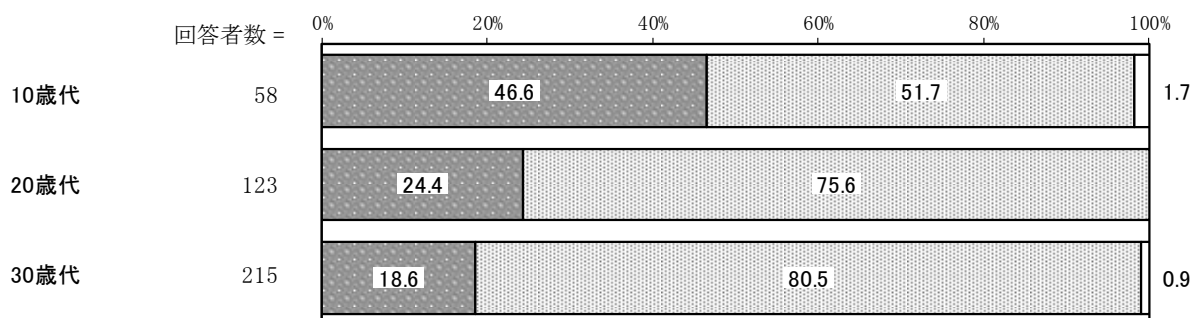
【性 別】

性別でみると、女性に比べ男性で「はい」の割合が高く、3 割を超えています。一方、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高く、約 8 割となっています。



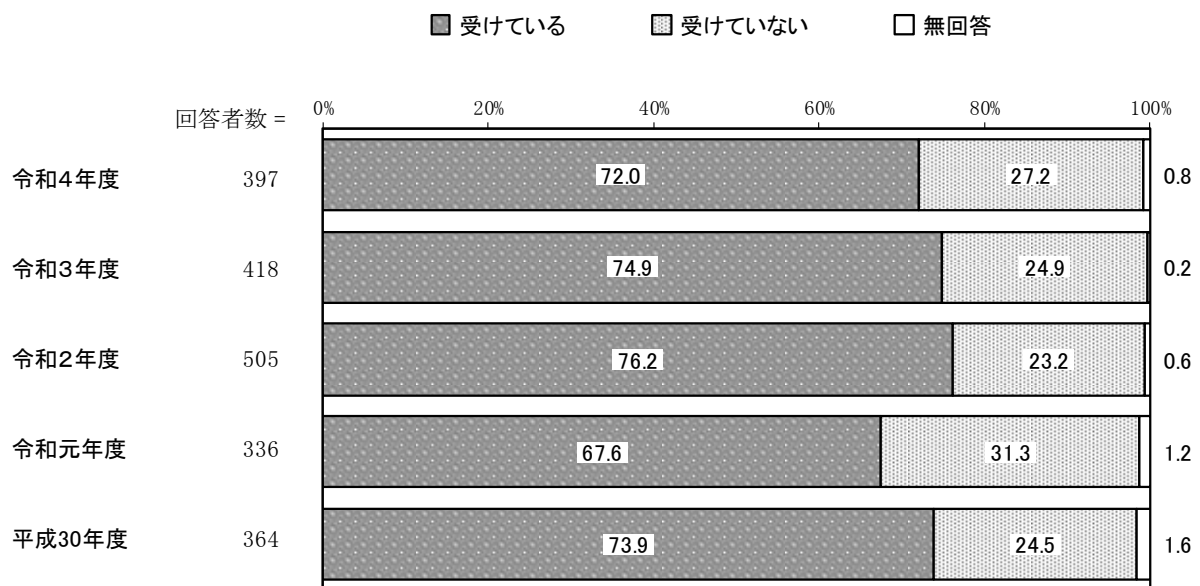
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「はい」の割合が高く、4 割半ばとなっています。



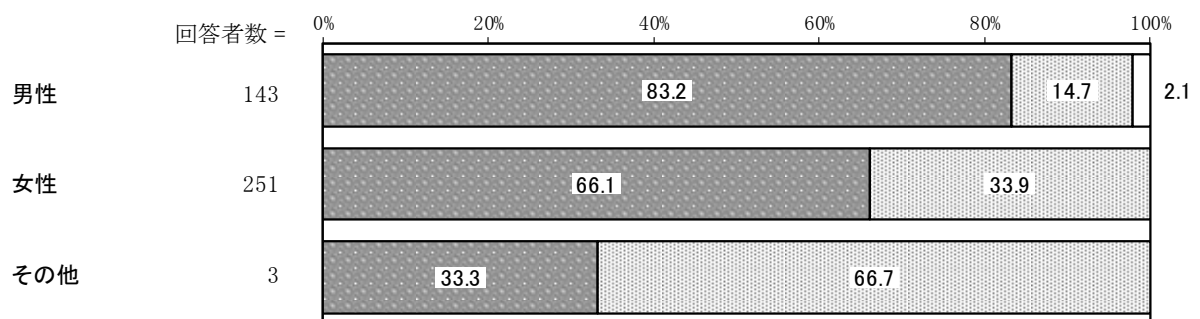
問 33 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が72.0%、「受けていない」の割合が27.2%となっています。
令和3年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



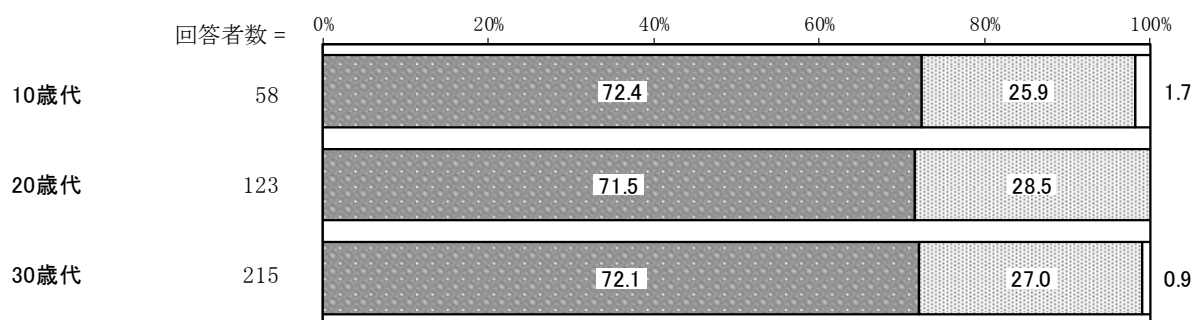
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高く、8割を超えています。一方、男性に比べ、女性で「受けていない」の割合が高く、3割を超えています。



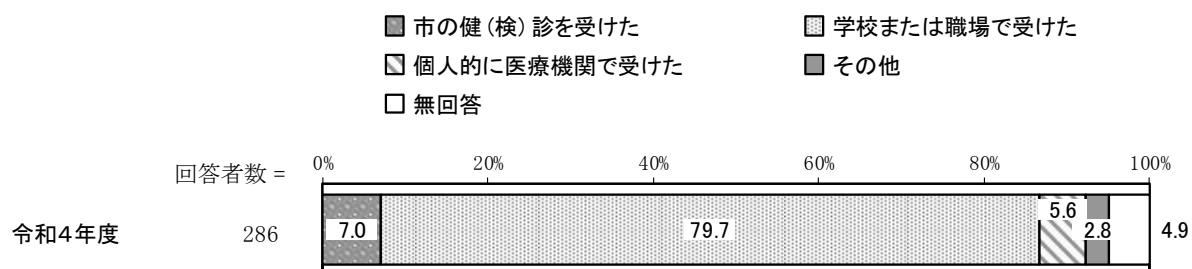
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



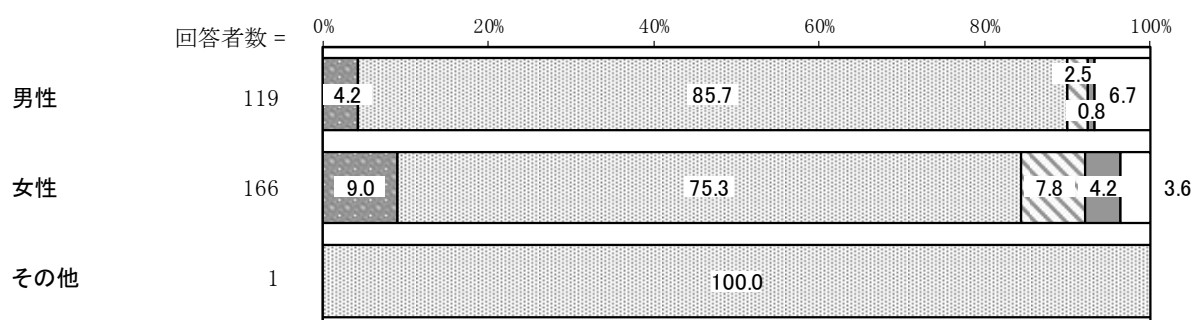
受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が79.7%と最も高くなっています。



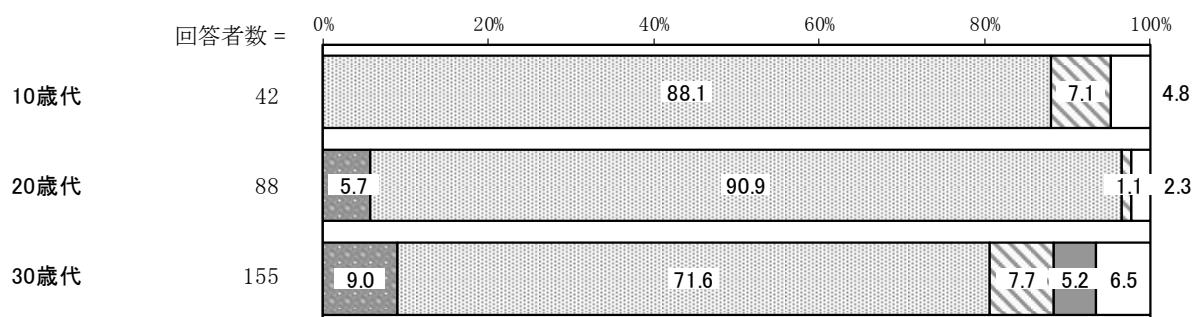
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、8割半ばとなっています。一方、男性に比べ、女性で「個人的に医療機関で受けた」の割合が高く、1割近くとなっています。



【年代別】

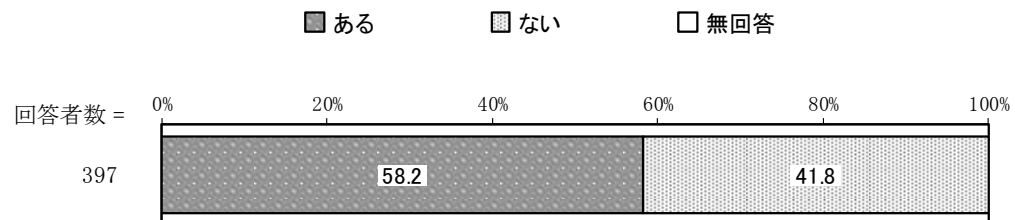
年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「学校または職場で受けた」の割合が低く、7割程となっています。また、10歳代、30歳代で「個人的に医療機関で受けた」の割合が高く、1割近くとなっています。



問 34 あなたは「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」がありますか。
(それぞれ○は1つだけ)

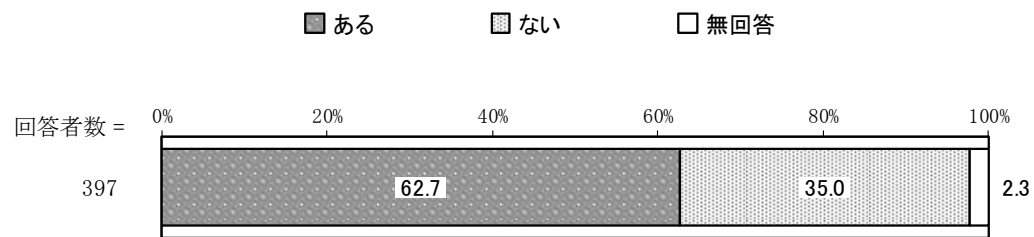
かかりつけ医

「ある」の割合が 58.2%、「ない」の割合が 41.8%となっています。



かかりつけ歯科医

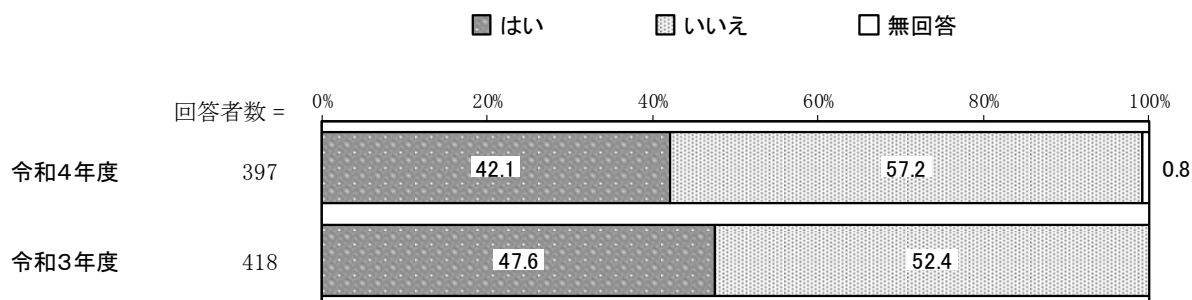
「ある」の割合が 62.7%、「ない」の割合が 35.0%となっています。



（８）教育や学習に関する施策について

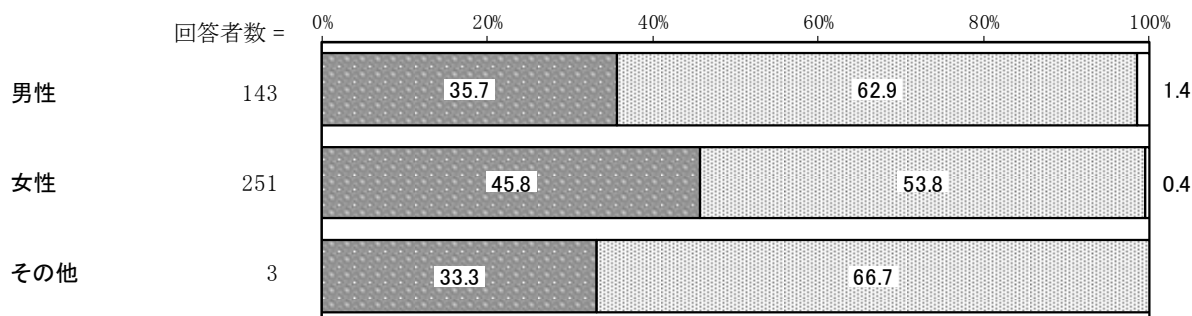
問 35 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。（○は１つだけ）

「はい」の割合が42.1%、「いいえ」の割合が57.2%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



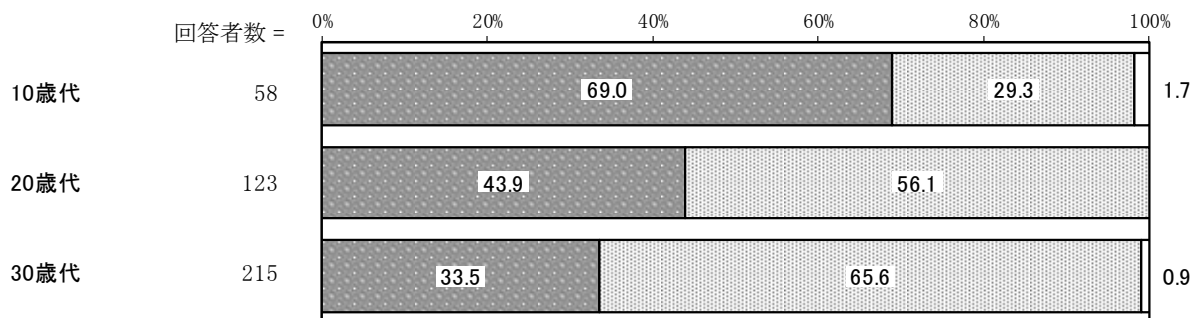
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。一方、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高く、4割半ばとなっています。



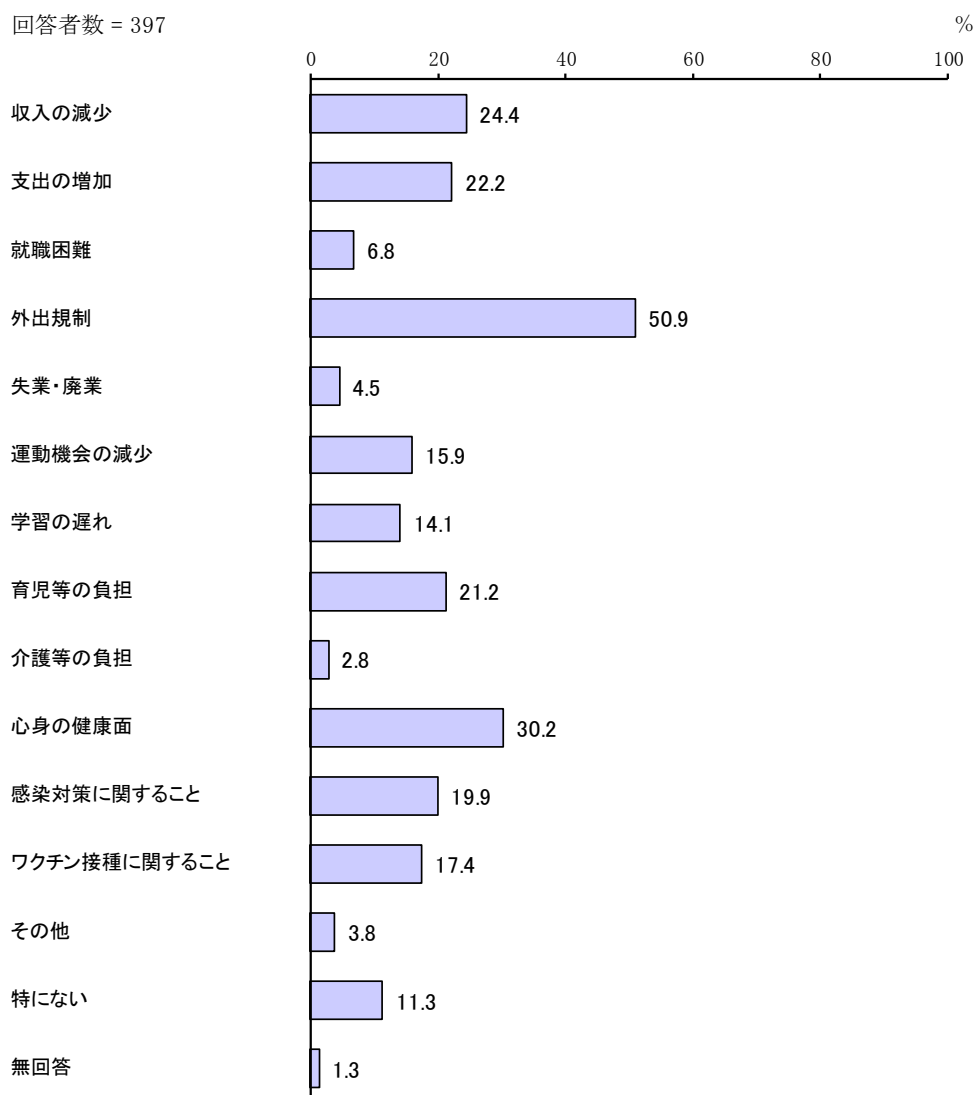
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳代で「いいえ」の割合が高く、6割半ばとなっています。



問 36 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとはどれですか。（回答複数可）

「外出規制」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「心身の健康面」の割合が 30.2%、「収入の減少」の割合が 24.4%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「収入の減少」「運動機会の減少」「感染対策に関すること」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「外出規制」「育児等の負担」「心身の健康面」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	特にない	無回答
男性	143	29.4	23.8	9.1	46.9	7.0	19.6	11.9	13.3	2.1	25.9	23.8	14.7	2.8	14.0	2.1
女性	251	21.5	21.1	5.2	53.0	2.8	13.5	15.1	25.5	2.8	32.7	17.5	18.3	4.4	10.0	0.8
その他	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	—	—	—

【職業】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パートで「収入の減少」の割合が、家事専業で「育児等の負担」の割合が高くなっています。また、無職で「支出の増加」「感染対策に関すること」「ワクチン接種に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ
正社員・正職員	179	24.0	24.0	4.5	55.9	6.7	17.9	7.3
アルバイト・パート	71	39.4	28.2	8.5	53.5	—	18.3	21.1
派遣社員	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—
嘱託・契約社員	8	37.5	50.0	12.5	50.0	12.5	—	37.5
自営業主(飲食店)	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—
自営業(飲食店以外)	4	50.0	—	25.0	75.0	—	50.0	25.0
内職	1	—	—	—	—	—	—	—
家事専業	35	14.3	22.9	—	45.7	2.9	17.1	11.4
学生	72	11.1	6.9	11.1	41.7	4.2	11.1	25.0
無職	18	27.8	33.3	11.1	44.4	5.6	11.1	11.1
その他	4	25.0	—	—	50.0	—	—	—

区分	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	特にない	無回答
正社員・正職員	19.6	2.2	26.8	20.1	18.4	2.8	11.2	—
アルバイト・パート	32.4	1.4	36.6	15.5	14.1	5.6	5.6	1.4
派遣社員	—	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—
嘱託・契約社員	25.0	—	12.5	12.5	—	—	12.5	—
自営業主(飲食店)	—	—	—	—	100.0	—	—	—
自営業(飲食店以外)	50.0	—	25.0	50.0	25.0	—	25.0	—
内職	—	—	—	—	—	—	—	100.0
家事専業	42.9	—	31.4	20.0	17.1	5.7	11.4	—
学生	—	1.4	33.3	20.8	15.3	2.8	19.4	1.4
無職	27.8	16.7	33.3	27.8	27.8	5.6	5.6	11.1
その他	50.0	50.0	25.0	—	—	25.0	—	—

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「収入の減少」「支出の増加」の割合が、3年未満で「外出規制」の割合が高くなっています。また、20年以上で「運動機会の減少」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関	その他	特 に な い	無 回 答
3年未満	64	25.0	26.6	4.7	62.5	3.1	14.1	4.7	25.0	—	23.4	25.0	26.6	9.4	6.3	—
3年以上 5年未満	37	21.6	18.9	5.4	45.9	—	16.2	13.5	32.4	2.7	24.3	5.4	24.3	2.7	18.9	2.7
5年以上 10年未満	53	34.0	37.7	9.4	52.8	5.7	18.9	18.9	30.2	1.9	30.2	18.9	3.8	1.9	7.5	—
10年以上 20年未満	74	23.0	16.2	5.4	50.0	2.7	9.5	13.5	17.6	1.4	36.5	17.6	14.9	4.1	13.5	1.4
20年以上	38	28.9	18.4	7.9	44.7	13.2	26.3	13.2	10.5	—	31.6	23.7	21.1	5.3	5.3	2.6
生まれてから ずっと	130	20.8	18.5	7.7	47.7	4.6	16.2	17.7	16.9	6.2	31.5	22.3	16.9	1.5	13.8	1.5

Ⅲ 調査票

1 全世代

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|----------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 7. 70 歳代以上 | | |

問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

- | | | | |
|----------------|--------|----------|------------|
| 1. いる(複数選択可) → | (1)未就学 | (2)小・中学生 | (3)高校生・大学生 |
| | (4)社会人 | (5)その他 | |
| 2. いない | | | |

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. アルバイト・パート | 3. 派遣社員 |
| 4. 嘱託・契約社員 | 5. 自営業主(飲食店) | 6. 自営業(飲食店以外) |
| 7. 内職 | 8. 家事専業 | 9. 学生 |
| 10. 無職 | 11. その他 | |

問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|--------|
| 1. 今渡 | 2. 川合 | 3. 下恵土 | 4. 土田 |
| 5. 帷子 | 6. 春里 | 7. 姫治 | 8. 平牧 |
| 9. 桜ヶ丘ハイツ | 10. 久々利 | 11. 広見東 | 12. 広見 |
| 13. 中恵土 | 14. 兼山 | 15. 不明(地区名) | |

問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない(その理由) |
|-----------|------------------|

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1. 戸建住宅(購入) | 2. 戸建住宅(相続) | 3. 戸建住宅(賃貸) |
| 4. 分譲マンション | 5. 賃貸マンション・アパート | 6. 公営住宅 |
| 7. 社宅等 | 8. その他() | |

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------------|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | |
| 6. 生まれてからずっと → 問11へ | | |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 可児市以外の選択肢はなかった |
| 2. 他の市町村と比較した |
| (比較した市町村を3つまで記入してください。 _____ ・ _____ ・ _____) |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|-------------|
| 1. 地縁(出身地や親族がいるなど) | 2. 友人や知人がいた |
| 3. 通勤や通学に都合がよかった | |
| 4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に○を記入) | |
| → (1)子育てや教育環境の充実 (2)買物等の便利さ (3)医療や福祉環境の充実 | |
| (4)手頃な住宅価格や家賃 (5)自然に恵まれた住環境 (6)文化活動・施設の充実 | |
| 5. 家族の事情(親の転勤など) | 6. その他() |
| 7. 特になし | |

問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ
3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter)	
6. 電子メール	7. 新聞
8. タウン誌(フリーペーパー)	9. 家族から
10. 知人から	11. 市職員から
12. 自治会などの集まりや回覧	13. その他()

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ
3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど)	
6. 電子メール	7. 新聞
8. タウン誌(フリーペーパー)	9. 家族から
10. 知人から	11. 市職員から
12. 自治会などの集まりや回覧	13. その他()

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

1. 政策などの情報	2. 催しなどの情報
3. 月ごとのごみ・リサイクル日程	4. 無料相談
5. 市長からの発信	6. 議会からの発信
7. 防災情報	8. 子育て・教育情報
9. その他()	

問 14 あなたは、どのようなデジタルサービスを活用していますか。(回答複数可)

1. メッセージアプリ(LINE)	2. メッセージアプリ(Twitter)
3. メッセージアプリ(Facebook)	4. メッセージアプリ(Instagram)
5. ネットショッピング	6. 音楽配信サービス
7. 動画配信サービス	8. ゲーム
9. キャッシュレス決済	10. その他()
11. 活用していない	

問 15 あなたが自分で自由に使える情報端末はどのようなものがありますか。(回答複数可)

1. デスクトップ型パソコン	2. ノート型パソコン	3. 携帯電話
4. スマートフォン	5. タブレット端末	6. 情報端末を持っていない

問 18 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

可児市総合戦略の主な施策	重要度					満足度				
	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)シティプロモーションの推進 (市民 及び 市外への市の魅力発信)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を 育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)学びを支援する環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)子ども達の未来社会を切り開くた めの資質・能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)健康で暮らせる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)支え合いにより地域で暮らせる仕 組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)安心して暮らせる生活環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)必要な医療サービスが受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 19 可児市に愛着はありますか。(○は1つだけ)

1. 愛着がある → 問 20 へ 2. 愛着はない 3. どちらともいえない

【問 19 で 1 (愛着がある) を選択された方に伺います】

問 20 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 生まれ故郷だから | 2. 思い出があるから |
| 3. 生活の安全性が高いから(災害等) | 4. 生活の利便性が高いから(交通・買物等) |
| 5. 自然環境や景観が好きだから | 6. 人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動等) |
| 7. 歴史・文化・芸術が好きだから | 8. 子育ての支援・環境が充実しているから |
| 9. 教育の質・環境が充実しているから | 10. 福祉の支援・環境が充実しているから(障がい・介護等) |
| 11. その他() | |

問21 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

1. ずっと可児市に住みたい	→ 問22へ
2. 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい	→ 問23へ
3. できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)	→ 問24へ
4. どちらともいえない	

【問21で1または2(ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい)を選択された方に伺います】

問22 その理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 家族と一緒に住みたいから
2. 可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから
3. 通勤・通学に便利だから
4. 買物など生活するのに便利だから
5. 自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから
6. 人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)
7. 子どもを産み・育てる環境が充実しているから
8. 保健・医療体制が整っているから
9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから
10. 可児市に愛着があるから
11. 可児市が故郷だから
12. 他に住みたいところがないから
13. その他()

問22を答えた方 ⇒ 問24へ

【問21で3(できれば可児市以外に引越したい(引越し予定))を選択された方に伺います】

問23 その理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 可児市に働く場所がないから
2. 進学や仕事の事情(転勤等)から
3. 通学・通勤に不便だから
4. 買物など生活するのに不便だから
5. 娯楽や遊ぶ施設がないから
6. 親との同居や結婚等の事情から
7. 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
8. 保健・医療体制が整っていないから
9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
10. 故郷に戻るため
11. その他()

問24 可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産品など)はどれだと思いますか。(○は3つまで)

1. 美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	2. 美濃金山城をはじめとした城跡
3. 明智光秀のふるさと明智荘	4. 鳩吹山
5. 木曽川・可児川	6. K Y B スタジアム
7. ぎふワールド・ローズガーデン(バラ)	8. 文化創造センター アーラ
9. ゴルフ場	10. 可児そだち※
11. 里芋	12. ギター
13. ガラス工芸	14. その他()
15. 特にない	

※可児そだち・・・可児市地産地消実行委員会の認定を受けた、可児市で生産された安心・安全で品質の良い農産物、およびその農産物を使用した加工品

問25 あなたは、休日(余暇)を誰と過ごすことが多いですか。(○は1つだけ)

1. 家族	2. 友達	3. 恋人	4. 一人	5. ペット
-------	-------	-------	-------	--------

問 26 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

1. 県外・市外への外出	2. 可児市内での外出	3. 自宅
--------------	-------------	-------

問 27 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

1. ショッピング	2. 旅行やレジャー	3. 趣味
4. イベントに参加	5. サークルやクラブ活動	6. 家事
7. スポーツ、ヨガ	8. インターネット、スマホ、ゲーム	
9. テレビやDVD鑑賞	10. 勉強、読書	11. 何もしない
12. その他（ ）		

問 28 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。（回答複数可）

1. ぎふワールド・ローズガーデン	2. 文化創造センター アーラ
3. K Y B スタジアム	
4. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	
5. 明智城跡、美濃金山城跡など城跡	6. 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策
7. 市内ショッピング施設	8. 市内温泉施設
9. 市内ゴルフ場	10. その他（ ）

問 29 可児市内の公園や緑地などの整備状況についてどう思いますか（○は1つだけ）

1. 満足	2. まあ満足	3. どちらともいえない
4. やや不満	5. 不満	

問 30 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。（○は1つだけ）

1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. まったくそう思わない	

問 31 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 若い世代の雇用の安定	2. 子育てと仕事を両立できる職場環境
3. 不妊治療に対する支援	4. 妊娠・出産・子育てのための医療体制
5. 乳幼児健診などの保健サービスの充実	6. 子育てに関する経済的支援
7. 保育園、幼稚園の充実	8. 一時預かりの充実
9. 子育てに関する情報提供	10. 子育て世帯の住宅面の支援
11. 子育てに関する相談支援	12. 公園や子育て支援施設の充実
13. その他（ ）	

問 32 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する「歩こう可児302」運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ「市民スポーツ」を推進しています。あなたは、1回30分以上の運動を週2回以上行い、それを1年以上続けていますか。（○は1つだけ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 33 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている	→ (1)市の健(検)診を受けた	(2)学校または職場で受けた
	(3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他
2. 受けていない		

問 34 あなたは「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」がありますか。(それぞれ○は1つだけ)

かかりつけ医	1. ある	2. ない
かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない

問 35 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室(可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤル Tel0120-263-115)
- ・心の電話相談室(可児市教育研究所、Tel63-2444)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 36 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとはどれですか。(回答複数可)

1. 収入の減少	2. 支出の増加	3. 就職困難	4. 外出規制
5. 失業・廃業	6. 運動機会の減少	7. 学習の遅れ	8. 育児等の負担
9. 介護等の負担	10. 心身の健康面	11. 感染対策に関すること	
12. ワクチン接種に関すること	13. その他(	)	
14. 特になし			

【自由意見】

問 37 その他、可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
アンケートは令和4年6月6日(月)までにご返送をお願いします。

2 若年層

7

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代

問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

1. いる(複数選択可) → (1)未就学 (2)小・中学生 (3)高校生・大学生
(4)社会人 (5)その他
2. いない

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

1. 正社員・正職員 2. アルバイト・パート 3. 派遣社員
4. 嘱託・契約社員 5. 自営業主(飲食店) 6. 自営業(飲食店以外)
7. 内職 8. 家事専業 9. 学生
10. 無職 11. その他

問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)(〇は1つだけ)

1. 今渡 2. 川合 3. 下恵土 4. 土田
5. 帷子 6. 春里 7. 姫治 8. 平牧
9. 桜ヶ丘ハイツ 10. 久々利 11. 広見東 12. 広見
13. 中恵土 14. 兼山 15. 不明(地区名)

問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(〇は1つだけ)

1. 加入している 2. 加入していない(その理由)

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

1. 戸建住宅(購入) 2. 戸建住宅(相続) 3. 戸建住宅(賃貸)
4. 分譲マンション 5. 賃貸マンション・アパート 6. 公営住宅
7. 社宅等 8. その他()

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(〇は1つだけ)

1. 3年未満 2. 3年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満 5. 20年以上
6. 生まれてからずっと → 問11へ

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(〇は1つだけ)

1. 可児市以外の選択肢はなかった
2. 他の市町村と比較した
(比較した市町村を3つまで記入してください。 . . .)

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 地縁(出身地や親族がいるなど) 2. 友人や知人がいた
3. 通勤や通学に都合がよかった
4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に〇を記入)
→ (1)子育てや教育環境の充実 (2)買物等の便利さ (3)医療や福祉環境の充実
(4)手頃な住宅価格や家賃 (5)自然に恵まれた住環境 (6)文化活動・施設の充実
5. 家族の事情(親の転勤など) 6. その他()
7. 特になし

問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

- | | |
|---|------------|
| 1. 広報紙 | 2. ケーブルテレビ |
| 3. コミュニティFM | 4. ホームページ |
| 5. SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter) | |
| 6. 電子メール | 7. 新聞 |
| 8. タウン誌(フリーペーパー) | 9. 家族から |
| 10. 知人から | 11. 市職員から |
| 12. 自治会などの集まりや回覧 | 13. その他() |

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

- | | |
|--|------------|
| 1. 広報紙 | 2. ケーブルテレビ |
| 3. コミュニティFM | 4. ホームページ |
| 5. SNS (Instagram、Youtube、Facebook、Twitter、LINEなど) | |
| 6. 電子メール | 7. 新聞 |
| 8. タウン誌(フリーペーパー) | 9. 家族から |
| 10. 知人から | 11. 市職員から |
| 12. 自治会などの集まりや回覧 | 13. その他() |

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 政策などの情報 | 2. 催しなどの情報 |
| 3. 月ごとのごみ・リサイクル日程 | 4. 無料相談 |
| 5. 市長からの発信 | 6. 議会からの発信 |
| 7. 防災情報 | 8. 子育て・教育情報 |
| 9. その他() | |

問 14 あなたは、どのようなデジタルサービスを活用していますか。(回答複数可)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. メッセージアプリ(LINE) | 2. メッセージアプリ(Twitter) |
| 3. メッセージアプリ(Facebook) | 4. メッセージアプリ(Instagram) |
| 5. ネットショッピング | 6. 音楽配信サービス |
| 7. 動画配信サービス | 8. ゲーム |
| 9. キャッシュレス決済 | 10. その他() |
| 11. 活用していない | |

問 15 あなたが自分で自由に使える情報端末はどのようなものがありますか。(回答複数可)

- | | | |
|----------------|-------------|----------------|
| 1. デスクトップ型パソコン | 2. ノート型パソコン | 3. 携帯電話 |
| 4. スマートフォン | 5. タブレット端末 | 6. 情報端末を持っていない |

問 16 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、あなたの考えに一番近いものはどれですか。（○は1つだけ）

1. 利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
2. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい
3. どちらかといえば、メリットがあっても個人情報を登録したくない
4. メリットがあっても個人情報を登録したくない

問 17 デジタル公共サービスで利用したことがあるものはどれですか。（回答複数可）

1. マイナンバーカード（マイナポイントを含む）
2. e-Tax
3. 不動産登記情報の閲覧
4. ネット上での国や自治体を実施する調査への回答（国勢調査等）
5. ネット上での図書館蔵書検索や貸出し
6. ネット上での公共施設の予約・申請等（スポーツ施設等）
7. ネット上で自治体が提供する講座等の申込み等
8. 電子化されたお薬手帳等のスマホアプリ
9. 個人の健康情報管理が可能なスマホアプリ（母子手帳アプリを含む）
10. ネット上で新型コロナウイルス感染症の特別定額給付金申込み
11. ネット上で新型コロナウイルス感染症の持続化給付金申込み
12. ネット上で新型コロナウイルスワクチン接種の申込み
13. ネット上での市民アンケートへの回答
14. その他（ ）
15. 利用したことがない

問 18 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

可児市総合戦略の主な施策	重要度					満足度				
	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)シティプロモーションの推進 (市民 及び 市外への市の魅力発信)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を 育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)学びを支援する環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)子ども達の未来社会を切り開くた めの資質・能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)健康で暮らせる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)支え合いにより地域で暮らせる仕 組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)安心して暮らせる生活環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)必要な医療サービスが受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 19 可児市に愛着はありますか。(〇は1つだけ)

1. 愛着がある。 → 問 20へ 2. 愛着はない 3. どちらともいえない

【問 19 で1 (愛着がある) を選択された方に伺います】

問 20 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 生まれ故郷だから | 2. 思い出があるから |
| 3. 生活の安全性が高いから(災害等) | 4. 生活の利便性が高いから(交通・買物等) |
| 5. 自然環境や景観が好きだから | 6. 人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動等) |
| 7. 歴史・文化・芸術が好きだから | 8. 子育ての支援・環境が充実しているから |
| 9. 教育の質・環境が充実しているから | 10. 福祉の支援・環境が充実しているから(障がい・介護等) |
| 11. その他() | |

問21 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. ずっと可児市に住みたい | → 問22へ |
| 2. 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい | → 問23へ |
| 3. できれば可児市以外に引越したい(引越し予定) | → 問24へ |
| 4. どちらともいえない | |

【問21で1または2(ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい)を選択された方に伺います】

問22 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 家族と一緒に住みたいから |
| 2. 可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから |
| 3. 通勤・通学に便利だから |
| 4. 買物など生活するのに便利だから |
| 5. 自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから |
| 6. 人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等) |
| 7. 子どもを産み・育てる環境が充実しているから |
| 8. 保健・医療体制が整っているから |
| 9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから |
| 10. 可児市に愛着があるから |
| 11. 可児市が故郷だから |
| 12. 他に住みたいところがないから |
| 13. その他() |

問22を答えた方 ⇒ 問24へ

【問21で3(できれば可児市以外に引越したい(引越し予定))を選択された方に伺います】

問23 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | |
|---------------------------|
| 1. 可児市に働く場所がないから |
| 2. 進学や仕事の事情(転勤等)から |
| 3. 通学・通勤に不便だから |
| 4. 買物など生活するのに不便だから |
| 5. 娯楽や遊ぶ施設がないから |
| 6. 親との同居や結婚等の事情から |
| 7. 子どもを産み・育てる環境が充実していないから |
| 8. 保健・医療体制が整っていないから |
| 9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから |
| 10. 故郷に戻るため |
| 11. その他() |

問24 可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産品など)はどれだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 美濃桃山陶の聖地(志野焼など) | 2. 美濃金山城をはじめとした城跡 |
| 3. 明智光秀のふるさと明智荘 | 4. 鳩吹山 |
| 5. 木曽川・可児川 | 6. K Y B スタジアム |
| 7. ぎふワールド・ローズガーデン(バラ) | 8. 文化創造センター アーラ |
| 9. ゴルフ場 | 10. 可児そだち※ |
| 11. 里芋 | 12. ギター |
| 13. ガラス工芸 | 14. その他() |
| 15. 特にない | |

※可児そだち・・・可児市地産地消実行委員会の認定を受けた、可児市で生産された安心・安全で品質の良い農産物、およびその農産物を使用した加工品

問25 あなたは、休日(余暇)を誰と過ごすことが多いですか。(〇は1つだけ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1. 家族 | 2. 友達 | 3. 恋人 | 4. 一人 | 5. ペット |
|-------|-------|-------|-------|--------|

問 26 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|-------------|-------|
| 1. 県外・市外への外出 | 2. 可児市内での外出 | 3. 自宅 |
|--------------|-------------|-------|

問 27 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

- | | | |
|--------------|--------------------|-----------|
| 1. ショッピング | 2. 旅行やレジャー | 3. 趣味 |
| 4. イベントに参加 | 5. サークルやクラブ活動 | 6. 家事 |
| 7. スポーツ、ヨガ | 8. インターネット、スマホ、ゲーム | |
| 9. テレビやDVD鑑賞 | 10. 勉強、読書 | 11. 何もしない |
| 12. その他（ ） | | |

問 28 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。（回答複数可）

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. ぎふワールド・ローズガーデン | 2. 文化創造センター アーラ |
| 3. K Y B スタジアム | |
| 4. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設 | |
| 5. 明智城跡、美濃金山城跡など城跡 | 6. 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策 |
| 7. 市内ショッピング施設 | 8. 市内温泉施設 |
| 9. 市内ゴルフ場 | 10. その他（ ） |

問 29 可児市内の公園や緑地などの整備状況についてどう思いますか（○は1つだけ）

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

問 30 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. まったくそう思わない | |

問 31 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 若い世代の雇用の安定 | 2. 子育てと仕事を両立できる職場環境 |
| 3. 不妊治療に対する支援 | 4. 妊娠・出産・子育てのための医療体制 |
| 5. 乳幼児健診などの保健サービスの充実 | 6. 子育てに関する経済的支援 |
| 7. 保育園、幼稚園の充実 | 8. 一時預かりの充実 |
| 9. 子育てに関する情報提供 | 10. 子育て世帯の住宅面の支援 |
| 11. 子育てに関する相談支援 | 12. 公園や子育て支援施設の充実 |
| 13. その他（ ） | |

問 32 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する「歩こう可児302」運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ「市民スポーツ」を推進しています。あなたは、1回30分以上の運動を週2回以上行い、それを1年以上続けていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 33 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている	→ (1)市の健(検)診を受けた	(2)学校または職場で受けた
	(3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他
2. 受けていない		

問 34 あなたは「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」がありますか。(それぞれ○は1つだけ)

かかりつけ医	1. ある	2. ない
かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない

問 35 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室(可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤル Tel0120-263-115)
- ・心の電話相談室(可児市教育研究所、Tel63-2444)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 36 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとはどれですか。(回答複数可)

1. 収入の減少	2. 支出の増加	3. 就職困難	4. 外出規制
5. 失業・廃業	6. 運動機会の減少	7. 学習の遅れ	8. 育児等の負担
9. 介護等の負担	10. 心身の健康面	11. 感染対策に関すること	
12. ワクチン接種に関すること	13. その他()		
14. 特になし			

【自由意見】

問 37 その他、可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
アンケートは令和4年6月6日(月)までにご返送をお願いします。